TM-610M TM-510M TM-5610M TM-5510M
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

日本語 (Japanese)

目次

本文中の記号. 20
商標. 21
ライセンス. 22
基本操作. 50
各部の説明. 51
前面. 52
インクタンクカバー内部. 54
メンテナンスカートリッジカバー内部. 56
背面・側面. 57
トップカバー内部. 58
キャリッジ. 60
ロール紙カバー内部. 61
スキャナーユニット. 63
操作パネル. 65
プリンタースタンド. 67
デスクトップバスケット. 70
製品の操作方法. 72
電源を入れる／切る. 73
原稿をスキャナーユニットにセットする. 77
スキャンできる原稿について. 80
プリンタースタンドのバスケットを使用する. 82
バスケットのポジション例. 84
デスクトップバスケットを使用する. 91
印刷／コピー／スキャンを中止する. 93
印刷を一時停止状態にする. 94
プリント. 95
パソコンから印刷する（macOS）. 97
かんたんな設定で印刷する. 98
部数と印刷順序を設定する. 102
印刷品質の変更や画像データの補正. 104
カラーバランスを調整する. 105
印刷品質を設定する（ユーザー設定）. 107
カラーの原稿をモノクロで印刷する. 108

色補正の方法を指定する. 109
画像データに適した写真印刷を行うには. 111
プリンタードライバーで色の補正を行う. 112
ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）. 114
ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）. 116
明るさを調整する. 118
コントラストを調整する. 119
拡大／縮小印刷をする. 120
オーバーサイズの用紙サイズに印刷する. 122
用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）. 124
カスタムサイズのロール紙幅を設定する. 125
場面に合わせてフチなしで印刷する. 126
ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する. 127
原寸大のフチなしで印刷する. 129
ロール紙に三辺フチなしで印刷する. 131
ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）. 134
分割して印刷する／まとめて印刷する. 135
複数の原稿を並べて印刷する. 136
複数ページをつなげて印刷する. 137
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する. 138
原稿を用紙の中央に印刷する. 140
ロール紙を節約して印刷する. 142
原稿を 90 度回転してロール紙を節約する. 143
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する. 144
目的に合わせて給紙方法を切り替える. 145
印刷後にロール紙をカットする. 146
AirPrint で印刷する. 147
HP-GL/2 を使用して印刷する. 149
スマートフォン／タブレットから印刷する. 150
iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）. 151
印刷ジョブの管理. 155
印刷ジョブを削除する. 156
プリント状況や履歴を確認する. 157
macOS プリンタードライバー. 159
プリンタードライバーの概要. 160

Canon IJ プリンタードライバー. 161
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する. 162
変更した印刷設定を登録する. 163
プリンタードライバーの設定画面の開きかた. 164
ページ設定ダイアログ. 165
プリントダイアログ. 166
プリンタードライバーの用紙情報を更新する. 168
プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）. 170
プリンターの用紙情報を確認する. 171
アカウンティングを設定する. 172
不要になった印刷ジョブを削除する. 173
印刷の進行状況を確認する. 174
Canon IJ Printer Utility2. 176
Canon IJ Printer Utility2 の開きかた. 177
パソコンでインクの状態を確認する. 178
使用上の注意（プリンタードライバー）. 179
プリントダイアログの画面説明. 180
品位と用紙の種類. 181
カラーオプション. 183
用紙の詳細設定. 185
ページ加工. 187
プリンタードライバーの更新. 189
最新のプリンタードライバーを入手する. 190
不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する. 191
プリンタードライバーをインストールする前に. 192
プリンタードライバーをインストールする. 193
コピー. 194
コピーする. 195
コピーするときの設定項目. 198
コピージョブの管理. 201
コピージョブを削除する. 202
コピー状況や履歴を確認する. 203
スキャン. 204
スキャンの準備. 205
USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備. 206
メールでスキャンデータを送信するための準備. 208
リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する. 209

宛先の登録. 211
アドレス帳の機能. 212
操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する. 214
リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する. 216
アドレス帳にグループを登録する. 218
共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備. 220
スキャンする - USB フラッシュメモリーに保存. 221
スキャンする - メールで送信. 223
スキャンする - 共有フォルダーに保存. 225
スキャンするときの設定項目. 227
宛先を指定する. 231
よく使う設定を登録する. 234
パソコン／スマートフォン／タブレットからスキャンする. 236
スキャンジョブの管理. 237
スキャンジョブを削除する. 238
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する. 239
用紙の取り扱い. 241
ロール紙の取り扱い. 243
ロール紙をプリンターにセットする. 244
ロール紙をプリンターから取り外す. 253
ロール紙をロールホルダーから取り外す. 256
ロール紙を手動で送る. 258
ロール紙をカットする. 259
印刷後にロール紙をカットする. 260
カット紙の取り扱い. 262
カット紙をプリンターにセットする. 263
カット紙を取り外す. 266
任意の位置から印刷を開始する. 268
用紙に関する設定. 271
用紙の種類を変更する. 272
用紙の長さを設定する. 273
ロール紙の残量を管理する. 274
ロール紙のカット方法を設定する. 276
ロール紙の先端を自動でカットする. 278
ロール紙のカット屑を軽減する. 280
インク乾燥時間を設定する. 281

フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する. 283
電源を切っている間のロール紙交換を検知する. 286
用紙に関する情報. 287
用紙のサイズ. 288
最新の用紙情報に更新する. 290
純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する. 291
既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する. 292
用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する. 293
各種設定. 294
プリンターの操作パネルから設定を変更する. 296
ステータス画面とホーム画面のメニュー構成. 297
ホーム画面をカスタマイズする. 301
メニューの階層. 303
プリンターの操作パネルで設定できる項目. 325
表示設定. 328
タイマー/電力設定. 329
ネットワーク. 331
外部インターフェイス. 338
アクセシビリティー. 339
音量設定. 340
画質調整. 341
メンテナンス. 343
共通. 345
コピー. 346
プリンター. 347
送信. 348
ファイル保存/利用. 350
ユーザー管理. 351
デバイス管理. 352
リモート UI 設定/ファームウェア更新. 353
データ管理. 354
セキュリティー設定. 355
レポート出力. 356
用紙関連の設定. 357
状況確認. 361
HP-GL/2 設定について. 363
各メニューについて. 364

[カラーモード] . . . 365
[印刷品質] . . . 366
[入力解像度] . . . 367
[印刷目的] . . . 368
[給紙位置] . . . 369
[余白] . . . 370
[オーバーサイズ] . . . 371
[用紙節約] . . . 375
[回転] . . . 376
[自動回転] . . . 377
[拡大/縮小] . . . 379
[中央に印刷] . . . 382
[定型サイズにカット] . . . 384
定型サイズ一覧 . . . 386
[鏡像] . . . 388
[線のマージ] . . . 390
[パレットの選択] . . . 391
[パレットの定義] . . . 392
[ペン 0] ～ [ペン 15] . . . 393
[パレットの初期化] . . . 394
[スムージング] . . . 395
[細線強調] . . . 396
[明細線補正] . . . 397
[線幅の補正] . . . 398
[カラーパレット印刷] . . . 400
[警告表示] . . . 401
[画像サイズの検出] . . . 402
メニューの組み合わせ . . . 403
[用紙節約] と [自動回転] . . . 404
[拡大/縮小] (倍率指定) と [自動回転] . . . 405
[中央に印刷] と [定型サイズにカット] . . . 406
[定型サイズにカット] と [自動回転] と [拡大/縮小] (用紙フィット) . . . 408
[画像サイズの検出] と [オーバーサイズ] . . . 411
[画像サイズの検出] と [中央に印刷] . . . 413
ステータスプリントについて . . . 414
ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する . . . 415
リモート UI を起動する . . . 416
リモート UI で設定できる項目 . . . 418
リモート UI でホーム画面をカスタマイズする . . . 421

リモート UI で DNS を設定する. 423
鍵と証明書を管理／検証する. 424
鍵と証明書を生成する. 425
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する. 427
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する. 430
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する. 435
受信した証明書を OCSP で検証する. 437
セキュリティーのログを送信する. 438
プリンターの設定を初期化する. 440
プリンターの管理について. 443
管理者情報を設定する. 444
リモート UI のパスワードを設定する. 446
ネットワークの設定. 447
プリンターの接続方法. 448
Wi-Fi 接続. 450
かんたん接続. 452
プリンターで手動接続. 453
ネットワーク名（SSID）を手動で入力. 454
WPS で接続. 455
WPS（PIN コード）で接続. 456
無線ダイレクト接続. 457
有線 LAN 接続. 459
USB 接続. 461
同じ名前のプリンターを検出したときは. 462
プリンターのネットワーク設定情報を印刷する. 463
不正アクセス防止対策について. 464
ネットワークの状態と対処方法. 467
ネットワークについてよくあるご質問. 469
ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）. 470
プリントサーバー機での設定. 471
クライアント機での設定. 472
プリンター共有に関する制限. 473
セキュリティを設定／管理する. 474
セキュリティ設定ナビ. 475
入退室管理されていますか？. 477
本機をインターネット接続環境で使用しますか？. 478

ファイアウォールが設置されていますか？ 479
本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？ 480
おすすめのセキュリティ設定 - 6 高機密情報管理タイプ 481
おすすめのセキュリティ設定 - 6 高機密情報管理タイプ 482
おすすめのセキュリティ設定 - 1 社内イントラネットタイプ 487
おすすめのセキュリティ設定 - 1 社内イントラネットタイプ 488
本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？ 491
おすすめのセキュリティ設定 - 2 インターネット直結タイプ 492
おすすめのセキュリティ設定 - 2 インターネット直結タイプ 493
本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？ 497
おすすめのセキュリティ設定 - 3 インターネット禁止タイプ 498
おすすめのセキュリティ設定 - 3 インターネット禁止タイプ 499
本機を不特定多数の人が使用しますか？ 500
本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？ 501
おすすめのセキュリティ設定 - 5 公共スペースタイプ 502
おすすめのセキュリティ設定 - 5 公共スペースタイプ 503
ネットワークはプライベートですか？パブリックですか？ 507
本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？ 508
おすすめのセキュリティ設定 - 4 在宅タイプ 509
おすすめのセキュリティ設定 - 4 在宅タイプ 510
おすすめのセキュリティ設定に変更する 514
セキュリティ設定の効果と影響 515
セキュリティ設定を元に戻す 516
おすすめセキュリティ設定で変更された内容を確認する 517
メンテナンス 518
画質の調整と改善 520
ノズルのつまりをチェックする 521
プリントヘッドをクリーニングする 523
罫線のずれを調整する 525
縦線のゆがみや色ずれを調整する 529
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する 530
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する 532
色味の違う横スジを調整する 534
色味の違う横スジを自動で調整する 535

色味の違う横スジを手動で調整する. 537
罫線の長さを調整する. 539
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する. 541
プリントヘッドの高さを変更する. 542
用紙の吸着力を変更する. 544
色の管理. 545
色を管理する. 546
カラーキャリブレーションを行う. 548
カラーキャリブレーションの調整タイプ. 550
原稿読み取りを調整する. 553
原稿の送り量を変更する. 554
原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する. 556
消耗品の交換. 560
インクタンクの型番を確認する. 561
インクタンクを交換する. 562
インク残量を確認する. 568
プリントヘッドを交換する. 570
メンテナンスカートリッジを交換する. 577
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する. 581
カッターブレードを交換する. 582
プリンターの清掃. 585
プリンターの外装を清掃する. 586
トップカバー内部を清掃する. 587
スキャナーユニット内部を清掃する. 591
パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）. 593
メンテナンスのためにリモート UI を開く. 594
プリントヘッドをクリーニングする. 595
ノズルチェックパターンを印刷する. 597
その他のメンテナンス. 598
プリンターの輸送の準備をする. 599
プリンターを再設置する. 602
ファームウェアをアップデートする. 605
よくあるご質問. 607
印刷データを送信してもプリンターが動かない. 611
印刷が途中で止まり、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される. 612

プリンタードライバーがインストールできない（Windows）. 613
印刷品質のトラブル. 615
印刷がかすれる. 616
色味の違うスジが入る. 618
色ムラが発生する. 620
画像の端部がぼやけたり、白スジが入る. 623
プリントヘッドが用紙にこすれる. 625
用紙の端が汚れる. 628
用紙の表面が汚れる. 631
用紙の裏面が汚れる. 634
フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる. 637
色味が違って印刷される. 638
モノクロで印刷される. 640
線の太さが均一に印刷されない. 641
罫線のずれや色ずれが起こる. 643
印刷画像の排紙方向の長さが正確でない. 645
用紙に対して斜めに印刷される. 647
余白が多い. 648
フチなし印刷でフチが出る. 649
ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく. 650
用紙先端にくぼんだような跡が付く. 651
ネットワーク上でセットアップできない. 652
［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）. 653
［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された. 655
ネットワーク上にプリンターが見つからない. 656
ネットワークにプリンターが見つからない. 657
セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する. 662
ネットワーク環境で印刷できない. 665
TCP／IP ネットワークで印刷できない. 666
Bonjour ネットワークで印刷できない. 667
AirPrint で印刷できない. 668
ネットワーク設定のトラブル. 669
突然プリンターと通信できなくなった. 670
ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない. 675
本体のトラブル. 677
電源が入らない. 678
メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない. 679

操作パネルのデータランプが点灯しない. 680
異常音かなと思ったときには. 681
印刷済みの用紙がバスケットでうまく受け止められない. 683
カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される. 684
用紙がうまく給排紙されない. 685
ロール紙のつまりを取り除く. 686
カット紙のつまりを取り除く. 690
用紙のつまりを取り除く（給紙口内部）. 694
ロール紙が給紙口に入らない. 696
カット紙をセットできない. 697
残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った／不足した. 698
用紙が白紙で排紙される. 699
ロール紙が排出され続ける. 700
用紙カットのトラブル. 702
用紙がカットされない. 703
用紙をきれいにカットできない. 704
用紙カットの途中でカッターが動かなくなった. 706
ロール紙のカット設定について知りたい. 707
インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい. 708
用紙先端が自動でカットされてしまう／用紙先端のカット量が多い. 709
用紙設定のトラブル. 710
透過性が高い用紙の幅を検知できない. 711
このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい／どの用紙の種類を選べばよいかわからない. 712
用紙種類の推定結果と、セットした用紙の種類が一致しない. 713
印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない. 714
インクに関連するトラブル. 715
インクが異常に消費される. 716
インク残量検知機能について. 717
ストップレスインクタンク交換に対応していますか. 718
印刷設定について. 719
フチなし（ふちなし）で印刷したい. 720
垂れ幕や横断幕を簡単に作成したい. 721
両面印刷はできますか. 722
拡大印刷したい. 723
HP-GL/2 関連のトラブル. 724
HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される. 725
HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される. 726

コピー／スキャンのトラブル. 727
原稿のつまりを取り除く. 728
原稿サイズが正しく認識されない. 729
原稿の搬送が停止する. 730
コピー／スキャンで汚れや黒い点が出る. 731
コピー／スキャンでスジが入る. 732
コピー／スキャンで色ムラが発生する. 733
コピー／スキャンで排紙方向の長さが正確でない. 734
コピー／スキャンで画像がずれる. 735
コピー／スキャンで画像がぼやける. 736
コピー／スキャンで原稿と画像の色味が合わない. 737
コピー／スキャンで画像の白飛びや黒つぶれが起きる. 738
コピー／スキャンでモアレが発生する. 739
トラブルが発生したときは. 740
エラー発生時のサポート番号一覧. 742
1005. 744
100A. 745
1012. 746
1021. 747
1024. 748
1041. 749
1051. 750
1052. 751
1054. 752
1056. 753
1057. 754
1058. 755
1061. 756
1200. 757
1201. 758
1210. 759
1213. 760
1214. 761
1300. 762
1306. 763
1317. 764
1322. 765
1323. 766
1324. 767

1401. 768
1403. 769
1408. 770
1409. 771
140A. 772
140B. 773
140C. 774
140F. 775
1477. 776
1478. 777
1480. 778
1481. 779
1485. 780
1492. 781
1494. 782
1495. 783
1500. 784
1551. 785
1552. 786
1570. 787
1571. 788
1660. 789
168B. 790
1720. 791
1721. 792
1722. 793
1730. 794
1731. 795
1752. 796
1753. 797
1756. 798
1757. 799
2130. 800
2131. 801
2132. 802
2701. 803
2702. 804
2703. 805
2800. 806
2801. 807

2807. 808
2808. 809
2809. 810
280A. 811
280B. 812
3000. 813
3001. 814
3101. 815
3200. 816
3201. 817
3250. 818
3300. 819
3301. 820
3302. 821
3303. 822
3304. 823
3306. 824
3310. 825
3311. 826
3312. 827
3313. 828
3314. 829
3315. 830
3316. 831
3317. 832
3331. 833
3332. 834
3333. 835
3337. 836
3338. 837
3341. 838
3342. 839
4111. 840
4113. 841
4114. 842
4116. 843
4117. 844
4801. 845
4803. 846
4905. 847

4920. 848
4924. 849
4925. 850
4926. 851
4927. 852
4931. 853
4932. 854
4933. 855
4934. 856
4935. 857
4937. 858
5010. 859
5013. 860
5014. 861
5015. 862
5106. 863
5200. 864
5B10. 865
5B16. 866
5B20. 867
5B21. 868
5C00. 869
6502. 870
6820. 871
7050. 872
7052. 873
8200. 874
9110. 875
B20A. 876
B510. 877
エラーメッセージ一覧. 878
USB メモリーが制限されています。. 880
WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。. 881
アクセスポイントが見つかりません。. 882
アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。. 883
証明書の検証時にエラーが発生しました。. 884
新規宛先の指定と登録が制限されています。. 885
接続できませんでした。. 886
接続できませんでした。暗号化キーを確認してください。. 887
ダイレクト接続が切断されました。. 888

正しい認証情報を設定してください。 889
通信先から応答がありませんでした。 890
入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。 891
認証サーバーの証明書が解析できません。 892
認証サーバーの証明書が信頼できません。 893
認証サーバーの証明書は期限切れです。 894
認証に必要な情報を設定してください。 895
認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。 896
認証パスワードを変更してください。 897
認証方式の設定を確認してください。 898
ホストから応答がありませんでした。 899
Wi-Fi 通信できませんでした。主電源を OFF / ON した後、再度設定してください。 900
無線機器からの接続を検知できませんでした。 901
メモリーがいっぱいです。 902
メモリーがいっぱいです。「データサイズ」が小さくなるように設定するとジョブが実行できる場合があります。 903
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。正しい認証情報を設定してください。 904
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。通信先から応答がありませんでした。 905
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が解析できません。 906
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が信頼できません。 907
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書は期限切れです。 908
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証に必要な情報を設定してください。 909
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証パスワードを変更してください。 910
IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証方式の設定を確認してください。 911
フォルダーやファイルにアクセスできません。しばらくたってからもう一度実行するか、リモート UI から設定を確認してください。 912
情報送信の設定が必要です。 913
プリント継続（保証外） 914
インクタンクがセットされていません。 915
インクタンク内のインクがなくなりました。 916
インクが少なくなっています。 917
ロール紙の残量が少なくなっています。 918
メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。 919
出力された印刷物を確認してください。 920
用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。 921
キャリブレーションの実行をお勧めします。 922
ヘッド位置調整が実行されていません。 923
用紙設定よりも小さなサイズの用紙に印刷しています。 924
設定用紙は、フチなし印刷に対応していません。 925
設定と異なる幅の用紙に印刷しています。 926

用紙がフチなし印刷に適した位置にセットされていません。. 927
用紙設定と異なる種類の用紙がセットされています。. 928
トラブルが発生しました。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。. 929
部品交換が近づいています（部品名）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。. 930
部品交換が必要です（部品名）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。. 931
GL2: 0903 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。. 932
GL2: 0502 指定したパラメーターがサポート範囲を超えています. 933
GL2: 0904 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。. 934
GL2: 0501 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。. 935
GL2: 0504 サポートしていない HP-GL/2 コマンドを受信しました。. 936
プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました. 937
JPEG データの印刷処理に失敗しました。. 938
指定した JPEG データはサポート外のデータ形式です。. 939
指定したデータは解像度が範囲外です。. 940
印刷データが本製品で対応していないサイズです。データを確認してください。. 941
SGRaster 印刷 1301 サポートしていないコマンドが指定されました。. 942
SGRaster 印刷 1307 指定したデータは解像度が範囲外です。. 943
SGRaster 印刷 1309 指定したデータはデータ形式のフォーマットが不正です。. 944
SGRaster 印刷 1308 指定したデータは圧縮した値が範囲外です。. 945
SGRaster 印刷 130A 指定したデータは解像度とデータ形式の組み合わせが不正です。. 946
SGRaster 印刷 1304 指定したデータは範囲外です。. 947
SGRaster 印刷 1302 指定したデータはパラメーターの個数が不正です。. 948
SGRaster 印刷 1303 必須項目が設定されていません。. 949
画像処理 1602 指定したジョブは画像処理テーブルが不正です。. 950
画像処理 1603 画像処理で解像度を変換中にエラーが発生しました。. 951
エラーコード一覧. 952
#001. 953
#037. 954
#099. 955
#401. 956
#406. 957
#408. 958
#752. 959
#753. 960
#755. 961
#766. 962
#801. 963
#802. 964
#804. 965
#806. 966

#809. 967
#810. 968
#813. 969
#839. 970
#841. 971
#844. 972
#846. 973
#995. 974
製品情報. 975
安全ガイド. 976
安全にお使いいただくために. 977
法規制情報. 980
取り扱い上のご注意. 981
プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意. 982
原稿をスキャンするときの注意事項. 983
仕様. 984
仕様. 985
印刷領域. 990
付録. 992
オンラインマニュアルについて. 993

本文中の記号

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、死亡・重傷または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、傷害または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、守っていただきたい重要事項が書かれています。かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

商標

- Microsoft、Excel、Internet Explorer、Microsoft Edge、Microsoft Store、OneDrive、PowerPoint、Windows および Windows Vista は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- Mac、Mac OS、macOS、OS X、AirMac、App Store、AirPrint、AirPrint ロゴ、Bonjour、iPad、iPad Air、iPad mini、iPadOS、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- The Mopria® word mark and the Mopria® Logo are registered and/or unregistered trademarks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
- IOS は、米国およびその他の国で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google、Chromebook、Android、ChromeOS、Google Chrome、Google Analytics、Google Apps、Google ドキュメント、Google ドライブ、Google Drive、Google Home、Google Play、Google Play ロゴおよび YouTube は、Google LLC の登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、Adobe RGB、Adobe RGB (1998) 、Flash、Illustrator、Lightroom、Photoshop、および Photoshop Elements は、Adobe の米国または他の諸国における商標または登録商標です。
- USB Type-C™ is a trademark of USB Implementers Forum.
- Amazon, Echo および Alexa は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- 「LINE」は LINE ヤフー株式会社の商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの日本とそれ以外の国における商標です。
- HP-GL、HP-GL/2 は、HP Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mozilla Firefox は Mozilla Foundation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2 および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

Copyright (c) 2003-2015 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
    1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
    2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

   You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License.

However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.
END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2012, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 8: Apple Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 9: ScienceLogic, LLC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2009, ScienceLogic, LLC

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of ScienceLogic, LLC nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 10: Lennart Poettering copyright notice (BSD-like) -----

Copyright 2010 Lennart Poettering

Permission is hereby granted, free of charge, to any person
obtaining a copy of this software and associated documentation files
(the "Software"), to deal in the Software without restriction,
including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,
publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,
and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be
included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND
NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS
BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE
SOFTWARE.

---- Part 11: IETF copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2013 IETF Trust and the persons identified as authors of
the code. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions are
met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the
names of specific contributors, may be used to endorse or promote
products derived from this software without specific prior written
permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS
IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER
OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,

PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 12: Arista Networks copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2013, Arista Networks, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Arista Networks, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 13: VMware, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2016, VMware, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of VMware, Inc. nor the names of its contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software
without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS
IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 14: USC/Information Sciences Institute copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2017-2018, Information Sciences Institute

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Information Sciences Institue nor the names of its
contributors may be used to endorse or promote products derived from
this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS
IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,

EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright 2000 Computing Research Labs, New Mexico State University

Copyright 2001-2015 Francesco Zappa Nardelli

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COMPUTING RESEARCH LAB OR NEW MEXICO STATE UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Written by Joel Sherrill <joel@OARcorp.com>.

COPYRIGHT (c) 1989-2000.

On-Line Applications Research Corporation (OAR).

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at http://www.opensource.org/licenses. Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

==========

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)

o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)

o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.

We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType

Project (https://freetype.org). All rights reserved.

"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

==========

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'.

This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

o Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.

Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

https://freetype.org

--- end of FTL.TXT ---

The TWAIN Toolkit is distributed as is. The developer and distributors of the TWAIN Toolkit expressly disclaim all implied, express or statutory warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, noninfringement of third party rights and fitness for a particular purpose. Neither the developers nor the distributors will be liable for damages, whether direct, indirect, special, incidental, or consequential, as a result of the reproduction, modification, distribution or other use of the TWAIN Toolkit.

JSON for Modern C++

Copyright (c) 2013-2017 Niels Lohmann

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2011 - 2015 ARM LIMITED

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2013, Kenneth MacKay

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2006, CRYPTOGAMS by <appro@openssl.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain copyright notices, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the CRYPTOGAMS nor the names of its copyright holder and contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, provided that this notice is retained in full, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License (GPL), in which case the provisions of the GPL apply INSTEAD OF those given above.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ISC License

Copyright (c) 2013-2017

Frank Denis <j at pureftpd dot org>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2008 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation
by Lennart Augustsson (lennart@augustsson.net) at
Carlstedt Research & Technology.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions
are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
   documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without
modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
and/or other materials provided with the distribution.
* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software
without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Lua

Copyright © 1994–2014 Lua.org, PUC-Rio.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated
documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the
rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to
permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of
the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH
THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuaSocket

LuaSocket 2.0.2 license
Copyright © 2004-2007 Diego Nehab

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY,

FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuneScript

Copyright (c) 2018 ifritJP

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2002-2019, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2019, Broadcom Corporation. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated
documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the
rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to
permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of
the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED,
INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN
ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH
THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright 2004--2007, Google Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the
following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following
disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the
following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without
specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR
BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The certificate files "Amazon Root CA 1", "Amazon Root CA 2", "Amazon Root CA 4" are licensed under a Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International License.

This software is licensed under the MIT License.

Copyright Fedor Indutny, 2018.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2007 James Newton-King

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
* Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 2008, Google Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above
copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
in the documentation and/or other materials provided with the
distribution.
* Neither the name of Google Inc. nor the names of its
contributors may be used to endorse or promote products derived from
this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT
OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE
OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998-2010, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

The redistribution and use of this software (with or without changes)
is allowed without the payment of fees or royalties provided that:
source code distributions include the above copyright notice, this
list of conditions and the following disclaimer;
binary distributions include the above copyright notice, this list
of conditions and the following disclaimer in their documentation.

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties
in respect of its operation, including, but not limited to, correctness
and fitness for purpose.

Disclaimer: IMPORTANT: This Apple software is supplied to you, by Apple Inc. ("Apple"), in your
capacity as a current, and in good standing, Licensee in the MFi Licensing Program. Use of this Apple software is governed by and subject to the terms and conditions of your MFi License, including, but not limited to, the restrictions specified in the provision entitled "Public Software", and is further subject to your agreement to the following additional terms, and your agreement that the use, installation, modification or redistribution of this Apple software constitutes acceptance of these additional terms. If you do not agree with these additional terms,
please do not use, install, modify or redistribute this Apple software.

Subject to all of these terms and in consideration of your agreement to abide by them, Apple grants
you, for as long as you are a current and in good-standing MFi Licensee, a personal, non-exclusive
license, under Apple's copyrights in this original Apple software (the "Apple Software"), to use, reproduce, and modify the Apple Software in source form, and to use, reproduce, modify, and redistribute the Apple Software, with or without modifications, in binary form. While you may not

redistribute the Apple Software in source form, should you redistribute the Apple Software in binary
form, you must retain this notice and the following text and disclaimers in all such redistributions
of the Apple Software. Neither the name, trademarks, service marks, or logos of Apple Inc. may be
used to endorse or promote products derived from the Apple Software without specific prior written
permission from Apple. Except as expressly stated in this notice, no other rights or licenses,
express or implied, are granted by Apple herein, including but not limited to any patent rights that
may be infringed by your derivative works or by other works in which the Apple Software may be
incorporated.

Unless you explicitly state otherwise, if you provide any ideas, suggestions, recommendations, bug
fixes or enhancements to Apple in connection with this software ("Feedback"), you hereby grant to
Apple a non-exclusive, fully paid-up, perpetual, irrevocable, worldwide license to make, use,
reproduce, incorporate, modify, display, perform, sell, make or have made derivative works of,
distribute (directly or indirectly) and sublicense, such Feedback in connection with Apple products
and services. Providing this Feedback is voluntary, but if you do provide Feedback to Apple, you
acknowledge and agree that Apple may exercise the license granted above without the payment of
royalties or further consideration to Participant.

The Apple Software is provided by Apple on an "AS IS" basis. APPLE MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, REGARDING THE APPLE SOFTWARE OR ITS USE AND OPERATION ALONE OR
IN COMBINATION WITH YOUR PRODUCTS.

IN NO EVENT SHALL APPLE BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE, REPRODUCTION, MODIFICATION
AND/OR DISTRIBUTION OF THE APPLE SOFTWARE, HOWEVER CAUSED AND WHETHER UNDER THEORY OF CONTRACT, TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE), STRICT LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE HAS BEEN ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2009 Apple Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2012-2013 Apple Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2013 Apple Inc. All Rights Reserved.

下記はクラウド連携サービス（旧：PIXUS Cloud Link、PIXMA Cloud Link、MAXIFY Cloud Link）に対応している製品にのみ該当します。

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk
University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.
Copyright (c) 1997-2012 University of Cambridge
All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Emain domain: freemail.hu
Copyright(c) 2010-2012 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Emain domain: freemail.hu
Copyright(c) 2009-2012 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.
Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.
All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

----------Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

基本操作

各部の説明

- 前面
  - インクタンクカバー内部
  - メンテナンスカートリッジカバー内部
- 背面・側面
- トップカバー内部
  - キャリッジ
- ロール紙カバー内部
- スキャナーユニット
- 操作パネル
- プリンタースタンド
- デスクトップバスケット

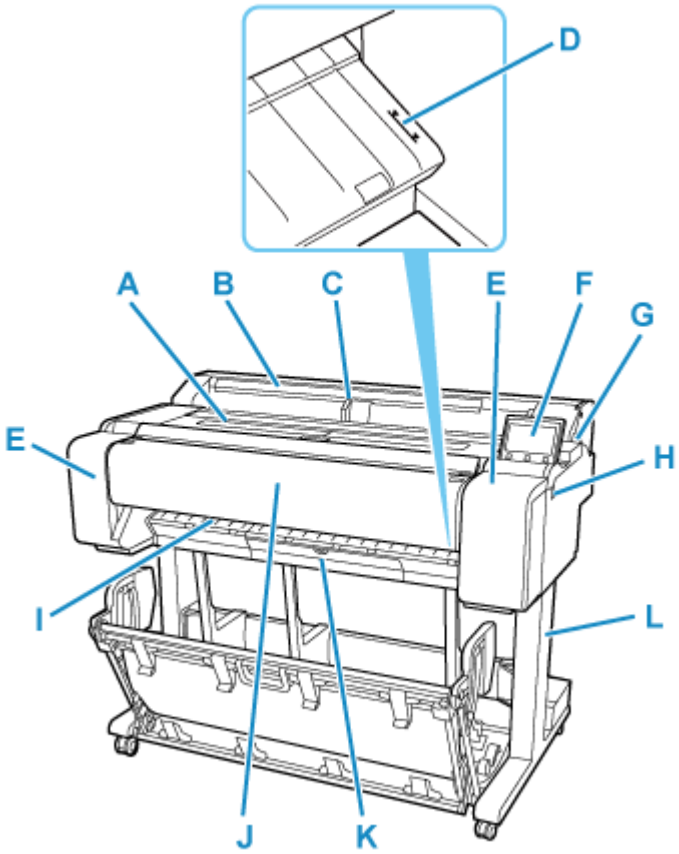
製品の操作方法

- 電源を入れる／切る
- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする
- 原稿をスキャナーユニットにセットする
  - スキャンできる原稿について
- プリンタースタンドのバスケットを使用する
  - バスケットのポジション例
- デスクトップバスケットを使用する
- 印刷／コピー／スキャンを中止する
- 印刷を一時停止状態にする

各部の説明

- **前面**
  - インクタンクカバー内部
  - メンテナンスカートリッジカバー内部
- **背面・側面**
- **トップカバー内部**
  - キャリッジ
- **ロール紙カバー内部**
- **スキャナーユニット**
- **操作パネル**
- **プリンタースタンド**
- **デスクトップバスケット**

前面



A：トップカバー

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、プリンター内部につまった用紙を取り除きます。

➡ トップカバー内部

B：ロール紙カバー

このカバーを開き、ロール紙をセットします。

➡ ロール紙カバー内部

C：幅ガイド

カット紙をセットするときに、用紙のサイズに合わせてこのガイドを移動します。

D：紙合わせライン

用紙を合わせるための、白いラインです。

E：インクタンクカバー

このカバーを開き、インクタンクを交換します。

➡ インクタンクカバー内部

F：操作パネル

プリンターを操作したり、プリンターの状態を確認します。自由に角度を調整できます。

➡ 操作パネル

G：リリースレバー

用紙押さえを解除するときに、このレバーを後ろ側に押します。

H：USB メモリー接続部

USB フラッシュメモリーをセットします。

I：排紙ガイド

排紙された用紙を支えます。

J：スキャナーユニット

コピーやスキャンをするときに、原稿を読み取ります。

➡ スキャナーユニット

K：メンテナンスカートリッジカバー

このカバーを開き、メンテナンスカートリッジを交換します。

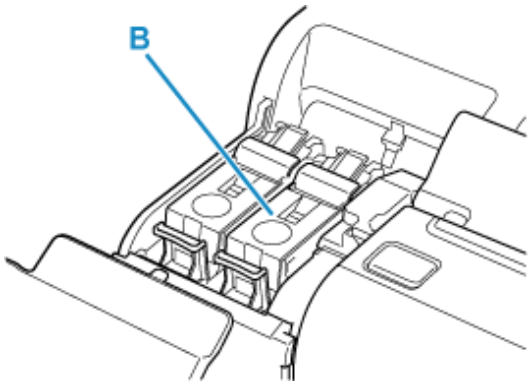
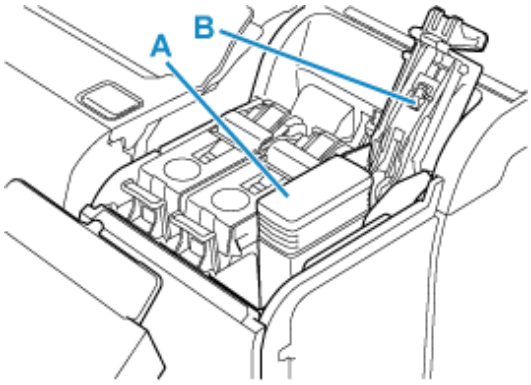
➡ メンテナンスカートリッジカバー内部

L：プリンタースタンド

プリンターの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。

➡ プリンタースタンド

インクタンクカバー内部

左側	右側
	

A：インクタンク

➡ インクタンク

B：インクタンク固定レバー

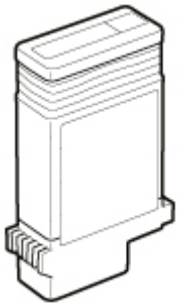
インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを開閉します。

インクタンク

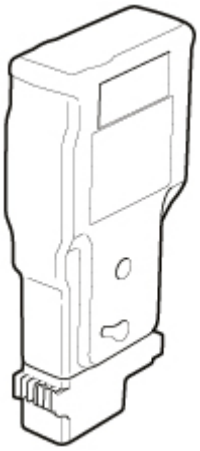
プリンターは以下のインクタンクに対応しています。

➡ インクタンクを交換する

- 130 ml（4.4 fl oz）



- 300 ml（10.1 fl oz）

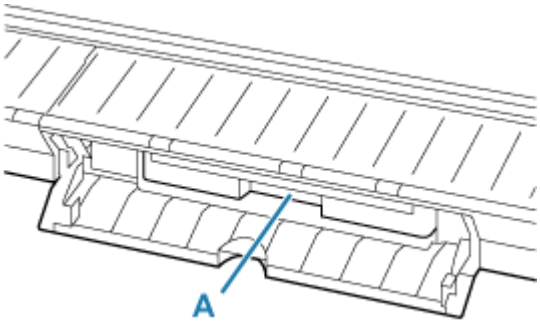


重要

- 購入の際は、型番をご確認ください。

  ➡ インクタンクの型番を確認する

メンテナンスカートリッジカバー内部

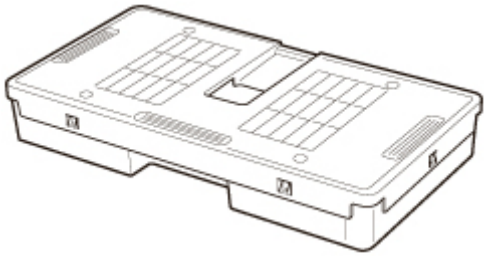


A：メンテナンスカートリッジ

➡ メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ

型番：MC-31



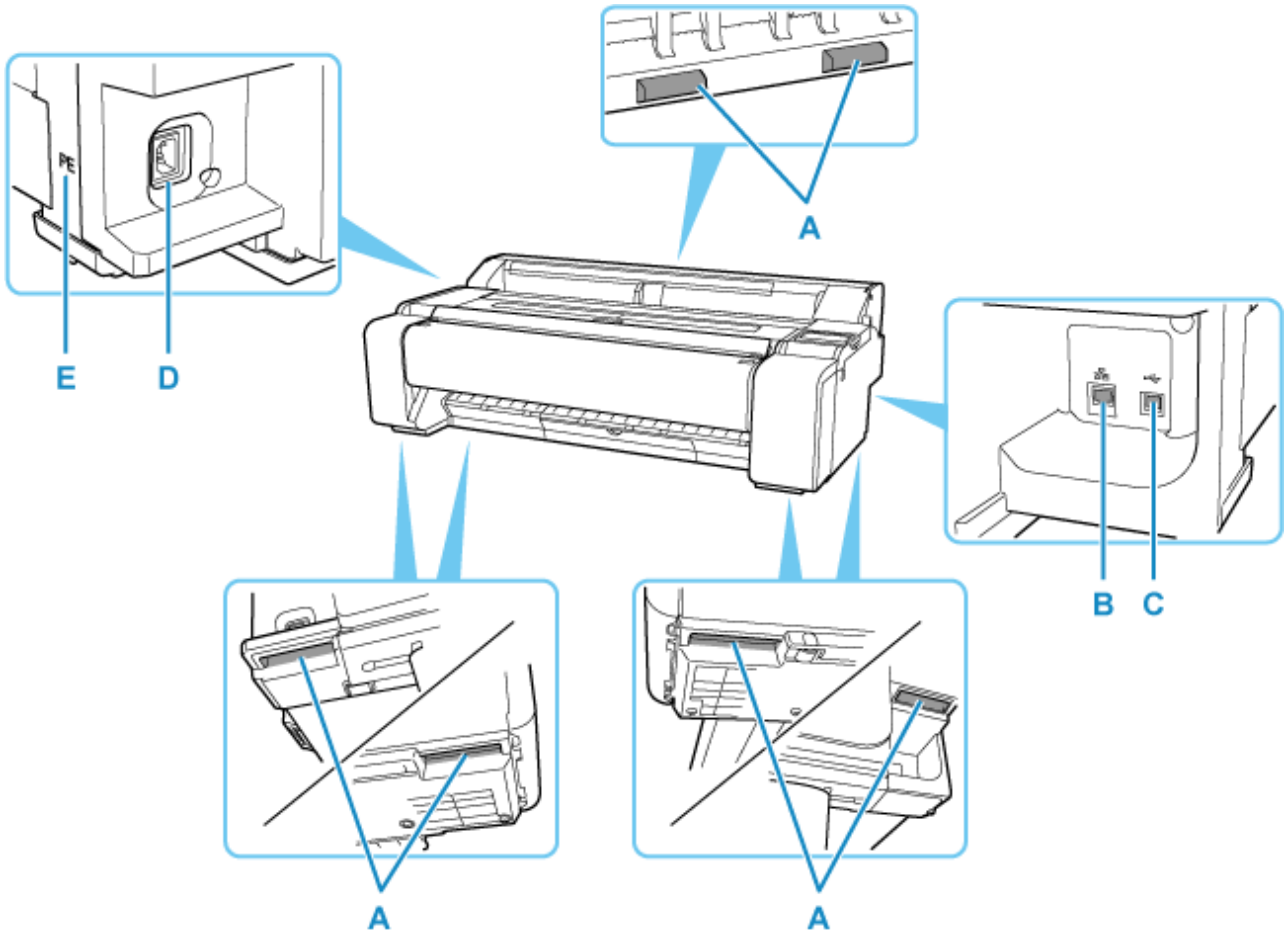
クリーニングなどで使用したインクを吸収します。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

重要

- 購入の際は、型番をご確認ください。

背面・側面



A：運搬用グリップ

左右底面のこの部分を持って、3 人以上でプリンターを運びます。なお、スタンド付きのプリンターを移動させる場合も、左右のこの部分を持ちます。

B：LAN ケーブル接続部

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。Ethernet ケーブルが正しく接続され、通信可能な状態になっている場合は、ランプが点灯します。

C：USB ケーブル接続部

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

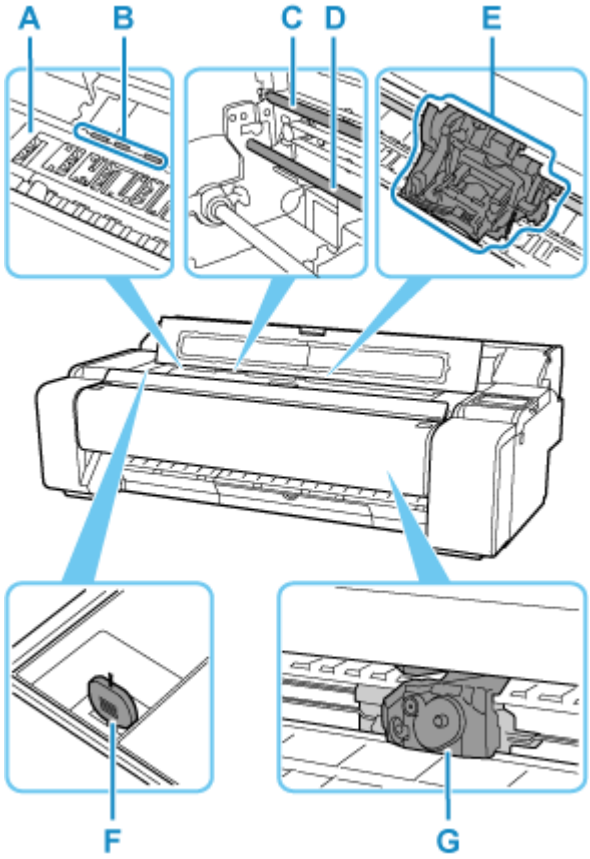
D：電源コード接続部

電源コードをこのコネクタに接続します。

E：アース端子

アース線をこの端子に接続します。

トップカバー内部



A：プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。

B：用紙押さえ

この部分で用紙を保持しています。

C：リニアスケール

キャリッジの位置を検知するための部品です。

D：キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

E：キャリッジ

プリントヘッドを動かします。

➡ キャリッジ

F：クリーナーブラシ

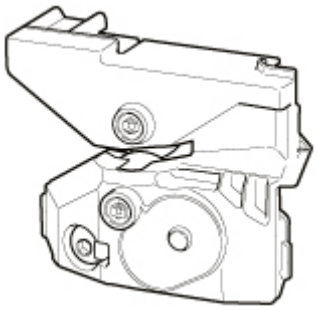
トップカバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。

G：カッターブレード

➡ カッターブレード

カッターブレード

型番：CT-08



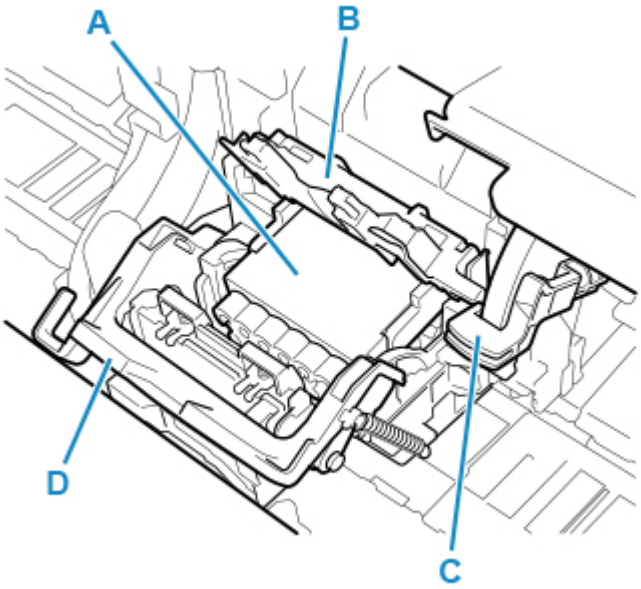
用紙を自動でカットするための丸刃カッターです。

➡ カッターブレードを交換する

重要

- 購入の際は、型番をご確認ください。

キャリッジ



A：プリントヘッド

➡ プリントヘッド

B：プリントヘッド固定カバー

プリントヘッドを固定します。

C：スラント調整レバー

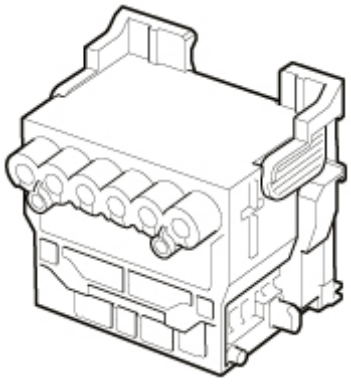
印刷時の罫線のずれを微調整します。

D：プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックします。

プリントヘッド

型番：PF-06



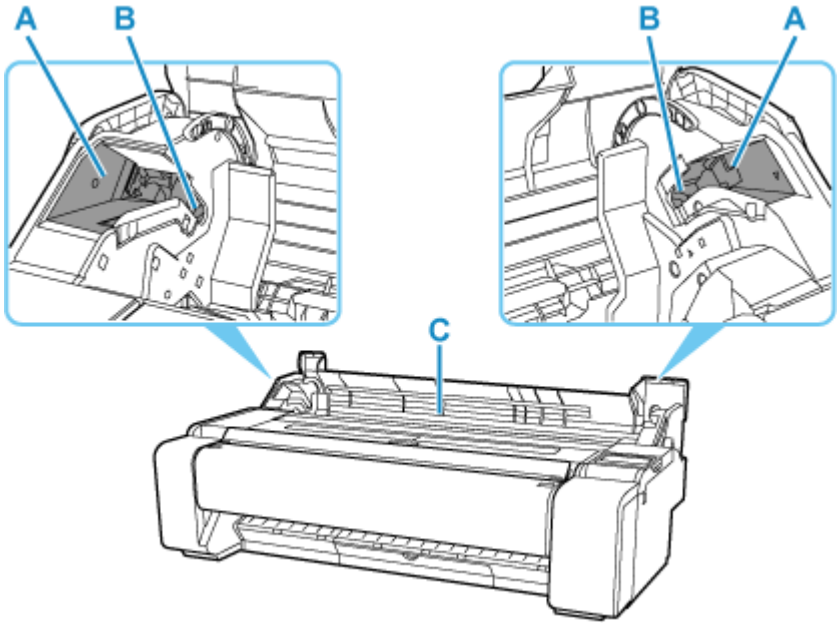
ノズルが装着されています。

➡ プリントヘッドを交換する

重要

- 購入の際は、型番をご確認ください。

ロール紙カバー内部



A：スライドガイド

ロールホルダーをこのガイドに沿って移動します。

B：ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのスロットにセットします。

C：ロールホルダー

➡ ロールホルダー

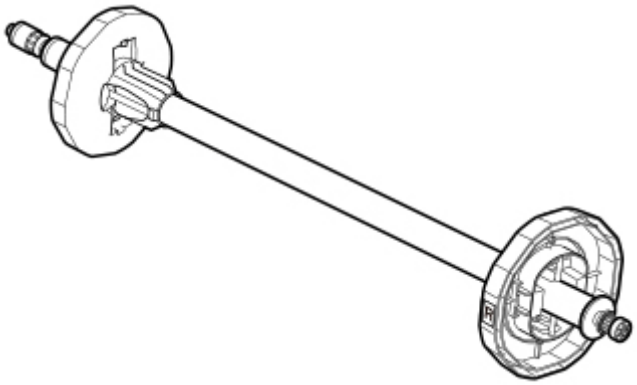
ロールホルダー

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンターに取り付けます。ロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。ただし、3 インチ紙管のロール紙を使用する場合には 3 インチ紙管アタッチメントを取り付けてご使用ください。

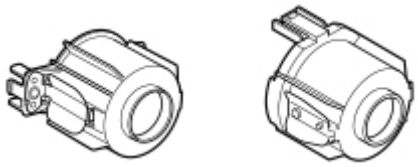
TM-610M / TM-5610M：ロールホルダーセット RH2-35

TM-510M / TM-5510M：ロールホルダーセット RH2-28

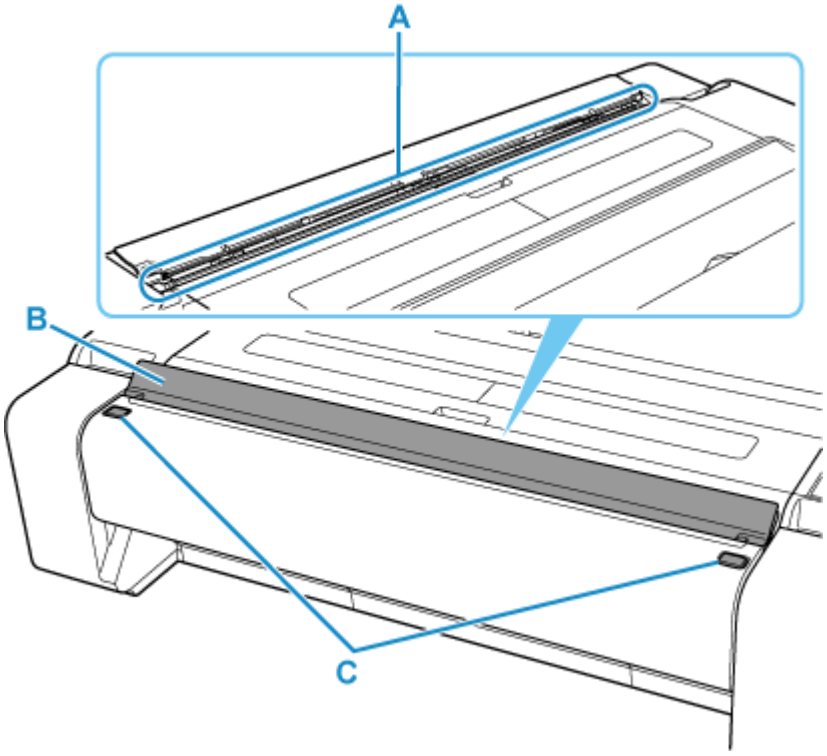
- ロールホルダー（2 インチ/3 インチ紙管兼用）



- 3 インチ紙管アタッチメント



スキャナーユニット



A：原稿給紙口

コピーやスキャンをするための原稿をセットします。

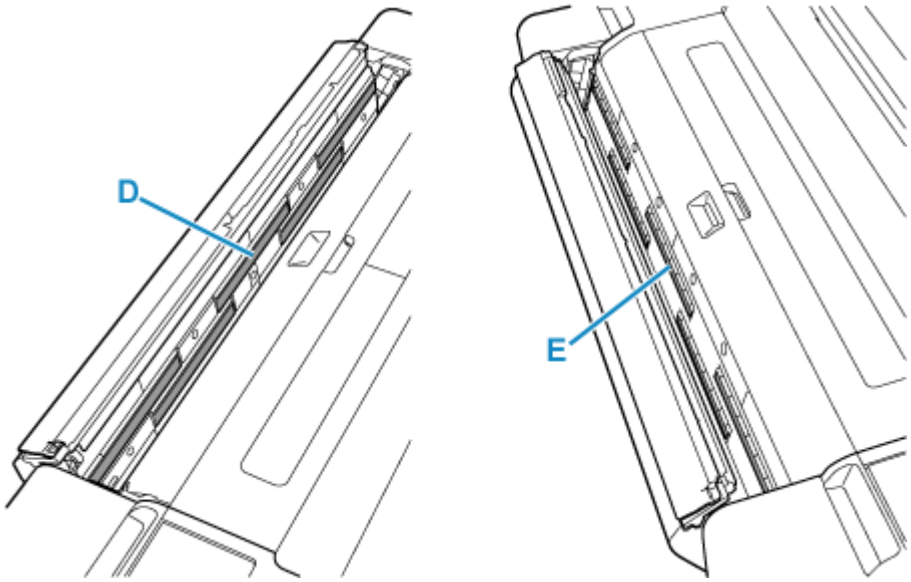
B：原稿給紙口カバー

スキャナーユニットを使わないときに、原稿給紙口にごみが入らないようにするためのカバーです。
コピーやスキャンをするときは開いてください。原稿が厚い紙や曲がりにくい紙などの場合は、全開にしてください。

C：スキャナーユニットオープンボタン

スキャナーユニットを開くためのボタンです。

スキャナーユニット内部



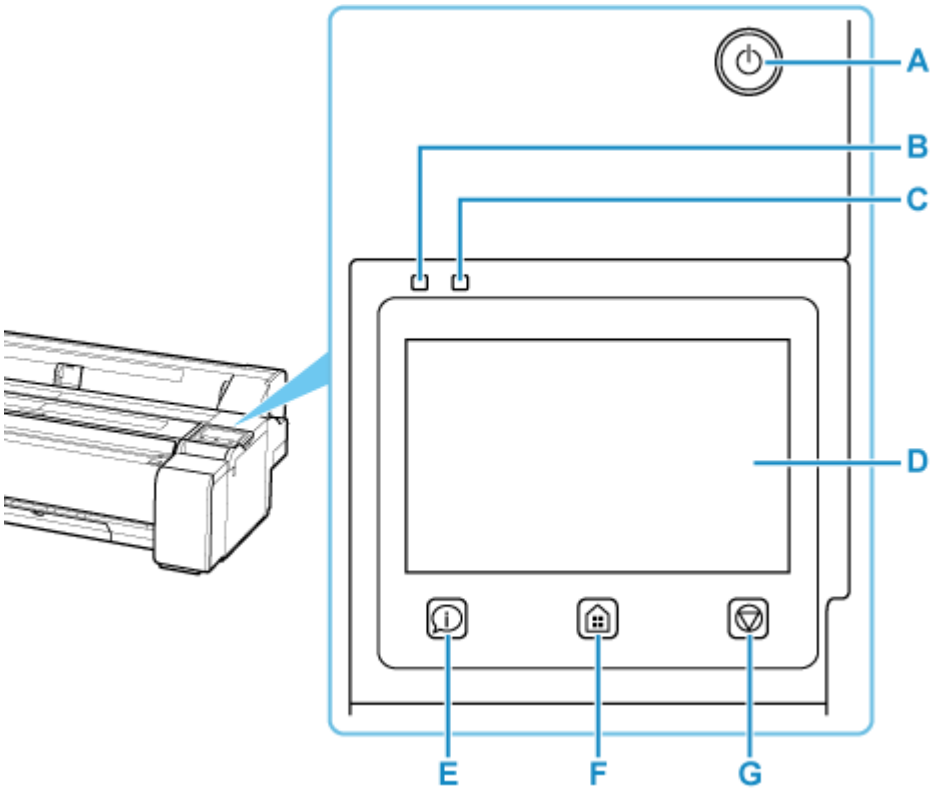
D：読み取りガラス

原稿の読み取り部分です。

E：白色基準板

原稿の読み取り時に白色の基準となる部品です。

操作パネル



A：電源ボタン/電源ランプ

プリンターの電源を入れる／切るときに押します。

➡ 電源を入れる／切る

電源が入った状態またはスリープ状態のとき、電源ランプが点灯します。

B：データランプ

通信中／プリント中などの動作中に点滅します。

処理待ちのデータがあるときは点灯します。

C：エラーランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに、点滅または点灯します。

D：タッチスクリーン

プリンターのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニューや表示ボタンを選ぶことができます。

➡ ステータス画面とホーム画面のメニュー構成

E：ステータスボタン

ステータス画面を表示します。

F：ホームボタン

ホーム画面を表示します。

G：ストップボタン

実行中の動作を中止します。

参考

- スリープ中は、タッチスクリーンをタッチすると、スリープから復帰します。
- 操作パネルのアクセスロックが有効の場合は、操作パネルからの操作が制限されます。

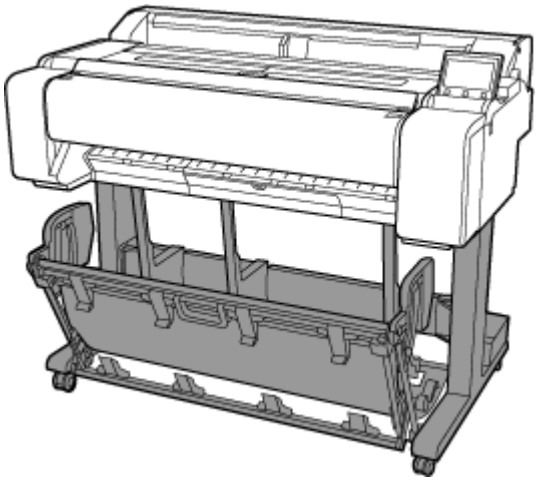
➡ リモートUIで設定できる項目

プリンタースタンド

このプリンターでは、以下のスタンドを使用できます。

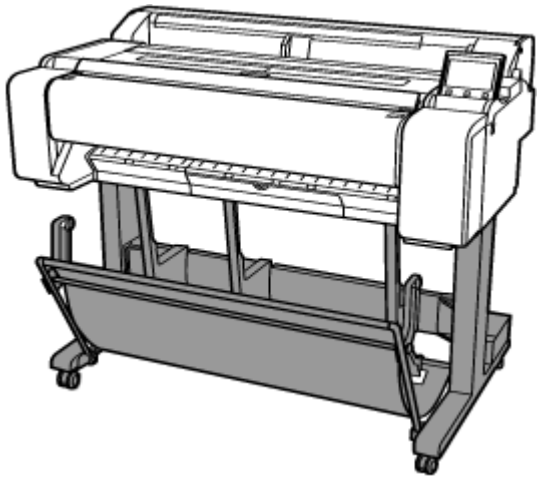
TM-610M / TM-5610M : プリンタースタンド SD-35

TM-510M / TM-5510M : プリンタースタンド SD-26



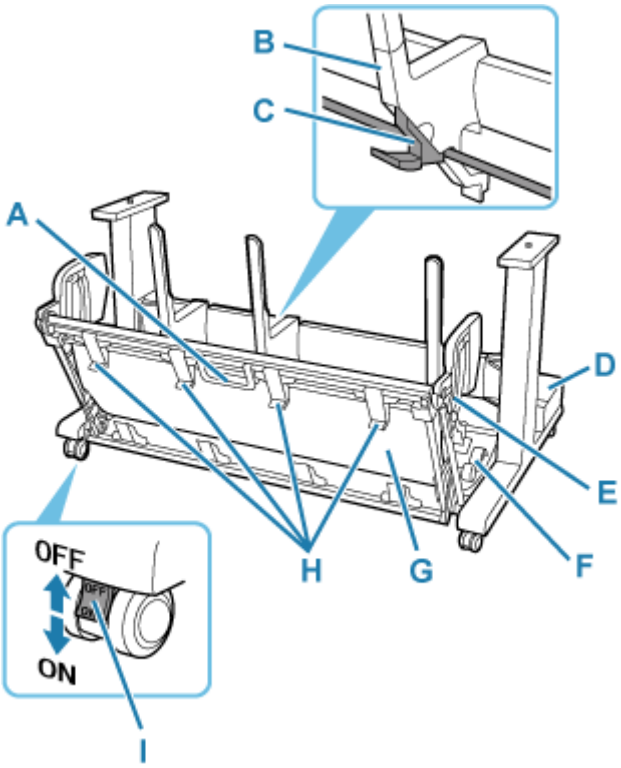
TM-610M / TM-5610M : プリンタースタンド SD-34

TM-510M / TM-5510M : プリンタースタンド SD-25

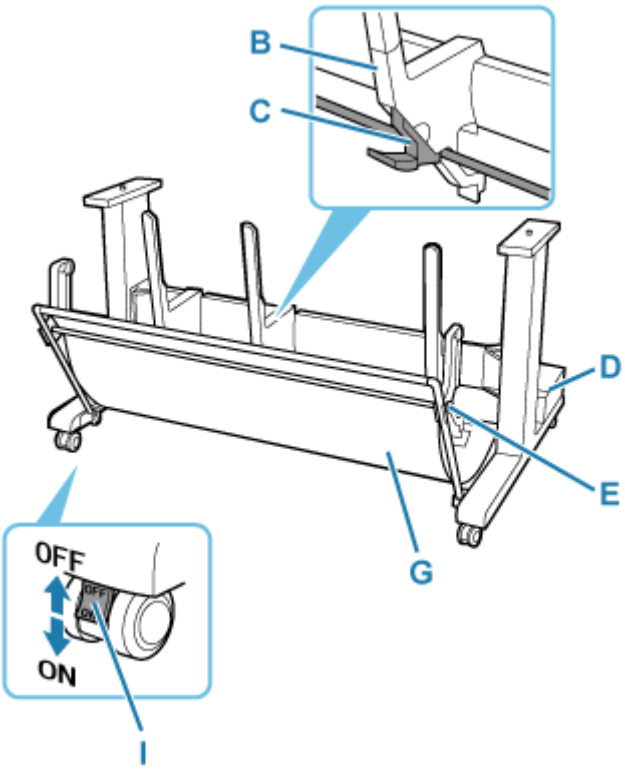


スタンドの各部

SD-35 / SD-26



SD-34 / SD-25



A：バスケットハンドル

このハンドルは、バスケットを取り出しポジション B にセットしたり通常ポジションに戻すときに持ち、スライドするバスケットを支えます。

B：ペーパーガイド

排紙された印刷物をバスケットへ誘導します。

C：切り替えストッパー

バスケットを取り出しポジション A で使用するときに、用紙サイズにより引き出します。

D：アクセサリポケット

プリンタの付属品を収納します。

E：補助ロッド

バスケットのポジションを変更するときに位置を変えます。

F：バスケットリリースレバー

このレバーは、手前に引くと取り出しポジション B のセットを解除します。

G：バスケット布

排紙された印刷物を受け止めます。

H：バスケット排紙ガイド

このガイドは、バスケットを取り出しポジション B で使用するときに排紙された用紙を支えます。

I：ロック付きキャスター

ロックしてキャスターを固定できます。プリンターを移動するときは、必ず 4 つのキャスターのロックをすべてオフにしてください。ロックをオンにしたままプリンターを移動すると、キャスターがすれて床に傷が付く場合があります。

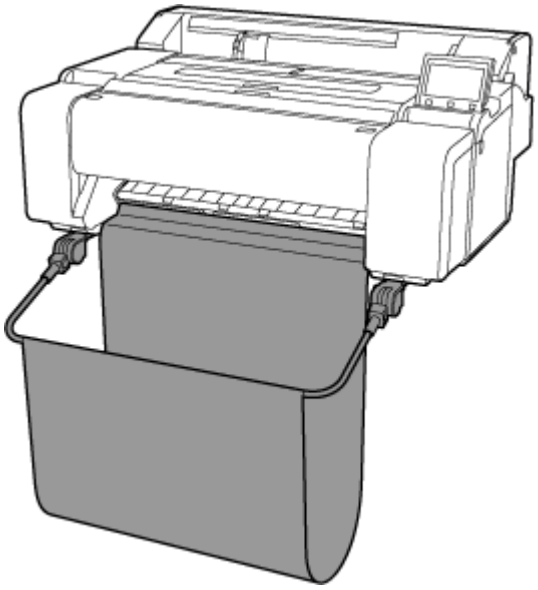
参考

- バスケットの使い方については、「プリンタースタンドのバスケットを使用する」を参照してください。
- スタンドは製品によって同梱されない場合があります。

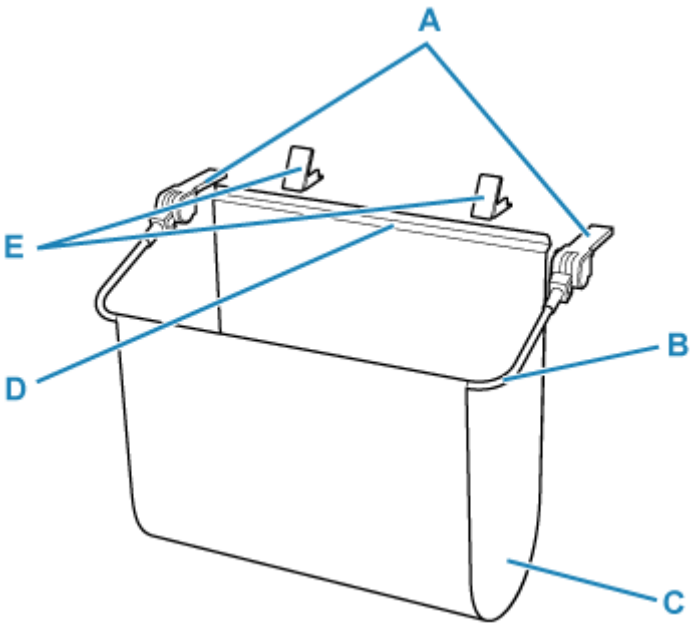
デスクトップバスケット

このプリンターでは、以下のバスケットを使用できます。

- **TM-510M / TM-5510M : デスクトップバスケット BU-07**



デスクトップバスケットの各部



A : バスケットアダプター
　プリンター本体に差し込んで、デスクトップバスケットを取り付けます。

B : バスケットアーム
　この部分を動かして、バスケットを閉じたり開いたりします。

C : バスケット布
　排紙された印刷物を受け止めます。

D : サポートステー
　排紙ガイドの前方に取り付けて、バスケット布を支えます。

E：フックホルダー

サポートステーのフック部分を掛けてからプリンターと机の間に差し込み、プリンターに突き当たる位置にセットすることでバスケットを固定します。

参考

- デスクトップバスケットの使い方は、「デスクトップバスケットを使用する」を参照してください。

製品の操作方法

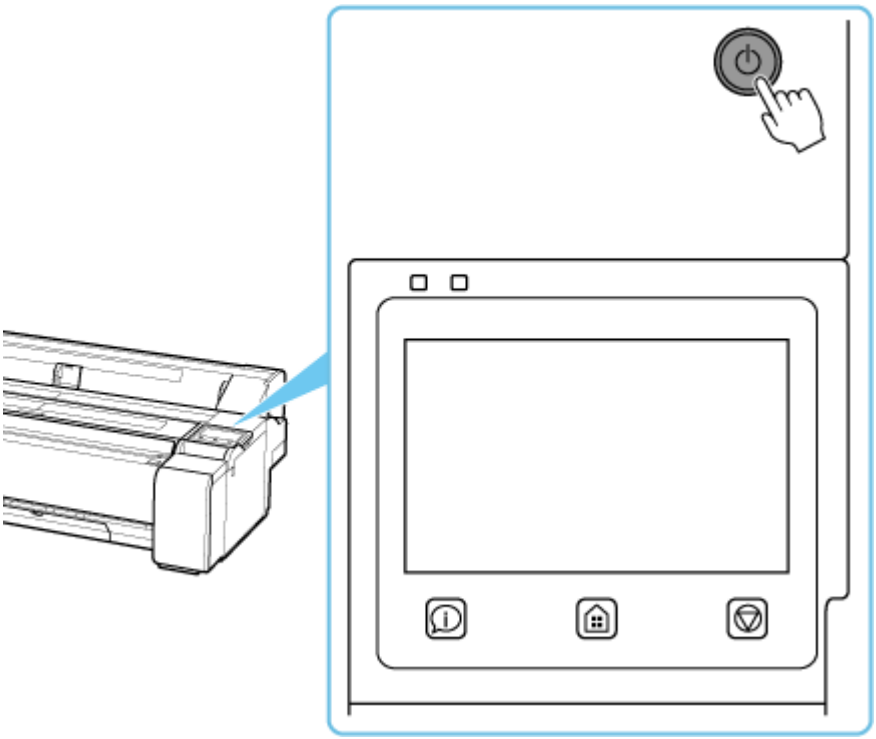
- **電源を入れる／切る**
- **ロール紙をプリンターにセットする**
- **カット紙をプリンターにセットする**
- **原稿をスキャナーユニットにセットする**
  - スキャンできる原稿について
- **プリンタースタンドのバスケットを使用する**
  - バスケットのポジション例
- **デスクトップバスケットを使用する**
- **印刷／コピー／スキャンを中止する**
- **印刷を一時停止状態にする**

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 電源ボタンを押して、プリンターの電源を入れる

電源ボタンが点灯し、プリンターが起動します。



起動が完了するとスタンバイ状態になります。



重要

- 電源を入れて起動画面が表示された後は、初期設定ではホーム画面が表示されます。ステータス画面を表示するように設定することも可能です。

  ➡ ステータス画面とホーム画面のメニュー構成

以下の場合は、スタンバイ状態になりません。必要な処置を行ってください。

- **タッチスクリーンに［エラー］が表示された場合**

  タッチスクリーンのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。

- **電源ボタンやデータランプが一度も点灯しなかったり、タッチスクリーンに何も表示されない場合**

  電源コードやコンセントの接続を確認してください。

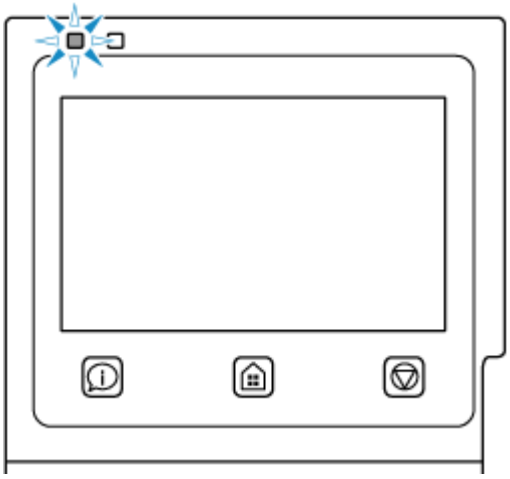
電源を切る

重要

- プリンターの動作中は、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンターの故障や破損の原因になります。

1. プリンターが動作中でないことを確認する

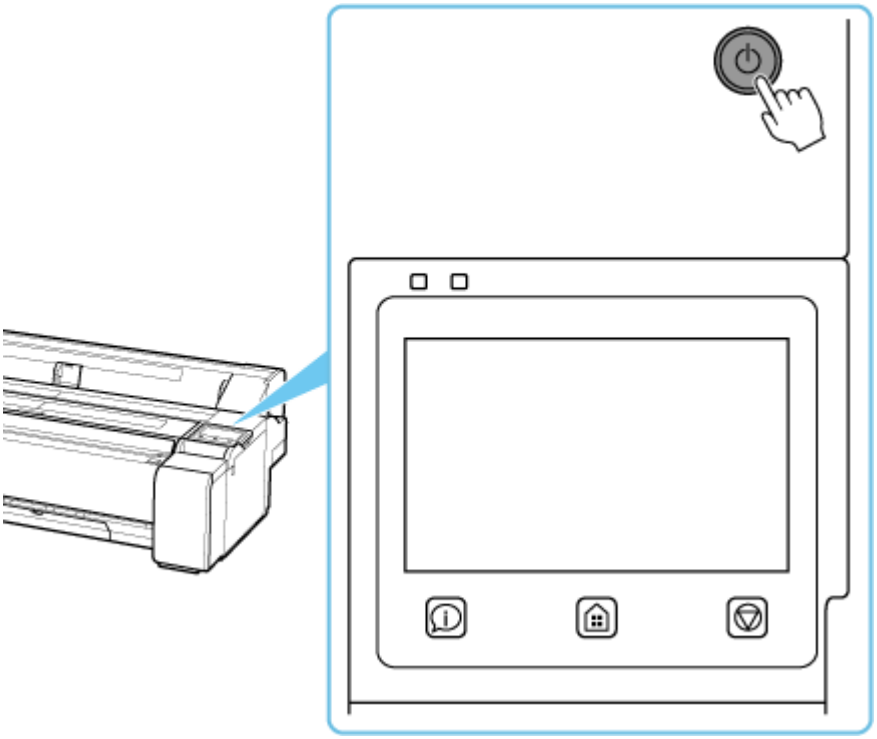
データランプの点滅中はプリンター動作中です。



エラーランプが点滅または点灯している場合は、タッチスクリーンのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。

データランプが点滅している場合は、印刷やデータの受信など動作中です。点灯している場合は、処理待ちのデータがある状態です。

2. 電源ボタンを 1 秒以上押し続ける



タッチスクリーンが消灯し、電源が切れます。

参考

- リモート UI からプリンターの電源を切ることもできます。

  ポータル画面の［設定/登録］→［デバイス管理］→［リモートシャットダウン］から、電源を切ります。

  ➡ リモート UI を起動する

- 電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

  電源を切っても、以下のデータは消去されずに保持されます。

  – 待機中の送信データ

プリンターを再起動する

プリンターの設定を変更した場合は、設定項目によっては変更を反映するために、プリンターを再起動する必要があります。

1. プリンターの電源を切る

➡ 電源を切る

2. 電源が切れた後、プリンターの電源を入れる

➡ 電源を入れる

参考

- リモート UI からプリンターの再起動することもできます。リモート UI を使用して操作をおこなう場合には、管理者権限が必要です。

  ポータル画面の［設定/登録］→［デバイスの再起動］から、プリンターの再起動を実行します。

➡ リモート UI を起動する

原稿をスキャナーユニットにセットする

以下の手順で原稿をセットします。

重要

- スキャナーを使用する前に、原稿の状態を確認してください。

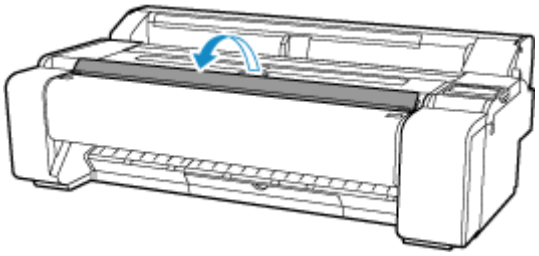
  紙詰まりや故障を防ぐため、濡れた原稿やホコリのついた原稿、給紙可能サイズを超える原稿はセットしないでください。

  ➡ スキャンできる原稿について
- 傷つけたくない原稿や非常に薄い原稿、しわがある原稿などをスキャンする場合は、市販のキャリアシートをご使用ください。

  ➡ キャリアシートについて
- カールした原稿は、できるだけ平らにしてからスキャンしてください。
- 原稿は 1 枚ずつセットしてください。
- 原稿給紙口に異物が入り込まないようにしてください。
- コピーやスキャンをする際は、原稿給紙口に強い光が当たらないようにしてください。

1. ロール紙カバーが閉じていることを確認する

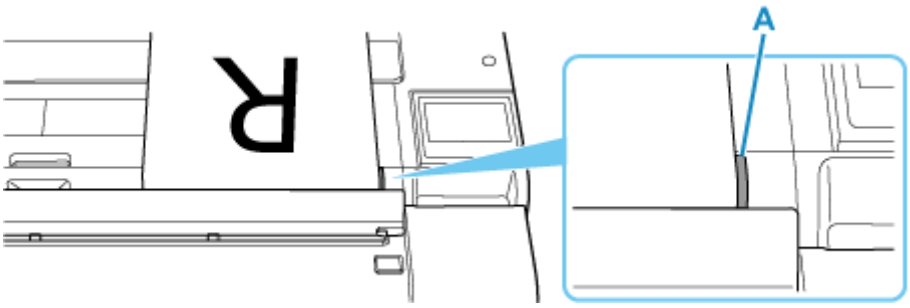
2. 原稿給紙口カバーを上げる



参考

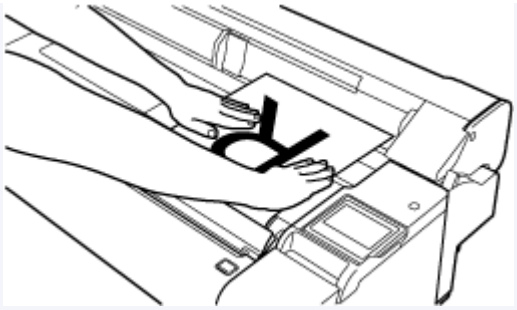
- 厚く剛性の高い紙をスキャンするときに、原稿と原稿給紙口カバーが接触する場合は、原稿給紙口カバーを完全に開いてください。

3. 読み取る面を上にして、原稿の右端を原稿給紙口のガイド（A）に合わせる

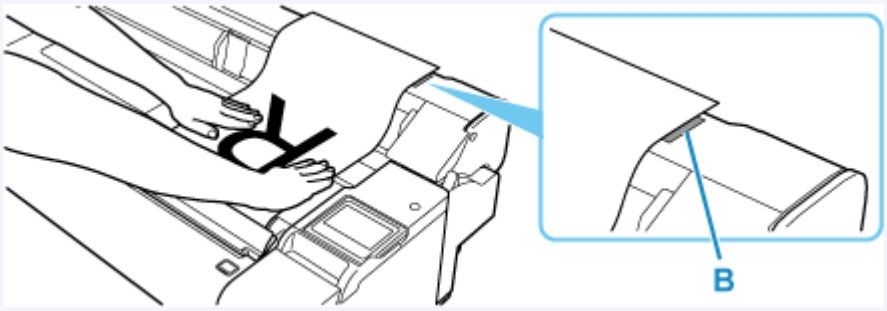


参考

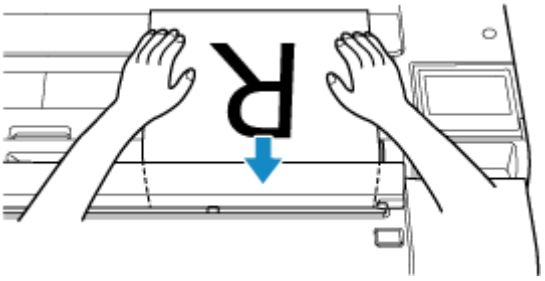
- 原稿をプリンター上面に置いて位置を合わせることをおすすめします。



- 原稿が長尺の場合はロール紙カバーのガイド（B）を参考にして、原稿が斜めにならないようにしてください。



4. 原稿の先端を原稿給紙口の奥に突き当てる

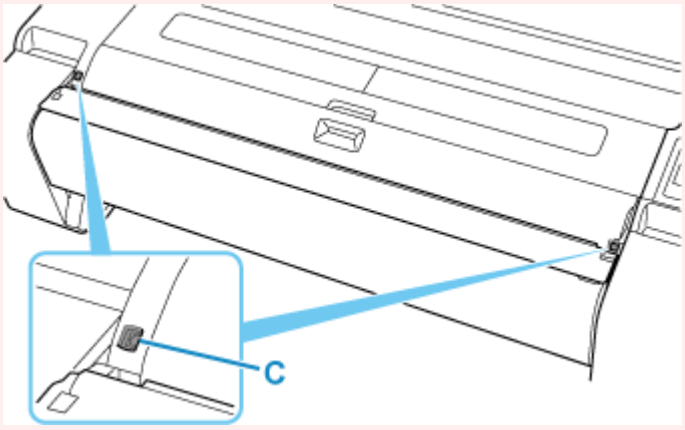


原稿の先端が原稿給紙口の奥に突き当たると、原稿が少し引き込まれます。

その後、音が鳴り、原稿が自動的に読み取り開始位置まで給紙されます。

重要

- 自動給紙中およびスキャン中に、原稿の引き込みを妨げないでください。
- 自動給紙中およびスキャン中に原稿給紙口カバーを下げたり、原稿給紙口付近のセンサー（C）に触れたりしないでください。スキャンが停止します。



参考

- 原稿をセットしなおす場合は、タッチスクリーンの  （原稿取り出しボタン）を選び、原稿を取り出します。

スキャンできる原稿について

原稿のサイズ

「原稿の幅／長さ」は、本製品に通紙可能な原稿のサイズを示します。

「スキャン可能幅／長さ」は、本製品が読み取り可能な原稿のサイズを示します。

項目	内容
原稿の幅（TM-610M / TM-5610M）	153 mm（6 in.）～ 927 mm（36.5 in.）
スキャン可能幅（TM-610M / TM-5610M）	153 mm（6 in.）～ 914 mm（36 in.）
原稿の幅（TM-510M / TM-5510M）	158 mm（6.2 in.）～ 622 mm（24.5 in.）
スキャン可能幅（TM-510M / TM-5510M）	153 mm（6 in.）～ 610 mm（24 in.）
原稿の長さ	200 mm（7.9 in.）～ 8304 mm（326.9 in.）
スキャン可能長さ（JPEG・解像度：600 dpi）*	120 mm（4.7 in.）～ 2768 mm（109.0 in.）
スキャン可能長さ（JPEG・解像度：300 dpi）	120 mm（4.7 in.）～ 5536 mm（218.0 in.）
スキャン可能長さ（JPEG・解像度：200 dpi）	120 mm（4.7 in.）～ 8304 mm（326.9 in.）
スキャン可能長さ（PDF・解像度：600 dpi）	120 mm（4.7 in.）～ 2768 mm（109.0 in.）
スキャン可能長さ（PDF・解像度：300 dpi）	120 mm（4.7 in.）～ 5080 mm（200.0 in.）
スキャン可能長さ（PDF・解像度：200 dpi）	120 mm（4.7 in.）～ 5080 mm（200.0 in.）
原稿の厚さ（キャリアシートを含む）	0.07 mm（3 mil）～ 0.8 mm（31 mil）**

* コピー時も同じ範囲が適用されます。

** 原稿の剛性によっては、この範囲内でもスキャンできない場合があります。

原稿の用紙種類

- 普通紙
- コート紙
- トレーシングペーパー
- 青焼き

参考

- 市販のキャリアシートを使用することで、以下の原稿もセットできます。
  - 光沢紙
  - フィルム

スキャンできない原稿について

紙詰まりや故障の原因となるため、以下のような原稿はセットしないでください。

- ホチキスの針やクリップ、のりが付いている
- 表面や素材がざらざらしている
- インクが乾いていない
- 裏がカーボンになっている
- ほこりなどの汚れがついている

- 破れている
- 形状が不規則である
- カールが強い

キャリアシートについて

以下のような原稿をスキャンする際は、市販のキャリアシートのご使用をおすすめします。

- 傷をつけたくない原稿
- 表面、材質が脆弱な原稿
- 薄く剛性が低い原稿
- しわがある原稿
- 複数枚の原稿を一つに綴じたもの

プリンタースタンドのバスケットを使用する

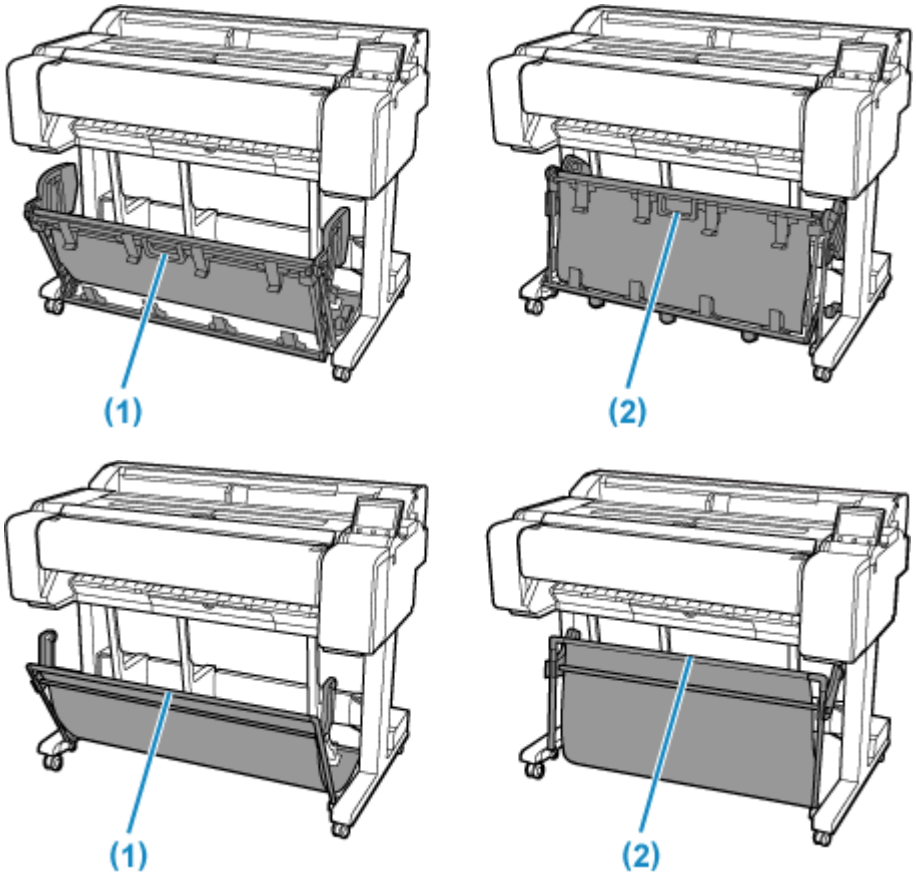
バスケットに印刷物を収容することができます。

SD-35 / SD-34 / SD-26 / SD-25

バスケットに印刷物を収容するときは、(1) の位置で使用します。印刷物の取り出しに便利な取り出しポジションの使用方法は、「バスケットのポジション例」を参照してください。

➡ バスケットのポジション例

バスケットを使用しないときは、(2) の位置に収納します。



重要

- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず (1) の位置で使用してください。(1) の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
- バスケットには、長さ 48 インチ(1219.2mm)までの用紙を収容できます。
- スタンドを移動するときは、バスケットが床に擦れないように注意し、4 つのキャスターのロックをすべて解除して動かしてください。バスケットの破損や床の傷、けがの原因になります。
- バスケットの布の部分が汚れてしまった場合は、洗わずに、汚れを拭き取ってください。洗うとバスケットの性能に影響を及ぼす可能性があります。
- プリンターを移動するときは、必ず補助ロッドを取り出しポジション A の位置に上げてから (2) の位置にしてください。バスケットが床にすれて、汚れたり破損したりする場合があります。

➡ バスケットのポジション例

バスケットのポジション例

普通紙で線画を印刷する場合、バスケットは通常のポジションのほかに、印刷物の取り出しに便利な 2 種類の取り出しポジションで使用できます。

これらの取り出しポジションでは、印刷物を約 20 枚までバスケットに重ねることができます。

それぞれの取り出しポジションで使用できる用紙サイズは下表の通りです。用紙のサイズと向きに応じて、適切なポジションで使用してください。

重要

- 以下の場合は、通常ポジションで使用してください。通常ポジションで複数枚印刷する場合は、印刷物をバスケットから 1 枚ずつ取り出してください。
  - 普通紙以外の用紙
  - 下表に無いサイズおよび線画以外の印刷物
  - 用紙の特性や使用環境により、用紙が強くカールする場合
  - ロール紙の残量が少なく、用紙が強くカールする場合
- 印刷後は通常ポジションに戻してください。

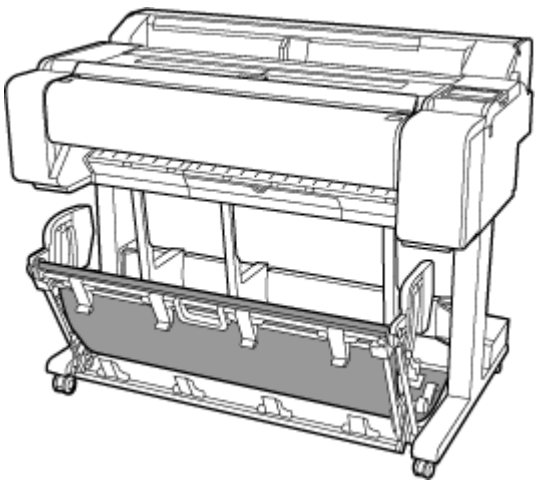
取り出しポジション A

印刷方向	SD-35 / SD-34	SD-26 / SD-25
縦長	36"x48" (ARCH E) (914.4 x 1219.2 mm) 24"x36" (ARCH D) (609.6 x 914.4 mm) A0 (841.0 x 1189.0 mm) A1 (594.0 x 841.0 mm)	24"x36" (ARCH D) (609.6 x 914.4 mm) A1 (594.0 x 841.0 mm)

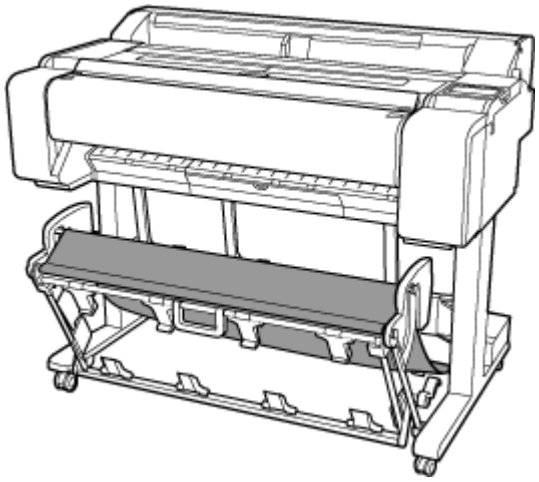
取り出しポジション B（SD-35 / SD-26 のみ）

印刷方向	SD-35	SD-26
横長	24"x36" (ARCH D) (609.6 x 914.4 mm) 18"x24" (ARCH C) (457.2 x 609.6 mm) A1 (594.0 x 841.0 mm) A2 (420.0 x 594.0 mm)	18"x24" (ARCH C) (457.2 x 609.6 mm) A2 (420.0 x 594.0 mm)

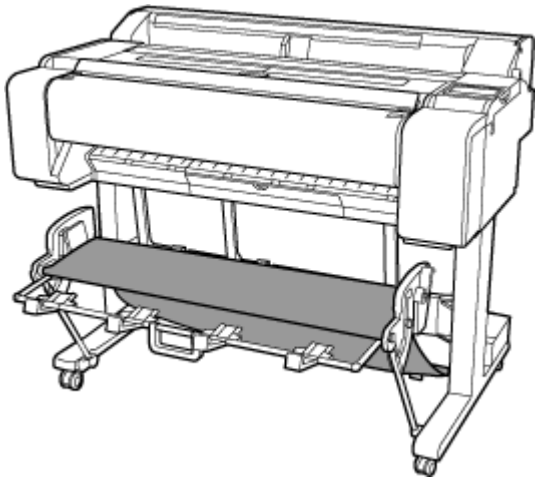
通常ポジション



取り出しポジション A



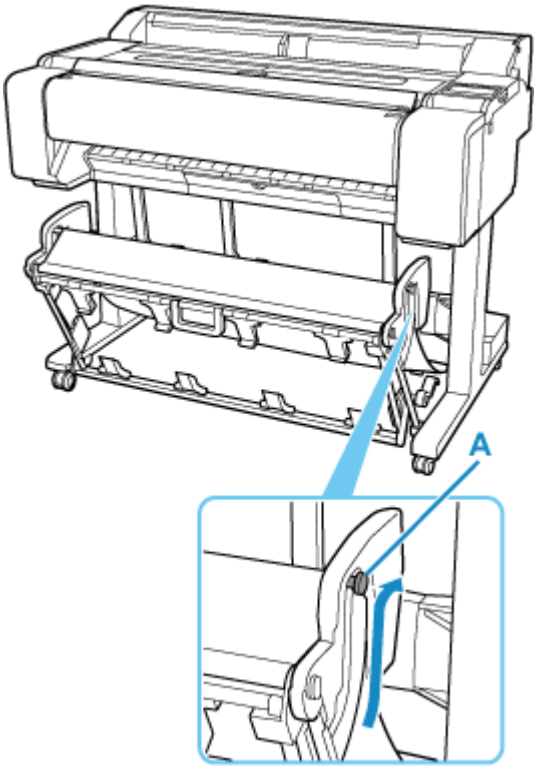
取り出しポジション B（SD-35 / SD-26 のみ）



取り出しポジション A に切り替える

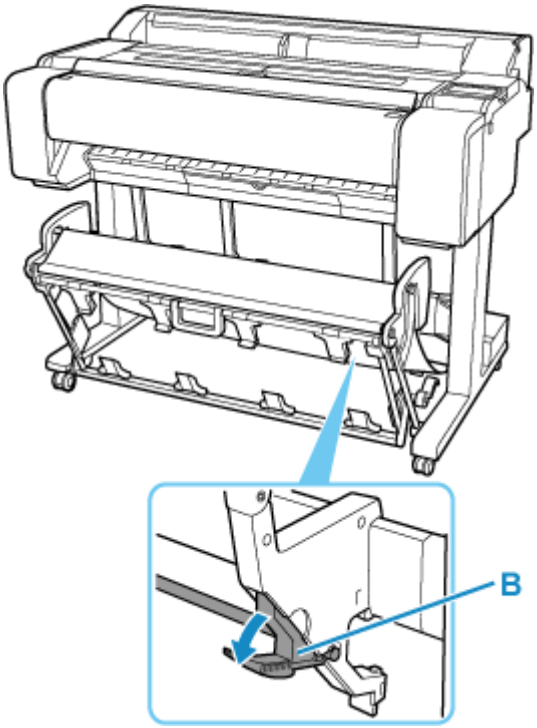
以下の手順で取り出しポジション A に切り替えます。

1. 補助ロッドを図の位置（A）まで上げ、取り出しポジション A に切り替える



2. 幅が 24 インチまたは A1（縦）のロール紙を使用する場合は、切り替えストッパー（B）を引き出す

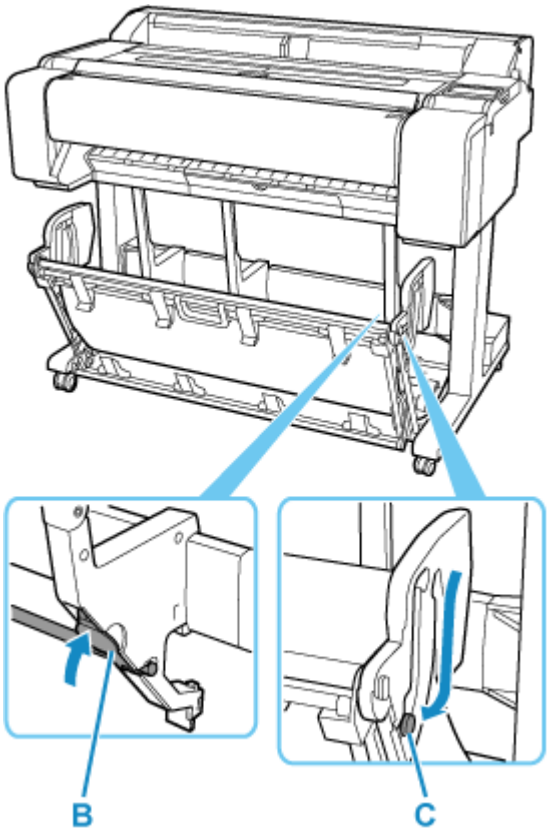
これで、取り出しポジション A への切り替えは完了です。



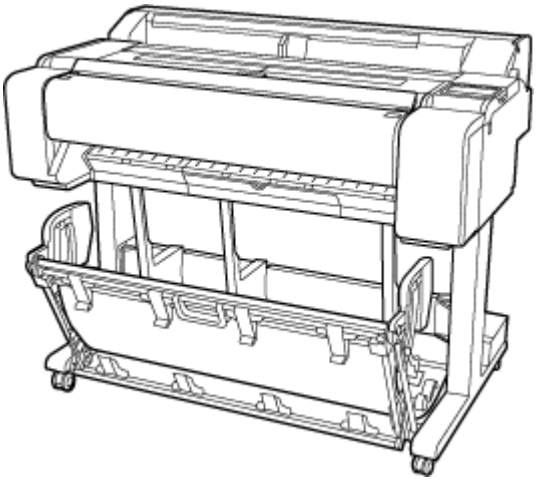
印刷が終わったら以下の手順で通常ポジションに戻してください。

1. 補助ロッドを図の位置（C）まで下げ、通常ポジションに戻す

切り替えストッパー（B）が引き出されている場合は収納します。



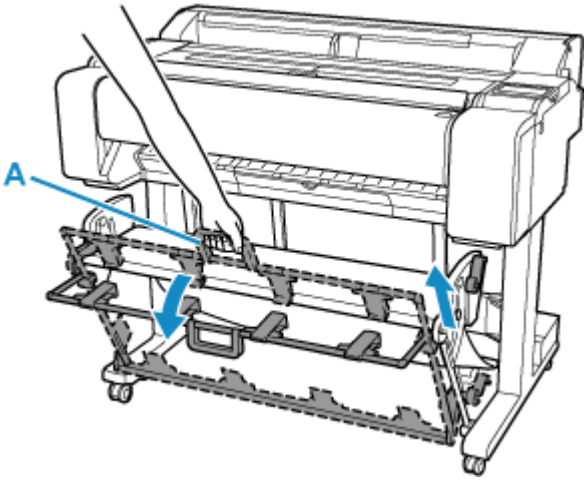
2. 通常ポジションに戻る



取り出しポジション B に切り替える（SD-35 / SD-26 のみ）

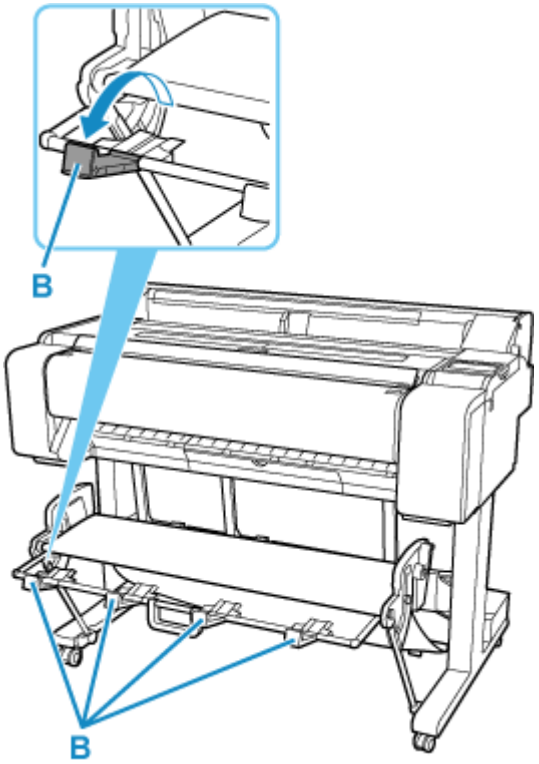
以下の手順で取り出しポジション B に切り替えます。

1. バスケットハンドル（A）を持ってバスケットを引き出し、手前に倒す



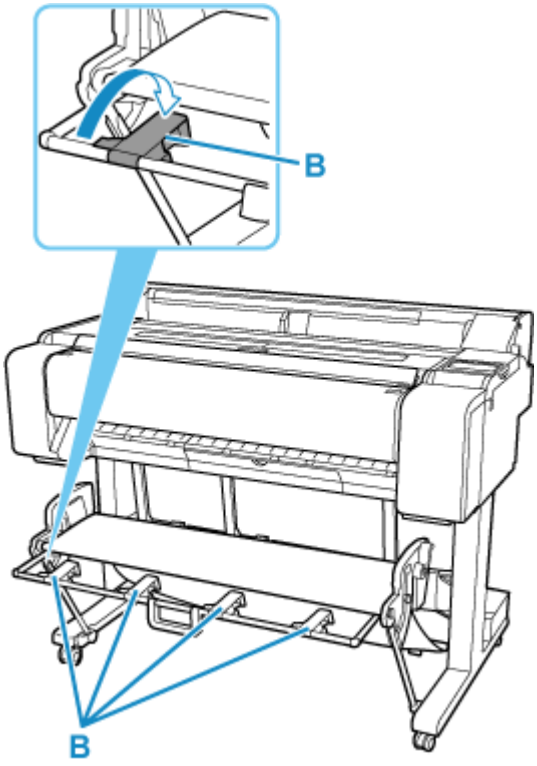
2. バスケット排紙ガイド（B）を開く

これで取り出しポジション B への切り替えは完了です。

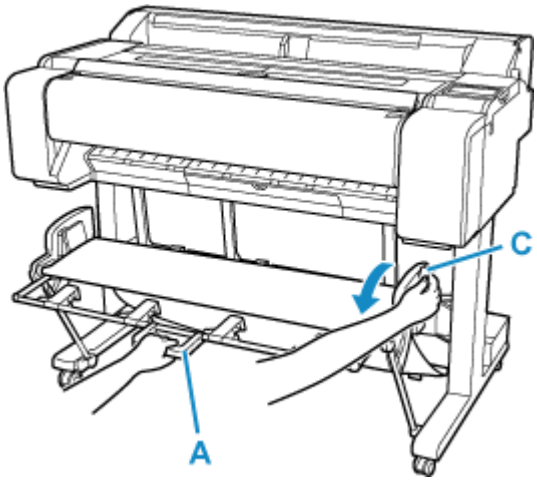


印刷が終わったら以下の手順で通常ポジションに戻してください。

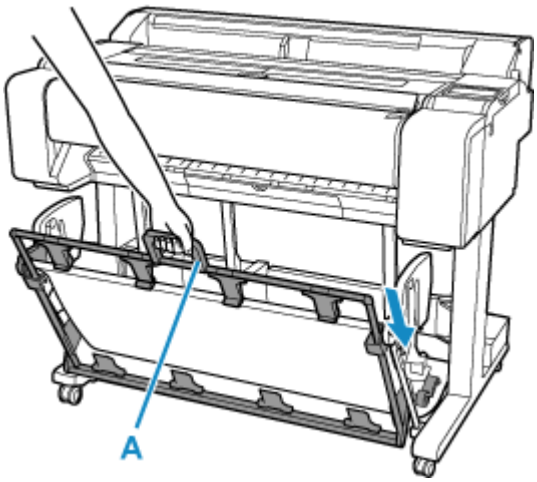
1. バスケット排紙ガイド（B）をカチッと音がするまで閉じる



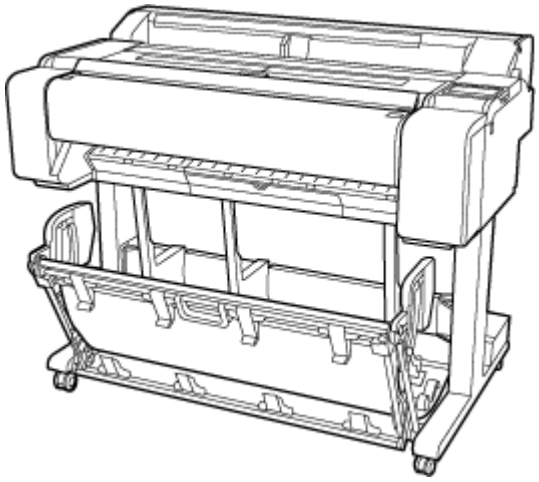
2. バスケットハンドル（A）を持ちながら、バスケットリリースレバー（C）を手前に引く



3. バスケットハンドル（A）を持ったままゆっくりとバスケットをおろす



4. 通常ポジションに戻る

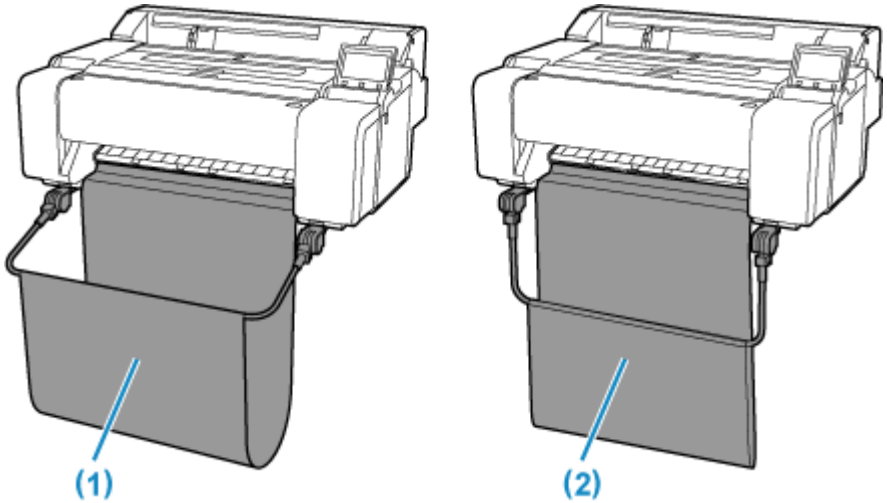


デスクトップバスケットを使用する

バスケットに印刷物を収容することができます。

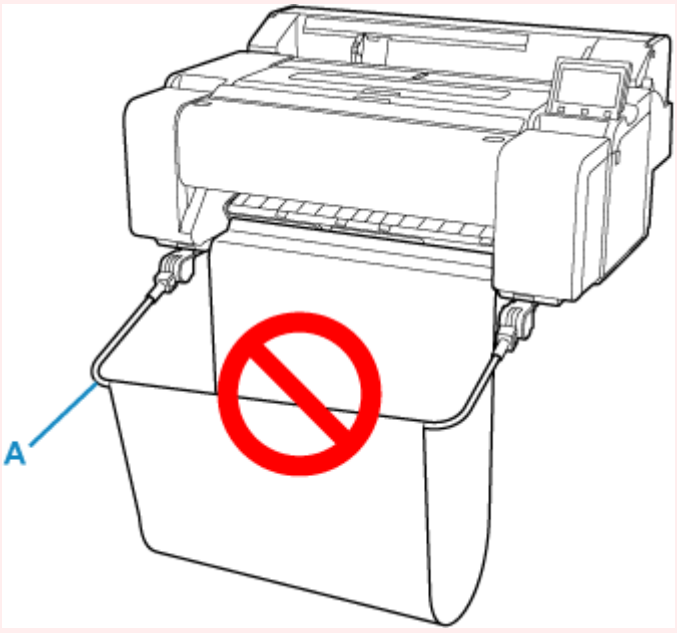
バスケットに印刷物を収容するときは、(1) の位置で使用します。

バスケットを使用しないときは、(2) の位置に収納します。



重要

- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず (1) の位置で使用してください。(1) の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに印刷物を収容するときは、バスケットアーム (A) の手前側が水平になるように左右均等に持ち上げて使用してください。



- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
- バスケットには、長さ 914.4 mm (36.0 in.)までの用紙を収容できます。

  それ以上の長さの用紙に印刷する場合は、バスケットを閉じて、排出された用紙を手で保持してください。用紙が落下すると印字面が汚れたり、傷つくことがあります。また、印刷中は無理に用紙を引っ張らないでください。

- ロール紙幅に対して長さが短い印刷物の場合、真下に落ちずにバスケットに収まらない可能性があります。短い印刷物は、イジェクトカットを使用することをお勧めします。

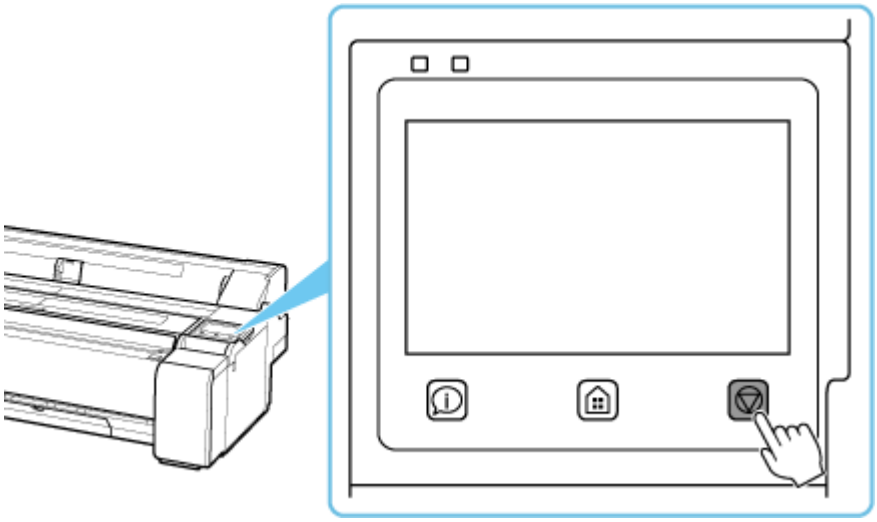
  ➡ ロール紙のカット方法を設定する
- バスケットの布の部分が汚れてしまった場合は、洗わずに、汚れを拭き取ってください。洗うとバスケットの性能に影響を及ぼす可能性があります。
- プリンターを持ち上げたり動かしたりすると、バスケットアダプターが外れ、バスケットが落下する恐れがあります。

印刷／コピー／スキャンを中止する

ジョブを受信中、または実行中にタッチスクリーンで［中止］を選ぶと、ジョブを中止することができます。



上記の画面が表示されていない場合は、操作パネルのストップボタンを押して、画面の指示に従ってジョブを中止します。



印刷を一時停止状態にする

印刷中に、［印刷の一時停止］を［する］に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンターは印刷停止状態になります。

印刷停止状態では、すべての印刷が実行されません。

印刷停止状態を解除するには［印刷の一時停止］を［しない］に設定します。

参考

- 以下の場合は、［印刷の一時停止］を［しない］に設定しなくても印刷停止状態が解除されます。
  - 給紙した場合
  - 用紙設定表示部から用紙の種類を変更した場合

1. 印刷中に、ホーム画面またはステータス画面で［状況確認］を選ぶ

2.［印刷の一時停止］を選ぶ

3.［する］を選ぶ

プリント

- **パソコンから印刷する（Windows）**
  - かんたんな設定で印刷する
  - 写真やビジネス文書を印刷する
    - 印刷目的を設定して印刷する
    - PosterArtist で編集して印刷する
  - CAD 図面を印刷する
    - 印刷目的を設定して印刷する
  - 拡大／縮小印刷をする
  - オーバーサイズの用紙サイズに印刷する
  - 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）
  - ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）
  - もっと見る…
- **パソコンから印刷する（macOS）**
  - かんたんな設定で印刷する
  - 拡大／縮小印刷をする
  - オーバーサイズの用紙サイズに印刷する
  - 用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）
  - ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）
  - もっと見る…
- **HP-GL/2 を使用して印刷する**
- **Chromebook で印刷する**
- **スマートフォン／タブレットから印刷する**
  - Canon PRINT でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
  - iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）
  - Mopria®について
  - Canon Print Service を利用して印刷する
- **印刷ジョブの管理**

- 印刷ジョブを削除する
- プリント状況や履歴を確認する

パソコンから印刷する（macOS）

- かんたんな設定で印刷する
- 部数と印刷順序を設定する
- 印刷品質の変更や画像データの補正
- 拡大／縮小印刷をする
- オーバーサイズの用紙サイズに印刷する
- 用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）
- カスタムサイズのロール紙幅を設定する
- 場面に合わせてフチなしで印刷する
- ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）
- 分割して印刷する／まとめて印刷する
- 原稿を用紙の中央に印刷する
- ロール紙を節約して印刷する
- 目的に合わせて給紙方法を切り替える
- 印刷後にロール紙をカットする
- AirPrint で印刷する

かんたんな設定で印刷する

プリンターで適切な印刷を行うための、かんたんな設定手順を説明します。

1. **プリンターの電源が入っていることを確認する**

2. **プリンターに用紙をセットする**

   プリンターにロール紙、またはカット紙をセットします。

3. **プリンターを選ぶ**

   プリントダイアログの［プリンタ］でお使いの機種名を選びます。



4. **用紙サイズを選ぶ**

   ［用紙サイズ］で使用する用紙サイズを選びます。
   必要に応じて、部数や印刷するページ、方向を設定します。

5. **［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ**



6. 用紙の種類を選ぶ

[用紙の種類]で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

[自動(プリンター設定に従う)]が選ばれているときは、プリンター本体で設定した用紙に印刷されます。



重要

- [プリセット]で[現在の設定をプリセットとして保存...]をクリックすると、設定した内容を登録できます。
- キヤノン純正紙またはキヤノン出力確認紙については、「用紙情報一覧」を参照してください。

7. 給紙方法を選ぶ

[給紙方法]で目的に合ったものを選びます。

8. 優先画質を選ぶ

[優先画質]で、[写真・イラスト]、[線画・文字]、[自動(プリンター設定に従う)]から目的に合ったものを選びます。

重要

- 用紙の種類の設定によっては、選べる優先画質が異なります。

9. 印刷品質を選ぶ

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］、［速い］から目的に合ったものを選びます。

重要

- 印刷設定によっては、選べる印刷品質が異なります。

10. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ



11. ロール紙幅を選ぶ

［品位と用紙の種類］の［給紙方法］でロール紙を選んだ場合は、［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

重要

- ［給紙方法］でカット紙を選んだ場合は、［ロール紙幅］はグレー表示となり、設定できません。

12. 設定を完了する

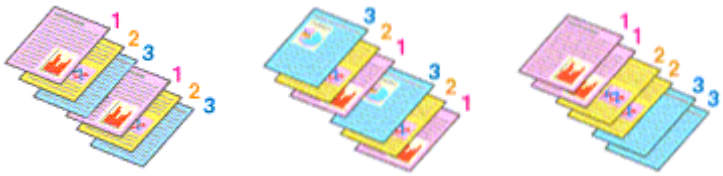
［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、用紙の種類やサイズに合った印刷を行います。

参考

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、プリンター本体の操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

部数と印刷順序を設定する

［丁合い］＋［逆送り］　［丁合い］＋［通常］　　［逆送り］



部数と印刷する順序を設定する手順を説明します。

1. 部数を設定する

プリントダイアログの［部数］で印刷する部数を設定します。

2. ［用紙処理］を選ぶ



3. ［部数］を 2 部以上に設定した場合は、［丁合い］を設定する

1 部ずつまとまるように印刷したいときは、［丁合い］をオンにします。
同一ページでまとまるように印刷したいときは、オフにします。

4. 印刷順序を設定する

［シートの順序］を確認します。

［逆送り］を選んだ場合は、最終ページから印刷されます。
［自動］、または［通常］を選んだ場合は、最初のページから印刷されます。

5. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した部数や印刷順序で印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。

印刷品質の変更や画像データの補正

- カラーバランスを調整する
- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 色補正の方法を指定する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

カラーバランスを調整する

印刷時にプリントの色合いを調整することができます。
各色のインク量のバランスを変更してカラーバランスの調整を行うため、原稿全体の色相が変化します。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。
下のサンプルでは、全体の色が均一に変化するようにシアンを強くし、イエローを弱くして印刷した場合を表示しています。


補正なし


カラーバランスを調整

カラーバランスを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. カラーバランスを調整する

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］の色別のスライドバーがあり、それぞれの色は右に動かすほど強く、左に動かすほど弱くなります。例えば、シアンを弱くすると補色であるレッドが強くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したカラーバランスで印刷されます。

重要

- ［品位と用紙の種類］の［カラーモード］で［モノクロ］または［モノクロ(二階調)］を選んでいる場合、カラーバランス（［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］）は設定できません。［カラーマッチング］で［ColorSync］を選んだとき、カラーバランス（［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］）はグレー表示となり設定できません。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

印刷品質を設定する（ユーザー設定）

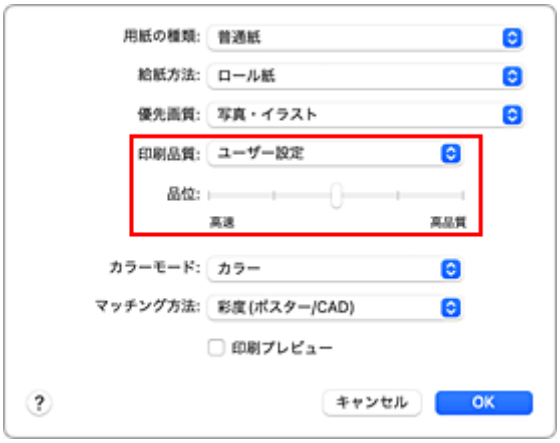
［ユーザー設定］で、印刷品質のレベルを設定することができます。

印刷品質のレベルを設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 印刷品質を選ぶ

［印刷品質］で［ユーザー設定］を選びます。



重要

- ［用紙の種類］で［自動(プリンター設定に従う)］を選んでいる場合、［ユーザー設定］は選べません。

3. 印刷品質のレベルを設定する

［品位］のスライドバーをドラッグし、印刷品質のレベルを選びます。

重要

- 用紙の種類の設定によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

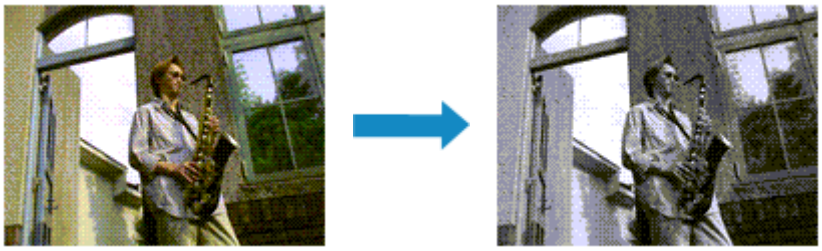
4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、選んだ印刷品質のレベルで印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

カラーの原稿をモノクロで印刷する



カラーで作成した原稿を、モノクロで印刷する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. モノクロ印刷を設定する

［カラーモード］で［モノクロ］または［モノクロ(二階調)］を選びます。



3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿はモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

参考

- モノクロ印刷では、ブラックインク以外のインクも使用して印刷を行う場合があります。

重要

- ［用紙の種類］や［優先画質］の設定によっては、［モノクロ(二階調)］はグレー表示となり設定できません。

色補正の方法を指定する

印刷する原稿の種類に合わせて、色補正の方法を指定することができます。
通常は、プリンタードライバーで色の補正が自動で行われて印刷されます。

画像データの色空間を有効活用して印刷する場合や、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを指定して印刷する場合は［ColorSync］を、プリンタードライバーで色を補正して印刷する場合は［Canon カラー・マッチング］を選んでください。

色補正の方法を指定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ



2. 色補正の方法を選ぶ

以下から目的に合ったものを選びます。

［ColorSync］
ColorSync による色補正を行います。

［Canon カラー・マッチング］
ドライバーで補正して印刷します。
ドライバー補正については、「プリンタードライバーで色の補正を行う」を参照してください。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した色補正の方法で印刷されます。

重要

- お使いのアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフト側で印刷用の ICC プロファイルを指定した場合、［ColorSync］が選ばれているため、［Canon カラー・マッチング］は選べません。

- ［ColorSync］または［Canon カラー・マッチング］を選んでいても、［品位と用紙の種類］の設定は必要です。

関連項目

- 画像データに適した写真印刷を行うには
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）
- ICC プロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定する）

画像データに適した写真印刷を行うには

デジタルカメラで撮影した画像を印刷すると、撮影したイメージや、モニターに表示される色と違う色で印刷されていると感じることがあります。
印刷結果を希望する色合いに近づけるには、使用するアプリケーションソフトや目的に応じて適切な印刷方法を選ぶ必要があります。

カラーマネジメントとは

デジタルカメラ、スキャナー、モニター、プリンターなど、それぞれの機器で取り扱える色が異なります。それぞれの機器ごとに持っている固有の「色」を、共通の色空間で管理するための方法がカラーマネジメント（カラーマッチング）です。

カラーマネジメントシステムは、macOS では「ColorSync」という名称で OS に内蔵されています。
共通の色空間として多く使用されているものに sRGB があります。

それぞれの機器の持つ固有の「色」を、共通の色空間に変換するのに必要なものが、ICC プロファイルです。ICC プロファイルを利用してカラーマネジメントを行うことで、画像データが持っている色空間をプリンターで表現できる色再現領域内で引き出すことが可能になります。

参考

- 通常、画像ファイルは JPEG 形式で保存されます。デジタルカメラによっては、RAW という形式で画像を保存することができます。RAW データとは、パソコンで現像処理を前提としたデータの保存形式で、専用のアプリケーションソフトで画像ファイルに入力 ICC プロファイルのタグをつけることができます。

画像データに適した印刷方法を選ぶ

画像データの色空間や使用するアプリケーションソフトによって、推奨する印刷方法が異なります。

代表的なものに次の 2 つの印刷方法があります。
画像データの色空間と使用するアプリケーションソフトを確認し、目的に合った印刷方法を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーの色補正機能を指定して印刷する方法を説明しています。
印刷イメージをモニターで確認しながら色補正した場合など、モニターの表示に近い印象で印刷したいときに選びます。

ICC プロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定する）

画像データの色空間を有効活用して印刷する方法を説明しています。
アプリケーションソフトやプリンタードライバーで画像データの入力 ICC プロファイルに合わせたカラーマネジメントを設定することで共通の色空間で印刷できます。
使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーで補正して印刷したい場合は、プリンタードライバーの色補正機能を指定します。モニターに表示されているデータの特性を正しく反映し、モニターの表示に近い印象の印刷結果を得ることができます。

重要

- プリンタードライバーで補正して印刷する場合は、モニターや環境光を次のように設定することをお勧めします。
  - モニター
    色温度：D50（5000K）
    輝度：100～120cd/m2
    ガンマ：2.2
  - 環境光
    D50 の色評価用蛍光灯（色温度 5000K、高演色性）
    印刷物を見るときの明るさ：500lx±125lx

参考

- ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから印刷する場合は、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを使用してカラーマネジメントを行う設定項目を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ

2. 色補正を選ぶ

［Canon カラー・マッチング］を選びます。

3. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

4. マッチング方法を選ぶ

［マッチング方法］で色の調整方法を選びます。

［知覚的(写真)］
一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

［彩度(ポスター/CAD)］
ポスターなどを鮮やかに再現します。また、線画に適した見やすい色で印刷します。

［色補正なし］
カラーマッチングを行わずに印刷します。

重要

- ［優先画質］で［自動(プリンター設定に従う)］を選んでいる場合、［マッチング方法］はグレー表示となり設定できません。プリンターの設定に従った色補正が行われます。

5. そのほかの項目を設定する

［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選び、必要に応じて、カラーバランス（［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］）や、［明るさ］、［コントラスト］を調整します。

6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、プリンタードライバーで色を補正して印刷されます。

関連項目

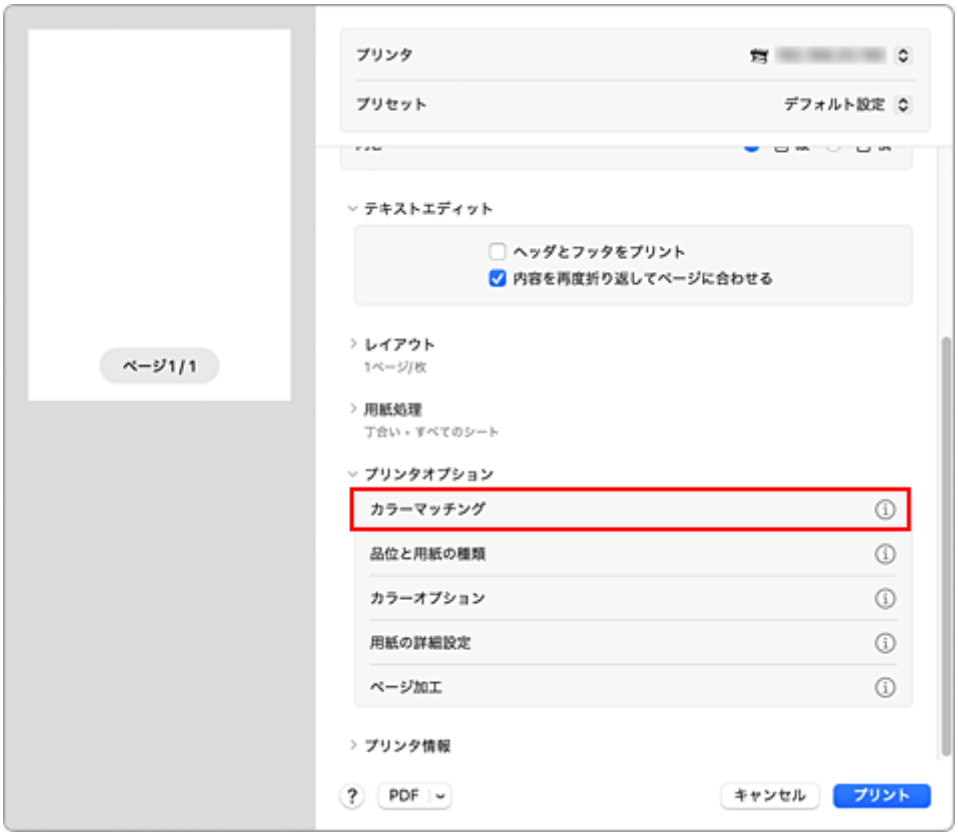
- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

ICCプロファイルを使用して印刷する（アプリケーションソフトでICCプロファイルを指定する）

Adobe Photoshop や Canon Digital Photo Professional などの、入力 ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから、macOS に内蔵されているカラーマネジメントシステム（ColorSync）を利用して印刷します。アプリケーションソフトで編集、レタッチした結果を、画像データが持つ入力 ICC プロファイルの色空間を有効活用して印刷します。

この印刷方法では、お使いのアプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選び、画像データに入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定しておく必要があります。
個人で作成した印刷用の ICC プロファイルを使用して印刷する場合も、アプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選んでください。
指定する方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ



2. 色補正を選ぶ

［ColorSync］を選びます。
［プロファイル］は［自動］のままで構いません。

重要

- お使いのアプリケーションソフトによっては、［ColorSync］以外の設定項目が選べないことがあります。
- ［プロファイル］で［自動］または「印刷用紙の ICC プロファイル」以外を選ぶと、正しい色で印刷できません。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

ICCプロファイルを使用して印刷する（プリンタードライバーでICCプロファイルを指定する）

入力ICCプロファイルを識別・指定できないアプリケーションソフトから、データの入力ICCプロファイル（sRGB）の色空間で印刷します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーマッチング］を選ぶ



2. 色補正を選ぶ

［ColorSync］を選びます。
［プロファイル］は［自動］のままで構いません。

重要

- ［プロファイル］で［自動］または「印刷用紙のICCプロファイル」以外を選ぶと、正しい色で印刷できません。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

重要

- プリンタードライバーで入力ICCプロファイルを指定することはできません。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する

- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

明るさを調整する

印刷時に画像データ全体の色を明るくまたは暗くすることができます。
下のサンプルでは、明るさを暗く調整して印刷した場合を表示しています。



補正なし



明るさを暗く調整

明るさを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. 明るさを調整する

［明るさ］のスライドバーを右に動かすほど明るく、左に動かすほど暗くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整した明るさで印刷されます。

関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- コントラストを調整する

コントラストを調整する

印刷時に画像のコントラストを調整することができます。
画像の明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。



補正なし



コントラストを調整

コントラストを調整する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［カラーオプション］を選ぶ

2. コントラストを調整する

［コントラスト］のスライドバーを右に動かすほどコントラストが強く、左に動かすほど弱くなります。スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したコントラストで印刷されます。

重要

- 以下の場合、［コントラスト］はグレー表示となり設定できません。
  - ［カラーマッチング］で［ColorSync］を選んだとき
  - ［品位と用紙の種類］の［カラーモード］で［モノクロ(二階調)］を選んだとき

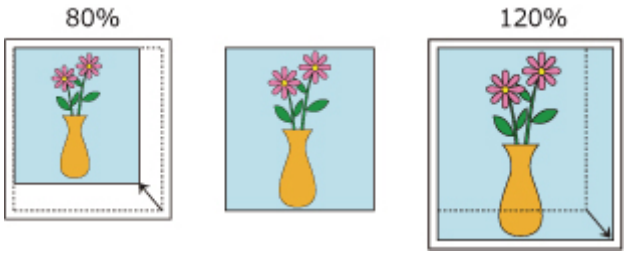
関連項目

- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する

拡大／縮小印刷をする

原稿を拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

指定した倍率で拡大／縮小して印刷する



1. プリンターを選ぶ

ページ設定ダイアログの［対象プリンタ］でお使いの機種名を選びます。



2. 拡大／縮小印刷を設定する

［拡大縮小］で倍率を設定し、［OK］をクリックします。

参考

- ［拡大縮小］に入力する数値によっては、エラーメッセージが表示される場合があります。

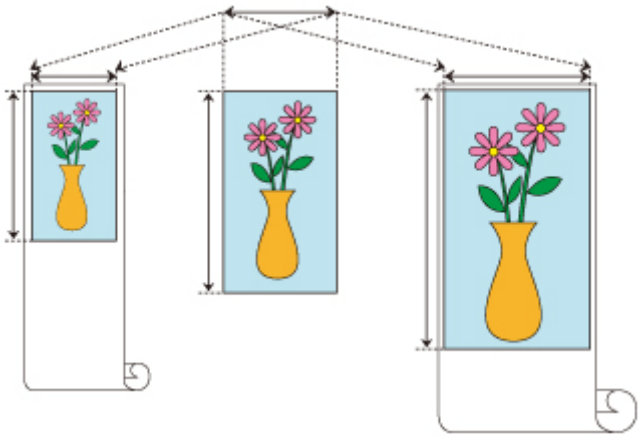
3. 設定を完了する

プリントダイアログを表示し、［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、拡大または縮小して印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小印刷機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。ページ設定ダイアログで設定する必要はありません。

ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小して印刷する



1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

2. 拡大／縮小印刷を設定する

［ロール紙の幅に合わせる］で［オン(フチあり)］または［オン(フチなし)］を選びます。

参考

- ［用紙サイズ］の設定によって、選べる設定が異なります。
- ［用紙サイズ］で「XXX オーバーサイズ」を選んでいる場合、［オン(フチなし)］は選べません。

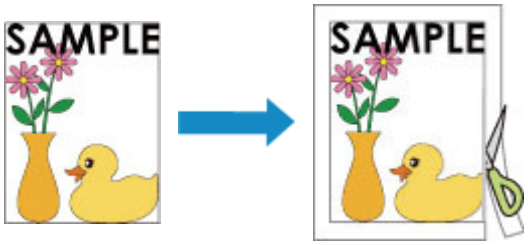
3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、ロール紙の幅に合わせて拡大または縮小して印刷されます。

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する

紙幅いっぱいに作成した原稿を印刷するとき、用紙サイズを「XXX オーバーサイズ」（原稿のサイズに、プリンターの動作に必要な余白を加えたサイズ）に設定することで、原稿のすべての領域を原寸で印刷することができます。

印刷後に周囲の余白を切り落とすことで、原稿と同じ領域の印刷が得られます。



オーバーサイズで印刷する手順を説明します。

1. オーバーサイズの用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX オーバーサイズ」を選びます。

2. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

3. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で［ロール紙］を選びます。

4. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

5. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。



6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、紙幅いっぱい原稿が印刷されます。

重要

- オーバーサイズの用紙サイズに印刷する場合、原稿のサイズに、以下の必要な余白を加えたサイズよりも大きな用紙を使用してください。

- カット紙の場合:原稿のサイズより、幅 6mm 以上、高さ 23mm 以上
- ロール紙の場合:原稿のサイズより、幅 6mm 以上、高さ 6mm 以上

参考

- プリンターにセットできる最大の用紙サイズに対してはオーバーサイズの用紙サイズは使用できません。

用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）

［用紙サイズ］で選べないサイズの用紙を使用する場合は、縦、横のサイズを任意に指定することができます。このような用紙サイズのことを「カスタム用紙サイズ」といいます。

カスタム用紙のサイズを設定する手順を説明します。

1. 新しいカスタム用紙サイズを作成する

プリントダイアログで［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理...］を選びます。
表示されたダイアログで［+］をクリックします。

一覧に新しく［名称未設定］が追加されます。

2. カスタム用紙サイズの詳細を設定する

［名称未設定］をダブルクリックし、登録する用紙サイズの名称を入力して、用紙の［幅］と［高さ］を指定します。
［余白］で［ユーザ定義］またはお使いの機種名を選びます。

3. カスタム用紙サイズを登録する

［OK］をクリックします。
カスタム用紙のサイズが登録されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに縦、横のサイズを指定する機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。アプリケーションソフトで設定できないときや、正常に印刷されないときは、プリンタードライバーから上記の手順で設定してください。

参考

- 登録した用紙サイズを複製したいときは、カスタム用紙サイズの一覧から複製したい用紙サイズを選んで、［複製］をクリックします。
- 登録した用紙サイズを削除したいときは、カスタム用紙サイズの一覧から削除したい用紙サイズを選んで、［-］をクリックします。
- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、プリンター本体の操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

カスタムサイズのロール紙幅を設定する

ロール紙の幅を数値で指定することで、［ロール紙幅］では選べない幅のロール紙を使用することができます。

カスタムサイズのロール紙幅を設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で、［ロール紙］を選びます。



3. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

4. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］で［カスタムサイズ］を選びます。

5. ロール紙幅を設定する

［幅］で使用するロール紙幅を入力します。

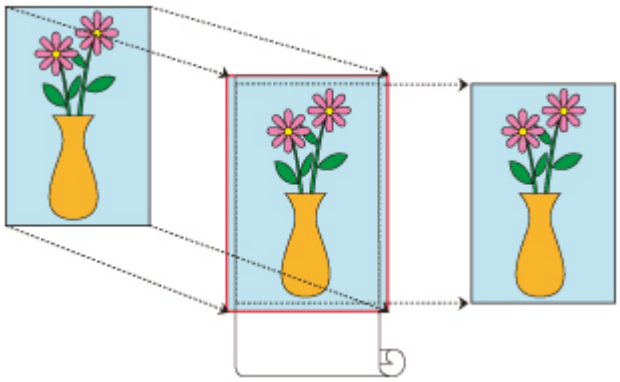
6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した幅のロール紙を使用して印刷されます。

場面に合わせてフチなしで印刷する

- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する
- 原寸大のフチなしで印刷する
- ロール紙に三辺フチなしで印刷する

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する



ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大、縮小し、フチなし印刷を行う手順を説明します。

1. フチなし印刷用の用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選びます。

2. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

3. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

4. ロール紙への印刷方法を選ぶ

［ロール紙の幅に合わせる］で［オン(フチなし)］を選びます。

5. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

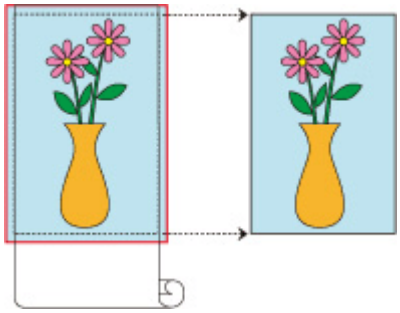
- カスタム用紙サイズを使用してフチなし印刷を行う場合は、［用紙サイズ］の［カスタムサイズを管理...］で［余白］の値をすべて 0mm に設定したカスタム用紙サイズを作成し、［ページ加工］の［ロール紙の幅に合わせる］で［オン(フチなし)］を選んでください。
- フチなし印刷の設定を行うと、［ページ加工］の［バナー印刷］、［中央に印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、［用紙の詳細設定］の［オートカット］で［なし］を選んでください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。
  ［用紙の詳細設定］の［インク乾燥時間(ページ間)］の値を長く設定すると改善する場合があります。
- フチなし印刷に対応しているロール紙は以下です。
  ➡ 用紙のサイズ

- 原稿の左右に余白ができる場合は、プリンター本体の操作パネルでフチなし時のはみ出し量を調整してください。
  はみ出し量の設定方法については、「フチなし印刷でフチが出る」を参照してください。

参考

- アプリケーションソフトで余白を設定できる場合は、余白を 0mm に設定してください。

原寸大のフチなしで印刷する



原稿の拡大、縮小を行わず、原稿と同じサイズでフチなし印刷を行う手順を説明します。

1. フチなし印刷用の用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選びます。

2. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

3. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

4. ロール紙への印刷方法を選ぶ

［ロール紙の幅に合わせる］で［オフ］を選びます。

重要

- ［用紙サイズ］の設定によっては、［ロール紙の幅に合わせる］で［オフ］を選ぶと、フチなし印刷できない場合があります。

5. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

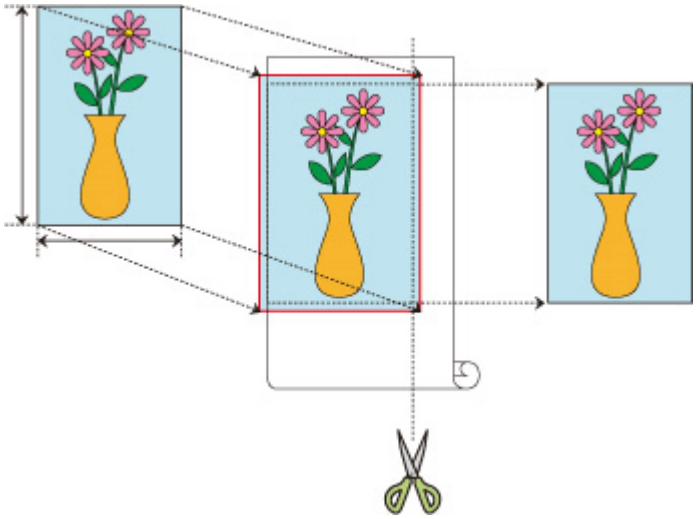
- フチなし印刷の設定を行うと、［ページ加工］の［バナー印刷］、［中央に印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、［用紙の詳細設定］の［オートカット］で［なし］を選んでください。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。
  ［用紙の詳細設定］の［インク乾燥時間(ページ間)］の値を長く設定すると改善する場合があります。
- フチなし印刷に対応しているロール紙は以下です。
  用紙のサイズ

- 原稿の左右に余白ができる場合は、プリンター本体の操作パネルでフチなし時のはみ出し量を調整してください。
  はみ出し量の設定方法については、「フチなし印刷でフチが出る」を参照してください。

参考

- アプリケーションソフトで余白を設定できる場合は、余白を 0mm に設定してください。

ロール紙に三辺フチなしで印刷する



三辺フチなし印刷機能では、用紙サイズがロール紙の幅に合わない場合に、用紙の三辺のみをフチなしで印刷します。
印刷後に用紙の右端をカットすることで、フチなし印刷の仕上がりになります。

用紙サイズに合わせて三辺フチなしで印刷する

出力用紙サイズに合わせて原稿を拡大または縮小して、用紙の三辺をフチなしで印刷する手順を説明します。

1. フチなし印刷用の用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選びます。

2. ［用紙処理］を選ぶ

3. ［用紙サイズに合わせる］をオンにする

4. 出力用紙サイズを選ぶ

［出力用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選びます。

5. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

6. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

7. ［三辺フチなし］にチェックマークを付ける

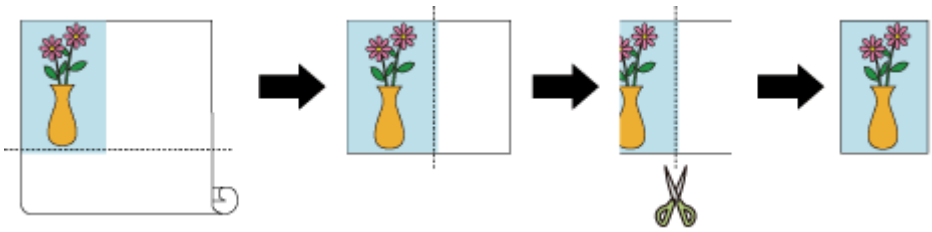


8. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、出力用紙サイズに合わせて三辺フチなしで印刷します。

9. 出力紙の右端をカットする

印刷後に、用紙右端のフチをはさみなどでカットします。
指定したサイズよりわずかにはみ出す大きさに原稿が拡大されて印刷されるため、フチの少し内側をカットしてください。
定型サイズに仕上げるためには、採寸して正確な位置でカットすることをお勧めします。



原寸大の三辺フチなしで印刷する

原稿の拡大または縮小を行わず、原稿と同じサイズで、用紙の三辺をフチなしで印刷する手順を説明します。

1. フチなし印刷用の用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選びます。

2. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

3. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

4. ［三辺フチなし］にチェックマークを付ける

5. ロール紙への印刷方法を選ぶ

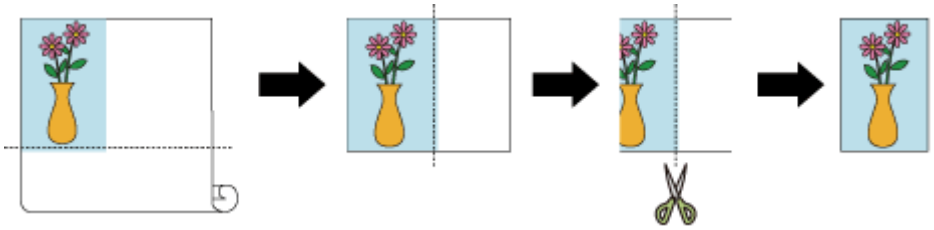
［ロール紙の幅に合わせる］で［オフ］を選びます。

6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿の大きさのまま三辺フチなしで印刷します。

7. 出力紙の右端をカットする

印刷後に、用紙右端のフチをはさみなどでカットします。
定型サイズに仕上げるためには、採寸して正確な位置でカットすることをお勧めします。



重要

- フチなし印刷の設定を行うと、［ページ加工］の［バナー印刷］、［中央に印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、［用紙の詳細設定］の［オートカット］で［なし］を選んでください。この場合、左側のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下と右側のフチをはさみなどでカットしてください。
- インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。
  ［用紙の詳細設定］の［インク乾燥時間(ページ間)］の値を長く設定すると改善する場合があります。
- フチなし印刷に対応しているロール紙は以下です。
  ➡ 用紙のサイズ
- 原稿の左端に余白ができる場合は、プリンター本体の操作パネルでフチなし時のはみ出し量を調整してください。
  はみ出し量の設定方法については、「フチなし印刷でフチが出る」を参照してください。

参考

- アプリケーションソフトで余白を設定できる場合は、余白を 0mm に設定してください。

ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）

アプリケーションソフトで作成した原稿を拡大、縮小することで垂れ幕や横断幕を作成できます。

垂れ幕や横断幕を印刷する手順を説明します。

1. カスタム用紙サイズを登録する

［用紙サイズ］から［カスタムサイズを管理...］で使用したい用紙サイズを登録します。

2. 用紙サイズを選ぶ

プリントダイアログの［用紙サイズ］で登録したカスタム用紙サイズを選びます。

3. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

4. ロール紙幅を選ぶ

［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

5. ［ロール紙の幅に合わせる］で［オン(フチあり)］、または［オン(フチなし)］を選ぶ

重要

- カスタム用紙サイズを使用してフチなし印刷を行う場合は、［用紙サイズ］の［カスタムサイズを管理...］で［余白］の値をすべて 0mm に設定したカスタム用紙サイズを作成し、［ページ加工］の［ロール紙の幅に合わせる］で［オン(フチなし)］を選んでください。

6. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、カスタム用紙サイズを使用して垂れ幕や横断幕を印刷できます。

参考

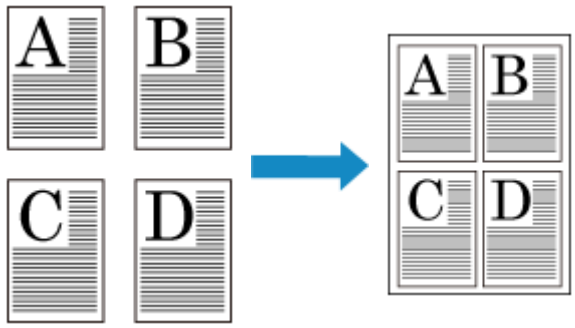
- 印刷可能な最大長さは 18.0m です。拡大したときの長さが 18.0m を超える場合は、超えないように全体が縮小されて印刷されます。

分割して印刷する／まとめて印刷する

- 複数の原稿を並べて印刷する
- 複数ページをつなげて印刷する
- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する

複数の原稿を並べて印刷する

別々に作成した複数の原稿を並べて、1 ページにまとめて印刷することができます。



複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［PDF］で Canon imagePROGRAF Free Layout を選ぶ

Canon imagePROGRAF Free Layout が起動します。
Canon imagePROGRAF Free Layout ではイメージの編集や並べ替えを行うことができます。

2. 印刷を実行する

Canon imagePROGRAF Free Layout の［ファイル］メニューから［プリント...］を選び、印刷を行います。

複数ページをつなげて印刷する

複数ページの原稿を 1 つにつなげて印刷します。このとき、ページ間の余白はなしになります。

複数ページをつなげて印刷する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で［ロール紙］を選びます。

3. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

4. バナー印刷を設定する

［バナー印刷］にチェックマークを付けます。



5. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、複数のページをつなげて印刷します。

重要

- プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）または「XXX カット紙」を選んでいる場合、［バナー印刷］はグレー表示となり設定できません。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。



複数のページを 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［レイアウト］を選ぶ



2. 1 枚の用紙に納めるページ数を設定する

［ページ数/枚］で、1 枚の用紙に納めるページ数を指定します。

3. 必要に応じて以下の項目を設定する

［レイアウト方向］

原稿を配置する順序を変えるときは、一覧から配置のしかたを選びます。

［境界線］

原稿のページのまわりを境界線で囲むときは、境界線の種類を選びます。

［ページの方向を反転］

用紙の向きを変更するときは、オンにします。

［左右反転］

原稿の左右を反転するときは、オンにします。

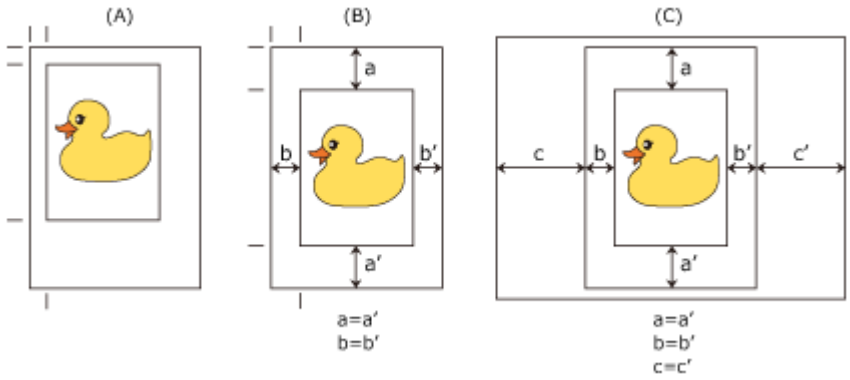
4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。

印刷を実行すると、指定したページ数、ページ順序で原稿が割り付けられます。

原稿を用紙の中央に印刷する

原稿をカット紙の中央に配置して印刷したいときや、ロール紙の幅に対して左右の余白を均等にとって印刷したいときには、［中央に印刷］機能を使用します。
［中央に印刷］に設定した場合の印刷結果は次のようになります。通常は、（A）のように印刷されるのに対し、［中央に印刷］に設定するとカット紙の場合は（B）のように、ロール紙の場合は（C）のように印刷されます。



参考

- ページ設定ダイアログの［拡大縮小］で印刷する倍率を指定して印刷すると、かならずそのページの左上の角に固定された始点を基準に拡大または縮小されます。そのため、縮小して印刷すると、用紙の下側と右側の余白が大きくなります。このとき、［中央に印刷］にチェックマークを付けると、上下左右の余白を均等にして印刷することができます。

用紙の中央に印刷する手順を説明します。

1. 用紙サイズを選ぶ

［用紙サイズ］で印刷したい用紙サイズを選びます。

2. ［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

3. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンター本体で設定した用紙に印刷されます。

4. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で目的に合ったものを選びます。

5. ［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

6. ロール紙幅を選ぶ

［給紙方法］でロール紙を選んだ場合は、［ロール紙幅］でプリンターにセットしているロール紙の紙幅と同じものを選びます。

7. 用紙の中央に印刷するよう設定する

［中央に印刷］にチェックマークを付けます。

8. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、用紙の中央に原稿を自動的にレイアウトして印刷します。

重要

- プリントダイアログの［用紙サイズ］で「XXX 縁なし」（または「XXX フチなし」）を選んでいる場合、［中央に印刷］はグレー表示となり設定できません。

ロール紙を節約して印刷する

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する
- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する

縦長の原稿をロール紙に印刷するとき、原稿を 90 度回転し、用紙に対して横向きに印刷することで、用紙を節約することができます。

原稿を 90 度回転して、用紙を節約する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ

2. 用紙節約を選ぶ

［ページを 90 度回転(用紙節約)］にチェックマークを付けます。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、縦長の原稿を 90 度回転し、用紙を節約して印刷することができます。

重要

- ［ページ加工］の［バナー印刷］にチェックマークを付けている場合、［ページを 90 度回転(用紙節約)］はグレー表示となり設定できません。
- プリントダイアログの［用紙サイズ］で縦長の用紙を選んでいるとき、縦方向の長さが［ロール紙幅］で選んでいる幅よりも長い場合は、［ページを 90 度回転(用紙節約)］は使用できません。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

ロール紙に印刷するとき、上下の余白を減らして印刷することで用紙を節約することができます。

上下の余白を減らして、用紙を節約する手順を説明します。

1. **プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ**

2. **給紙方法を選ぶ**

   ［給紙方法］で［ロール紙］を選びます。

3. **［プリンタオプション］から［ページ加工］を選ぶ**

4. **用紙節約を選ぶ**

   ［上下余白なし(用紙節約)］にチェックマークを付けます。

5. **設定を完了する**

   ［プリント］をクリックします。
   印刷を実行すると、上下の余白を減らし、用紙を節約して印刷することができます。

目的に合わせて給紙方法を切り替える

プリンターには、ロール紙、カット紙の 2 つの給紙位置があります。
用紙の種類や目的に合わせて給紙方法を使い分けることによって、より便利に印刷することができます。

給紙方法を設定する手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ

2. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、プリンターにセットしている用紙の種類と同じものを選びます。
［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンター本体で設定した用紙に印刷されます。

3. 給紙方法を選ぶ

［給紙方法］で、以下の項目から目的に合ったものを選びます。

［ロール紙］
ロール紙を使用して給紙を行います。

［カット紙］
カット紙を使用して給紙を行います。

4. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した給紙方法で印刷されます。

参考

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、プリンター本体の操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

印刷後にロール紙をカットする

自動でロール紙をカットしたり、カットラインを印刷したりする手順を説明します。

1. プリントダイアログの［プリンタオプション］から［用紙の詳細設定］を選ぶ

2. オートカットを設定する

［オートカット］から目的に合ったものを選びます。

［あり］
印刷後にロール紙を自動でカットします。

［なし］
印刷後にロール紙のカットは行いません。

［カットラインを印刷］
印刷後にロール紙を手動でカットするためのカットラインを印刷します。

参考

- 初期設定では、オートカットは［あり］に設定されています。

3. 設定を完了する

［プリント］をクリックします。
印刷を実行すると、印刷後の状態は［オートカット］で設定したとおりになります。

AirPrint で印刷する

AirPrint では、プリンタードライバーをインストールしなくても、写真、E メール、ウェブページ、文書などを印刷することができます。

重要

- AirPrint での印刷には制限事項があります。あらかじめこれらの点に注意してください。プリンターのすべての機能を使用したい場合は、Canon IJ プリンタードライバーを使用してください。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- AirPrint の動作環境
  最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- 使用条件
  Mac とプリンターが次のいずれかの方法で接続されていること
  - 同一のネットワーク上で LAN 接続されている
  - Wi-Fi ルーターを介さずに直接接続されている（ダイレクト接続）
  - USB 接続されている

お使いの Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. [システム設定] の [プリンタとスキャナ] を選ぶ

2. [プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...] をクリックする

3. [Bonjour] と表示されているお使いの機種名を選ぶ

4. [ドライバ] からお使いのプリンターを選ぶ

5. [追加] をクリックする

お使いの Mac に本製品が AirPrint プリンターとして追加されます。

Mac から AirPrint で印刷する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. プリンターに用紙をセットする

プリンターにロール紙またはカット紙をセットします。

3. お使いのアプリケーションソフトから印刷を開始する

プリントダイアログが表示されます。

4. プリンターを選ぶ

プリントダイアログの［プリンタ］でお使いの機種名を選びます。

5. 印刷設定を確認する

必要に応じて、用紙のサイズやそのほかの項目を設定します。
用紙の種類は、プリンター本体から設定してください。

参考

- プリントダイアログでは、レイアウトや印刷順序など印刷全般の設定ができます。
  印刷設定については、macOS のヘルプを参照してください。
- プリンター本体の操作パネルで［画質設定］（［カラーモード］、［印刷画質］、［印刷目的］）や［用紙設定］（［上下余白なし (用紙節約)］、［片方向印刷］）および［フチなし時の画像拡大率］を設定することができます。詳しくは「プリンター」を参照してください。

6. ［プリント］をクリックする

設定に従って印刷されます。

参考

- プリンターの電源が入ってから無線 LAN 接続（Wi-Fi）で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。プリンターがネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を実行してください。
- プリンターの Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。プリンターの LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、「AirPrint で印刷できない」を参照してください。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、設定画面の表示が異なる場合があります。

印刷ジョブを削除する

プリンターの［ストップ］ボタンを押して、印刷ジョブをキャンセルします。

AirPrint の制限事項

- プリントダイアログの［用紙サイズ］から［A2 ノビ］、［A3 ノビ］、または［13 x 22］を選んだ場合は、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
- カット紙に印刷した場合は、画像の下端が欠けることがあります。
- フチなし印刷をする場合には、用紙のサイズから設定してください。用紙によっては、左右に若干の余白が生じる場合があります。
- カット紙に印刷する場合は、縦向きで給紙してください。横向きで給紙しても、縦向きの画像が印刷されます。
- Canon IJ プリンタードライバーで対応している用紙サイズの一部に、AirPrint では非対応のサイズがあります。このサイズを使用する場合は、「カスタム用紙サイズ」を設定してください。
- Canon imagePROGRAF Free Layout および Canon imagePROGRAF Preview は使用できません。

HP-GL/2 を使用して印刷する

HP-GL/2、HP RTL 出力をサポートしているアプリケーションソフトから印刷する場合には、プロッター出力のプリンター言語設定を HP-GL/2、または HP RTL に指定してください。

HP-GL/2、HP RTL エミュレーションに関する設定は、プリンターの操作パネルで行います。詳細については、「HP-GL/2 設定について」を参照してください。

参考

- アプリケーションソフトの設定の方法はアプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

  非常に大きなデータを印刷する場合、正しく印刷できないことがあります。

スマートフォン／タブレットから印刷する

各種機器からの印刷方法については、お使いの機器やアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

iOS 機器から印刷する

- Canon PRINT でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
- iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

Android 機器から印刷する

- Canon PRINT でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
- Mopria®について
- Canon Print Service を利用して印刷する

iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

AirPrint では、特別なアプリをダウンロードしなくても、写真、E メール、ウェブページ、文書などを印刷することができます。

重要

- AirPrint での印刷には制限事項があります。あらかじめこれらの点に注意してください。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- AirPrint の動作環境
  最新バージョンの iOS／iPadOS がインストールされている iPhone および iPad
- 使用条件
  iOS 機器とプリンターが次のいずれかの方法で接続されていること
  - 同一のネットワーク上で LAN 接続されている
  - Wi-Fi ルーターを介さずに直接接続されている（ダイレクト接続）

iOS 機器から AirPrint で印刷する

1. **プリンターの電源が入っていることを確認する**

2. **プリンターに用紙をセットする**

   プリンターにロール紙またはカット紙をセットします。

3. **お使いの iOS 機器のアプリで操作アイコンをタップする**

   以下の画面は、iOS 12 の Safari から印刷するときに表示されるものです。機器やアプリによって印刷するときの画面は異なります。



メニューオプションが表示されます。

4. [プリント] をタップする



5. [オプション] の [プリンタ] から、お使いのプリンターを選ぶ

重要

- 一部のアプリでは、AirPrint に対応していないため、［オプション］が表示されない場合があります。プリンターオプションが利用できない場合は、そのアプリから印刷することはできません。

6. 印刷設定を確認する

必要に応じて、印刷部数や印刷オプションを設定します。

7. ［プリント］をタップする

設定に従って印刷されます。

参考

- プリンターの電源が入ってから無線 LAN 接続（Wi-Fi）で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。プリンターがネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を実行してください。
- プリンターの Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。プリンターの LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、「AirPrint で印刷できない」を参照してください。

用紙のサイズ

AirPrint では、プリンター本体にセットしている用紙を選んで印刷します。
印刷する用紙をあらかじめプリンター本体にセットし、AirPrint で用紙種類、用紙サイズを登録してください。
用紙の登録方法については、「ロール紙をプリンターにセットする」または「カット紙をプリンターにセットする」を参照してください。

印刷状況を確認する

AirPrint での印刷の進行状況は［プリントセンター］から確認することができます。
iOS 機器のマルチタスクモードで表示される［プリントセンター］をタップしてください。



印刷ジョブを削除する

AirPrint での印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- プリンターからの場合：プリンターの［ストップ］ボタンを押して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：マルチタスクモードで表示される［プリントセンター］をタップします。表示された画面で削除する印刷ジョブをタップし、［プリントをキャンセル］をタップします。

AirPrint の制限事項

- プリントダイアログの［用紙サイズ］から［A2 ノビ］、［A3 ノビ］、または［13 x 22］を選んだ場合は、画像の一部が用紙に納まらないことがあります。
- カット紙に印刷した場合は、画像の下端が欠けることがあります。
- カット紙に印刷する場合は、縦向きで給紙してください。横向きで給紙しても、縦向きの画像が印刷されます。
- フチなし印刷をする場合には、用紙のサイズから設定してください。用紙によっては、左右に若干の余白が生じる場合があります。

印刷ジョブの管理

- 印刷ジョブを削除する
- プリント状況や履歴を確認する
- 「Accounting Manager」を使ってプリンターのジョブログを収集

印刷ジョブを削除する

印刷ジョブを、個別に選択して削除できます。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合

操作パネルの場合

1. **ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ**
2. **［コピー/プリントジョブ］を選ぶ**
3. **［コピー/プリント状況］を選ぶ**
4. **一覧から、目的のジョブを選ぶ**
5. **［中止］を選ぶ**
6. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ**

リモート UI の場合

1. **リモート UI を起動する**

   - リモート UI を起動する

2. **［状況確認/中止］を選ぶ**
3. **［プリント］の［ジョブ状況］を選ぶ**
4. **一覧にある目的のジョブから、［ジョブ操作］の［中止］を選ぶ**

プリント状況や履歴を確認する

プリントをはじめ、プリンターで行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくプリントできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

➡ 操作パネルの場合
➡ リモート UI の場合

重要

- 履歴を表示しないように設定されている場合は、プリント状況のみ確認できます。

  ➡ ジョブ履歴の表示

操作パネルの場合

1. ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ

2. ［コピー/プリントジョブ］を選ぶ

3. ［コピー/プリント状況］または［プリント履歴］を選ぶ

［コピー/プリント状況］では、実行中や待機中のジョブを確認できます。

［プリント履歴］では、プリントが完了したジョブを確認できます。

4. 詳細を確認したいジョブを選ぶ

5. 表示された詳細情報から、状況や履歴を確認する

- **プリント履歴に［NG］が表示されている場合**

  プリントが中止されたか、エラーが発生しました。「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。

  ➡ エラーコード一覧

参考

- ファイル名やユーザー名は、使用されている文字によっては正しく表示されないことがあります。

リモート UI の場合

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. ［状況確認/中止］を選ぶ

3. ［プリント］の［ジョブ状況］または［ジョブ履歴］を選ぶ

4. 目的のジョブの状況や履歴を確認する

macOS プリンタードライバー

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  [ローカルネットワーク] に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2
- デバイスを検索できるように設定しても、プリンタードライバーの機能が正しく反映されない場合は、デバイスを検索できるように設定した状態で、プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーを追加してください。

- **プリンタードライバーの概要**
- **プリントダイアログの画面説明**
- **プリンタードライバーの更新**

プリンタードライバーの概要

- Canon IJ プリンタードライバー
- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する
- 変更した印刷設定を登録する
- プリンタードライバーの設定画面の開きかた
- ページ設定ダイアログ
- プリントダイアログ
- プリンタードライバーの用紙情報を更新する
- プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）
- プリンターの用紙情報を確認する
- アカウンティングを設定する
- 不要になった印刷ジョブを削除する
- 印刷の進行状況を確認する
- Canon IJ Printer Utility2
- Canon IJ Printer Utility2 の開きかた
- パソコンでインクの状態を確認する
- 使用上の注意（プリンタードライバー）

Canon IJ プリンタードライバー

Canon IJ プリンタードライバー（以下、プリンタードライバーといいます。）は、プリンターで印刷を行うためにパソコンにインストールするソフトウェアです。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトが作成した印刷データを、プリンターが認識できるデータ形式に変換してプリンターに送ります。

印刷できるデータの形式はプリンターによって異なるため、使用するプリンターに対応するプリンタードライバーが必要になります。

プリンタードライバーのヘルプの使いかた

プリントダイアログから、ヘルプを表示することができます。

プリントダイアログの［プリンタオプション］から各設定項目を選んで、画面左下にある  をクリックすると、説明が表示されます。

プリンタードライバーのヘルプが表示されるのは、以下の［プリンタオプション］の項目が選ばれているときです。

- ［品位と用紙の種類］
- ［カラーオプション］
- ［用紙の詳細設定］
- ［ページ加工］

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

印刷する前に、どのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

印刷前に印刷結果を表示する手順を説明します。

1. **プリントダイアログの［プリンタオプション］から［品位と用紙の種類］を選ぶ**

2. **印刷プレビューを選ぶ**

   ［印刷プレビュー］にチェックマークを付けます。

3. **設定を完了する**

   ［プリント］をクリックします。
   印刷を実行すると、Canon imagePROGRAF Preview が起動し、印刷結果を表示します。

参考

- ［PDF］から Canon imagePROGRAF Preview を選んでも、印刷結果を表示することができます。

変更した印刷設定を登録する

プリントダイアログで行った印刷設定に名前をつけて登録できます。登録した印刷設定は［プリセット］から呼び出して使用することが可能です。不要になった印刷設定は削除できます。

印刷設定を登録する手順を説明します。

印刷設定を登録する

1. プリントダイアログで必要な項目を設定する

2. ［プリセット］で［現在の設定をプリセットとして保存...］を選ぶ

3. 設定を保存する

表示されたダイアログで［プリセット名］を入力します。必要に応じて、［対象］を設定し、［OK］をクリックします。

重要

- プリセットに保存できない印刷設定もあります。

登録した印刷設定を使用する

1. プリントダイアログの［プリセット］で、使用したい印刷設定の名前を選ぶ

プリントダイアログの印刷設定が、呼び出した設定内容に更新されます。

不要になった印刷設定を削除する

1. 削除する印刷設定を選ぶ

プリントダイアログの［プリセット］で［プリセットリストを編集...］を選び、表示されたダイアログから削除したい印刷設定の名前を選びます。

2. 印刷設定を削除する

［-］をクリックして、［OK］をクリックすると、選んだ印刷設定が［プリセット］から削除されます。

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトから表示できます。

ページ設定ダイアログを開く

印刷する前にページ（用紙）設定を行う場合、この方法を使います。

1. **お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定...］または［用紙設定］を選ぶ**

   ページ設定ダイアログが表示されます。

プリントダイアログを開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. **お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］を選ぶ**

   プリントダイアログが表示されます。

重要

- macOS のバージョンや使用するアプリケーションによっては、プリントダイアログの画面表示が異なる場合があります。
  また、機能についても一部制限が発生する場合があります。

ページ設定ダイアログ

ページ設定ダイアログでは、プリンターにセットしている用紙のサイズや拡大、または縮小などの、基本的な印刷設定を行います。

ページ設定ダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定...］または［用紙設定］を選びます。



［対象プリンタ］

印刷に使用する機種名を選びます。

［用紙サイズ］

印刷に使用する用紙のサイズを選びます。

任意のサイズを設定するには、［カスタムサイズを管理...］を選びます。

［向き］

印刷する方向を選びます。

［拡大縮小］

拡大縮小率を設定します。

原稿のサイズを拡大、または縮小して印刷することができます。

プリントダイアログ

プリントダイアログでは、用紙の種類や給紙方法、印刷の品位などを設定し、印刷を開始することができます。

プリントダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］または［印刷...］を選びます。



[プリンタ]

印刷に使用する機種名を選びます。

［プリンタを追加...］を選ぶと、プリンターを指定するためのダイアログが起動します。

[プリセット]

プリントダイアログの設定を保存したり、削除したりすることができます。

[部数]

印刷部数の設定ができます。

参考

- 丁合い印刷は［用紙処理］から設定することができます。

[ページ]

印刷するページの範囲を設定することができます。

[用紙サイズ]

印刷に使用する用紙のサイズを選びます。

任意のサイズを設定するには、［カスタムサイズを管理...］を選びます。

[向き]

印刷する方向を選びます。

[プリンタオプション]

プリントダイアログの表示は、[プリンタオプション]によって切り替わるようになっています。プリントダイアログを起動したアプリケーションソフトによって、最初に表示されるメニューは異なります。

[プリンタオプション]から以下の項目を選びます。

[カラーマッチング]

色補正の方法を選ぶことができます。

[品位と用紙の種類]

プリンターに合わせた基本的な印刷の設定ができます。

[カラーオプション]

印刷の色合いを好みに合わせて調整できます。

[用紙の詳細設定]

プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、詳細な印刷設定を行います。

[ページ加工]

ロール紙に印刷するときの詳細な設定を行ったり、フチなし印刷時に用紙からはみ出す原稿の量を調整できます。

[プリンタ情報]

[サプライのレベル]

インク残量の目安が表示されます。

参考

- プリンターを USB 接続でお使いの場合、インク残量の目安が表示されません。
  プリンター本体でご確認ください。

[PDF]

原稿を PDF（Portable Document Format）形式で保存できます。
Canon imagePROGRAF Free Layout を起動して、複数の原稿の割り付けを行ったり、imagePROGRAF Preview で印刷結果を表示することもできます。

プリンタードライバーの用紙情報を更新する

プリンターから最新の用紙情報を取得してプリンタードライバーの用紙情報を更新します。

用紙情報の更新を行うと、［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］に表示される用紙が最新の内容に更新されます。

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  ［ローカルネットワーク］に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2

用紙情報を更新する手順を説明します。



［用紙情報更新］

1. Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［用紙情報］を選ぶ

2. ［用紙情報更新］をクリックする

ダイアログが表示されます。

3. 用紙情報の更新を確認する

ダイアログの指示に従ってプリンターの電源が入っていることを確認し、［実行］をクリックします。
プリンタードライバーの用紙情報の更新が必要かを確認後、メッセージが表示されます。
プリンタードライバーの用紙情報が最新の場合は［OK］をクリックして、用紙情報の更新を終了してください。
更新が必要な場合は次の手順に進んでください。

4. 用紙情報を更新する

メッセージを確認し［更新］をクリックします。
プリンタードライバーの用紙情報を更新します。
認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ヘルパーをインストール］をクリックしてください。

重要

- 用紙情報の更新には、時間がかかる場合があります。
- ドライバーの用紙の情報を更新しているときは、プリンターの用紙の情報を更新しないでください。

5. 用紙情報の更新を完了する

確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。
用紙情報が更新されます。

重要

- 用紙情報の更新が完了したら、印刷に使用するアプリケーションソフトを再起動してください。

重要

- 管理者の権限を持つユーザーが用紙情報の更新を実行してください。
  管理者の権限を持つユーザー以外は、用紙情報の更新が必要かの確認はできますが、更新はできません。
- 管理ツール（Media Configuration Tool）でメディアの追加や削除・編集を行ったにもかかわらず、用紙情報を更新していない場合は、印刷できないなどの不具合が発生する場合があります。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では、[用紙情報適正化]が表示されます。

プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）

プリンタードライバーの用紙情報を適正化します。

用紙情報の適正化を行うと、プリンタードライバーに含まれる用紙情報の構成が適正化されます。

用紙情報を適正化する手順を説明します。



［用紙情報適正化］

1. **Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［用紙情報］を選ぶ**

2. **［用紙情報適正化］をクリックする**

   プリンタードライバーの用紙情報が適正な状態かを確認後、メッセージが表示されます。
   プリンタードライバーの用紙情報が適正な状態の場合は［OK］をクリックして、用紙情報の適正化を終了してください。
   適正な状態にする必要がある場合は次の手順に進んでください。

3. **用紙情報を適正化する**

   メッセージを確認し［OK］をクリックします。
   プリンタードライバーの用紙情報を適正化します。
   認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ヘルパーをインストール］をクリックしてください。

4. **用紙情報の適正化を完了する**

   確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   用紙情報が適正化されます。

重要

- 用紙情報の適正化が完了したら、印刷に使用するアプリケーションソフトを再起動してください。

参考

- ［用紙情報適正化］はプリンターを共有して使用しているクライアント機でのみ表示されます。

プリンターの用紙情報を確認する

プリンターにセットされた用紙のサイズや種類、用紙の残量を確認することができます。

1. **リモート UI を開く**

2. **プリンターの用紙情報を確認する**

   ［給紙情報］にプリンター本体にセットされている用紙のサイズや種類が、給紙位置別に表示されます。

アカウンティングを設定する

アカウンティングを設定すると、印刷ジョブに任意の ID を付加し、プリンター本体やコスト管理ツールを使用して、任意の ID で印刷履歴を集計することができます。

アカウンティングを設定する手順を説明します。

1. **Canon IJ Printer Utility2 のポップアップメニューから［アカウンティング］を選ぶ**



2. **アカウント ID を設定する**

   必要に応じて、アカウント ID を設定します。

   ［アカウント ID］/［部門］/［プロジェクト番号］

   設定するアカウント ID、部門、プロジェクト番号を入力します。半角英数字（0～9, a～z, A～Z）20 文字以内で入力してください。

3. **設定を適用する**

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［適用］をクリックします。
   確認のメッセージが表示されたら、［実行］をクリックします。
   これ以降、設定が有効になります。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では［アカウンティング］は設定できません。

不要になった印刷ジョブを削除する

印刷が開始されない場合、途中で印刷をやめたり、印刷に失敗したりしたときのデータが残っている可能性があります。
印刷状況の確認画面で、不要になった印刷ジョブを削除してください。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. お使いの機種名を選んで、［プリントキュー...］をクリックする

印刷状況の確認画面が表示されます。

3. 不要な印刷ジョブを選んで、をクリックする

印刷ジョブが削除されます。

印刷の進行状況を確認する

次の手順で印刷の進行状況を確認します。

1. 印刷状況の確認画面を起動する

- 印刷データがプリンターに送られている場合

  印刷状況の確認画面が自動的に起動します。Dock 上に表示されるプリンターのアイコンをクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。
- 印刷データがプリンターに送られていない場合

  [システム設定]を開き、[プリンタとスキャナ]を選びます。
  プリンターリストからお使いの機種名を選び、[プリントキュー...]をクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。

2. 印刷状況の確認する

印刷中または印刷待ちのファイル名が確認できます。



指定した印刷ジョブを削除します。

指定した文書の印刷を一時停止します。

指定した文書の印刷を再開します。

すべての文書の印刷を一時停止します。

すべての文書の印刷を一時停止しているときのみ表示され、すべての文書の印刷を再開します。

重要

- エラーが発生した場合は、印刷状況の確認画面にエラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージの内容は OS のバージョンによって異なる場合があります。
- エラーメッセージ内で表示されるプリンター各部の名称は、本マニュアルの表記と異なる場合があります。
- エラーメッセージの内容がわかりにくい場合は、プリンター本体の操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認してください。

参考

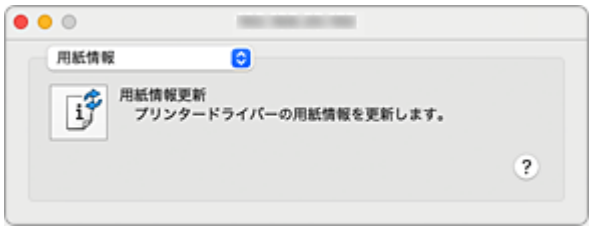
- お使いの機種によって、プリンターのアイコンの表示が異なる場合があります。
- プリンターを USB 接続でお使いの場合、エラーメッセージは表示されません。プリンター本体の操作パネルで確認してください。

Canon IJ Printer Utility2

Canon IJ Printer Utility2（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）では、用紙情報の更新や情報送信の設定をすることができます。

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。
  [ローカルネットワーク] に表示されるアプリケーションの一覧には、使用状況によって下記のすべて、またはいずれかが表示されます。
  - Canon IJ Printer Setup2
  - Canon IJ Printer Utility2
- デバイスを検索できるように設定しても、プリンタードライバーの機能が正しく反映されない場合は、デバイスを検索できるように設定した状態で、プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーを追加してください。



Canon IJ Printer Utility2 の表示は、ポップアップメニューによって切り替わるようになっています。ポップアップメニューから以下の項目を選びます。

[用紙情報]

プリンターから最新の用紙情報を取得してプリンタードライバーの用紙情報を更新します。

[アカウンティング]

ジョブごと、ユーザーごとに ID を設定し、印刷履歴や印刷ジョブを管理することができます。

参考

- プリンターを共有して使用している場合、クライアント機では［アカウンティング］は設定できません。

[情報送信の設定]

［情報送信の設定］をクリックすると、［インクジェットプリンター/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］が表示されます。
同意しない情報送信がある場合は、チェックマークを外してください。

参考

- お使いの環境によっては、［情報送信の設定］が表示されないことがあります。

参考

- Canon IJ Printer Utility2 を操作するには、プリンターの電源をオンにする必要があります。

Canon IJ Printer Utility2 の開きかた

Canon IJ Printer Utility2 を開くには、次の手順で行います。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. Canon IJ Printer Utility2 を起動する

プリンターリストからお使いの機種名を選び、［オプションとサプライ...］をクリックします。

［ユーティリティ］タブの［プリンタユーティリティを開く］をクリックします。

Canon IJ Printer Utility2 が起動します。

パソコンでインクの状態を確認する

リモート UI からインクタンクやメンテナンスカートリッジの状態を確認できます。

[消耗品詳細...]
　プリンターに合ったインクタンクを調べることができます。

[インク残量]
　インクの種類と状態が確認できます。

[メンテナンスカートリッジ推定使用量]
　メンテナンスカートリッジの推定使用量が確認できます。

参考

- プリンターを LAN 接続でお使いの場合、インクの残量やメンテナンスカートリッジの推定使用量は、プリントダイアログの［プリンタ情報］にある［サプライのレベル］でも確認できます。

使用上の注意（プリンタードライバー）

このプリンタードライバーの使用および印刷に際しては、以下のような制限事項があります。使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

プリンタードライバーの制限事項

- ページ設定ダイアログの設定を行う場合は、かならず［対象プリンタ］でお使いの機種名を選んでから行ってください。ほかのプリンターを選んだ場合は、正常に印刷が行えないことがあります。
- Windows で使用できる以下の機能は、macOS では対応していません。
  - ポスター印刷
  - スタンプ付き印刷
  - 文字鮮鋭化
  - 明細線補正
- macOS のバージョンや使用するアプリケーションによっては、プリントダイアログの画面表示が異なる場合があります。
  また、機能についても一部制限が発生する場合があります。
- プリンターと AirMac を USB ケーブルで接続して印刷を行う場合、AirMac の最新のファームウェアをインストールする必要があります。

プリンターを追加する際の注意事項

- macOS にキヤノンのプリンタードライバーをインストールし、［プリンタを追加］ダイアログでご使用の機種を選択、［ドライバ］→［ソフトウェアを選択...］から、Canon XXX（「XXX」は機種名）を選んでください。

プリントダイアログの画面説明

- 品位と用紙の種類
- カラーオプション
- 用紙の詳細設定
- ページ加工

品位と用紙の種類

このダイアログでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、基本的な印刷設定を行います。
特殊な印刷をしない限り、このダイアログの項目を設定するだけで、印刷を実行できます。



[用紙の種類]

使用する用紙の種類を選びます。
実際にプリンターにセットしている用紙の種類を選んでください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

参考

- プリンターの用紙情報更新後は、Canon IJ Printer Utility2 を起動して、用紙情報を更新してください。

[給紙方法]

用紙の給紙方法を選びます。

[ロール紙]

ロール紙を使用して給紙を行います。

[カット紙]

カット紙を使用して給紙を行います。

[優先画質]

印刷結果において、特に重視する要素を選びます。

[写真・イラスト]

写真やイラストの仕上がりを重視して印刷します。

[線画・文字]

微細な線や細かな文字の仕上がりを重視して印刷します。

[自動(プリンター設定に従う)]

プリンターの設定に従って印刷します。

[印刷品質]

原稿の種類や目的に最も近いものを選びます。
いずれかを選ぶと、目的にふさわしい品位が自動的に設定されます。

[きれい]

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

[標準]

標準的なスピードと品位で印刷します。

[速い]

印刷の品位よりスピードを優先して印刷します。

[ユーザー設定]

印刷品位を設定することができます。

[品位]

［印刷品質］で［ユーザー設定］を選ぶと、スライドバーを使用して印刷の品位レベルを調整できます。

[カラーモード]

色の処理方法を選びます。

[カラー]

カラーで印刷します。

[モノクロ]

グレースケールで印刷します。

[モノクロ(二階調)]

白以外の部分をすべて黒で印刷します。

[マッチング方法]

［カラーマッチング］で［Canon カラー・マッチング］を選んだときに使用するマッチング方法を指定します。

[知覚的(写真)]

一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

[彩度(ポスター/CAD)]

ポスターなどを鮮やかに再現します。また、線画に適した見やすい色で印刷します。

[色補正なし]

カラーマッチングを行わずに印刷します。

[印刷プレビュー]

Canon imagePROGRAF Preview を起動して、印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを確認できます。

印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

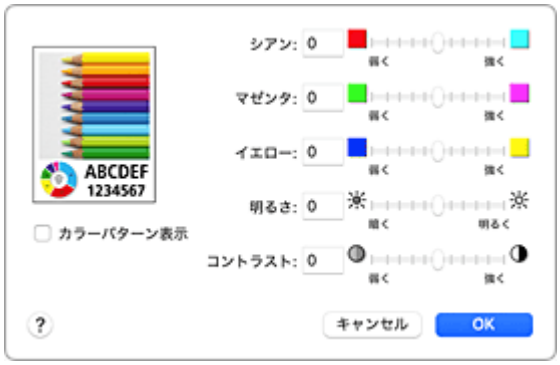
関連項目

- 目的に合わせて給紙方法を切り替える
- 印刷品質を設定する（ユーザー設定）
- カラーの原稿をモノクロで印刷する

カラーオプション

このダイアログでは、印刷の色合いを好みのものに調整することができます。印刷した色合いが思いどおりにならなかった場合は、個別に各項目を調整して印刷してください。

ただし、ここでの調整は専用の画像編集アプリケーションソフトとは異なり、印刷データ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整にとどめてください。



プレビュー画像

現在の色調整の状態を表示します。
各項目を調整すると、色や明るさが反映されます。

[カラーパターン表示]

色調整による色の変化量が確認できるパターンを表示します。
サンプル画像をカラーパターンで表示するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- [品位と用紙の種類]の[カラーモード]で[モノクロ]または[モノクロ(二階調)]を選んでいる場合、サンプル画像はモノクロで表示されます。

カラーバランス([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー])

必要に応じてそれぞれの色の強弱を調整します。スライドバーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。
調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。
大きく色相を変えたい場合はアプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

[明るさ]

印刷結果の明るさを調整します。完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。スライドバーを右にドラッグするほど明るく、左にドラッグするほど暗くなります。スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

[コントラスト]

画像の明暗の差を変えます。
明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

関連項目

- 色補正の方法を指定する

- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する

用紙の詳細設定

このダイアログでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、詳細な印刷設定を行います。

印刷時に用紙が汚れたり、印刷結果が思わしくない場合に設定すると、印刷結果が改善する場合があります。



[インク乾燥時間(ページ間)]

1 ページ分を印刷した後、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。ロール紙がカットされる前にインク乾燥のための待ち時間があるため、インクが乾いた状態でカットすることができます。

[インク乾燥時間(ページ間)] の設定は、ロール紙のみ有効となります。

[パネル優先]

プリンター本体の操作パネルでの設定が適用されます。

[なし]

印刷終了後、すぐに排紙されます。

[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]

印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

[インク乾燥時間(スキャン間)]

ページ内で 1 スキャンを印刷してから、次の 1 スキャンを印刷するまでの待ち時間を設定できます。ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときなど、にじみやムラの発生を回避したいときに設定します。

[パネル優先]

プリンター本体の操作パネルでの設定が適用されます。

[なし]

1 スキャン印刷後、すぐに次のスキャンが印刷されます。

[0.5 秒] / [1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]

1 スキャン印刷後、設定した時間が経過してから次のスキャンが印刷されます。

にじみやムラの発生状況に応じて時間を増やしてください。

[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

[パネル優先]

プリンター本体の操作パネルでの設定が適用されます。

[3mm]

定型サイズで印刷されます。

印刷に特に問題がないときに選んでください。

［20mm］

カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選んでください。

［カットスピード］

オートカットのスピードを選ぶことができます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

［パネル優先］

プリンター本体の操作パネルでの設定が適用されます。

［速い］

［標準］の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。

［標準］

オートカットで特に問題ない場合に選びます。

［遅い］

糊付きの用紙の場合に選ぶと、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。

［オートカット］

ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。

オートカットには、以下の設定があります。

［あり］

印刷が終わると、1 ページ毎にロール紙を自動でカットします。

［なし］

印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。

［カットラインを印刷］

印刷が終わると、1 ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

［片方向印刷］

色のムラや罫線のズレを抑えて印刷します。

片方向印刷を行うときはチェックマークを付けてください。

［キャリブレーション調整値］

プリンター本体でカラーキャリブレーション設定を行った場合に、その結果を印刷時に適用できます。

キャリブレーションを適用する場合は［有効］を選んでください。

ページ加工

ロール紙の詳細設定や、フチなし印刷時の用紙からはみ出す原稿量などの詳細設定が行えます。



[ロール紙幅]

ロール紙の幅を選びます。

プリンター本体にセットしたロール紙の幅と同じものを選んでください。

[幅]

[ロール紙幅]で[カスタムサイズ]を選ぶと入力できるようになり、ロール紙幅を任意に指定することができます。

[三辺フチなし]

チェックマークを付けると、出力用紙サイズの幅または長さがロール紙幅より小さい場合、右側に余白を作り、上端、下端、および左端の三辺をフチなしで印刷します。

[バナー印刷]

チェックマークを付けると、複数ページの原稿を 1 つにつなげて印刷します。このとき、ページ間の余白はなしになります。

[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて自動で拡大、または縮小して印刷します。

[オフ]

拡大、または縮小せず、原稿をそのまま印刷します。

[オン(フチあり)]

ロール紙の幅に合わせて自動で拡大、または縮小して印刷します。

[オン(フチなし)]

フチなし印刷を行うとき、ロール紙の幅に合わせて自動で拡大、または縮小して印刷します。

[上下余白なし(用紙節約)]

ロール紙に印刷するとき、上下の余白を減らすことで用紙を節約します。

[ページを 90 度回転(用紙節約)]

縦長の原稿をロール紙に印刷するとき、原稿を 90 度回転し、用紙に対して横向きに印刷することで用紙を節約します。

[フチなしはみ出し量]

用紙からはみ出す原稿の量を[フチなしはみ出し量]のスライドバーで調整します。

スライドバーを右にドラッグするほどはみ出し量は多く、左にドラッグするほどはみ出し量は少なくなります。

[中央に印刷]

原稿を用紙の中央に印刷します。

参考

- 設定した内容によっては、選べない項目があります。

関連項目

- 場面に合わせてフチなしで印刷する

プリンタードライバーの更新

- 最新のプリンタードライバーを入手する
- 不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する
- プリンタードライバーをインストールする前に
- プリンタードライバーをインストールする

最新のプリンタードライバーを入手する

現在使用しているプリンタードライバーから、最新のプリンタードライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

最新のプリンタードライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種のプリンタードライバーをダウンロードしてください。

重要

- プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

関連項目

- プリンタードライバーをインストールする前に
- プリンタードライバーをインストールする

不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する

使わなくなった Canon IJ プリンターはプリンターリストから削除することができます。
Canon IJ プリンターを削除する前に、プリンターとパソコンを接続しているケーブルを取り外してください。

不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する手順を説明します。

管理者の権限を持ったユーザーでログオンしていない場合は、Canon IJ プリンターの削除はできません。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. プリンターリストから Canon IJ プリンターを削除する

プリンターのリストから、削除したい Canon IJ プリンターを選び、［プリンタを削除...］をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、［プリンタを削除］をクリックします。

プリンタードライバーをインストールする前に

プリンタードライバーをインストールする前に、確認するべき内容を説明します。プリンタードライバーがインストールできない場合にも参照してください。

パソコンの設定を確認する

- 起動中のアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- 管理者の権限を持つユーザーとしてログオンしてください。管理者の権限を持ったユーザーの名前とパスワードを入力する必要があります。macOS を複数のユーザーでお使いの場合は、最初に登録した管理者のアカウントでログオンしてください。

重要

- macOS をアップグレードすると、インストールしたプリンタードライバーはすべて削除されます。引き続きプリンターをお使いの場合は、最新のプリンタードライバーを再度インストールしてください。

関連項目

- 最新のプリンタードライバーを入手する
- プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーをインストールする

インターネット経由で、キヤノンのホームページにアクセスすると、最新のプリンタードライバーをダウンロードすることができます。

入手したプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

1. ディスクをマウントする

ダウンロードしたディスクイメージファイルをダブルクリックします。
ファイルが解凍され、ディスクがマウントされます。

2. インストーラーを起動する

解凍されたディスクの中の「PrinterDriver_XXX_YYY.pkg」(「XXX」は機種名、「YYY」はバージョン)をダブルクリックします。

3. インストールを開始する

画面のメッセージに従って、インストールを行います。

使用許諾契約画面が表示されたら、内容を確認して［続ける］をクリックしてください。使用許諾契約に同意いただけない場合は、本ソフトウェアをインストールすることはできません。

4. インストール先を選ぶ

必要に応じて、インストール先を選んでから、［続ける］をクリックします。

5. インストールの続行する

［インストール］をクリックします。
認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、［ソフトウェアをインストール］をクリックしてください。

6. インストールを完了する

インストール完了のメッセージに従って、［閉じる］をクリックします。

以上でプリンタードライバーのインストールが完了します。

重要

- インストーラーが正常に動作しない場合は、Finder の［インストーラ］メニューから［インストーラを終了］を選び、一度インストーラーを終了してから、インストールをやり直してください。
- プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

関連項目

- 最新のプリンタードライバーを入手する
- 不要になった Canon IJ プリンターをプリンターリストから削除する
- プリンタードライバーをインストールする前に

コピー

- **コピーする**
- **コピーするときの設定項目**
  - よく使う設定を登録する
- **コピージョブの管理**
  - コピージョブを削除する
  - コピー状況や履歴を確認する

コピーする

文書や写真などの印刷物（原稿）をコピーするときの、基本的な操作手順を説明します。

1. 用紙をセットする

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

2. 原稿をセットする

- 原稿をスキャナーユニットにセットする

3. ホーム画面で［コピー］を選ぶ

4.［倍率］／［部数］／［原稿の種類］を設定する



- **［倍率］**

  拡大コピー／縮小コピーの設定をします。

  - 定形サイズを指定して拡大／縮小する

    定形変倍の項目から、［読取サイズ］と［出力サイズ］を選びます。［読取サイズ］と［出力サイズ］には、同じ規格（ISO など）の用紙サイズを設定できます。

  - 倍率を指定して拡大／縮小する

    任意の倍率を入力して［閉じる］を選びます。25%～432%まで 1%刻みで設定できます。［100%］を選ぶと、100%に設定できます。

  - ロール紙の幅に合わせて拡大／縮小する

［ロール幅フィットコピー］を選びます。コピーに使用するロール紙のサイズに合わせて、倍率が自動設定されます。ロール紙へコピーする場合に選ぶことができます。

- **［部数］**

  コピーする部数を指定します。部数を入力し、［閉じる］を押します。

- **［原稿の種類］**

  コピーする原稿の種類を設定します。

  - ［CAD（線画）］

    線画の CAD 図面などをコピーするときに選びます。

  - ［青焼き（白黒変換）］

    青焼き図面をコピーするときに選びます。

  - ［青焼き反転（白黒変換）］

    反転した青焼き図面をコピーするときに選びます。

  - ［トレーシングペーパー］

    トレーシングペーパーなどをコピーするときに選びます。

  - ［ポスター／写真］

    ポスターや写真などをコピーするときに選びます。

  - ［図面／地図］

    図面や地図などをコピーするときに選びます。

重要

- 本製品では、原稿種類として［青焼き（白黒変換）］、［青焼き反転（白黒変換）］を選択することができます。原稿の状態によっては、背景が残る、線が途切れるなど、意図したとおりに処理されない場合があります。
- ［青焼き（白黒変換）］および［青焼き反転（白黒変換）］は、青焼き原稿の読み取りに特化した設定です。本設定を使用して読み取ったデータは、すべてモノクロ（白黒のみ）で出力されます。原稿のカラー情報やグレースケール情報を保持して読み取りたい場合は、［CAD（線画）］の設定を使用してください。

5. 必要に応じて、その他のコピー設定をする

原稿や目的に応じた設定ができます。設定項目については、以下を参照してください。

➡ コピーするときの設定項目

6. ［白黒スタート］または［カラースタート］を選ぶ

原稿のスキャンが開始されます。

参考

- コピーを中止するときは、［中止］を選ぶか、ストップボタンを押します。

  ➡ 印刷／コピー／スキャンを中止する

- ［状況確認］からコピー状況や履歴を確認できます。

  ➡ コピー状況や履歴を確認する

7. 原稿を落ちないように支えながら［OK］を選ぶ

原稿の押さえが外れるので、原稿を移動させてください。プリントが始まります。

コピーするときの設定項目

コピーするときの設定を変更できます。



➡ コピーする

重要

- 本プリンターには、コピー／スキャン画像に対して各種の画像調整機能を備えています。ただしお使いの原稿によっては、これらの調整機能の効果が得られない場合があります。

参考

- コピー設定を［よく使う設定］として登録すると、必要なときに呼び出してコピーできます。
  ➡ ［よく使う設定］を呼び出す
- コピーの初期設定を変更することもできます。
  ➡ デフォルト設定の変更(コピー)

［倍率］、［部数］、［原稿の種類］

コピー画面から設定をおこないます。

➡ ［倍率］／［部数］／［原稿の種類］を設定する

［その他の設定］

コピー画面で［その他の設定］を選んだ場合に表示される画面です。



- **［読取サイズ］**

  原稿のサイズを選択します。

［自動］を設定すると、セットした原稿幅からサイズを自動で検知します。

重要

- トレーシングペーパーや端部が破れた原稿など、お使いの原稿によっては自動検知が失敗する場合があります。

  原稿サイズの自動検知に失敗する場合は、読取サイズを手動で設定してください。

◦ **定形外のサイズに設定する場合**

［任意に指定］を選択し、［X］辺と［Y］辺の長さを入力して、［確定］を押します。

参考

- 特定の定形外サイズの原稿をよく使用する場合は、サイズ登録することができます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。

  ［サイズ登録］→［S1］～［S3］のいずれかを選択 →［X］と［Y］を入力→ ［確定］

- **［濃度］**

  濃度を調整します。

  濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。

- **［コントラスト］**

  コントラストを調整します。

  強くする場合は［+］に、弱くする場合は［-］に設定します。

- **［シャープネス］**

  シャープネスを調整します。

  輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

  ぼやけた文字や図を鮮明にする場合は［+］に設定します。写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合は［-］に設定します。

- **［彩度］**

  彩度を調整します。

  色を鮮やかにする場合は［+］に、色を薄くする場合は［-］に設定します。

  重要

  - 彩度強調処理は、彩度が低い画像に対して色の鮮やかさを向上させるためのものです。

    もともと彩度が高い画像に対して実施しても、視覚的な効果が得られない場合があります。

- **［印刷品質］**

  印刷品質を設定します。

  ［速い］、［標準］、［きれい］から設定します。

- **［白強調］**

  白色を強調します。

  ［+］に設定すると、白色が強調され画像の明るい部分はより明るくなります。

- **［黒強調］**

  黒色を強調します。

  ［+］に設定すると、黒色が強調され画像の暗い部分はより暗くなります。

  重要

  - 黒強調処理は、画像内の黒色成分を強調することで、視認性を向上させる機能です。

    黒強調を過度に実施すると、画像のノイズが強調され、画像に黒い点が現れることがあります。

- **［データサイズ］**

  読み込んだ画像のデータサイズを設定します。

  ［小：サイズ優先］、［標準］、［大：画質優先］から設定します。

- **［よく使う設定］**

  変更した設定内容を、［よく使う設定］として登録できます。

  ➡ よく使う設定を登録する

コピージョブの管理

- コピージョブを削除する
- コピー状況や履歴を確認する

コピージョブを削除する

コピージョブを、個別に選択して削除できます。

この操作は、操作パネルから行います。

操作パネルの場合

1. **ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ**
2. **［コピー/プリントジョブ］を選ぶ**
3. **［コピー/プリント状況］を選ぶ**
4. **一覧から、目的のジョブを選ぶ**
5. **［中止］を選ぶ**
6. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ**

コピー状況や履歴を確認する

コピーをはじめ、プリンターで行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくコピーできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

➡ 操作パネルの場合
➡ リモート UI の場合

重要

- コピー状況を確認する場合は、操作パネルから実行してください。

  履歴を表示しないように設定されている場合は、コピー状況のみ確認できます。

  ➡ ジョブ履歴の表示

操作パネルの場合

1. ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ

2. ［コピー/プリントジョブ］を選ぶ

3. ［コピー/プリント状況］または［コピー履歴］を選ぶ

［コピー/プリント状況］では、実行中や待機中のジョブを確認できます。

［コピー履歴］では、コピーが完了したジョブを確認できます。

4. 詳細を確認したいジョブを選ぶ

5. 表示された詳細情報から、状況や履歴を確認する

- **コピー履歴に［NG］が表示されている場合**

  コピーが中止されたか、エラーが発生しました。「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。

  ➡ エラーコード一覧

リモート UI の場合

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. ［状況確認/中止］を選ぶ

3. ［コピー］の［ジョブ履歴］を選ぶ

4. 目的のジョブの状況や履歴を確認する

スキャン

- **スキャンの準備**
  - USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備
  - メールでスキャンデータを送信するための準備
  - 共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備
- **スキャンする - USB フラッシュメモリーに保存**
- **スキャンする - メールで送信**
- **スキャンする - 共有フォルダーに保存**
- **スキャンするときの設定項目**
  - 宛先を指定する
  - よく使う設定を登録する
- **パソコン／スマートフォン／タブレットからスキャンする**
- **スキャンジョブの管理**
  - スキャンジョブを削除する
  - スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

スキャンの準備

- **USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備**
- **メールでスキャンデータを送信するための準備**
  - リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する
  - 宛先の登録
    - アドレス帳の機能
    - 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
    - リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する
    - アドレス帳にグループを登録する
- **共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備**
  - アドレス帳の機能
  - リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備

スキャンデータを USB フラッシュメモリーに保存できるようにするための設定を行います。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

➡ 操作パネルの場合
➡ リモート UI の場合

重要

- 設定の変更には、管理者権限が必要です。

操作パネルの場合

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2.［ファンクション設定］を選ぶ

3.［ファイル保存/利用］を選ぶ

4.［メモリーメディア設定］を選ぶ

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

5.［スキャン機能を使用］で［ON］を選ぶ

6. プリンターを再起動する

➡ プリンターを再起動する

設定が反映されます。

参考

- ［ファイル保存/利用］では、USB フラッシュメモリーに関する設定を変更できます。

➡ ファイル保存/利用

リモート UI の場合

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2.［設定/登録］を選ぶ

3.［ファンクション設定］の［ファイル保存/利用設定］を選ぶ

4.［メモリーメディア設定］を選ぶ

5.［編集...］を選ぶ

6.［メモリーメディアに保存する］にチェックマークを付け、［OK］を選ぶ

7. プリンターを再起動する

➡ プリンターを再起動する

設定が反映されます。

メールでスキャンデータを送信するための準備

- **リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する**
- **宛先の登録**
  - アドレス帳の機能
  - 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
  - リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する
  - アドレス帳にグループを登録する

リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

パソコンからリモート UI を使用して、スキャンデータのメール送信に使用するメールサーバーの情報を設定します。送信前の POP 認証や SMTP 認証、暗号化通信も設定できます。

重要

- メールサーバーの情報の設定には、管理者権限が必要です。
- メールサーバーのポート番号が、SMTP「25」、POP3「110」以外の場合は、ポート番号の設定を変更する必要があります。

  ポート番号設定

1. リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する

2. [設定/登録] を選ぶ

3. [ファンクション設定] の [送信設定] を選ぶ

4. [メール設定] を選ぶ

5. [編集...] を選ぶ

6. メールサーバーの基本情報を入力する

- **[SMTP サーバー]**

  メールの送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

- **[メールアドレス]**

  プリンターのメールアドレスを半角英数字で入力します。

- **[POP サーバー]**

  送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、POP3 サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

  - **[ユーザー名]**

    POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

  - **[パスワードを設定/変更する]**

    POP3 サーバーの認証で使用するパスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

7. 使用環境に合わせて、メール送信時の認証や暗号化の設定をする

- **[送信前の POP 認証する]**

  送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、チェックマークを付けます。

- **［APOP 認証する］**

  認証時にパスワードを暗号化する APOP 認証を使用する場合は、チェックマークを付けます。

- **［SMTP 認証(SMTP AUTH)する］**

  SMTP 認証を使用する場合はチェックマークを付け、SMTP 認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。認証を行うためのユーザーパスワードを設定する場合は［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、パスワードを半角英数字で入力します。

- **［SMTP 送信で TLS を使用する］、［POP で TLS を使用する］**

  メールサーバーとの通信を暗号化する場合は、チェックマークを付けます。必要に応じて、TLS 暗号化通信時に証明書を検証するかどうかや、検証項目に CN（Common Name）を追加するかどうかを設定します。

8. ［OK］を選ぶ

参考

- ［SMTP 接続確認］および［POP 接続確認］で、設定した内容でメールサーバーと通信できるか確認できます。

9. プリンターを再起動する

➡ プリンターを再起動する

設定が反映されます。

宛先の登録

- アドレス帳の機能
- 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
- リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する
- アドレス帳にグループを登録する

アドレス帳の機能

スキャンデータを送信／保存するときの宛先を、プリンターのアドレス帳に登録できます。

➡ 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
➡ リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

登録できる宛先

- メールアドレス
- ファイルの保存先（共有フォルダー）

アドレス帳でできること

- 登録した宛先は、操作パネルのホーム画面またはスキャン画面から呼び出して指定できます。
- 宛先をすばやく指定するための機能を選択して、宛先を登録できます。
  - **［ベストメンバー］**

    宛先の種類にかかわらず登録でき、登録した宛先のみをアドレス帳の画面で表示することができるため、宛先を探し出しやすくなります。
  - **［短縮ダイヤル］**

    宛先に 3 桁の番号を登録します。直接その番号を入力して宛先を指定できます。
- 宛先をグループにしたり、種類別に宛先を表示したりして、効率的に宛先を指定できます。
  - **グループの登録**

    登録済みのメールアドレスを複数まとめて、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］に登録できます。送信時に複数の宛先を指定する手間が省けます。

    ➡ アドレス帳にグループを登録する
  - **インデックスによる分類**

    登録時に設定した名称の頭文字や宛先の種類を、分類して表示できます。

参考

- ［ベストメンバー］は最大 19 件、［短縮ダイヤル］は最大 281 件、グループは最大 299 件が登録できます。
- 1 つのグループには、同じ種類の宛先のみ登録できます。

アドレス帳の画面

ホーム画面やスキャン画面からアドレス帳を呼び出すと、以下の画面が表示されます。



登録した宛先の一覧

宛先の種類がマークで示され、名称やメールアドレスなどの宛先情報が表示されます。

：メール

：ファイルの保存先（共有フォルダー）

：グループ

［ベストメンバー］に登録した宛先は、マークの横に が表示されます。

インデックス

画面の下部に表示されます。宛先の種類や名称の頭文字を選択することで、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。

- ／ をタップするか、左右にフリックして、インデックスの表示を切り替えます。
- アドレス帳に登録されているすべての宛先を表示する場合は、［全て］を選択します。
- 表示する宛先を名称の頭文字で指定する場合は、［あ］～［YZ］のいずれかを選択します。

宛先を操作する項目

画面の右側に表示されます。宛先を登録／編集／削除したり、送信／保存の宛先に指定したりするときに押します。

- ［新規登録］以外の項目は、宛先にチェックマークを付けてから操作します。
- ホーム画面からアドレス帳を呼び出した場合は、宛先にチェックマークを付けて［確定］を押すと、指定した宛先が入力された状態でスキャン画面が表示されます。

操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する

アドレス帳に宛先を登録します。送信履歴や LDAP サーバーを利用して登録する場合は、操作パネルを使用します。

宛先は操作パネル／リモート UI どちらでも登録できますが、登録できる宛先や登録方法が異なります。

➡ リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

重要

- ファイルの保存先（共有フォルダー）の宛先は、操作パネルでは登録できません。リモート UI を使用して登録してください。
- 操作パネルで宛先の情報を入力して登録する場合は、名称に漢字やひらがなを使用できません。リモート UI を使用して登録してください。

1. ホーム画面で［アドレス帳］を選ぶ

2. ［新規登録］を選ぶ

［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を選びます。

3. ［宛先の種類］で［メール］を選ぶ

参考

- グループを登録する場合は、「アドレス帳にグループを登録する」を参照してください。

4. 宛先の情報を設定する

- **直接入力する場合**

  ［名称］と［メールアドレス］を入力します。

- **送信履歴を呼び出して入力する場合**

  ［名称］を入力し、［送信履歴］から宛先を選択します。

  参考

  - アドレス帳から送信履歴を呼び出すだけでなく、スキャンの送信履歴からもアドレス帳に宛先を登録できます。

    ➡ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

- **LDAP サーバーを検索して入力する場合**

  ［LDAP サーバー］から対象の LDAP サーバーを選び、検索条件を指定して一致するユーザーを選択します。

  - 認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されているプリンターのユーザー名とパスワードを入力します。

5. ［登録先］から、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］を選択する

［短縮ダイヤル］を選択した場合は、未登録の番号を選択するか、［テンキー入力］を押して 3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力します。

6.［確定］を選ぶ

アドレス帳に宛先が登録されます。

リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

アドレス帳に宛先を登録します。ファイルの保存先（共有フォルダー）の宛先を登録する場合や、宛先の名称を漢字やひらがなで登録する場合は、リモート UI を使用します。

宛先は操作パネル／リモート UI どちらでも登録できますが、登録できる宛先や登録方法が異なります。

➡ 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する

重要

- リモート UI を使用して宛先を登録するには、管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. [アドレス帳] を選ぶ

3. [ベストメンバー] または [短縮ダイヤル] を選ぶ

4. [未登録] と表示されている項目を選ぶ

[暗証番号の入力] 画面が表示された場合は、アドレス帳の暗証番号を入力し、[OK] を選びます。

5. [登録する宛先の種類] で [メール] または [ファイル] を選択し、[OK] を選ぶ

ファイルの保存先（共有フォルダー）を登録する場合は、[ファイル] を選択します。

参考

- グループを登録する場合は、「アドレス帳にグループを登録する」を参照してください。

6. 宛先の情報を設定する

- **メールアドレスを登録する場合**

  [名称] と [メールアドレス] を入力します。

- **ファイルの保存先（共有フォルダー）を登録する場合**

  1. [名称] を入力する
  2. [プロトコル] で [Windows(SMB)] を選択する
  3. [ホスト名] に、共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力する

     参考

     - DNS サーバーを使用している場合は、コンピューター名や IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN (Fully Qualified Domain Name)を入力することもできます。

  4. 区切り文字に「¥」を使用して、[フォルダーへのパス] に共有フォルダーへのパスを入力する

     重要

     - 入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、ファイルの初回保存時に入力した名前のフォルダーが作成されます。

親フォルダーも存在しない場合や親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず送信エラーになります。

5. 共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、［ユーザー名］と［パスワード］を入力する

7.［OK］を選ぶ

アドレス帳に宛先が登録されます。

アドレス帳にグループを登録する

複数の宛先をまとめたグループをアドレス帳に登録します。1 つのグループには、同じ種類の宛先のみ登録できます。

- 操作パネルで登録する
- リモート UI で登録する

重要

- リモート UI を使用してグループを登録するには、管理者権限が必要です。
- ファイルの保存先（共有フォルダー）は、グループに登録できません。
- グループへ追加する宛先は、事前にアドレス帳に登録しておく必要があります。

  - 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
  - リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

操作パネルで登録する

1. ホーム画面で［アドレス帳］を選ぶ

2.［新規登録］を選ぶ

［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を選びます。

3.［宛先の種類］で［グループ］を選ぶ

4.［名称］を入力し、［確定］を選ぶ

5. グループの宛先を追加する

1. ［宛先］を選ぶ
2. ［追加］を選ぶ
3. グループに追加する宛先にチェックマークを付け、［確定］を選ぶ

   参考

   - アドレス帳の画面下部のインデックスを選択すると、宛先を絞り込んで表示できます。
   - 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

4. グループに追加する宛先が正しいことを確認し、［確定］を選ぶ

6.［登録先］から、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］を選択する

［短縮ダイヤル］を選択した場合は、未登録の番号を選択するか、［テンキー入力］を押して 3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力します。

7.［確定］を選ぶ

アドレス帳にグループが登録されます。

リモート UI で登録する

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. [アドレス帳] を選ぶ

3. [ベストメンバー] または [短縮ダイヤル] を選ぶ

4. [未登録] と表示されている項目を選ぶ

[暗証番号の入力] 画面が表示された場合は、アドレス帳の暗証番号を入力し、[OK] を選びます。

5. [登録する宛先の種類] で [グループ] を選び、[OK] を選ぶ

6. [グループ名] を入力する

グループ名は入力しなくても登録できますが、入力しておくと宛先指定時にグループ名の頭文字で検索できます。

7. グループの宛先を追加する

1. [メンバーリスト] で、[アドレス帳から選択...] を選ぶ
2. グループに追加する宛先にチェックマークを付け、[OK] を選ぶ

参考

- [ベストメンバー] または [短縮ダイヤル] を選択して [表示切替] を選ぶと、アドレス帳の表示が切り替わります。
- 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

8. [OK] を選ぶ

アドレス帳にグループが登録されます。

共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備

- アドレス帳の機能
- リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

スキャンする - USB フラッシュメモリーに保存

原稿をスキャンして、USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存します。

必要な準備

➡ USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備

重要

- USB フラッシュメモリーを、画像をスキャンしているときや、保存する前に抜き差ししないでください。
- USB フラッシュメモリーに保存したデータは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

1. 原稿をセットする

➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

2. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする

［メモリーメディア］画面が表示された場合は、［USB スキャン］を押して手順 5 に進みます。

3. ホーム画面で［スキャン］を選ぶ

4. ［USB メモリー］を選ぶ

5. 必要に応じて、スキャンの設定をする



➡ スキャンするときの設定項目

6. ［白黒スタート］または［カラースタート］を選ぶ

原稿のスキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止するときは、［中止］を選ぶか、ストップボタンを押します。

➡ 印刷／コピー／スキャンを中止する

7. 原稿を落ちないように支えながら［OK］を選ぶ

原稿の押さえが外れるので、原稿を移動させてください。スキャンデータが保存されます。

参考

- スキャンデータは、以下のフォルダー名とファイル名で保存されます。
  - フォルダー名：「SCAN_XX」（XX は数字）
  - ファイル名：「SCAN0001.pdf」

    ファイル名の SCAN 部分は、スキャンの設定で任意の文字列に変更できます。

8. スキャンが完了したら、USB フラッシュメモリーを取り外す

［状況確認］→［メディア取り外し］を選んでから、取り外してください。

スキャンする - メールで送信

原稿をスキャンして、スキャンデータをメールに添付して送信します。

通常のメール送信と同様に、複数の宛先を指定できるほか、件名や本文も設定できます。

必要な準備

➡ メールでスキャンデータを送信するための準備

スキャンしたデータをプリンターからメール添付で送信する

1. 原稿をセットする

➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

2. ホーム画面で［スキャン］を選ぶ

3. ［メール］を選ぶ

4. ［宛先指定］タブで、宛先を指定する



➡ 宛先を指定する

5. ［送信設定］タブで、スキャンの設定をする



➡ スキャンするときの設定項目

参考

- メールの件名や本文なども［送信設定］タブで設定します。

6. ［白黒スタート］または［カラースタート］を選ぶ

原稿のスキャンが開始されます。

- **［送信宛先の確認］画面が表示された場合**

  宛先が正しいことを確認してから［スキャン開始］を選びます。

- **［SMTP 認証］画面が表示された場合**

  SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を選びます。

参考

- スキャンを中止するときは、［中止］を選ぶか、ストップボタンを押します。

  ➡ 印刷／コピー／スキャンを中止する

- ［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。

  ➡ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

7. 原稿を落ちないように支えながら［OK］を選ぶ

原稿の押さえが外れるので、原稿を移動させてください。スキャンデータが送信されます。

- **［送信ジョブを受け付けました。］が表示された場合**

  送信状況や履歴を確認する場合は、［状況確認へ］を選びます。

参考

- スキャンデータは以下のファイル名で送信されます。

  「XXXX_YYYYYYYYYYYY_001.pdf」（X は通信管理番号、Y は送信日時を表す数字）

  スキャンの設定で任意の文字列を指定して、ファイル名の先頭に付けることもできます。

スキャンする - 共有フォルダーに保存

原稿をスキャンして、パソコンの共有フォルダーにスキャンデータを保存します。

必要な準備

➡ 共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備

スキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに保存する

1. 原稿をセットする

➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

2. ホーム画面で［スキャン］を選ぶ

3. ［ファイル］を選ぶ

4. ［宛先指定］タブで、宛先を指定する



➡ 宛先を指定する

5. ［送信設定］タブで、スキャンの設定をする



➡ スキャンするときの設定項目

6. ［白黒スタート］または［カラースタート］を選ぶ

原稿のスキャンが開始されます。

- **［送信宛先の確認］画面が表示された場合**

  宛先が正しいことを確認してから［スキャン開始］を選びます。

- **［ファイル認証］画面が表示された場合**

  共有フォルダーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を選びます。

参考

- スキャンを中止するときは、［中止］を選ぶか、ストップボタンを押します。

  印刷／コピー／スキャンを中止する

- ［状況確認］から保存状況や履歴を確認できます。

  スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

7. 原稿を落ちないように支えながら［OK］を選ぶ

原稿の押さえが外れるので、原稿を移動させてください。スキャンデータが保存されます。

- **［送信ジョブを受け付けました。］が表示された場合**

  保存状況や履歴を確認する場合は、［状況確認へ］を選びます。

参考

- スキャンデータは以下のファイル名で送信されます。

  「XXXX_YYYYYYYYYYYY_001.pdf」（X は通信管理番号、Y は送信日時を表す数字）

  スキャンの設定で任意の文字列を指定して、ファイル名の先頭に付けることもできます。

スキャンするときの設定項目

プリンターからスキャンするときの設定を変更できます。



- スキャンする - USB フラッシュメモリーに保存
- スキャンする - メールで送信
- スキャンする - 共有フォルダーに保存

重要

- 本プリンターには、コピー／スキャン画像に対して各種の画像調整機能を備えています。ただしお使いの原稿によっては、これらの調整機能の効果が得られない場合があります。
- 表示される設定項目は、スキャン機能によって異なります。

参考

- スキャン設定を［よく使う設定］として登録すると、必要なときに呼び出してスキャンできます。
  - ［よく使う設定］を呼び出す
- 送信履歴を利用して宛先を指定すると、そのスキャンデータを送信／保存したときのスキャン設定を呼び出すことができます。
  - 宛先を指定する - 送信履歴
- スキャンの初期設定を変更することもできます。
  - デフォルト設定の変更(USB メモリー)
  - デフォルト設定の変更(メール)
  - デフォルト設定の変更(ファイル)

宛先（メールの送信先／共有フォルダーの保存先）

［宛先指定］タブから宛先を指定します。

- 宛先を指定する

スキャンの設定

スキャン画面または［送信設定］タブから、項目を選んで設定します。

- **［読取サイズ］**

  原稿のサイズを選択します。

  ［自動］を設定すると、セットした原稿幅からサイズを自動で検知します。

重要

- トレーシングペーパーや端部が破れた原稿など、お使いの原稿によっては自動検知が失敗する場合があります。

  原稿サイズの自動検知に失敗する場合は、読取サイズを手動で設定してください。

◦ **定形外のサイズに設定する場合**

［任意に指定］を選択し、［X］辺と［Y］辺の長さを入力して、［確定］を押します。

参考

- 特定の定形外サイズの原稿をよく使用する場合は、サイズ登録することができます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。

  ［サイズ登録］→［S1］～［S3］のいずれかを選択 →［X］と［Y］を入力→ ［確定］

- **［ファイル形式］**

  スキャンデータの形式を PDF/JPEG から選択します。

- **［濃度］**

  濃度を調整します。

  濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。

- **［コントラスト］**

  コントラストを調整します。

  強くする場合は［+］に、弱くする場合は［-］に設定します。

- **［彩度］**

  彩度を調整します。

  色を鮮やかにする場合は［+］に、色を薄くする場合は［-］に設定します。

重要

- 彩度強調処理は、彩度が低い画像に対して色の鮮やかさを向上させるためのものです。

  もともと彩度が高い画像に対して実施しても、視覚的な効果が得られない場合があります。

- **［原稿の種類］**

  スキャンする原稿の種類を設定します。

  ◦ ［CAD（線画）］

  線画の CAD 図面などをスキャンするときに選びます。

  ◦ ［ポスター／写真］

  ポスターや写真などをスキャンするときに選びます。

  ◦ ［図面／地図］

  図面や地図などをスキャンするときに選びます。

  ◦ ［青焼き（白黒変換）］

  青焼き図面をスキャンするときに選びます。

  ◦ ［青焼き反転（白黒変換）］

反転した青焼き図面をスキャンするときに選びます。

- ［トレーシングペーパー］

  トレーシングペーパーなどをスキャンするときに選びます。

重要

- 本製品では、原稿種類として［青焼き（白黒変換）］、［青焼き反転（白黒変換）］を選択することができます。原稿の状態によっては、背景が残る、線が途切れるなど、意図したとおりに処理されない場合があります。
- ［青焼き（白黒変換）］および［青焼き反転（白黒変換）］は、青焼き原稿の読み取りに特化した設定です。本設定を使用して読み取ったデータは、すべてモノクロ（白黒のみ）で出力されます。原稿のカラー情報やグレースケール情報を保持して読み取りたい場合は、［CAD（線画）］の設定を使用してください。

- **［解像度］**

  原稿をスキャンする解像度を選択します。

  高い解像度にするほどくっきりとした画像になりますが、送信時間が長くなることがあります。

- **［シャープネス］**

  シャープネスを調整します。

  輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

  ぼやけた文字や図を鮮明にする場合は［+］に設定します。写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合は［-］に設定します。

- **［データサイズ］**

  読み込んだ画像のデータサイズを設定します。

  ［小：サイズ優先］、［標準］、［大：画質優先］から設定します。

- **［ファイル名］**

  スキャンデータのファイル名の先頭に付ける文字列を指定します。

- **［件名/本文］**

  スキャンデータをメールで送信する場合に、件名や本文を設定します。

- **［返信先］**

  メールの返信先として通知するメールアドレス（Reply-To）を、アドレス帳から選択して設定します。設定しない場合、プリンターのメールアドレスが返信先として通知されます。

参考

- メールの送信元として通知するメールアドレス（From）は、［返信先］の設定にかかわらず、プリンターのメールアドレスとなります。
- メールアドレスと併せて送信者名を通知する場合は、［ユーザー略称の登録］から設定します。

  ユーザー略称の登録

- **［重要度］**

  スキャンデータをメールで送信する場合に、重要度のレベルを選択します。

- **［白強調］**

  白色を強調します。

  ［+］に設定すると、白色が強調され画像の明るい部分はより明るくなります。

- **［黒強調］**

  黒色を強調します。

  ［+］に設定すると、黒色が強調され画像の暗い部分はより暗くなります。

  重要

  - 黒強調処理は、画像内の黒色成分を強調することで、視認性を向上させる機能です。

    黒強調を過度に実施すると、画像のノイズが強調され、画像に黒い点が現れることがあります。

- **［よく使う設定］**

  変更した設定内容を、［よく使う設定］として登録できます。

  ➡ よく使う設定を登録する

宛先を指定する

スキャンデータを送信／保存するときは、以下の方法で宛先を指定します。

機能や宛先によって、指定方法や指定できる宛先の数が異なります。



- 宛先を指定する - アドレス帳
- 宛先を指定する - 送信履歴
- 宛先を指定する - LDAP サーバー
- 宛先を指定する - 直接入力
- 指定した宛先を解除する

重要

- スキャンデータをメールで送信する場合、Cc/Bcc の宛先はアドレス帳からのみ指定できます。

参考

- 宛先を指定する操作を繰り返すことで、複数の宛先を指定できます。
- プリンターの設定によって、指定した宛先が正しいか確認する画面が表示されることがあります。宛先の指定方法が制限されていたり、特定の宛先のみに送信が限定されていることもあります。
  - 共通設定

宛先を指定する - アドレス帳

プリンターのアドレス帳に登録されている宛先を指定します。

- 宛先の登録

1. スキャン画面の［宛先指定］タブで、［アドレス帳］を選ぶ

［To/Cc/Bcc］画面が表示された場合は、指定する宛先の種別（To/Cc/Bcc）を選択します。

ホーム画面の［アドレス帳］を選んで、宛先を指定することもできます。

2. 指定する宛先にチェックマークを付け、［確定］を選ぶ

宛先が指定されます。

参考

- ホーム画面からアドレス帳を呼び出して宛先を指定した場合は、指定した宛先が入力された状態でスキャン画面が表示されます。
- アドレス帳の画面下部のインデックスを選択すると、宛先を絞り込んで表示できます。

➡ アドレス帳の機能

短縮ダイヤルの番号で指定する

スキャン画面で宛先を指定する場合は、短縮ダイヤルの番号を入力して指定することもできます。

1. スキャン画面の［宛先指定］タブで、［短縮ダイヤル］を選ぶ

［To/Cc/Bcc］画面が表示された場合は、指定する宛先の種別（To/Cc/Bcc）を選択します。

2. 3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力する

宛先確認画面が表示された場合は、宛先が正しいことを確認してから［OK］を押します。

宛先を指定する - 送信履歴

スキャンの送信履歴から、過去に指定した宛先を呼び出して指定します。送信したときのスキャン設定も、宛先と併せて反映されます。

重要

- 送信履歴を呼び出すと、指定済みの宛先とスキャン設定は上書きされます。
- 履歴からの送信が制限されている場合は、送信履歴は使用できません。

  ➡ 履歴からの再送信を制限

1. スキャン画面の［宛先指定］タブで、［送信の履歴］を選ぶ

2. 呼び出したい履歴を選択する

選択した履歴の宛先とスキャン設定が反映されます。呼び出した宛先とスキャン設定は、変更して送信できます。

参考

- 履歴の宛先が複数の場合、1 件目の宛先だけが表示されますが、すべての宛先が反映されます。
- 送信履歴は以下のときに消去されます。
  - 電源を切ったとき
  - 新規宛先の入力が制限されたとき

    ➡ 新規宛先の制限

宛先を指定する - LDAP サーバー

LDAP サーバーで管理されているユーザー情報から、宛先を検索して指定します。

認証送信（LDAP サーバー認証）のログインをした場合は、ログイン中のユーザー自身のメールアドレスを指定することもできます。

1. スキャン画面の［宛先指定］タブで、［LDAP サーバー］を選ぶ

- 認証送信のログインをした場合に、ログイン中のユーザー自身のメールアドレスを指定するときは、［自分の宛先］を選びます。以降の操作は不要です。

2. 対象の LDAP サーバーを選ぶ

3. 検索条件を指定して、［検索開始］を選ぶ

検索条件に該当するユーザーが表示されます。

- 認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されているプリンターのユーザー名とパスワードを入力します。

4. アドレス帳に登録するユーザーを選択する

名称と宛先がアドレス帳の登録画面に入力されます。

宛先を指定する - 直接入力

操作パネルのキーボードを使用して、宛先を入力します。

1. スキャン画面の［宛先指定］タブで、［キーボード入力］を選ぶ

2. メールアドレスを入力し、［確定］を選ぶ

宛先が指定されます。

指定した宛先を解除する

指定した宛先が不要になった場合は、宛先を解除します。

1. スキャン画面で、［宛先確認］を選ぶ

2. 解除する宛先やグループにチェックマークを付け、［宛先から解除］を選ぶ

参考

- グループにチェックマークを付けた場合は、［詳細情報］→［宛先］から登録されている宛先を確認できます。グループに登録されている宛先は、個別に解除できません。

3. ［はい］を選ぶ

宛先が解除されます。

よく使う設定を登録する

コピー／スキャン機能で、目的に応じた設定を［よく使う設定］として登録します。

登録した設定は、ホーム画面に追加したショートカットボタンや各機能の画面から呼び出し、すばやく実行できます。

- ［よく使う設定］を登録する
- ［よく使う設定］を呼び出す

［よく使う設定］を登録する

プリンターの操作パネルから、［よく使う設定］を登録します。

重要

- パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。
- スキャンの設定を登録する場合は、宛先も［よく使う設定］に登録されます。不要な宛先が指定されていないことを確認してから登録します。
- 登録後に変更することはできません。登録されている宛先を変更する場合は、登録しなおす必要があります。

1. ホーム画面で、［コピー］または［スキャン］を選ぶ

2. 登録する内容を設定する

- コピーする
- スキャンする - USB フラッシュメモリーに保存
- スキャンする - メールで送信
- スキャンする - 共有フォルダーに保存

3. コピー画面またはスキャン画面で、［よく使う設定］を選ぶ

コピーの場合は、［その他の設定］→［よく使う設定］から選びます。

4. 未登録の項目を選択し、［登録］を選ぶ

「メールで送信」または「共有フォルダーに保存」の場合は、宛先の変更に関する確認画面が表示されます。内容を確認し、［はい］を選んでください。

5. 設定内容を確認し、［登録］を選ぶ

設定内容を変更する場合は、変更する項目を選択し、設定しなおします。

参考

- ［名称］を押すと、［よく使う設定］の登録名を変更できます。

6. ショートカットボタンをホーム画面に登録するかを選択する

［よく使う設定］が登録されます。

参考

- ［はい］を選んだ場合は、ホーム画面にショートカットボタンが登録されます。

- ショートカットボタンを後から登録することもできます。
  - ショートカットボタンを追加する

［よく使う設定］を呼び出す

コピー／スキャン機能を利用するときに、登録した［よく使う設定］を呼び出します。

ホーム画面のショートカットボタンから呼び出す場合

ホーム画面でショートカットボタンを選ぶと、登録した設定を呼び出せます。

各機能の画面から呼び出す場合

1. **ホーム画面で、［コピー］または［スキャン］を選ぶ**
2. **コピー画面またはスキャン画面で、［よく使う設定］を選ぶ**

   コピーの場合は、［その他の設定］→［よく使う設定］から選びます。
3. **使用する設定を選択し、［確定］を選ぶ**

   登録した設定が呼び出されます。

パソコン／スマートフォン／タブレットからスキャンする

各種機器からのスキャン方法については、お使いの機器に付属の取扱説明書を参照してください。

Windows からスキャンする

1. ［設定］→［Bluetooth とデバイス］→［デバイス］をクリックする
2. ［関連設定］の［その他のデバイスとプリンターの設定］をクリックする
3. 対象のプリンターを右クリックし、［スキャンの開始］をクリックする

macOS からスキャンする

1. ［システム環境設定］→［プリンタとスキャナ］をクリックする
2. ［スキャン］タブで、［スキャナを開く］をクリックする
3. ［スキャン］をクリックする

Android からスキャンする

- Mopria®について

Chromebook からスキャンする

- Chromebook でスキャン

参考

- 本機は Canon PRINT からのスキャンに対応していません。

スキャンジョブの管理

- スキャンジョブを削除する
- スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

スキャンジョブを削除する

スキャンジョブを、個別に選択して削除できます。

この操作は、操作パネルから行います。

操作パネルの場合

1. **ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ**
2. **［送信ジョブ］を選ぶ**
3. **［送信状況］を選ぶ**
4. **一覧から、目的のジョブを選ぶ**
5. **［中止］を選ぶ**
6. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ**

スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

スキャンデータの送信／保存をはじめ、プリンターで行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しく送信／保存できたどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

➡ 操作パネルの場合
➡ リモート UI の場合

重要

- 送信／保存状況を確認する場合は、操作パネルから実行してください。
- 履歴を表示しないように設定されている場合は、送信／保存状況のみ確認できます。

  ➡ ジョブ履歴の表示

操作パネルの場合

1. ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ

2. ［送信ジョブ］を選ぶ

3. ［送信状況］または［送信履歴］を選ぶ

［送信状況］では、実行中や待機中のジョブを確認できます。

［送信履歴］では、送信／保存が完了したジョブを確認できます。

4. 詳細を確認したいジョブを選ぶ

5. 表示された詳細情報から、状況や履歴を確認する

- **送信／保存履歴に［NG］が表示されている場合**

  送信／保存が中止されたか、エラーが発生しました。「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。

  ➡ エラーコード一覧

  参考

  - 送信／保存が完了したジョブの詳細情報が表示された画面で［アドレス帳登録］を選ぶと、宛先をアドレス帳に登録できます。

    ➡ 操作パネルからアドレス帳に宛先を登録する
  - スキャンデータの宛先が複数の場合は、［宛先］を押すと一覧が表示されます。

リモート UI の場合

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2.［状況確認/中止］を選ぶ

3.［送信］の［ジョブ履歴］を選ぶ

4. 目的のジョブの状況や履歴を確認する

用紙の取り扱い

- **ロール紙の取り扱い**
  - ロール紙をプリンターにセットする
  - ロール紙をプリンターから取り外す
  - ロール紙をロールホルダーから取り外す
  - ロール紙を手動で送る
  - ロール紙をカットする
  - 印刷後にロール紙をカットする
  - ロール紙のつまりを取り除く
- **カット紙の取り扱い**
  - カット紙をプリンターにセットする
  - カット紙を取り外す
  - 任意の位置から印刷を開始する
  - カット紙のつまりを取り除く
- **用紙に関する設定**
  - 用紙の種類を変更する
  - 用紙の長さを設定する
  - ロール紙の残量を管理する
  - ロール紙のカット方法を設定する
  - ロール紙の先端を自動でカットする
  - ロール紙のカット屑を軽減する
  - インク乾燥時間を設定する
  - フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する
  - 電源を切っている間のロール紙交換を検知する
- **用紙に関する情報**
  - 用紙のサイズ
  - 用紙情報一覧
  - 最新の用紙情報に更新する

- 純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する
  - 既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
  - 用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
- 「Media Configuration Tool」を使ってプリンターの用紙情報を管理

ロール紙の取り扱い

- ロール紙をプリンターにセットする
- ロール紙をプリンターから取り外す
- ロール紙をロールホルダーから取り外す
- ロール紙を手動で送る
- ロール紙をカットする
- 印刷後にロール紙をカットする
- ロール紙のつまりを取り除く

ロール紙をプリンターにセットする

以下の手順でロール紙をプリンターにセットします。

⚠注意

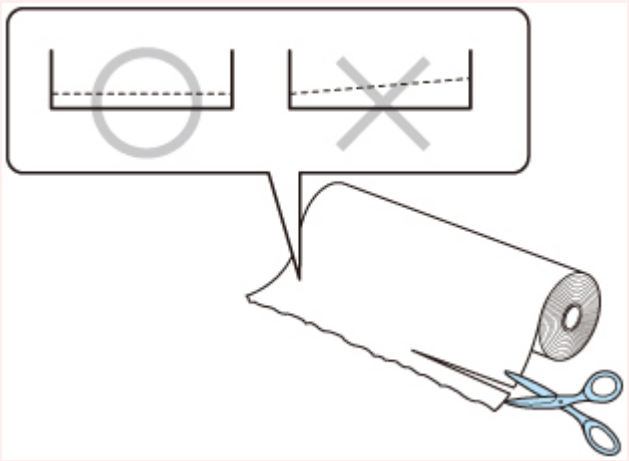
- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

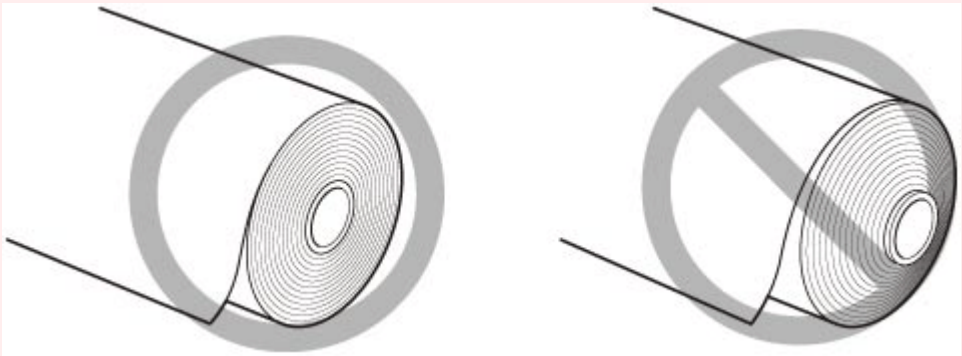
- ロール紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。

  ➡ トップカバー内部を清掃する

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、切り揃えておいてください。給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。



- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。



- 給紙不良が発生した場合は、リリースレバーを解除してロール紙をセットし直してください。

参考

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、「用紙のサイズ」、または「用紙情報一覧」を参照してください。

1. ステータス画面で［用紙セット］または［用紙交換］を選ぶ

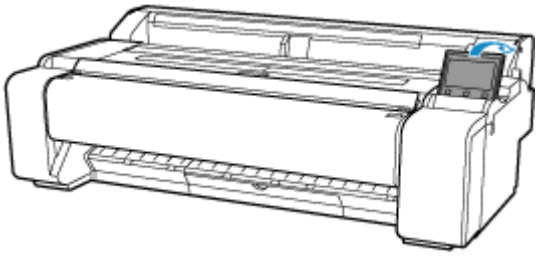


2. ［ロール紙をセットする］を選ぶ

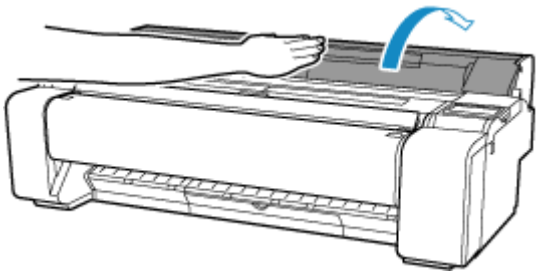
参考

- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  画面に従って用紙を取り外した後、次の手順に進んでください。

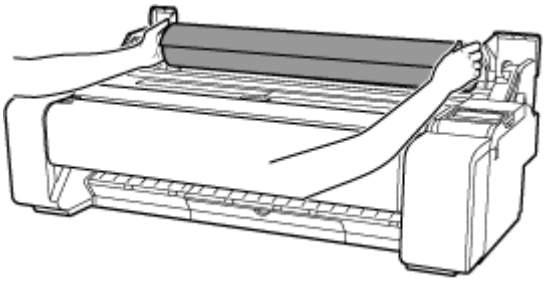
3. 操作パネルを倒す



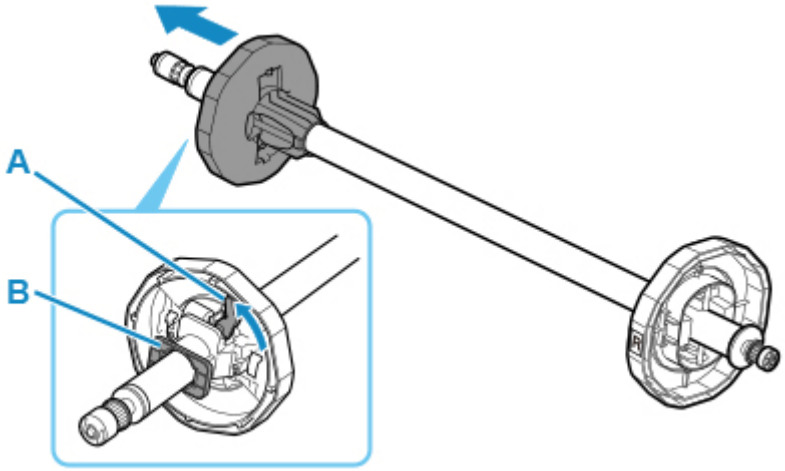
4. ロール紙カバーを開く



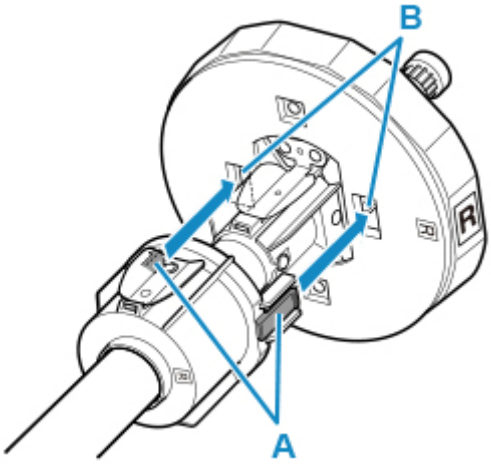
5. ロール紙をプリンター上面のくぼみに置く



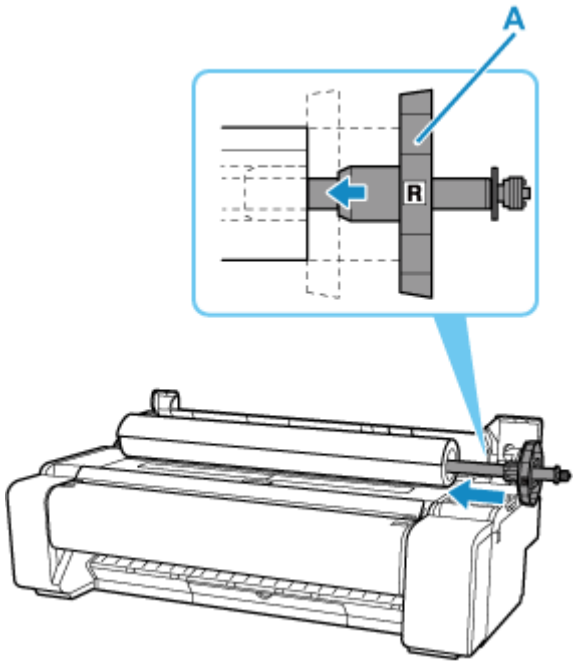
6. ホルダーストッパーのレバー（A）を のほうに回してロックを解除し、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外す



7. 3 インチ紙管の用紙を使用する場合は、3 インチ紙管アタッチメントのツメ（A）をロールホルダーの穴（B）に合わせて、しっかりと差し込む



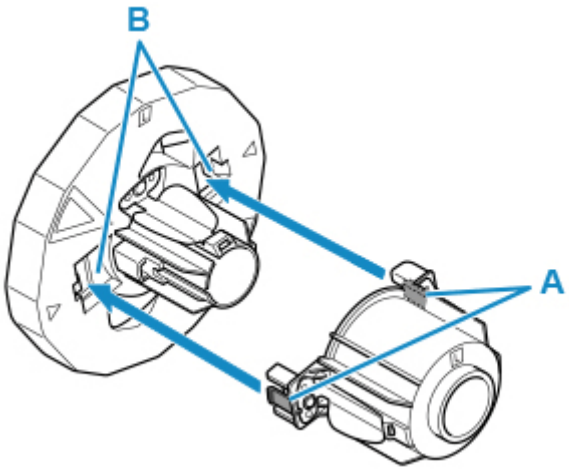
8. ロール紙の先端を手前側に向けて、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込み、ロール紙が、ロールホルダーのフランジ（A）に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込む



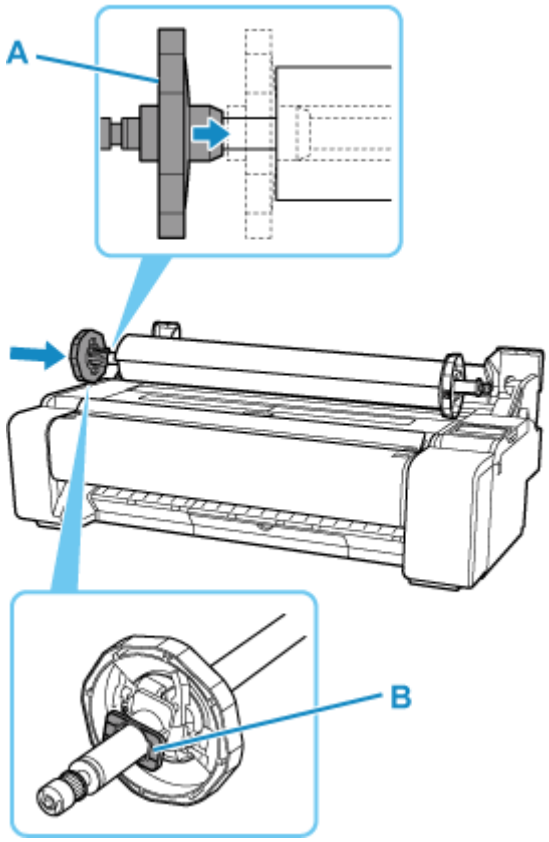
重要

- ロール紙をセットするときに、強い衝撃を与えないでください。ロールホルダーが破損する原因になります。
- ロールホルダーを立ててロール紙を落とすようにセットすると、ロールホルダーが破損する可能性があります。

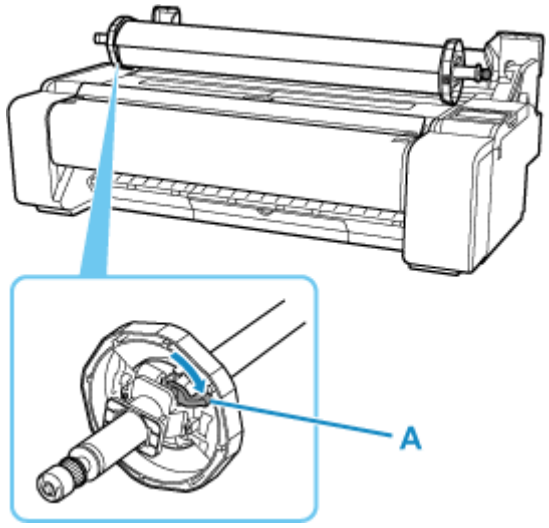
9. 3インチ紙管の用紙を使用する場合は、3インチ紙管アタッチメントのツメ（A）をホルダーストッパーの穴（B）に合わせて、しっかりと差し込む



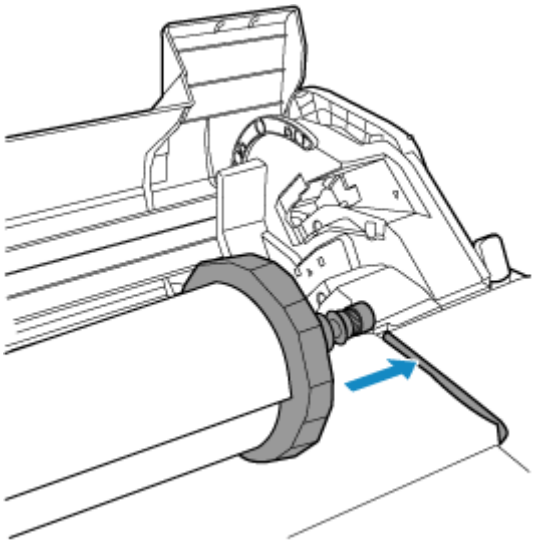
10. ホルダーストッパーを左側からロールホルダーに差し込み、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーのフランジ（A）がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込む



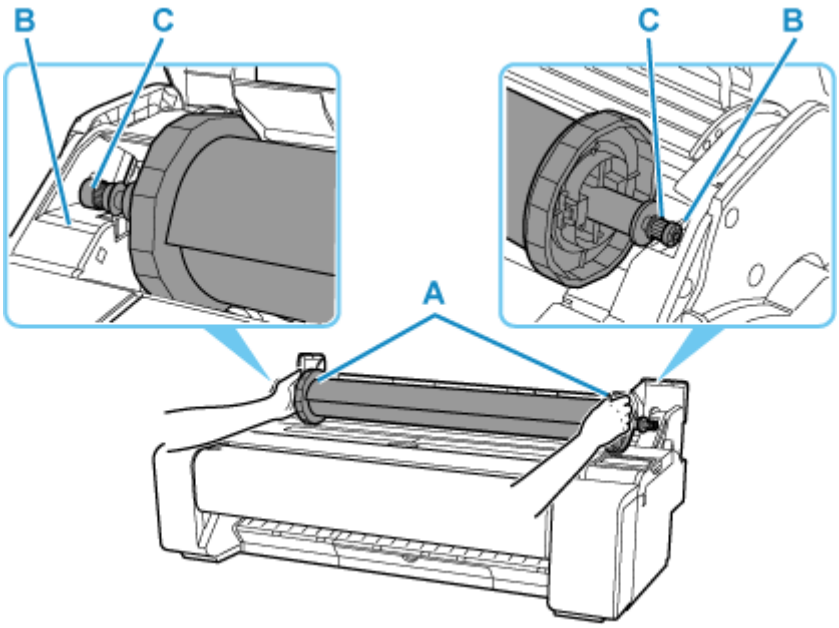
11. ホルダーストッパーのレバー（A）を のほうに回してロックする



12. ロールホルダーを、右方向に突き当てる



13. **ロールホルダーのフランジ（A）を持って、左右のスライドガイド（B）に沿って水平にロールホルダースロットにセットする**



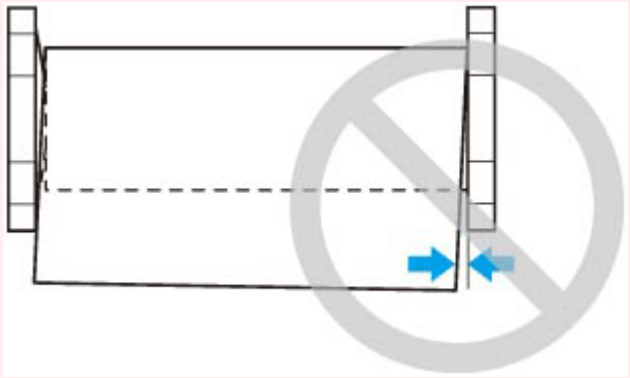
⚠注意

- ロールホルダーの左右を間違えた状態で無理にセットしないでください。プリンターやロールホルダーを破損する場合があります。
- ロールホルダースロットにセットするまでフランジから手を離さないでください。
- セットするときに、スライドガイド（B）とロールホルダーの軸（C）の間に指が挟まれないように注意してください。

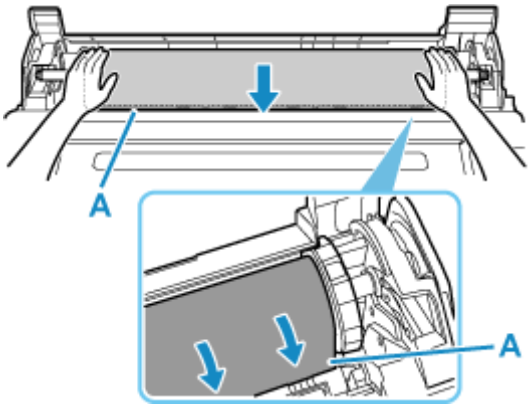
重要

- ロール紙の先端が斜めになっていたり折れていたりすると、正しく給紙されない場合があります。先端部分をはさみなどでカットしてまっすぐにしてください。
- ロール紙を取り付ける向きが逆向きにならないようにセットしてください。
- ロール紙の巻きが緩んでいる場合は、あらかじめ緩みを取ってからセットしてください。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。

- ロール紙の右端とロールホルダーの間に、すきまが開かないようにセットしてください。



14. ロール紙の先端を給紙口（A）に差し込み、給紙動作を開始するまで送り込む



重要

- 用紙の先端がロールに張り付いて給紙口に差し込みにくい場合は、ロール紙を少し引き出してから先端を給紙口に差し込んでください。
- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。

15. 給紙動作が始まったあと、［ロール紙残量管理］の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作を行う

➡ ロール紙の残量を管理する

- **［ロール紙残量管理］で［無効］または［用紙残量推定機能で管理］を選んでいる場合**
  - **［用紙種類の選択方法］が［手動選択］または［推定結果から手動選択］の場合**

    タッチスクリーンに用紙の種類を選ぶメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。
  - **［用紙種類の選択方法］が［推定結果から自動設定］の場合**

    タッチスクリーンに用紙の種類の候補が表示されます。５秒経過すると１項目の用紙の種類が選ばれます。他の候補を選ぶ場合はタッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。

- **［ロール紙残量管理］で［バーコードで管理］が選ばれ、バーコードが印刷されている場合**

  ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。用紙の種類、長さを選ぶ必要はありません。

- **［ロール紙残量管理］で［バーコードで管理］が選ばれ、バーコードが印刷されていない場合**

  - **［用紙種類の選択方法］が［手動選択］の場合**

    タッチスクリーンに用紙の種類と長さを選択するメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選択し、長さを入力してください。

  - **［用紙種類の選択方法］が［推定結果から手動選択］の場合**

    タッチスクリーンに推定された用紙の種類候補と長さを選択するメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選択し、長さを入力してください。

  - **［用紙種類の選択方法］が［推定結果から自動設定］の場合**

    タッチスクリーンに推定された用紙の種類候補と長さを選択するメニューが表示されます。5秒経過すると候補１．の用紙の種類が選ばれます。他の候補を選ぶ場合は５秒以内にタッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。

参考

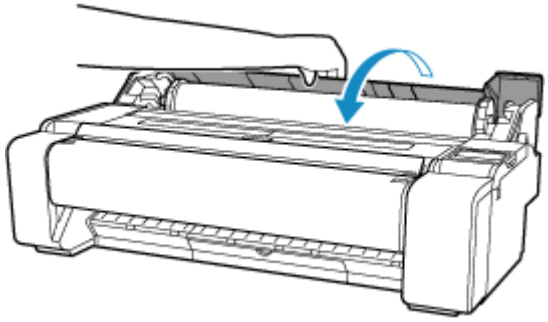
- ［用紙種類の選択方法］で［推定結果から手動選択］または［推定結果から自動設定］を選んでいる、かつロール紙の残量管理をバーコードで行っている場合、最初にバーコードを読み取りが行われます。バーコードの読み取りに失敗した場合、推定結果から紙種を検知し、その候補を表示します。
- 選ぶ用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。
- ［用紙種類の選択方法］を［固定］にしている場合、用紙の種類を選ぶ必要はありません。
- ロール紙の幅は用紙をセットした時にプリンターが自動で検知をおこないます。

  定型サイズ以外の幅のロール紙では、検知した幅の長さと設定した幅の長さが完全に一致している必要があるため、正しいロール紙をセットしても検知に失敗してしまう場合があります。

  このような現象が起きる場合は、［優先ロール紙幅登録］に使用したいロール紙幅を設定することで改善されます。

  ➡ 優先ロール紙幅登録

16. ロール紙カバーを閉じる



重要

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は、ロール紙の先端をカットしてください。

➡ ロール紙をカットする

ロール紙をプリンターから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンターから取り外します。

参考

- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、任意の位置で用紙をカットします。

  ➡ ロール紙をカットする

1. ホーム画面またはステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙の取り外し] を選ぶ

3. [はい] を選ぶ

ロール紙が巻き戻されます。

重要

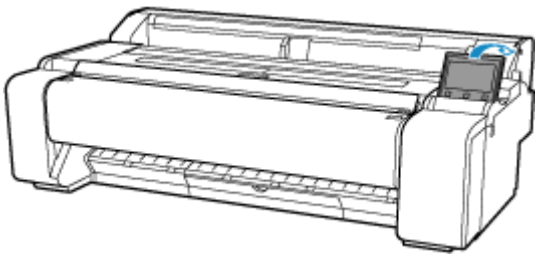
- 操作パネルのメニューで [ロール紙残量管理] を [バーコードで管理] に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。

  バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。

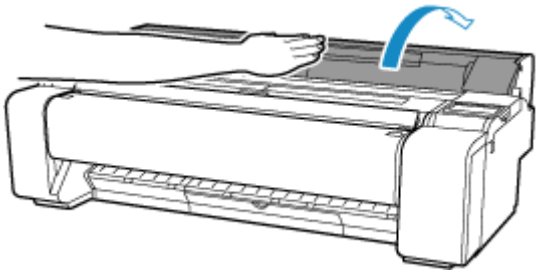
  ➡ ロール紙の残量を管理する



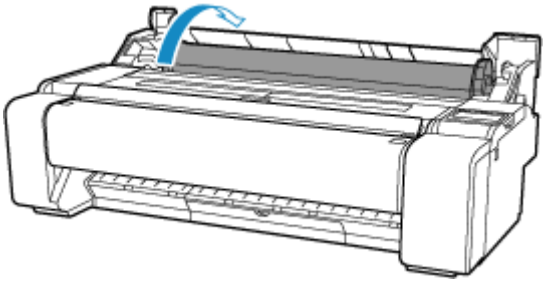
4. 操作パネルを倒す



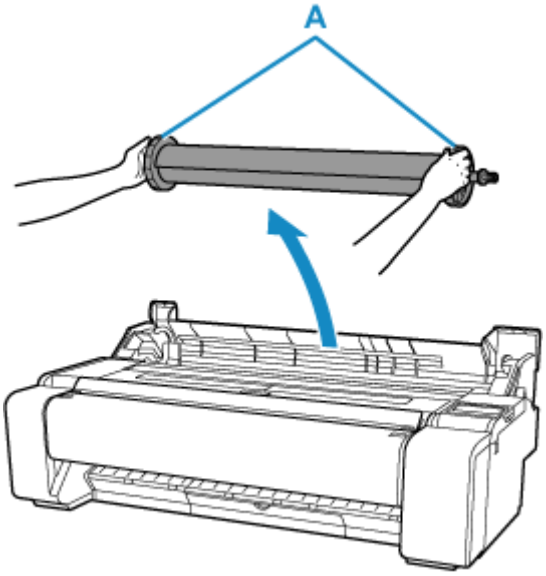
5. ロール紙カバーを開く



6. 両手でロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る



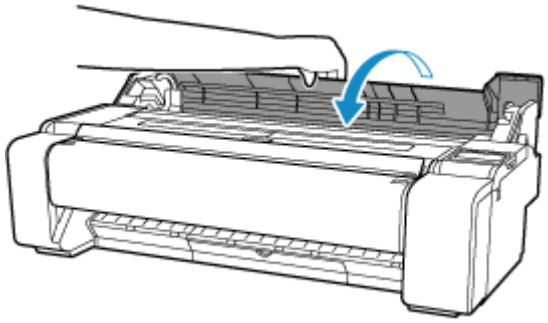
7. ロールホルダーのフランジ（A）を持って、ロールホルダースロットから取り外す



参考

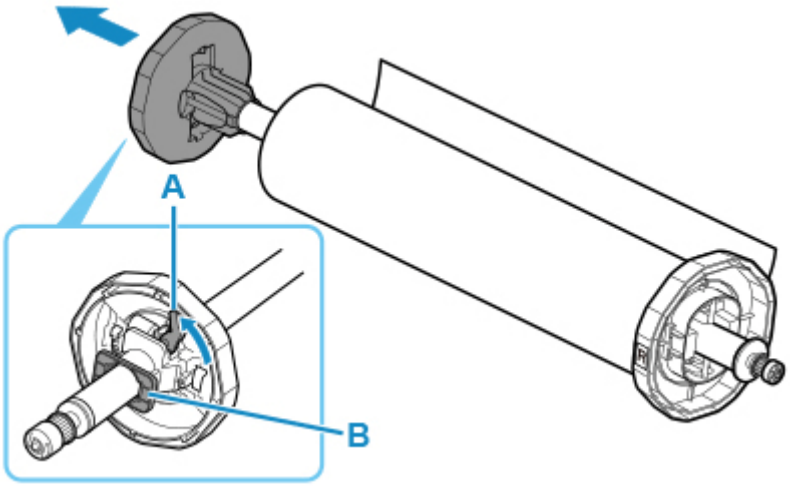
- ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「ロール紙をロールホルダーから取り外す」を参照してください。

8. ロール紙カバーを閉じる

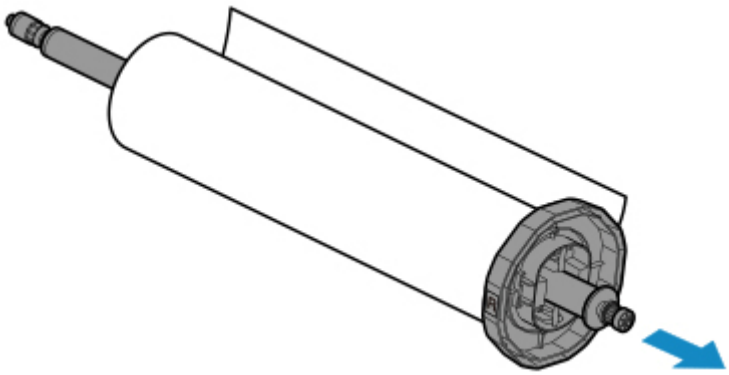


ロール紙をロールホルダーから取り外す

1. **ホルダーストッパーのレバー（A）を のほうに回してロックを解除し、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外す**

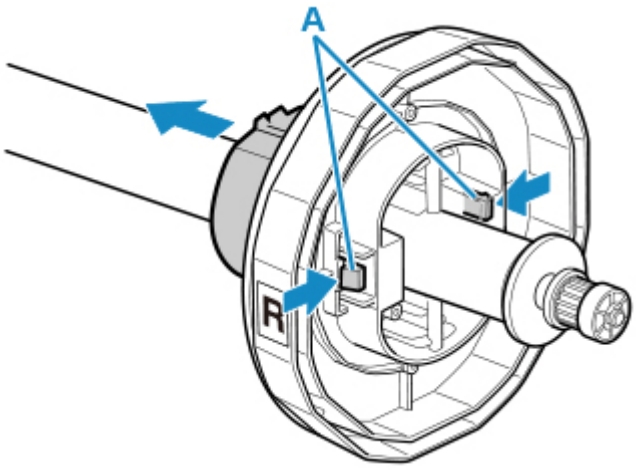


2. **ロール紙からロールホルダーを取り外す**

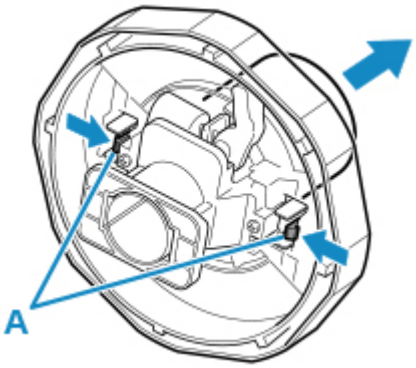


3. **3 インチ紙管アタッチメントを取り外す場合は、ツメ（A）を内側に押して、アタッチメントを取り外す**

- ロールホルダー側



- ホルダーストッパー側



重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る

ロール紙の給紙後に、ロール紙を前後に送ることができます。

1. ステータス画面で［用紙送り］を選ぶ



2. ［送り出す］、［巻き戻す］をタップ、またはタッチして、ロール紙を前後に送る

参考

- ［送り出す］、［巻き戻す］をタップすると、ロール紙は約 1 mm (0.1 inch)送られます。

  ［送り出す］、［巻き戻す］をタッチすると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。操作パネルに［これ以上用紙を送ることはできません］が表示された場合は、指を離します。

3. ロール紙の位置が決まったら［OK］を選ぶ

ロール紙をカットする

ロール紙の給紙後に、ロール紙をカットすることができます。

1. ステータス画面で［用紙送り］を選ぶ



2. ［送り出す］、［巻き戻す］をタップ、またはタッチして、ロール紙を前後に送る

参考

- ［送り出す］、［巻き戻す］をタップすると、ロール紙は約 1 mm (0.1 inch)送られます。

  ［送り出す］、［巻き戻す］をタッチすると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。操作パネルに［これ以上用紙を送ることはできません］が表示された場合は、指を離します。

3. ロール紙の位置が決まったら［用紙カット］を選ぶ

4. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

印刷後にロール紙をカットする

プリンターの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

ロール紙のカット方法を設定する

イジェクトカット（用紙表面に傷が付く場合／インクの乾燥を待つ場合）

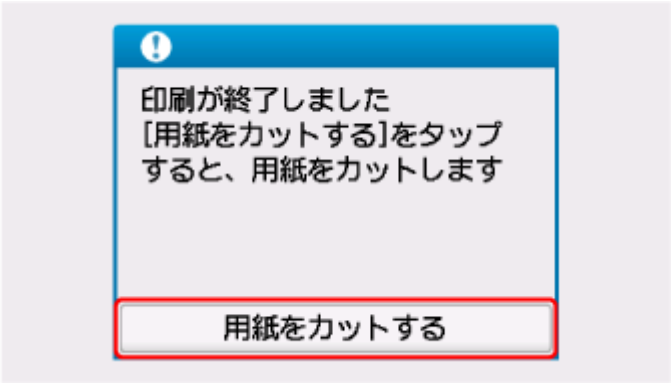
重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を 2 人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

1. 印刷する

印刷が終わると、カットされずに自動的に停止します。

2. 印刷物が落下しないように下から支えながら、［用紙をカットする］を選び、ロール紙をカットする



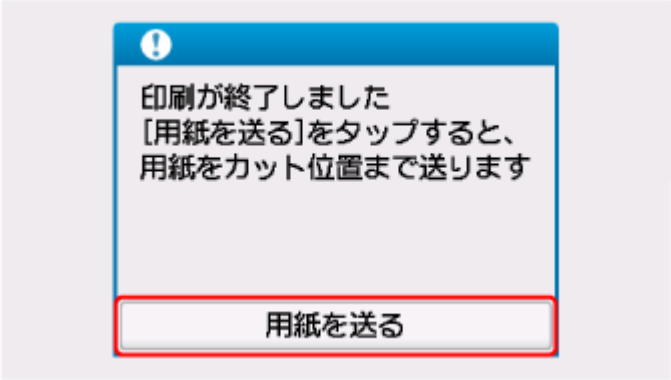
ユーザーカット（カッターブレードでカットできない用紙の場合）

1. 印刷する

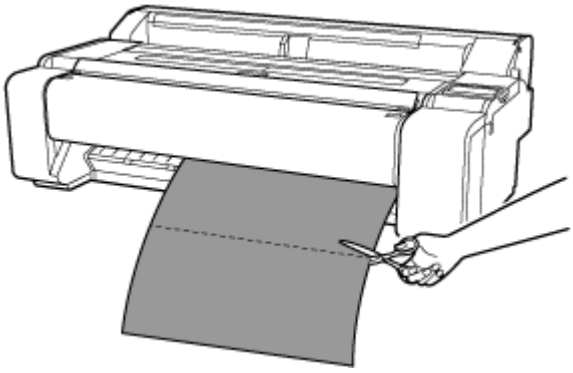
印刷が終わると、停止します。

2. ［用紙を送る］を選ぶ

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。



3. 手動でロール紙をはさみなどでカットする



4. [OK] を選ぶ

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

カット紙の取り扱い

- カット紙をプリンターにセットする
- カット紙を取り外す
- 任意の位置から印刷を開始する
- カット紙のつまりを取り除く

カット紙をプリンターにセットする

以下の手順でカット紙をプリンターにセットします。

重要

- 給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 給紙前や印刷前に、用紙がロール紙カバーに沿っていることを確認してください。用紙が手前に倒れた状態で給紙および印刷をすると、紙づまりの原因になります。
- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットするとエラーになります。

  ➡ 1317

参考

- カット紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。

  ➡ トップカバー内部を清掃する
- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

1. ステータス画面で［用紙セット］または［用紙交換］を選ぶ

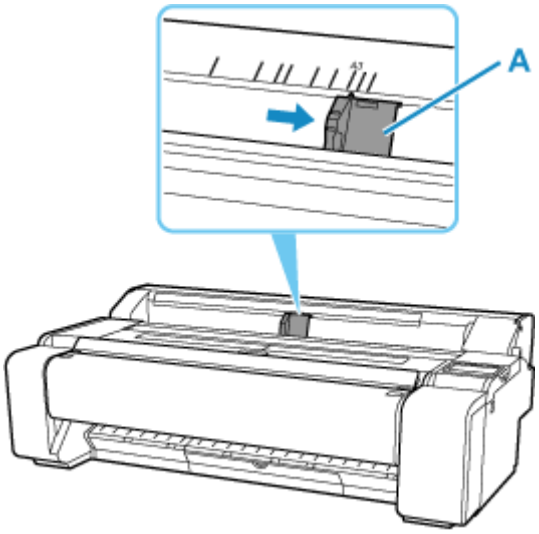


参考

- 事前に印刷ジョブを受信している場合、画面の指示に従って、［用紙をセットする］を選んでください。

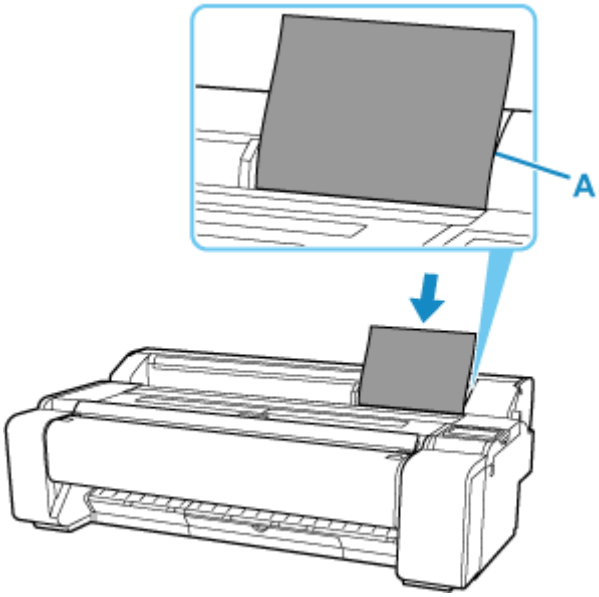
2. ［カット紙をセットする］を選ぶ

3. 幅ガイド（A）をつまんでスライドし、セットする用紙のサイズの刻印に合わせる



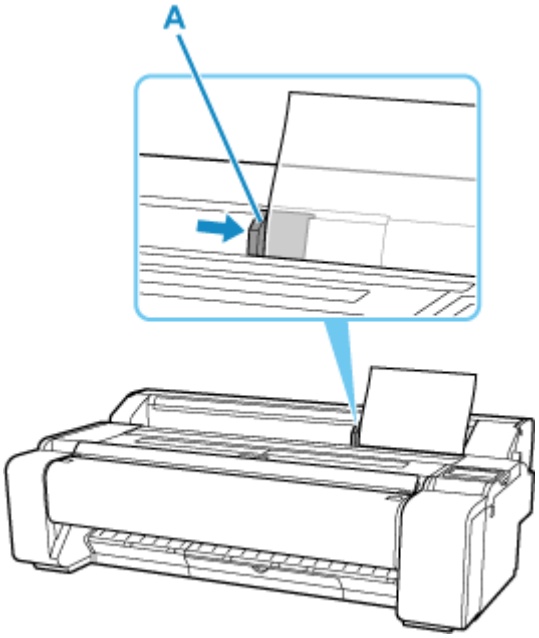
4. 印刷面を上にし、用紙の右端をロール紙カバーの右側の紙合わせライン（A）に沿わせるようにして、給紙口に用紙を 1 枚セットする

用紙の先端が突き当たるまで差し込んでください。



5. 幅ガイド（A）の位置をセットした用紙のサイズに合わせて微調整する

セットした用紙が傾いたりしわにならないように、幅ガイドを用紙にぴったり合わせてください。



6. ［給紙開始］を選ぶ

参考

- 事前に印刷ジョブを受信している場合、給紙後、印刷が開始されます。

7. セットした用紙の種類を選び、［OK］を選ぶ

給紙が開始されます。

参考

- 選ぶ用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。

カット紙を取り外す

以下の手順でカット紙をプリンターから取り外します。

1. ホーム画面またはステータス画面で、カット紙の用紙設定表示部を選ぶ

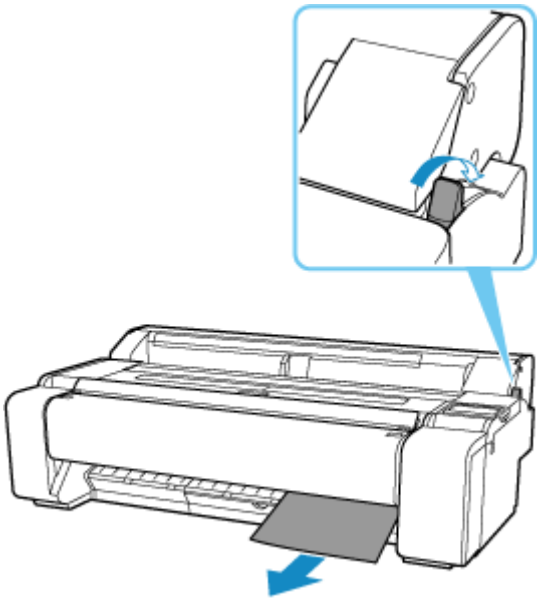


2. [用紙の取り外し]を選ぶ

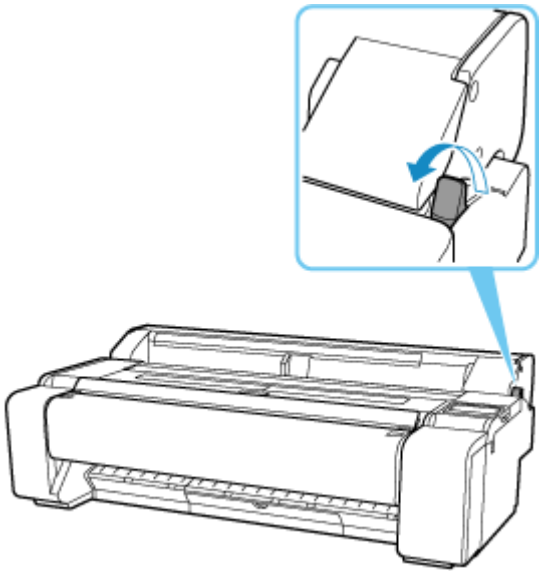
3. メッセージの内容を確認し、[はい]を選ぶ

カット紙は前側に排紙されます。

4. 用紙を持ちながらリリースレバーを後ろ側に押して、カット紙を取り外す



5. リリースレバーを手前側に引く



任意の位置から印刷を開始する

カット紙を使って、任意の位置から印刷する方法を説明します。

［用紙の幅を検知する］を［無効］に設定する

1. ステータス画面で、カット紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. ［用紙設定］を選ぶ

3. ［用紙の詳細設定］を選ぶ

4. ［用紙の幅を検知する］を選ぶ

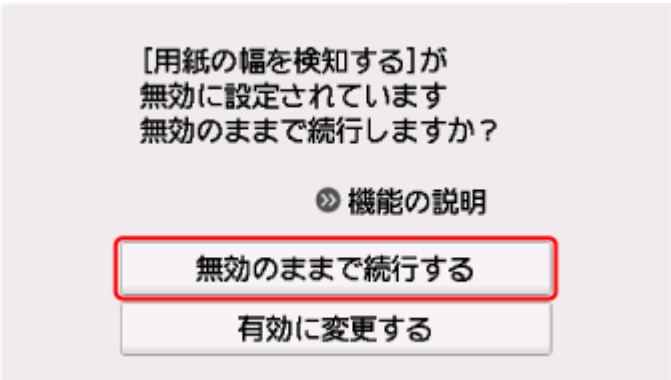
5. ［無効］を選ぶ

用紙を任意の印刷開始位置へセットする

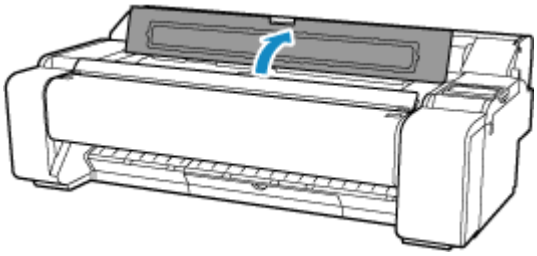
1. 用紙をセットする

➡ カット紙をプリンターにセットする

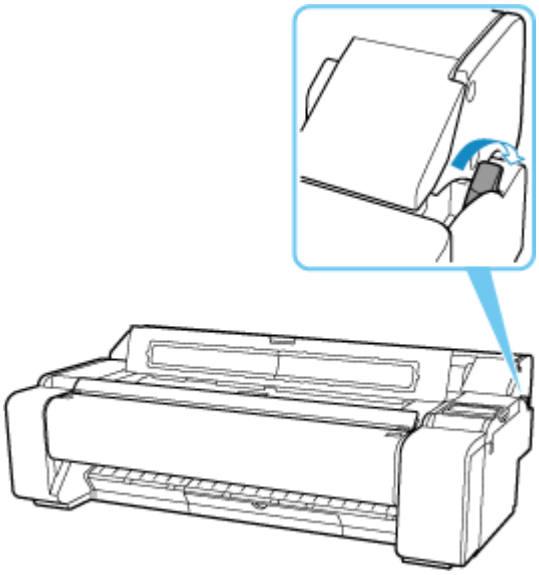
2. メッセージの内容を確認し、［無効のままで続行する］を選ぶ



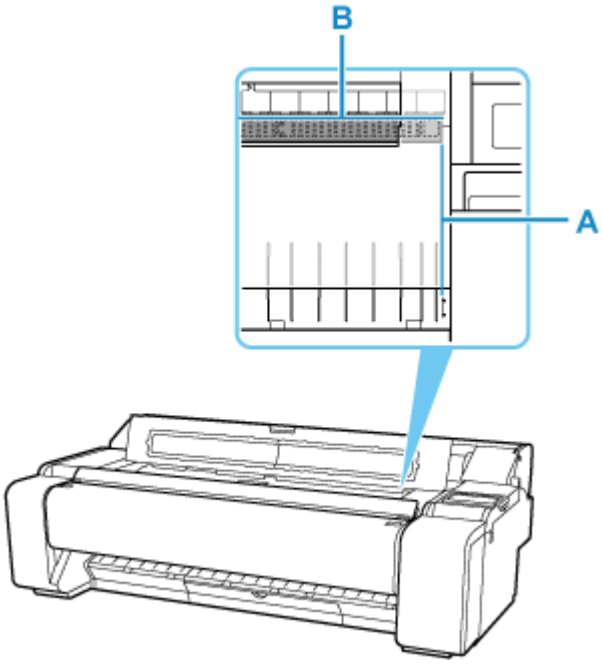
3. トップカバーを開く



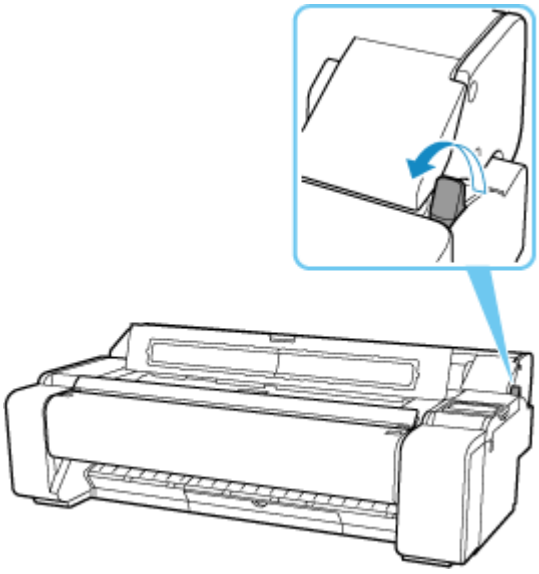
4. リリースレバーを後ろ側に押す



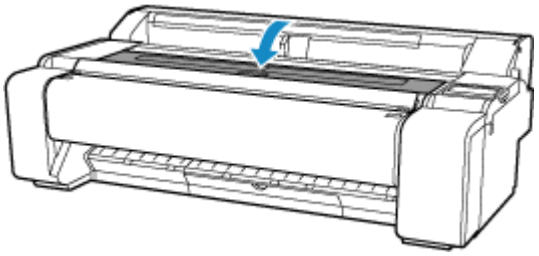
5. 用紙の右端をプリンター本体の右側の紙合わせライン（A）の延長線上に合わせながら、印刷を開始したい任意の位置をプラテンの奥側の溝（B）に合わせてセットする



6. リリースレバーを手前側に引く



7. トップカバーを閉じる



8. 用紙のサイズを選ぶ画面が表示されたら、セットした用紙のサイズを選ぶ

用紙に関する設定

- 用紙の種類を変更する
- 用紙の長さを設定する
- ロール紙の残量を管理する
- ロール紙のカット方法を設定する
- ロール紙の先端を自動でカットする
- ロール紙のカット屑を軽減する
- インク乾燥時間を設定する
- フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する
- 電源を切っている間のロール紙交換を検知する

用紙の種類を変更する

用紙のセット後にプリンターに設定した用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で変更してください。

重要

- このプリンターは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量とプリントヘッドの高さを調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選んでください。

参考

- 本プリンターには、用紙のセット時にセンサーで読み取ったデータにより用紙の種類を推定する機能があります。この機能を使い続けると、読み取ったデータを学習し、用紙種類の推定精度がより高くなります。複数の用紙を使い続ける場合に、この機能を使用すると、用紙をセットするたびに、用紙の種類を選択する必要が少なくなっていきます。

  ➡ 用紙種類の選択方法

- 同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の選択方法]を[固定]に設定すると、用紙をセットする際に、[固定]に設定する前に選んだ用紙の種類が自動的に選ばれ、用紙の種類を設定する手間が省けます。

  ➡ 用紙種類の選択方法

1. ステータス画面で、用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定]を選ぶ

3. [用紙種類]を選ぶ

4. プリンターにセットされている用紙の種類を選ぶ

重要

- 必ず正しい用紙の種類を選んでください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

参考

- 用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選んだ用紙に戻ります。

用紙の長さを設定する

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

参考

- ロール紙の長さの設定は、［ロール紙残量管理］が［バーコードで管理］に設定されている場合に行います。

  ➡ ロール紙の残量を管理する

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. ［用紙設定］を選ぶ

3. ［用紙の長さ］を選ぶ

4. ロール紙の長さを入力して、［確定］を選ぶ

ロール紙の残量を管理する

ロール紙の残量は、バーコードによる管理とロール紙の残量を推定して管理する方法があります。

ロール紙の残量をバーコードで管理する

［ロール紙残量管理］を［バーコードで管理］に設定すると、用紙を取り外す際にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。［ロール紙残量管理］が［バーコードで管理］に設定されているときにバーコードが印刷されたロール紙をセットすると、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。バーコード部分は読み取り後にカットされます。



重要

- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、操作パネルで用紙種類と長さを入力します。このときの用紙の長さは、［ロール紙の長さ(初期値の変更)］で設定しておくことができます。

  ➡ バーコード管理時のロール紙残量の初期値を設定する

［ロール紙残量管理］を［バーコードで管理］に設定する場合は、以下の手順で行います。

1. **ホーム画面で［用紙関連の設定］を選ぶ**
2. **［ロール紙残量管理］を選ぶ**
3. **［バーコードで管理］を選ぶ**
4. **ロール紙の長さを設定する**

   参考

   - 表示されるロール紙の長さは、［ロール紙の長さ(初期値の変更)］で設定できます。

     ➡ バーコード管理時のロール紙残量の初期値を設定する

5. **残量警告のタイミングを選ぶ**

バーコード管理時のロール紙残量の初期値を設定する

［ロール紙残量管理］で［バーコードで管理］を選んでいるときに、新しいロール紙など、バーコードが印刷されていないロール紙を給紙すると、ロール紙の長さ（残量）を入力する画面が表示されます。

この画面には、初期値の長さ（残量）が表示されます。長さが正しくないときは、正しい長さを入力してください。

初期値の長さ（残量）を変更したい場合は、以下の手順で変更します。

1. **ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ**



2. [用紙設定]を選ぶ

3. [用紙の詳細設定]を選ぶ

4. [ロール紙の長さ(初期値の変更)]を選ぶ

5. ロール紙の長さを入力して、[確定]を選ぶ

ロール紙の残量を推定して管理する

[ロール紙残量管理]を[用紙残量推定機能で管理]に設定したときに、ロール紙の残量を推定して操作パネルに表示します。バーコードは印刷されません。

用紙切れ時に、推定した残量との誤差を学習します。次に同じ用紙をセットした場合には、用紙残量の推定精度がより高くなります。

重要

- 用紙の種類を正しく選んでいない場合は、残量が正しく推定できないことがあります。
- 推定された残量には誤差があり、印刷中に用紙切れになる場合もあります。
- 用紙情報一覧に表示されていない用紙を使用する場合は、[用紙の詳細設定]または Media Configuration Tool で、[紙の厚さ]と[紙管外径サイズ]を設定してください。残量の推定には、[紙の厚さ]と[紙管外径サイズ]を正しく設定する必要があります。
  - 用紙情報一覧
  - Media Configuration Tool ガイド

ロール紙のカット方法を設定する

重要

- ［自動カット］、［イジェクトカット］は、プリンタードライバーの［オートカット］が［あり］の場合のみ動作します。
  - 印刷後にロール紙をカットする（Windows）
  - 印刷後にロール紙をカットする（macOS）
- ［イジェクトカット］で連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- ［ユーザーカット］で連続印刷する場合は、プリンタードライバーの［オートカット］で［あり］または［カットラインを印刷］を選びます。
- 用紙の種類によっては、あらかじめ［カットモード］が［イジェクトカット］または［ユーザーカット］に設定されている用紙があります。これらの用紙はカット方法を変更しないことをお勧めします。
- ［自動カット］、［イジェクトカット］、［ユーザーカット］で印刷長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さまで送ってカットするので、用紙の下端余白が長くなる場合があります。

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. ［用紙設定］を選ぶ

3. ［用紙の詳細設定］を選ぶ

4. ［カットモード］を選ぶ

5. 設定を選ぶ

［自動カット］

カッターブレードでロール紙を自動的にカットします。

［イジェクトカット］

カッターを操作パネルの操作で動かして用紙をカットするときに選びます。［自動カット］では用紙が落下してバスケットにこすれて用紙表面に傷がつく場合がありますが、この方法ではカットの際に用紙が落下しないように手で用紙を保持しながらカットできるので、用紙の損傷を回避できます。また、インクの乾燥を目視で確認しながらカットできるので、インクが乾いていない状態で用紙が落下することを防げます。

印刷終了時に、［用紙をカットする］を選んで、カッターブレードでロール紙をカットします。

➡ 印刷後にロール紙をカットする

［ユーザーカット］

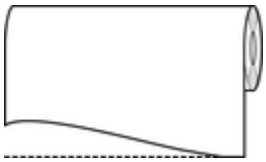
カッターブレードでカットできない用紙の場合に選びます。

1 枚ずつはさみでロール紙をカットします。

➡ 印刷後にロール紙をカットする

ロール紙の先端を自動でカットする

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていないと正しく印刷できません。その場合は、操作パネルのメニューの［先端プレカット］で、ロール紙セット時に先端を切り揃えることができます。



［先端プレカット］の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. ［用紙設定］を選ぶ

3. ［用紙の詳細設定］を選ぶ

4. ［先端プレカット］を選ぶ

5. 設定を選ぶ

次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

［自動］

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていない場合、プラテンの上に印刷してプリンターを汚さないように、先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。

［OFF］

先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。

［ON(規定長さ)］

ロール紙セット時に、規定長さでカットします。規定長さは、用紙の種類によって異なります。「用紙情報一覧」の「先端カット長」の項目を参照してください。

➡ 用紙情報一覧

［ON(指定長さ)］

ロール紙セット時に、指定長さでカットします。指定できる長さの範囲は、用紙の種類によって異なります。

［手動］

用紙先端のカット量を操作パネルの操作で調整できます。

調整後、［用紙カット］を選び、［はい］を選択すると用紙をカットできます。

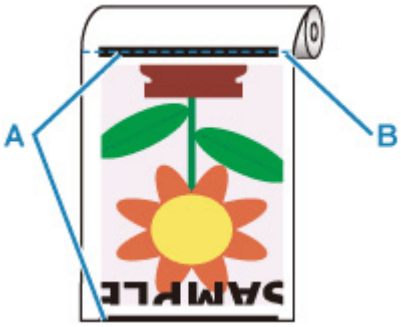
用紙をカットした後は、［用紙セットを完了する］を選んでください。

参考

- 用紙をカットした後、［用紙セットを完了する］を選ばないと、次の印刷ができません。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、操作パネルのメニューから［カット屑軽減］を［する］に設定することで、印刷物の先端と後端にインクが塗布され、カット屑の散乱を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。［カット屑軽減］は、用紙の種類ごとに設定できます。



A：インクが塗布される

B：カットされる位置

重要

- 普通紙や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、［カット屑軽減］を［する］に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- ［カット屑軽減］を［する］に設定している場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、［カット屑軽減］を［しない］に設定してください。

以下の手順で［カット屑軽減］を［する］に設定します。

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2.［用紙設定］を選ぶ

3.［用紙の詳細設定］を選ぶ

4.［カット屑軽減］を選ぶ

5.［する］を選ぶ

インク乾燥時間を設定する

インクの定着が悪い用紙の場合、排紙時の転写などにより、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

重要

- プリンター本体の設定は、プリンタードライバーでインク乾燥時間を設定しない場合に適用されます。プリンタードライバーでインク乾燥時間を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
  - ➡ ［基本設定］シートの画面説明（Windows）
  - ➡ 用紙の詳細設定（macOS）

参考

- カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、用紙の表面に傷や汚れが付いたり、表面がこすれ、用紙の表面に汚れが付く場合があります。

  印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンターのメニューの［カットモード］を［イジェクトカット］に設定します。

  - ➡ ロール紙のカット方法を設定する

スキャン間で休止する場合

1 スキャン分を印刷してから、次の 1 スキャン分を印刷するまでの待ち時間を設定します。乾燥待ち時間と待ち時間を発生させる対象領域を設定できます。

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. ［用紙設定］を選ぶ

3. ［用紙の詳細設定］を選ぶ

4. ［スキャン間で休止する］を選ぶ

5. ［インク乾燥待ち時間］を選ぶ

6. 設定を選ぶ

ページ間で休止する場合

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定します。次のページがある場合は乾燥待ち時間経過後に印刷を行います。

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定] を選ぶ

3. [用紙の詳細設定] を選ぶ

4. [ページ間で休止する] を選ぶ

5. 設定を選ぶ

フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する

フチなし印刷を行った際に、用紙の左右に余白が残ったり、用紙の裏面が汚れてしまう場合があります。はみ出し量の調整により、これらが改善されることがあります。

用紙の幅ごとに、フチなし印刷を推奨する紙幅（推奨紙幅）と、フチなし印刷が可能な紙幅（可能紙幅）があります。推奨紙幅と可能紙幅では、はみ出し量を設定する手順が異なります。

- 推奨紙幅のはみ出し量を設定する
- 可能紙幅のはみ出し量を設定する

フチなし印刷を推奨する紙幅については、「用紙のサイズ」を参照してください。

推奨紙幅のはみ出し量を設定する

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定] を選ぶ

3. [用紙の詳細設定] を選ぶ

4. [フチなし時のはみ出し量] を選ぶ

5. [推奨紙幅] を選ぶ

6. はみ出し量を選択する

[多い]、[標準] または [少ない] から選択できます。

参考

- [多い] を選択すると、印刷される範囲が広くなります。余白が残る場合に選んでください。
- [少ない] を選択すると、印刷される範囲が狭くなります。用紙の裏面が汚れる場合に選んでください。

可能紙幅のはみ出し量を設定する

可能紙幅の場合は、原稿の幅を用紙よりわずかに小さく設定して印刷するため、左右に若干の余白が生じます。はみ出し量を増やすことで、余白を軽減できます。

一方、はみ出し量を増やし過ぎると、はみ出したインクで用紙の裏側が汚れやすくなります。可能紙幅のはみ出し量を設定してフチなし印刷を行う場合は、プラテンを定期的に清掃してください。

➡ トップカバー内部を清掃する

1. ステータス画面で、ロール紙の用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定]を選ぶ

3. [用紙の詳細設定]を選ぶ

4. [フチなし時のはみ出し量]を選ぶ

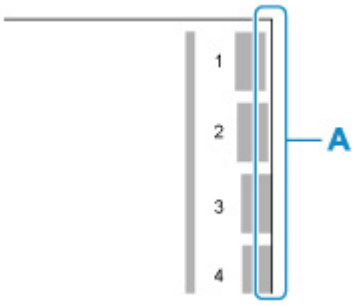
5. [可能紙幅]を選ぶ

6. [はみ出し量の調整パターン印刷]を選ぶ

7. 表示されるメッセージを確認し、[はい]を選ぶ

調整値別の調整用パターンが印刷されます。

8. 調整値を選ぶ



出力パターンの 1 番から 8 番の用紙の縁（A）を見て、印刷されているパターンのはみ出し量が適切な番号を選んでください。

参考

- 設定した調整値が大きいほど、印刷される範囲が広くなります。
- 設定後はフチなし印刷を行って、余白の状態を確認することをお勧めします。

  余白が残る場合は、現在よりも大きい調整値を設定してください。用紙の裏面が汚れる場合は、現在よりも小さい調整値を設定してください。

- 調整用パターンの印刷および確認用のフチなし印刷を行った後は、プラテンを清掃することをお勧めします。

  ➡ トップカバー内部を清掃する

電源を切っている間のロール紙交換を検知する

プリンターの電源を入れたときに、電源を切っている間にロール紙を交換したかを確認することができます。

[起動時の自動給紙]を[ON]にすると、電源を入れたときにロール紙の先端の位置を検知します。前回電源を切ったときから、ロール紙の先端位置が 1mm 以上異なる場合は、ロール紙を交換したと判定し、続けて用紙幅や残量管理のバーコードを検知する給紙動作を自動で行います。

参考

- [起動時の自動給紙]を[ON]に設定すると、ロール紙の先端を検知する分、電源を入れてから操作可能になるまでの時間が長くなります。

1. ホーム画面で[用紙関連の設定]を選ぶ

2. [起動時の自動給紙]を選ぶ

3. [ON]を選ぶ

用紙に関する情報

- **用紙のサイズ**
- **用紙情報一覧**
- **最新の用紙情報に更新する**
- **純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する**
  - 既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
  - 用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する
- **「Media Configuration Tool」を使ってプリンターの用紙情報を管理**

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 150 mm (5.9 inches)以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表（外側）が印刷面

ロール紙の幅	TM-610M / TM-5610M : 917.0 mm (36.11 in.) ～ 203.2 mm (8.00 in.) TM-510M / TM-5510M : 610.0 mm (24.02 in.) ～ 203.2 mm (8.00 in.)
フチなし印刷を推奨する［ロール紙幅］の設定 (*1,*2)	［36 in ロール (914.4mm)］ ［A0/A1 ロール (841.0mm)］ ［B1/B2 ロール (728.0mm)］ ［24 in ロール (609.6mm)］ ［A1/A2 ロール (594.0mm)］ ［B2/B3 ロール (515.0mm)］ ［17 in ロール (431.8mm)］ ［14 in ロール (355.6mm)］ ［10 in ロール (254.0mm)］
最小用紙長さ	203.2 mm (8.00 in.)
最大印字可能長さ	18 m (59 feet) OS およびアプリケーションにより異なります。
用紙厚さ	0.07 mm (3 mil) ～ 0.8 mm (31 mil)

*1:用紙の種類によっては、フチなし印刷ができない場合があります。フチなし印刷できる用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。
*2:フチなし印刷を推奨する［ロール紙幅］の設定以外でも、フチなし印刷を行うことは可能です。通常のフチなし印刷とは異なり、原稿の幅を用紙よりわずかに小さく設定して印刷するため、左右に若干の余白が生じます。

カット紙

以下のサイズのカット紙を使用できます。

カット紙の幅	TM-610M / TM-5610M : 917.0 mm (36.11 in.) ～ 203.2 mm (8.00 in.) TM-510M / TM-5510M : 610.0 mm (24.02 in.) ～ 203.2 mm (8.00 in.)
最小用紙長さ	279.4 mm (11.00 in.)
最大印字可能長さ	1.6 m (5.2 feet)
用紙厚さ	0.07 mm (3 mil) ～ 0.8 mm (31 mil)

参考

- 定形外の用紙については、「用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）」（Windows）または「用紙の縦横サイズを設定する（カスタム用紙サイズ）」（macOS）を参照してください。
- カット紙では、フチなし印刷ができません。

最新の用紙情報に更新する

プリンターの用紙情報は、[用紙情報ファイル]（Media Information File）の最新版を適用することにより、最新の情報に更新できます。

[用紙情報ファイル]を適用するための詳しい手順については、以下を参照してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

重要

- 新しい[用紙情報ファイル]はキヤノンのホームページにリリースされ、Media Configuration Tool を使用すると自動的にダウンロードされます。[用紙情報ファイル]をダウンロードするには、インターネットに接続したコンピューターが必要です。
- プリンタードライバーを使用しない場合でも、お使いの地域に合った用紙種類をプリンターに登録するため、Media Configuration Tool をインストールしてください。

純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する

本プリンターでキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する場合、以下の条件を満たしている用紙を使用してください。

- 「用紙のサイズ」に記載されたサイズのもの
- 印刷した時ににじみやインクあふれの生じないもの
- 用紙セット時や印刷時に大きく反ったりしないもの

重要

- キヤノン純正紙／出力確認紙は、「用紙情報一覧」を参照してください。
- キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙の使用については、印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。

用紙をプリンターにセットした後は、操作パネルおよびプリンタードライバーで用紙の種類を選んで印刷を行います。用紙の種類は、既存の設定から選ぶ簡易的な方法と、ご使用の用紙の設定を作成して使用する方法があります。

はじめに、既存の設定で十分な画質が得られるかご確認ください。既存の設定を選択しても十分な画質が得られない場合は、用紙の設定を作成してください。

既存の設定で印刷する

プリンターの操作パネルやプリンタードライバーに用意されている既存の設定から選ぶことで、簡易的に印刷することができます。

➡ 既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

設定を作成して印刷する

Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能を使用して、ご使用の純正紙／出力確認紙以外の用紙に適した設定を作成できます。作成した設定は、プリンターの操作パネルおよびプリンタードライバーに新しい用紙の種類として追加し、印刷することができます。

➡ 用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

既存の設定で純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

ご使用の用紙の種類に応じて、プリンターの操作パネルおよびプリンタードライバーに用意されている既存の設定を選ぶことで、複雑な設定を行うことなく簡易的にキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙への印刷ができます。

既存の設定には、用紙の種類別に用意された汎用的な用紙設定と、インクの使用量を段階的に選択するスペシャル用紙設定があります。

まずは汎用的な用紙設定から種類や坪量が近いものを選んで、印刷を試してください。

重要

- プリンターの操作パネルおよびプリンタードライバーに用意されているキヤノン純正紙の設定は、キヤノン純正紙に最適化されています。キヤノン純正紙以外の用紙への印刷にこの設定を選ぶと、インクのにじみやプリントヘッドのこすれ等が発生する場合があります。キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙へ簡易的に印刷するには以下の汎用的な用紙設定の選択をお勧めします。

参考

- 用意されている用紙の種類は「用紙情報一覧」を参照してください。
- 操作パネルで用紙の種類を選ぶ方法については、「用紙の種類を変更する」を、プリンタードライバーで用紙の種類を選ぶ方法については、「[基本設定]シートの画面説明」（Windows）または「品位と用紙の種類」（macOS）を参照してください。

汎用的な用紙設定を選ぶ

幅広い種類のキヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙を想定した設定なので、インクにじみやヘッドこすれなどが発生し難くなっています。キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙の条件と選ぶ用紙の種類の関係は「汎用的な用紙設定一覧」を参照してください。

スペシャル用紙設定を選ぶ

黒インクの種類と、インクの使用量を段階的に選択できる設定です。用紙に適したインク使用量のスペシャル設定を選択することで、発色不足やインクのにじみを改善できる場合があります。

詳細は「スペシャル用紙設定一覧」を参照してください。

参考

- 汎用的な用紙設定およびスペシャル用紙設定を選んで十分な画質が得られない場合は、Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能を使用して、ご使用の用紙に適した設定を作成することができます。詳しくは、「用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する」を参照してください。

用紙の種類を追加して純正紙／出力確認紙以外の用紙に印刷する

キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙を汎用的な設定で印刷する場合よりも印刷品位や搬送性などを向上させる方法として、Media Configuration Tool のカスタム用紙を追加する機能が用意されています。この機能を使うと、ご使用の用紙の特性に応じてインクの最大使用量やプリントヘッド高さなどを設定できるので、印刷品位などの向上が期待できます。また、この機能で作成した設定は、新しい用紙の種類としてプリンターの操作パネルやプリンタードライバーに追加して印刷することができます。

Media Configuration Tool については、以下を参照してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

重要

- 追加した用紙の種類を操作パネルで選ぶ方法は「用紙の種類を変更する」を参照してください。
- プリンタードライバーでは、［基本設定］シート（Windows）または［品位と用紙の種類］ダイアログ（macOS）の［用紙の種類］から、印刷に使用する用紙の種類を選ぶことができます。詳しくは「［基本設定］シートの画面説明」（Windows）または「品位と用紙の種類」（macOS）を参照してください。
- キヤノン純正紙／出力確認紙以外の用紙でカラーマネージメントを正確に行うためには、市販のプロファイル作成ソフトで作成した ICC プロファイルを使用することお勧めします。作成した ICC プロファイルは、Media Configuration Tool でカスタム用紙を作成する際に登録することができます。Media Configuration Tool ガイドの「カスタム用紙を追加する」を参照してください。

各種設定

- **プリンターの操作パネルから設定を変更する**
  - ステータス画面とホーム画面のメニュー構成
  - メニューの階層
  - プリンターの操作パネルで設定できる項目
  - HP-GL/2 設定について
  - ステータスプリントについて
- **ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する**
  - リモート UI を起動する
  - リモート UI で設定できる項目
  - リモート UI でホーム画面をカスタマイズする
  - リモート UI で DNS を設定する
  - リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する
  - 鍵と証明書を管理／検証する
  - セキュリティーのログを送信する
- **プリンターの設定を初期化する**
- **プリンターの管理について**
  - 管理者情報を設定する
  - リモート UI のパスワードを設定する
- **ネットワークの設定**
  - プリンターの接続方法
  - 同じ名前のプリンターを検出したときは
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
  - 不正アクセス防止対策について
  - ネットワークの状態と対処方法
  - ネットワークについてよくあるご質問
  - 「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認
  - ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）

- ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）

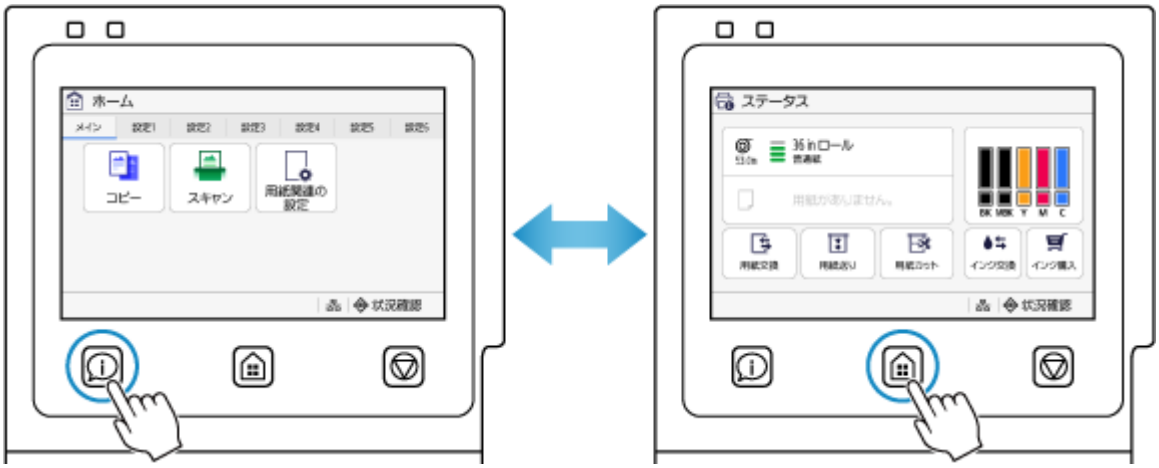
セキュリティを設定／管理する

プリンターの操作パネルから設定を変更する

- **ステータス画面とホーム画面のメニュー構成**
  - ホーム画面をカスタマイズする
- **メニューの階層**
- **プリンターの操作パネルで設定できる項目**
- **HP-GL/2 設定について**
- **ステータスプリントについて**

ステータス画面とホーム画面のメニュー構成

プリンターが起動すると、タッチスクリーンにはホーム画面が表示されます。



- ステータス画面の構成
- ホーム画面の構成
- タッチスクリーンの基本操作

参考

- 起動時に表示される画面は、設定から変更することができます。
  - 起動/復帰後に表示する画面
- 言語や単位、メッセージの表示／非表示など、操作パネルの表示を変更できます。画面の色を反転させたり輝度を調整したりすることで、画面を見やすくすることもできます。
  - 表示設定
  - アクセシビリティー
- 操作がない状態で一定時間が経過すると、各画面で作業中の内容がクリアされ、起動時の画面が表示されます。クリアされるまでの時間や、クリア後に表示される画面を変更できます。
  - オートクリア

ステータス画面の構成

操作パネルのステータスボタンを押したときに表示される画面です。

ステータス画面からは、用紙に対する操作やインク交換ができます。



A：プリンター情報表示部

プリンターの状態やメッセージなどが表示されます。

➡ メッセージの表示

B：用紙設定表示部

セットされている用紙の種類や残量が表示されます。この部分を選ぶと、用紙に関するメニューが表示され、用紙の設定などを行うことができます。

C：インク表示部

現在の推定インクレベルが表示されます。この部分を選ぶと、型番の確認やより詳細な情報の確認ができます。

D：基本メニュー

用紙やインクに関するメニューの中でよく使用する［用紙交換］や［インク交換］などが表示されており、ここから選ぶことができます。

E：ネットワーク

ご利用のネットワークが表示されます。

 Wi-Fi ルーターに接続していると表示されます。

 有線 LAN に接続していると表示されます。

ネットワークのアイコンを選ぶと、ネットワークの設定画面を表示します。

➡ ネットワーク

F：状況確認

プリンターの情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。

➡ 状況確認

ホーム画面の構成

操作パネルのホームボタンを押したときに表示される画面です。

ホーム画面からは、コピー／スキャンやプリンター設定変更ができます。



A：メニュー項目

機能や設定のボタンが、タブに分かれて表示されます。

➡ プリンターの操作パネルで設定できる項目

タブを選択するか、画面を左右にフリックすると、表示されているボタンが切り替わります。

参考

- ショートカットボタンを追加したり、ボタンの配置やタブの名称を変更することができます。
  - ➡ ホーム画面をカスタマイズする
  - ➡ リモート UI でホーム画面をカスタマイズする

B：プリンター情報表示部

プリンターの状態やメッセージなどが表示されます。

➡ メッセージの表示

C：ネットワーク

ご利用のネットワークが表示されます。

 Wi-Fi ルーターに接続していると表示されます。

 有線 LAN に接続していると表示されます。

ネットワークのアイコンを選ぶと、ネットワークの設定画面を表示します。

➡ ネットワーク

D：状況確認

プリンターの情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。

➡ 状況確認

メッセージの表示

エラーが発生した場合や、インク残量や用紙がなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

対処方法が表示された場合は、メッセージの指示に従って対処します。表示されない場合は、メッセージや番号から原因や対処方法を確認します。

➡ エラーメッセージ一覧
➡ エラーコード一覧

参考

- メッセージが長い場合は、表示が一定間隔で交互に切り替わります。

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
  - タッチスクリーンを指で強く押さない
  - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
  - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
  - タッチスクリーン上には何も物を乗せない

- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

ホーム画面をカスタマイズする

よく使用する機能を、ホーム画面からすばやく実行できるようにします。

- ショートカットボタンを追加する
- ボタンの配置を変更する

重要

- ホーム画面のカスタマイズには、管理者権限が必要です。

ショートカットボタンを追加する

事前に登録してあるコピー／スキャンの［よく使う設定］を、ホーム画面にショートカットボタンとして追加します。

- ［よく使う設定］を登録する

ショートカットボタンは、操作パネルを使用して追加します。

重要

- ショートカットボタンは、パソコンからリモート UI を使用して追加することはできません。

1. ホーム画面で、［ホーム画面設定］を選ぶ

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

2. ［表示ボタンの選択］を選ぶ

3. ［コピーのよく使う設定］または［スキャンのよく使う設定］を選ぶ

4. ショートカットボタンにする設定にチェックマークを付け、［確定］を選ぶ



参考

- 追加したショートカットボタンを削除する場合は、削除したい設定のチェックマークを外し、［確定］を選びます。

5. 内容を確認し、［OK］を選ぶ

ホーム画面にショートカットボタンが追加されます。

ボタンの配置を変更する

ホーム画面のボタンは、並べ替えたり、別のタブに移動することができます。

参考

- パソコンからリモート UI を使用して、ボタンの配置を変更することもできます。タブの名称を変更する場合は、リモート UI から操作する必要があります。

  ➡ リモート UI でホーム画面をカスタマイズする

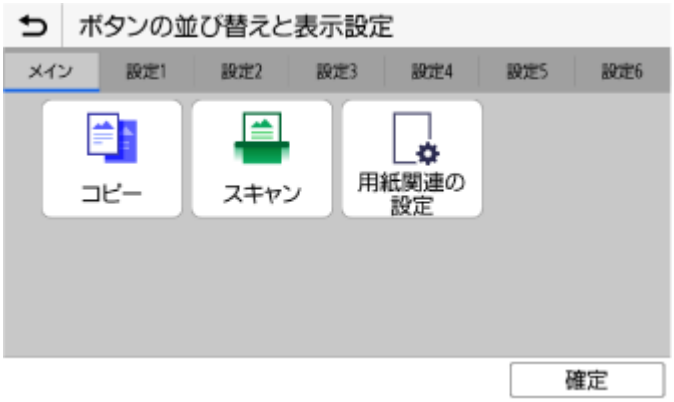
1. ホーム画面で、ボタンを長押しする。

2. メッセージを確認し、［はい］を選ぶ

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

3. 並べ替えるボタンをドラッグし、配置したい位置で離す

他のタブへボタンをドラッグすると、そのタブの画面に移動します。ただし、その画面のボタン数が上限に達している場合は、移動できません。



4. ［確定］を選ぶ

ホーム画面のボタンの配置が変更されます。

メニューの階層

項目の右側の*は、初期値を示します。

お使いの機種やファームウェアのバージョン、またプリンターの設定によっては、表示される項目や設定値が異なる場合があります。

- 環境設定
- 調整 / メンテナンス
- ファンクション設定
- 宛先設定
- 管理設定
- レポート出力
- コピー
- スキャン
- 用紙関連の設定
- 状況確認
- ステータス

環境設定

- 表示設定
  - 起動/復帰後に表示する画面
    - ホーム*／ステータス／コピー／スキャン／状況確認
  - ホーム画面のボタン表示設定
    - 表示ボタンの選択
      - コピーのよく使う設定／スキャンのよく使う設定
    - 表示順番の設定
  - 表示言語の切替
    - Bulgarian／Catalan／Chinese (Simplified)／Chinese (Traditional)／Croatian／Czech／Danish／Dutch／English／Estonian／Finnish／French／German／Greek／Hungarian／Italian／Japanese／Korean／Latvian／Lithuanian／Norwegian／Polish／Portuguese／Romanian／Russian／Slovak／Slovene／Spanish／Swedish／Turkish／Thai／Vietnamese／Malay／Arabic／Basque／Ukrainian／Hebrew
  - mm/インチ入力の切替
    - mm／インチ
  - グラム/ポンド切替
    - グラム／ポンド
  - IP アドレスの表示設定
    - OFF／ON*
- 英語キーボードの配列
  - USA 配列／UK 配列
- タイマー/電力設定
  - 現在日時の設定
  - 日付/時刻設定
    - タイムゾーン
      - (UTC -12:00) 国際日付変更線 西側～(UTC +09:00) 大阪、札幌、東京～(UTC +14:00) クリスマス島
    - サマータイム設定
      - OFF
      - ON

- 開始月
  - 1 月／2 月／3 月／4 月／5 月／6 月／7 月／8 月／9 月／10 月／11 月／12 月
- 開始日
  - 第 1／第 2／第 3／第 4／最終
- 開始日
  - 月曜日／火曜日／水曜日／木曜日／金曜日／土曜日／日曜日
- 終了月
  - 1 月／2 月／3 月／4 月／5 月／6 月／7 月／8 月／9 月／10 月／11 月／12 月
- 終了日
  - 第 1／第 2／第 3／第 4／最終
- 終了日
  - 月曜日／火曜日／水曜日／木曜日／金曜日／土曜日／日曜日

- 日付の形式
  - 年 月 / 日／月 / 日 / 年／日 / 月 年
- 時刻の形式
  - 12 時間表示（ AM / PM ）／24 時間表示
- オートクリア
  - オートクリア移行する
    - OFF
    - ON*
      - オートクリア移行時間
        - （ 1 ～ 9 ）
- オートクリア後の機能
  - 復帰する*／復帰しない
- オートシャットダウン
  - オートシャットダウン移行する
    - OFF
    - ON*
      - オートシャットダウン移行時間
        - （ 1 ～ 12 ）
- オートスリープ
  - オートスリープ移行する
    - OFF
    - ON*
      - オートスリープ移行時間
- オートスリープ時刻の設定
  - オートスリープ時刻を指定する
    - OFF*
    - ON
      - （ 0:00 ～ 23:59 ）
- スリープ復帰時刻の設定
  - スリープ復帰時刻を指定する
    - OFF*
    - ON
      - （ 0:00 ～ 23:59 ）

ネットワーク

- 有線 LAN / Wi-Fi 選択
  - 有線 LAN*／Wi-Fi

- Wi-Fi 設定
  - ネットワーク選択
  - その他の接続
    - ネットワーク名（SSID）手動入力
      - セキュリティー設定
        - なし
        - WEP
          - オープンシステム
            - 暗号化キー 1／暗号化キー 2／暗号化キー 3／暗号化キー 4
          - 共有キー
            - 暗号化キー 1／暗号化キー 2／暗号化キー 3／暗号化キー 4
        - WPA/WPA2-PSK
          - 自動／AES - CCMP
        - WPA/WPA2-EAP
        - WPA2-PSK/WPA3-SAE
          - 自動／AES - CCMP
        - WPA3-SAE
          - 自動／AES - CCMP
    - WPS プッシュボタン方式
    - WPS PIN コード方式
  - 接続設定
    - パワーセーブモード
      - OFF／ON*
    - 接続情報
      - MAC アドレス
      - Wi-Fi 状態
      - 最新のエラー情報
      - 周波数
      - チャンネル
      - ネットワーク名
      - セキュリティー設定
      - パワーセーブモード
- ダイレクト接続設定
  - ダイレクト接続を使用
    - OFF*
    - ON
      - ダイレクト接続の自動切断
        - 自動切断する
          - OFF*
          - ON
            - 自動切断時間
              - （1 ～ 60）
      - アクセスポイントモード設定
        - 任意の SSID を使用
          - OFF*
          - ON
            - SSID（1 ～ 20 文字）
        - 任意のネットワークキーを使用
          - OFF*
          - ON

- ネットワークキー（10 文字）
- SSID/ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ固定時常時接続
  - OFF*／ON
- ﾀﾞｲﾚｸﾄ接続時の IPｱﾄﾞﾚｽ設定
- かんたん接続
- TCP/IP 設定
  - IPv4 設定
    - IP アドレス設定
      - 自動取得設定
        - 自動取得
          - OFF
          - ON*
            - プロトコル選択
              - OFF／DHCP*
            - Auto IP
              - OFF／ON*
      - 手動取得
        - IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレス
      - 設定確認
    - DHCP オプション設定
      - ホスト名の取得
        - OFF／ON*
      - DNS の動的更新
        - OFF*／ON
      - DNS サーバーアドレスの取得
        - OFF／ON*
      - ドメイン名の取得
        - OFF／ON*
      - WINS サーバーアドレスの取得
        - OFF／ON*
      - SMTP サーバーアドレスの取得
        - OFF*／ON
      - POP サーバーアドレスの取得
        - OFF*／ON
    - PING コマンド
  - IPv6 設定
    - IPv6 を使用
      - OFF*
      - ON
        - ステートレスアドレス設定
          - ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽを使用
            - OFF／ON*
          - 設定確認
        - DHCP ｖ 6 設定
          - DHCP ｖ 6 を使用
            - OFF*／ON
          - 設定確認
        - DHCP オプション設定
          - DNSｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得
            - OFF／ON*

- ドメイン名の取得
  - OFF／ON*
- IPv6 設定確認

- DNS 設定
  - IPv4 の DNS サーバーアドレス設定
    - プライマリー DNS サーバー／セカンダリー DNS サーバー
  - DNS のホスト名 / ドメイン名設定
    - IPv4
      - ホスト名／ドメイン名
    - IPv6
      - IPv4 と同ホスト/ドメイン使用
        - OFF
          - ホスト名／ドメイン名
        - ON*
  - DNS の動的更新設定
    - IPv4
      - DNS の動的更新
        - OFF*
        - ON
          - DNS の動的更新間隔
            - (0 ～ 48)
    - IPv6
      - DNS の動的更新
        - OFF*
        - ON
          - 手動アドレスの登録
            - OFF*／ON
          - ｽﾃｰﾄﾌﾙｱﾄﾞﾚｽの登録
            - OFF*／ON
          - ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽの登録
            - OFF*／ON
          - DNS の動的更新間隔
            - (0 ～ 48)
  - mDNS 設定
    - IPv4
      - mDNS を使用
        - OFF
        - ON*
          - mDNS 名
    - IPv6
      - mDNS を使用
        - OFF
        - ON*
          - IPv4 と同じ mDNS 名を使用
            - OFF
              - mDNS 名
            - ON*

- WINS 設定
  - WINS による名前解決
    - OFF*

- ON
  - WINS サーバーアドレス
- LPD 設定
  - LPD 印刷を使用
    - OFF
    - ON*
      - 受信タイムアウト
        - (1 ～ 60)
- RAW 設定
  - RAW 印刷を使用
    - OFF
    - ON*
      - 受信タイムアウト
        - (1 ～ 60)
- WSD 設定
  - WSD 印刷を使用
    - OFF／ON*
  - WSD 参照を使用
    - OFF／ON*
  - WSD スキャンを使用
    - OFF*／ON
  - マルチキャスト探索を使用
    - OFF／ON*
- IPP 印刷の設定
  - IPP 印刷を使用
    - OFF／ON*
  - TLS 使用時のみ許可
    - OFF*／ON
- HTTP を使用
  - OFF／ON*
- IPSec を使用
  - OFF*／ON
- Network Link Scan 設定
  - Network Link Scan を使用
    - OFF
    - ON*
      - TLS を使用
        - OFF*／ON
- ポート番号設定
  - LPD
    - (1 ～ 65535)
  - RAW
    - (1 ～ 65535)
  - WSD マルチキャスト探索
    - (1 ～ 65535)
  - HTTP
    - (1 ～ 65535)
  - マルチキャスト探索
    - (1 ～ 65535)
  - POP3

- （1 ～ 65535）
- SMTP 送信
  - （1 ～ 65535）
- SNMP
  - （1 ～ 65535）
- MTU サイズ
  - 1300／1400／1500*

- SNMP 設定
  - SNMPv1 設定
    - OFF／ON*
  - SNMPv3 設定
    - OFF*／ON
  - ﾎｽﾄからﾌﾟﾘﾝﾀｰ管理情報を取得
    - OFF／ON*
  - ﾎｽﾄﾘｿｰｽMIB の RFC2790 準拠
    - OFF／ON*
- IPP Everywhere を使用
  - OFF*／ON
- Universal Print の設定
  - Universal Print を使用
    - OFF*／ON
  - 登録状況
- 起動時の接続待機時間
  - （0 ～ 300）
- Ethernet ドライバー設定
  - 自動検出
    - OFF
      - 通信方式
        - 半二重*／全二重
      - Ethernet の種類
        - 10BASE - T*／100BASE - TX／1000BASE - T
    - ON*
  - MAC アドレス
- IEEE 802.1X を使用
  - OFF*／ON
- ファイアウォール設定
  - IPv4 アドレスフィルター
    - 送信フィルター
      - OFF*／ON
    - 受信フィルター
      - OFF*／ON
  - IPv6 アドレスフィルター
    - 送信フィルター
      - OFF*／ON
    - 受信フィルター
      - OFF*／ON
  - MAC アドレスフィルター
    - 送信フィルター
      - OFF*／ON
    - 受信フィルター

- OFF*／ON
- 遠隔監視サービス
  - 通信テスト
  - 通信ログ
  - インク残量の通知タイミング
    - 全色一括
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - MBK
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - BK
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - Y
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - M
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - C
      - 0%*／10%／20%／30%／40%／50%／60%／70%／80%／90%／100%
    - 設定の確認
      - MBK／BK／Y／M／C
- RMT-SW
  - OFF*／ON
- ネットワーク設定の初期化

外部インターフェイス

- USB 設定
  - USB デバイスとして使用
    - OFF／ON*
  - USB 外部記憶ﾃﾞﾊﾞｲｽを使用
    - OFF／ON*

アクセシビリティー

- キーリピート設定
  - 標準*／やや遅い／遅い
- 連続キー操作を受け付けない時間の指定
  - 受け付けない時間を指定する
    - OFF*
    - ON
      - (0.1 ～ 1.0)
- 画面色反転
  - OFF*／ON
- 輝度調整
- メッセージ表示時間
  - (1 ～ 5)

音量設定

- 入力音
  - OFF／ON*

- 入力無効音
  - OFF*／ON
- 警告音
  - OFF／ON*
- 節電移行音
  - OFF*／ON
- フィーダー原稿検知音
  - OFF／ON*

調整 / メンテナンス

画質調整

- ヘッド位置調整
  - 自動 (標準)／自動 (詳細)／手動
- プリントヘッドの傾き調整
- 紙送り調整
  - 優先設定
    - (用紙種類)
      - 自動*／画質優先／長さ優先
  - 画質調整
    - 自動／手動
  - 長さ調整
    - 調整用パターン印刷
    - 調整値の変更
      - (-0.70 ～ 0.70)
- カラーキャリブレーション
  - 自動調整
  - 調整値の有効 / 無効
    - 無効／有効*
  - 調整情報
  - 実行案内設定
    - OFF*／ON
  - 調整値の初期化
- プリントヘッドの可動幅設定
  - データの幅／可動できる最大幅／用紙の幅

メンテナンス

- ノズルチェックパターン印刷
- ヘッドクリーニング
  - クリーニング
    - 全色／パターン 1／パターン 2
  - 強力クリーニング
    - 全色／パターン 1／パターン 2
  - システムクリーニング
    - 全色／パターン 1／パターン 2
- 自動メンテナンス設定
  - 自動ノズルチェック
    - 標準*／1 ページ／10 ページ／OFF
  - ノズルチェックのエラー表示
    - しない*／する
  - システムクリーニングの間隔

- 短い／標準*
- ﾍｯﾄﾞ交換後の調整用ﾊﾟﾀｰﾝ印刷
  - しない／する*
- ヘッド交換
  - ヘッド交換を開始する
- カッターブレード交換
- プラテンクリーニング
- 輸送の準備
  - フロア内での移動／屋外への輸送

スキャナー画質調整

- 原稿送り量の補正
  - (-1.00 ～ +1.00)
- つなぎ目位置補正
  - X
    - 200 dpi
      - つなぎ目１(X)／つなぎ目２(X)／つなぎ目３(X)／つなぎ目４(X)
    - 300 dpi
      - つなぎ目１(X)／つなぎ目２(X)／つなぎ目３(X)／つなぎ目４(X)
    - 600 dpi
      - つなぎ目１(X)／つなぎ目２(X)／つなぎ目３(X)／つなぎ目４(X)
  - Y
    - 200 dpi
      - つなぎ目１(Y)／つなぎ目２(Y)／つなぎ目３(Y)／つなぎ目４(Y)
    - 300 dpi
      - つなぎ目１(Y)／つなぎ目２(Y)／つなぎ目３(Y)／つなぎ目４(Y)
    - 600 dpi
      - つなぎ目１(Y)／つなぎ目２(Y)／つなぎ目３(Y)／つなぎ目４(Y)
  - 初期化
- つなぎ目マスク
  - 自動／OFF／ON

ファンクション設定

共通

- スキャン動作
  - 原稿読取後の自動排紙設定
    - OFF*
    - ON
      - 自動排紙されるまでの時間
        - (0 ～ 30)

コピー

- デフォルト設定の変更(コピー)
  - 部数
  - 倍率
  - 原稿の種類
    - CAD (線画)／ポスター / 写真／図面 / 地図／青焼き (白黒変換)／青焼き反転 (白黒変換)／トレーシングペーパー
  - 読取サイズ
  - 濃度
    - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4

- コントラスト
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- シャープネス
  - -3／-2／-1／~0／+1／+2／+3
- 彩度
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 印刷品質
  - 速い*／標準／きれい
- 白強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 黒強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- データサイズ
  - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
- 初期化

プリンター

- プリンター仕様設定
  - フチなし時の画像拡大率
    - 大／中*／小／最小
  - タイムアウト時間
  - 用紙の外形サイズ優先
    - OFF*／ON
  - JPEG 設定
    - 画質設定
      - カラーモード
        - カラー（知覚的）／カラー（彩度）／カラー（補正なし）／モノクロ／モノクロ（二階調）
      - 印刷品質
        - 1（きれい）／2／3／4／5（速い）
      - 入力解像度
        - 600 dpi／300 dpi*／印刷ジョブ指定
      - 印刷目的
        - 写真*／線画／自動
    - 用紙設定
      - 給紙位置
        - 自動*／ロール紙／手差し
      - 余白
        - 3mm*／5mm
      - フチ指定
        - フチなし／フチあり*
      - 回転
        - 0 度*／90 度
      - 自動回転
        - しない*／する
      - 拡大 / 縮小
        - 用紙フィット*／等倍（100 %）／倍率指定
      - 中央に印刷
        - しない*／する
      - 定型サイズにカット
        - しない*／する

- HP - GL / 2 設定
  - 画質設定
    - カラーモード
      - カラー (知覚的)／カラー (彩度)*／カラー (補正なし)／モノクロ／モノクロ (二階調)
    - 印刷品質
      - 1 (きれい)／2／3／4／5 (速い)
    - 入力解像度
      - 600 dpi*／300 dpi
    - 印刷目的
      - 写真／線画*／自動
  - 用紙設定
    - 給紙位置
      - 自動*／ロール紙／手差し
    - 余白
      - 3mm*／5mm
    - オーバーサイズ
      - OFF／ON*
    - 用紙節約
      - しない*／する
    - 回転
      - 0 度*／90 度
    - 自動回転
      - しない*／する
    - 拡大 / 縮小
      - 用紙フィット／等倍 (100 %)*／倍率指定
    - 中央に印刷
      - しない*／する
    - 定型サイズにカット
      - しない*／する
    - 鏡像
      - しない*／する
  - 線 / ペンの管理
    - 線のマージ
      - しない*／する
    - ペン設定
      - パレットの選択
        - ソフトウェア*／パレット A／パレット B／デフォルト
      - パレットの定義
        - パレット A
          - ペン 0～ペン 15

            ※ペン 0 からペン 15 までは同じメニュー構成
            - 幅
              - 0.04 mm／0.08 mm／0.13 mm*／0.18 mm／0.25 mm／0.35 mm／0.50 mm／0.65 mm／0.70 mm／0.80 mm／0.90 mm／1.0 mm／1.4 mm／2.0 mm／3.0 mm／5.0 mm／8.0 mm／12.0 mm
            - カラー
              - (0 ～ 255)

- つなぎ形状
  - 丸処理*／処理なし
- パレットB
  - ［パレットA］と同じメニュー構成
- デフォルト

初期設定値はこちら

- パレットの初期化
  - パレットA／パレットB／すべてのパレット
- スムージング
  - ソフトウェア*／スムージング
- 細線強調
  - しない*／する
- 明細線補正
  - しない*／する
- 線幅の補正
  - 黒 / グレー／カラー
- カラーパレット印刷

- 処理オプション
  - 警告表示
    - OFF*／ON
  - 画像サイズの検出
    - しない*／コマンド優先

- IPP 設定
  - 画質設定
    - カラーモード
      - カラー（知覚的）／カラー（彩度）*／カラー（補正なし）／モノクロ／モノクロ（二階調）
    - 印刷画質
      - 標準*／速度優先／画質優先
    - 印刷目的
      - 写真／線画／自動*
  - 用紙設定
    - 上下余白なし（用紙節約）
      - しない*／する
    - 片方向印刷
      - OFF*／ON
- 印刷設定の既定値
  - 画質設定
    - カラーモード
      - カラー（知覚的）／カラー（彩度）*／カラー（補正なし）／モノクロ／モノクロ（二階調）
    - 印刷品質
      - 1（きれい）／2／3／4／5（速い）
    - 印刷目的
      - 写真／線画／自動*

送信

- 共通設定
  - 新規宛先の制限
    - OFF*／ON

- 履歴からの再送信を制限
  - OFF*／ON
- 短縮ダイヤル送信の確認
  - OFF*／ON
- 送信前の宛先確認
  - OFF*／ON／同報送信時のみ
- ジョブ受付時の確認表示
  - OFF／ON*

- スキャンして送信設定
  - ユーザー略称の登録
    - ユーザー略称の登録（メール）
  - メール設定
    - デフォルト設定の変更（メール）
      - 読取サイズ
      - ファイル形式
        - PDF／JPEG
      - 濃度
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - コントラスト
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - 彩度
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - 原稿の種類
        - CAD（線画）／ポスター / 写真／図面 / 地図／青焼き（白黒変換）／青焼き反転（白黒変換）／トレーシングペーパー
      - 解像度
        - 200 dpi／300 dpi*／600 dpi
      - シャープネス
        - -3／-2／-1／~0／+1／+2／+3
      - データサイズ
        - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
      - 件名 / 本文
      - 返信先
        - なし*／アドレス帳から指定
      - 重要度
        - 低い／普通*／高い
      - 白強調
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - 黒強調
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - 初期化
  - ファイル設定
    - デフォルト設定の変更（ファイル）
      - 読取サイズ
      - ファイル形式
        - PDF／JPEG
      - 濃度
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
      - コントラスト
        - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4

- 彩度
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 原稿の種類
  - CAD（線画）／ポスター / 写真／図面 / 地図／青焼き（白黒変換）／青焼き反転（白黒変換）／トレーシングペーパー
- 解像度
  - 200 dpi／300 dpi*／600 dpi
- シャープネス
  - -3／-2／-1／~0／+1／+2／+3
- データサイズ
  - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
- 白強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 黒強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 初期化

ファイル保存 / 利用

- 共通設定
  - スキャンして保存設定*
    - USB メモリー設定
      - デフォルト設定の変更（USB メモリー）
        - 読取サイズ
        - ファイル形式
          - PDF／JPEG
        - 濃度
          - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
        - コントラスト
          - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
        - 彩度
          - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
        - 原稿の種類
          - CAD（線画）／ポスター / 写真／図面 / 地図／青焼き（白黒変換）／青焼き反転（白黒変換）／トレーシングペーパー
        - 解像度
          - 200 dpi／300 dpi*／600 dpi
        - シャープネス
          - -3／-2／-1／~0／+1／+2／+3
        - データサイズ
          - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
        - 白強調
          - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
        - 黒強調
          - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
        - 初期化
- メモリーメディア設定
  - スキャン機能を使用
    - OFF／ON*
- メディア接続時の操作画面
  - OFF／ON*

宛先設定

アドレス帳の暗証番号

管理設定

- ユーザー管理
  - 管理者情報の設定
    - 管理者 ID と管理者暗証番号／管理者名
- デバイス管理
  - デバイス情報の設定
    - デバイス名／設置場所
  - ジョブ履歴の表示
    - ジョブ履歴の表示
      - OFF／ON*
    - 管理ｿﾌﾄからのｼﾞｮﾌﾞ履歴取得
      - 許可しない／許可する*
  - 消耗品購入情報表示
    - インク購入ボタンを表示
      - OFF／ON*
    - [用紙の購入] を表示
      - OFF／ON*
- リモート UI 設定 / ファームウェア更新
  - リモート UI 設定
    - リモート UI 設定
      - リモート UI を使用
        - OFF／ON*
      - TLS を使用
        - OFF*／ON
    - パスワードの使用
      - OFF*／ON
  - ファームウェア更新
    - PC 経由
    - インターネット経由
    - バージョン情報
    - 通知設定
      - OFF／ON*
- データ管理
  - インポート / エクスポート
    - インポート／エクスポート
  - 使用状況調査ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ使用
    - OFF／ON*
  - 情報送信の設定
    - サービス利用に必要な情報
      - 送信する／送信しない*
    - ご利用状況に関する情報
      - 送信する／送信しない*
  - 鍵と証明書の初期化
  - アドレス帳の初期化
  - メニューの初期化

- 環境設定
- 調整 / メンテナンス
- ファンクション設定
- 宛先設定
- 管理設定
- 上記すべて

セキュリティー設定

- 認証 / パスワード設定
  - 認証機能の設定
    - ロックアウト設定
      - ロックアウトを使用
        - OFF*
        - ON
          - ロックアウトのしきい値
            - (1 ～ 10)
          - ロックアウト時間
            - (1 ～ 60)
- 暗号設定
  - 弱い暗号の使用を禁止
    - OFF*
    - ON
      - 弱い暗号の鍵/証明書禁止
        - OFF*／ON
- 起動時のシステム検証
  - OFF*／ON
- おすすめセキュリティー設定
  - 環境タイプ選択
    - 1 社内イントラネットタイプ
    - 2 インターネット直結タイプ
    - 3 インターネット禁止タイプ
    - 4 在宅タイプ
    - 5 公共スペースタイプ
    - 6 高機密情報管理タイプ
  - 設定を取り消す

全データ / 設定の初期化

レポート出力

リストプリント

- ステータスプリント
- LAN 設定情報印刷
- 印刷設定プリント

コピー

用紙

倍率

- 等倍／ﾛｰﾙ幅ﾌｨｯﾄｺﾋﾟｰ／定形変倍 (ISO)／定形変倍 (ANSI)／定形変倍 (ARCH)

部数

原稿の種類

- CAD (線画)／図面 / 地図／ポスター / 写真／青焼き (白黒変換)／青焼き反転 (白黒変換)／トレーシングペーパー

その他の設定

- 読取サイズ
- 濃度
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- コントラスト
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- シャープネス
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 彩度
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 印刷品質
  - 標準*／速い／きれい
- 白強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 黒強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- データサイズ
  - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
- よく使う設定
  - 設定 1／設定 2／設定 3／設定 4

スキャン

USB メモリー

- (設定)

メール

- 宛先指定
  - キーボード入力／アドレス帳／LDAP サーバー／短縮ダイヤル／送信の履歴
- 送信設定
  - 読取サイズ
  - ファイル形式
    - PDF／JPEG
  - 濃度
    - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
  - コントラスト
    - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
  - 彩度
    - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
  - 原稿の種類
    - CAD (線画)*／ポスター / 写真／図面 / 地図／青焼き (白黒変換)／青焼き反転 (白黒変換)／トレーシングペーパー
  - 解像度
    - 200 dpi／300 dpi*／600 dpi
  - シャープネス
    - -3／-2／-1／~0／+1／+2／+3
  - データサイズ
    - 小：サイズ優先／標準*／大：画質優先
  - ファイル名

- 件名 / 本文
- 返信先
  - なし*／アドレス帳から指定
- 重要度
  - 低い／普通*／高い
- 白強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- 黒強調
  - -4／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3／+4
- よく使う設定
  - 設定 1／設定 2／設定 3／設定 4／設定 5／設定 6／設定 7／設定 8／設定 9／設定 10／設定 11／設定 12／設定 13／設定 14／設定 15／設定 16／設定 17／設定 18

ファイル

- 宛先指定
  - 自分の宛先／短縮ダイヤル／アドレス帳／送信の履歴
- 送信設定

用紙関連の設定

用紙種類の選択方法

- 手動選択／推定結果から自動設定*／推定結果から手動選択／固定

ロール紙残量管理

- バーコードで管理
  - 12.0m／18.3m／20.0m／22.9m／25.0m／30.0m／30.5m／40.0m／45.0m／50.0m／100.0m／ユーザー設定
- 用紙残量推定機能で管理*
- 無効

ロール紙残量の警告設定

- 11m／9m／7m／5m*／3m／1m

用紙の設定不一致を検知

- 一時停止する／警告表示する*／検知しない

用紙の詳細設定

- （用紙種類）
  - ﾛｰﾙ紙の長さ（初期値の変更）
  - 紙の厚さ（ヘッドの高さ）
    - 自動
    - 手動
      - -4（低い）／-3／-2／-1／~0／+1／+2／+3（高い）
  - 斜行検知精度
    - 標準／ゆるめ／しない
  - カットモード
    - 自動カット
    - イジェクトカット
    - ユーザーカット
      - 用紙の先端を検知する（推奨）／用紙の先端を検知しない
  - カットスピード
    - 自動／速い／標準／遅い
  - 先端プレカット
    - 自動／OFF／ON（規定長さ）／ON（指定長さ）／手動
  - カット屑軽減

- しない／する
- 搬送部の吸着力
  - 自動／強い／やや強い／標準／やや弱い／弱い
- ロール紙テンション（印刷）
  - 強い／標準／弱い
- ロール紙テンション（給紙）
  - 強い／標準／弱い
- スキャン間で休止する
  - インク乾燥待ち時間
    - しない／0.5 秒／1 秒／3 秒／5 秒／7 秒／9 秒
  - インク乾燥の対象領域
    - 全面／先端
- ページ間で休止する
  - しない／30 秒／1 分／3 分／5 分／10 分／30 分／60 分
- ロール紙先端余白
  - 3mm／20mm
- カット紙先端余白
  - 3mm／20mm
- フチなし時のはみ出し量
  - 推奨紙幅
    - 多い／標準／少ない
  - 可能紙幅
    - 調整値の選択
      - 1／2／3／4／5／6／7／8
    - はみ出し量の調整パターン印刷
    - 注意点
- 用紙の幅を検知する
  - 無効／有効
- 紙管外径サイズ
- 紙の厚さ
- 用紙選択の推定データを初期化
- 用紙ごとの設定情報を初期化

用紙サイズの認識設定

- ロール紙設定 1
- ロール紙設定 2
- ロール紙設定 3
- ロール紙設定 4
- ロール紙設定 5
- ロール紙設定 6
- ロール紙設定 7

カット紙後端に推奨余白を確保

- しない*／する

起動時の自動給紙

- OFF／ON*

優先ロール紙幅登録

- 1／2／3

用紙選択の推定データをすべて初期化

全用紙の設定情報を初期化

状況確認

- エラー情報 / お知らせ
- インク情報
  - 推定インクレベル
  - 型番確認
  - ｵﾝﾗｲﾝﾏﾆｭｱﾙ
- メンテナンスカートリッジ情報
  - メンテナンスカートリッジ推定使用量
  - 交換手順
  - ｵﾝﾗｲﾝﾏﾆｭｱﾙ
- デバイス情報
  - バージョン情報
  - 使用実績
    - 印刷の総面積（ ~m ）／Duty カウンター（ A4 換算 ）
  - ヘッドの情報
  - ヘッド位置調整の実施履歴
  - 自動設定時の実行値
  - シリアル No.
- コピー / プリントジョブ
  - コピー / プリント状況
    - 選択削除／全削除
  - コピー履歴
  - プリント履歴
- 印刷の一時停止
  - しない*／する
- 送信ジョブ
  - 送信状況
  - 送信履歴
- ネットワーク情報
  - IPv4
  - IPv6
  - ネットワーク接続方式
  - ダイレクト接続情報
    - 接続詳細
      - 接続状態／IP アドレス／MAC アドレス／SSID／ネットワークキー
    - 接続機器
      - IP アドレス／MAC アドレス
  - IEEE 802.1X エラー情報

ステータス

- ロール紙メニュー
  - 用紙交換
  - 用紙のセット
  - 用紙の取り外し
  - 用紙設定
    - 用紙の幅
    - 用紙の長さ
    - 用紙サイズ

- 用紙種類
- 用紙の詳細設定
- 用紙の購入

カット紙メニュー
- 用紙交換
- 用紙のセット
- 用紙の取り外し
- 用紙設定
  - 用紙の幅
  - 用紙の長さ
  - 用紙サイズ
  - 用紙種類
  - 用紙の詳細設定
- 用紙の購入

インク情報
- 推定インクレベル
- 型番確認
- ｵﾝﾗｲﾝﾏﾆｭｱﾙ

用紙交換

用紙送り

用紙カット

インク交換

インク購入

プリンターの操作パネルで設定できる項目



参考

- 管理者情報を設定している場合は、設定項目によっては表示／変更するために管理者権限が必要です。
  - 管理者情報を設定する
- 操作パネルで設定した値は、プリンターの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタードライバーに同じ設定項目がある場合は、プリンタードライバーの設定値が優先されます。

[状況確認]

プリンターの情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。

[コピー]

コピーの操作と設定をおこないます。

[スキャン]

スキャンの操作と設定をおこないます。

[用紙関連の設定]

用紙に関する設定をおこないます。

[メニュー]

- [環境設定]
  - [表示設定]
  - [英語キーボードの配列]

    本機に接続する USB キーボードの配列を設定します。
  - [タイマー/電力設定]

- [ネットワーク]
- [外部インターフェイス]
- [アクセシビリティー]
- [音量設定]

- [調整/メンテナンス]
  - [画質調整]
  - [メンテナンス]
  - [スキャナー画質調整]
    - 原稿の送り量を変更する
    - 原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する

- [ファンクション設定]
  - [共通]
  - [コピー]
  - [プリンター]
  - [送信]
  - [ファイル保存／利用]

- [宛先設定]

  アドレス帳を登録／編集する際に、暗証番号の入力が必要になるようにします。

- [管理設定]
  - [ユーザー管理]
  - [デバイス管理]
  - [リモート UI 設定/ファームウェア更新]
  - [データ管理]
  - [セキュリティー設定]
  - [全データ/設定の初期化]
    - プリンターの設定を初期化する

- [レポート出力]

[アドレス帳]

スキャンデータを送信／保存するときの宛先を登録します。アドレス帳から宛先を指定して、送信機能を呼び出すこともできます。

- 宛先の登録
- 宛先を指定する - アドレス帳

[モバイルポータル]

モバイル機器とプリンターを接続します。

- Wi-Fi 接続
- 無線ダイレクト接続

 ［ホーム画面設定］

ホーム画面にショートカットボタンを追加したり、ボタンの配置を変更することができます。

- ホーム画面をカスタマイズする

 ［ファームウェア更新］

インターネット経由でファームウェアをアップデートします。

- インターネット経由でファームウェアをアップデートする

 ［オンラインマニュアル］

オンラインマニュアルを表示するための QR コードを表示します。

 ［Wi-Fi 設定］

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介して、プリンターとパソコンを接続します。

- Wi-Fi 設定

 ［遠隔監視サービス］

プリンターと遠隔監視サーバーが正常に通信できることを確認します。

- 遠隔監視サービス

表示設定

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［起動/復帰後に表示する画面］**

  電源を入れて起動画面が表示されたあとや、オートクリアの実行直後に表示される画面を設定します。［状況確認］に設定する場合は、［状況確認］画面を閉じた直後に表示される画面も設定できます。

- **［ホーム画面のボタン表示設定］**

  ショートカットボタンを追加したり、ボタンの配置を変更したりして、よく使用する機能を、操作パネルのホーム画面からすばやく実行できるようにします。

  ➡ ホーム画面をカスタマイズする

- **［表示言語の切替］**

  操作パネルの画面や、プリントしたレポートに表示される言語を切り替えます。

- **［mm/インチ入力の切替］**

  長さや幅を入力する画面に表示される単位を切り替えます。

- **［グラム/ポンド切替］**

  重さを入力する画面に表示される単位を切り替えます。

- **［IP アドレスの表示設定］**

  ［状況確認］画面にプリンターの IPv4 アドレスを表示するかどうかを設定します。

  ➡ 状況確認

タイマー/電力設定

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

- **［現在日時の設定］**

  プリンターの日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となります。

  重要

  - この設定をする前に、タイムゾーンが正しく設定されているか確認してください。

    ➡ 日付/時刻設定

- **［日付/時刻設定］**

  プリンターを設置する地域に合わせて、タイムゾーン（UTC）を設定します。初期設定では、プリンターの出荷地域に合わせた UTC が設定されているため、通常はタイムゾーンを変更する必要はありません。

  重要

  - タイムゾーンを変更すると、［現在日時の設定］が自動的に変更されます。

    ➡ 現在日時の設定

- **［日付の形式］**

  年（西暦）／月／日が表示されるときの並び順を設定します。

- **［時刻の形式］**

  時刻の表示形式を設定します。

- **［オートクリア］**

  操作パネルの操作がされないまま一定時間が経過したときに、自動的に作業状態がクリアされる機能を［オートクリア］といいます。

  オートクリアが実行されるようにするかどうかを設定します。実行されるようにする場合は、実行されるまでの時間も設定できます。

  参考

  - プリンターの状態によっては、オートクリアが実行されない場合があります。
    - 操作パネルのエラーランプが点滅している
    - 操作パネルに［メニュー］画面やエラーメッセージが表示されている
    - 何らかの処理が行われている（プリント中など）
  - オートクリアが実行されたあとに表示される画面を変更することもできます。

    ➡ オートクリア後の機能

- **［オートクリア後の機能］**

  オートクリアが実行されたあとに表示される画面を設定します。指定した画面を表示する場合は、［復帰する］に設定します。表示される画面は［起動/復帰後に表示する画面］で設定します。

➡ 起動/復帰後に表示する画面

オートクリア実行前に使用していた機能の画面を表示する場合は、［復帰しない］に設定します。

- **［オートシャットダウン］**

  自動的にシャットダウンするまでの時間を設定します。

  参考

  - 一部の地域では、ネットワークの接続状態に応じて、設定した時間よりも早くシャットダウンが実行される場合があります。

- **［オートスリープ］**

  自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。

- **［オートスリープ時刻の設定］**

  指定した時刻に自動的にスリープモードになるように設定します。

- **［スリープ復帰時刻の設定］**

  指定した時刻に自動的にスリープモードを解除するように設定します。

ネットワーク

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［有線 LAN / Wi-Fi 選択］**

  有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用してプリンターをネットワークに接続するかを設定します。

  参考

  - ［有線 LAN］を選択すると、無線 LAN は無効になります。

  ➡ 有線 LAN 接続
  ➡ Wi-Fi 接続

- **［Wi-Fi 設定］**

  プリンターを無線 LAN に接続したり、無線 LAN 接続時の節電について設定したりします。

  - **［ネットワーク選択］**

    無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を一覧から選択し、ネットワークキーを入力して接続します。

    ➡ プリンターで手動接続

  - **［その他の接続］**

    無線 LAN ルーターを一覧から選択する以外の方式で、無線 LAN に接続します。

    - **［ネットワーク名 (SSID) 手動入力］**

      SSID／ネットワークキー／セキュリティー設定など、無線 LAN ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。

      ➡ ネットワーク名（SSID）を手動で入力

    - **［WPS プッシュボタン方式］**

      WPS プッシュボタン方式に対応した無線 LAN ルーターのボタン操作で、無線 LAN に接続します。

      ➡ WPS で接続

    - **［WPS PIN コード方式］**

      WPS PIN コード方式に対応した無線 LAN ルーターに、プリンターで生成した PIN コードを登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。

      ➡ WPS（PIN コード）で接続

  - **［接続設定］**

    無線 LAN 接続時の節電の設定をしたり、無線 LAN の設定情報を確認したりします。

- **［パワーセーブモード］**

  無線 LAN ルーターから送信される信号に合わせて、プリンターを定期的に節電状態にするかどうかを設定します。

- **［接続情報］**

  無線 LAN の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティーに関する設定などを確認します。

  参考

  - 無線 LAN の状態とエラー情報は、［状況確認］→［ネットワーク情報］→［ネットワーク接続方式］から確認することもできます。

- **［ダイレクト接続設定］**

  ダイレクト接続の使用や接続機能について設定します。

  無線ダイレクト接続

  - **［ダイレクト接続を使用］**

    ダイレクト接続を使用するかどうかを設定します。

  - **［ダイレクト接続の自動切断］**

    ダイレクト接続の自動切断に関する設定をおこないます。

    - **［自動切断する］**

      ダイレクト接続を自動で切断するかを設定します。

    - **［自動切断時間］**

      ダイレクト接続を自動で切断する場合、接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。

  - **［アクセスポイントモード設定］**

    初期設定では、ダイレクト接続するたびに、プリンターの SSID とネットワークキーがランダムな文字列で自動生成されます。この設定をおこなうことで、SSID／ネットワークキーを固定して使用することができます。

    - **［任意の SSID を使用］**

      任意の SSID を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、SSID を半角英数字で入力します。

    - **［任意のネットワークキーを使用］**

      任意のネットワークキーを使用するかどうかを設定します。使用する場合は、ネットワークキーを半角英数字で入力します。

  - **［SSID/ネットワークキー固定時常時接続］**

    初期設定では、ダイレクト接続するたびに、操作パネルを使用してプリンターを待機状態にする必要があります。［アクセスポイントモード設定］で固定の SSID とネットワークキーを設定した状態でこの設定を有効にすることで、モバイル機器が常に接続できるようにすることができます。

    重要

    - この機能を有効にすると、［ダイレクト接続を自動切断する］の設定は無効になります。

- この機能を有効にしている場合は、プリンターは完全なスリープ状態には移行しません。

◦ **［ダイレクト接続時の IP アドレス設定］**

ダイレクト接続用の IP アドレスを設定します。

- **［かんたん接続］**

ケーブルレスセットアップモードを開始します。アプリケーションを使用してネットワークの設定を行う場合に、ケーブルレスセットアップモードにします。

➡ かんたん接続

- **［TCP/IP 設定］**

TCP/IP ネットワークでプリンターを使用するための設定をします。

◦ **［IPv4 設定］**

IPv4 環境でプリンターを使用するための設定をします。

▪ **［IP アドレス設定］**

IPv4 アドレスを自動または手動で設定します。

▪ ［自動取得設定］

IP アドレスを自動的に割り当てるための設定をおこないます。自動で割り当てる場合は［ON］を選び、IP アドレスを割り当てるプロトコルに関する設定をおこないます。手動で設定する場合は、［OFF］を選びます。

▪ ［手動取得］

IP アドレスを手動で設定する場合に、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

▪ ［設定確認］

IPv4 アドレス設定を確認します。

▪ **［DHCP オプション設定］**

DNS（Domain Name System）を導入している IPv4 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。

▪ ［ホスト名の取得］

DHCP サーバーからホスト名を取得します。

▪ ［DNS の動的更新］

プリンターに代わって DHCP サーバーがホスト名の対応付けの情報を自動更新します。

▪ ［DNS サーバーアドレスの取得］

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得します。

▪ ［ドメイン名の取得］

DHCP サーバーからドメイン名を取得します。

▪ ［WINS サーバーアドレスの取得］

DHCP サーバーから WINS サーバーアドレスを取得します。

▪ ［SMTP サーバーアドレスの取得］

DHCP サーバーから SMTP サーバーアドレスを取得します。

- ［POP サーバーアドレスの取得］

  DHCP サーバーから POP3 サーバーアドレスを取得します。

- **［PING コマンド］**

  PING コマンドを実行して、プリンターがネットワーク内の機器に接続できるか確認します。

◦ **［IPv6 設定］**

IPv6 環境でプリンターを使用するための設定をします。複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。

- **［IPv6 を使用］**

  IPv6 アドレスを使用するかどうかを設定します。

- **［IPv6 設定確認］**

  IPv6 アドレス設定を確認します。

- **［ステートレスアドレス設定］**

  ステートレスアドレスを使用するかどうかを設定します。

- **［DHCPv6 設定］**

  DHCPv6 を使用するかどうかを設定します。

- **［DHCP オプション設定］**

  DNS サーバーアドレスやドメイン名の取得について設定します。

◦ **［DNS 設定］**

DNS（Domain Name System）を導入している環境でプリンターを使用する場合は、DNS の設定をします。Bonjour などで使用される mDNS（multicast DNS）も、ここで設定します。

- **［IPv4 の DNS サーバーアドレス設定］**

  IPv4 の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

- **［DNS のホスト名/ドメイン名設定］**

  DNS サーバーに登録するプリンターのホスト名と属しているドメイン名を設定します。

- **［DNS の動的更新設定］**

  DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに、自動更新するかどうかを設定します。自動更新する場合は、自動更新する間隔も設定できます。

- **［mDNS 設定］**

  DNS を導入していない環境で DNS の機能を使用するために、mDNS を設定します。

◦ **［WINS 設定］**

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。

◦ **［LPD 設定］**

LPD プロトコルを使用するかどうかを設定します。LPD プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

- **［RAW 設定］**

  RAW プロトコルを使用するかどうかを設定します。RAW プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

- **［WSD 設定］**

  WSD プロトコルを使用するかどうかを設定します。WSD プロトコルを使用する機能ごとに設定できます。

- **［IPP 印刷の設定］**

  IPP（Internet Printing Protocol）を使用するかどうかを設定します。IPP は、AirPrint や Mopria でプリントするときに使用します。IPP を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

- **［HTTP を使用］**

  HTTP を使用するかどうかを設定します。

- **［IPSec を使用］**

  IPSec（IP Security Protocol）を使用するかどうかを設定します。IPSec ポリシー／セレクター／IKE などは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。

- **［Network Link Scan 設定］**

  Network Link Scan を使用するかどうかを設定します。Network Link Scan は、AirPrint でスキャンするときに使用します。Network Link Scan を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

  参考

  - ［Network Link Scan を使用］を［ON］に設定すると、HTTP 通信が有効になります。

    HTTP を使用

- **［ポート番号設定］**

  パソコンやサーバーなどのポート番号に応じて、対象のプロトコルのポート番号を設定します。

- **［MTU サイズ］**

  送信パケットサイズが原因で通信速度が低下した場合に、送信パケットの最大サイズを変更します。

- **［SNMP 設定］**

  SNMP 管理ソフトウェアでプリンターを設定／監視／制御するための設定をします。

- **［IPP Everywhere を使用］**

  IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷するかどうかを設定します。

- **［Universal Print の設定］**

  Universal Print を使用するための設定をします。また、プリンターの登録状況も確認できます。

- **［起動時の接続待機時間］**

  プリンターを起動してから接続を開始するまでの待機時間を設定します。プリンターをスイッチングハブなどに接続している場合は、プリンターの設定が正しくてもネットワークに接続できないことがあります。その場合に、接続待機時間を設定して接続しなおします。

- **［Ethernet ドライバー設定］**

  Ethernet の通信方式を設定します。また、有線 LAN の MAC アドレスを確認することもできます。

  重要

  - ［通信方式］を［半二重］に設定する場合は、［1000BASE-T］を選択できません。

- **［IEEE 802.1X を使用］**

  IEEE 802.1X を使用するかどうかを設定します。IEEE 802.1X の認証方式は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。

- **［ファイアウォール設定］**

  IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを有効にするかどうかを設定します。フィルターのデフォルトポリシーや例外アドレスは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。

- **［遠隔監視サービス］**

  遠隔監視サーバーと通信確認や、遠隔監視サービスに関する設定をおこないます。この項目を実行すると、プリンターの情報が定期的に遠隔監視サーバーへ送信されるようになります。

  - **［通信テスト］**

    サービスセンターとのテスト通信を行います。

  - **［通信ログ］**

    エラー番号（最大 5 まで）、エラーの発生時刻を一覧表示します。エラー番号を選ぶと、エラーの詳細が表示されます。

    主なエラーと対処方法

エラーコード	エラーの詳細	対処方法
0xxx0003	Communication test is not performed.	通信テストを実施してください。
8xxx0003	E-RDS switch is setting OFF.	遠隔監視サービスを有効に設定してください。
8xxx2003	Network is not ready, try later.	ネットワークの設定を確認してください。
8xxx200A	Server connection error	ネットワークの設定を確認してください。
8xxx2014	Proxy connection error	プロキシサーバーのアドレス等を確認してください。
8xxx201E	Proxy authentication error	プロキシサーバーへログインするためのユーザー名、パスワードを確認してください。
8xxx2046	Server certificate expired	サーバー証明書の期限が切れています。プリンターに正しい日時を設定してください。
8xxx2047	Server response time out	ネットワークの設定を確認してください。プロキシサーバーのアドレスを確認してください。プリンターに正しい日時が設定されているか確認してください。
8xxx2058	Unknown error	時間をおいて通信テストを再度実施してください。

  - **［インク残量の通知タイミング］**

    サービスセンターにインク残量通知を行うタイミングを設定します。

    ［設定の確認］を選ぶと、各色に設定された通知タイミングを確認できます。

- **[RMT-SW]**

  通常は[OFF]に設定したまま使用します。担当サービスが遠隔から機器メンテナンスするときに、[ON]に変更する場合があります。

- **[ネットワーク設定の初期化]**

  ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。

  ➡ プリンターの設定を初期化する

外部インターフェイス

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［USB 設定］**

  USB ポートと USB メモリーの使用について設定します。

  - **［USB デバイスとして使用］**

    パソコン接続用の USB ポートを使用するかどうかを設定します。

  - **［USB 外部記憶デバイスを使用］**

    USB フラッシュメモリーなどのメモリーメディアを使用するかどうかを設定します。

アクセシビリティー

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

- **［キーリピート設定］**

  操作パネル上のキーを押しつづけたときに、連続入力が開始されるまでの時間と、連続入力間隔を設定できます。

- **［連続キー操作を受け付けない時間の指定］**

  操作パネル上の同じキーによる連続操作を受け付けない時間を設定できます。

- **［画面色反転］**

  操作パネルの画面の明暗を反転して表示するかどうかを設定します。輝度調整で明るさを調整しても表示が見づらいときに設定します。

- **［輝度調整］**

  操作パネルの画面の表示が見づらいときに明るさを調整します。

- **［メッセージ表示時間］**

  操作パネルの画面に 2 種類のメッセージが交互に表示されるとき、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

音量設定

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［環境設定］を選ぶと表示されます。

- **［入力音］**

  操作パネルのキーやボタンが押されたときに、音を鳴らすかを設定します。

- **［入力無効音］**

  設定範囲外の数値が入力された場合など、無効なキー操作が行われたときに、音を鳴らすかを設定します。

- **［警告音］**

  紙づまりや誤操作など、本機にトラブルが起きたときに、音を鳴らすかを設定します。

- **［節電移行音］**

  スリープモードになったときや、スリープモードが解除されたときに、音を鳴らすかを設定します。

- **［フィーダー原稿検知音］**

  原稿給紙口に原稿がセットされたことを検知したときに、音を鳴らすかを設定します。

画質調整

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［調整/メンテナンス］を選ぶと表示されます。

- **［ヘッド位置調整］**

  プリントヘッドの位置を調整します。

  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

- **［プリントヘッドの傾き調整］**

  プリントヘッドの傾きを調整します。

  ➡ 罫線のずれを調整する

- **［紙送り調整］**

  用紙の送り量を設定します。

  - **［優先設定］**

    用紙の送り量の調整方法を設定します。

    - **［自動］**

      印刷時にプリンタードライバーで選んだ設定により、［画質優先］または［長さ優先］を自動的に選びます。

      参考

      - コピー時は［原稿の種類］に応じて設定が選ばれます。

    - **［画質優先］**

      印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。［画質調整］の設定が適用されます。

    - **［長さ優先］**

      印刷物の罫線の長さを合わせるように調整します。［長さ調整］の［調整値の変更］の値が適用されます。

  - **［画質調整］**

    印刷物に色味の違う横スジが入るときに選びます。

    ➡ 色味の違う横スジを自動で調整する
    ➡ 色味の違う横スジを手動で調整する

  - **［長さ調整］**

    CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したいときに選びます。

    ➡ 罫線の長さを調整する

- **［カラーキャリブレーション］**

  カラーキャリブレーションの実行や、調整情報の確認ができます。

  ➡ カラーキャリブレーションを行う

- **[プリントヘッドの可動幅設定]**

  プリントヘッドの可動幅を設定します。

メンテナンス

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［調整/メンテナンス］を選ぶと表示されます。

- **［ノズルチェックパターン印刷］**

  ノズルチェックパターンを印刷します。

  ➡ ノズルのつまりをチェックする

- **［ヘッドクリーニング］**

  プリントヘッドをクリーニングするときに選びます。

  ➡ プリントヘッドをクリーニングする

- **［自動メンテナンス設定］**

  自動で実施されるメンテナンス項目に関する設定をおこないます。

  - **［自動ノズルチェック］**

    自動ノズルチェックの有効／無効を設定します。ノズルチェックを行うページ間隔を選ぶこともできます。

  - **［ノズルチェックのエラー表示］**

    ノズルチェックのエラー表示の有効／無効を設定します。

  - **［システムクリーニングの間隔］**

    自動でシステムクリーニングを行う頻度を設定します。

    参考

    - 印刷品質を保持するために、プリンターを高地でご使用の場合は［短い］を選ぶことをおすすめします。

  - **［ヘッド交換後の調整用パターン印刷］**

    プリントヘッドを交換したあとに、プリントヘッド調整用パターンを印刷する／しないを設定します。

- **［ヘッド交換］**

  プリントヘッドを交換するときに選びます。

  ➡ プリントヘッドを交換する

- **［カッターブレード交換］**

  カッターブレードを交換するときに選びます。

  ➡ カッターブレードを交換する

- **［プラテンクリーニング］**

  トップカバー内部を清掃するときに選びます。

  ➡ トップカバー内部を清掃する

- **［輸送の準備］**

  プリンターの輸送の準備をするときに選びます。

➡ プリンターの輸送の準備をする

共通

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［ファンクション設定］を選ぶと表示されます。

- **［スキャン動作］**

  スキャンの動作について設定します。

  - **［原稿読取後の自動排紙設定］**

    原稿読み取り後に自動で排紙するか、操作パネル上で確認後に排紙するかを設定します。自動で排紙する場合は、排紙されるまでの時間も設定します。

コピー

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［ファンクション設定］を選ぶと表示されます。

- **［デフォルト設定の変更 (コピー)］**

  コピーするときの初期設定を変更します。コピー画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

  参考

  - コピーで設定できる項目については、「コピーするときの設定項目」を参照してください。

プリンター

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［ファンクション設定］を選ぶと表示されます。

- **［プリンター仕様設定］**

  プリンター動作やプリントデータの処理について設定します。

  - **［フチなし時の画像拡大率］**

    以下の印刷方法でフチなし印刷を行う場合の拡大率を設定します。

    - JPEG 印刷
    - IPP 印刷

    通常、少し画像が拡大されてフチが出ないよう印刷されますが、フチが残ってしまったときに設定を変更してください。

  - **［タイムアウト時間］**

    プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を設定します。

  - **［用紙の外形サイズ優先］**

    ロール紙用の設定項目です。［ON］を選ぶと、用紙のサイズが優先されます。余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。［OFF］を選ぶと、文字や画像の印刷が優先されます。

    参考

    - 指定された用紙のサイズから余白を除いた領域と、プリンタードライバーで設定した［ロール紙の安全余白］や［先端余白］を反映した上下の余白を確保して印刷するため、出力される用紙の長さは用紙のサイズよりも長くなります。

  - **［JPEG 設定］**

    JPEG ファイルを印刷するときの各種設定を行います。

  - **［HP-GL/2 設定］**

    HP-GL/2 モードで印刷するときの各種設定を行います。

    HP-GL/2 設定について

  - **［IPP 設定］**

    AirPrint や Mopria などで印刷するときの各種設定を行います。

  - **［印刷設定の既定値］**

    印刷設定の既定値を設定します。

送信

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［ファンクション設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［共通設定］**

  スキャンデータ送信の制限や、宛先の確認画面の表示について設定します。

  - **［新規宛先の制限］**

    スキャンデータを送信するときに指定できる宛先を、アドレス帳の宛先と LDAP サーバーに登録されている宛先に限定するかどうかを設定します。

  - **［履歴からの再送信を制限］**

    スキャンの送信履歴から宛先を指定できないようにするかどうかを設定します。

  - **［短縮ダイヤル送信の確認］**

    短縮ダイヤルの番号で宛先を指定したときに、登録されている宛先の確認画面が表示されるようにするかどうかを設定します。

  - **［送信前の宛先確認］**

    メールを送信するときに、宛先の確認画面が表示されるようにするかどうかを設定します。

  - **［ジョブ受付時の確認表示］**

    スキャンデータの送信をはじめ、プリンターで行われる処理はジョブとして管理されています。スキャンの操作を実行したあとに、ジョブとして受付されたことを確認する画面が表示されるようにするかどうかを設定します。［ON］に設定すると、その画面から送信状況や履歴の確認画面を表示することができるようになります。

- **［スキャンして送信設定］**

  スキャンデータの送信について設定します。

  - **［ユーザー略称の登録］**

    メールの送信者名を登録します。登録した送信者名は、本機のメールアドレスと併せて宛先に通知されます。送信者名を登録していない場合は、プリンターのメールアドレスのみ通知されます。

  - **［メール設定］**

    メールの送信について設定します。

    - **［デフォルト設定の変更 (メール)］**

      スキャンデータをメール送信するときの初期設定を変更します。スキャンデータをメール送信するときのスキャン画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

  - **［ファイル設定］**

    スキャンデータを共有フォルダーに保存するときの動作について設定します。

- **［デフォルト設定の変更 (ファイル)］**

  スキャンデータを共有フォルダーに保存するときの初期設定を変更します。スキャンデータを共有フォルダーに保存するときのスキャン画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

ファイル保存/利用

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［ファンクション設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［共通設定］**

  USB フラッシュメモリーへの保存について設定します。

  - **［USB メモリー設定］**

    スキャンデータを USB フラッシュメモリーに保存する機能について設定します。

    - **［デフォルト設定の変更 (USB メモリー)］**

      スキャンデータを USB フラッシュメモリーに保存するときの初期設定を変更します。スキャンデータを USB フラッシュメモリーに保存するときのスキャン画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

- **［メモリーメディア設定］**

  プリンターに USB フラッシュメモリーを差し込んだときに、使用できる機能を設定します。

  - **［スキャン機能を使用］**

    スキャンデータを USB フラッシュメモリーに保存できるようにする場合は、［ON］に設定します。保存を制限したい場合は、［OFF］に設定します。

- **［メディア接続時の操作画面］**

  プリンターに USB フラッシュメモリーを差し込んだときに、USB フラッシュメモリーの操作画面を表示するかどうかを設定します。

ユーザー管理

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［管理設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［管理者情報の設定］**

  ［管理者 ID］と［管理者暗証番号］を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。必要に応じて、管理者の名前も設定できます。

  メールアドレスなど他の管理者情報は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。

  管理者情報を設定する

デバイス管理

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［管理設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［デバイス情報の設定］**

  プリンターを識別するための名前や、設置した場所を設定します。設定した情報は、リモート UI のポータル画面に表示されます。

  ➡ リモート UI で設定できる項目

- **［ジョブ履歴の表示］**

  プリント／コピー／スキャンの使用履歴を、状況確認画面に表示するかどうかを設定します。

  ➡ 状況確認
  ➡ プリント状況や履歴を確認する
  ➡ コピー状況や履歴を確認する
  ➡ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

- **［消耗品購入情報表示］**

  消耗品購入サイトにアクセスするボタンを、リモート UI に表示するかどうかを設定します。

リモート UI 設定/ファームウェア更新

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［管理設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［リモート UI 設定］**

  リモート UI の使用やアクセス制限について設定します。

  - **［リモート UI 設定］**

    リモート UI を使用するかどうかを設定します。リモート UI を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

  - **［パスワードの使用］**

    リモート UI を使用する場合は、［ON］に設定して、リモート UI のパスワードを設定します。

- **［ファームウェア更新］**

  インターネット経由またはパソコン経由で本機のファームウェアをアップデートしたり、ファームウェアのバージョンを確認したりします。

  ➡ ファームウェアをアップデートする

データ管理

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［管理設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［インポート/エクスポート］**

  アドレス帳をインポート／エクスポートします。操作パネルを使用してインポート／エクスポートする場合は、USB メモリーを使用します。

- **［使用状況調査プログラム使用］**

  使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。使用状況調査プログラムは、ドライバーのインストール時にパソコンにインストールされるプログラムです。

  本設定が［ON］の場合、使用状況調査プログラムの情報送信の設定に基づき、本デバイスの使用状況に関する情報をキヤノンに送信します。本設定が［OFF］の場合、使用状況調査プログラムは本デバイスの使用状況に関する情報を送信しません。

- **［情報送信の設定］**

  連携する外部サービスの利用やご利用状況の分析のために、外部サーバーに情報を送信するかどうかを設定します。

- **［鍵と証明書の初期化］**

  鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。

  ➡ プリンターの設定を初期化する

- **［アドレス帳の初期化］**

  アドレス帳に登録されている宛先を消去します。

  ➡ プリンターの設定を初期化する

- **［メニューの初期化］**

  ホーム画面の［メニュー］の設定を初期化します。初期化する設定項目を選択します。

  ➡ プリンターの設定を初期化する

セキュリティー設定

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から［管理設定］を選ぶと表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **［認証/パスワード設定］**

  プリンターの認証機能について設定します。

  - **［認証機能の設定］**

    認証機能によるセキュリティーを強化する設定をします。

    - **［ロックアウト設定］**

      認証に失敗した場合、一定時間ログインできない状態（ロックアウト）にするかどうかを設定します。ロックアウトする場合は、何回連続して失敗するとロックアウトするかを［ロックアウトのしきい値］で、ロックアウトを解除するまでの時間を［ロックアウト時間］で設定できます。

- **［暗号設定］**

  弱い暗号や、弱い暗号を用いた鍵と証明書を使用できないようにするかどうかを設定します。

- **［起動時のシステム検証］**

  プリンターの起動時やアプリケーションの実行時に、システムやアプリケーションが改ざんされていないかを検証します。

  重要

  - 改ざんが検出された場合は、プリンターが更新待機状態になります。ファームウェアをアップデートする必要があります。

    ➡ ファームウェアをアップデートする

  - しばらく待っても画面が表示されない場合は、システムの復旧ができない可能性があります。販売店または担当サービスにお問い合わせください。

- **［おすすめセキュリティー設定］**

  環境タイプを選択するだけで、お使いの環境におすすめのセキュリティー設定を一括して行えます。どの環境タイプに該当するかは「セキュリティー設定ナビ」でご確認ください。

  ➡ セキュリティー設定ナビ

  重要

  - 本機を各タイプでおすすめのセキュリティー設定に変更したあと、必要な機能が利用できなくなった場合などは、変更を取り消して元に戻すことができます。
  - ［おすすめセキュリティー設定］で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更は維持されません。［おすすめセキュリティー設定］を実行する前の状態に戻ります。

レポート出力

この項目は、ホーム画面の［メニュー］を選ぶと表示されます。

- **［リストプリント］**

  レポート／リストを印刷します。

  - **［ステータスプリント］**

    プリンターの状態や設定値の情報を印刷します。

    ➡ ステータスプリントについて

  - **［LAN 設定情報印刷］**

    プリンターのネットワーク設定情報を印刷します。

    ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

  - **［印刷設定プリント］**

    印刷設定の一覧を印刷します。

用紙関連の設定

この項目は、ホーム画面に表示されます。

重要

- 設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、プリンターの再起動が必要な場合があります。

- **[用紙種類の選択方法]**

  用紙をセットしたときに、用紙の種類を選択する方法を設定します。

  - [手動選択]

    登録されている用紙種類から手動で選択します。

  - [推定結果から自動設定]

    プリンターのセンサーによって推定した用紙種類が自動的に設定されます。

    推定精度が高くなると、用紙種類を都度選択する必要がなくなります。

  - [推定結果から手動選択]

    プリンターのセンサーによって推定した用紙種類から、可能性が高いものを上位にリスト表示します。

    リスト表示された用紙種類から手動で選択します。

  - [固定]

    同じ種類の用紙を使い続ける場合に選びます。

  参考

  - 用紙推定機能を使用する場合、[用紙の幅を検知する]を[無効]にしても用紙幅検知機能は有効になります。
  - お使いのプリンターで初めて使用する用紙である場合、または該当する用紙種類がない場合は、「選択履歴がありません」と表示されます。

    「選択履歴がありません」と表示された場合は、手動で用紙種類を選択してください。

    このとき、プリンターは選択された用紙種類のデータを学習します。

    次に同じ用紙をセットした場合には、このデータから用紙種類が推定されます。
  - 用紙情報一覧に記載のない用紙を使用するときは、Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）で[カスタム用紙の作成]を行ってください。作成後は[紙送り調整]を行うことをお勧めします。
  - カスタム用紙の作成後、その用紙を何度給紙しても候補にあがらない場合は、[紙送り調整]を再度行ってください。
  - 推定結果には誤差が発生する場合があります。

- **[ロール紙残量管理]**

  ロール紙の残量を管理する方法と残量警告の表示のしかたを設定します。

  - [バーコードで管理]

    ロール紙の残量をバーコードで管理します。

新しいロール紙をセットしたときに紙の長さを正しく設定し、以降必ず交換時にバーコードを使用することで残量管理が正しく行われます。

- ［用紙残量推定機能で管理］

  ロール紙の残量を推定して管理します。

  推定した残量は、ホーム画面に表示されます。

  また、［用紙残量推定機能で管理］では、バーコードは印刷されません。

  残量の推定には、［紙の厚さ］と［紙管外径サイズ］が正しく設定されている必要があります。

  用紙情報一覧に表示されていない用紙を使用する場合は、［用紙の詳細設定］または Media Configuration Tool で紙の厚さと紙管外径サイズを設定してください。

  紙の厚さと紙管外径サイズについては、用紙メーカーにお問い合わせください。

  重要

  - 用紙の種類を正しく選んでいない場合は、残量が正しく推定できないことがあります。
  - 推定された残量には誤差があり、印刷中に用紙切れになる場合もあります。

- ［無効］

  ロール紙の残量管理をしないときに選びます。

- **［ロール紙残量の警告設定］**

  ロール紙の残量を警告するタイミングを設定します。

- **［用紙の設定不一致を検知］**

  登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しない状態で印刷を開始した場合の動作を選びます。

- **［用紙の詳細設定］**

  用紙の種類ごとに用紙の詳細を設定することができます。

  - ［ロール紙の長さ (初期値の変更)］
  - ［紙の厚さ (ヘッドの高さ)］
  - ［斜行検知精度］
  - ［カットモード］
  - ［カットスピード］
  - ［先端プレカット］
  - ［カット屑軽減］
  - ［搬送部の吸着力］
  - ［ロール紙テンション (印刷)］
  - ［ロール紙テンション (給紙)］
  - ［スキャン間で休止する］
  - ［ページ間で休止する］
  - ［ロール紙先端余白］
  - ［カット紙先端余白］
  - ［フチなし時のはみ出し量］
  - ［用紙の幅を検知する］

- ［紙管外径サイズ］
- ［紙の厚さ］
- ［用紙選択の推定データを初期化］
- ［用紙ごとの設定情報を初期化］

- **［用紙サイズの認識設定］**

  用紙のサイズを検知したときに、優先するサイズを選びます。

  - ［ロール紙設定 1］

    検知したロール紙の幅が 10inch と B4 の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 2］

    検知したロール紙の幅が A3 と 300mm の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 3］

    検知したロール紙の幅が 300mm と 12inch の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 4］

    検知したロール紙の幅が 500mm と 20inch の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 5］

    検知したロール紙の幅が 20inch と B2 の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 6］

    検知したロール紙の幅が A1 と 600mm の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

  - ［ロール紙設定 7］

    検知したロール紙の幅が 600mm と 24inch の間のサイズの場合に、どちらのサイズとして認識させるかを選びます。

- **［カット紙後端に推奨余白を確保］**

  AirPrint や Mopria などを使ってカット紙に印刷するとき、［する］を選ぶと用紙後端の余白を 20mm に設定します。用紙後端の印刷が乱れる場合に［する］を選びます。

- **［起動時の自動給紙］**

  ［ON］を選ぶと、プリンターの起動時に用紙交換の有無を判定し、用紙が交換されていた場合には、給紙動作を行います。

  用紙交換の判定には、時間がかかることがあります。

  ［OFF］を選ぶと、プリンターの起動時に用紙交換の有無を判定せず、現在の給紙設定のままで待機します。

- **［優先ロール紙幅登録］**

  用紙のサイズを検知したときに、優先して認識させるロール紙の幅を設定します。設定したリストの 1 から順に判定します。

- **［用紙選択の推定データをすべて初期化］**

  ［用紙種類の選択方法］で［推定結果から自動設定］または［推定結果から手動選択］を選んでいた場合に、学習したすべての用紙の推定データをリセットします。

- **［全用紙の設定情報を初期化］**

  ［用紙の詳細設定］で設定した各設定をご購入時の設定に戻します。

重要

- 用紙情報を工場出荷時の設定値に戻した場合、Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）により追加または更新した用紙の情報も消去されます。

状況確認

この項目は、ステータス画面またはホーム画面に表示されます。

- **［エラー情報/お知らせ］**

  本機で発生しているエラーの情報を確認できます。エラーの内容に応じて対処します。

  ➡ エラーメッセージ一覧
  ➡ エラーコード一覧

- **［インク情報］**

  インクタンクの残量や型番を確認できます。

  ➡ インク残量を確認する
  ➡ インクタンクの型番を確認する

- **［メンテナンスカートリッジ情報］**

  メンテナンスカートリッジの交換や、残り容量を確認できます。

  ➡ メンテナンスカートリッジを交換する
  ➡ メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

- **［デバイス情報］**

  プリンターの総ページ数や本体デバイスの情報を確認できます。

  - **［バージョン情報］**

    プリンターのファームウェアのバージョン情報を確認できます。

  - **［使用実績］**

    印刷の総面積などの、プリンターの使用実績を表示します。

  - **［ヘッドの情報］**

    プリントヘッドのシリアル番号、装着日、ドットカウントを表示します。

  - **［ヘッド位置調整の実施履歴］**

    プリントヘッドの位置調整を行った履歴（最大 5 件）を表示します。

  - **［自動設定時の実行値］**

    ヘッドの高さと搬送部の吸着力を表示します。

  - **［シリアル No.］**

    プリンターのシリアルナンバーが表示されます。

- **［コピー/プリントジョブ］**

  プリントやコピーの処理状況と履歴を確認できます。

  ➡ プリント状況や履歴を確認する
  ➡ コピー状況や履歴を確認する

- **［印刷の一時停止］**

  印刷を一時停止状態にするか設定します。

  ➡ 印刷を一時停止状態にする

- **［送信ジョブ］**

  スキャンの送信／保存状況と履歴を確認できます。

  ➡ スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

- **［ネットワーク情報］**

  プリンターのネットワーク情報を確認できます。

  - **［IPv4］**

    IPv4 アドレスなどの設定内容を確認できます。

    ➡ IPv4 設定

  - **［IPv6］**

    IPv6 アドレスなどの設定内容を確認できます。

    ➡ IPv6 設定

  - **［ネットワーク接続方式］**

    有線／無線どちらで接続されているかを確認できます。無線 LAN で接続されている場合は、通信状況やエラー情報も確認できます。

    ➡ Wi-Fi 設定

  - **［ダイレクト接続情報］**

    ダイレクト接続しているときに接続状態などを確認できます。

    ➡ ダイレクト接続設定

  - **［IEEE 802.1X エラー情報］**

    IEEE 802.1X 認証でエラーが発生しているときにエラーの内容を確認できます。

- **［メディア取り外し］**

  USB フラッシュメモリーが接続されているときに表示されます。USB フラッシュメモリーを取り外すときに押します。

- **［IP アドレス］**

  初期設定では、本機の IPv4 アドレスが表示されます。非表示にすることもできます。

  ➡ IP アドレスの表示設定

HP-GL/2 設定について

- 各メニューについて
- メニューの組み合わせ

各メニューについて

- [カラーモード]
- [印刷品質]
- [入力解像度]
- [印刷目的]
- [給紙位置]
- [余白]
- [オーバーサイズ]
- [用紙節約]
- [回転]
- [自動回転]
- [拡大/縮小]
- [中央に印刷]
- [定型サイズにカット]
- [鏡像]
- [線のマージ]
- [パレットの選択]
- [パレットの定義]
- [ペン 0] ～ [ペン 15]
- [パレットの初期化]
- [スムージング]
- [細線強調]
- [明細線補正]
- [線幅の補正]
- [カラーパレット印刷]
- [警告表示]
- [画像サイズの検出]

［カラーモード］

HP-GL/2 データを印刷するときのカラーモードを設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［画質設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［カラー(知覚的)］**
  - ［印刷目的］で［線画］を選んでいる場合：

    一般的な画像を自然な色合いで再現し、滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
  - ［印刷目的］で［写真］を選んでいる場合：

    一般的な写真を自然な色合いで再現し、滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
- **［カラー(彩度)］**
  - ［印刷目的］で［線画］を選んでいる場合：

    線画に適した見やすい色で印刷します。
  - ［印刷目的］で［写真］を選んでいる場合：

    ポスターなどを鮮やかに再現します。
- **［カラー(補正なし)］**

  カラーマッチングを行わずに印刷します。
- **［モノクロ］**
  - ［印刷目的］で［線画］を選んでいる場合：

    黒インクを使用して、線画を印刷するときに選びます。
  - ［印刷目的］で［写真］を選んでいる場合：

    カラーのデータをモノクロにして印刷します。 連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
- **［モノクロ(二階調)］**

  白以外の色をすべて黒で印刷します。

［印刷品質］

HP-GL/2 データを印刷するときの印刷品質を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［画質設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［5(速い)］**

  印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。

- **［4］**

  ［3］を選んだ場合よりも印刷にかかる時間を短縮できます。

- **［3］**

  印刷品質と印刷時間の両方をバランスよく重視する標準的な設定です。

- **［2］**

  ［3］を選んだ場合よりも印刷品質が向上します。

- **［1(きれい)］**

  印刷品質を重視する場合の設定です。

  他の設定と比較して印刷時間は長くなりますが、印刷品質は高くなります。

［入力解像度］

プリンターの内部処理の解像度を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［画質設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［600dpi］**

  内部処理（レンダリング）の解像度を 600dpi に設定します。

  内部処理（レンダリング）の精度が向上するため、高精細に印刷できます。

- **［300dpi］**

  内部処理（レンダリング）の解像度を 300dpi に設定します。

  内部処理（レンダリング）の速度が向上するため、高速に印刷できます。

［印刷目的］

HP-GL/2 データの印刷目的を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［画質設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［写真］**

  イラストや写真を含むデータを印刷する場合に選びます。

- **［線画］**

  図面など、線を含むデータを印刷する場合に選びます。

- **［自動］**

  用紙種類に合わせた印刷目的が自動で選択されます。

［給紙位置］

HP-GL/2 データを印刷するときの用紙（カット紙またはロール紙）を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［自動］**

  最適な給紙位置が自動で選択されます。

- **［ロール紙］**

  ロール紙で印刷するときに選びます。

- **［手差し］**

  カット紙で印刷するときに選びます。

［余白］

HP-GL/2 データを印刷するときの用紙の余白を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

参考

- ［用紙の詳細設定］の［ロール紙先端余白］や［カット紙先端余白］と異なる値を設定した場合、大きいほうの設定値が優先されます。

- **［3mm］**

  印刷余白を 3mm に設定します。

  ただし、カット紙の後端余白は 20mm になります。

- **［5mm］**

  印刷余白を 5mm に設定します。

  ただし、カット紙の後端余白は 20mm になります。

［オーバーサイズ］

HP-GL/2 データの作画範囲の内側に余白を設定するか、作画範囲の外側に余白を設定するかを選択します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［OFF］**

  HP-GL/2 データの作画範囲の内側に余白を設定します。

  作画範囲の内側に余白が付加されるため、レイアウトによっては画像が欠ける可能性があります。

- **［ON］**

  HP-GL/2 データの作画範囲の外側に余白を設定します。

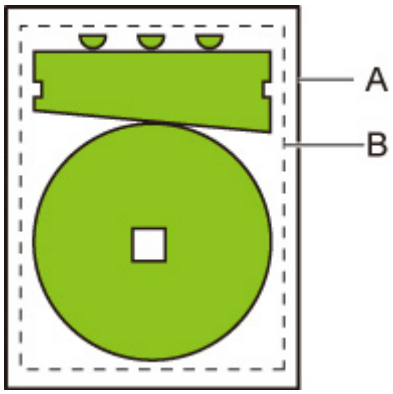
  作画範囲の外側に余白が付加されるため、余白により画像が欠けることはありません。

  ただし、HP-GL/2 データで指定する作画範囲に上下左右 4 辺の余白を足したサイズより大きいサイズの用紙に印刷してください。

参考

- CAD アプリケーションによっては、原点位置がずれて画像が欠けるので［OFF］／［ON］の両方を試してください。

オーバーサイズのイメージ



A. 出力ページサイズ
B. 作画範囲

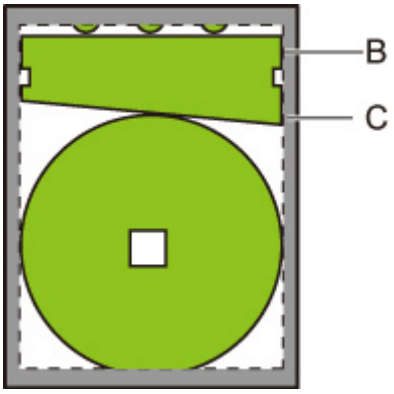
このような作画イメージを印刷する場合、［オーバーサイズ］の設定を使うと、作画範囲を基準に余白を外側に配置するか内側に配置するかを設定できます。

外側に配置する場合は［ON］、内側に配置する場合は［OFF］を選びます。

- ［OFF］を選んだ場合：

  作画範囲の設定に基づいて、原点を用紙左上に設定して印刷が行われます。

  このとき作画範囲の内側に余白が設定されます。



B. 作画範囲

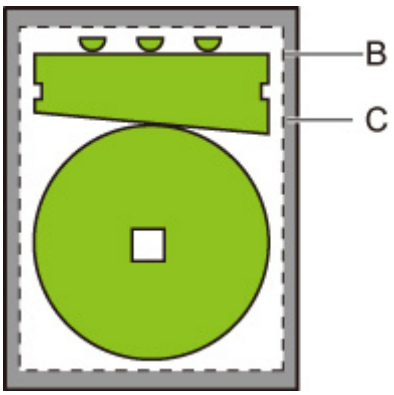
C. 余白

作図された図形が、設定した作画範囲に対して小さい場合は、配置された余白で切れずに印刷されます。

- ［ON］を選んだ場合：

  作画範囲の設定に基づいて、原点を用紙左上に設定して印刷が行われます。

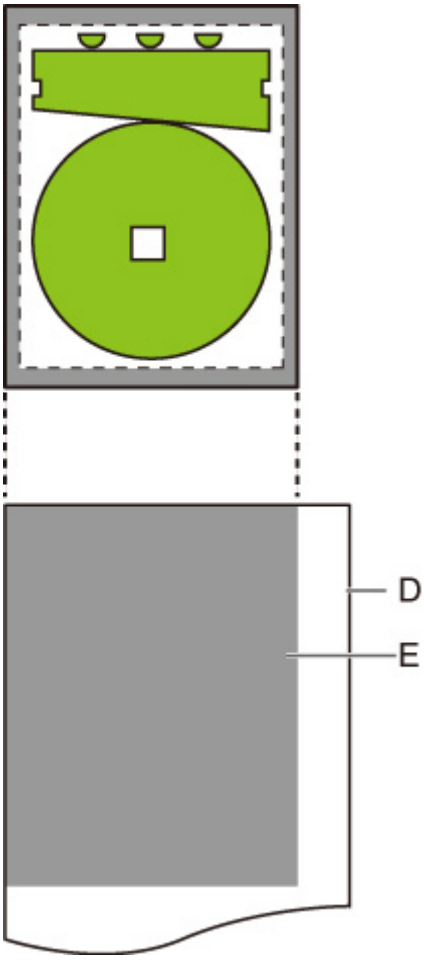
  このとき作画範囲の外側に余白が設定されます。



B. 作画範囲

C. 余白

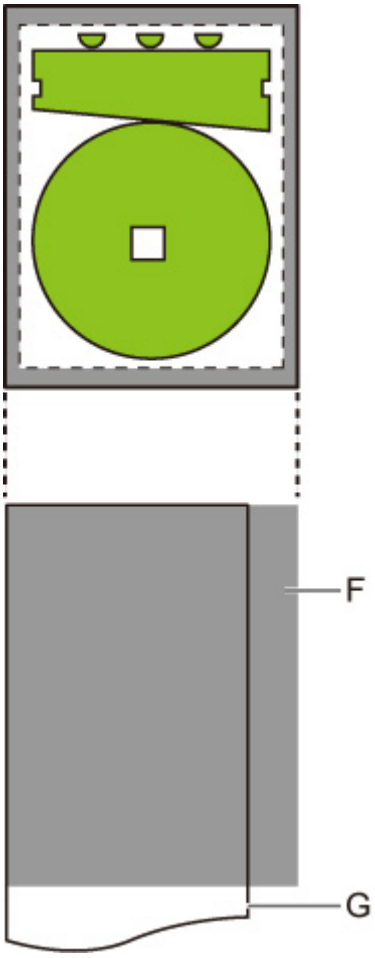
印刷するときの用紙の設定は、作画領域と余白を配置したサイズより大きい用紙を設定します。



D. 印刷用の用紙

E. 余白を配置した作画範囲

印刷する用紙が、余白を配置した範囲より小さいと、画像が欠けることがあります。



F. 印刷されない部分

G. 印刷用の用紙

［用紙節約］

ロール紙へ印刷するとき、画像の上部や下部に空白（余白）がある場合はその空白部を除き用紙を節約します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

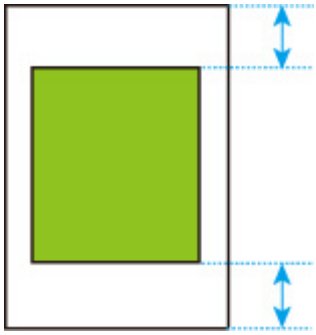
  用紙の節約を行いません。

- **［する］**

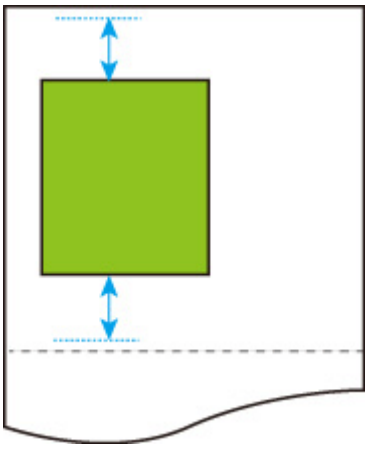
  画像の上下の空白部を除いて印刷します。

用紙節約のイメージ

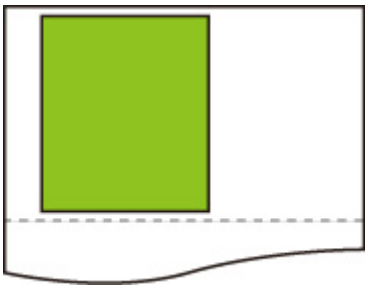
印刷データ（作画範囲）



- ［しない］を選んで印刷した場合：



- ［する］を選んで印刷した場合：



［回転］

設定に従って画像を回転します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［0 度］**

  画像の回転を行いません。

- **［90 度］**

  指定した画像を 90 度回転します。

  画像の回転によって画像が用紙の幅を超えた場合は、その部分は印刷されません。

参考

- HP RTL を含む印刷データの場合、HP RTL 画像は回転しません。
- ［自動回転］で［する］が選ばれている場合は、［自動回転］の設定が優先されます。

［自動回転］

画像を効率的に配置することで用紙を節約したり、用紙からのはみ出しを防いだりするために、画像を自動的に回転します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  画像の自動回転を行いません。

- **［する］**

  以下の場合に、画像を 90 度回転します。

  - 出力ページが縦長で、長い辺がロール紙幅よりも短い場合
  - 出力ページが横長で、長い辺が用紙幅より長く、短い辺が用紙幅より短い場合

    出力ページの長い辺と短い辺が用紙幅より長く、用紙からはみ出す場合でも、出力ページが横長の場合は印刷範囲を広げるために回転して印刷します。

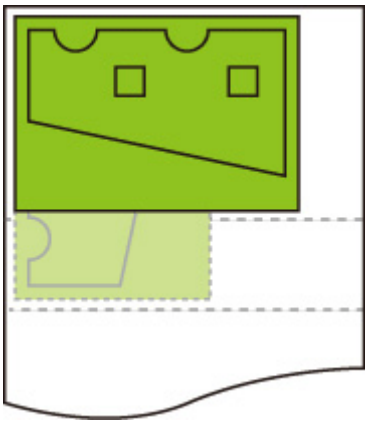
参考

- 回転により、ロール紙がカットされる長さは変化します。
- 作画範囲の情報が含まれない HP-GL/2 データを受信した場合、思った通りの印刷結果が得られない可能性があります。

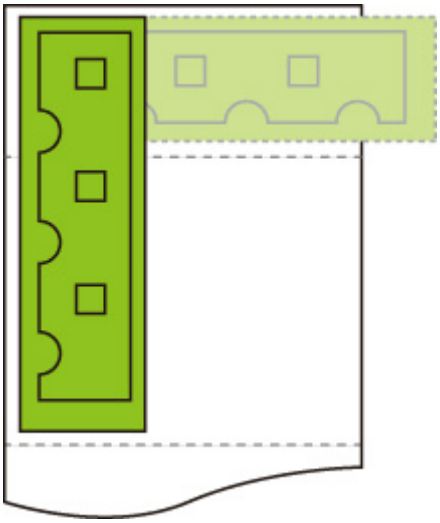
  この場合は、［画像サイズの検出］を［コマンド優先］または［検出サイズ］に設定してください。
- HP RTL を含む印刷データの場合、HP RTL 画像は回転しません。

自動回転のイメージ

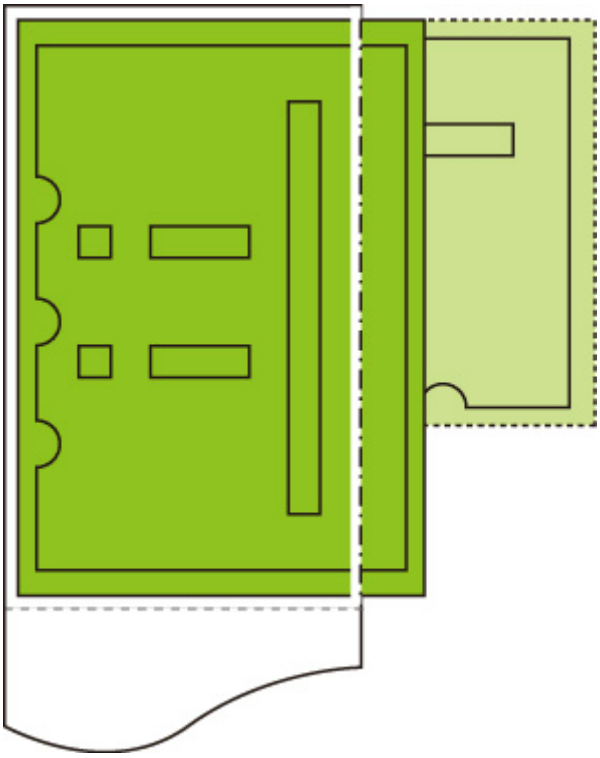
- 効率的な配置



- はみ出しの防止



- はみ出す場合でも印刷範囲を広げるための回転



［拡大/縮小］

画像を拡大または縮小します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［用紙フィット］**

  プリンターにセットされている用紙に合わせて、拡大または縮小して印刷します。

  参考

  - データの線幅は拡大縮小されません。
  - 余白の幅は拡大縮小されません。このため用紙サイズの倍率と、処理後の画像の倍率は異なります。
  - 用紙に合わせて印刷する場合の拡縮率は、「(機種最大幅÷1inch)×100%」を上限に設定しています。したがって、24inch 機は 2400%、36inch 機は 3600%、44inch 機は 4400%が上限値となります。拡縮率を計算した結果が上限を超える場合、上限値に丸めて拡大します。

- **［等倍（100%)］**

  拡大／縮小を行いません。

- **［倍率指定］**

  画像を指定した倍率で拡大または縮小して印刷します。

  指定できる倍率の範囲は、25%から 400%です。

  参考

  - データの線幅、余白の幅は拡大縮小されません。

［倍率指定］で拡大／縮小したときのイメージ

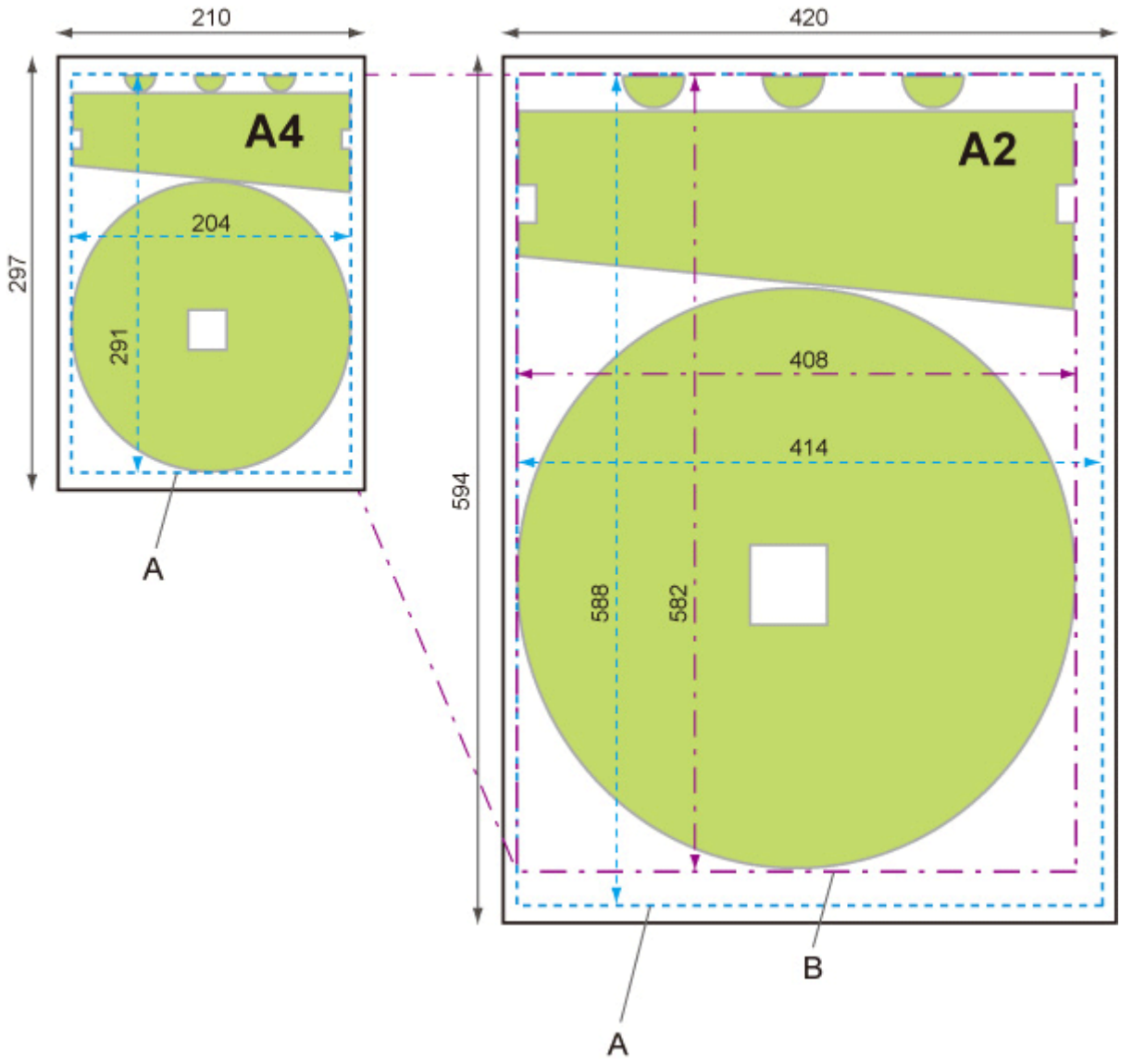
［倍率指定］は、指定した倍率どおりに出力対象領域を拡大縮小します。原点は左上です。

例えば、A4 サイズ用紙の縦横それぞれ 2 倍の長さの用紙は A2 サイズです。

余白が 3 mmの場合、A4 サイズの出力対象領域は 291 mm×204 mmです。

［倍率指定］で 200%にすると、処理後のサイズは 582 mm×408 mmになります。

（なお、ご使用の環境によって用紙が伸びたり縮んだりする場合があります。）



A. 出力対象領域
B. 200%処理後のサイズ

［用紙フィット］で拡大／縮小したときのイメージ

［用紙フィット］は、印刷データの出力対象領域の長い辺を、出力ページサイズの出力対象領域の長い辺に合わせた倍率で拡大縮小します。原点は左上です。

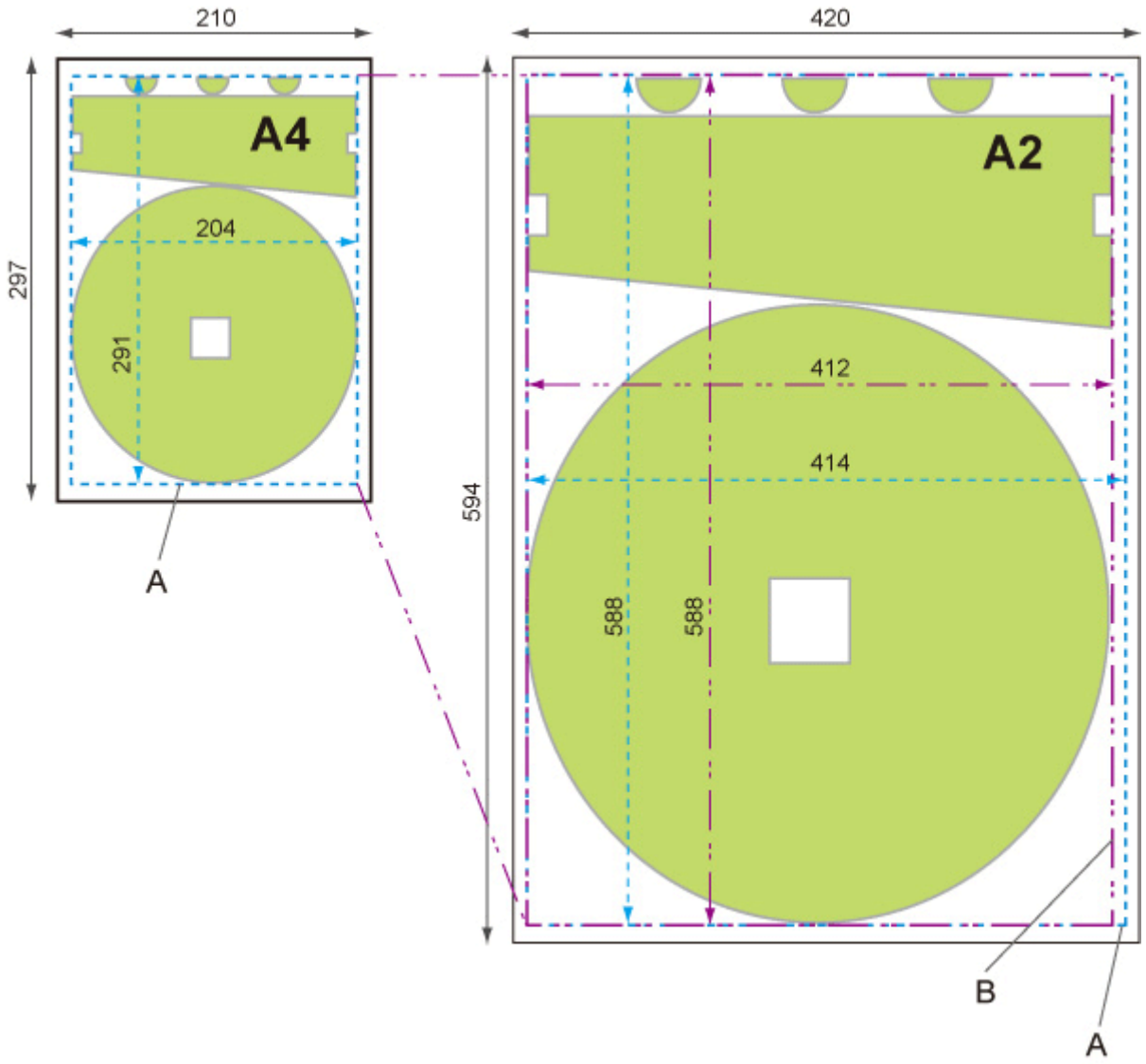
余白の幅は拡大縮小されません。このため用紙サイズの倍率と、処理後の画像の倍率は異なります。

例えば、A4 サイズ用紙の縦横それぞれ 2 倍の長さの用紙は A2 サイズです。

余白が 3 mmの場合、A4 サイズの出力対象領域は 291 mm×204 mmです。

［用紙フィット］を選ぶと、処理後のサイズは約 588 mm×約 412 mmになります。

（なお、ご使用の環境によって用紙が伸びたり縮んだりする場合があります。）



A. 出力対象領域
B. 長い辺に合わせた処理後のサイズ

［中央に印刷］

出力対象領域を用紙の中央に印刷します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  出力対象領域を用紙の中央に印刷しません。

- **［する］**
  - カット紙の場合

    出力対象領域を用紙の中央に印刷します。
  - ロール紙の場合

    出力対象領域をロール紙の幅の中央に印刷します。

    参考

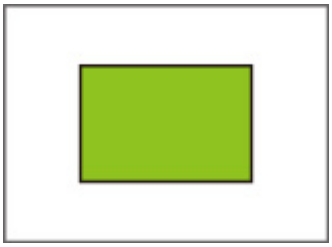
    - 出力ページサイズより用紙のサイズが小さい場合、出力対象領域は中央に印刷されません。

中央に印刷したときのイメージ

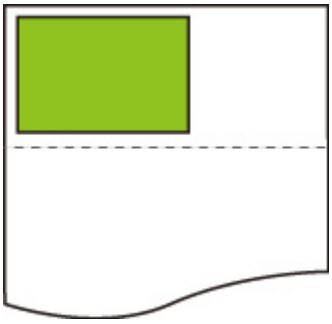
- カット紙に印刷するときに［しない］を選んだ場合：



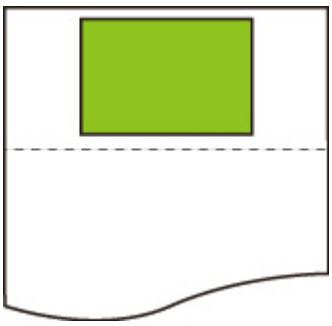
- カット紙に印刷するときに［する］を選んだ場合：



- ロール紙に印刷するときに［しない］を選んだ場合：



- ロール紙に印刷するときに［する］を選んだ場合：



［定型サイズにカット］

ロール紙へ印刷するとき、出力ページサイズを定型サイズにします。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  定型サイズのカットを行いません。

- **［する］**

  ロール紙の幅にみあった定型サイズでカットします。

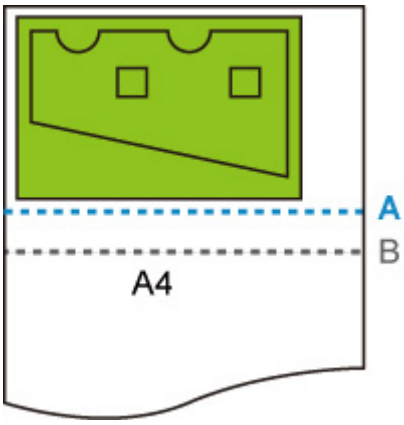
  ロール紙の幅に対して縦横 2 通りの定型サイズがある場合は、自動的に最適なサイズが選択されます。

参考

- ［用紙節約］で［する］を選んでいて画像の上下に空白部がある場合、定型サイズになりません。
- ［中央に印刷］で［する］を選んでいる場合、定型サイズの中央に印刷します。
- ロール紙の幅に対応する定型サイズがない場合は、［しない］と同じ動作になります。メッセージなどは表示しません。
- サポートする定型サイズについては、「定型サイズ一覧」を参照してください。

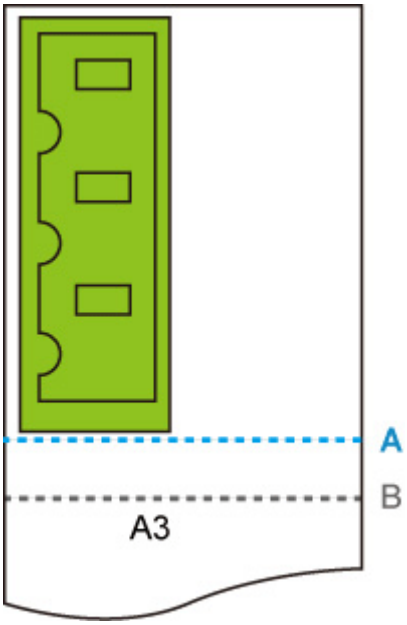
定型カットのイメージ

- A3 サイズ幅ロール紙



A.［しない］の場合の用紙のカット位置
B.［する］の場合の用紙のカット位置

- A3 サイズ幅ロール紙



A.［しない］の場合の用紙のカット位置
B.［する］の場合の用紙のカット位置

定型サイズ一覧

以下の表は［定型サイズにカット］でサポートする定型サイズの一覧です。

プリンターで使用できる用紙サイズについては、「用紙のサイズ」を参照してください。

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
841.0 mm	A1 (841.0 mm x 594.0 mm)	A0 (841.0 mm x 1189.0 mm)
594.0 mm	A2 (594.0 mm x 420.0 mm)	A1 (594.0 mm x 841.0 mm)
420.0 mm	A3 (420.0 mm x 297.0 mm)	A2 (420.0 mm x 594.0 mm)
329.0 mm	–	A3 ノビ (329.0 mm x 483.0 mm)
297.0 mm	A4 (297.0 mm x 210.0 mm)	A3 (297.0 mm x 420.0 mm)
210.0 mm	–	A4 (210.0 mm x 297.0 mm)

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
1000.0 mm	ISO B1 (1000.0 mm x 707.0 mm)	ISO B0 (1000.0 mm x 1414.0 mm)
707.0 mm	ISO B2 (707.0 mm x 500.0 mm)	ISO B1 (707.0 mm x 1000.0 mm)
500.0 mm	ISO B3 (500.0 mm x 353.0 mm)	ISO B2 (500.0 mm x 707.0 mm)
250.0 mm	–	ISO B4 (250.0 mm x 353.0 mm)

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
1030.0 mm	JIS B1 (1030.0 mm x 728.0 mm)	JIS B0 (1030.0 mm x 1456.0 mm)
728.0 mm	JIS B2 (728.0 mm x 515.0 mm)	JIS B1 (728.0 mm x 1030.0 mm)
515.0 mm	JIS B3 (515.0 mm x 364.0 mm)	JIS B2 (515.0 mm x 728.0 mm)
364.0 mm	JIS B4 (364.0 mm x 257.0 mm)	JIS B3 (364.0 mm x 515.0 mm)
257.0 mm	–	JIS B4 (257.0 mm x 364.0 mm)

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
1117.6 mm	ANSI E (1117.6 mm x 863.6 mm)	–
863.6 mm	ANSI D (863.6 mm x 558.8 mm)	ANSI E (863.6 mm x 1117.6 mm)
711.2 mm	–	ANSI F1 (711.2 mm x 1016.0 mm)
558.8 mm	ANSI C (558.8 mm x 431.8 mm)	ANSI D (558.8 mm x 863.6 mm)
431.8 mm	レジャー (431.8 mm x 279.4 mm)	ANSI C (431.8 mm x 558.8 mm)
279.4 mm	レター (279.4 mm x 215.9 mm)	レジャー (279.4 mm x 431.8 mm)
215.9 mm	–	レター (215.9 mm x 279.4 mm)
355.6 mm	リーガル (355.6 mm x 215.9 mm)	–

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
914.4 mm	ARCH D (914.4 mm x 609.6 mm)	ARCH E (914.4 mm x 1219.2 mm)
762.0 mm	–	ARCH E1 (762.0 mm x 1066.8 mm)
660.4 mm	–	ARCH E2 (660.4 mm x 965.2 mm)
685.8 mm	–	ARCH E3 (685.8 mm x 990.6 mm)
609.6 mm	ARCH C (609.6 mm x 457.2 mm)	ARCH D (609.6 mm x 914.4 mm)

457.2 mm	ARCH B (457.2 mm x 304.8 mm)	ARCH C (457.2 mm x 609.6 mm)
304.8 mm	ARCH A (304.8 mm x 228.6 mm)	ARCH B (304.8 mm x 457.2 mm)
228.6 mm	–	ARCH A (228.6 mm x 304.8 mm)

ロール紙の幅	横定型サイズ	縦定型サイズ
917.0 mm	DIN C1 (917.0 mm x 648.0 mm)	DIN C0 (917.0 mm x 1297.0 mm)
648.0 mm	DIN C2 (648.0 mm x 458.0 mm)	DIN C1 (648.0 mm x 917.0 mm)
458.0 mm	DIN C3 (458.0 mm x 324.0 mm)	DIN C2 (458.0 mm x 648.0 mm)
324.0 mm	DIN C4 (324.0 mm x 229.0 mm)	DIN C3 (324.0 mm x 458.0 mm)
229.0 mm	–	DIN C4 (229.0 mm x 324.0 mm)

［鏡像］

画像を左右反転して印刷します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［用紙設定］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  画像の左右反転を行いません。

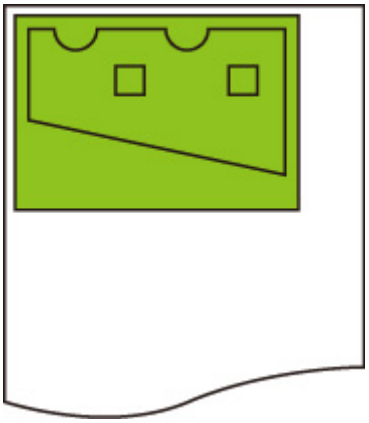
- **［する］**

  画像を左右反転して印刷します。

  印刷する用紙によって、左右反転して印刷する画像の位置も異なります。

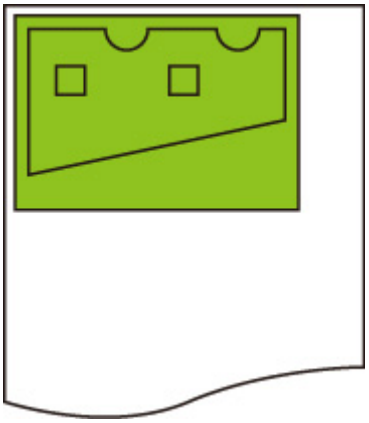
左右反転のイメージ

- ロール紙に印刷するときに［しない］を選んだ場合：

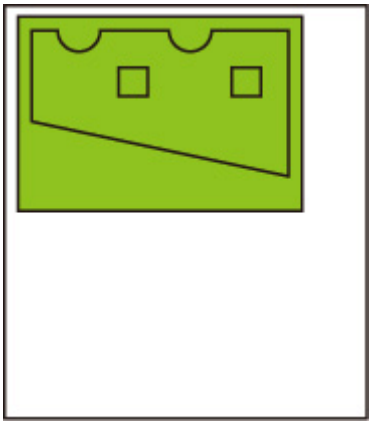


- ロール紙に印刷するときに［する］を選んだ場合：

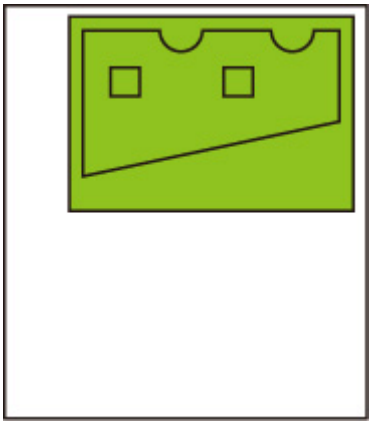
  用紙上に画像を印刷する位置は動かさずに、画像のみを左右反転します。



- カット紙、または、定型サイズにカットしたロール紙に印刷するときに［しない］を選んだ場合：



- カット紙、または、定型サイズにカットしたロール紙に印刷するときに［する］を選んだ場合：
  用紙上に画像を印刷する位置も含めて、左右反転します。



［線のマージ］

線の重なった部分の色処理を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。

参考

- HP-GL/2 データに指定コマンドが含まれる場合は、データが優先されます。
- HP-GL/2 データに指定コマンドがない場合は、設定が有効になります。

- **［しない］**

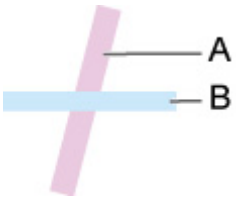
  ベクトルデータが重なる場合、より後にあるデータで上書きします。

- **［する］**

  ベクトルデータが重なる場合、重なった部分の色をマージします。

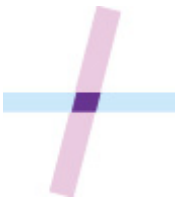
線のマージのイメージ

- ［しない］を選んだ場合：



A. 前にあるデータ
B. A よりも後にあるデータ

- ［する］を選んだ場合：



［パレットの選択］

HP-GL/2 データを印刷する際に使用するパレットを選択します。

選択したパレットの設定に従って、線の幅や色、つなぎ形状が指定されます。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］→［ペン設定］の順に選ぶと表示されます。

- **[ソフトウェア]**

  HP/GL-2 データの設定で印刷します。

- **[パレット A]**

  パレット A の設定で印刷します。

- **[パレット B]**

  パレット B の設定で印刷します。

- **[デフォルト]**

  あらかじめ定義されている設定で印刷します。

参考

- [ソフトウェア]以外のパレットを選ぶと、印刷する画像データ内にペン指定があっても、選択したパレットのペン設定で印刷されます。
- [パレット A]と[パレット B]は、初期状態では[デフォルト]と同じ設定がされています。

［パレットの定義］

[パレット A]または[パレット B]の各ペンの設定を行います。

[デフォルト]のペン設定は変更できません。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］→［ペン設定］の順に選ぶと表示されます。

- **[パレット A]**

  [ペン 0]から[ペン 15]まで、それぞれのペンの幅や色、つなぎ形状を指定します。

  パレット A の各ペンの初期設定は[デフォルト]と同じです。

- **[パレット B]**

  [ペン 0]から[ペン 15]まで、それぞれのペンの幅や色、つなぎ形状を指定します。

  パレット B の各ペンの初期設定は[デフォルト]と同じです。

- **[デフォルト]**

  あらかじめ設定されているペンの幅や色、つなぎ形状で印刷します。

  設定の変更はできません。

［ペン 0］～［ペン 15］

各パレットに属する 0～15 番まで 16 種類のペンに［幅］、［カラー］、［つなぎ形状］を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］→［ペン設定］→［パレットの定義］→［パレット A］または［パレット B］の順に選ぶと表示されます。

- **［幅］**

  線の幅を以下から選んで設定します。

  0.04mm/0.08mm/0.13mm/0.18mm/0.25mm/0.35mm

  0.50mm/0.65mm/0.70mm/0.80mm/0.90mm/1.0mm

  1.4mm/2.0mm/3.0mm/5.0mm/8.0mm/12.0mm

- **［カラー］**

  ［カラーパレット印刷］で印刷した色見本が示す 0 から 255 のカラーパレット番号から、線の色を選んで設定します。

- **［つなぎ形状］**

  線の端部とつなぎかたを設定します。

  - **［丸処理］**

    線の端部も、つなぎ目も丸処理になります。

  - **［処理なし］**

    線の端部は処理されません。

    つなぎ目はマイター処理になります。

[パレットの初期化]

[パレットの定義]で設定したパレットのペンのパラメーターを初期化します。

初期化すると初期設定値になります。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］→［ペン設定］の順に選ぶと表示されます。

- **[パレット A]**

  [パレット A]のペンのパラメーター設定を初期化します。

- **[パレット B]**

  [パレット B]のペンのパラメーター設定を初期化します。

- **[すべてのパレット]**

  すべてのパレットのペンのパラメーター設定を初期化します。

初期設定値

初期設定値は、[デフォルト]にあらかじめ設定されているものと同じです。

ペン番号	線幅（mm）	色（R、G、B）	つなぎ形状	先端部	結線部
0	0.13	0（255、255、255）	丸	丸	丸
1	0.18	1（0、0、0）	丸	丸	丸
2	0.25	2（255、0、0）	丸	丸	丸
3	0.35	3（0、255、0）	丸	丸	丸
4	0.50	4（255、255、0）	処理無し	処理無し	マイター
5	0.65	5（0、0、255）	処理無し	処理無し	マイター
6	0.70	6（255、0、255）	処理無し	処理無し	マイター
7	0.80	7（0、255、255）	処理無し	処理無し	マイター
8	0.90	8（233、233、233）	処理無し	処理無し	マイター
9	1.0	12（127、127、127）	処理無し	処理無し	マイター
10	1.4	19（255、214、0）	処理無し	処理無し	マイター
11	2.0	27（0、255、214）	処理無し	処理無し	マイター
12	3.0	35（214、0、255）	処理無し	処理無し	マイター
13	5.0	68（205、205、0）	処理無し	処理無し	マイター
14	8.0	100（0、168、168）	処理無し	処理無し	マイター
15	12.0	110（168、0、115）	処理無し	処理無し	マイター

［スムージング］

円弧をより滑らかな曲線で描きます。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。

- **［ソフトウェア］**

  円弧を HP-GL/2 データの設定値で描きます。

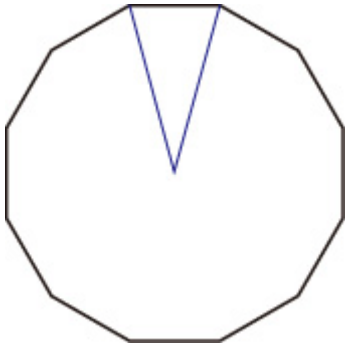
  HP-GL/2 コマンドによる円弧の中心角度指定がない場合、円弧の中心角の初期値は 5°（正 72 角形）です。

- **［スムージング］**

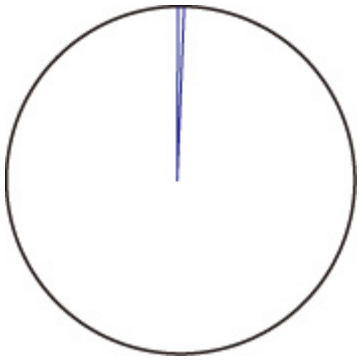
  円弧を中心角 1°のより滑らかな曲線で描きます。

スムージングのイメージ

- ［ソフトウェア］を選んだ場合：



- ［スムージング］を選んだ場合：



［細線強調］

細い線が途切れないように補正します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  細い線を補正しません。

  線の幅によっては、線が途切れる場合があります。

- **［する］**

  印刷時に線幅を 1 ドット分拡大処理を行い、細い線を補正します。

  線の色味は変わりません。

［明細線補正］

明るい色の細い線がよりはっきりと描かれるように色みを補正します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  補正処理を行いません。

- **［する］**

  明るい色の細い線がよりはっきりと描かれるように、色みを補正します。

［線幅の補正］

HP-GL/2 データを印刷するときのペンの幅を補正します。線幅補正量は「黒／グレー」ペンと「カラー」ペンを独立して指定します。

線幅補正量は、HP-GL/2 データの描線コマンドを実行したときのペン色に応じて選び、適用します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。

参考

- ペンの色が白色（RGB 値がすべて 255）のペンに対しては、この設定は適用されません。
- ベクターデータの線幅に適用されます。
- プリンターの最小線幅以下の細い線に対するマイナス側の補正は適用されません。
- 設定値が 1 ドットの大きさを下回る場合は、1 ドット幅の値が適用されます。
- ［細線強調］で［する］を選んでいる場合、設定値よりも線が太くなる場合があります。

- **［黒/グレー］**

  黒およびグレーの線幅に対する補正値を設定します。

  -20～+ 20 の範囲で補正値を設定します。補正値 1 の補正幅は、0.025mm に相当します。

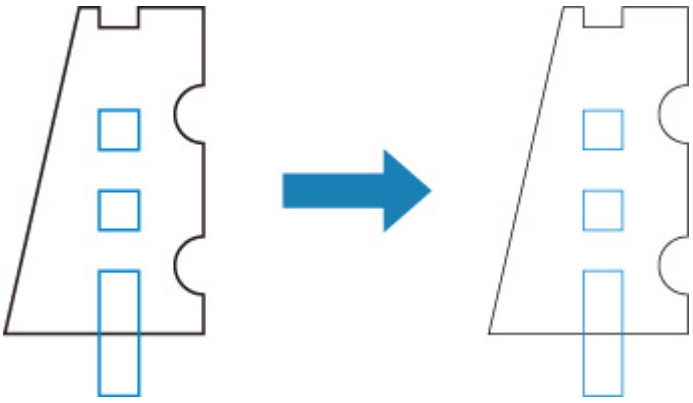
- **［カラー］**

  カラーの線幅に対する補正値を設定します。

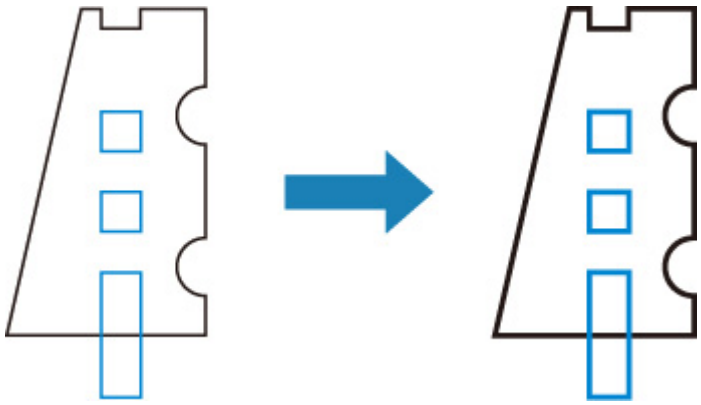
  -20～+ 20 の範囲で補正値を設定します。補正値 1 の補正幅は、0.025mm に相当します。

線幅補正のイメージ

- マイナス方向に値を設定した場合：



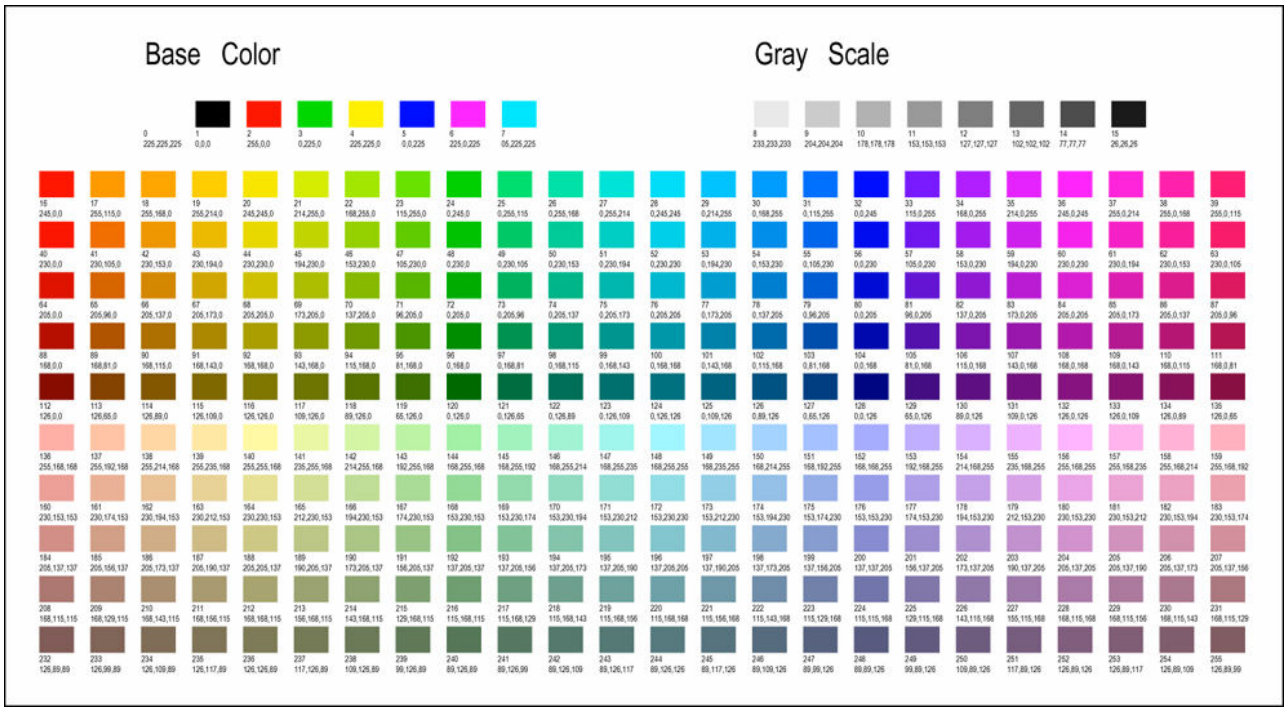
- プラス方向に値を設定した場合：



［カラーパレット印刷］

各ペン番号で指定するカラーパレット番号の色見本（256 色）を印刷します。発色は印刷する用紙の種類によっても変化します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［線/ペンの管理］の順に選ぶと表示されます。



［警告表示］

HP-GL/2 データの警告表示の設定をします。

表示切替の対象となる GL/2 警告は以下の 2 つです。

- 作成された HP-GL/2 データのパラメーター設定が、プリンターが持っているパラメーター設定の仕様に適合していない場合の警告
- 作成された HP-GL/2 データに、プリンターが対応していない HP-GL/2 コマンドの警告

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［処理オプション］の順に選ぶと表示されます。

参考

- 以下のエラーについては、設定に関係なく常に警告を表示します。
  - GL/2 の仮想メモリーが許容範囲を超えた場合
  - GL/2 データのディスプレイリストのメモリーが不足した場合
  - GL/2 データのポリゴン頂点数が許容範囲を超えた場合
- ステータスモニターまたはリモート UI では、設定に関係なく常に警告を表示します。

- **［OFF］**

  タッチスクリーンに特定の GL/2 警告を表示しません。

- **［ON］**

  タッチスクリーンに特定の GL/2 警告を表示します。

［画像サイズの検出］

HP-GL/2 データに作画範囲の情報が含まれていない場合に、画像が欠けることを防ぎ効率的に印刷するため出力対象領域の決定方法を設定します。

この項目は、ホーム画面の［メニュー］から、［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［HP-GL/2 設定］→［処理オプション］の順に選ぶと表示されます。

- **［しない］**

  通常は、この設定で使用してください。

  参考

  - HP-GL/2 データに作画範囲の情報が含まれている場合は、その情報を用いて作画範囲を決定します。

    HP-GL/2 データに作画範囲の情報が含まれていない場合は、横はご使用のプリンターの最大ロール紙幅、縦は最大ロール紙幅の 1.5 倍のサイズが用いられます。

- **［コマンド優先］**

  ［しない］に設定して印刷した結果、画像が欠けたり、白紙で出力されたりした場合は、この設定で使用してください。

  参考

  - HP-GL/2 データに作画範囲の情報が含まれている場合は、その情報を用いて作画範囲を決定します。

    HP-GL/2 データに作画範囲の情報が含まれていない場合は、データ内にある他のコマンドにより指定された値に基づいて、作画範囲を決定します。

    ただし、すべての HP-GL/2 データに対応できるとは限りません。

メニューの組み合わせ

- ［用紙節約］と［自動回転］
- ［拡大/縮小］（倍率指定）と［自動回転］
- ［中央に印刷］と［定型サイズにカット］
- ［定型サイズにカット］と［自動回転］と［拡大/縮小］（用紙フィット）
- ［画像サイズの検出］と［オーバーサイズ］
- ［画像サイズの検出］と［中央に印刷］

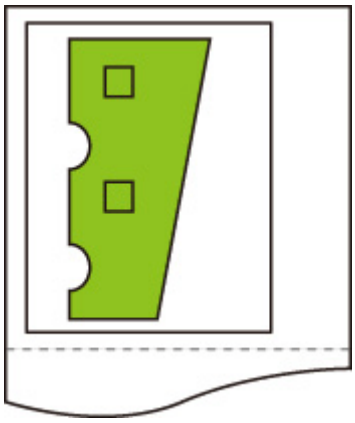
［用紙節約］と［自動回転］

［用紙節約］と［自動回転］が設定されている場合、［自動回転］したあとで［用紙節約］の処理を行います。

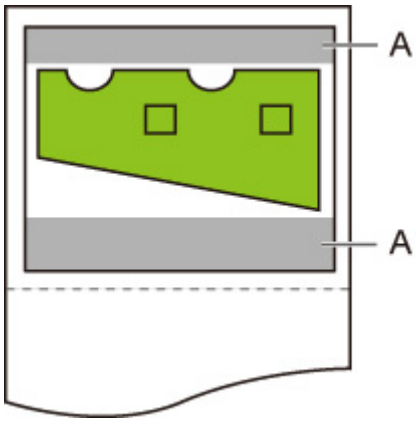
印刷データを［自動回転］したあとの画像に対して上下の空白部を除いて印刷します。

［用紙節約］と［自動回転］のイメージ

印刷データ（作画範囲）

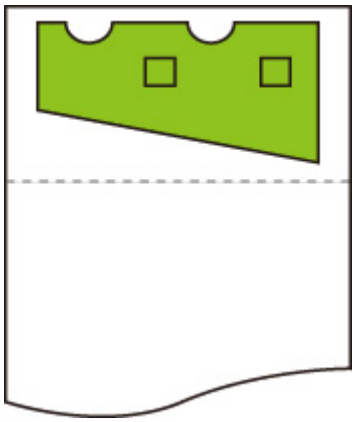


自動回転後のイメージ



A. 空白部

印刷イメージ



上下の空白部を除いて印刷します。

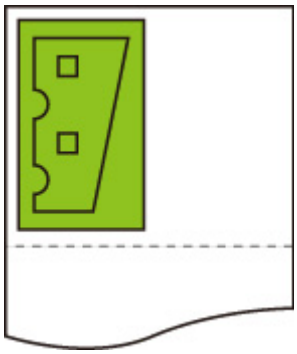
［拡大/縮小］（倍率指定）と［自動回転］

［拡大/縮小］（倍率指定）と［自動回転］が設定されている場合、［拡大/縮小］（倍率指定）したあとで［自動回転］の処理を行い印刷できるかどうかを判定します。

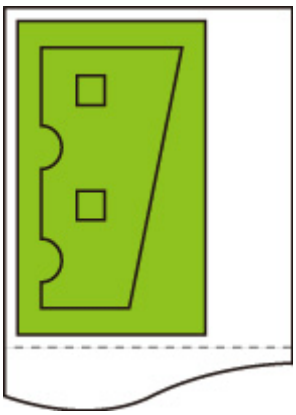
［拡大/縮小］（倍率指定）したあとのサイズを［自動回転］すると用紙からはみ出す場合、自動回転を行わずに印刷します。

［拡大/縮小］（倍率指定）と［自動回転］のイメージ

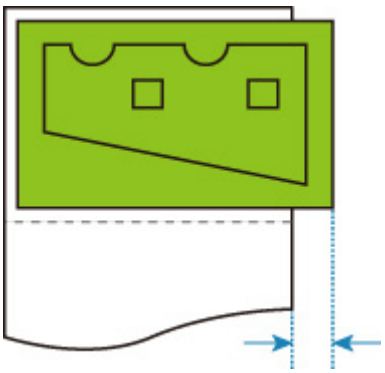
印刷データ（作画範囲）



- ［拡大/縮小］（倍率指定）だけを行った場合の印刷イメージ



- 自動回転を行ったときに画像が用紙からはみ出した場合のイメージ



自動回転は行いません。

［中央に印刷］と［定型サイズにカット］

［中央に印刷］と［定型サイズにカット］が設定されている場合、はじめに HP-GL/2 データとプリンターにセットされているロール紙から最適な定型サイズを決めます。

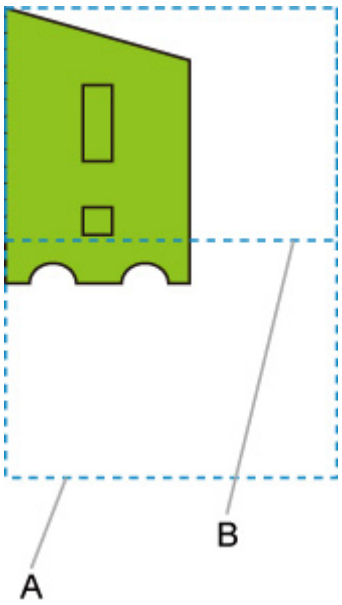
次に定型サイズに合わせて、用紙の中央に印刷します。

［中央に印刷］と［定型サイズにカット］のイメージ

A3 サイズ幅のロール紙がセットされている場合、はじめにロール紙の幅と画像の大きさから、最適な定型サイズが A3 サイズ縦に決まります。

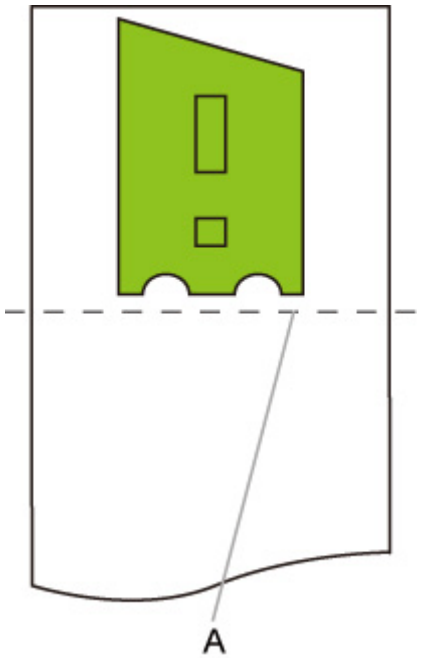
次に A3 サイズ縦に合わせて用紙の中央に印刷します。

印刷データ（作画範囲）



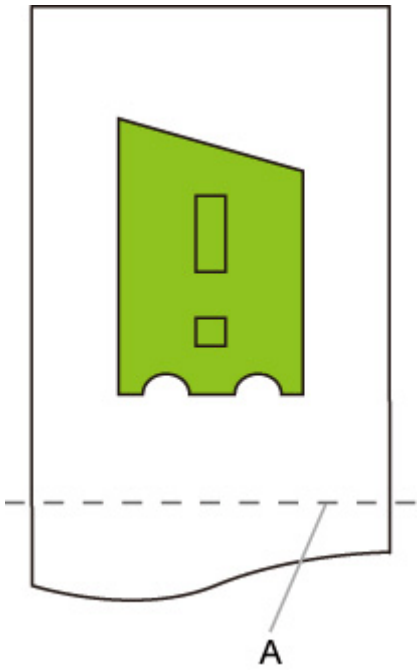
A. A3 サイズ縦仮想エリア
B. A4 サイズ横仮想エリア

- ［中央に印刷］で［する］、［定型サイズにカット］で［しない］を選んだ場合の印刷イメージ



A. カット位置

- ［中央に印刷］で［する］、［定型サイズにカット］で［する］を選んだ場合の印刷イメージ



A. A3 縦サイズカット位置

［定型サイズにカット］と［自動回転］と［拡大/縮小］（用紙フィット）

［定型サイズにカット］、［自動回転］、［拡大/縮小］（用紙フィット）が設定されている場合、はじめにセットされているロール紙から定型カットの全候補サイズ（最大 2 種類）を特定します。

次に、回転前のデータと回転後のデータと全候補サイズを照合した結果から、最適な定型サイズと回転方向を決定します。

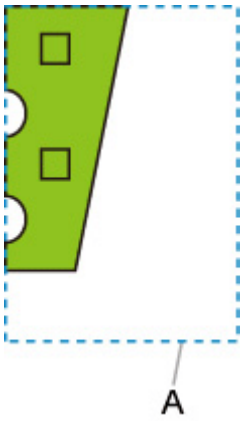
最後に、［自動回転］を適用した後のデータを決定した定型サイズに合わせて、［用紙フィット］の処理を行います。

画像が小さい場合のイメージ

A3 サイズ幅のロール紙がセットされている場合、はじめにロール紙の幅と画像の大きさから、最適な定型サイズが A4 サイズ横に決まります。

次に A4 サイズ横に合わせて自動回転を行い、さらに A4 サイズに合わせて画像を拡大して印刷します。

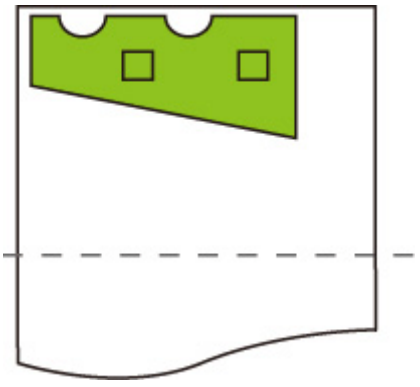
印刷データ（作画範囲）



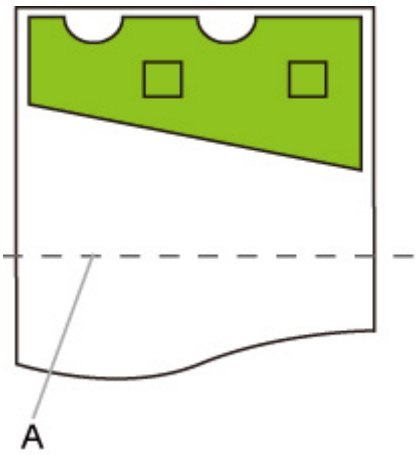
A. A4 サイズ仮想エリア

画像が A4 サイズに収まるので、定型サイズは A4 サイズ横に決まります。

- 自動回転後のイメージ



- 用紙フィット処理後の印刷イメージ



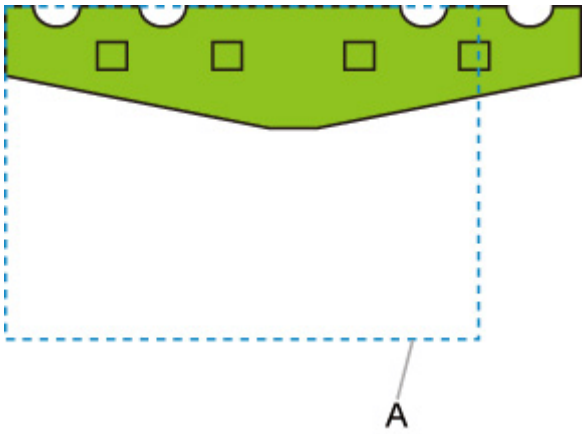
A. A4 サイズカット位置

画像が大きい場合のイメージ

A3 サイズ幅のロール紙がセットされている場合、はじめにロール紙の幅と画像の大きさから、最適な定型サイズが A3 サイズ縦に決まります。

次に A3 サイズ縦に合わせて自動回転を行い、さらに A3 サイズに合わせて画像を縮小して印刷します。

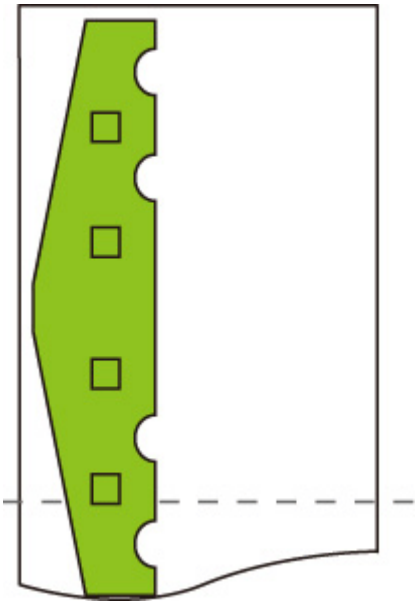
印刷データ（作画範囲）



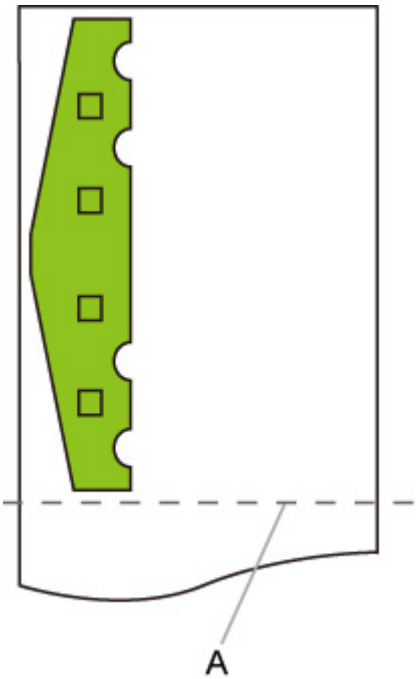
A. A3 サイズ仮想エリア

画像が A3 サイズに収まらないので、定型サイズは最大の A3 サイズ縦に決まります。

- 自動回転後のイメージ



- 縮小処理後の印刷イメージ



A. A3 サイズカット位置

［画像サイズの検出］と［オーバーサイズ］

［画像サイズの検出］と［オーバーサイズ］の設定によって、画像処理や印刷の動作がそれぞれ以下のようになります。

- **［画像サイズの検出］が［しない］または［コマンド優先］で、［オーバーサイズ］が［OFF］の場合：**

  ［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲について、［オーバーサイズ］で［OFF］を選んでいるときの処理を行います。

  作画範囲の内側に余白が付加されるため、レイアウトによっては画像が欠ける可能性があります。

- **［画像サイズの検出］が［しない］または［コマンド優先］で、［オーバーサイズ］が［ON］の場合：**

  ［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲について、［オーバーサイズ］で［ON］を選んでいるときの処理を行います。

  作画範囲の外側に余白が付加されるため、余白によって画像が欠けることはありません。

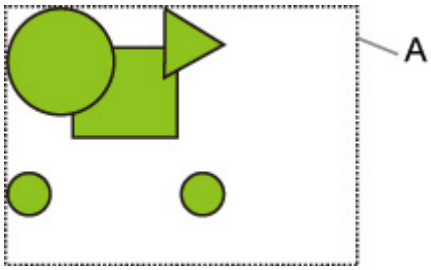
  ただし、［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲に、上下左右 4 辺の余白を足したサイズよりも大きな用紙に印刷してください。

参考

- ただし、すべての HP-GL/2 データについて上記のとおりに対応できるとは限りません。

［画像サイズの検出］と［オーバーサイズ］のイメージ

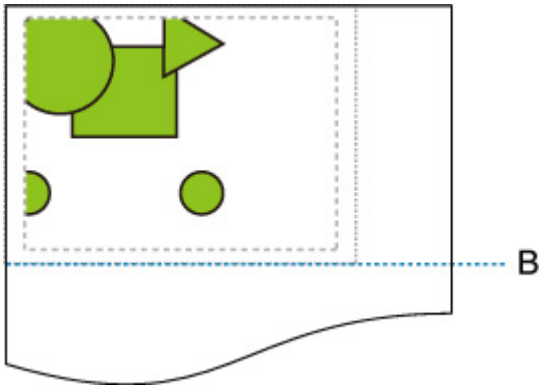
図形が左上に配置され、右と下に余白のあるデータを、コマンドで指定された作画範囲（通常はアプリケーションで指定したサイズ）より大きなロール紙に印刷する場合：



A：［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲

- **［画像サイズの検出］が［しない］または［コマンド優先］で、［オーバーサイズ］が［OFF］の場合：**

  作画範囲の内側に余白が付加されるため、レイアウトによっては、画像が欠ける可能性があります。

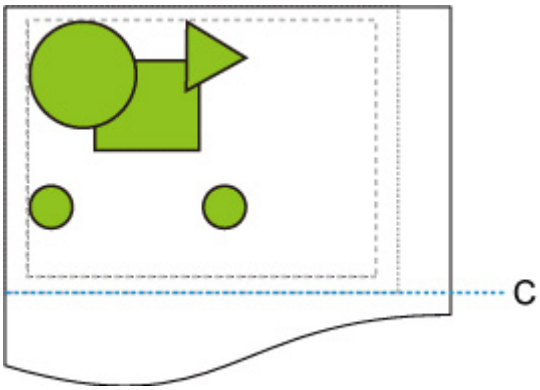


B：カット位置

［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲の長さで、用紙がカットされます。

- **［画像サイズの検出］が［しない］または［コマンド優先］で、［オーバーサイズ］が［ON］の場合：**

  作画範囲の外側に余白が付加されるため、余白によって画像が欠けることはありません。



C：カット位置

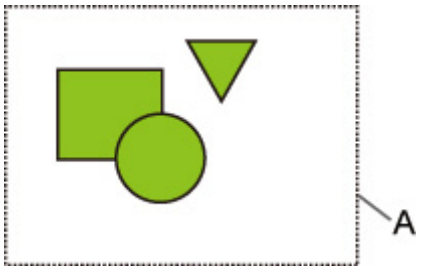
［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲の長さに上下の余白を足した長さで、用紙がカットされます。

［画像サイズの検出］と［中央に印刷］

［中央に印刷］で［する］を選んでいるときは、［画像サイズの検出］の設定によって、画像処理や印刷の動作がそれぞれ以下のようになります。

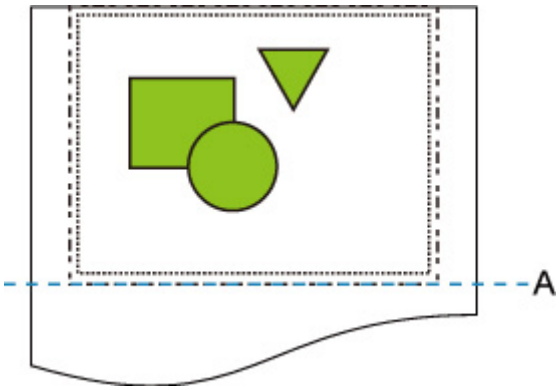
［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲を、用紙の中央に印刷します。

［画像サイズの検出］と［中央に印刷］のイメージ



A：［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲

印刷イメージ



A：カット位置

［画像サイズの検出］の設定に基づいて決定された作画範囲を、ロール紙の幅の中央に印刷します。

ステータスプリントについて

プリンターの状態を示す「ステータスプリント」を印刷できます。

「ステータスプリント」にはファームウェアバージョンやプリンターの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンターの情報が印刷されます。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2.［レポート出力］を選ぶ

3.［リストプリント］を選ぶ

4.［ステータスプリント］を選ぶ

5.［スタート］を選ぶ

印刷が開始されます。

ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する

- **リモート UI を起動する**
- **リモート UI で設定できる項目**
- **リモート UI でホーム画面をカスタマイズする**
- **リモート UI で DNS を設定する**
- **リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する**
- **鍵と証明書を管理／検証する**
  - 鍵と証明書を生成する
  - 鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する
  - 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する
  - 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する
  - 受信した証明書を OCSP で検証する
- **セキュリティーのログを送信する**

リモート UI を起動する

リモート UI とは、Web ブラウザーを使用して、プリンターの稼働状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりする機能です。離れた場所からプリンターの管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

リモート UI は、以下の 2 つのモードに分かれています。ログインしたモードにより、リモート UI でできることが異なります。

- **管理者モード**

  リモート UI のすべての機能を使用できます。

- **一般ユーザーモード**

  使用できる機能が、使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。

重要

- リモート UI を使用する場合は、管理者情報またはリモート UI のパスワードが設定されている必要があります。初めて使用する前に、プリンター本体からいずれかを設定してください。
  - 管理者情報を設定する
  - リモート UI のパスワードを設定する
- リモート UI を使用するときは、プリンターを LAN 接続してください。

リモート UI の起動方法

リモート UI を使用するには、パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、管理者モードまたは一般ユーザーモードでログインします。

参考

- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザーで利用できます。
  - iOS 機器

    ブラウザー：Safari、UC Browser
  - Android 機器

    ブラウザー：Google Chrome、UC Browser
  - macOS 機器

    ブラウザー：Safari、Google Chrome
  - Windows 機器

    ブラウザー：Microsoft Edge、Google Chrome
- ウェブブラウザーの設定で、JavaScript と cookie を有効にしてください。

1. プリンターの IP アドレスを確認する

プリンターの IP アドレスは、［状況確認］→［ネットワーク情報］で確認できます。

- ネットワーク情報

2. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザーを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

ウェブブラウザーの URL 欄で、下記のように入力します。

http://<プリンターの IP アドレス>/

参考

- IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

  入力例：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/

リモート UI のログイン画面が表示されます。



参考

- リモート UI の通信が暗号化されている場合は、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。
- [現在、リモート UI は使用できません。] と表示される場合は、リモート UI を使用しない設定になってないかどうか確認してください。

  ➡ リモート UI 設定

3. ログイン情報を入力する

[管理者モード] または [一般ユーザーモード] を選択し、設定状況に応じて必要な項目を入力します。

- **[管理者モード] の場合：**

  管理者 ID と管理者暗証番号を入力します。

- **[一般ユーザーモード] の場合：**

  リモート UI のパスワードを入力します。

4. [ログイン] を選ぶ

リモート UI のポータル画面が表示されます。

➡ リモート UI で設定できる項目

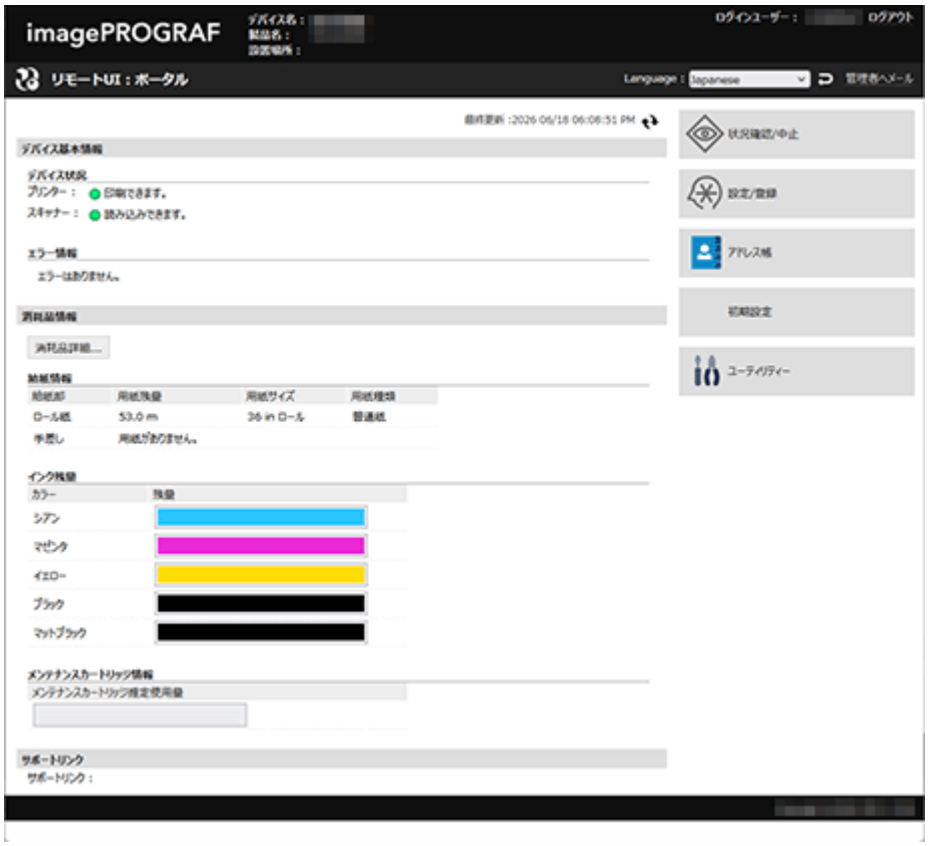
情報の確認や設定変更が終了したら、[ログアウト] を選んでください。

リモート UI で設定できる項目

リモート UI にログインすると、ポータル画面（リモート UI のトップページ）が表示されます。プリンターの稼働状態や各種情報を確認したり、ボタンをクリックして設定を変更したりできます。

参考

- 管理者モードと一般ユーザーモードでは、利用できる項目が異なります。



[デバイス名]

［設定/登録］→［デバイス管理］→［デバイス情報設定］に設定されているデバイス名が表示されます。

[製品名]

プリンターの製品名が表示されます。

[設置場所]

［設定/登録］→［デバイス管理］→［デバイス情報設定］に設定されている設置場所が表示されます。

[ログインユーザー]

ログインしたユーザーの情報が表示されます。

[ログアウト]

リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

[Language]

リモート UI の表示言語を切り替えます。

重要

- パソコンとリモート UI の表示言語は合わせておく必要があります。表示言語が異なると、入力した内容が正しく表示されない場合や、フォルダーやサーバーなどの指定先を参照できない場合があります。

[管理者へメール]

［設定/登録］→［ユーザー管理］→［管理者情報］に設定されている管理者宛にメールを作成します。

[最終更新]

ポータル画面に表示されている情報の更新日時が表示されます。日時の右側にある  をクリックすると、最新の情報に更新されます。

[デバイス基本情報]

プリンターの現在の状況とエラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報画面へのリンクが表示されます。

[消耗品情報]

用紙／インクタンク／メンテナンスカートリッジの情報が表示されます。

［消耗品詳細...］をクリックすると、インクタンクの型番を確認できます。

[サポートリンク]

［設定/登録］→［ライセンス/その他］→［サポートリンク］に設定されている、プリンターのサポート情報へのリンクが表示されます。

[状況確認/中止]

［状況確認/中止］画面が表示されます。各機能の処理状況や使用履歴、プリンターの動作状況やエラー情報などを確認できます。

- プリント状況や履歴を確認する
- コピー状況や履歴を確認する
- スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

参考

- ［状況確認/中止］画面で確認できる状況は、ログインしたモードによって異なります。

  管理者モードでログインした場合は、すべての状況が表示されます。

[設定/登録]

［設定/登録］画面が表示されます。管理者モードでログインしている場合は、すべての設定の変更や、データの保存／読み込みなどの操作ができます。

重要

- ［設定/登録］画面で設定できる項目は、操作パネルの設定メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。
  - プリンターの操作パネルで設定できる項目
  - リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する
  - リモート UI でホーム画面をカスタマイズする
- 項目によっては、設定変更を反映するために、プリンターの再起動が必要です。再起動が必要な場合は、画面の上部に［設定変更は次回主電源 ON 時より有効となります。］が表示されます。
  - プリンターを再起動する

[アドレス帳]

［アドレス帳］画面が表示されます。管理者モードでログインしている場合は、アドレス帳の登録／編集ができます。

- リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する
- アドレス帳にグループを登録する

重要

- ファイルの保存先（共有フォルダー）の宛先は、リモート UI から登録することができます。また、宛先の名称を漢字やひらがなで登録する場合は、リモート UI を使用します。

［初期設定］（管理者モードのみ）

［初期設定］画面が表示されます。スキャン利用の初期設定ができます。

- **［メール送信設定］**

  スキャンした原稿をメールで送信するための設定をします。

  ➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

- **［フォルダー保存設定］**

  スキャンした原稿を、共有フォルダーに保存するための設定をします。

  ➡ リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

［ユーティリティー］

［ユーティリティー］画面が表示されます。プリントヘッドのクリーニングなど、一部のメンテナンス項目が実行できます。

リモート UI でホーム画面をカスタマイズする

パソコンからリモート UI を使用して、ホーム画面のボタンを並べ替えたり、タブの名称を変更したりします。

- ボタンの表示順を変更する
- タブの名称を変更する

重要

- ホーム画面のカスタマイズには、管理者権限が必要です。

ボタンの表示順を変更する

ホーム画面のボタンは、並べ替えたり、別のタブに移動することができます。

参考

- 操作パネルからボタンの配置を変更することもできます。ショートカットボタンを追加する場合は、操作パネルから操作する必要があります。
  - ホーム画面をカスタマイズする

1. リモート UI に管理者モードでログインする

- リモート UI を起動する

2. [設定/登録] を選ぶ

3. [環境設定] の [表示設定] を選ぶ

4. [ホーム画面のボタンの並び替えと表示設定] で、[ボタン表示で編集...] または [リスト表示で編集...] を選ぶ

ボタンをドラッグして表示順を変更する場合は、[ボタン表示で編集...] を選びます。

ボタン名の一覧で表示順を変更する場合は、[リスト表示で編集...] を選びます。

5. ボタンの配置を変更する

ボタンをドラッグして配置を変更する場合：

並べ替えるボタンをドラッグし、配置したい位置で離します。

ボタン名の一覧で配置を変更する場合：

並べ替えるボタン名の  ／  をクリックすると、ボタンが上／下へ移動します。  をクリックすると、ボタンを他のタブへ移動できます。

6. [OK] を選ぶ

設定が反映されます。

タブの名称を変更する

ホーム画面に表示されるタブの名称を変更します。タブの名称は、リモート UI を使用して変更します。

重要

- タブの名称は、操作パネルから変更することができません

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2.［設定/登録］を選ぶ

3.［環境設定］の［表示設定］を選ぶ

4.［ホーム画面のタブ名設定］の［編集...］を選ぶ

5. 名称を変更したいタブにチェックマークを付け、名称を入力する

6.［OK］を選ぶ

設定が反映されます。

リモート UI で DNS を設定する

DNS（Domain Name System）を導入している環境でプリンターを使用する場合は、DNS サーバーの情報や DHCP オプションを設定します。DNS を導入していない場合でも、mDNS（multicast DNS）を設定することで、DNS の機能を使用できます。mDNS は Bonjour などで使用されています。

すべての項目を設定する場合は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。

重要

- DNS の設定には、管理者権限が必要です。設定する項目によっては、プリンターの再起動が必要になります。
- 操作パネルでは、［メニュー］→［環境設定］→［ネットワーク］→［TCP/IP 設定］から設定します。ただし一部の項目は、操作パネルでは設定できません。

  TCP/IP 設定

1. **リモート UI に管理者モードでログインする**

   リモート UI を起動する

2. **［設定/登録］を選ぶ**

3. **［環境設定］の［ネットワーク設定］を選ぶ**

4. **［IPv4 設定］または［IPv6 設定］を選ぶ**

5. **［編集...］を選ぶ**

   ［IPv4 設定の編集］画面または［IPv6 設定の編集］画面が表示されます。

6. **［DHCP オプション設定］で、DHCP オプションの設定をする**

   DHCP オプションを設定しない場合は、次の手順に進みます。

7. **［DNS 設定］で、DNS サーバーの情報を設定する**

   設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

   DNS サーバーの情報を設定しない場合は、次の手順に進みます。

8. **［mDNS 設定］で、mDNS の設定をする**

   mDNS を設定しない場合は、次の手順に進みます。

9. **［OK］を選ぶ**

10. **プリンターを再起動する**

    プリンターを再起動する

    設定が反映されます。

鍵と証明書を管理／検証する

リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化する場合や、IEEE 802.1X の認証方式に TLS を使用する場合は、鍵と証明書が必要になります。 また、通信先によっては、指定された証明書による暗号化通信を要求されることがあり、その場合にも鍵と証明書が必要です。

鍵と証明書の管理

プリンターでは、以下の方法で鍵と証明書を準備できます。

鍵と証明書を自己生成する

TLS で必要となる鍵と証明書を本機で生成します。 自己署名証明書が許可されている通信をすぐに実行することができます。

➡ 鍵と証明書を生成する

自己生成した鍵に認証局で発行された証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）を生成して認証局に申請し、認証局で発行された証明書を登録します。

➡ 鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する

自己生成した鍵に SCEP サーバーから取得した証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、SCEP（Simple Certificate Enrollment Protocol）サーバーに証明書の発行を要求し、SCEP サーバーから取得した証明書を登録します。 証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

➡ 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

鍵と証明書を自己生成せず、発行機関から入手した鍵と証明書や、認証局から発行された CA 証明書を登録します。 通信先や認証レベルに合わせた電子証明書を使用することができます。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

証明書の検証

プリンターが通信相手から証明書を受信したときに、OCSP（Online Certificate Status Protocol）を使用して、証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

➡ 受信した証明書を OCSP で検証する

鍵と証明書を生成する

TLS を使用した暗号化通信に必要な鍵と証明書を本機で生成します。 自己生成した鍵には自己署名証明書が使われます。

鍵と証明書は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。 操作パネルを使用して生成することはできません。管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3. [デバイス管理] → [鍵と証明書設定] → [鍵生成] の順に選ぶ

[鍵生成] 画面が表示されます。

4. [ネットワーク通信用] を選択し、[OK] をクリックする

[ネットワーク通信用の鍵生成] 画面が表示されます。

5. [鍵の設定] で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを [RSA] または [ECDSA] から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。 鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6. [証明書の設定] で、証明書の情報を設定する

[有効期限開始日(YYYY/MM/DD)] ／ [有効期限終了日(YYYY/MM/DD)]
証明書の有効期間の開始日と終了日を入力します。

[国/地域名]
[国/地域名で選択] を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、[インターネット国コードで入力] を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] ／ [市町村] ／ [組織] ／ [組織単位]
必要に応じて、各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]
必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。 「共通名」（CN）または「一般名」に該当します。

7. [OK] をクリックする

8. リモート UI からログアウトする

参考

生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の [登録されている鍵と証明書] で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。

- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。 使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する

本機で生成した証明書には認証局の署名がないため、通信相手によっては通信できないことがあります。 その場合、認証局が発行した署名付きの証明書を鍵に登録することで、自己生成した鍵でも通信できるようになります。

署名付きの証明書を認証局に発行してもらうには、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）のファイルを添付して申請する必要があります。 本機では、鍵の生成と同時に CSR を生成します。

ステップ 1 鍵と CSR を生成する

ステップ 2 認証局から発行された証明書を鍵に登録する

鍵と CSR を生成する

鍵と CSR は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。 操作パネルを使用して生成することはできません。 管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3. ［デバイス管理］→［鍵と証明書設定］→［鍵生成］の順に選ぶ

［鍵生成］画面が表示されます。

4. ［鍵と証明書署名要求(CSR)］を選択し、［OK］をクリックする

［鍵と証明書署名要求(CSR)］画面が表示されます。

5. ［鍵の設定］で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを［RSA］または［ECDSA］から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。 鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6. ［証明書署名要求（CSR）の設定］で、CSR の情報を設定する

［国/地域名］

［国/地域名で選択］を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、［インターネット国コードで入力］を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

［都道府県］／［市町村］／［組織］／［組織単位］

必要に応じて、各項目を半角英数字で入力します。

［共通名］

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。 「共通名」（CN）または「一般名」に該当します。

7. ［OK］をクリックする

［鍵と証明書署名要求（CSR）詳細情報］画面が表示されます。

8. ［ファイルに保存...］をクリックし、CSR のファイルをパソコンに保存する

9. リモート UI からログアウトする

10. CSR のファイルを添付して認証局に申請する

参考

- CSR を生成した時点で、鍵は本機に登録されますが、認証局から発行された証明書を登録するまで使用できません。

認証局から発行された証明書を鍵に登録する

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。 操作パネルを使用して登録することはできません。 管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3. ［デバイス管理］→［鍵と証明書設定］の順に選ぶ

［鍵と証明書設定］画面が表示されます。

4. 証明書を登録する鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックする



［鍵と証明書署名要求（CSR）詳細情報］画面が表示されます。

5. ［証明書の登録...］をクリックする

6. ［ファイルの指定］の［ファイルを選択］をクリックし、認証局から発行された証明書のファイルを指定する

7. ［登録］をクリックする

［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］に表示される証明書のアイコンが、［  ］→［  ］に変わります。

8. リモート UI からログアウトする

参考

生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。 使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

本機で鍵を生成するときに、証明書を管理する SCEP（Simple Certificate Enrollment Protocol）サーバーに証明書の発行を要求することができます。 SCEP サーバーから取得した証明書は、本機に自動的に登録されます。

本機が対応している SCEP は、Windows Server 2008 R2/2012 R2/2016 のネットワークデバイス登録サービス（NDES）です。 HTTPS による通信はサポートしていません。

SCEP サーバーから証明書を取得／登録するには、SCEP サーバーとの通信設定をしてから、鍵の生成と証明書の発行要求を行います。 証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

ステップ 1 SCEP サーバーの通信設定をする

ステップ 2 鍵の生成と証明書の発行要求を行う

ステップ 3 指定した日時に証明書の発行要求を行う

SCEP サーバーの通信設定をする

鍵と CSR は､パソコンからリモート UI を使用して生成します。 操作パネルを使用して生成することはできません。 管理者権限が必要です。

必要な準備

- SCEP サーバーの URL とポート番号を手元に用意します。
- HTTPS による通信はサポートしていません。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3. ［デバイス管理］→［証明書発行要求設定(SCEP)］の順に選ぶ

［証明書発行要求設定(SCEP)］画面が表示されます。

4. ［通信設定］の［編集...］をクリックする

［通信設定の編集］画面が表示されます。

5. SCEP サーバーの情報を設定する

［SCEP サーバーの URL］

接続する SCEP サーバーの URL を入力します。

［ポート番号］

SCEP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

［通信タイムアウト］

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6. ［OK］をクリックする

設定が反映されます。

7. リモート UI からログアウトする

鍵の生成と証明書の発行要求を行う

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。 操作パネルを使用して登録することはできません。 管理者権限が必要です。

証明書を取得したあとは、本機の再起動が必要となります。

参考

- 指定した日時に証明書を発行するように設定している場合は、この方法での証明書の発行要求はできません。

  ➡ 指定した日時に証明書の発行要求を行う

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3. [デバイス管理] → [証明書発行要求設定(SCEP)] → [証明書発行要求] の順に選ぶ

[証明書発行要求] 画面が表示されます。

4. 鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]
鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]
署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]
鍵長をプルダウンメニューから選択します。 数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]
必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]
証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。 「共通名」(CN) または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]
SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先]
生成した鍵の使用先を選択します。 使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。

5. [発行要求] → [OK] の順に選ぶ

証明書の発行要求が SCEP サーバーに送信されます。

6. [証明書を取得しました。[再起動] をクリックして、デバイスを再起動してください。] と表示されたら、[再起動] をクリックする

本機が再起動し、鍵と証明書が登録されます。

7. リモート UI からログアウトする

参考

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- ［証明書発行要求設定(SCEP)］画面で、詳細情報を確認できます。 証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［設定/登録］→［デバイス管理］→［鍵と証明書設定］→［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。 使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

指定した日時に証明書の発行要求を行う

証明書の発行要求を、指定した日時に行います。 定期的に発行要求するように設定することもできます。

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。 操作パネルを使用して登録することはできません。 管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3. ［デバイス管理］→［証明書発行要求設定(SCEP)］の順に選ぶ

［証明書発行要求設定(SCEP)］画面が表示されます。

4. ［証明書自動発行要求設定］の［編集...］をクリックする

［証明書自動発行要求設定の編集］画面が表示されます。

5. ［証明書自動発行要求タイマーを有効にする］にチェックマークを付け、発行要求の開始日と開始時刻を入力する

6. 必要に応じて、自動発行要求時の設定をする

［発行要求時刻を自動調整する］

発行要求時刻を調整したい場合は、チェックマークを付けます。

発行要求開始時刻からランダムに 1 ～ 10 分時刻をずらし、SCEP サーバーの負荷を軽減します。

［通信エラー発生時、または証明書の発行要求を保留時にポーリングを行う］

証明書の発行が保留になっている場合などに、SCEP サーバーの状態を確認します。 チェックマークを付け、ポーリングの回数と間隔を入力します。

以下の場合は、ポーリングは行われず、エラーになります。

- 本機に登録可能な鍵と証明書の上限を超えた場合
- 取得したレスポンスデータにエラーがあった場合
- SCEP サーバー側でエラーが発生した場合

[定期的に発行要求を送信する]

証明書の発行要求を自動で定期的に行います。 チェックマークを付け、発行要求の間隔をプルダウンメニューから選択します。

この設定を有効にした場合、発行要求開始日と開始時刻が再設定されます。

[証明書を取得後、自動的に本体を再起動する]

証明書を取得したあとに本機を再起動させる場合は、チェックマークを付けます。

[古い鍵と証明書を削除する]

鍵の使用先が同一の鍵と証明書を上書きする場合は、チェックをつけます。

7.［発行要求対象の鍵と証明書設定］で、鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。 数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。 「共通名」(CN) または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先]

生成した鍵の使用先を選択します。 使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。

8.［OK］をクリックする

設定が反映されます。

9. リモート UI からログアウトする

参考

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- ［証明書発行要求設定(SCEP)］画面で、詳細情報を確認できます。 証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［設定/登録］→［デバイス管理］→［鍵と証明書設定］→［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。

- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。 使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

電子証明書の発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書のファイルは、本機にインストールして登録することで使用できるようになります。

鍵と証明書／CA 証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。 操作パネルを使用して登録することはできません。 管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で使用できる鍵と証明書／CA 証明書の条件を確認します。
- 鍵と証明書を登録する場合は、ファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを確認します。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3. [デバイス管理] → [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] の順に選ぶ

[鍵と証明書設定] 画面または [CA 証明書設定] 画面が表示されます。

4. [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする

[鍵と証明書の登録] 画面または [CA 証明書登録] 画面が表示されます。

5. 鍵と証明書／CA 証明書のファイルをインストールする

1. [インストール...] をクリックする
2. [ファイルの指定] の [ファイルを選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する
3. [インストール開始] をクリックする

   [鍵と証明書の登録] 画面の [インストールされている鍵と証明書]、または [CA 証明書登録] 画面の [インストールされている CA 証明書] に、インストールしたファイルが追加されます。

6. 鍵と証明書／CA 証明書を登録する

- **鍵と証明書を登録する場合**

1. 登録する鍵と証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックする

   [秘密鍵パスワードの入力] 画面が表示されます。
2. 鍵の名前とパスワードを半角英数字で入力し、[OK] をクリックする

   [鍵と証明書設定] 画面の [登録されている鍵と証明書] に、登録した鍵と証明書が追加されます。

- **CA 証明書を登録する場合**

  登録する CA 証明書ファイルの右側にある [登録] をクリックします。

  [CA 証明書設定] 画面の [登録されている CA 証明書] に、登録した CA 証明書が追加されます。

7. リモート UI からログアウトする

参考

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

登録した CA 証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［CA 証明書設定］画面の［登録されている CA 証明書］で、発行先をクリックすると、CA 証明書の詳細情報を確認できます。
- CA 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、CA 証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書／CA 証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。 使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。
- プリインストールされている CA 証明書は削除できません。 プリインストールされている CA 証明書が不要な場合は、CA 証明書の右側にある［無効］をクリックします。

受信した証明書を OCSP で検証する

OCSP（Online Certificate Status Protocol）とは、認証局が発行した証明書が失効していないかを、OCSP レスポンダー（OCSP に対応したサーバー）に問い合わせるためのプロトコルです。

本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP を使用して証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。 操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3. [デバイス管理] → [証明書失効確認(OCSP)設定] → [編集...] の順に選ぶ

[証明書失効確認(OCSP)設定の編集] 画面が表示されます。

4. [証明書失効確認(OCSP)を使用する] にチェックマークを付ける

5. 検証レベルと OCSP レスポンダーの設定をする

[証明書検証レベル]

OCSP レスポンダーに接続できない場合など、証明書失効確認ができなかったときに、証明書を有効とするかどうかを設定します。

[OCSP レスポンダー設定]

使用する OCSP レスポンダーの URL を選択します。

[任意の URL]

[任意の URL を使用する] または [証明書記載の URL、任意の URL の順に使用する] を選択した場合、OCSP レスポンダーの URL を入力します。

[通信タイムアウト]

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6. [OK] をクリックする

7. リモート UI からログアウトする

セキュリティーのログを送信する

プリンターがどのように使用されているかを確認/分析するために、SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムにログを送信することができます。

➡ SIEM を用いたキヤノン複合機/プリンターログの分析

送信されるログの詳細は、「ログの種類」を参照してください。

ログ送信の設定は、リモート UI からおこないます。

重要

- ログ送信の設定には、管理者権限が必要です。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

➡ リモート UI を起動する

2. [設定/登録] を選ぶ

3. [管理設定] の [デバイス管理] を選ぶ

4. [Syslog 設定] を選ぶ

5. [編集...] を選ぶ

[Syslog 設定の編集] 画面が表示されます。

6. [Syslog 送信を利用する] にチェックマークを付ける

7. [Syslog サーバーのアドレス] に接続する Syslog サーバーのアドレスを入力する

使用する環境に応じて IP アドレスやホスト名などを入力します。

8. 必要に応じて Syslog サーバーへアクセスする設定をする

[Syslog サーバーのポート番号]

Syslog サーバーが Syslog 通信に使用しているポート番号を入力します。空欄の場合は、RFC で規定されているポート番号（UDP：514、TCP：1468、TCP（TLS）：6514）が設定されます。

[ファシリティー]

送信するログメッセージの種類を指定します。RFC で規定されている [LPR]、[Security Messages]、[Log Audit]、[Log Alert]、[Local0] ～ [Local7] から選択します。

[通信タイプ]

[UDP] または [TCP] を選びます。[TCP] を選んだ場合は、TLS の使用の有無や、接続時に送信される TLS サーバー証明書やその CN（Common Name）の検証も指定できます。

9. [OK] を選ぶ

ログの送信が設定され、[Syslog 設定] の画面で送信履歴が確認できるようになります。

参考

- ログは、30 秒ごとのポーリング後に Syslog 送信をおこないます。そのため操作やイベントが発生してから送信されるまでに若干のタイムラグがあります。

ログの種類

以下のログを管理できます。収集したログは SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムに Syslog 送信できます。

ログの種類	「ログの種類」として記載される番号	概要
ユーザー認証ログ	4098	ユーザー認証の認証状況（ログイン／ログアウト、認証成功／失敗）、User Authentication で管理されているユーザー情報の登録／変更／削除に関するログです。
ジョブログ	1001	コピー／スキャン／送信／プリントジョブの完了に関するログです。
送受信ログ	8193	送受信に関するログです。
本体管理ログ	8198	プリンターの起動／終了、設定変更などに関するログです。点検や修理中に、ユーザー情報やセキュリティーに関わる設定が変更された場合も、本体管理ログに記録されます。
ネットワーク認証ログ	8200	IPSec 通信に失敗した場合に記録されるログです。
セキュリティーポリシーログ	8204	セキュリティーポリシーの設定状況に関するログです。
システムメンテナンスログ	8206	ファームウェアのアップデートなどに関するログです。

プリンターの設定を初期化する

設定内容や登録したデータなどを初期化して、プリンターを工場出荷時の状態に戻します。指定した設定やデータのみを初期化する方法と、すべての設定とデータを初期化する方法があります。

特定の設定／データの初期化

以下の項目を個別に初期化することができます。

- 鍵と証明書：鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。
- アドレス帳：アドレス帳に登録されている宛先を消去します。
- 設定メニュー：ホーム画面の［メニュー］にある各項目の設定を初期化します。
- ネットワーク設定：ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。
- 用紙設定：［用紙の詳細設定］で設定した各設定を、購入時の設定に戻します。

➡ 特定の設定／データを初期化する

すべての設定／データの初期化

すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去します。プリンターの交換や廃棄時などは、機密情報の流出や不正使用を防ぐために初期化を実行します。

以下の項目が初期化／削除されます。

- ユーザーモードの設定
- 登録された部門 ID
- 各種履歴情報
- ホーム画面設定
- リソースダウンロード機能でダウンロードされたリソースデータ

※ご利用のモデルによっては、非対応の機能もあります。

➡ すべての設定／データを初期化する

重要

- 設定の初期化には、管理者権限が必要です。初期化する項目によっては、プリンターの再起動が必要となります。

特定の設定／データを初期化する

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

➡ 操作パネルの場合
➡ リモート UI の場合

操作パネルの場合

参考

- ネットワーク設定は、［メニュー］→［環境設定］→［ネットワーク］→［ネットワーク設定の初期化］から初期化することができます。
- 用紙設定は、［用紙関連の設定］→［全用紙の設定情報を初期化］から初期化することができます。

1. **ホーム画面で［メニュー］を選ぶ**

2. **［管理設定］を選ぶ**

   ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

3. **［データ管理］を選ぶ**

4. **［鍵と証明書の初期化］、［アドレス帳の初期化］または［メニューの初期化］を選ぶ**

   ［メニューの初期化］の場合は、続けて初期化する設定項目を選択してください。

5. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ**

   設定情報が初期化されます。初期化する項目によっては、設定を反映するためにプリンターの再起動が必要になります。

   ➡ プリンターを再起動する

リモート UI の場合

重要

- メニューの［管理設定］を初期化した場合は、管理者情報またはリモート UI のパスワードも初期化されます。リモート UI を使用するには、管理者情報またはリモート UI のパスワードを設定しなおす必要があります。

  ➡ 管理者情報を設定する
  ➡ リモート UI のパスワードを設定する

1. **リモート UI に管理者モードでログインする**

   ➡ リモート UI を起動する

2. **［設定/登録］を選ぶ**

3. **［管理設定］の［データ管理］を選ぶ**

4. **［鍵と証明書の初期化］、［アドレス帳の初期化］または［メニューの初期化］を選ぶ**

   ［メニューの初期化］の場合は、続けて初期化する設定項目を選択してください。

5. **［初期化］を選ぶ**

6. **メッセージの内容を確認し、［OK］を選ぶ**

   設定情報が初期化されます。初期化する項目によっては、設定を反映するためにプリンターの再起動が必要になります。

   ➡ プリンターを再起動する

すべての設定／データを初期化する

この操作は、操作パネルから行います。パソコンからリモート UI を使用して初期化することはできません。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2.［管理設定］を選ぶ

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

3.［全データ/設定の初期化］を選ぶ

4. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

5.［はい］を選ぶ

すべての設定情報が初期化されます。初期化が完了すると、プリンターが自動的に再起動します。

プリンターの管理について

管理者を設定する

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。

管理者専用のアカウントを作成することで、上記を知っているユーザーだけが、重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」にログインできるようにします。

- 管理者情報を設定する

リモート UI の使用を管理する

リモート UI の一般ユーザーモードでログインするためのパスワードを設定します。

一般ユーザーモードでは、使用できる機能が、使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。

- リモート UI のパスワードを設定する

管理者情報を設定する

管理者 ID と管理者暗証番号などの管理者情報を設定し、管理者モードでログインすることで、管理者向けの設定項目を閲覧／変更できるようになります。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合

重要

- 初めて管理者情報を設定する際は、操作パネルから設定してください。

参考

- リモート UI から管理者情報を設定すると、メールアドレスなどの情報も設定できます。設定したメールアドレスは、リモート UI のポータル画面で、［管理者へメール］をクリックした場合の宛先となります。

操作パネルの場合

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［管理設定］を選ぶ

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

3. ［ユーザー管理］を選ぶ

4. ［管理者情報の設定］を選ぶ

5. ［管理者 ID と管理者暗証番号］を選ぶ

参考

- 必要に応じて［管理者名］を設定することができます。

6. ［管理者 ID］を設定し、［確定］を選ぶ

重要

- 管理者 ID や管理者暗証番号の設定を解除する場合は、それぞれの入力内容を消去し、空欄の状態で［確定］を選びます。

7. ［管理者暗証番号］を設定し、確定を選ぶ

8. 同じ暗証番号を入力し、確定を選ぶ

リモート UI の場合

重要

- リモート UI で管理者情報を設定するには、リモート UI に管理者モードでログインしている必要があります。

1. リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する

2. [設定/登録] を選ぶ

3. [管理設定] の [ユーザー管理] を選ぶ

4. [管理者情報] を選ぶ

5. [編集...] を選ぶ

6. [管理者 ID] と [管理者暗証番号] を設定し、[OK] を選ぶ

重要

- 管理者 ID や管理者暗証番号の設定を解除する場合は、[ID と暗証番号を設定する] のチェックを外し、[OK] を選びます。

  設定を解除すると、リモート UI からログアウトされます。

リモート UI のパスワードを設定する

リモート UI の一般ユーザーモードでログインするためのパスワードを設定します。

一般ユーザーモードでは、使用できる機能が、使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。

この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

- 操作パネルの場合
- リモート UI の場合

操作パネルの場合

1. **ホーム画面でメニューを選ぶ**
2. **［管理設定］を選ぶ**

   ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。
3. **［リモート UI 設定/ファームウェア更新］を選ぶ**
4. **［リモート UI 設定］を選ぶ**
5. **［パスワードの使用］を選ぶ**
6. **［ON］を選ぶ**
7. **パスワードを入力し、［確定］を選ぶ**
8. **同じパスワードを入力し、［確定］を選ぶ**

リモート UI の場合

1. **リモート UI に管理者モードでログインする**

   - リモート UI を起動する

2. **［設定/登録］を選ぶ**
3. **［管理設定］の［ライセンス/その他］を選ぶ**
4. **［リモート UI 設定］を選ぶ**
5. **［編集...］を選ぶ**
6. **［パスワードを使用する］と［パスワードを設定/変更する］にチェックを入れ、パスワードを設定し、［OK］を選ぶ**

ネットワークの設定

- **プリンターの接続方法**
  - Wi-Fi 接続
  - 無線ダイレクト接続
  - 有線 LAN 接続
  - USB 接続
- **同じ名前のプリンターを検出したときは**
- **プリンターのネットワーク設定情報を印刷する**
- **不正アクセス防止対策について**
- **ネットワークの状態と対処方法**
- **ネットワークについてよくあるご質問**
- **「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認**
- **ネットワーク環境でプリンターを共有する（Windows）**
- **ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）**

プリンターの接続方法

本製品では、4 種類の接続方法をご利用いただけます。

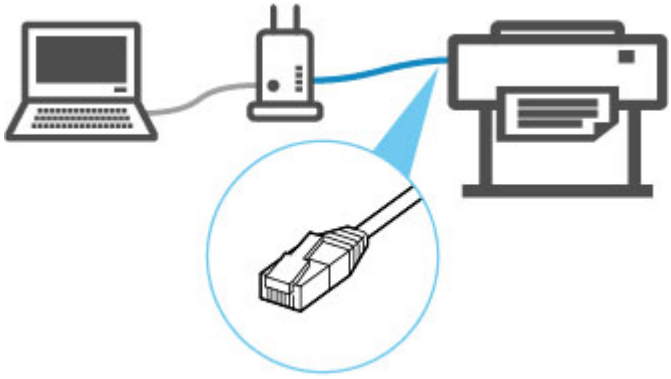
- **Wi-Fi 接続**



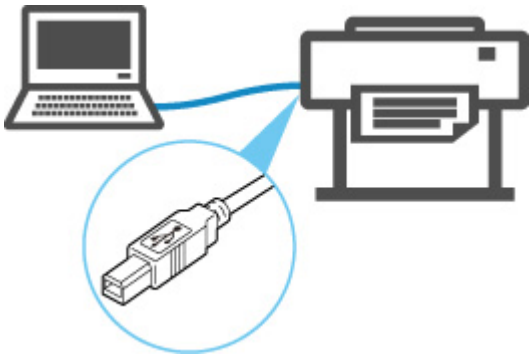
- **無線ダイレクト接続**



- **有線 LAN 接続（LAN ケーブル）**



- **USB 接続（USB ケーブル）**



有線 LAN 接続は、Wi-Fi 接続と同時に使用することはできません。

➡ 制限事項について

重要

- Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、各種機器と Wi-Fi ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。

Wi-Fi 接続

重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。
- 有線 LAN と Wi-Fi を切り替えた場合、すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおす必要があります。

参考

- Wi-Fi 接続時の注意事項については、下記のページを参照してください。

  ➡ Wi-Fi 接続時のご注意
- ［かんたん接続］の画面が表示されている場合は、［中止］を選んでください。

1. 操作パネルのホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。

2. ホーム画面で［メニュー］を選びます。

3.［環境設定］を選びます。

4.［ネットワーク］を選びます。

参考

- ［管理者のログイン］画面が表示される場合は、画面の指示に従って ID と暗証番号を入力してください。

5.［有線 LAN / Wi-Fi 選択］を選びます。

6.［Wi-Fi］を選びます。

7. Wi-Fi の設定方法を選んでください。

かんたん接続

Wi-Fi ルーターを操作せず、パソコンなどの機器から直接プリンターに、Wi-Fi ルーターの情報を設定したい

［かんたん接続］は設定完了までに時間がかかることがあります。設定中はインターネット接続は一時的に利用できなくなります。

［かんたん接続］は Windows 10 in S mode／Windows 11 in S mode では利用できません。別の接続方法を選んでください。

［かんたん接続］に対応したセキュリティー規格で保護されていないアクセスポイントには接続できません。対応しているアクセスポイントを使用するか、［かんたん接続］以外の方法で接続してください。

➡ ネットワーク仕様

プリンターで手動接続

Wi-Fi 設定を手動で行って接続したい

Wi-Fi ルーターに WPS ボタンがある

WPS 設定で接続したい

WPS の PIN コード方式で接続

WPS の PIN コード方式を使用して、Wi-Fi 接続の設定を行うこともできます

かんたん接続

1. **［かんたん接続］を選びます。**

2. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選びます。**

3. **再起動後に「かんたん接続を開始しています」が表示されたら、アプリケーションソフトに戻り、設定を続けてください。**

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

参考

- 無線 LAN（Wi-Fi）接続が完了すると、プリンターが自動的に再起動されます。

プリンターで手動接続

1. ［Wi-Fi 設定］を選びます。

2. メッセージの内容を確認し、［はい］を選びます。

3. 接続したい Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を選びます。

暗号化キー／パスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティー規格が WPA-EAP、WPA2-EAP または WPA3-EAP の無線 LAN ルーターの場合は、［接続には 「IEEE 802.1X 設定」 の設定値が適用されます。］というメッセージが表示されます。［OK］を押し、手順 5 に進みます。

参考

- Wi-Fi ルーターの設定によっては、ネットワーク名（SSID）が表示されない場合があります。接続するには、ネットワーク名（SSID）を直接入力してください。
  ➡ ネットワーク名（SSID）を手動で入力

4. 暗号化キー／パスワードを入力し、［確定］を選びます。

5. ［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を選びます。

［接続できませんでした。］と表示されたら、画面の指示に従って設定を確認してください。

6. 操作パネルのホームボタンを押します。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

ネットワーク名（SSID）を手動で入力

1. ［その他の接続］を選びます。

2. ［ネットワーク名 (SSID) 手動入力］を選びます。

3. Wi-Fi ルーター名（SSID）を大文字／小文字の違いに注意して正しく入力します。

4. 入力後、［確定］を選びます。

5. セキュリティー規格を選択し、認証や暗号化の設定をします。

セキュリティー規格が WPA-EAP、WPA2-EAP または WPA3-EAP の無線 LAN ルーターの場合は、［接続には 「IEEE 802.1X 設定」 の設定値が適用されます。］というメッセージが表示されます。［OK］を押し、手順 8 に進みます。

6. 暗号化キーを大文字／小文字の違いに注意して正しく入力します。

ご使用の Wi-Fi ルーターの暗号化キーがわからない場合は、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

7. 入力後、［確定］を選びます。

8. ［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を選びます。

［接続できませんでした。］と表示されたら、画面の指示に従って設定を確認してください。

9. 操作パネルのホームボタンを押します。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

WPS で接続

1. ［Wi-Fi 設定］を選びます。

2. メッセージの内容を確認し、［はい］を選びます。

3. ［その他の接続］を選びます。

4. ［WPS プッシュボタン方式］を選びます。

5. Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを長押しします。

参考

- WPS ボタンの押しかたについては、ご使用の Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照してください。

6. ［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を選びます。

7. 操作パネルのホームボタンを押します。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

WPS（PIN コード）で接続

1. **［Wi-Fi 設定］を選びます。**
2. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選びます。**
3. **［その他の接続］を選びます。**
4. **［WPS PIN コード方式］を選びます。**
5. **パソコンなどの機器の画面の指示に従って、PIN コードを Wi-Fi ルーターに設定します。**
6. **［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を選びます。**
7. **操作パネルのホームボタンを押します。**

接続が完了すると、画面に  が表示されます。
ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

無線ダイレクト接続

ここでは、プリンターと各種機器を無線で直接接続して印刷できるようにする無線ダイレクトについて説明します。

重要

- 無線ダイレクトに切り替える前に、制限事項を確認してください。

  制限事項について

- すでにプリンターと各種機器を無線で直接接続していて、機器を追加したい場合は、同じ方法（無線ダイレクト）で接続してください。同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。固定の SSID とネットワークキーが設定されていると、最大で 5 台まで同時に接続できます。

無線ダイレクト接続を有効にする

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［環境設定］を選ぶ

3. ［ネットワーク］を選ぶ

参考

- ［管理者のログイン］画面が表示される場合は、画面の指示に従って ID と暗証番号を入力してください。

4. ［ダイレクト接続設定］を選ぶ

5. ［ダイレクト接続を使用］を［ON］にする

6. 必要に応じて、ダイレクト接続機能の設定をする

参考

- 接続を自動的に切断する場合は、［ダイレクト接続の自動切断］にチェックマークを付け、ダイレクト接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。
- 接続用の IP アドレスを変更する場合は、［ダイレクト接続時の IP アドレス］に任意の IP アドレスを入力します。
- 固定の SSID／ネットワークキーを設定する場合や、同時に複数のモバイル機器を接続する場合は、［アクセスポイントモード設定］で、［任意の SSID を使用］／［任意のネットワークキーを使用］を［ON］にし、任意の SSID／ネットワークキーを半角英数字で入力します。初期設定では、ダイレクト接続するたびに、本機の SSID とネットワークキーがランダムな文字列で自動生成されます。
- モバイル機器が常に接続できるようにする場合は、［アクセスポイントモード設定］で固定の SSID とネットワークキーを設定し、［SSID／ネットワークキー固定時常時接続］を［ON］にします。

  – この機能を有効にすると、［ダイレクト接続の自動切断］の設定は無効になります。

ー この機能を有効にしている場合、本機は完全なスリープ状態には移行しません。

7. ［確定］を選ぶ

8. 本体を再起動する

再起動後に、設定が有効になります。

➡ プリンターを再起動する

スマートフォンやタブレットをプリンターに接続する

1. ［ダイレクト接続を使用］が［ON］になっていることを確認する

2. ホーム画面で［モバイルポータル］を選ぶ

3. ［ダイレクト接続］タブで［開始］を選ぶ

4. スマートフォンやタブレットを接続する

手動で Wi-Fi 設定をして接続する場合

画面に表示されている本機の SSID とネットワークキーを確認して、スマートフォンやタブレットの Wi-Fi 設定で、本機の SSID を選択し、ネットワークキーを入力します。

参考

- Wi-Fi の設定方法については、お使いのスマートフォンやタブレットのマニュアルを参照してください。

Canon PRINT アプリで QR コードを読み取って接続する場合

［ダイレクト接続］タブで［QR コード］を選び、スマートフォンやタブレットで Canon PRINT を起動し、表示された QR コードを読み取ります。

5. ［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を選ぶ

［接続できませんでした。］と表示されたら、画面の指示に従って設定を確認してください。

有線 LAN 接続

重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

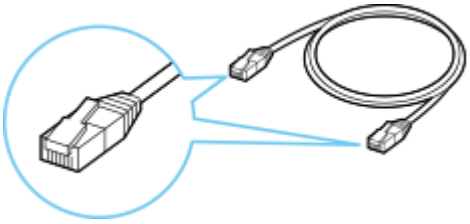
参考

- 有線 LAN 接続時の注意事項については、下記のページを参照してください。

  ➡ 有線 LAN 接続時のご注意

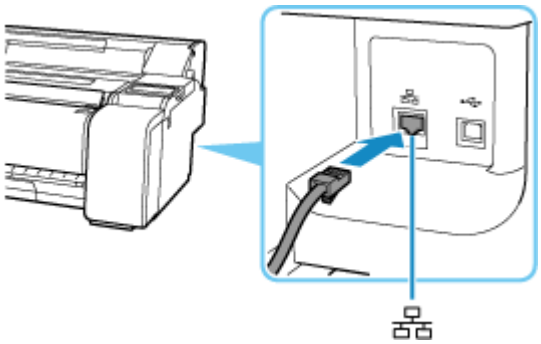
1. 操作パネルのホームボタンを押し、ホーム画面を表示します。

2. 市販の LAN ケーブルを準備します。



3. LAN ケーブルで、プリンターとルーターなどのネットワーク機器を接続します。

ほかのポートに接続しないようにしてください。



4. ホーム画面で［メニュー］を選びます。

5. ［環境設定］を選びます。

6. ［ネットワーク］を選びます。

参考

- ［管理者のログイン］画面が表示される場合は、画面の指示に従って ID と暗証番号を入力してください。

7. ［有線 LAN / Wi-Fi 選択］を選びます。

8. ［有線 LAN］を選びます。

初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。

参考

- IP アドレスは手動でも設定できます。

  ➡ TCP/IP 設定

9. 操作パネルのホームボタンを押します。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

ソフトウェアでセットアップしているときは、ソフトウェアに戻り、インストールを続けてください。

Windows をご使用の場合

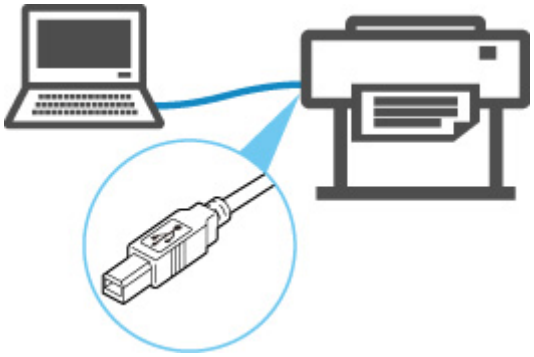
パソコンの画面最下部  にあるタスクバー上の  （または  ）をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

macOS をご使用の場合

パソコンの画面最下部  にある Dock 上の  をクリックして、表示される画面の指示に従って設定を進めてください。

USB 接続

プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。



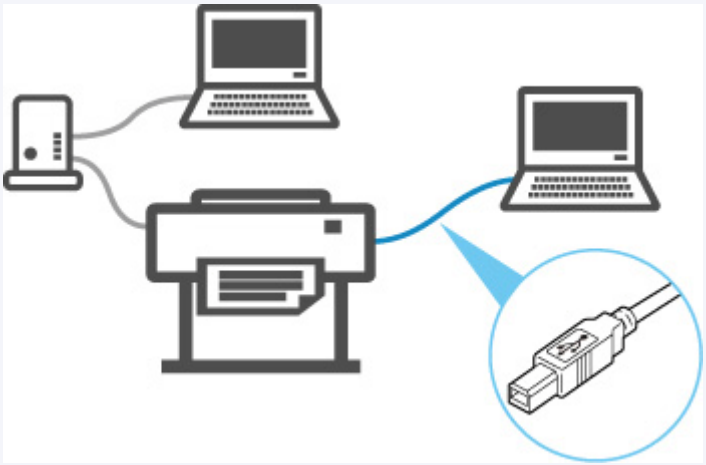
➡ USB ケーブルとは

USB 接続では、プリンターとパソコンが 1 対 1 で接続されます。

パソコンが LAN と接続されている場合、パソコン側でプリンターを共有設定することにより、他の機器からプリンターを使うことができます。

参考

- ルーターと有線 LAN で接続している場合でも、他のパソコンと USB で接続することができます



同じ名前のプリンターを検出したときは

プリンターを検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

プリンターの設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

プリンターに設定されている MAC アドレスやプリンターのシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

プリンターの MAC アドレスは、［Wi-Fi 設定］→［接続設定］→［接続情報］から確認できます。

プリンターのシリアルナンバーは、［状況確認］→［デバイス情報］から確認できます。

プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

プリンターの操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

1. 用紙をセットする

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3.［レポート出力］を選ぶ

4.［リストプリント］を選ぶ

5.［LAN 設定情報印刷］を選ぶ

6. メッセージの内容を確認し、［スタート］を選ぶ

7. メッセージの内容を確認し、［はい］または［いいえ］を選ぶ

印刷されるネットワーク設定情報は、操作パネルまたはリモート UI からも確認できます。

- ネットワーク
- メニューの階層
- リモート UI で設定できる項目

不正アクセス防止対策について

プリンターにおける、外部からの不正アクセス防止対策について説明します。プリンターをネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前にご確認ください。

外部からの不正アクセス防止対策のポイントは次の 4 点です。

- プライベート IP アドレスで運用する
- ファイアーウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する
- プリンターをパスワードで管理する
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する

一部のプリンターでは、プリンター本体に操作のログが記録されます。

- プリンターに記録されたログをダウンロードする

参考

- 記載している設定手順は一例であり、お使いのプリンターとは異なる場合があります。詳しくは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号です。インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」といいます。

プリンターにグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏洩などのリスクも高まります。一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。したがって、プリンターの IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。

プライベート IP アドレスには、次のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンターに設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかをご確認ください。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスの確認のしかた

プリンターの［セットアップ］→［本体設定］→［LAN 設定］からお使いのネットワーク方式を選択し、IP アドレスを確認します。IP アドレスの確認のしかた、および設定のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

参考

- プリンターにグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアーフォール等で外部からのアクセスを防御する環境を設定すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。

ファイアーウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する

ファイアーウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、組織内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。

危険と思われる特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、お使いのネットワークへの不正アクセスを防止できます。

ご家庭でお使いの Wi-Fi ルーターにも、同様の機能が備わっています。設定を変更する場合には、十分注意して行ってください。

プリンターをパスワードで管理する

万が一、悪意のある第三者から不正なアクセスを受けた場合にも、プリンターが持つさまざまな情報をパスワードで保護することで、情報漏洩によるリスクを大幅に軽減できます。

また、プリンターはパスワードによる保護機能を備えていますが、パスワードを管理することがセキュリティ対策において重要です。次のポイントを参考に、パスワードを管理してください。詳しくはお使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

- ご購入時のパスワードから必ず変更する
- 定期的にパスワードを変更する
- 第三者が推測しやすいパスワードを設定しない
- 不用意に第三者に教えない

参考

- プリンターによっては、ご購入時のパスワードは設定されていません。パスワードを設定してください。
- パスワード機能を持たない機種もあります。

リモート UI（User Interface）でのパスワード管理について

リモート UI は、ウェブブラウザーを使ってパソコンからネットワークを経由してプリンターにアクセスするソフトウェアです。プリンターの状態の確認や各種設定など、プリンターの操作パネルと同等の操作を行うことができます。

ウェブブラウザーで本体の IP アドレス、またはホスト名を指定すると、リモート UI のポータルページが表示されます。

リモート UI の起動のしかた、操作のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

重要

- ウェブブラウザーでプリンターのリモート UI を開いているときには、他のウェブサイトにアクセスしないようにしてください。

  また、リモート UI で設定を変更しているパソコンから離席する場合や設定変更が終了した場合は、ウェブブラウザーを必ず終了してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターを使用する場合は、セキュリティレベルの観点から、WPA/WPA2 のご使用をお勧めします。

操作のしかたは、お使いのプリンターのマニュアルをご確認ください。

プリンターに記録されたログをダウンロードする

参考

- お住まいの地域やお使いのプリンターによっては、この機能を使用できません。

一部のプリンターでは、下記の操作を行ったときにログが記録されます。記録されるログはお使いのプリンターによって異なります。

- 管理者パスワードによる認証を行ったとき
- 管理者パスワードを登録、変更、削除したとき
- 時刻に関する設定を変更したとき
- 本体設定のインポート／エクスポートを行ったとき
- すべての設定をリセット（初期化）したとき

以下の手順で、ログをテキストファイル形式でダウンロードすることができます。

1. リモート UI を起動する

2.［本体設定］を選ぶ

3.［管理者認証ログのダウンロード］を選ぶ

4.［はい］を選ぶ

参考

- ログを消去するには、本体設定をすべてリセット（初期化）します。

参考

- 本ウェブページは、機種をまたがる共通ページです。お使いのプリンターの仕様によっては、記載の一部（本体機能や接続方法、操作方法など）が、ご使用のプリンターで該当しないことがあります。

ネットワークの状態と対処方法

ネットワーク設定情報を印刷して、ネットワークの状態を確認してください。

プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

ネットワークの状態	対処方法
正常に接続されています。 それでも印刷ができない場合は、対処方法の 1 を参照してください。	1. 印刷ができない場合は、以下を確認してください。 • パソコンが無線 LAN（Wi-Fi）に接続されているか • パソコンのファイアウォール関連のセキュリティソフトが動作していないか • Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能が有効になっていないか 有効になっている場合は、セットアップを行う前にこれらの機能を無効にしてください。 • プリンターのネットワーク名（SSID）と通信を行うルーターのネットワーク名（SSID）設定が一致しているか 2. 有線 LAN／無線 LAN（Wi-Fi）を切り替えたい場合は、プリンターのネットワーク設定の画面で行ってください。
プリンターの LAN 設定が無効になっている場合	マニュアルに従ってプリンターのセットアップを行ってください。
有線 LAN 接続（LAN ケーブル）が無効になっている場合	• プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。 LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。 • ハブやルーターなどの、ネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
IP アドレスが割り当てられていない場合	• プリンターの IP アドレスを自動で設定している場合は、ルーターの DHCP を有効にしてください。 • プリンターの IP アドレスを手動で設定した場合は、設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。 有効な IP アドレスを設定してください。
デフォルトゲートウェイが設定されていない場合	クラウド系のアプリなどルーターを超えて通信したい場合は以下を確認してください。 • デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか確認してください。 • デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。
指定のネットワークに接続できていない場合	プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。 • 電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 • 電波の状態が悪い可能性があります。 無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。 • Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティーキーと、入力したセキュリティーキーが一致していない可能性があります。 セキュリティーキーは大文字・小文字も区別されます。 セキュリティーキーを正しく入力してください。

電波の状態が悪い可能性がある場合	• プリンターと Wi-Fi ルーターとの距離が離れすぎていないか確認してください。 • 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。
接続しているクライアント数が最大の場合	• 同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。固定の SSID とネットワークキーが設定されていると、最大で 5 台まで同時に接続できます。
信号雑音比（S/N 比）が低い場合	• 他の各種機器の影響で雑音が非常に多くなっています。 プリンターを他の各種機器から離してください。
リンクローカルアドレスが割り当てられている場合	• プリンターのセットアップを再度行ってください。 • Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティーキーと、入力したセキュリティーキーが一致していない可能性があります。 セキュリティーキーは大文字・小文字も区別されます。 セキュリティーキーを正しく入力してください。
ネットワーク名（SSID）が初期値のままの場合	ネットワーク名（SSID）が設定されていません。 接続先のネットワーク名（SSID）を入力してください。

ネットワークについてよくあるご質問

ネットワークに関してよくあるご質問です。

プリンターが見つからない

- ネットワークにプリンターが見つからない
- [プリンターの接続] 画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する
- AirPrint で印刷できない

印刷／接続ができなくなった

- TCP／IP ネットワークで印刷できない
- Bonjour ネットワークで印刷できない
- 突然プリンターと通信できなくなった
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない

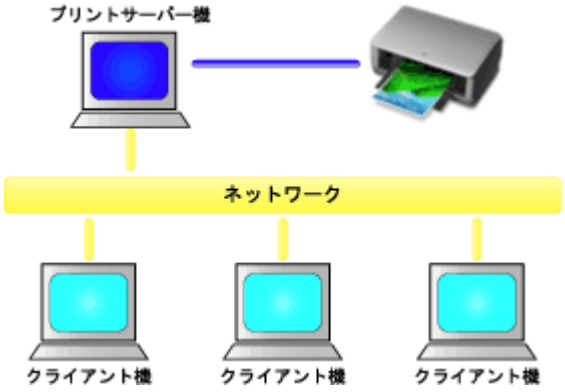
LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- プリンターの接続方法
- ネットワーク
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- ネットワークの状態と対処方法

ネットワーク環境でプリンターを共有する（macOS）

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のパソコンに接続したプリンターをほかのパソコンと共有して使用できます。

プリンター共有の設定を行う前に、[システム設定] から [ネットワーク] を選び、ネットワーク設定が行われていることをご確認ください。



Mac でプリンターを共有する手順を説明します。

- プリントサーバー機での設定

  プリンターと接続するパソコンの設定方法を説明します。
- クライアント機での設定

  ネットワークを経由してプリンターを使用するパソコンの設定方法を説明します。
  印刷を実行すると、データはプリントサーバー機を経由してプリンターに送られます。

関連項目

➡ プリンター共有に関する制限

プリントサーバー機での設定

ネットワーク上でプリンターを使用する場合は、プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。

プリントサーバー機を設定する手順を説明します。

1. プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストールする

2. 使用するプリンター名が追加されていることを確認する

［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選びます。
プリンターリストにパソコンに接続されているプリンターが表示されます。

3. 共有を設定する

プリンターリストからお使いの機種名を選び、［ネットワークでこのプリンタを共有］をオンにします。

参考

- お使いの環境によっては、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。正しくインストールを完了するために、再起動してください。

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次にクライアント機での設定を行ってください。

クライアント機での設定

プリントサーバー機での設定が終わったら、クライアント機での設定を行います。

クライアント機を設定する手順を説明します。

1. クライアント機にプリンタードライバーをインストールする

2. プリンターリストを表示する

［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選びます。
［プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...］をクリックして、プリンターリストを表示します。

3. 共有するプリンターを追加する

プリンターリストに表示される共有プリンターを選んで、［追加］をクリックします。

以上でクライアント機での設定は完了です。

参考

- 印刷の手順は、USB ケーブルで直接プリンターと接続している場合と同じです。
  ページ設定ダイアログで、使用するプリントサーバー機に接続されているプリンターを選んでください。

プリンター共有に関する制限

ネットワーク環境でプリンターを使用する場合の制限事項です。

- プリントサーバー機とクライアント機には、同じバージョンのプリンタードライバーをインストールしてください。最新のプリンタードライバーは、キヤノンのホームページから入手することができます。
- 管理者の権限を持ったユーザーでご使用ください。
- プリンターとの接続方法によっては、パソコンはプリンターで設定されている機能情報を取得できず、正しい設定を表示できない場合があります。
- クライアント機でご使用の場合、プリンタードライバーの用紙情報は更新できません。
- クライアント機でご使用の場合、［アカウンティング］は設定できません。
- クライアント機でご使用の場合、リモート UI は使用できません。

セキュリティを設定／管理する

本プリンターには、さまざまなセキュリティ対策機能が用意されています。これらの機能を利用して、使用環境に適したセキュリティ設定をすることで、より安心してプリンターをお使いいただけます。

セキュリティ設定ナビ

セキュリティ設定ナビは、セキュリティ設定の初心者向けのナビです。セキュリティ設定ナビでは、設問に回答するだけで、お使いの環境におすすめのセキュリティ設定とその設定方法がわかり、半自動設定ができます。

➡ セキュリティ設定ナビ

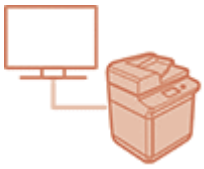


セキュリティ設定ナビ

キヤノンの複合機／プリンターをより安全にお使いいただくために、お使いの環境に適したセキュリティ設定をすることをおすすめします。

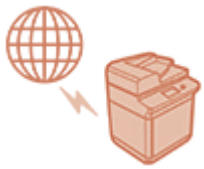
お使いの環境に合った環境タイプを選択してください

おすすめのセキュリティ設定とその設定方法がわかります。



➡ 1 社内イントラネットタイプ

ファイアウォールにより組織的に保護された環境です。



➡ 2 インターネット直結タイプ

利用ユーザーが特定できるインターネット環境です。



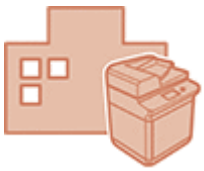
➡ 3 インターネット禁止タイプ

インターネットから隔離された環境です。



➡ 4 在宅タイプ

ホームネットワーク環境です。



➡ 5 公共スペースタイプ

不特定多数の人が利用する環境またはパブリックネットワーク環境です。



➡ 6 高機密情報管理タイプ

セキュリティを最優先する環境です。

環境タイプがわからないときは

最大 4 つの設問に回答するだけで、お使いの環境がどのタイプかがわかります。

設問に回答する ▶

参考

- セキュリティ設定の効果や影響を事前に見ることもできます。
  ➡ セキュリティ設定の効果と影響
- 6 つの環境タイプは、NIST SP 800-70 で定義されている環境に対応しています。
  - 1 社内イントラネットタイプ：マネージド環境
  - 3 インターネット禁止タイプ：レガシー環境
  - 6 高機密情報管理タイプ：セキュリティを優先することによる機能制限環境
  - 上記以外：スタンドアロン環境（スモールオフィス／ホームオフィス）

重要

- 本ガイドは、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種に対応したセキュリティ設定ナビを使用してください。

  セキュリティ設定ナビは、マニュアルポータルサイトのお使いの機種のマニュアルページからご覧ください。

  ➡ https://ij.start.canon/

  セキュリティ設定ナビで案内するセキュリティ設定と設定方法は、お使いの機種により異なります。

入退室管理されていますか？

管理されている　管理されていない

本機の設置場所の入退室が管理されているかどうかを確認します。

ここでは、IC カード認証や生体認証など、個人認証を伴う入退室管理の有無を確認します。記帳や暗証番号の入力など、個人が認証されない入退室管理の場合は「管理されていない」を選択してください。

本機の設置場所の入退室が個人認証により管理されていない場合は、不特定多数の人が本機を使用できる可能性があるため、より堅固なセキュリティ設定が必要です。



本機をインターネット接続環境で使用しますか？

はい　いいえ

インターネットに接続したネットワーク上で本機を使用するかどうかを確認します。

インターネット接続環境で本機を使用する場合は、外部からの不正アクセスのおそれがあるため、より堅固なセキュリティ設定が必要です。



ファイアウォールが設置されていますか？

設置されている　設置されていない

ファイアウォールにより保護されたネットワーク内に本機が設置されているかどうかを確認します。

ネットワークがファイアウォールにより保護されていない場合は、本機をインターネットに直接接続して使用することになります。この場合、外部からの不正アクセスのおそれがあるため、より堅固なセキュリティ設定が必要です。

ファイアウォールの設置状況がわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？

扱う　扱わない

特別に機密性の高い情報を本機で扱うかどうかを確認します。

例えば、行政・金融・医療機関などで下記のような高機密情報を取り扱う場合のみ、「扱う」を選択してください。

- 市民や顧客の個人情報
- 顧客の財務情報
- 患者の医療記録

機密性の高い情報を扱う場合は、外部への漏洩が深刻な損害を与えるおそれがあるため、もっとも堅固なセキュリティ設定が必要です。



おすすめのセキュリティ設定 - 6 高機密情報管理タイプ

攻撃や情報漏えいが発生した時の影響が特に大きい環境には、**高機密情報管理タイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、セキュリティが最優先され、少しでも脅威が想定される機能はすべて制限されます。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化
- LPD または RAW を使用した印刷
- 従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱う

※上記設問以外の回答は任意

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 6 高機密情報管理タイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

安全性を最優先するため、少しでも脅威が想定される機能はすべて制限するようにセキュリティ項目が設定されます。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 認証タイプ	NTLMv2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には SMB 署名を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には暗号化を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 1.0	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 2.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.1	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 参照を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 参照を使用する	OFF

[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンの設定 > WSD スキャンを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > IPP 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > IPP 印刷を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > TLS 使用時のみ許可 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > TLS 使用時のみ許可する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用する	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 上限バージョン	TLS 1.3
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 下限バージョン	TLS 1.2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > 3DES-CBC	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > CHACHA20-POLY1305	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > ECDHE	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > X25519	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > ECDSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA1	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA256	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA384	ON

[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 > SNMPv1 を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポート設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポートの認証方式 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートの認証方式 > 認証方式	モード 2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > Mopria 設定 > Mopria を使用する	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > AirPrint 設定 > AirPrint を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > 常時接続 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 共通 > 印刷動作 > 中断ジョブの自動削除 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 共通設定 > 印刷動作 > 中断したジョブ以降のすべてのジョブを自動削除する	ON
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート > 送信原稿の表示 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート > 送信原稿を表示する	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリント [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > 共通設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリントする	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > ファクス設定 > ファクス番号の確認入力 (誤送信防止) [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 基本設定 > ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)	ON

[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > 共通設定 > 送信前の宛先確認 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > 共通設定 > 送信前に宛先確認画面を表示する	すべて
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 受信/転送 > ファクス設定 > 転送設定 > 転送機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 受信/転送設定 > ファクス受信設定 > 転送設定 > 転送機能を使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴の表示 > ジョブ履歴の表示 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > ジョブ履歴を表示する	OFF
[RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > 管理ソフトからのジョブ履歴取得	許可しない
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモート UI 設定 > リモート UI を使用	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモートオペレーション設定 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > リモートオペレーション設定 > リモートオペレーションを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > モバイル端末からのジョブ実行 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > モバイル端末からのジョブ実行設定 > モバイル端末からのジョブ実行を許可する	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトを使用 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトを有効にする	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトのしきい値 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトのしきい値	5
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウト時間 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト時間	3
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR	ON

[RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	

おすすめのセキュリティ設定 - 1 社内イントラネットタイプ

企業などが管理するイントラネット環境には、**社内イントラネットタイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、ネットワーク通信における情報漏えいやなりすまし、物理的な攻撃への対策をとることができます。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化
- 従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 入退室管理されていますか？
  管理されている
- 本機をインターネット接続環境で使用しますか？
  接続する
- ファイアウォールが設置されていますか？
  設置されている
- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱わない

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 1 社内イントラネットタイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

ファイアウォール経由のインターネット接続における脅威に対応するセキュリティ項目が設定されます。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 認証タイプ	NTLMv2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には SMB 署名を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には暗号化を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 1.0	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 2.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.1	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > TLS 使用時のみ許可 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > TLS 使用時のみ許可する	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 上限バージョン	TLS 1.3
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 下限バージョン	TLS 1.2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > 3DES-CBC	OFF

[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > CHACHA20-POLY1305	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > ECDHE	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > X25519	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > ECDSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA1	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA256	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA384	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > 常時接続 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > ファクス設定 > ファクス番号の確認入力 (誤送信防止) [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 基本設定 > ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)	ON
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF

[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモートオペレーション設定 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > リモートオペレーション設定 > リモートオペレーションを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトを使用 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトを有効にする	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトのしきい値 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトのしきい値	5
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウト時間 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト時間	3
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	ON

本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？

扱う　扱わない

特別に機密性の高い情報を本機で扱うかどうかを確認します。

例えば、行政・金融・医療機関などで下記のような高機密情報を取り扱う場合のみ、「扱う」を選択してください。

- 市民や顧客の個人情報
- 顧客の財務情報
- 患者の医療記録

機密性の高い情報を扱う場合は、外部への漏洩が深刻な損害を与えるおそれがあるため、もっとも堅固なセキュリティ設定が必要です。



おすすめのセキュリティ設定 - 2 インターネット直結タイプ

インターネットに直接接続した環境には、**インターネット直結タイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、情報漏えいやなりすまし、他の機器から接続される機能を利用した不正アクセス、物理的な攻撃への対策をとることができます。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化
- LPD または RAW を使用した印刷
- 従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 入退室管理されていますか？
  管理されている
- 本機をインターネット接続環境で使用しますか？
  接続する
- ファイアウォールが設置されていますか？
  設置されていない
- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱わない

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 2 インターネット直結タイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

インターネットへの直接接続における脅威に対応するセキュリティ項目が設定されます。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 認証タイプ	NTLMv2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には SMB 署名を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には暗号化を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 1.0	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 2.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.1	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 参照を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 参照を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンの設定 > WSD スキャンを使用	OFF

[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンを使用する	
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > IPP 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > IPP 印刷を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > TLS 使用時のみ許可 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > TLS 使用時のみ許可する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用する	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 上限バージョン	TLS 1.3
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 下限バージョン	TLS 1.2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > 3DES-CBC	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > CHACHA20-POLY1305	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > ECDHE	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > X25519	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > ECDSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA1	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA256	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA384	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > SNMP 設定 > SNMPv1 設定	OFF

[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 > SNMPv1 を使用する	
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポート設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポートの認証方式 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートの認証方式 > 認証方式	モード 2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > Mopria 設定 > Mopria を使用する	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > AirPrint 設定 > AirPrint を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > 常時接続 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > ファクス設定 > ファクス番号の確認入力 (誤送信防止) [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 基本設定 > ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)	ON
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴の表示 > ジョブ履歴の表示 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > ジョブ履歴を表示する	OFF
[RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > 管理ソフトからのジョブ履歴取得	許可しない
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモート UI 設定 > リモート UI を使用	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモートオペレーション設定 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > リモートオペレーション設定 > リモートオペレーションを使用する	OFF

[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトを使用 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトを有効にする	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトのしきい値 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトのしきい値	5
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウト時間 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト時間	3
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	ON

本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？

扱う　扱わない

特別に機密性の高い情報を本機で扱うかどうかを確認します。

例えば、行政・金融・医療機関などで下記のような高機密情報を取り扱う場合のみ、「扱う」を選択してください。

- 市民や顧客の個人情報
- 顧客の財務情報
- 患者の医療記録

機密性の高い情報を扱う場合は、外部への漏洩が深刻な損害を与えるおそれがあるため、もっとも堅固なセキュリティ設定が必要です。



おすすめのセキュリティ設定 - 3 インターネット禁止タイプ

インターネットから隔離された環境には、**インターネット禁止タイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、基本的なセキュリティ対策のみがとられます。隔離されたネットワーク内での接続性が優先されるため、従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器の利用などは制限されません。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 入退室管理されていますか？
  管理されている
- 本機をインターネット接続環境で使用しますか？
  接続しない
- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱わない

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 3 インターネット禁止タイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

隔離されたネットワーク内での接続性を最優先します。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	ON

本機を不特定多数の人が使用しますか？

使用する　使用しない

本機を不特定多数の人が使用するかどうかを確認します。

不特定多数の人が本機を使用する場合は、より堅固なセキュリティ設定が必要です。



本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？

扱う　扱わない

特別に機密性の高い情報を本機で扱うかどうかを確認します。

例えば、行政・金融・医療機関などで下記のような高機密情報を取り扱う場合のみ、「扱う」を選択してください。

- 市民や顧客の個人情報
- 顧客の財務情報
- 患者の医療記録

機密性の高い情報を扱う場合は、外部への漏洩が深刻な損害を与えるおそれがあるため、もっとも堅固なセキュリティ設定が必要です。



おすすめのセキュリティ設定 - 5 公共スペースタイプ

不特定多数の人が利用する環境やパブリックネットワーク環境には、**公共スペースタイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、情報漏えいやなりすまし、他の機器から接続される機能を利用した不正アクセスへの対策をとることができます。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化
- LPD または RAW を使用した印刷
- 従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 入退室管理されていますか？
  管理されていない
- 本機を不特定多数の人が使用しますか？
  使用する／使用しない
- ネットワークはプライベートですか？パブリックですか？
  パブリック

  ※「本機を不特定多数の人が使用しますか？」で「使用しない」を選択した場合
- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱わない

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 5 公共スペースタイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

不特定多数の人に不正に情報を取得される脅威に対応するセキュリティ項目が設定されます。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 認証タイプ	NTLMv2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には SMB 署名を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には暗号化を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 1.0	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 2.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.1	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 参照を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 参照を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンの設定 > WSD スキャンを使用	OFF

[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンを使用する	
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > IPP 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > IPP 印刷を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > TLS 使用時のみ許可 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > TLS 使用時のみ許可する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用する	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 上限バージョン	TLS 1.3
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 下限バージョン	TLS 1.2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > 3DES-CBC	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > CHACHA20-POLY1305	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > ECDHE	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > X25519	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > ECDSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA1	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA256	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA384	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > SNMP 設定 > SNMPv1 設定	OFF

[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 > SNMPv1 を使用する	
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポート設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポートの認証方式 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートの認証方式 > 認証方式	モード 2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > Mopria 設定 > Mopria を使用する	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > AirPrint 設定 > AirPrint を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > 常時接続 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 共通 > 印刷動作 > 中断ジョブの自動削除 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 共通設定 > 印刷動作 > 中断したジョブ以降のすべてのジョブを自動削除する	ON
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート > 送信原稿の表示 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート > 送信原稿を表示する	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリント [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > 共通設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリントする	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > ファクス設定 > ファクス番号の確認入力 (誤送信防止) [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 基本設定 > ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)	ON

[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴の表示 > ジョブ履歴の表示 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > ジョブ履歴を表示する	OFF
[RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > 管理ソフトからのジョブ履歴取得	許可しない
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモート UI 設定 > リモート UI を使用	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモートオペレーション設定 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > リモートオペレーション設定 > リモートオペレーションを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトを使用 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトを有効にする	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトのしきい値 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトのしきい値	5
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウト時間 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト時間	3
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	ON

ネットワークはプライベートですか？パブリックですか？

プライベート　パブリック

プライベートネットワーク内に本機が設置されているかどうかを確認します。

本機に設定されている IP アドレスにより判断できます。操作パネルの［状況確認］画面を開いて、表示される IP アドレスが、以下の範囲に該当するかどうかを確認します。

- 10.0.0.0～10.255.255.255
- 172.16.0.0～172.31.255.255
- 192.168.0.0～192.168.255.255

上記の範囲に該当する場合

プライベート IP アドレスが設定されています。この場合、本機はプライベートネットワーク内に設置されています。

上記の範囲に該当しない場合

グローバル IP アドレスが設定されています。この場合、本機はパブリックネットワーク内に設置されています。

本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？

扱う　扱わない

特別に機密性の高い情報を本機で扱うかどうかを確認します。

例えば、行政・金融・医療機関などで下記のような高機密情報を取り扱う場合のみ、「扱う」を選択してください。

- 市民や顧客の個人情報
- 顧客の財務情報
- 患者の医療記録

機密性の高い情報を扱う場合は、外部への漏洩が深刻な損害を与えるおそれがあるため、もっとも堅固なセキュリティ設定が必要です。



おすすめのセキュリティ設定 - 4 在宅タイプ

個人が管理するホームネットワーク（家庭内 LAN）環境には、**在宅タイプ**のセキュリティ設定をおすすめします。

このタイプのセキュリティ設定をすると、情報漏えいやなりすましへの対策をとることができます。

ボタンを押すと、設定の手順を確認できます。

設定方法を見る ▶

影響

セキュリティ設定により、本機の機能が制限される場合があります。

制限される機能の例：

- ファームアップデートの通知設定の無効化
- LPD または RAW を使用した印刷
- 従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続

※セキュリティ設定の効果や影響を他のタイプも含めて見ることができます。

➡ セキュリティ設定の効果と影響

設定内容

設定されるセキュリティ項目については、以下の設定一覧を参照してください。

➡ セキュリティ設定一覧

設問の回答

- 入退室管理されていますか？
  管理されていない
- 本機を不特定多数の人が使用しますか？
  使用しない
- ネットワークはプライベートですか？パブリックですか？
  プライベート
- 本機で特別に機密性の高い情報を扱いますか？
  扱わない

最初のページに戻る

おすすめのセキュリティ設定 - 4 在宅タイプ

この環境タイプで設定されるセキュリティ項目の一覧を掲載しています。

家庭内ネットワークまたは本機の無線アクセスポイント機能に外部から接続される脅威に対応するセキュリティ項目が設定されます。

重要

- 本設定は、本機のセキュリティを完全に保証するものではありません。
- お使いの機種によっては、この設定一覧に載っている項目名がない場合や異なる場合があります。

設定されるセキュリティ項目

下記設定項目に対して設定値が反映されます。

[LUI]：操作パネルの設定項目です。

[RUI]：リモート UI の設定項目です。

設定項目	設定値
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 認証タイプ	NTLMv2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には SMB 署名を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアント設定 > 接続には暗号化を必要とする	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 1.0	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 2.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.0	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > SMB クライアントのバージョン指定 > SMB クライアントのバージョン > 3.1	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WINS 設定 > WINS による名前解決する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > LPD 設定 > LPD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷の設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > RAW 設定 > RAW 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD 印刷の設定 > WSD 参照を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD 参照を使用する	OFF

[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンの設定 > WSD スキャンを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > WSD スキャンを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > IPP 印刷を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > IPP 印刷を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > IPP 印刷の設定 > TLS 使用時のみ許可 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > IPP 印刷設定 > TLS 使用時のみ許可する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > TCP / IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > WSD 設定 > マルチキャスト探索を使用する	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 上限バージョン	TLS 1.3
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > 使用可能なバージョンの指定 > 下限バージョン	TLS 1.2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-CBC (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (256bit)	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > AES-GCM (128bit)	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > 3DES-CBC	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する暗号化アルゴリズム > CHACHA20-POLY1305	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > ECDHE	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する鍵交換アルゴリズム > X25519	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > RSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する署名アルゴリズム > ECDSA	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA1	OFF
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA256	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > TCP/IP 設定 > TLS 設定 > TLS 詳細設定 > アルゴリズム設定 > 使用する HMAC アルゴリズム > SHA384	ON

[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > SNMP 設定 > SNMPv1 設定 > SNMPv1 を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポート設定 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > 専用ポートの認証方式 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > 専用ポート設定 > 専用ポートの認証方式 > 認証方式	モード 2
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > Mopria 設定 > Mopria を使用する	ON
[RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > AirPrint 設定 > AirPrint を使用する	ON
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > ダイレクト接続を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意の SSID を使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > アクセスポイントモード設定 > 任意のネットワークキーを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > ネットワーク > ダイレクト接続設定 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > ネットワーク設定 > ダイレクト接続設定 > 常時接続 > SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する	OFF
[LUI]メニュー > 環境設定 > 外部インターフェイス > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用 [RUI]設定/登録 > 環境設定 > 外部インターフェイス設定 > USB 設定 > USB 外部記憶デバイスを使用する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 共通 > 印刷動作 > 中断ジョブの自動削除 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 共通設定 > 印刷動作 > 中断したジョブ以降のすべてのジョブを自動削除する	ON
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > ファクス送信結果レポート > 送信原稿の表示 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 送信結果レポート > ファクス送信結果レポート > 送信原稿を表示する	OFF
[LUI]メニュー > レポート出力 > 仕様設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリント [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > 共通設定 > 通信管理レポート > 40 通信で自動プリントする	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > 送信 > ファクス設定 > ファクス番号の確認入力 (誤送信防止) [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > 送信設定 > ファクス送信設定 > 基本設定 > ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)	ON

[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > スキャン機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアに保存する	OFF
[LUI]メニュー > ファンクション設定 > ファイル保存/利用 > メモリーメディア設定 > プリント機能を使用 [RUI]設定/登録 > ファンクション設定 > ファイル保存/利用設定 > メモリーメディア設定 >メモリーメディアプリントする	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴の表示 > ジョブ履歴の表示 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > ジョブ履歴を表示する	OFF
[RUI]設定/登録 > 管理設定 > デバイス管理 > ジョブ履歴表示 > 管理ソフトからのジョブ履歴取得	許可しない
[LUI]メニュー > 管理設定 > リモート UI/ファームウェア更新 > リモートオペレーション設定 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > ライセンス/その他 > リモートオペレーション設定 > リモートオペレーションを使用する	OFF
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトを使用 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトを有効にする	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウトのしきい値 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウトのしきい値	5
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証/パスワード設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト設定 > ロックアウト時間 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 認証機能の設定 > ロックアウト時間	3
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 暗号設定 > 弱い暗号の使用を禁止する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > 起動時のシステム検証 > 起動時にシステムを検証する	ON
[LUI]メニュー > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR [RUI]設定/登録 > 管理設定 > セキュリティー設定 > プリンター EDR > プリンター EDR を使用する	ON

おすすめのセキュリティ設定に変更する

使用環境のタイプを確認したら、本機を各タイプおすすめの設定に変更します。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要です。

1. **ホーム画面で［メニュー］を選ぶ**
2. **［管理設定］を選ぶ**
3. **［セキュリティー設定］を選ぶ**
4. **［おすすめセキュリティー設定］を選ぶ**
5. **［環境タイプ選択］を選ぶ**
6. **環境タイプを選択する**
7. **メッセージを確認して［実行］を選ぶ**

   本機が再起動して、選択した環境タイプのセキュリティ設定が反映されます。

重要

- ［おすすめセキュリティー設定］は最新のファームウェアバージョンで使用してください。

参考

変更後に必要な機能が利用できなくなった場合

- 変更を取り消して元に戻すことができます。
  ➡ セキュリティ設定を元に戻す
- 各タイプのセキュリティ設定の詳細や影響については、以下をご確認ください。
  ➡ セキュリティ設定の効果と影響
- 実行結果をプリントして、変更された設定値を確認することもできます。
  ➡ おすすめセキュリティー設定で変更された内容を確認する

セキュリティ設定の効果と影響

各環境タイプのセキュリティ設定に変更することで、それぞれで想定される脅威に対応するための対策をとることができます。これにより、本機の機能が制限される場合があります。

※同じ対策でも、設定されるセキュリティ項目は環境タイプにより異なります。

対策	制限される機能の例	1 社内イントラネットタイプ	2 インターネット直結タイプ	3 インターネット禁止タイプ	4 在宅タイプ	5 公共スペースタイプ	6 高機密情報管理タイプ
基本的な対策	ファームアップデートの通知設定の無効化	✓	✓	✓	✓	✓	✓
印刷手段の制限	LPD または RAW を使用した印刷		✓		✓	✓	✓
暗号化・認証アルゴリズム・プロトコルの設定	従来の暗号・プロトコルを使用した情報機器との接続	✓	✓		✓	✓	✓
機器情報取得／設定手段の制限	リモート UI の利用		✓			✓	✓

設定一覧

設定されるセキュリティ項目の詳細については、以下の設定一覧をご覧ください。

- 1 社内イントラネットタイプ
- 2 インターネット直結タイプ
- 3 インターネット禁止タイプ
- 4 在宅タイプ
- 5 公共スペースタイプ
- 6 高機密情報管理タイプ

セキュリティ設定を元に戻す

本機を各タイプでおすすめのセキュリティ設定に変更したあと、必要な機能が利用できなくなった場合などは、変更を取り消して元に戻すことができます。

[おすすめセキュリティー設定]で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更は維持されません。[おすすめセキュリティー設定]を実行する前の状態に戻ります。

管理者権限が設定されていない、または、管理者権限の認証に成功した時のみ設定を変更することができます。

1. ホーム画面から［メニュー］を選ぶ

2. ［管理設定］を選ぶ

3. ［セキュリティー設定］を選ぶ

4. ［おすすめセキュリティー設定］を選ぶ

5. ［設定を取り消す］を選ぶ

6. メッセージを確認して［はい］を選ぶ

本機が再起動して、おすすめセキュリティ設定が取り消され、変更前の状態に戻ります

おすすめセキュリティ設定で変更された内容を確認する

［おすすめセキュリティー設定］で変更された項目をプリントし、設定前後の値を確認できます。

管理者権限が必要です。

1. ホーム画面から［メニュー］を選ぶ

2.［管理設定］を選ぶ

3.［セキュリティー設定］を選ぶ

4.［おすすめセキュリティー設定］を選ぶ

5.［実行結果プリント］を選ぶ

6. メッセージを確認して［はい］を選ぶ

実行結果がプリントされます。

参考

- レポートには、該当機能の有無や状態にかかわらず、おすすめセキュリティ設定の項目がすべてプリントされます。このため、お使いの機種にない項目もプリントされる場合があります。

  各タイプのセキュリティ設定の詳細や影響については、以下をご確認ください。

  ➡ セキュリティ設定の効果と影響

- 下記の内容がプリントされない場合があります。

  – 変更後の設定値
  – バックアップ実行日時

  この場合は、おすすめセキュリティ設定を再度実行すると正しくプリントされるようになります。

  ➡ おすすめのセキュリティ設定に変更する

メンテナンス

- **画質の調整と改善**
  - ノズルのつまりをチェックする
  - プリントヘッドをクリーニングする
  - 罫線のずれを調整する
  - 縦線のゆがみや色ずれを調整する
  - 色味の違う横スジを調整する
  - 罫線の長さを調整する
  - 用紙のこすれや画像のぼやけを改善する
  - 色の管理
  - 原稿読み取りを調整する
- **消耗品の交換**
  - インクタンクの型番を確認する
  - インクタンクを交換する
  - インク残量を確認する
  - プリントヘッドを交換する
  - メンテナンスカートリッジを交換する
  - メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する
  - カッターブレードを交換する
- **プリンターの清掃**
  - プリンターの外装を清掃する
  - トップカバー内部を清掃する
  - スキャナーユニット内部を清掃する
- **パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）**
  - プリントヘッドをクリーニングする
  - ノズルチェックパターンを印刷する
- **パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）**
  - メンテナンスのためにリモート UI を開く

- プリントヘッドをクリーニングする
- ノズルチェックパターンを印刷する

その他のメンテナンス

- プリンターの輸送の準備をする
- プリンターを再設置する
- ファームウェアをアップデートする

画質の調整と改善

- **ノズルのつまりをチェックする**
- **プリントヘッドをクリーニングする**
- **罫線のずれを調整する**
- **縦線のゆがみや色ずれを調整する**
  - 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
  - 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する
- **色味の違う横スジを調整する**
  - 色味の違う横スジを自動で調整する
  - 色味の違う横スジを手動で調整する
- **罫線の長さを調整する**
- **用紙のこすれや画像のぼやけを改善する**
  - プリントヘッドの高さを変更する
  - 用紙の吸着力を変更する
- **色の管理**
  - 色を管理する
  - カラーキャリブレーションを行う
  - カラーキャリブレーションの調整タイプ
- **原稿読み取りを調整する**
  - 原稿の送り量を変更する
  - 原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する

ノズルのつまりをチェックする

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

重要

- カット紙をお使いの場合、リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。

  印刷中またはメンテナンス中にリリースレバーを操作すると、動作が途中で止まります。

参考

- パソコンからノズルのつまりをチェックすることもできます。
  - ノズルチェックパターンを印刷する（Windows）
  - ノズルチェックパターンを印刷する（macOS）
- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。
  - 自動メンテナンス設定

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

1. 用紙をセットする

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［メンテナンス］を選ぶ

5. ［ノズルチェックパターン印刷］を選ぶ

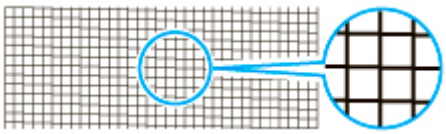
確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

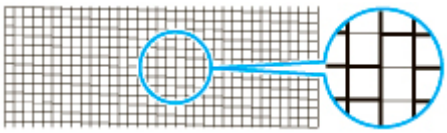
ノズルチェックパターンが印刷されます。

7. 印刷結果を確認する

横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。



横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。



横線がかすれていたり抜けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。

- プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。

参考

- パソコンからプリントヘッドをクリーニングすることもできます。
  - プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
  - プリントヘッドをクリーニングする（macOS）

プリントヘッドをクリーニングする方法には、[クリーニング]、[強力クリーニング]、[システムクリーニング] の 3 つがありますので、症状によりいずれかを実行してください。

- [クリーニング]

  印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。

  所要時間は約 2～3 分です。

- [強力クリーニング]

  インクがまったく出ない場合や、[クリーニング] を実行しても改善されない場合に実行します。

  所要時間は約 3 分です。

- [システムクリーニング]

  [強力クリーニング] を行っても効果がない場合に実行します。[システムクリーニング] は、非常に多くのインクを消耗します。頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ行ってください。

  所要時間は約 4 分です。

重要

- [クリーニング]、[強力クリーニング]、および [システムクリーニング] の実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。

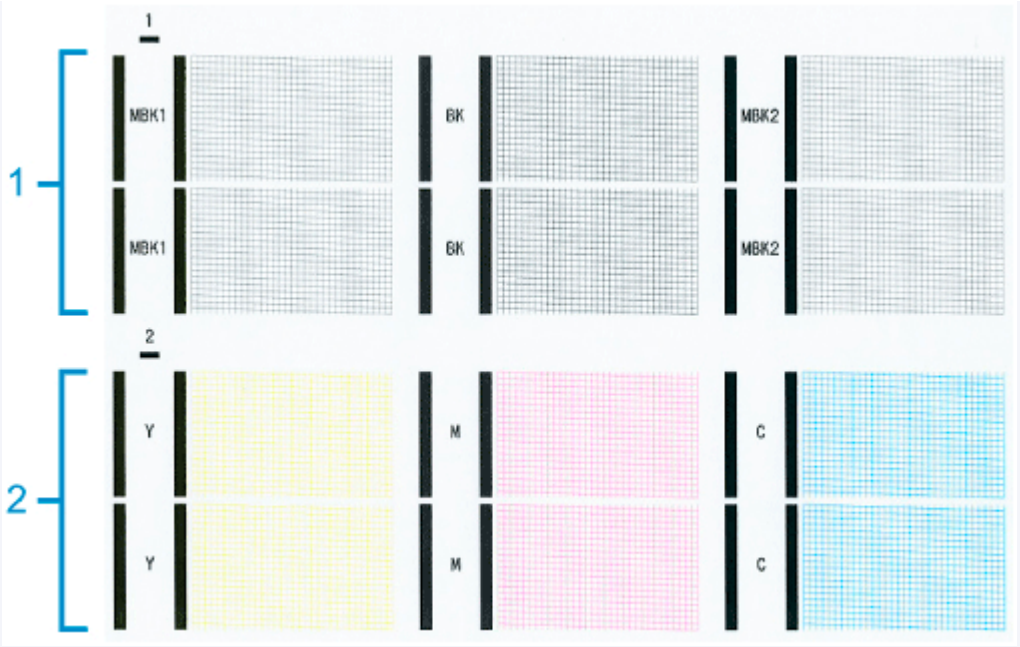
  インクが漏れたり、エラーが発生する可能性があります。

- [システムクリーニング] を実行しても改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- カット紙をお使いの場合、リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。

  印刷中またはメンテナンス中にリリースレバーを操作すると、動作が途中で止まります。

参考

- ノズルチェックパターンを確認し、必要に応じてインクグループを選んでクリーニングを行います。すべてのプリントヘッドをクリーニングするほか、ノズルのつまったプリントヘッドを以下から選んでクリーニングできます。



- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。

  ➡ 自動メンテナンス設定

以下の手順でクリーニングします。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

3. ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［ヘッドクリーニング］を選ぶ

5. ［クリーニング］、［強力クリーニング］、または［システムクリーニング］を選ぶ

6. クリーニングを行うインクグループを選ぶ

- ［全色］
- ［パターン 1］：MBK / BK
- ［パターン 2］：Y / M / C

確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

ヘッドクリーニングが実行されます。

8. ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認する

➡ ノズルのつまりをチェックする

罫線のずれを調整する

印刷物の罫線がずれる場合は、[プリントヘッドの傾き調整]を実行し、プリントヘッドの傾きを調整します。[プリントヘッドの傾き調整]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見てスラント調整レバーで傾きを調整してください。

通常はプリントヘッドを交換したときに行います。

重要

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- カット紙をお使いの場合、リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。

  印刷中またはメンテナンス中にリリースレバーを操作すると、動作が途中で止まります。

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

重要

- プリンターにセットした用紙とプリンターに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

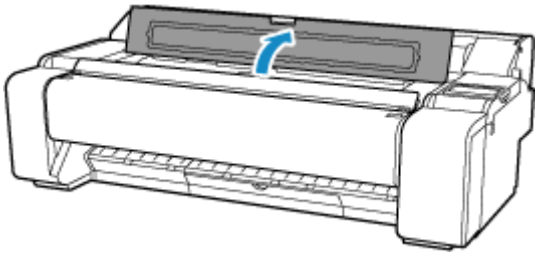
5. ［プリントヘッドの傾き調整］を選ぶ

確認画面が表示されます。

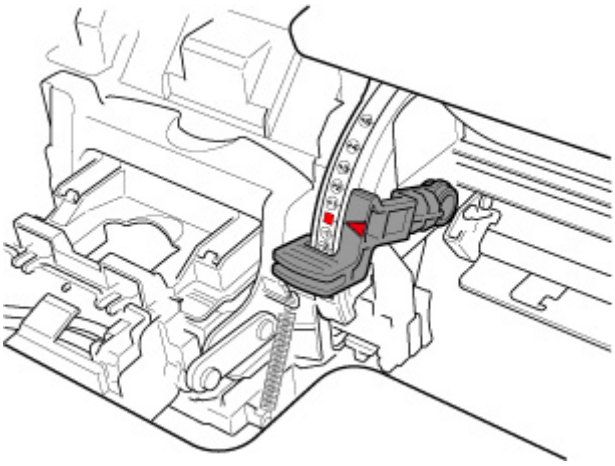
6. ［はい］を選ぶ

キャリッジが移動し、タッチスクリーンにプリントヘッドの傾き調整の手順のガイダンスが表示されます。

7. トップカバーを開く



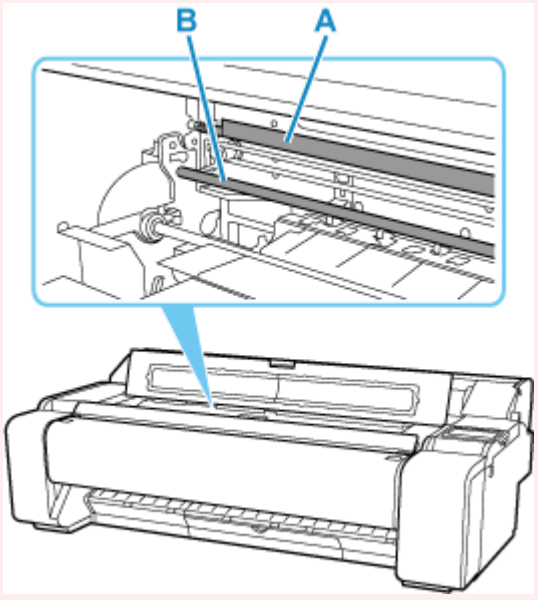
8. スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせ、トップカバーを閉じる



調整用パターンが印刷されます。

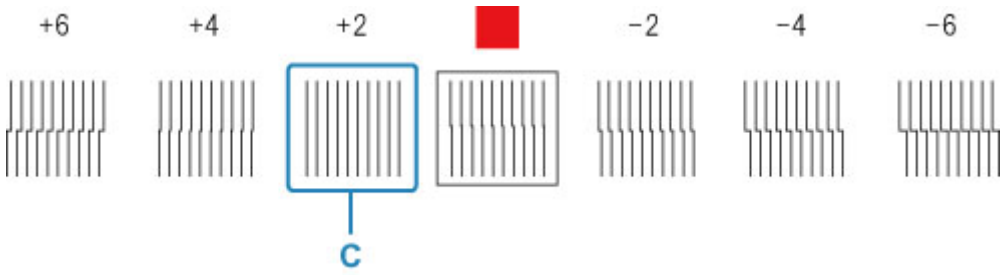
重要

- リニアスケール（A）、キャリッジシャフト（B）には触れないでください。触れると故障の原因になります。

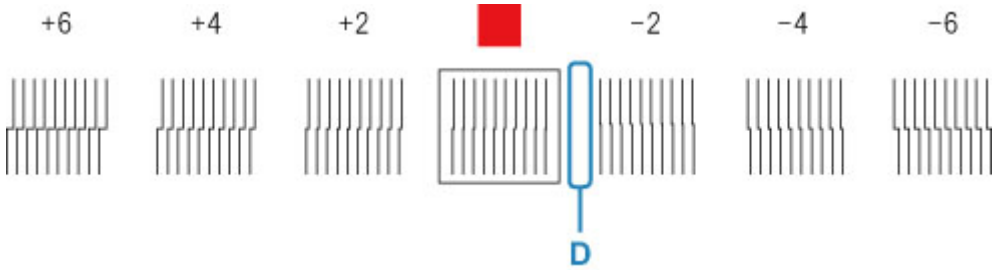


9. 印刷された調整パターンを見て、線がまっすぐのチャートを確認する

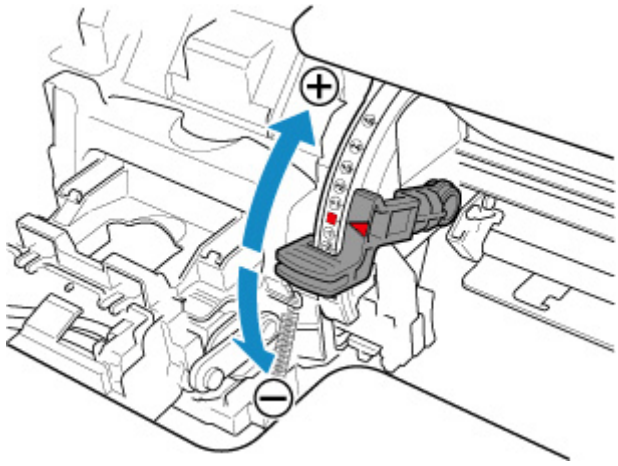
例 1：「+2」のパターン（C）を選びます。



例 2：線のズレが最も少ない 2 つのチャートの数字、または四角の中間（D）にスラント調整レバーを合わせます。この場合、-1 を選択します。

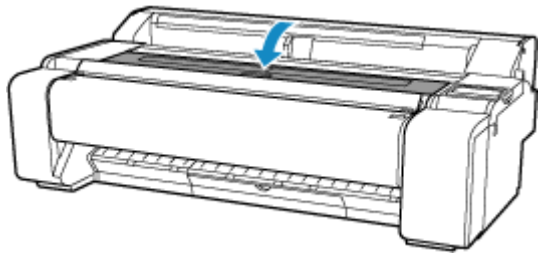


10. トップカバーを開き、線がまっすぐのチャートの数字（または四角）にスラント調整レバーを合わせる



11. トップカバーを閉じる

プリントヘッドの傾きが調整され、調整が終了します。



参考

- 調整を実行しても、罫線のずれや色ムラなどが改善されない場合には、再度［プリントヘッドの傾き調整］を実行し、前回合わせた位置の前後にスラント調整レバーを合わせてください。終了したら、［ヘッド位置調整］を再度実行してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

縦線のゆがみや色ずれを調整する

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する
- 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、［ヘッド位置調整］を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、［自動(標準)］と［自動(詳細)］があります。

微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は［自動(標準)］を実行すると改善されますが、改善されない場合は［自動(詳細)］または[手動]を行ってください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

［自動(標準)］または［自動(詳細)］を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。



重要

- 罫線がずれるなど、症状が著しい場合や［ヘッド位置調整］を実行しても色ムラなどが改善されない場合には、［プリントヘッドの傾き調整］を実行してから［ヘッド位置調整］を再度実行してください。

  ➡ 罫線のずれを調整する
- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- 透過性の高い用紙は使用できません。
- カット紙をお使いの場合、リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。

  印刷中またはメンテナンス中にリリースレバーを操作すると、動作が途中で止まります。

参考

- プリントヘッドを交換したときは、［ヘッド位置調整］の実行をお勧めします。［ヘッド交換後の調整用パターン印刷］が［する］に設定されている場合は、プリントヘッドの交換時に自動的にヘッド位置調整が実行されます。
- 用紙を他の種類に変更したときや各色の境界をよりきれいにしたい場合は、［自動(標準)］を行ってください。
- 画質を鮮明にしたい場合やプリントヘッドを交換したときは、ノズル間や色間の位置を詳細に調整する［自動(詳細)］を行ってください。高画質で印刷するために、［自動(詳細)］を実行することをお勧めします。
- 特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、［手動］を実行してください。

  ➡ 縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

［自動(標準)］：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 3 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚）

［自動(詳細)］：未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 5 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 1 枚）

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

重要

- プリンターにセットした用紙とプリンターに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

5. ［ヘッド位置調整］を選ぶ

6. ［自動(標準)］または［自動(詳細)］を選ぶ

確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

給紙方法を選ぶ画面が表示されます。

8. ［ロール紙］または［手差し］を選ぶ

調整用パターンが印刷されます。

参考

- A2 サイズより小さいカット紙を使用する場合は、1 枚目を印刷した後に印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。この場合は、［はい］を選び、タッチスクリーンの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、［ヘッド位置調整］を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

通常は、［自動(標準)］を実行してください。

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、［自動(詳細)］を実行しても印刷結果が改善されない場合は、［手動］を実行してください。

［手動］を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。



重要

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。
- カット紙をお使いの場合、リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。

  印刷中またはメンテナンス中にリリースレバーを操作すると、動作が途中で止まります。

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 4 枚（ただし、A2 サイズ以上の場合は 2 枚）

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

ロール紙をプリンターにセットする
カット紙をプリンターにセットする

重要

- プリンターにセットした用紙とプリンターに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

5. ［ヘッド位置調整］を選ぶ

6. ［手動］を選ぶ

確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

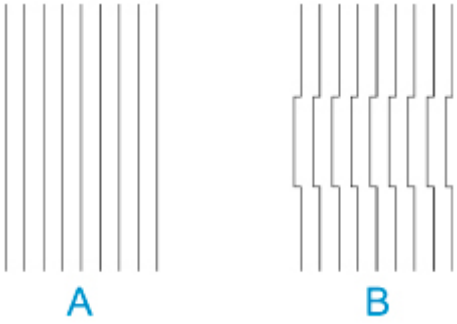
給紙方法を選ぶ画面が表示されます。

8. ［ロール紙］または［手差し］を選ぶ

調整用パターンが印刷されます。

9. ［D-1］を選ぶ

10. 調整用パターンの D-1 を見て、線がまっすぐの番号を選ぶ



A：線がまっすぐな例
B：線がずれている例

参考

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選ぶか迷った場合は、中間の値を選んでください。例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選びます。

11. 手順 9～10 を繰り返し、［D-2］以降を設定する

タッチスクリーンに表示されるすべての項目を設定してください。

12. ［OK］を選ぶ

調整値が登録され、調整が終了します。

色味の違う横スジを調整する

- 色味の違う横スジを自動で調整する
- 色味の違う横スジを手動で調整する

色味の違う横スジを自動で調整する

印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、［画質調整］を実行し、用紙の送り量を調整します。

調整用パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。

重要

- 透過性の高い用紙などは、手動で調整を行ってください。
  - ➡ 色味の違う横スジを手動で調整する

参考

- 用紙種類または用紙サイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず［優先設定］の設定値を確認してください。
  - ➡ 紙送り調整
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、［長さ調整］を実行してください。
  - ➡ 罫線の長さを調整する
- 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

未使用の A4／レターサイズ以上の用紙 1 枚

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

- ➡ ロール紙をプリンターにセットする
- ➡ カット紙をプリンターにセットする

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

5. ［紙送り調整］を選ぶ

6. ［画質調整］を選ぶ

確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

8. ［自動］を選ぶ

9. 調整したい用紙を選ぶ

調整用パターンが印刷され、調整が終了します。

色味の違う横スジを手動で調整する

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、［画質調整］を実行し、用紙の送り量を調整します。

透過性の高い用紙など、自動で調整できない用紙に対して実行します。

手動で調整すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに設定値を入力してください。

参考

- 用紙種類または用紙サイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず［優先設定］の設定値を確認してください。

  紙送り調整
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、［長さ調整］を実行してください。

  罫線の長さを調整する

用意するもの

ロール紙を使用する場合

未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

未使用の A4／レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

ロール紙をプリンターにセットする
カット紙をプリンターにセットする

重要

- プリンターにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

5. ［紙送り調整］を選ぶ

6. ［画質調整］を選ぶ

確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

8. ［手動］を選ぶ

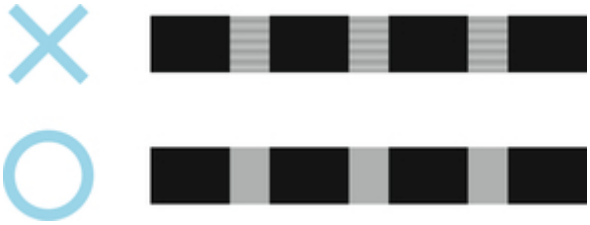
9. 調整したい用紙を選ぶ

調整用パターン A が印刷されます。

参考

- カット紙に印刷した場合は、画面の指示に従ってカット紙を取り外してください。

10. 調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認する



参考

- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

11. 確認した番号を選ぶ

調整用パターン B が印刷されます。

参考

- 調整用パターン A をカット紙に印刷した場合は、画面の指示に従って同じ種類のカット紙を取り付けてください。また、調整用パターン B の印刷後は、画面の指示に従ってカット紙を取り外してください。

12. 調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認する

13. 確認した番号を選ぶ

調整値が登録され、調整が終了します。

罫線の長さを調整する

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、［長さ調整］を実行し、用紙の送り量を調整します。

［長さ調整］には［調整用パターン印刷］と［調整値の変更］があります。

参考

- 用紙種類または用紙サイズを変更した場合は、調整を行うことをお勧めします。
- 調整を行う前に、必ず［優先設定］の設定値を確認してください。

  紙送り調整

用意するもの

ロール紙を使用する場合

- 未使用の 254.0 mm（10.00 in.）幅以上の用紙
- 精度の高いものさし

カット紙を使用する場合

- 未使用の A4／レターサイズ以上の用紙 1 枚
- 精度の高いものさし

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットする

ロール紙をプリンターにセットする
カット紙をプリンターにセットする

重要

- プリンターにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［画質調整］を選ぶ

5. ［紙送り調整］を選ぶ

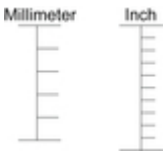
6. ［長さ調整］を選ぶ

7. ［調整用パターン印刷］または［調整値の変更］を選ぶ

- ［調整用パターン印刷］を選んだ場合：

  用紙種別を選ぶと調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに誤差を測定します。

  「Millimeter」には 50mm 間隔、「Inch」には 1inch 間隔のスケールが印刷されます。



- ［調整値の変更］を選んだ場合：

  調整用パターンが印刷されませんので、あらかじめ印刷物を測定し、誤差を測定しておいてください。

8. 誤差の数値を選ぶ

スケールが実際の長さより短かった場合は+側に、長かった場合は-側に設定します。設定値は、0.02%ごとに変更できます。

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する

- プリントヘッドの高さを変更する
- 用紙の吸着力を変更する

プリントヘッドの高さを変更する

プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。

プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。

また、プリントヘッドの高さを高めに設定すると、印刷品質が低下しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることを防止します。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

参考

- プリントヘッドの高さは、症状に応じて設定してください。
  - プリントヘッドが用紙にこすれる
  - 用紙の端が汚れる
  - 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

1. ステータス画面で、用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定]を選ぶ

3. [用紙の詳細設定]を選ぶ

4. [紙の厚さ(ヘッドの高さ)]を選ぶ

5. [手動]を選ぶ

6. スライダーをドラッグして紙の厚さ（ヘッドの高さ）を設定し、[確定]を選ぶ

参考

- [自動]に設定した場合、印刷時のプリントヘッドの高さは、使用環境の温度や湿度に応じて最適な高さに自動的に調整されます。前回印刷時の設定値は、[自動設定時の実行値]で確認できます。
  - デバイス情報
- [手動]に設定した場合は、ここで選んだ設定値で印刷されます。

- 用紙の種類によっては、選ぶことのできない設定値があります。

用紙の吸着力を変更する

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

1. ステータス画面で、用紙設定表示部を選ぶ



2. [用紙設定]を選ぶ

3. [用紙の詳細設定]を選ぶ

4. [搬送部の吸着力]を選ぶ

5. 吸着力の強さを選ぶ

色の管理

- 色を管理する
- カラーキャリブレーションを行う
- カラーキャリブレーションの調整タイプ

色を管理する

色の管理（カラーキャリブレーション）とは、プリンターの個体差や経時変化でばらつく色味を補正したり、補正した色味を継続的に安定させたりすることです。

本製品は、カラーキャリブレーションを実行することで色味を補正できます。

プリンターが複数台ある場合は、それぞれのプリンターでカラーキャリブレーションを実行することで、複数台のプリンターの色味をそろえることができます。

カラーキャリブレーションの実行

カラーキャリブレーションを行うと、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正できます。

操作パネルではカラーキャリブレーションの調整値の有効/無効の切り替えや、キャリブレーション適用状況の確認、カラーキャリブレーションの実行時期をメッセージで通知する機能の設定などが行えます。

カラーキャリブレーションは、Device Management Console（デバイス・マネージメント・コンソール）から実行することもできます。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

カラーキャリブレーションの実行推奨度を確認する

カラーキャリブレーションを実行したほうがよいかどうかをパソコン画面のプログレスバーで確認できます。

実行推奨度の確認には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

カラーキャリブレーションの実行履歴を確認する

用紙の種類ごとに、カラーキャリブレーションを行った用紙の名前と日時を確認できます。

実行履歴の確認には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

複数のプリンターを集中管理する

ネットワークや USB で接続された複数のプリンターの状態を確認できます。

また、プリンターに警告やエラーが発生したことを、メールで通知することもできます。

プリンターの管理には、Device Management Console を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Device Management Console ガイド

キヤノン純正紙以外の用紙を使用する

キヤノン純正紙以外の用紙でカラーキャリブレーションを実行するときは、専用の用紙情報を作成して登録する必要があります。

この用紙情報の登録には、Media Configuration Tool（メディア・コンフィグレーション・ツール）を使用します。

詳しくは以下を参照してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

カラーキャリブレーションを行う

カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正する機能です。

カラーキャリブレーションを実行すると、プリンターに内蔵されている調整用パターンが印刷され、プリンターにより調整用パターンが自動的に読み取られます。

この動作により、調整用パターンの印刷結果を反映したキャリブレーション調整値が設定されます。

重要

- カラーキャリブレーションを実行するときは、色安定精度をより高めるために、温度を 15～30℃（59～86°F）の範囲内、湿度を 40～60%の範囲内とし、温湿度環境を毎回一定に揃えてください。

  異なる温湿度環境でカラーキャリブレーションを実行すると、正しく調整されないことがあります。
- カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンターに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。

  プリンターに強い光が当たると、正しく調整されないことがあります。

カラーキャリブレーションの実行時期

以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。

- 初期設置時
- プリントヘッドを交換したとき
- 以前と比べて色味の変化を感じたとき（ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください）
- 複数のプリンターから色味を揃えて印刷したいとき
- 実行案内が表示されたとき

カラーキャリブレーションを実行する

カラーキャリブレーションに使用できる用紙のサイズ

ロール紙を使用する場合

254.0 mm (10.00 in.) 幅以上の用紙

カット紙を使用する場合

A4/レターサイズ以上の用紙

以下の手順でカラーキャリブレーションを実行します。

1. セットする用紙が、カラーキャリブレーションに使用できるか確認する

➡ 用紙情報一覧

2. 用紙をセットする

➡ ロール紙をプリンターにセットする
➡ カット紙をプリンターにセットする

3. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

4.［調整/メンテナンス］を選ぶ

5.［画質調整］を選ぶ

6.［カラーキャリブレーション］を選ぶ

7.［自動調整］を選ぶ

確認画面が表示されます。

参考

- ［自動調整］以外のメニュー項目については、「そのほかのメニュー項目」を参照してください。

8.［はい］を選ぶ

給紙口の設定画面が表示されます。

9.［ロール紙］または［手差し］を選ぶ

用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーションが実行され、キャリブレーション調整値が自動的に設定されます。

そのほかのメニュー項目

- ［調整値の有効/無効］

  印刷時にキャリブレーション調整値を適用するかどうかを選択できます。

  ただし、プリンタードライバーの［キャリブレーション調整値］の設定と異なる場合は、プリンタードライバーの設定が優先されます。

- ［調整情報］

  現在適用されているキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類を確認できます。

- ［実行案内設定］

  以下の場合に、タッチスクリーンにカラーキャリブレーションの実行を促すメッセージを表示するかどうかを選択できます。

  - 新しいプリントヘッドが装着されたとき
  - カラーキャリブレーションを実行してから、一定量の印刷が実行されたとき
  - カラーキャリブレーションのデータが初期化されたとき

- ［調整の初期化］

  カラーキャリブレーションの調整値と調整情報がクリアされます。

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションの調整タイプ

カラーキャリブレーションでは用紙の種類ごとに色味を調整できます。

調整方法には用紙共通キャリブレーションと用紙個別キャリブレーションの２つのタイプがあり、用紙の種類ごとにタイプが決められています。

各用紙のカラーキャリブレーション実行の可否と調整タイプについては、「用紙情報一覧」を参照してください。

調整タイプの特長

用紙共通キャリブレーション

調整タイプが用紙共通キャリブレーションの用紙を使用してカラーキャリブレーションを実行すると、まだ調整を行っていないそのほかの用紙の色も調整されます。

用紙の種類ごとにカラーキャリブレーションを実行する必要がないので、短時間で容易に複数の用紙種類を運用できます。

- 調整タイプが用紙共通キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを実行すると、新しい用紙共通キャリブレーション調整値が設定されます。
  - これまでキャリブレーションを実行していない用紙種類にも、新しい用紙共通キャリブレーション調整値が適用されます。
  - 一度でもキャリブレーションを実行した用紙種類には、新しい用紙共通キャリブレーション調整値は上書きされません。既に設定されているキャリブレーション調整値が優先されます。

用紙共通キャリブレーション調整値はすべての印刷品位に適用されます。

参考

- 用紙共通キャリブレーションを複数の用紙種類で実行すると、用紙種類によって異なるキャリブレーション調整値が適用されます。用紙共通キャリブレーションに使用する用紙種類は１種類に限定することをおすすめします。

用紙個別キャリブレーション

調整タイプが用紙個別キャリブレーションの用紙を調整すると、その用紙の色だけが調整されます。その他の用紙の色味には影響を及ぼしません。

- 調整タイプが用紙個別キャリブレーションの用紙でカラーキャリブレーションを実行すると、その用紙専用の新しい用紙個別キャリブレーション調整値が設定されます。

参考

- カラーキャリブレーションを実行していない場合、新しく設定された用紙共通キャリブレーション調整値が適用されます。

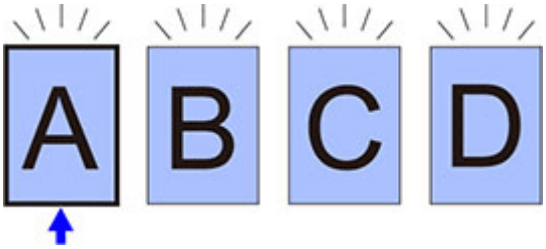
参考

- ご使用の用紙がカラーキャリブレーションに対応していない場合は、あらかじめ用紙共通キャリブレーションに分類される用紙でカラーキャリブレーションを実行してください。新しい用紙共通キャリブレーション調整値が、ご使用の用紙に対しても適用されます。

例:工場出荷時の状態からカラーキャリブレーションを実行する

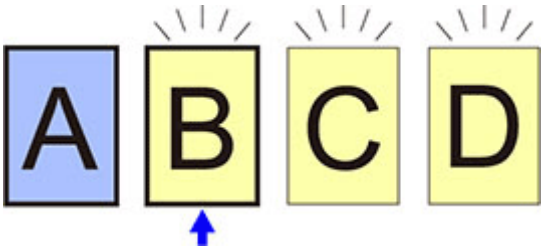
用紙種類 A～D（A/B/D は用紙共通キャリブレーションの用紙、C は用紙個別キャリブレーションの用紙）の調整を例に説明しています。

- 1 回目:用紙種類 A（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



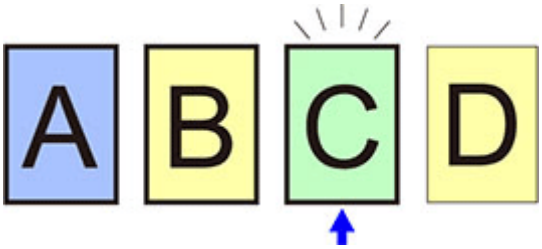
  - 用紙種類 A のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない B～D にも適用されます。

- 2 回目:用紙種類 B（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



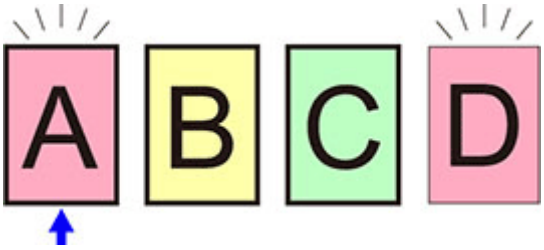
  - 用紙種類 B のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない C と D にも適用されます。
  - 用紙種類 A は 1 回目の直接設定した調整値から変更されません。

- 3 回目:用紙種類 C（用紙個別キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションを実行



  - 用紙種類 C のキャリブレーション調整値が設定されます。
  - 用紙種類 A は 1 回目、用紙種類 B と D は 2 回目の調整値から変更されません。

- 4 回目:用紙種類 A（用紙共通キャリブレーションに分類）でカラーキャリブレーションをもう一度実行



  - 用紙種類 A のキャリブレーション調整値が、カラーキャリブレーションを実行していない D にも適用されます。
  - 用紙種類 B は 2 回目、用紙種類 C は 3 回目の直接設定した調整値から変更されません。

参考

- 現在適用されているキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類は、タッチスクリーンのメニューの［カラーキャリブレーション］の［調整情報］で確認できます。

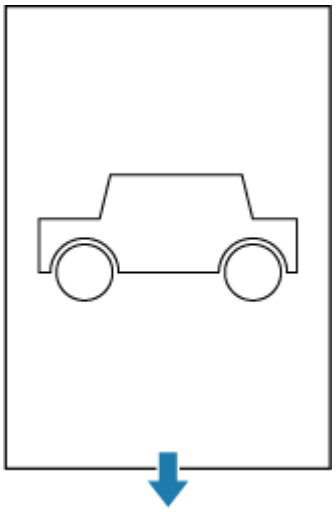
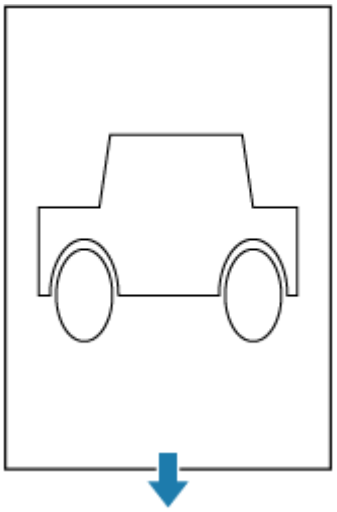
  ➡ カラーキャリブレーションを行う

原稿読み取りを調整する

- 原稿の送り量を変更する
- 原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する

原稿の送り量を変更する

コピーやスキャンの読み取り結果と原稿の縦横比が一致しない場合は、［原稿送り量の補正］を実行し、原稿の送り量を微調整します。

原稿	スキャン結果
	

重要

- 長さの差は用紙の種類や紙幅によって生じることがあります。実際に使用する条件で調整することをお勧めします。

用意するもの

- 縦横比が正確な原稿
- 精度の高いものさし

1. ものさしを使って、原稿の寸法を確認する

2. 原稿をスキャンし、スキャン結果の寸法を確認する

➡ スキャン

スキャン結果の寸法は、パソコンの画像ビューアーなどを使用して測定してください。

3. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

4. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

5. ［スキャナー画質調整］を選ぶ

6. ［原稿送り量の補正］を選ぶ

7. 補正値を設定し、［確定］を選ぶ

スキャン結果が実際の寸法より短かった場合は大きい値に、長かった場合は小さい値に設定します。補正値は、0.01%ごとに変更できます。0 より小さい値を設定する場合は、先にテンキーで数値を入力してから［±］を選んで符号を切り替えてください。

重要

- 補正値は以下のように計算してください。

  原稿：60cm、スキャン結果：60.1cm の場合：(60 / 60.1 - 1) x 100 = -0.166

  0.01%刻みでもっとも近い「-0.17」を設定します。

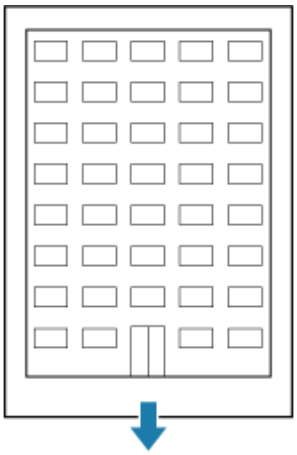
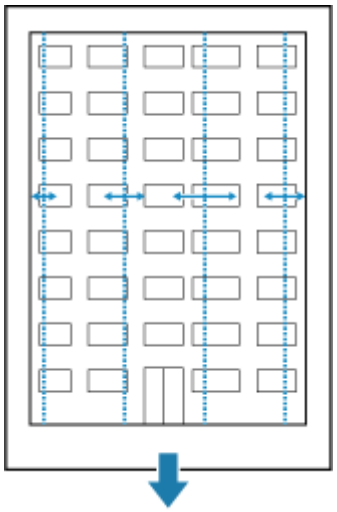
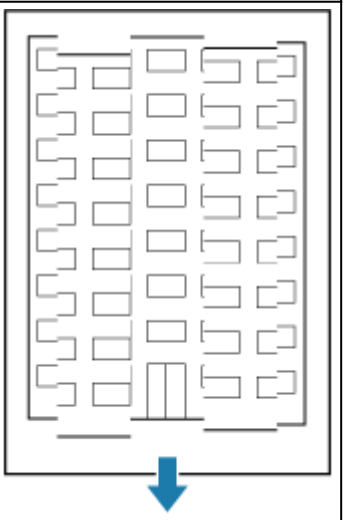
原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する

本製品のスキャナは、複数の画像センサー（読み取りガラス）を互い違いに配置することで、広い幅をスキャンしています。そのため各センサーのつなぎ目になる箇所が存在しますが、つなぎ目部分で画像にわずかな位置ずれやぼやけが発生することがあります。

- つなぎ目部分で画像の位置ずれがある場合
  - ➡ つなぎ目の位置ずれを補正する
- つなぎ目部分で画像がぼやけたり、位置ずれが目立つ場合
  - ➡ つなぎ目のマスク設定を変更する

つなぎ目の位置ずれを補正する

コピーやスキャンで位置ずれが発生する場合は、［つなぎ目位置補正］を実行し、センサーつなぎ目部分の位置を補正します。

原稿	スキャン結果 (X 方向に位置ずれ)	スキャン結果 (Y 方向に位置ずれ)
		

重要

- 原稿の厚さにムラがある場合は、［つなぎ目位置補正］を実行しても位置ずれが残ることがあります。
- 位置ずれの補正値は、前回設定値との差分を設定します。設定されている状態が分からなくなった場合は、［初期化］を選んで工場出荷時の設定に戻してください。

1. 原稿をスキャンし、スキャン結果の寸法を確認する

➡ スキャン

スキャン結果の寸法は、パソコンの画像ビューアーなどを使用して測定してください。

2. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

3. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

4. ［スキャナー画質調整］を選ぶ

5. ［つなぎ目位置補正］を選ぶ

6. 位置補正する方向を選ぶ

［X］は幅方向、［Y］は送り方向の位置を補正します。

参考

- 設定した補正値をクリアする場合は、この画面で［初期化］を選びます。

7. 位置補正するスキャン解像度を選ぶ

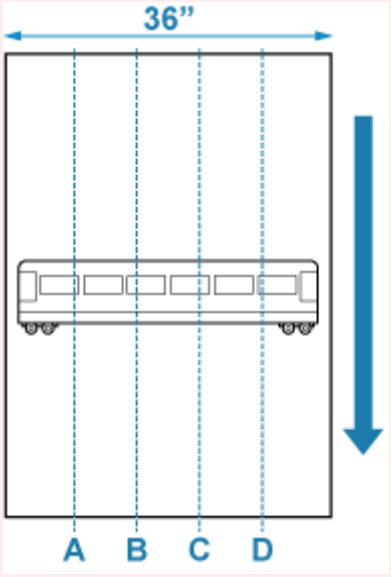
実際に位置ずれを確認したスキャン時の解像度を選んでください。解像度は［200 dpi］、［300 dpi］または［600 dpi］から選ぶことができます。

8. 位置補正するつなぎ目を選ぶ

位置ずれが発生したつなぎ目を選んでください。つなぎ目の数は、お使いのプリンターと原稿のサイズによって異なります。

重要

- TM-610M/TM-5610M には、最大で 4 点のつなぎ目があります。



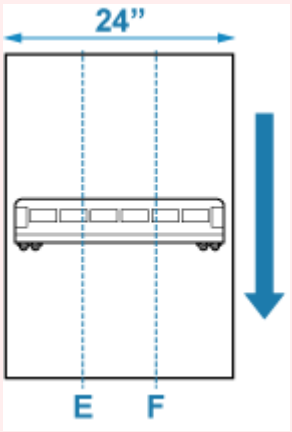
A：つなぎ目 1（画像左端からの位置は約 19 cm）

B：つなぎ目 2（約 36 cm）

C：つなぎ目 3（約 56 cm）

D：つなぎ目 4（約 74 cm）

- TM-510M/TM-5510M には、最大で 2 点のつなぎ目があります。



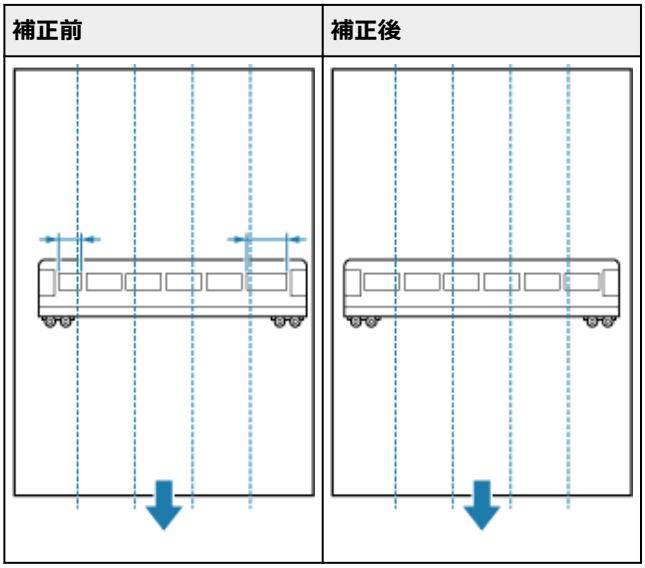
E：つなぎ目 1（画像左端からの位置は約 20 cm）

F：つなぎ目 2（約 40 cm）

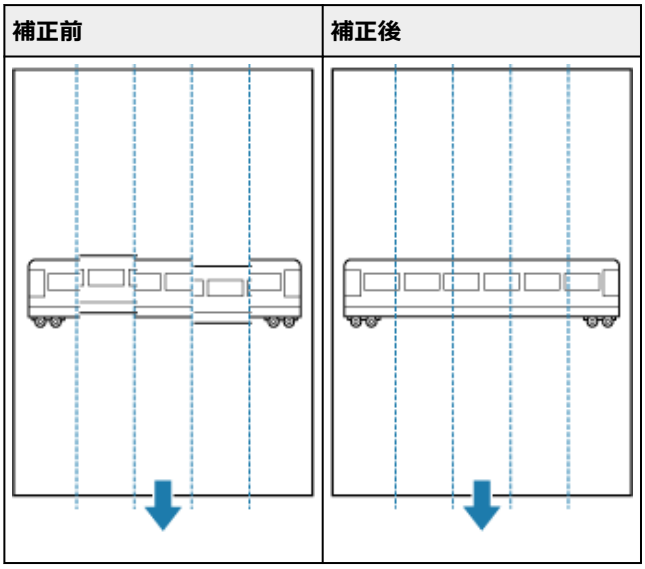
9. 補正値を設定し、［確定］を選ぶ

0 より小さい値を設定する場合は、先にテンキーで数値を入力してから［±］を選んで符号を切り替えてください。

1. 補正値の数値を設定する
   - 補正値 1 に対して、解像度に応じた 1 画素分の位置ずれが補正されます。
     - ［600 dpi］：1 画素当たり約 0.04 mm
     - ［300 dpi］：1 画素当たり約 0.08 mm
     - ［200 dpi］：1 画素当たり約 0.13 mm
2. 補正値の符号を設定する
   - 幅方向の位置補正［X］：つなぎ目付近で画像が縮んでいるときは、補正値を小さい値に設定します。伸びているときは、補正値を大きい値に設定します。



   - 送り方向の位置補正［Y］：つなぎ目付近で画像が上にずれていたときは、補正値を小さい値に設定します。下にずれていたときは、補正値を大きい値に設定します。

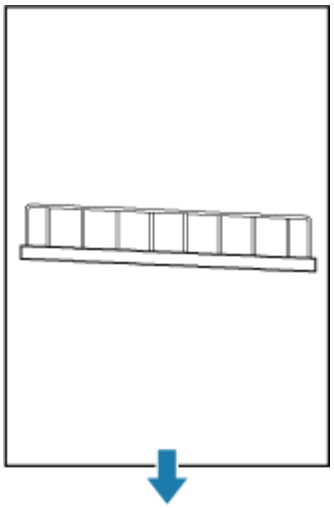
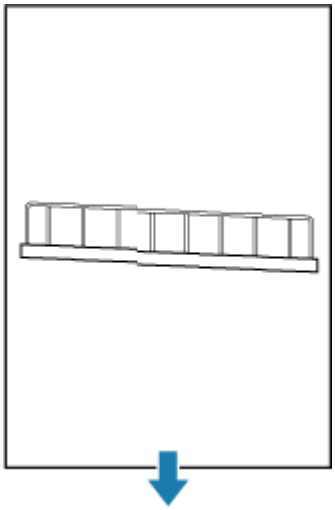


10.［確定］を選ぶ

補正値を設定した後は、位置ずれが発生したときと同じ解像度でスキャンし、補正結果を確認してください。

つなぎ目のマスク設定を変更する

コピーやスキャンでつなぎ目部分で画像がぼやけたり、位置ずれが目立つ場合があります。[つなぎ目マスク]から、つなぎ目部分のマスク設定を変更します。

原稿	スキャン結果
	

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

3. ［スキャナー画質調整］を選ぶ

4. ［つなぎ目マスク］を選ぶ

5. 設定を選ぶ

［自動］

セットした原稿種類に応じて、マスク処理をおこなうか自動で選択します。

［OFF］

マスク処理をおこないません。画像がぼやける場合に選んでください。

［ON］

マスク処理をおこないます。位置ずれが目立つ場合に選んでください。

消耗品の交換

- インクタンクの型番を確認する
- インクタンクを交換する
- インク残量を確認する
- プリントヘッドを交換する
- メンテナンスカートリッジを交換する
- メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する
- カッターブレードを交換する

インクタンクの型番を確認する

プリンター本体やパソコンからインクの型番を確認できます。

プリンター本体から確認する

1. ステータス画面で、インク表示部を選ぶ



2. [型番確認] を選ぶ

ウェブブラウザーから確認する

1. リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する

2. [消耗品詳細...] を選ぶ

Canon IJ ステータスモニタから確認する（Windows）

1. Canon IJ ステータスモニタを起動する

➡ Canon IJ ステータスモニタ

2. [推定インクレベル] を選ぶ

3. [インクの型番情報] を選ぶ

参考

- インクタンクの交換方法については、「インクタンクを交換する」を参照してください。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

プリンターに対応しているインクタンクについては、「インクタンクの型番を確認する」を参照してください。

参考

- 130ml または 300ml のインクタンクに交換することができます。色によって異なる容量のインクタンクを組み合わせて取り付けることもできます。

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 本製品で一度使用したインクタンクを、ほかのプリンターに使用しないでください。インクの残量が正しく検知されず、プリンターに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンターは、長期間（1 か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンターに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクの交換手順

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 2 に進んでください。

1. メニューからインクタンク交換を選ぶ
2. インクタンクを取り外す

   ➡ インクタンクを取り外す
3. 新しいインクタンクを取り付ける

   ➡ インクタンクを取り付ける

重要

- 電源を入れた直後のプリンターの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

参考

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中も交換できます。

メニューからインクタンク交換を選ぶ

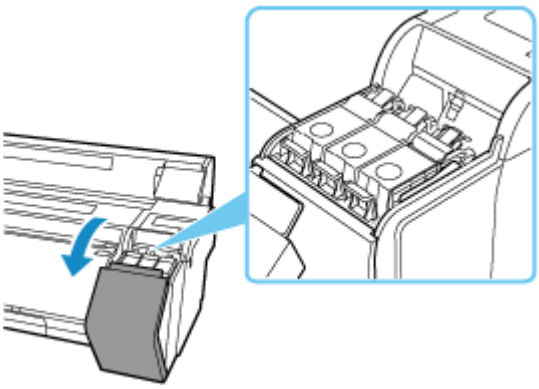
1. ステータス画面で［インク交換］を選ぶ

タッチスクリーンにインクタンクの交換手順のガイダンスが表示されます。

インクタンクを取り外す

お使いの製品とイラストが異なる場合があります。

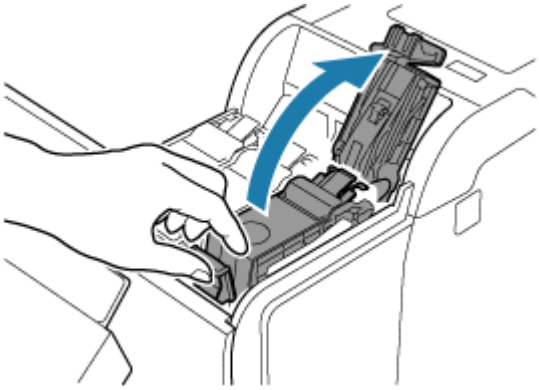
1. インクタンクカバーを開く



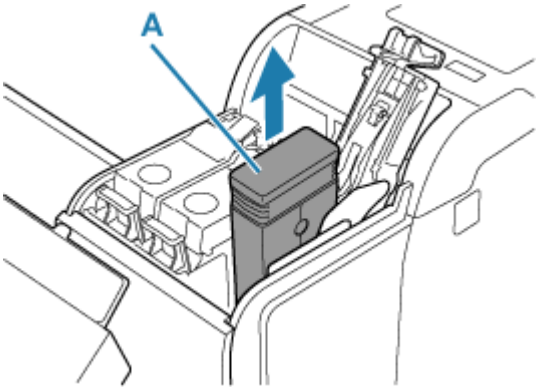
重要

- プリンターに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンターに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

2. 交換する色のインクタンク固定レバーの先端を水平に押しながら、インクタンク固定レバーを上に開く

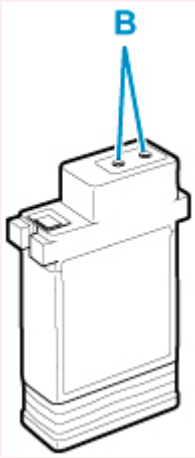


3. つまみ部（A）を持ってインクタンクを取り出す



重要

- 輸送のときを除いて、インクタンクを取り出した状態のままプリンターの電源を切らないでください。インクタンクカバー内部が汚れる場合があります。
- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部（B）を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。



参考

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。 回収窓口につきましては、キヤノンのウェブサイトで確認いただけます。

  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、キヤノンのウェブサイトでご案内しています。

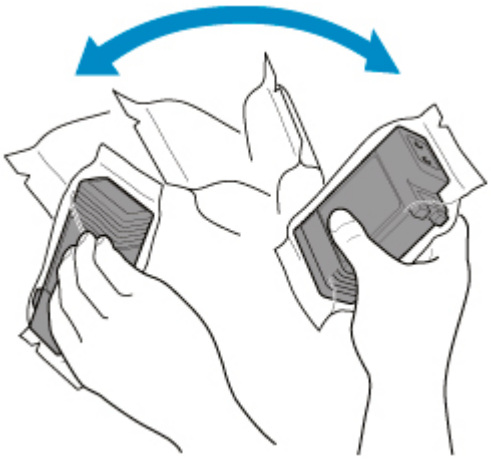
4. 操作パネルで［OK］を選ぶ

インクタンクを取り付ける

お使いの製品とイラストが異なる場合があります。

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと 1～2 回左右に傾けながら振る

インクタンクの上下が逆さまになるように、ゆっくり回転させながらインクタンクを振ります。



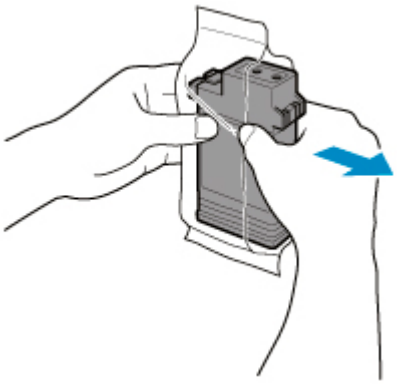
重要

- 一度プリンターに取り付けたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

参考

- インクタンクが低温の場合は、室温になじませてからプリンターに取り付けてください。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出す



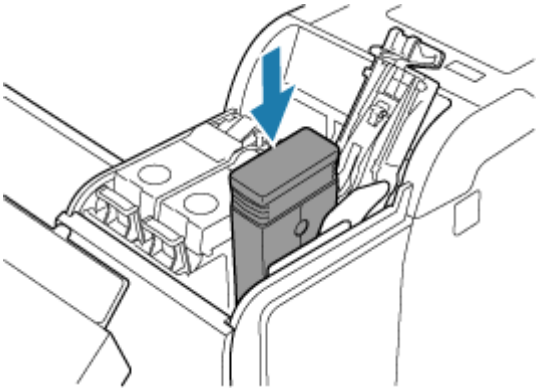
重要

- インク供給部（B）や端子部（C）には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



- 袋から取り出したインクタンクは落とさないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

3. [OK] を選び、インク供給部を下側、端子部を手前側にしてインクタンクをホルダーに取り付ける

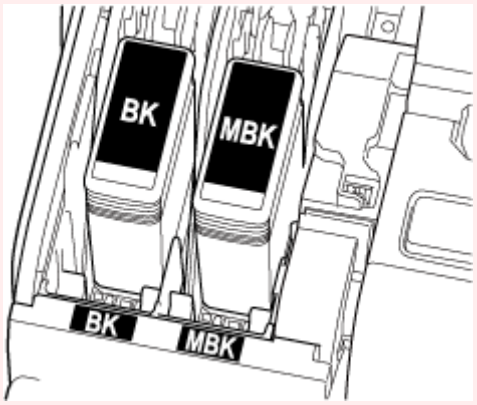


重要

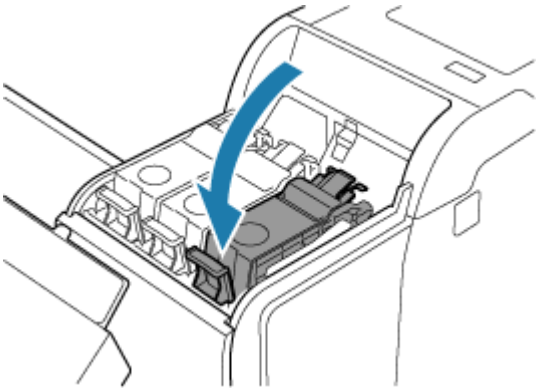
- 取り付ける色と向きが違うと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。

  インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、ラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付け直してください。

  BK と MBK のインクタンクは、間違えやすいので特にご注意ください。



4. インクタンク固定レバーを、カチッと音がするまで閉じる



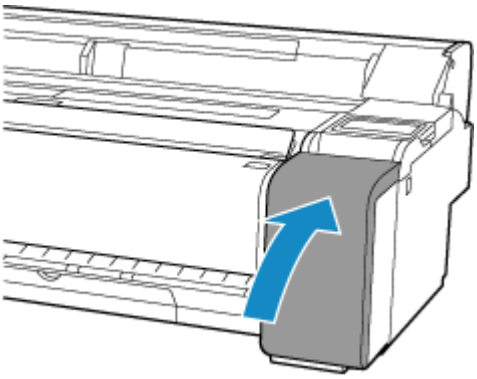
重要

- インクタンクは手で押し込まないでください。無理にインクタンクをホルダーに入れると、プリンターの故障の原因になります。



- 130ml のインクタンクを逆向きに取り付けた場合、インクタンク固定レバーの回転部分が外れることがあります。この場合は、インクタンク固定レバーを開くと元に戻ります。

5. インクタンクカバーを閉じる



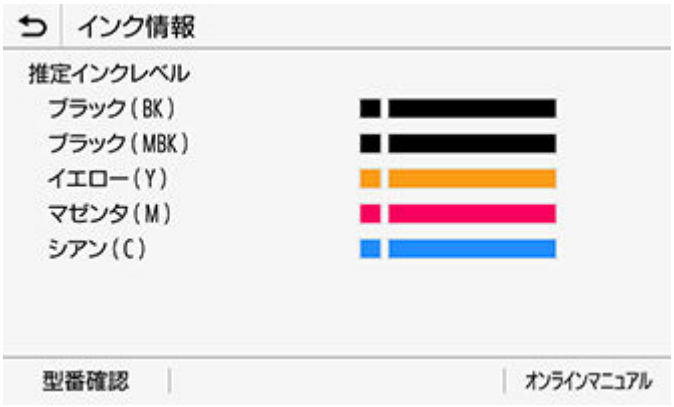
インク残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、ステータス画面または［インク情報］画面で確認できます。

1. ステータス画面で、インク表示部を選ぶ

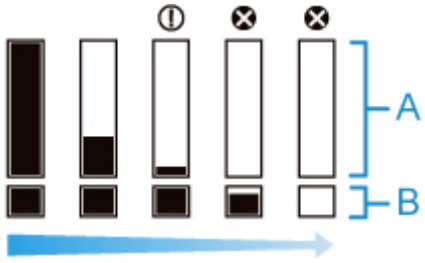


［インク情報］画面が表示されます。



本製品には、インクタンク（A）とサブインクタンク（B）があり、インクタンクのインクがなくなっても、サブインクタンクのインクで印刷を続けることができます。

インクの残量が少なくなるとインクの残量表示の隣に が、インクがなくなると が表示されます。



タッチスクリーンにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

参考

- インクの購入先情報を登録している場合は、ステータス画面の［インクを購入］から、インクの購入先情報を確認できます。

- インクタンクを交換すると、サブインクタンクへのインクの充填が行われます。

プリントヘッドを交換する

タッチスクリーンにプリントヘッドの交換を指示するエラーメッセージが表示された場合や、キヤノンお客様相談センターから指示された場合は、プリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリンターに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。

重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンターに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンターに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッドの交換手順

⚠注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

重要

- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

参考

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- メンテナンスカートリッジの残り容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2.［調整/メンテナンス］を選ぶ

3.［メンテナンス］を選ぶ

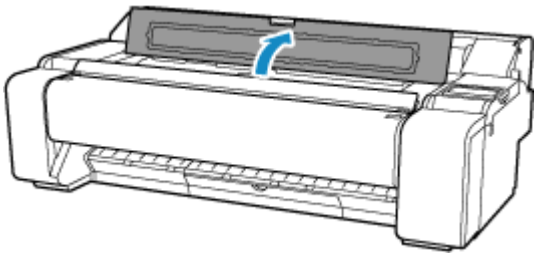
4.［ヘッド交換］を選ぶ

5. [ヘッド交換を開始する] を選ぶ

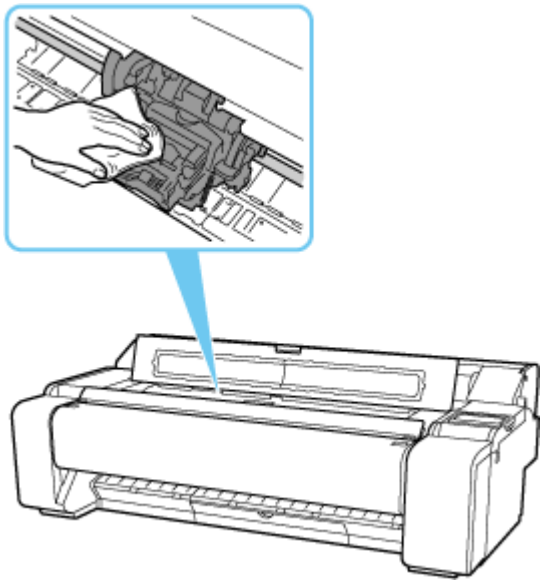
インクの吸引が開始され、吸引が終了すると、タッチスクリーンにプリントヘッド交換の手順のガイダンスが表示されます。

プリントヘッド内のインクを抜くためのインクの吸引には約 1～2 分かかります。

6. トップカバーを開く

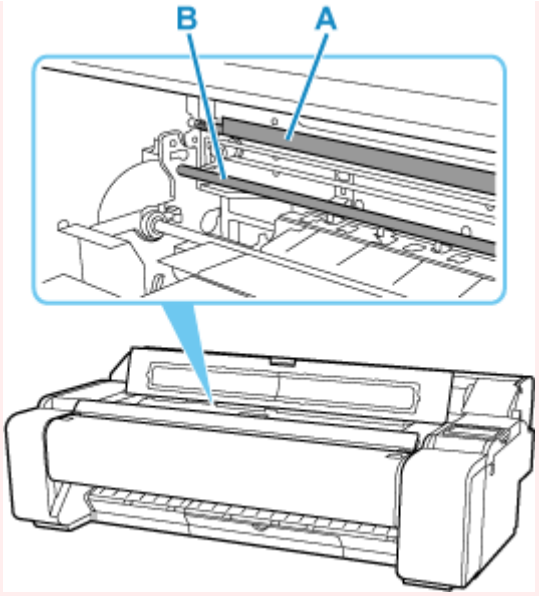


7. プリントヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取る



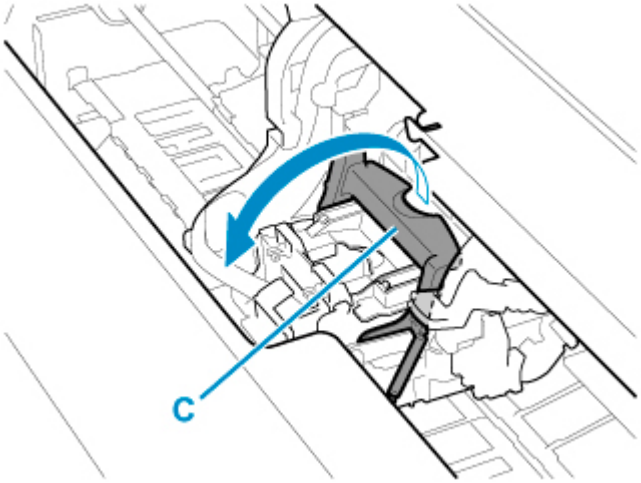
重要

- リニアスケール（A）、キャリッジシャフト（B）には触れないでください。触れると故障の原因になります。

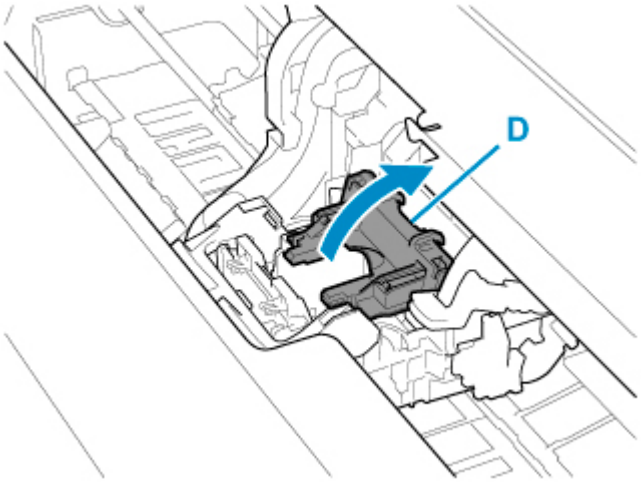


- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

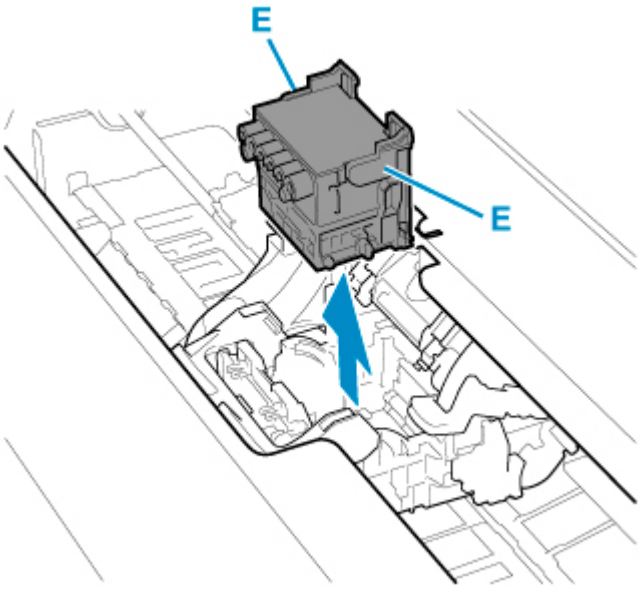
8. プリントヘッド固定レバーの中央部分（C）に指をかけて手前に倒す



9. プリントヘッド固定カバーのつまみ部（D）を持って開く



10. つまみ部（E）を持ってプリントヘッドを取り外す



重要

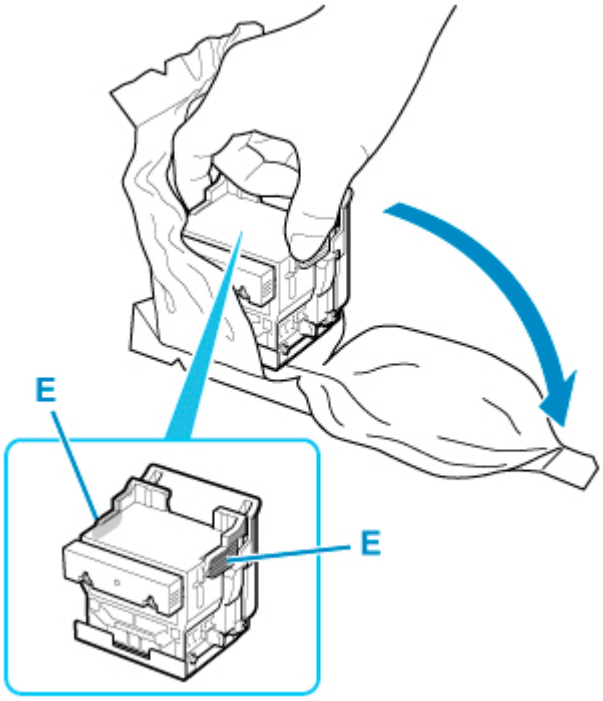
- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。また、キャリッジの電極部にごみを付着させないでください。プリンターの故障の原因になります。

参考

- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

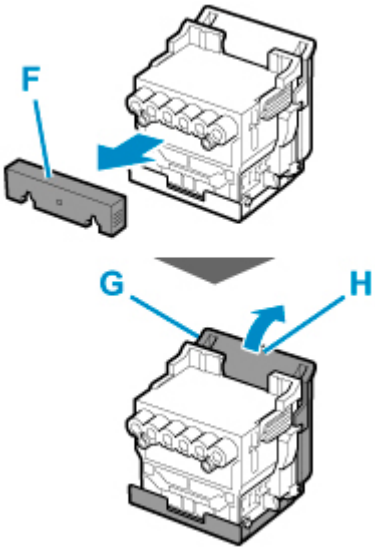
11. 操作パネルで［OK］を選ぶ

12. 新しいプリントヘッドを、つまみ部（E）を持って袋から取り出す



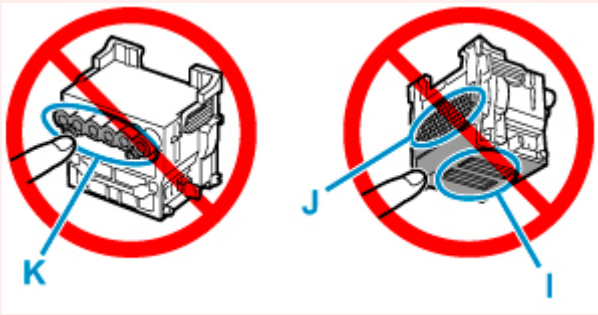
13. オレンジ色の保護キャップ（F、G）を取り外す

保護キャップ（G）は、つまみ部（H）を持って取り外してください。



重要

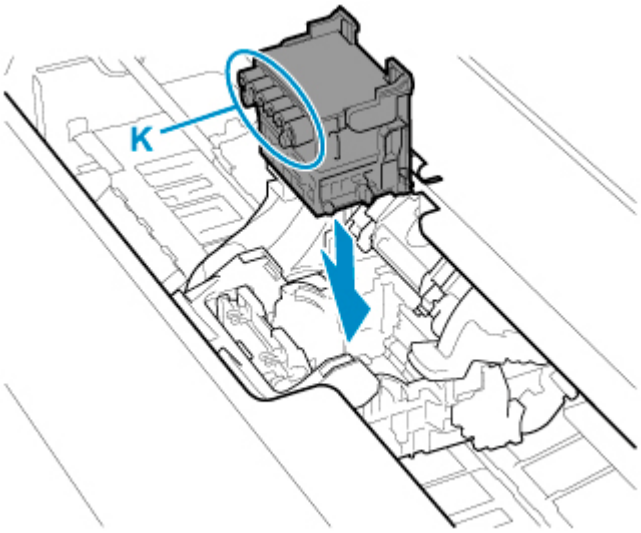
- プリントヘッドは、必ず左右のつまみ部を持って取り扱ってください。ノズル（I）や電極部（J）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部（K）には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。



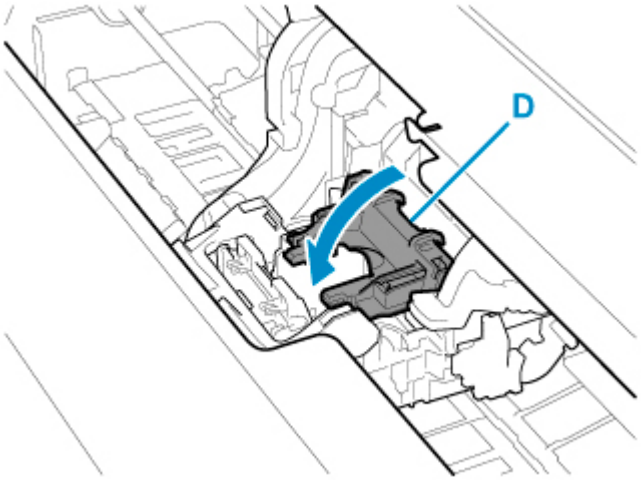
- 保護キャップの内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護キャップを取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた袋の上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護部品は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

14. インク供給部（K）を手前に向けて、プリントヘッドをキャリッジに差し込む

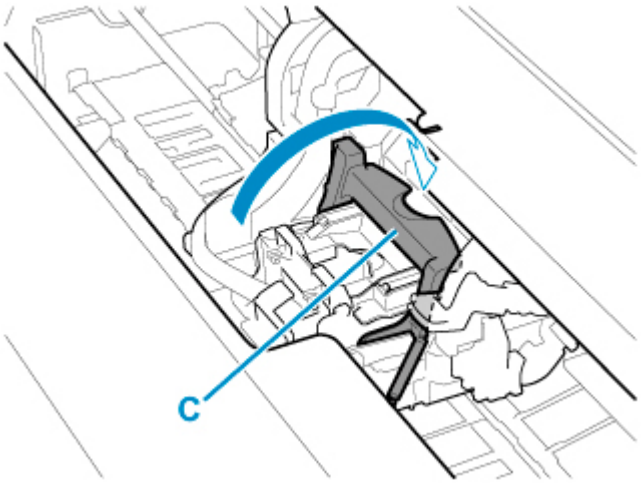
保護キャップで保護されていた部分がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。



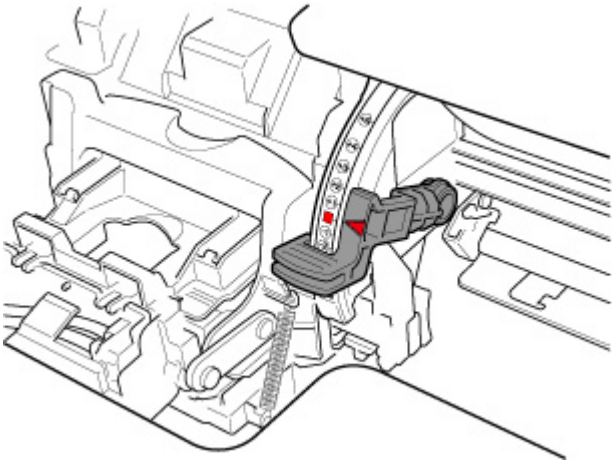
15. プリントヘッド固定カバーのつまみ部（D）を持って前に倒し、プリントヘッドをロックする



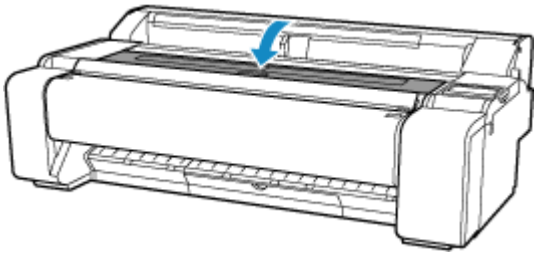
16. プリントヘッド固定レバーの中央部分（C）を持って奥側に倒す



17. スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせる



18. トップカバーを閉じる



プリントヘッド内にインクが充填されます。所要時間は約 10 分です。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクおよびメンテナンスカートリッジを取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。

参考

- ［ヘッド交換後の調整用パターン印刷］が［する］に設定されている場合は、ヘッド位置調整が行われます。

  タッチスクリーンの指示に従って、用紙をセットしてください。

  ➡ 自動メンテナンス設定

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンターに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- 電源を入れた直後のプリンターの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中およびメンテナンスカートリッジの交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。

  メンテナンスカートリッジが故障したり、インクが漏れる可能性があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

メンテナンスカートリッジの交換手順

メンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 4 に進んでください。

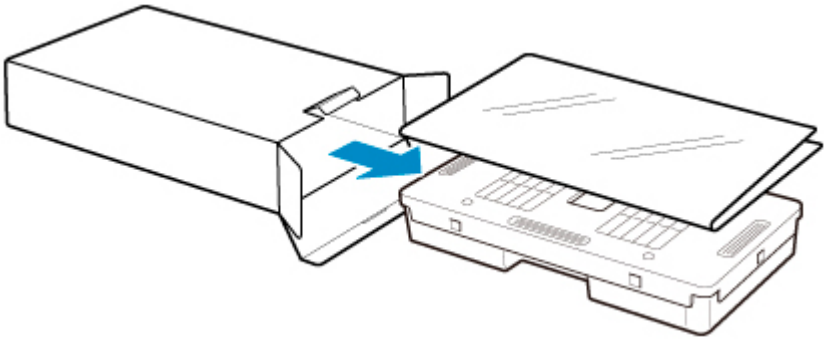
1. ホーム画面またはステータス画面で、[状況確認] を選ぶ

2. [メンテナンスカートリッジ情報] を選ぶ

3. [交換手順] を選ぶ

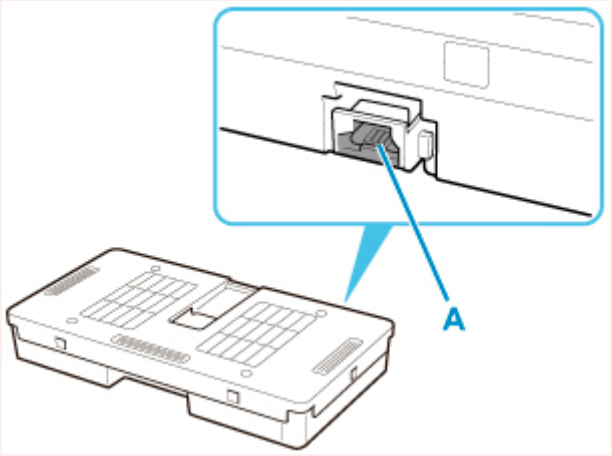
タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジ交換の手順のガイダンスが表示されます。

4. 梱包箱を開いて、ビニール袋とメンテナンスカートリッジを取り出す

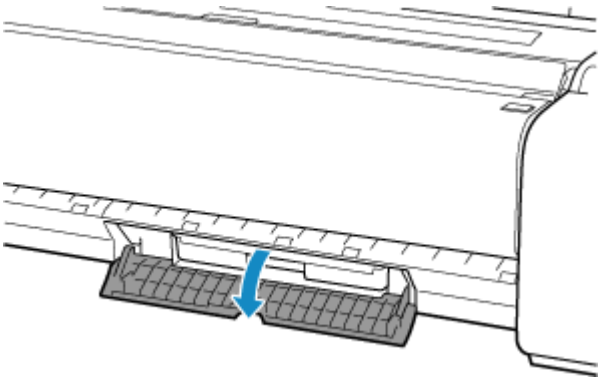


重要

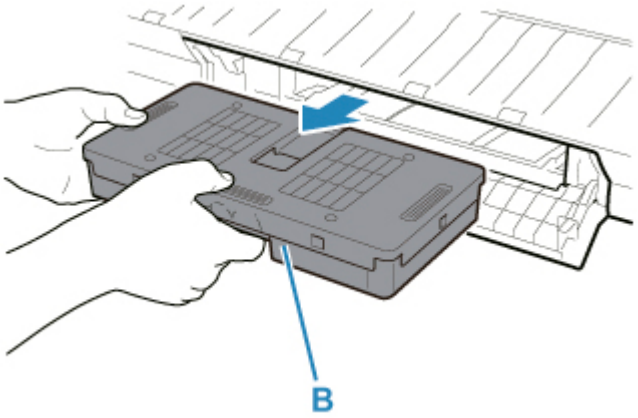
- 端子部（A）には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。



5. メンテナンスカートリッジカバーを開く



6. 使用済みのメンテナンスカートリッジのつまみ（B）を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかり持って水平に取り出す

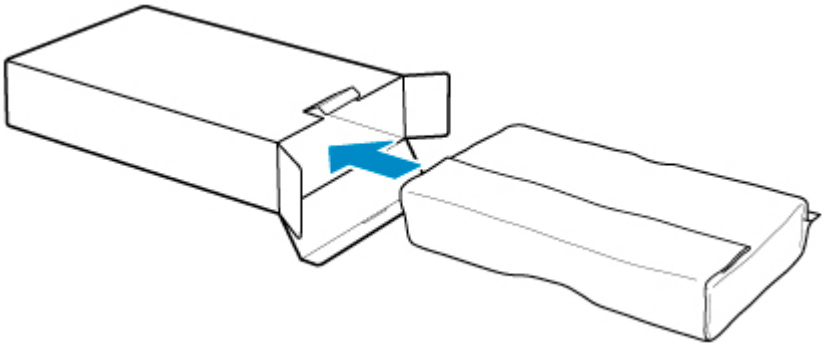


重要

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

7. 使用済みのメンテナンスカートリッジを水平に保ったまま、付属のビニール袋に入れる

8. 天地を確認して、メンテナンスカートリッジを梱包箱に入れ、水平に保ったまま保管する



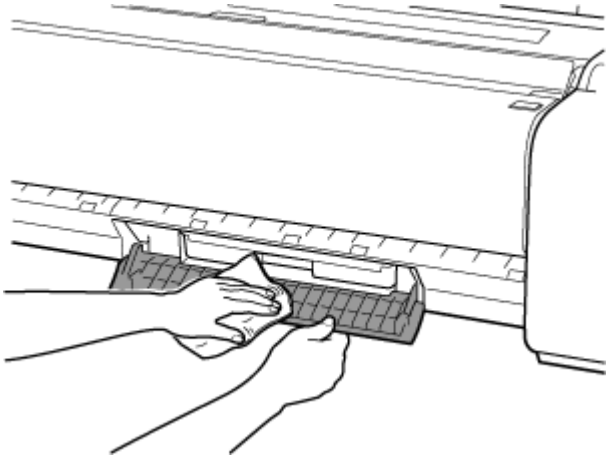
重要

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。

参考

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

9. メンテナンスカートリッジカバーの汚れを拭き取る

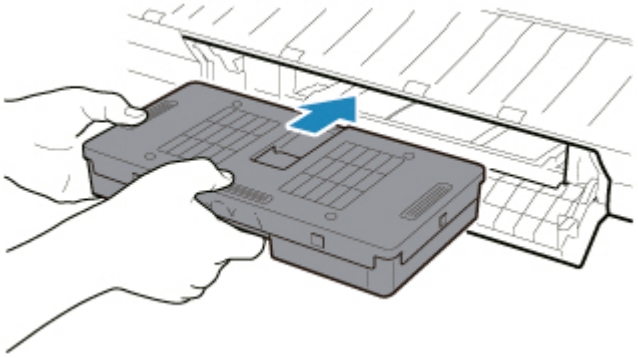


重要

- メンテナンスカートリッジカバーの下側を支えながら拭いてください。

10. 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込む

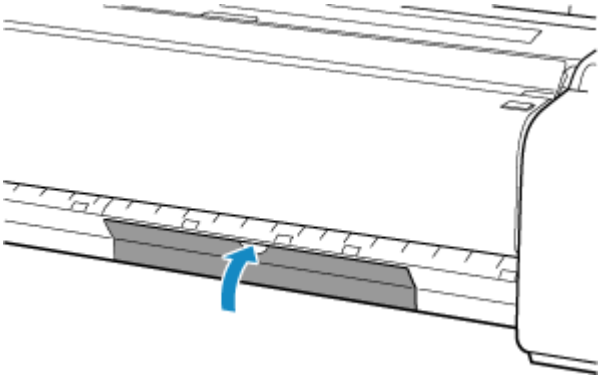
メンテナンスカートリッジが初期化されます。



重要

- メンテナンスカートリッジ交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。メンテナンスカートリッジが故障する可能性があります。

11. メンテナンスカートリッジカバーを閉じる



メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷やヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、タッチスクリーンで確認できます。

1. ホーム画面またはステータス画面で、［状況確認］を選ぶ

2.［メンテナンスカートリッジ情報］を選ぶ

［メンテナンスカートリッジ情報］画面が表示されます。



タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。

また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンターの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

カッターブレードを交換する

対応しているカッターブレード

プリンターに対応しているカッターブレードについては、「カッターブレード」を参照してください。

カッターブレードの交換手順

重要

- カッターの移動範囲に用紙があるとカッターブレードが交換できません。用紙を取り除いてください。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

3. ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［カッターブレード交換］を選ぶ

確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

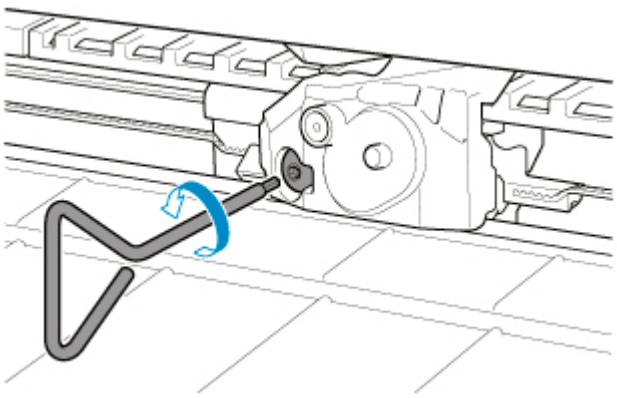
キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンにカッターブレード交換の手順のガイダンスが表示されます。

6. カッターブレードが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取る

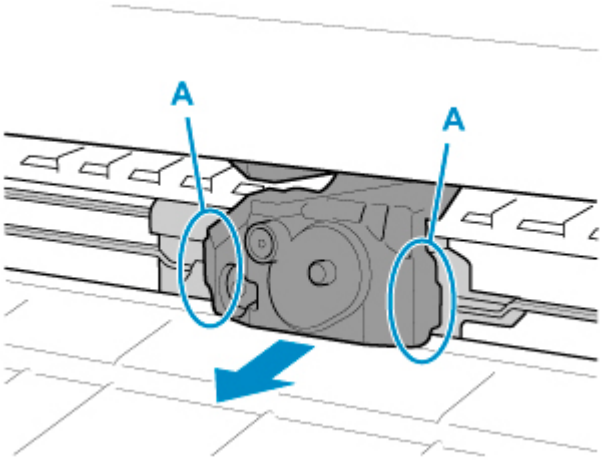
重要

- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

7. 六角レンチで六角ビスを緩みきるまで回す



8. 図の A の部分を持ちながら、カッターブレードを取り外す



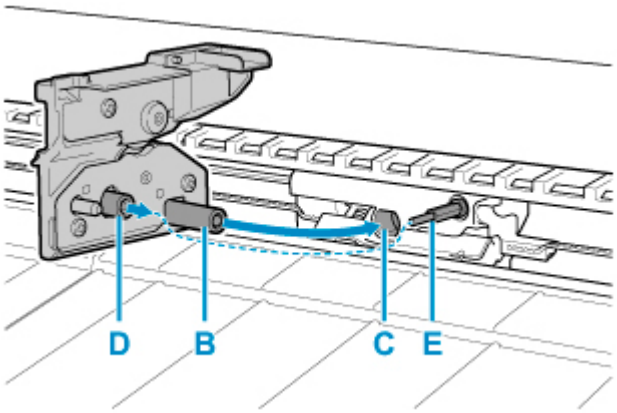
⚠注意

- A の部分以外には、絶対に触れないでください。手が汚れたり、けがの原因になります。また、プリンターの故障の原因になります。
- カッターブレードは、分解しないでください。刃の部分に触れると、けがの原因になります。

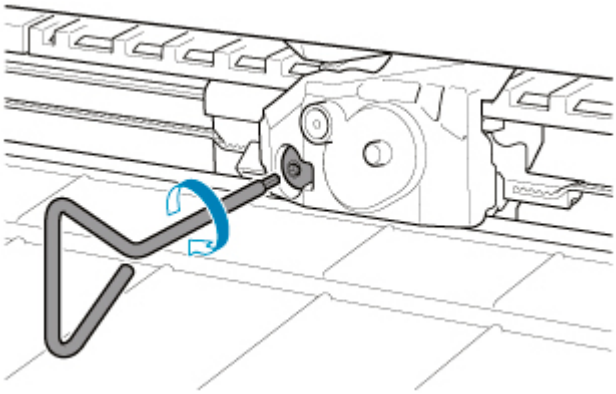
参考

- 取り外したカッターブレードは、地域の条例に従って廃棄してください。

9. 図の B と C、D と E を合わせながら、新しいカッターブレードを取り付ける



10. 六角ビスをしっかりと固定されるまで回す



重要

- カッターブレードを固定したあと、カッターブレードが外れないことを確認してください。カッターブレードが外れると、プリンターの故障の原因になります。

11.［交換完了］を選ぶ

12.［はい］を選ぶ

プリンターの清掃

- プリンターの外装を清掃する
- トップカバー内部を清掃する
- スキャナーユニット内部を清掃する

プリンターの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンターは定期的に清掃してください。

快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンターの外装を清掃してください。

1. プリンターの電源を切る

➡ 電源を入れる／切る

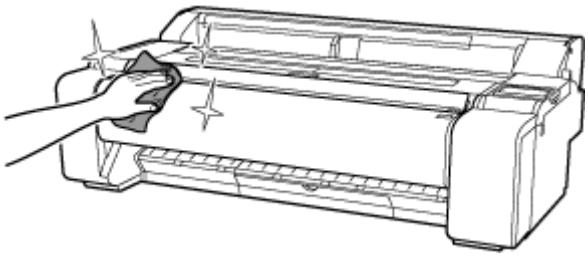
2. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外す

⚠注意

- 必ず、プリンターの電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3. 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取る

プリンターの外装、電源コードのプラグ部などを清掃します。



⚠警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

  ➡ トップカバー内部を清掃する

- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

4. 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取る

5. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続する

トップカバー内部を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に 1 回程度、トップカバー内部を清掃してください。

また、快適にご使用いただくために、以下の場合にトップカバー内部を清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合
- 糊がついた用紙に印刷した場合

重要

- トップカバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。
- 糊がついた用紙に印刷した場合は、プラテンや用紙押さえなどに糊が付着することがあります。用紙のつまりを防ぐため、印刷後にトップカバー内部の清掃をお勧めします。
- 清掃部分に用紙があると清掃できない場合があります。用紙を取り除いてください。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

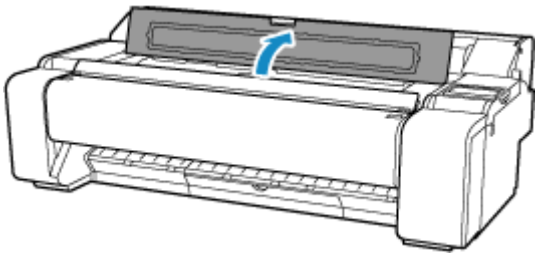
3. ［メンテナンス］を選ぶ

4. ［プラテンクリーニング］を選ぶ

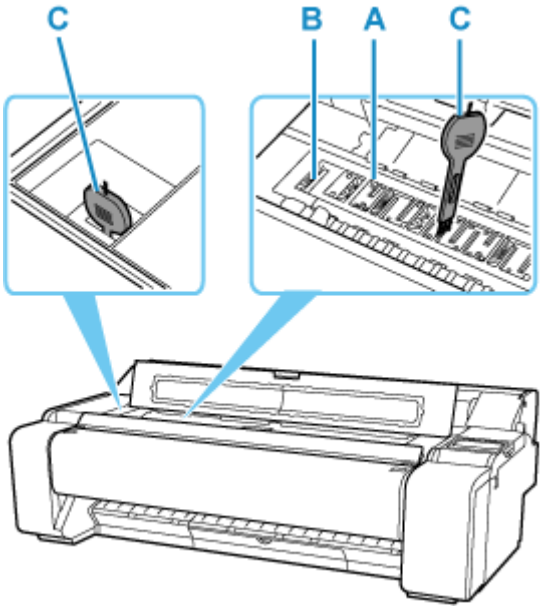
5. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンにガイダンスが表示されます。

6. トップカバーを開く

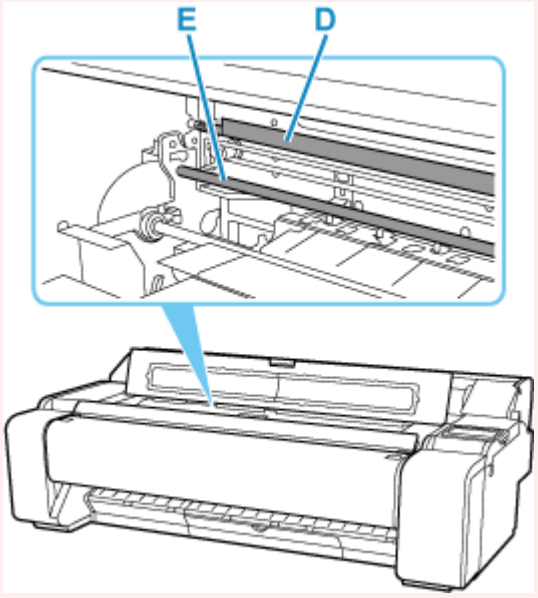


7. プラテン上の吸引口（A）、インク受け溝（B）に紙粉がたまっている場合は、プリンターに同梱されているクリーナーブラシ（C）で掃き取る



重要

- リニアスケール（D）、キャリッジシャフト（E）には触れないでください。触れると故障の原因になります。

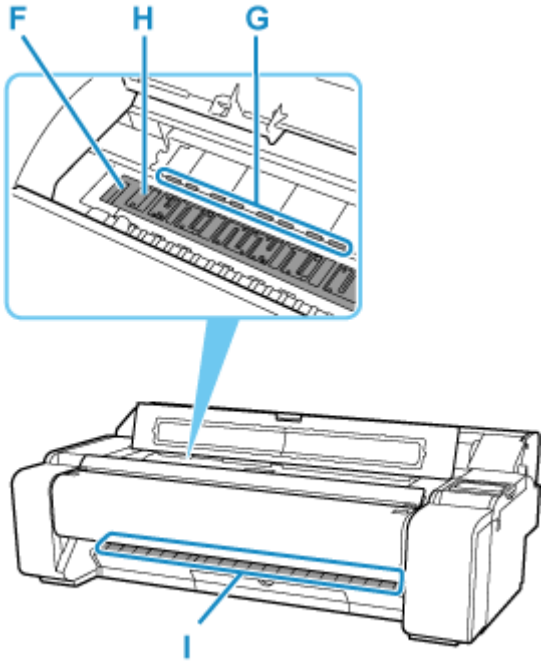


参考

- クリーナーブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

8. 水を含ませて固く絞った布で、トップカバー内部の汚れをふき取る

プラテン全域（F）、用紙押さえ（G）、インク受け溝（H）、排紙ガイド（I）などのインクの汚れや紙粉（カット屑など）をふき取ります。



⚠警告

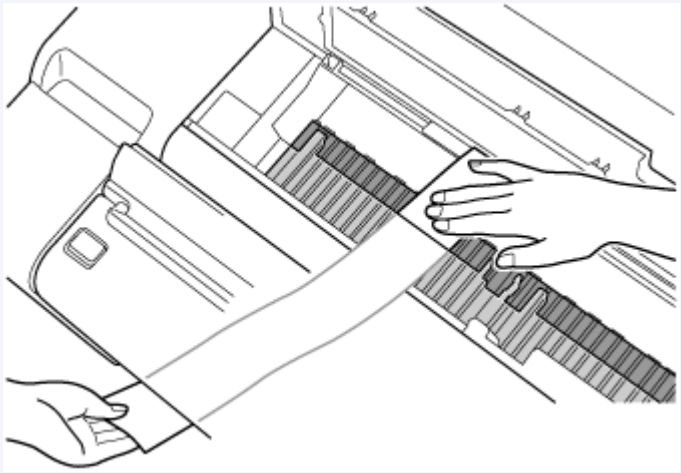
- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

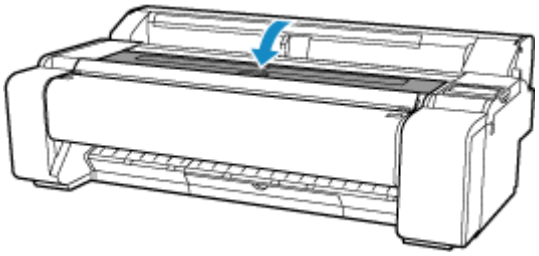
- トップカバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

参考

- プラテンと排紙ガイドの間を清掃する場合は、水を含ませて固く絞った布を排紙口に通し、溝に沿って拭いてください。



9. トップカバーを閉じる



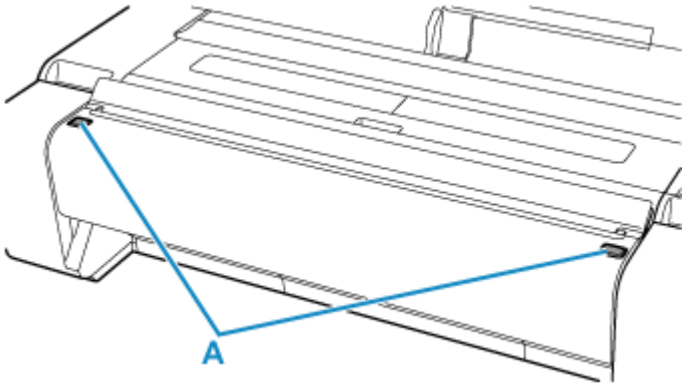
スキャナーユニット内部を清掃する

スキャナーユニット内に汚れがあると、画像がきれいに読み込めなかったり原稿や印刷された用紙に汚れが付いたりすることがあります。この場合は、汚れを拭き取ってください。

重要

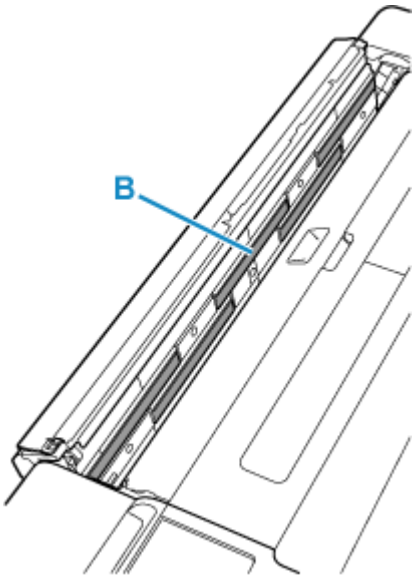
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 読み取りガラスや白色基準板に強い力をかけないでください。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

1. 左右のスキャナーユニットオープンボタン（A）を押して、スキャナーユニットを開く



2. スキャナーユニット内部に紙粉やほこりがある場合は取り除く

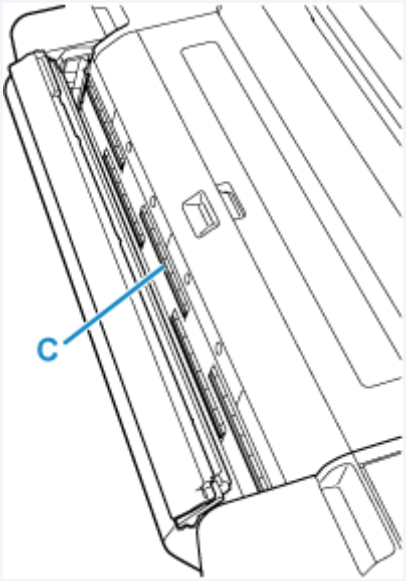
3. 乾いた柔らかい布で、読み取りガラス（B）を拭く



参考

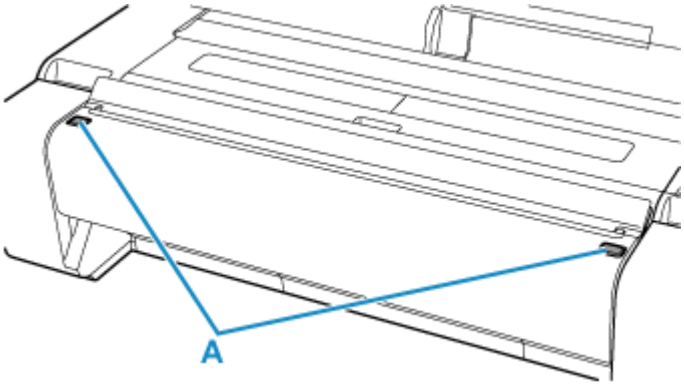
- 汚れが落ちないときは、水を含ませてかたく絞った布で拭き、そのあと乾いた柔らかい布で拭きます。

- 白色基準板（C）に汚れがある場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きはしないでください。



4. スキャナーユニットを閉じる

左右のスキャナーユニットオープンボタンがしっかりとはまっていることを確認してください。



5. 本体を再起動する

➡ プリンターを再起動する

パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）

- メンテナンスのためにリモート UI を開く
- プリントヘッドをクリーニングする
- ノズルチェックパターンを印刷する

メンテナンスのためにリモート UI を開く

リモート UI から、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。
リモート UI を開くには、次の手順で行います。

1. ［システム設定］を開き、［プリンタとスキャナ］を選ぶ

2. プリンターリストからお使いの機種名を選び、［オプションとサプライ...］をクリックする

3. ［一般］タブの［プリンタの Web ページを表示...］をクリックする

リモート UI が起動します。

参考

- リモート UI の起動後にパスワードを入力する必要がある場合があります。その場合はパスワードを入力し［ログイン］をクリックしてください。パスワードがわからない場合は、プリンターの管理者にお問い合わせください。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする
- ノズルチェックパターンを印刷する
- パソコンでインクの状態を確認する
- プリンタードライバーの用紙情報を更新する
- プリンタードライバーの用紙情報を適正化する（共有環境でのご使用の場合）
- プリンターの用紙情報を確認する

プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングや強力クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

クリーニングを行う手順を説明します。

［クリーニング］

1. リモート UI から［ユーティリティー］を選ぶ

2.［クリーニング］の［実行］をクリックする

クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、インクタンクカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［クリーニング］を行ってください。

- インクは残っていますか？
- インクはしっかりと装着されていますか？
  インクランプが点灯しない場合は、取り付け直してください。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. クリーニングを実行する

［OK］をクリックします。

クリーニングが開始されます。

4. 結果を確認する

印刷結果を確認します。
クリーニングを 1 回行っても改善しないときは、もう一度繰り返してください。

重要

- ［クリーニング］は少量のインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

［強力クリーニング］

［強力クリーニング］は、より強力なクリーニング機能です。［クリーニング］を 2 回繰り返しても改善しないときに実行してください。

1. リモート UI から［ユーティリティー］を選ぶ

2.［強力クリーニング］の［実行］をクリックする

強力クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、インクタンクカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［強力クリーニング］を行ってください。

- インクは残っていますか？

- インクはしっかりと装着されていますか？
  インクランプが点灯しない場合は、取り付け直してください。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. 強力クリーニングを実行する

［OK］をクリックします。

強力クリーニングが開始されます。

4. 結果を確認する

印刷結果を確認します。

重要

- ［強力クリーニング］は、［クリーニング］よりも多くのインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

関連項目

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの状態を確認することができます。印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりするときに実行してください。

ノズルチェックパターンを印刷する手順を説明します。

［ノズルチェックパターン印刷］

1. リモート UI から［ユーティリティー］を選ぶ

2.［ノズルチェックパターン印刷］の［実行］をクリックする

ノズルチェックパターン印刷の実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、インクタンクカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて［ノズルチェックパターン印刷］を行ってください。

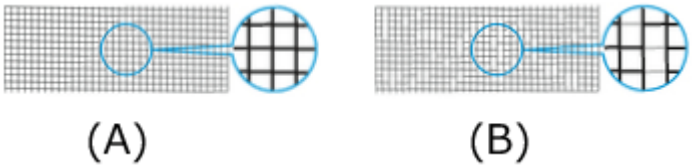
- インクは残っていますか？
- インクはしっかりと装着されていますか？
  インクランプが点灯しない場合は、取り付け直してください。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. ノズルチェックパターンを印刷する

画面のメッセージに従って、ノズルチェックパターンを印刷します。

4. 印刷結果を確認する

印刷結果を確認します。



（A）横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。
（B）横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

ノズルチェックパターンの印刷結果で、かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、［クリーニング］からプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする

その他のメンテナンス

- プリンターの輸送の準備をする
- プリンターを再設置する
- ファームウェアをアップデートする

プリンターの輸送の準備をする

プリンターを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。

プリンターの輸送後の設置作業については、「プリンターを再設置する」を参照してください。

重要

- プリンターを輸送するときは、本体を傾けないでください。内部のインクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

参考

- ［輸送の準備］のメニューを実行するときにメンテナンスカートリッジの交換が必要になることがあります。以下を参照して新しいメンテナンスカートリッジを事前に準備してください。必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの残量により異なります。
- キャスターなどを使用して、水平な状態を保ったまま移動できる場合は、［輸送の準備］のメニューの実行は不要です。
- 輸送の準備を行う場合は、必ずお買い上げの販売店の指示に従ってください。

  輸送のレベルによって、次のような制限があります。

  ［フロア内での移動］

  使用例：持ち運びによる屋内移動

  - 低温環境下での輸送と保管：不可
  - 必要なメンテナンスカートリッジの個数：1

  ［屋外への輸送］

  使用例：乗り物による輸送

  - 低温環境下での輸送と保管：可
  - 必要なメンテナンスカートリッジの個数：1

輸送の準備をする

1. 用紙を取り外す

- ロール紙をプリンターから取り外す
- カット紙を取り外す

2. タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換する

- メンテナンスカートリッジを交換する

3. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

4. ［調整/メンテナンス］を選ぶ

5. ［メンテナンス］を選ぶ

6. ［輸送の準備］を選ぶ

7. ［フロア内での移動］または［屋外への輸送］を選ぶ

8. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

本体輸送の準備が開始されます。

準備が完了すると、タッチスクリーンにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。

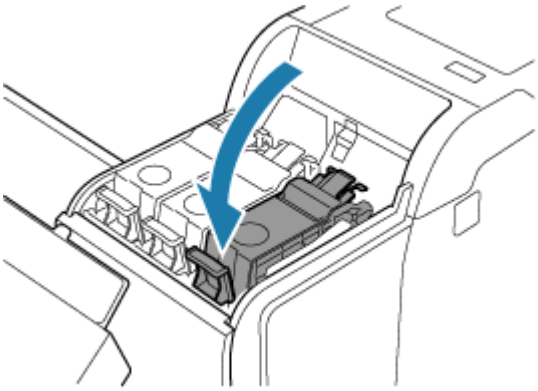
重要

- 消耗部品の交換が必要な場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示され、準備ができません。メッセージが表示された場合は、［OK］を選んで、お買い上げの販売店にご連絡ください。

9. インクタンクカバーを開き、すべてのインクタンクを取り外す

インクタンクを取り外す

10. すべてのインクタンク固定レバーをカチッと音がするまで閉じる



11. インクタンクカバーを閉じる

インクがメンテナンスカートリッジに吸引されます。

処理が終わると、完了のメッセージが表示されます。

重要

- メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。

  インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

12. プリンターの電源を切る

電源を入れる／切る

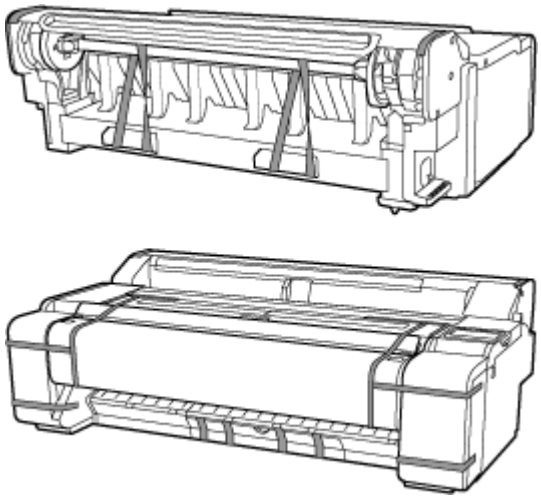
プリンターを梱包する

1. 電源コード、アース線、インターフェースケーブルを取り外す

重要

- 電源を切ってから電源コードを抜いてください。電源を切る前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンターの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

2. **開梱時と逆の手順でプリンターの各カバーをテープで固定する**



3. **プリンタースタンドまたはデスクトップバスケットを、設置時と逆の手順で分解して梱包する**

4. **ロールホルダー、ホルダーストッパー、プリンターなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納する**

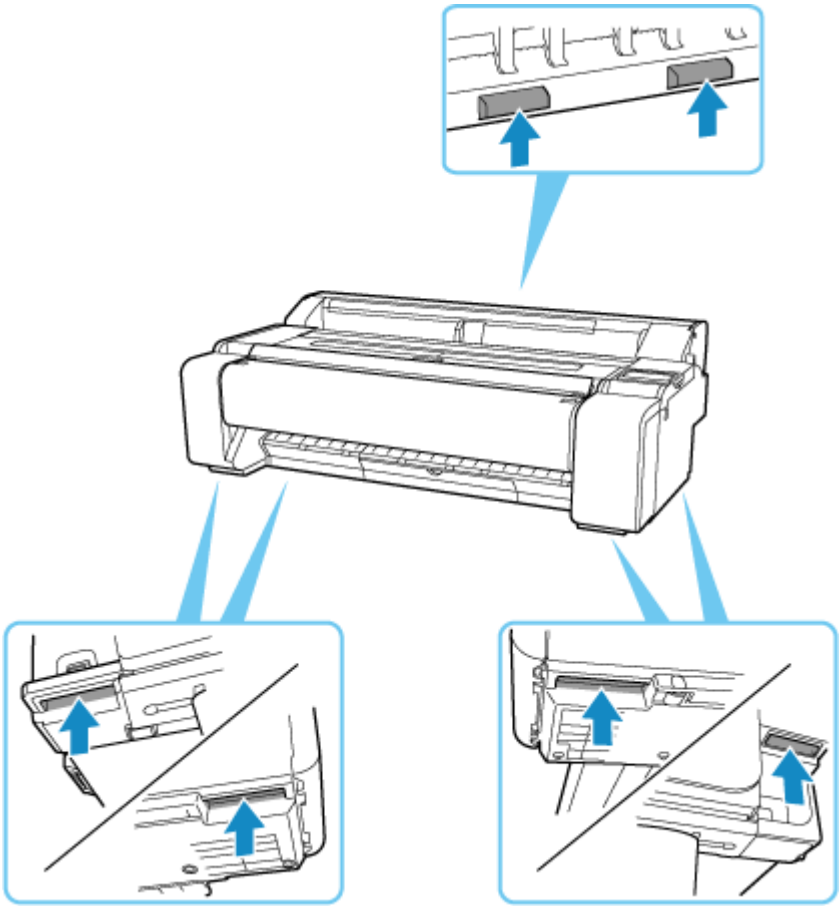
プリンターを再設置する

ここでは、プリンターの再設置の流れを簡単に説明します。

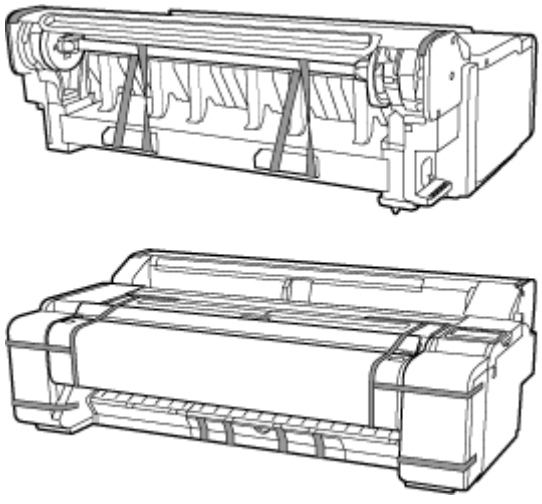
詳しい手順については、設置ガイドを参照してください。

⚠注意

- プリンターを持ち運ぶときは、必ず 3 人以上で持ち、腰などを痛めないように注意してください。
- プリンターを持ち運ぶときは、運搬用グリップをしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。



1. プリンター本体に取り付けられているテープや梱包材を取り除く



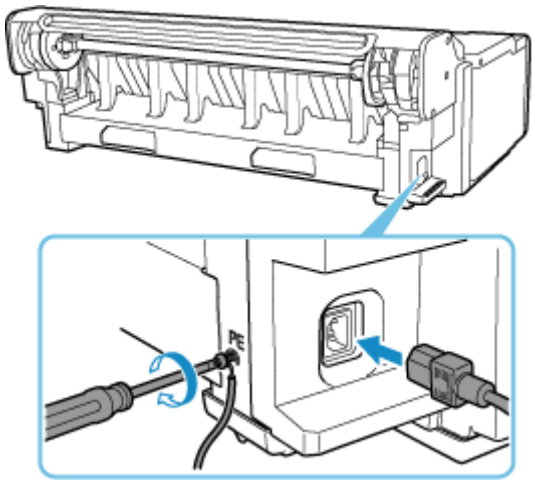
2. **スタンドを使用する場合は、スタンドに同梱されているプリンタースタンドセットアップガイドを参照して、スタンドを組み立てる**

⚠ 注意

- スタンドは、必ず 2 人以上で、平らな場所を利用して組み立ててください。1 人で作業すると、けがの原因になったり、スタンドの歪みの原因になります。
- スタンドを組み立てる際は、4 つのキャスターのロックをすべてオンにしてください。設置場所に傷が付いたり、けがの原因になります。
- スタンドを移動するときは、バスケットが床に擦れないように注意し、4 つのキャスターのロックをすべてオフにして動かしてください。バスケットの破損や床の傷、けがの原因になります。
- スタンドにプリンターを載せるときは、スタンドの 4 つのキャスターのロックをすべてオンにしてください。キャスターがロックされていない状態でスタンドにプリンターを載せると、けがの原因になります。

3. **デスクトップバスケットを使用する場合は、デスクトップバスケットセットアップガイドを参照して、デスクトップバスケットをプリンター本体に取り付ける**

4. **プリンター右側面のアース端子に市販のドライバーを使ってアース線を取り付け、プリンター右側面の電源コード接続部に電源コードを差し込む**



5. **アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続する**

6. **プリンターの電源を入れる**

➡ 電源を入れる／切る

7. **［再設置メニュー］で［プリンターの再設置］を選ぶ**

8. **メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ**

9. **インクタンクカバーを開き、すべてのインクタンクを取り付ける**

➡ インクタンクを取り付ける

10. **ソフトウェアをインストールする**

ご使用の接続方法により、インストール手順が異なりますので注意してください。

- プリンタードライバーをインストールする（Windows）
- プリンタードライバーをインストールする（macOS）

重要

- TCP/IP(ネットワーク)接続で使用する場合、プリンターを再設置したときにプリンターの IP アドレスが変更されることがあります。

  プリンターの IP アドレスが変更された場合は、必ずプリンターの IP アドレスを設定し直してください。

ファームウェアをアップデートする

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。

プリンターの使用環境に応じて、インターネット経由またはパソコン経由でファームウェアをアップデートします。

重要

- ファームウェアのアップデートには、管理者権限が必要です。
- IPv6 環境の場合は、ファームウェアをアップデートできません。プリンターとパソコンを USB 接続し、パソコン経由でアップデートします。

インターネット経由でファームウェアをアップデートする

インターネット経由のアップデートは、操作パネルを使用して行います。

重要

- この機能を使用する前に、プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- パソコンからリモート UI を使用してアップデートすることはできません。

1. ホーム画面で［ファームウェア更新］を選ぶ

キヤノンのサーバーにアクセスし、新しいファームウェアがあるかどうかを確認します。［お使いのファームウェアは最新です。］と表示された場合は、アップデートは不要です。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を選びます。

2. 利用許諾画面で［同意する］を選ぶ

ファームウェア更新の確認画面が表示されます。

3. ［OK］を選ぶ

ファームウェアのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると、プリンターが自動的に再起動し、ファームウェアがアップデートされます。

重要

- 再起動が完了するまでプリンターの電源は切らないでください。

パソコン経由でファームウェアをアップデートする

有線 LAN または USB でプリンターと接続されているパソコンからファームウェアをアップデートします。

重要

- Wi-Fi 接続では、パソコン経由でファームウェアをアップデートすることはできません。

パソコンからのアップデート方法

ファームウェアに同梱されている「User Support Tool 操作ガイド」を参照してください。

重要

- プリンターを更新待機状態（ダウンロードモード）にする必要がある場合：

［メニュー］→［管理設定］→［リモート UI 設定/ファームウェア更新］→［ファームウェア更新］→［PC 経由］→［はい］

この操作は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して操作することはできません。

よくあるご質問

カテゴリーから探す

印刷品質



ムラ、スジ、かすれ

- 印刷がかすれる
- 色味の違うスジが入る
- 色ムラが発生する
- 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る



汚れ

- プリントヘッドが用紙にこすれる
- 用紙の端が汚れる
- 用紙の表面が汚れる
- 用紙の裏面が汚れる
- フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる



色味が異なる

- 色味が違って印刷される
- モノクロで印刷される



線

- 線の太さが均一に印刷されない
- 罫線のずれや色ずれが起こる

その他

- 印刷画像の排紙方向の長さが正確でない
- 用紙に対して斜めに印刷される
- 余白が多い
- フチなし印刷でフチが出る
- ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく
- 用紙先端にくぼんだような跡が付く

印刷設定

- フチなし（ふちなし）で印刷したい
- 垂れ幕や横断幕を簡単に作成したい
- 両面印刷はできますか
- 拡大印刷したい
- HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される
- HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される

ネットワーク

セットアップできない

- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- ［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された

プリンターが見つからない

- ネットワークにプリンターが見つからない
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する

ネットワーク環境で印刷できない

- TCP／IP ネットワークで印刷できない
- Bonjour ネットワークで印刷できない
- AirPrint で印刷できない
- 突然プリンターと通信できなくなった

用紙

用紙のつまり

- ロール紙のつまりを取り除く
- カット紙のつまりを取り除く
- 用紙のつまりを取り除く（給紙口内部）

給紙

- ロール紙が給紙口に入らない
- カット紙をセットできない
- 印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない
- 用紙種類の推定結果と、セットした用紙の種類が一致しない
- 透過性が高い用紙の幅を検知できない
- 残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った／不足した

排紙

- 用紙が白紙で排紙される
- ロール紙が排出され続ける
- 印刷済みの用紙がバスケットでうまく受け止められない

カット

- 用紙がカットされない
- 用紙をきれいにカットできない
- 用紙カットの途中でカッターが動かなくなった
- ロール紙のカット設定について知りたい
- インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい
- 用紙先端が自動でカットされてしまう／用紙先端のカット量が多い

本体

動作不良

- 電源が入らない
- 印刷データを送信してもプリンターが動かない
- 異常音かなと思ったときには

パネル表示

- メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない
- 操作パネルのデータランプが点灯しない
- 印刷が途中で止まり、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される
- カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される

インク

- インクが異常に消費される
- インク残量検知機能について
- ストップレスインクタンク交換に対応していますか

仕様

- このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい／どの用紙の種類を選べばよいかわからない

ソフトウェア

- macOS15 以降でソフトウェアが動作しない
- プリンタードライバーがインストールできない（Windows）
- [リモート UI にアクセスできません。] が表示された

スキャン／コピー

原稿給紙

- 原稿のつまりを取り除く
- 原稿サイズが正しく認識されない
- 原稿の搬送が停止する

出力結果

- コピー／スキャンで汚れや黒い点が出る
- コピー／スキャンでスジが入る
- コピー／スキャンで色ムラが発生する
- コピー／スキャンで排紙方向の長さが正確でない
- コピー／スキャンで画像がずれる
- コピー／スキャンで画像がぼやける
- コピー／スキャンで原稿と画像の色味が合わない
- コピー／スキャンで画像の白飛びや黒つぶれが起きる
- コピー／スキャンでモアレが発生する

印刷データを送信してもプリンターが動かない

チェック 1 ［印刷の一時停止］が［する］に設定されていませんか

タッチスクリーンのメニューで［印刷の一時停止］を［しない］に設定します。

➡ 印刷を一時停止状態にする

チェック 2 ネットワーク接続設定は正しいですか

タッチスクリーンのメニューで［ネットワーク］を選び、設定を確認してください。

➡ ネットワーク

印刷が途中で止まり、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される

エラーメッセージに表示された対処を実施しても解決できない場合は、ロール紙が搬送できずに止まっている可能性があります。

チェック 1 搭載したロール紙がプリンターの部品などに触れていませんか

搭載したロール紙がプリンターの部品などに触れている場合は、ロール紙を搭載しなおしてください。

➡ ロール紙をプリンターから取り外す

チェック 2 使用可能なロール紙ですか

ご使用のプリンターで使用可能なロール紙の外径、用紙厚さを確認してください。

➡ 用紙のサイズ

プリンタードライバーがインストールできない（Windows）

- **セットアップ CD-ROM を DVD/CD-ROM ドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：**

  次の手順に従ってインストールを開始してください。

  1. 以下のように選ぶ

  - Windows 11 をご使用の場合は、［スタート］→［エクスプローラー］をクリックし、左メニューから［PC］をクリックします。
  - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］→［エクスプローラー］をクリックし、左メニューから［PC］をクリックします。
  - Windows 8.1 をご使用の場合は、デスクトップのタスクバーにある［エクスプローラー］アイコンを選び、左側の一覧から［PC］を選びます。
  - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コンピューター］を選びます。

  2. 開いたウィンドウにある  「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする

  CD-ROM の内容が表示された場合は、［EasySetup.exe］をダブルクリックしてください。

  セットアップ CD-ROM からプリンタードライバーがインストールできない場合は、ウェブページからインストールしてください。

参考

- CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  - CD-ROM をパソコンから取り出して、再度セットする
  - パソコンを再起動する

  それでも「CD-ROM」アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかの CD-ROM を表示できるか確認してください。ほかの CD-ROM が表示できる場合は、セットアップ CD-ROM に異常があります。お客様相談センターにお問い合わせください。

- **［プリンターの接続］画面で止まってしまうとき：**



➡ ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）

- **それ以外のとき：**

プリンタードライバーをインストールし直してください。

プリンタードライバーが正しくインストールされなかった場合は、プリンタードライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、プリンタードライバーを再インストールしてください。

➡ 不要になったプリンタードライバーを削除する

プリンタードライバーを再インストールする場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページからプリンタードライバーをインストールしてください。

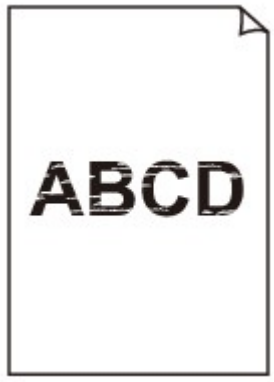
参考

- インストーラーが強制終了した場合は、パソコンを再起動して再インストールしてください。

印刷品質のトラブル

- 印刷がかすれる
- 色味の違うスジが入る
- 色ムラが発生する
- 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る
- プリントヘッドが用紙にこすれる
- 用紙の端が汚れる
- 用紙の表面が汚れる
- 用紙の裏面が汚れる
- フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる
- 色味が違って印刷される
- モノクロで印刷される
- 線の太さが均一に印刷されない
- 罫線のずれや色ずれが起こる
- 印刷画像の排紙方向の長さが正確でない
- 用紙に対して斜めに印刷される
- 余白が多い
- フチなし印刷でフチが出る
- ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく
- 用紙先端にくぼんだような跡が付く

印刷がかすれる



チェック 1 用紙の裏面に印刷していませんか

用紙の表面に印刷します。

チェック 2 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、タッチスクリーンのメニューで［自動ノズルチェック］を［OFF］以外に設定します。

  また、ノズルチェックの結果により警告を表示させる場合は、タッチスクリーンのメニューで［ノズルチェックのエラー表示］を［する］に設定します。

  ただし、［する］に設定すると、警告の内容により印刷が停止することがあります。

  ➡ 自動メンテナンス設定

チェック 3 インクタンクを取り外したままプリンターを放置していませんか

インクタンクを取り外したまま放置すると、インク供給部にインクがつまってしまうことがあります。

この場合は、インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、［ヘッドクリーニング］を実行してください。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

チェック 4 プリンター内部に、つまった用紙の紙片が残っていませんか

プリンター内部に残っている紙片を取り除いてください。

➡ ロール紙のつまりを取り除く
➡ カット紙のつまりを取り除く

チェック 5 インクが乾燥する前に、用紙をカットしていませんか

タッチスクリーンのメニューで、［用紙関連の設定］の［用紙の詳細設定］から［スキャン間で休止する］または［ページ間で休止する］の設定時間を長くします。

➡ インク乾燥時間を設定する

チェック 6 写真やポスターを印刷する場合、［印刷目的］を正しく設定していますか

次のいずれかの対処を実施してください。

- プリンタードライバーの［印刷目的］を［写真（カラー）］または［ポスター］に変更してください。
  ➡ 印刷目的を設定して印刷する
- タッチスクリーンのメニューで［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［印刷設定の既定値］→［画質設定］→［印刷目的］の設定を［写真］に変更してください。（この対処はプリンタードライバーの［用紙の種類］が［自動(プリンター設定に従う)］の場合のみ有効です）

チェック 7 プリンタードライバーの［印刷品質］が低い品質の設定になっていませんか

以下の手順で［印刷品質］をより高品質の設定にして印刷してください。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［詳細設定モード］で［印刷品質］の設定を変更します。

  ➡ 印刷品質の変更や画像データの補正（Windows）
- macOS の場合

  プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］で［印刷品質］の設定を変更します。

  ➡ 印刷品質の変更や画像データの補正（macOS）

チェック 8 カット屑が出やすい用紙に印刷していませんか

タッチスクリーンのメニューで、［用紙の詳細設定］の［カット屑軽減］を［する］に設定します。

➡ ロール紙のカット屑を軽減する

色味の違うスジが入る



チェック 1 プリントヘッドのノズルがつまっていないか確認してください

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

- ノズルのつまりをチェックする

参考

- ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、タッチスクリーンのメニューで［自動ノズルチェック］を［OFF］以外に設定します。

  また、ノズルチェックの結果により警告を表示させる場合は、タッチスクリーンのメニューで［ノズルチェックのエラー表示］を［する］に設定します。

  ただし、［する］に設定すると、警告の内容により印刷が停止することがあります。

  - 自動メンテナンス設定

チェック 2 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 3 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 4 用紙の送り量を正しく調整していますか

用紙の送り量を調整します。

➡ 色味の違う横スジを自動で調整する
➡ 罫線の長さを調整する

チェック 5 写真やポスターを印刷する場合、［印刷目的］を正しく設定していますか

次のいずれかの対処を実施してください。

- プリンタードライバーの［印刷目的］を［写真（カラー）］または［ポスター］に変更してください。
  ➡ 印刷目的を設定して印刷する
- タッチスクリーンのメニューで［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［印刷設定の既定値］→［画質設定］→［印刷目的］の設定を［写真］に変更してください。（この対処はプリンタードライバーの［用紙の種類］が［自動(プリンター設定に従う)］の場合のみ有効です）

チェック 6 ［印刷品質］の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります

以下の手順で［印刷品質］の設定を最も高い品質に設定して印刷してください。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［詳細設定モード］で［印刷品質］の設定を変更します。

  ➡ 印刷品質の変更や画像データの補正 （Windows）
- macOS の場合

  プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］で［印刷品質］の設定を変更します。

  ➡ 印刷品質の変更や画像データの補正 （macOS）

チェック 7 タッチスクリーンのメニューで［優先設定］を［長さ優先］に設定していませんか

［紙送り調整］の［優先設定］を［画質優先］に設定すると、印刷品質が改善される場合があります。

➡ 画質調整

チェック 8 プリントヘッドの位置がずれていないか確認してください

プリントヘッドの位置を調整します。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

チェック 9 印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていない可能性があります

他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。

色ムラが発生する



チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- 用紙の種類を変更する

チェック 3 プリントヘッドの位置が正しく調整されていますか

プリントヘッドの位置を調整します。

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

チェック 4 用紙の送り量が正しく調整されていますか

用紙の送り量を調整します。

- 色味の違う横スジを自動で調整する
- 罫線の長さを調整する

チェック 5 写真やポスターを印刷する場合、[印刷目的]を正しく設定していますか

次のいずれかの対処を実施してください。

- プリンタードライバーの[印刷目的]を[写真(カラー)]または[ポスター]に変更してください。
  - 印刷目的を設定して印刷する
- タッチスクリーンのメニューで[ファンクション設定]→[プリンター]→[プリンター仕様設定]→[印刷設定の既定値]→[画質設定]→[印刷目的]の設定を[写真]に変更してください。(この対処はプリンタードライバーの[用紙の種類]が[自動(プリンター設定に従う)]の場合のみ有効です)

チェック 6 [印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります

Windows の場合は、プリンタードライバーの[基本設定]で[詳細設定モード]を選択し、[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。

macOS の場合は、プリンタードライバーの[品位と用紙の種類]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。

- 印刷品質の変更や画像データの補正 (Windows)
- 印刷品質の変更や画像データの補正 (macOS)

チェック 7 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルのつまりをチェックしてください。

- ノズルのつまりをチェックする

チェック 8 画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります

画像に濃い部分と薄い部分がある場合、同一ページ内で、双方向印刷と片方向印刷を切り替えながら印刷します。そのため、切り替え時に色ムラが発生することがあります。この場合、片方向印刷機能を使用することで色ムラを軽減できる可能性があります。

片方向印刷は、以下の手順で使用できます。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの[基本設定]から[用紙の詳細設定]を開き、[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。

  - [基本設定]シートの画面説明
- macOS の場合

  プリンタードライバーの[用紙の詳細設定]で[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。

  - 用紙の詳細設定

チェック 9 フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります

プリンタードライバーの[オートカット]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。

参考

- プリンタードライバーの［詳細設定モード］の［印刷品質］で、より高品質の設定を選択することで解消される場合もあります。
  - 印刷品質の変更や画像データの補正 （Windows）
  - 印刷品質の変更や画像データの補正 （macOS）

チェック 10 カールしやすい用紙に印刷していませんか

カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。タッチスクリーンのメニューで用紙の吸着力が強くなるよう［搬送部の吸着力］の設定値を変更するか、用紙の先端に 20 mm 以上の余白を設定します。

- 用紙の吸着力を変更する

チェック 11 印刷物を重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります

色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをお勧めします。

チェック 12 タッチスクリーンのメニューで［スキャン間で休止する］の［インク乾燥の対象領域］を［先端］に設定していませんか

［スキャン間で休止する］の［インク乾燥の対象領域］が［先端］に設定されている場合、用紙の先端から約 140 mm までの位置に色ムラが発生することがあります。（位置は［印刷品質］の設定により異なります）

タッチスクリーンのメニューで、［用紙関連の設定］→［用紙の詳細設定］→［スキャン間で休止する］→［インク乾燥の対象領域］を選んで、［全面］に設定します。

ただし、印刷に時間がかかるようになります。

- インク乾燥時間を設定する

チェック 13 AirPrint や Mopria でカット紙を印刷していませんか（macOS）

AirPrint や Mopria でカット紙を印刷すると、用紙の後端に色ムラやスジが発生することがあります。AirPrint や Mopria でカット紙を印刷する場合は、タッチスクリーンのメニューで［用紙関連の設定］→［カット紙後端に推奨余白を確保］をタップして、［する］に設定してください。

- 用紙関連の設定

参考

- ［カット紙後端に推奨余白を確保］を［する］にすると、用紙後端の余白が大きくなります。

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る



チェック 1 プラテン上での用紙の吸着力が強すぎる可能性があります

タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を現在の設定値より弱く設定してみてください。

- 用紙の吸着力を変更する

チェック 2 プリントヘッドの位置が正しく設定されているか確認してください

光沢・半光沢系のフォト用紙などに対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドの位置を調整してください。

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

タッチスクリーンのメニューで［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］を現在の設定値より低く設定することで改善される場合もあります。

- プリントヘッドの高さを変更する

チェック 3 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。

- [情報の取得...] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 4 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 5 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

プリントヘッドのクリーニングを実施します。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドが用紙にこすれる



チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- 用紙の種類を変更する

チェック 3 用紙を正しくセットしていますか

用紙が正しくセットされていないと用紙が波打ち、プリントヘッドとこすれる場合があります。

用紙をセットし直してください。

- ロール紙をプリンターにセットする

➡ カット紙をプリンターにセットする

チェック 4 プリントヘッドの高さが低く設定されていませんか

タッチスクリーンのメニューで［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］を現在の設定値より高く設定します。

➡ プリントヘッドの高さを変更する

チェック 5 厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷していませんか

- 厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を［やや強い］または［強い］に設定します。
- トレーシングペーパー（CAD）のようにフィルムベースの用紙の場合は、タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を［標準］、［やや強い］、または［強い］に設定します。
- 厚さが 0.1 mm 以下の薄い用紙の場合は、タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を［弱い］に設定します。

それでもこすれる場合は、タッチスクリーンのメニューで［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］を現在の設定値より高く設定します。

➡ 用紙の吸着力を変更する
➡ プリントヘッドの高さを変更する

チェック 6 用紙先端のカールが強い、または波打っている用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで［カットモード］を［ユーザーカット］に設定し、［用紙の先端を検知しない］に設定してください。

ロール紙の残量を管理する場合は、ロール紙をセットする前に、［ロール紙残量管理］を［用紙残量推定機能で管理］または［無効］に設定し、ロール紙をセットしてから［ロール紙残量管理］を［用紙残量推定機能で管理］または［バーコードで管理］に再設定します。

さらに、［用紙種類の選択方法］は［手動選択］または［固定］に設定します。

➡ ロール紙のカット方法を設定する
➡ ロール紙の残量を管理する

チェック 7 普通紙を使用している場合、プリンタードライバーから設定を変更すると改善する可能性があります

- ［目的設定モード］の場合

  ［印刷目的］を［写真 (カラー)］または［ポスター］に設定します。

  ➡ 印刷目的を設定して印刷する

- ［詳細設定モード］の場合

  ［優先画質］を［写真・イラスト］に設定します。

  ➡ 詳細設定モードを使用して印刷する

チェック 8 ロール紙を使用している場合、推奨用紙や推奨環境で使用していますか

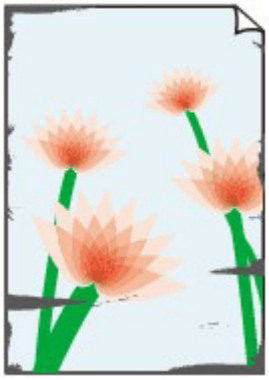
推奨していないロール紙や、そのロール紙の推奨環境以外で使用すると、カールが大きくなりヘッドがこすれる場合があります。推奨用紙および推奨環境で使用してください。

➡ 用紙設定一覧（ロール紙）

チェック 9 用紙の先端部や後端部がこすれていますか

用紙の先端部がこすれている場合は先端部に余白を設定して印刷してください。用紙の後端部がこすれている場合は後端部に余白を設定して印刷してください。

用紙の端が汚れる



チェック 1 フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷していませんか

フチなし印刷や小さなサイズの用紙に印刷すると、プラテンが汚れることがあります。

トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

チェック 2 タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］が多くありませんか

はみ出し量が多いとプラテンが汚れることがあります。

タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］を現在の設定よりも少ない方へ設定してください。

➡ フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する

チェック 3 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする
➡ カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。

- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 4 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 5 用紙にしわやカールがありませんか

しわやカールを取ってから、用紙をセットし直します。一度印刷した用紙は使用しないでください。

➡ ロール紙をプリンターにセットする
➡ カット紙をプリンターにセットする

チェック 6 タッチスクリーンのメニューで［用紙の詳細設定］の［カット屑軽減］を［する］に設定していませんか

［カット屑軽減］を［する］にすると、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されます。

カット屑軽減機能が必要ない場合は、［カット屑軽減］を［しない］に設定します。

➡ ロール紙のカット屑を軽減する

チェック 7 タッチスクリーンのメニューでプリントヘッドの高さを低く設定していませんか

［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］を現在の設定値より高く設定します。

➡ プリントヘッドの高さを変更する

チェック 8 厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙を使用していませんか

- 厚口コート紙のような紙ベースの用紙の場合は、タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を［やや強い］または［強い］に設定します。
- トレーシングペーパーのようなフィルムベースの用紙の場合は、タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を［標準］、［やや強い］または［強い］に設定します。

それでもこすれる場合は、タッチスクリーンのメニューで［紙の厚さ(ヘッドの高さ)］を現在の設定値より高く設定します。

➡ 用紙の吸着力を変更する
➡ プリントヘッドの高さを変更する

チェック 9 排紙ガイドが汚れていませんか

排紙ガイドを清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

チェック 10 普通紙を使用している場合、プリンタードライバーから設定を変更すると改善する可能性があります

- ［目的設定モード］の場合

  ［印刷目的］を［写真 (カラー)］または［ポスター］に設定します。

  ➡ 印刷目的を設定して印刷する

- ［詳細設定モード］の場合

  ［優先画質］を［写真・イラスト］に設定します。

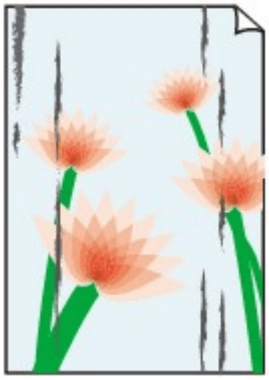
  ➡ 詳細設定モードを使用して印刷する

チェック 11 ロール紙を使用している場合、推奨用紙や推奨環境で使用していますか

推奨していないロール紙や、そのロール紙の推奨環境以外で使用すると、カールが大きくなりヘッドがこすれる場合があります。推奨用紙および推奨環境で使用してください。

➡ 用紙設定一覧（ロール紙）

用紙の表面が汚れる



チェック 1 用紙押さえが汚れていませんか

用紙押さえを清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

チェック 2 普通紙を使用していませんか

用紙の種類を速乾性を高めた［普通紙(速乾　弱)］または［普通紙(速乾　強)］に設定します。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 3 コート紙を使用していませんか

用紙の種類を速乾性を高めた［コート紙(速乾)］に設定します。

チェック 4 乾きにくい用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで［ページ間で休止する］および［スキャン間で休止する］を現在の設定値より長い時間に設定します。

➡ インク乾燥時間を設定する

参考

- 乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。

  このような場合は、タッチスクリーンのメニューで［スキャン間で休止する］の［インク乾燥待ち時間］と［インク乾燥の対象領域］を設定します。

  ただし、印刷に時間がかかるようになります。

- 高温多湿の環境で色の濃い部分のある画像を印刷した用紙を巻き取ると、インクが接触面に転写して印刷品質が低下する場合があります。

  プリンターの設置環境を変えるか、印刷した用紙をすぐに巻き取らずに、しばらく乾燥させてから巻き取るようにしてください。

チェック 5 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする
➡ カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 6 プリンタードライバーまたはタッチスクリーンで選択した用紙の種類と、実際にセットした用紙の種類が一致していますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 7 白紙を通紙させることで汚れが落ちる可能性があります

タッチスクリーンから、紙送りを実行してください。

➡ ロール紙を手動で送る

チェック 8 普通紙を使用している場合、プリンタードライバーの設定を変更すると改善する可能性があります

- ［目的設定モード］の場合

  ［印刷目的］を［写真 (カラー)］または［ポスター］に設定します。

  ➡ 印刷目的を設定して印刷する

- ［詳細設定モード］の場合

  ［優先画質］を［写真・イラスト］に設定します。

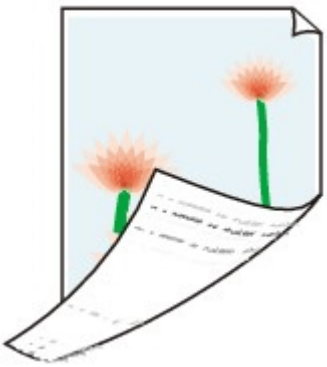
  ➡ 詳細設定モードを使用して印刷する

チェック 9 ロール紙を使用している場合、推奨用紙や推奨環境で使用していますか

推奨していないロール紙や、そのロール紙の推奨環境以外で使用すると、カールが大きくなりヘッドがこすれる場合があります。推奨用紙および推奨環境で使用してください。

➡ 用紙設定一覧（ロール紙）

用紙の裏面が汚れる



チェック 1 直前にフチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷していませんか

トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

チェック 2 タッチスクリーンのメニューで［用紙の幅を検知する］が［無効］に設定されている状態で印刷していませんか

［用紙の幅を検知する］が［無効］のまま印刷すると、プラテンが汚れることがあります。

タッチスクリーンのメニューで［用紙の幅を検知する］を［有効］に設定してから、トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

［用紙の幅を検知する］を［無効］のまま印刷する場合は、トップカバーを開いてプラテンを清掃してから、ロール紙を手動でプラテン上に送って印刷します。

➡ トップカバー内部を清掃する
➡ ロール紙を手動で送る

チェック 3 プラテン上での用紙の吸着力が弱い可能性があります

タッチスクリーンのメニューで［搬送部の吸着力］を現在の設定値より強く設定します。

➡ 用紙の吸着力を変更する

チェック 4 タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］が多くありませんか

はみ出し量が多いとプラテンが汚れることがあります。

タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］を現在の設定よりも少ない方へ設定してください。

➡ フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する

チェック 5 普通紙を使用していませんか

用紙の種類を速乾性を高めた［普通紙(速乾　弱)］または［普通紙(速乾　強)］に設定します。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 6 コート紙を使用していませんか

用紙の種類を速乾性を高めた［コート紙(速乾)］に設定します。

チェック 7 乾きにくい用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで［ページ間で休止する］および［スキャン間で休止する］を現在の設定値より長い時間に設定します。

➡ インク乾燥時間を設定する

プラテンが汚れている場合は、トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

参考

- 乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。

  このような場合は、タッチスクリーンのメニューで［スキャン間で休止する］の［インク乾燥待ち時間］と［インク乾燥の対象領域］を設定します。

  ただし、印刷に時間がかかるようになります。
- 高温多湿の環境で色の濃い部分のある画像を印刷した用紙を巻き取ると、インクが接触面に転写して印刷品質が低下する場合があります。

  プリンターの設置環境を変えるか、印刷した用紙をすぐに巻き取らずに、しばらく乾燥させてから巻き取るようにしてください。

チェック 8 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする
➡ カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ かんたんな設定で印刷する（Windows）
➡ かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 9 プリンタードライバーまたはタッチスクリーンで選択した用紙の種類と、実際にセットした用紙の種類が一致していますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをお勧めします。

➡ トップカバー内部を清掃する

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する

チェック 10 白紙を通紙させることで汚れが落ちる可能性があります

タッチスクリーンから、紙送りを実行してください。

➡ ロール紙を手動で送る

フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる



使用環境によっては、ロール紙の先端や後端を自動的にカットさせる設定でフチなし印刷を実行すると、カッターブレードに付着したインクが次の印刷物に転写することがあります。

タッチスクリーンの［ページ間で休止する］でインク乾燥時間を 30 秒～3 分程度に変更してから、フチなし印刷を実行してください。

➡ インク乾燥時間を設定する

色味が違って印刷される



チェック 1 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

チェック 2 写真やポスターを印刷する場合、［印刷目的］を正しく設定していますか

次のいずれかの対処を実施してください。

- プリンタードライバーの［印刷目的］を［写真（カラー）］または［ポスター］に変更してください。

  ➡ 印刷目的を設定して印刷する
- タッチスクリーンのメニューで［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［印刷設定の既定値］→［画質設定］→［印刷目的］の設定を［写真］に変更してください。（この対処はプリンタードライバーの［用紙の種類］が［自動(プリンター設定に従う)］の場合のみ有効です）

チェック 3 プリンタードライバーでカラー調整を行いましたか

以下の手順でカラー調整を行います。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［詳細設定モード］で［カラーモード］の［色設定］で色を調整します。

  ➡ ［基本設定］シートの画面説明 （Windows）
- macOS の場合

  プリンタードライバーの［カラーオプション］で色を調整します。

  ➡ カラーオプション （macOS）

チェック 4 Windows 用のプリンタードライバーで［アプリケーションのカラーマッチングを優先］が［オフ］になっていませんか

プリンタードライバーの［レイアウト］シートで［処理オプション］をクリックし、表示されたダイアログで［アプリケーションのカラーマッチングを優先］を［オン］にします。

➡ ［レイアウト］シートの画面説明 （Windows）

チェック 5 コンピューターやモニターのカラー調整を行いましたか

以下の対処を試してください。

- コンピューターやモニターのマニュアルを参照して、コンピューターやモニターのカラー調整を実行します。
- カラーマネジメントソフトウェアのマニュアルを参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。

チェック 6 プリントヘッドを交換しましたか

プリントヘッドを交換すると、プリントヘッドの個体差により色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 7 プリントヘッドの特性が変化した可能性があります

繰り返し使用するうちに、プリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 8 同一機種のプリンターでも、ファームウェアやプリンタードライバーのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります

以下の手順でプリンターの使用環境を揃えます。

1. ファームウェアやプリンタードライバーのバージョンを同じものに揃える
2. 各設定項目を同じ設定にする
3. カラーキャリブレーションを実行する

   ➡ カラーキャリブレーションを行う

チェック 9 プリンタードライバーを再インストールするときに Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）の地域選択が変更されていませんか

Media Configuration Tool の地域選択を変更すると、インストール前にプリンターに登録されていた地域限定の用紙情報は削除されます。情報が削除された用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。

新しく選択した地域に合ったカラーキャリブレーションに対応している用紙で、カラーキャリブレーションをやり直します。

➡ カラーキャリブレーションを行う

モノクロで印刷される



チェック 1 Windows 用プリンタードライバーの［カラーモード］が［モノクロ］、または［印刷目的］が［CAD（モノクロ線画）］に設定されていませんか

プリンタードライバーの［詳細設定モード］の［カラーモード］で［カラー］を選択し、印刷し直します。

➡ ［基本設定］シートの画面説明（Windows）

チェック 2 macOS 用プリンタードライバーの［カラーモード］が［モノクロ］に設定されていませんか

プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］の［カラーモード］で［カラー］を選択し、印刷し直します。

➡ 品位と用紙の種類（macOS）

チェック 3 プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

線の太さが均一に印刷されない



チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- 用紙の種類を変更する

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッドの位置を調整してください。

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

フォト用紙やプルーフ用紙の場合は、[紙の厚さ(ヘッドの高さ)]を現在の設定値よりも低く設定してから、再度、プリントヘッドの位置調整を行うと改善される場合があります。

➡ プリントヘッドの高さを変更する

チェック 4 32 ビット版 Windows 用プリンタードライバーの [処理オプション] ダイアログボックスで、［高速描画処理］が［オン］になっていませんか

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［印刷］から、プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスを開き、以下の設定で印刷してください。

ステップ 1 ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］のチェックを外す

ステップ 2 ［レイアウト］シートで、［ページレイアウト］のチェックを外す

ステップ 3 ［レイアウト］シートの［処理オプション］をクリックして開く［処理オプション］ダイアログボックスで、［高速描画処理］を［オフ］にする

罫線のずれや色ずれが起こる



チェック 1 プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッドの位置を調整してください。

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

フォト用紙やプルーフ用紙の場合は、[紙の厚さ(ヘッドの高さ)]を現在の設定値よりも低く設定してから、再度、プリントヘッドの位置調整を行うと改善される場合があります。

- プリントヘッドの高さを変更する

チェック 2 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック 3 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- 用紙の種類を変更する

チェック 4 プリントヘッドの傾きを調整してください

タッチスクリーンのメニューで［プリントヘッドの傾き調整］を選び、プリントヘッドの傾きを調整してください。

➡ 罫線のずれを調整する

チェック 5 ロール紙が斜めにセットされていませんか

ロール紙とロールホルダーの間に隙間があるときは、ロール紙をロールホルダーにセットし直します。

➡ ロール紙をプリンターにセットする

チェック 6 ［用紙の幅を検知する］を［無効］に設定していませんか

タッチスクリーンの［用紙関連の設定］メニューで［用紙の幅を検知する］を［有効］に設定してから、用紙をセットし直します。

➡ 用紙関連の設定

チェック 7 タッチスクリーンの［用紙関連の設定］メニューで［斜行検知精度］が［ゆるめ］または［しない］に設定されていませんか

［斜行検知精度］を［標準］に設定してから、用紙をセットし直します。

➡ 用紙関連の設定

チェック 8 ロール紙を使用している場合、推奨用紙や推奨環境で使用していますか

推奨していないロール紙や、そのロール紙の推奨環境以外で使用すると、カールが大きくなりヘッドがこすれる場合があります。推奨用紙および推奨環境で使用してください。

➡ 用紙設定一覧（ロール紙）

チェック 9 ［印刷品質］の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります

Windows の場合は、プリンタードライバーの［基本設定］で［詳細設定モード］を選択し、［印刷品質］で、より高品質の設定を選択します。

macOS の場合は、プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］の［印刷品質］で、より高品質の設定を選択します。

➡ 印刷品質の変更や画像データの補正 （Windows）
➡ 印刷品質の変更や画像データの補正 （macOS）

チェック 10 ［片方向印刷］を［無効］に設定していませんか

片方向印刷機能を使用することで罫線のずれを軽減できる可能性があります。片方向印刷は、以下の手順で使用できます。

- Windows の場合

  プリンタードライバーの［基本設定］から［用紙の詳細設定］を開き、［片方向印刷］チェックボックスをオンにします。

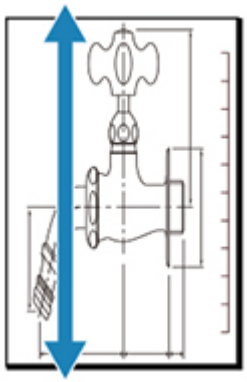
  ➡ ［基本設定］シートの画面説明

- macOS の場合

  プリンタードライバーの［用紙の詳細設定］で［片方向印刷］チェックボックスをオンにします。

  ➡ 用紙の詳細設定

印刷画像の排紙方向の長さが正確でない



チェック１ プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- かんたんな設定で印刷する（Windows）
- かんたんな設定で印刷する（macOS）

参考

- 用紙の種類で［自動(プリンター設定に従う)］が選ばれているときは、プリンターに設定された用紙の種類で印刷します。
- ［情報の取得...］をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

チェック２ プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- 用紙の種類を変更する

チェック３ 画質調整を実行して用紙の送り量を自動調整してください

［紙送り調整］から［画質調整］を実行し、調整用パターンを印刷することで用紙の送り量が自動調整されます。

- 色味の違う横スジを自動で調整する

チェック４ タッチスクリーンのメニューで、［紙送り調整］の［優先設定］を［画質優先］に設定していませんか

［紙送り調整］の［優先設定］を［長さ優先］に設定してから、［長さ調整］を実行します。

- 画質調整
- 罫線の長さを調整する

用紙に対して斜めに印刷される



チェック 1 ロール紙が斜めにセットされていませんか

ロール紙とロールホルダーの間に隙間があるときは、ロール紙をロールホルダーにセットし直します。

➡ ロール紙をプリンターにセットする

チェック 2 ［用紙の幅を検知する］を［無効］に設定していませんか

タッチスクリーンの［用紙関連の設定］メニューで［用紙の幅を検知する］を［有効］に設定してから、用紙をセットし直します。

➡ 用紙関連の設定

チェック 3 タッチスクリーンの［用紙関連の設定］メニューで［斜行検知精度］が［ゆるめ］または［しない］に設定されていませんか

［斜行検知精度］を［標準］に設定してから、用紙をセットし直します。

➡ 用紙関連の設定

余白が多い

チェック 1 オートカットを使用していて、印刷物の後端のみ余白が多いですか

カット不良や排紙不良を防ぐために、ロール紙が規定の長さ分送られてから、カットされました。

正常な動作です。

規定の長さは、用紙の種類や使用環境（湿度）により異なります。用紙情報一覧より、使用する用意の印刷時最小カット長を参照してください。

印刷物の長さが印刷時最小カット長より短い場合、最小カット長から印刷物の長さを引いた分だけ、余分な後端余白が発生します。

➡ 用紙設定一覧（ロール紙）

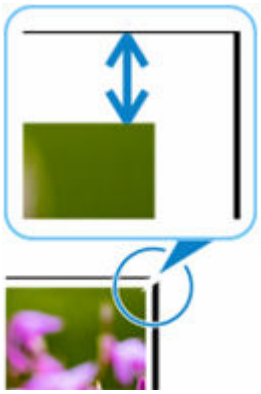
チェック 2 用紙先端検知を［検知しない］に設定していませんか

［カットモード］を［ユーザーカット］に設定し、［用紙の先端を検知する (推奨)］を選択してください。

ただし、［用紙の先端を検知する (推奨)］を選択すると、用紙のカールが強い場合、印刷開始時にプリントヘッドが用紙先端にこすれることがあります。

➡ ロール紙のカット方法を設定する

フチなし印刷でフチが出る



A

フチなし印刷で、紙端に白いスジやフチが出る場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリントヘッドの位置を調整しましたか

プリントヘッドの位置調整を行うと、より印刷精度が高くなります。

- 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

チェック 2 原寸大でフチなし印刷したときに、原稿サイズより幅の大きい用紙を選択していませんか

原寸大でフチなし印刷する場合は、原稿サイズの横幅と同じ幅のロール紙を使用してください。

- 原寸大のフチなしで印刷する （Windows）
- 原寸大のフチなしで印刷する （macOS）

チェック 3 原稿に余白がありませんか

原稿にトンボや透明なオブジェクトなどがないことを確認してください。

チェック 4 使用しているアプリケーションソフトで余白が設定されていませんか

使用しているアプリケーションソフトで、余白が設定されていないことを確認してください。

チェック 5 タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］が多くありませんか

タッチスクリーンのメニューで［フチなし時のはみ出し量］を現在の設定よりも少ない方へ設定してください。

- フチなし印刷をする時のはみ出し量を設定する

ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく

印刷中にロール紙がたるんでいないか確認してください。

ロール紙がたるむと、用紙の表面に傷がついたり、用紙にしわや折れが発生することがあります。

タッチスクリーンの［用紙関連の設定］メニューで［ロール紙テンション(印刷)］を［強い］に設定します。

用紙関連の設定

参考

- ［ロール紙テンション(印刷)］の設定値を変えた場合は、［紙送り調整］から［画質調整］を実行することをお勧めします。

  色味の違う横スジを自動で調整する

用紙先端にくぼんだような跡が付く

チェック プリンターにロール紙をセットしたまま印刷せずに長時間放置していませんか

プリンターにロール紙をセットしたまま印刷せずに長時間放置していると、次回ロール紙に印刷するときに、用紙の先端にくぼんだような跡が付く場合があります。

印刷品質を特に重視する場合は、印刷開始前に用紙の先端をカットすることをお勧めします。

ステータス画面から［用紙カット］→［はい］を選ぶと、用紙の先端が、最小カット長で自動的にカットされます。

➡ ロール紙をカットする

ネットワーク上でセットアップできない

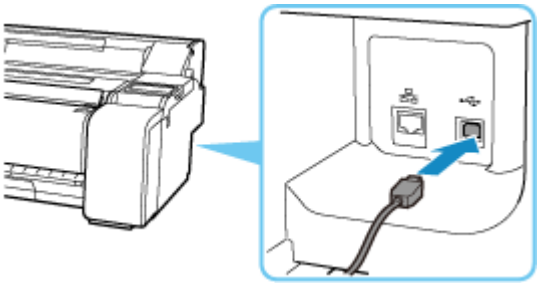
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- ［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された

[プリンターの接続]画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）

[プリンターの接続]画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンとプリンターを USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、プリンターに向かって右側面にあります。



以下のチェック項目は、[プリンターの接続]画面から先に進めない場合のみ確認してください。

チェック 2 以下の手順に従って、プリンターとパソコンの接続をやり直してください

重要

- macOS をご使用の場合は、[プリンタとスキャナ]の画面左下に、カギのアイコンがあるか確認してください。

  カギのアイコンが  （ロック）になっている場合は、アイコンをクリックしてロックを解除してください。（ロックを解除するには管理者の名前とパスワードが必要です。）

1. プリンターの電源を切る
2. プリンターとパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
3. プリンターの電源を入れる

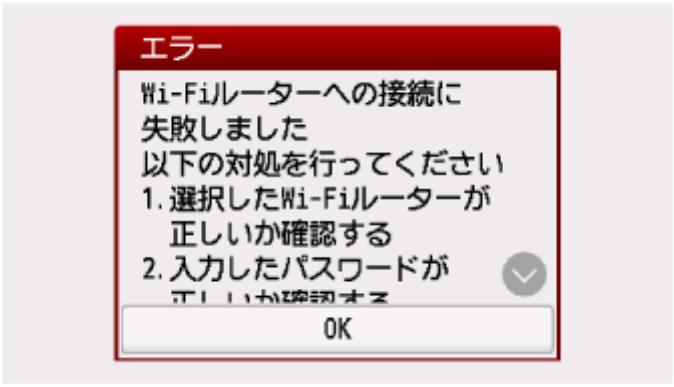
チェック 3 解決しない場合は、以下の手順に従ってインストールをやり直してください

1. セットアップを終了する
2. プリンターの電源を切る
3. パソコンを再起動する

4. 起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する

［Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました］と表示された

各チェックを実施するたびに、エラー画面の［OK］を選んでエラーを解除し、プリンターの設定を再度行ってください。



- セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合
- セキュリティ方式が無効の場合

セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合

チェック 1 入力した Wi-Fi ルーターのパスワードが正しいことを確認してください。

入力したパスワードが間違っていた場合は、正しいパスワードを入力してください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターの DHCP 機能が有効になっていない場合は、DHCP 機能を有効にして再度 Wi-Fi の設定を行ってください。

チェック 3 MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターで、MAC アドレスフィルタリングが設定されている場合は、タッチスクリーンのメニューで［環境設定］→［ネットワーク］→［ファイアウォール設定］→［MAC アドレスフィルター］の設定を［OFF］にしてください。

セキュリティ方式が無効の場合

チェック Wi-Fi ルーターの電源が入っていることを確認してください。

すでに入っている場合は、Wi-Fi ルーターの電源を入れ直して、問題が解決するか確認してください。

電源が入るまでは、本ガイドの画面を操作しないでください。Wi-Fi ルーターとの接続が一時的に切断されます。

ネットワーク上にプリンターが見つからない

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。

- **ネットワークにプリンターが見つからない**
- **セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する**

ネットワークにプリンターが見つからない

次のような場合は、プリンターのセットアップをやり直してください。

- パソコンまたは Wi-Fi ルーターを買い替えた場合
- Wi-Fi ルーターの設定を変更した場合
- プリンターの接続方法（無線 LAN（Wi-Fi）／USB）を変更した場合

➡ セットアップを行う

上記以外の場合：

接続する機器やネットワークの設定を変更していないにもかかわらず、プリンターが突然使えなくなった場合、またはセットアップの途中でプリンターが見つからない場合は、問題をネットワーク設定アシスタントで確認、解決してください。状態が改善したあとで、プリンターのセットアップをやり直してください。

ネットワーク設定アシスタントはネットワーク問題の強力な解決ツールです。

ステップ 1 ネットワークの基本項目を確認する

ステップ 2 ネットワーク設定アシスタントを使用して解決する

ステップ 3 解決ツールで問題が解決できない場合

ステップ 1：ネットワークの基本項目を確認する

チェック 1 電源を確認する

プリンターと、ネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の電源が入っているか確認してください。

セットアップ中の場合は、セットアップを中断して、Wi-Fi ルーター（モデム）→ プリンターの順番で確認します。

1. Wi-Fi ルーターなどのネットワーク機器の電源を確認する

   電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

   ネットワーク機器は、電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。

   Wi-Fi ルーターなどのネットワーク機器が使用できる状態になったら、次へ進みます。

2. プリンターの電源を確認する

   プリンターの電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでにプリンターの電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

ネットワーク機器とプリンターの電源を確認したら、次のチェックに進んでください。

チェック 2 パソコンのネットワーク接続を確認する

パソコンとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。

1. ネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定を確認する

   インターネットに接続して、任意のウェブページが閲覧できるか確認します。ご使用のパソコンから任意のウェブページが閲覧できない場合は、Wi-Fi ルーターの MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や DHCP 機能など、接続に関する設定を確認してください。

   プリンターが接続している Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

   ➡ プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

   参考

   - Wi-Fi ルーターの機種によっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合があります。
   - Wi-Fi ルーターの詳細や設定方法については、Wi-Fi ルーター付属の取扱説明書を参照するか、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

   暗号化の設定を行っている場合は、そのネットワーク名（SSID）の暗号化キーを設定してください。詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

2. パソコンのネットワーク設定を確認する

   パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属の取扱説明書を参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi ルーターとパソコンの設定が確認できたら、Wi-Fi ルーターの情報を基にして、パソコンから任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。

パソコンのネットワーク接続確認と上記の対処が終わったら、次のチェックに進んでください。

チェック 3 プリンターのネットワーク設定を確認する

➡ 無線 LAN（Wi-Fi）の場合

➡ 有線 LAN の場合

無線 LAN（Wi-Fi）の場合

プリンターのタッチスクリーンに  が表示されていることを確認してください。

 **が表示されている場合**

 は、Wi-Fi ルーターとプリンターが接続されていない状態を示しています。プリンターのネットワーク設定を確認してください。また、次のチェック項目で Wi-Fi ルーターとプリンターの設置場所を再検討してください。

 **が表示されている場合**

プリンターは無線 LAN（Wi-Fi）を使用する設定になっていません。

ホーム画面で［メニュー］→［環境設定］→［ネットワーク］→［有線 LAN/Wi-Fi 選択］の順に選び、［Wi-Fi］を選択してください。

有線 LAN の場合

1. 電源と LAN ケーブルを確認する

   LAN 接続を使ったセットアップのときに、セットアップの画面でプリンターが見つからないときは、すべてのネットワーク機器が LAN ケーブルでルーターやハブと接続されていて、かつ、すべての機器の電源が入っていることを確認します。

   - **LAN ケーブルが接続されていない場合**

     ルーターやハブと、パソコンやプリンターを LAN ケーブルで接続してください。

     プリンターの電源が入っていることを確認してください。

     ➡ 電源を入れる／切る

     プリンターの電源が確認できたら、ルーターやハブの電源が入っていることを確認してください。

   - **LAN ケーブルが接続されていて、プリンターと各機器の電源が入っていない場合**

     プリンターと各機器の電源を入れてください。

   - **プリンターと各機器が LAN ケーブルで接続されていて、電源が入っている場合**

     すでに電源が入っている場合は、電源を切ってから、電源を入れ直してください。

     参考

     - 電源を入れ直したあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れて、しばらくたったら、次へ進みます。

2. LINK ランプが点灯していることを確認する

   リンクしていると左側のランプが緑色に点灯します。

   データ通信中は右側のランプがオレンジ色に点滅します。

   LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。

   - **ハブの電源がオンになっていること**
   - **LAN ケーブルのコネクターが正しく接続されていること**

     LAN ケーブルは、カチッとロックするまで LAN ケーブル接続部に差し込んでください。

   - **LAN ケーブルに問題がないこと**

     問題がある場合は、LAN ケーブルを交換してください。

3. プリンターの有線 LAN 設定を確認する

   プリンターのタッチスクリーンに  が表示されていることを確認してください。

- **表示されていない場合**

  プリンターの有線 LAN の設定が有効になっていません。プリンターを有線 LAN で使用する設定に変更する必要があります。

  ホーム画面で［メニュー］→［環境設定］→［ネットワーク］→［有線/Wi-Fi 選択］の順に選び、［有線 LAN］を選択してください。

チェック 4 Wi-Fi ルーターの設置場所を確認する

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。

プリンターは Wi-Fi ルーターとの距離が見通し 50 m（164 ft.）以内の屋内で使用していただくものです。プリンターと Wi-Fi ルーターを適正な距離に近づけてください。

プリンターと Wi-Fi ルーターを、無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質によりプリンターと Wi-Fi で通信できない場合は、壁を挟まない場所でプリンターをお使いください。

また、Wi-Fi ルーターで使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

チェック 5 Wi-Fi ルーターの設定によっては、ネットワーク名（SSID）が表示されない場合があります

接続するには、ネットワーク名（SSID）を直接入力してください。

➡ プリンターで手動接続

ステップ 2：ネットワーク設定アシスタントを使用して解決する

ネットワーク設定アシスタントを利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールできます。

➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**

  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

- **macOS をご使用の場合：**

  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

ステップ 3：解決ツールで問題が解決できない場合

チェック 1 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアの設定を確認する

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用しているときに、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、キヤノンのソフトウェアからのアクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 2 AirMac とプリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）している場合、ネットワーク名（SSID）に半角英数字以外が使用されていないか確認する（macOS）

半角英数字以外の文字が入っていると、正しく接続されません。ネットワーク名（SSID）を半角英数字のみに変更してください。

チェック 3 プリンターの診断機能でネットワークトラブルを解決する

以下のページを参照してください。

➡ 突然プリンターと通信できなくなった

セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する

参考

- macOS 15 以降をご使用の場合は、アプリケーションごとに、ローカルネットワーク上にあるデバイスを検索できるように設定してください。デバイスを検索できるように設定しないと、ソフトウェアの起動や機能の一部が制限されることがあります。
  設定方法については、「ローカルネットワークのデバイス検索を設定する」を参照してください。

[プリンターの選択] 画面でプリンターが見つからない場合は、プリンターの IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索することもできます。[一覧にないときには] をクリックして表示された画面で、[IP アドレスを指定して検索] をクリックしてください。検索方法を指定する画面が表示されます。

1. プリンターの IP アドレスやホスト名を確認する

プリンターの IP アドレスやホスト名は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ 状況確認

参考

- オフィスなどでプリンターをご使用の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 検索方法を指定する

以下の検索方法を選びます。



A: IPv4 アドレスで検索

プリンターを IPv4 アドレスで検索する場合に選びます。

B: IPv6 アドレスで検索

プリンターを IPv6 アドレスで検索する場合に選びます。

C: ホスト名で検索

プリンターをホスト名で検索する場合に選びます。

3. IP アドレスまたはホスト名を入力し、［次へ］をクリックする

プリンターの検索が始まります。

エラー画面が表示されたとき

表示されたメッセージに従って対処してください。

指定した IP アドレスが他の機器で使用されている場合は、以下の手順でプリンターの IP アドレスを再設定してください。

1. ホーム画面で［メニュー］を選ぶ

2.［環境設定］を選ぶ

参考

- システム管理者のログイン画面が表示される場合は、システム管理部門 ID と暗証番号を入力してください。

3.［ネットワーク］を選ぶ

4.［TCP/IP 設定］を選ぶ

- **IPv4 アドレスを設定する場合：**

  #### 1.［IPv4 設定］を選ぶ

  #### 2.［IP アドレス設定］を選ぶ

  #### 3.［手動取得］を選ぶ

  ［自動設定］を選ぶと、IP アドレスが自動で設定されます。

  #### 4. IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力する

  #### 5.［確定］を選ぶ

  プリンターを再起動すると、設定が反映されます。

- **IPv6 アドレスを設定する場合：**

  #### 1.［IPv6 設定］を選ぶ

  #### 2.［IPv6 を使用］を［ON］に設定する

  #### 3. 使用する IPv6 アドレスを設定する

  #### 4.［確定］を選ぶ

  プリンターを再起動すると、設定が反映されます。

重要

- パソコンのファイアウォール機能をオンにしている場合は、同一のサブネットにないプリンターが検出されない場合があります。ファイアウォール機能をオフにしてください。

ファイアウォールの設定によってプリンターが検索できない場合：

- **ファイアウォールのメッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定したあと、IP アドレスまたはホスト名を指定して、プリンターの再検索を行ってください。

  プリンターが検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

- **ファイアウォールのメッセージが表示されていないとき：**

  ファイアウォールのブロック機能をいったんオフにしてから、IP アドレスまたはホスト名を指定して、プリンターの再検索を行ってください。

  セットアップの終了後、ファイアウォールのブロック機能をオンにしてください。

参考

- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境で印刷できない

- TCP／IP ネットワークで印刷できない
- Bonjour ネットワークで印刷できない
- AirPrint で印刷できない

TCP／IP ネットワークで印刷できない

チェック 1 プリンターの IP アドレスが正しく設定されていますか

プリンターの IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

参考

- Windows をご使用の場合は、ネットワーク設定アシスタントからもプリンターの IP アドレスを設定できます。

  設定の詳細は、『ネットワーク設定アシスタントガイド』の「ネットワークの設定・変更」→「ネットワークの設定をする」を参照してください。

  ➡ ネットワーク設定アシスタントガイド

チェック 2 プリンターの TCP／IP 設定が正しく設定されていますか

プリンターの TCP／IP 設定が正しく設定されていることを確認してください。

チェック 3 印刷を行うパソコンが正しく設定されていますか

パソコンの TCP／IP 設定が正しく設定されていることを確認してください。

Bonjour ネットワークで印刷できない

チェック 1 印刷を行うパソコンが正しく設定されていますか

パソコンの設定が正しく行われていることを確認してください。

チェック 2 パソコンとプリンターが同一のネットワーク上にありますか

Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンターで印刷できない場合があります。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

チェック 3 プリンターの Bonjour 機能が正しく設定されていますか

プリンターの Bonjour 機能が正しく設定されていることを確認してください。

AirPrint で印刷できない

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

プリンターの電源が入っている場合は、電源を入れ直して問題が解決するか確認してください。

チェック 2 ご使用のパソコンにプリンターが登録されているか確認してください

チェック 3 LAN 接続で印刷する場合は、プリンターが AirPrint 対応機器とネットワークの同一サブネットに LAN 接続されているか確認してください

チェック 4 プリンターにセットされている用紙やインクが十分であるか確認してください

チェック 5 プリンターのタッチスクリーンに何もエラーメッセージが表示されていないか確認してください

ネットワーク設定のトラブル

- 突然プリンターと通信できなくなった
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない

突然プリンターと通信できなくなった

- ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない
- 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない
- 有線 LAN 接続（LAN ケーブル）でプリンターと通信できない
- ネットワーク接続されたパソコンから、印刷ができない

Q ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度プリンターを検索してください。

Q 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターとネットワークに接続されている機器（Wi-Fi ルーターやパソコンなど）の機器の状態を確認してください

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

Wi-Fi ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。

詳細については、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック 2 パソコンでインターネットの任意のウェブページが閲覧できますか

パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください。

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 3 プリンターと Wi-Fi ルーターが接続されていますか

プリンターのタッチスクリーンに表示されるアイコンで、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続の状態を確認してください。  が表示されていない場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定にしてください。

チェック 4 プリンターと Wi-Fi ルーターのそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

プリンターで現在設定されているネットワーク設定は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ネットワーク

参考

- ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

チェック 5 プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

参考

- 多くの Wi-Fi ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

チェック 6 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

参考

- ネットワーク設定アシスタントを利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

チェック 7 パソコンで使用している Wi-Fi の無線チャンネル番号を確認してください

パソコンと Wi-Fi ルーターで使用する無線チャンネル番号を同じにする必要があります。通常はすべての無線チャンネル番号が使用できるように設定されていますが、使用する無線チャンネル番号を制限していると、無線チャンネル番号が一致しない場合があります。

パソコンの取扱説明書を参照して、パソコンが使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック 8 Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、チェック 7 で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、Wi-Fi ルーターの無線チャンネル番号を変更してください。

チェック 9 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 10 AirMac とプリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）でお使いの場合、ネットワーク上のネットワーク名（SSID）に半角英数字を使用していることを確認してください（macOS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはセットアップガイドからセットアップを行ってください。
- macOS をご使用の場合：

  セットアップガイドからセットアップを行ってください。

Q 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターとスマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック 2 プリンターの無線ダイレクトが無効になっていませんか

無線ダイレクトを有効にしてください。

➡ 無線ダイレクト接続

チェック 3 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 4 ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先としてプリンターを選んでいますか

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ダイレクト接続情報

チェック 5 プリンターに設定されている無線ダイレクトのネットワークキーを正しく入力していますか

プリンターに設定されているネットワークキーは、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ダイレクト接続情報

チェック 6 プリンターと各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

チェック 7 複数台の各種機器をプリンターに接続しようとしていませんか

同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。固定の SSID とネットワークキーが設定されていると、最大で 5 台まで同時に接続できます。

Q 有線 LAN 接続（LAN ケーブル）でプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

チェック 2 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはセットアップガイドからセットアップを行ってください。
- macOS をご使用の場合：

  セットアップガイドからセットアップを行ってください。

Q ネットワーク接続されたパソコンから、印刷ができない

A

チェック 1 パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 2 プリンタードライバーをインストールしていない場合は、プリンタードライバーをインストールしてください（Windows）

セットアップ CD-ROM またはセットアップガイドから、プリンタードライバーをインストールしてください。

チェック 3 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の場合、Wi-Fi ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

Wi-Fi ルーターの接続や設定方法については、お使いの Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない

ネットワーク設定アシスタントを利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページからネットワーク設定アシスタントをダウンロードし、パソコンにインストールできます。

➡「ネットワーク設定アシスタント」を使ってプリンターの接続状態を確認

ネットワーク設定アシスタントの起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**

  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

- **macOS をご使用の場合：**

  ➡ ネットワーク設定アシスタントを起動する

ネットワーク設定アシスタントで診断と修復を行っても改善しない場合は、以下の項目を確認してください。

➡ WPA/WPA2/WPA3 を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）

➡ 暗号化の設定方法がわからない

Q WPA/WPA2/WPA3 を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）

A

Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

Q 暗号化の設定方法がわからない

A

WPA2 を含む暗号化を選択してください。

参考

- WPA3 対応 Wi-Fi ルーターの工場出荷時初期値は、WPA3 に設定されている場合があります。

パソコンと Wi-Fi ルーターが、選択した設定で通信できることを確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- **WPA2/WPA3 を設定する場合（Windows）**

  認証タイプや Wi-Fi のパスワード、動的暗号化の種類は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

  Wi-Fi のパスワードは、Wi-Fi ルーターで設定したパスワードを入力してください。

動的暗号化の種類（暗号化方式）は、AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

参考

- 本製品でサポートしている暗号化方式は、「ネットワーク仕様」を参照してください。
  ネットワーク仕様
- IEEE802.1X/EAP（WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ）の設定には、認証（Radius）サーバーの設定も必要になります。

  詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

本体のトラブル

- 電源が入らない
- メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない
- 操作パネルのデータランプが点灯しない
- 異常音かなと思ったときには
- 印刷済みの用紙がバスケットでうまく受け止められない
- カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される

電源が入らない

チェック 1 電源コードが抜けていませんか

コンセントに電源コードを接続してから、プリンターの電源をオンにします。

チェック 2 所定の電圧が供給されていますか

コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンターの仕様に合った電源を使用してください。

➡ 本体仕様

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。

交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。

メンテナンスカートリッジを交換する

操作パネルのデータランプが点灯しない

チェック 1 印刷時に正しいプリンターを選択しましたか

Windows の場合は、印刷ダイアログボックスの［プリンタの選択］や［プリンタ設定］でプリンターを選択し、印刷し直します。

macOS の場合は、プリンタードライバーのダイアログボックスを開き、［プリンタ］の一覧からプリンターを選択し、印刷し直します。

チェック 2 印刷ジョブが一時停止になっていませんか

Windows の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。

1. ［デバイスとプリンター］または［プリンターとスキャナー］で、対象のプリンターを選択する。
2. ［一時停止］を選択してチェックを外すか、［再開］を選択する

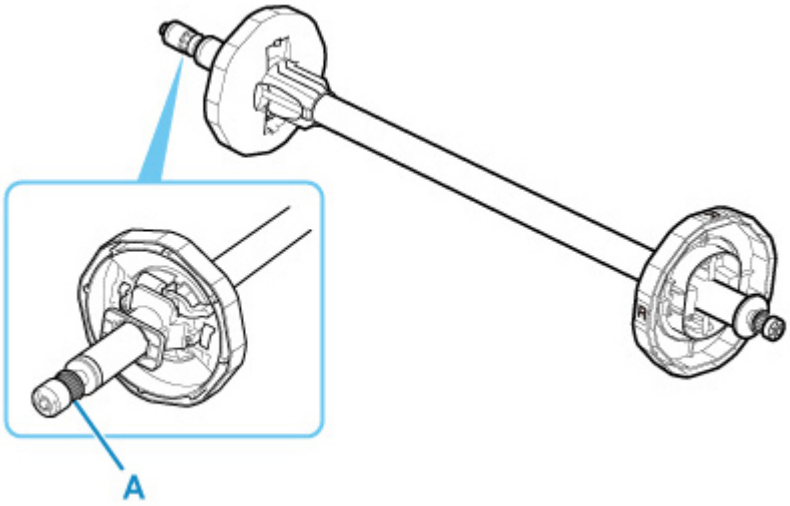
macOS の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。

1. ［プリントとスキャン］（または［プリントとファクス］）を開く
2. プリンターを選択し、［プリンタ］メニューから［プリンタを再開］（または［ジョブを開始］）を選択し、一時停止を解除する

異常音かなと思ったときには

チェック 1 ロールホルダー付近から異音が発生していますか

ロールホルダーの先端にあるギヤ（A）に粉がたまると、その周辺から音が発生することがあります。



快適にご使用いただくために、音が鳴り始めたら、以下の手順でギヤを清掃してください。

1. ロールホルダーをプリンターから取り外す
2. 水を含ませて、かたく絞った布でギヤの粉を拭き取り、乾いた布で乾拭きする
3. ロールホルダーをプリンターに取り付ける

チェック 2 プリンターは印刷時以外にも動作音がすることがあります。

以下のような場合は、異常ではありません。

- プラテンから吸引音がする

  用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。
- 印刷中にロール紙がはためく音がする

  大きいサイズの用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。
- 突然クリーニング動作の音がする

  プリンターのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとクリーニング動作が自動実行されます。
- 突然インク撹拌動作の音がする

  最適な印字品位を保つため、所定の期間が経過するごとにインク撹拌動作が自動実行されます。撹拌の動作時間は約 1 分 30 秒です。

  また、以下のタイミングでもインク撹拌動作が自動実行されます。

  なお、タッチスクリーンに［インク撹拌(かくはん)中です］と表示されている間に他の操作はできません。

- 電源オン後
- データ送信後
- インクタンク交換後

上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

印刷済みの用紙がバスケットでうまく受け止められない

チェック バスケットのポジションを用紙のサイズに合わせていますか

用紙のサイズ、向きなどによって、バスケットの最適なポジションは変わることがあります。

バスケットが正しく使用されているか確認してください。

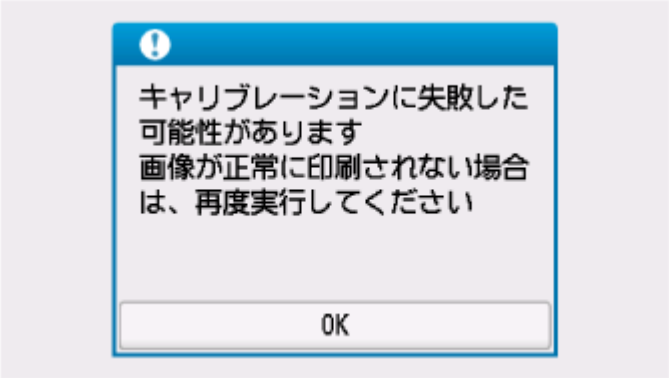
➡ バスケットのポジション例

カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される

以下の場合は、再度カラーキャリブレーションの実行、またはカラーキャリブレーションターゲットの作成を行ってください。

- カラーキャリブレーションを実行したときに警告メッセージが表示された
- カラーキャリブレーションターゲットを作成したときに警告メッセージが表示された
- キャリブレーションされた用紙で印刷したときに印刷結果に異常が見られた

警告画面の一例



このとき、以下のことに注意してください。

- ヘッドのノズルづまりがないこと
- 用紙に反りや折れ曲がりがないこと
- 用紙の裏表などが正しくセットされていること
- 用紙設定が正しく指定されていること
- キャリブレーション実行可能な用紙サイズであること

➡ カラーキャリブレーションを行う

用紙がうまく給排紙されない

- ロール紙のつまりを取り除く
- カット紙のつまりを取り除く
- 用紙のつまりを取り除く（給紙口内部）
- ロール紙が給紙口に入らない
- カット紙をセットできない
- 残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った／不足した
- 用紙が白紙で排紙される
- ロール紙が排出され続ける

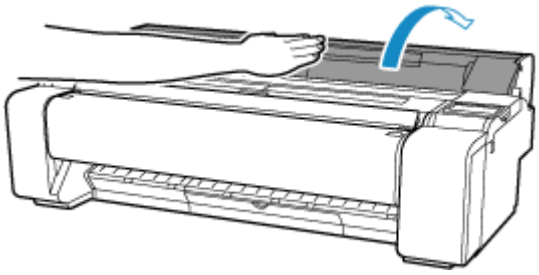
ロール紙のつまりを取り除く

ロール紙がつまったときは、以下の手順でロール紙を取り除きます。

1. **プリンターの電源をオフにします。**

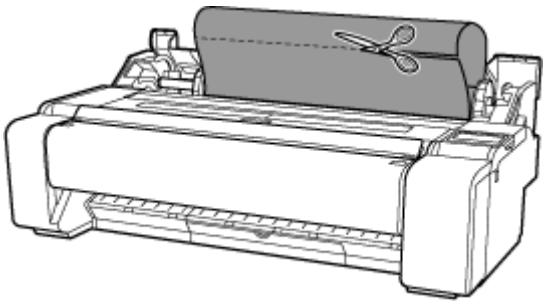
   ➡ 電源を切る

2. **図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。**



3. **セットされているロール紙を市販のはさみなどでカットします。**

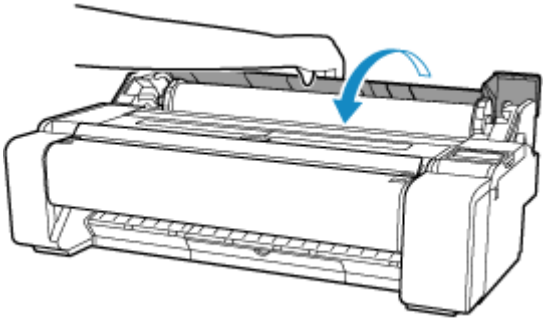
   カットするときは紙をゆるませて、紙を持ち上げながらカットしてください。



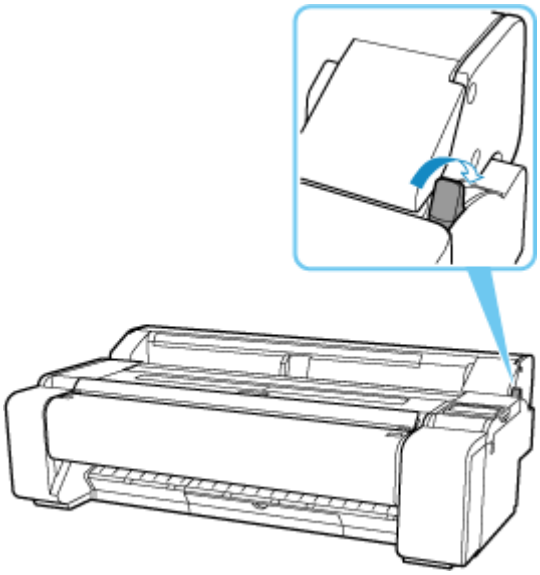
⚠注意

- カットするときに、ケガをしたり、プリンターに傷を付けたりしないように注意してください。

4. **図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます**



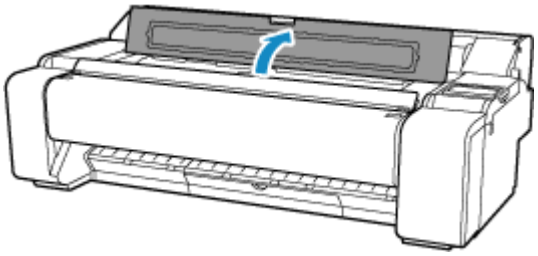
5. **リリースレバーを後ろ側に押します。**



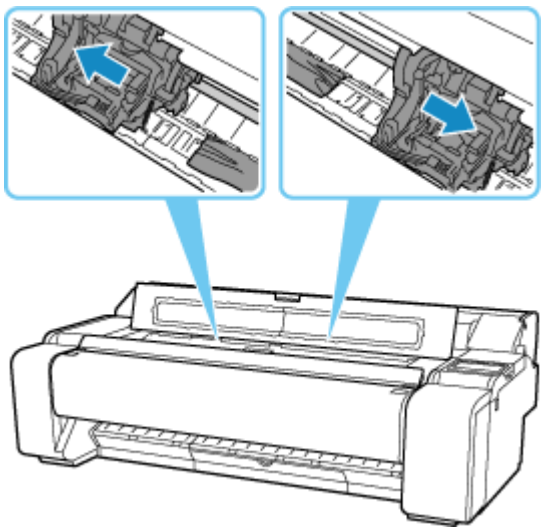
6. つまっている用紙を取り除きます。

- トップカバー内部で用紙がつまっている場合

1. トップカバーを開きます。

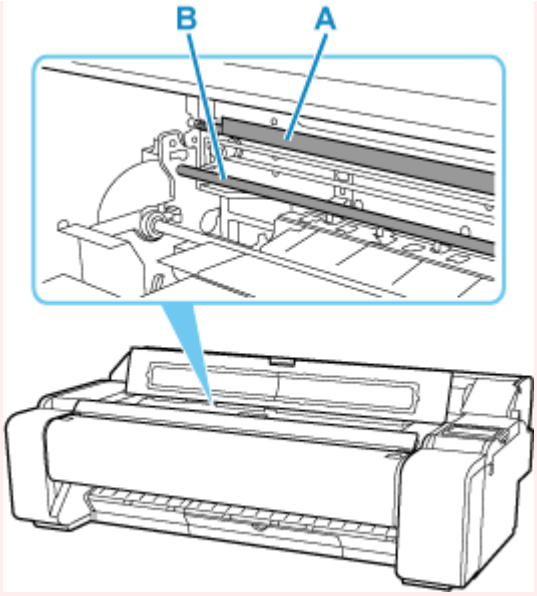


2. つまった用紙から離すようにキャリッジを左右いずれかの端に移動します。



重要

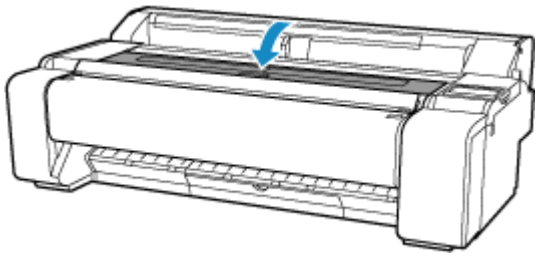
- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール（A）、キャリッジシャフト（B）には触れないでください。触れると故障の原因になります。



3. トップカバー内部につまった用紙を取り除きます。

取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

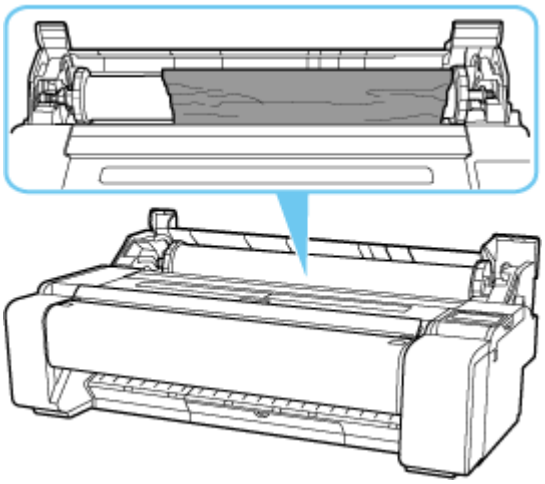
4. トップカバーを閉じます。



- ロール紙の給紙口付近で用紙がつまっている場合

  給紙口からつまった用紙を取り除きます。

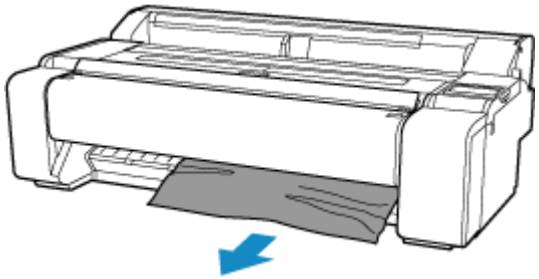
  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。



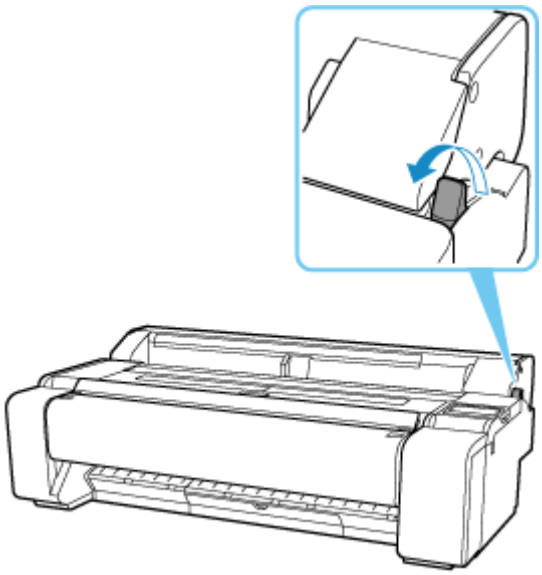
- 排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合

  排紙口からつまった用紙を取り除きます。

  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。



7. リリースレバーを手前側に引きます。



重要

- 印刷中にリリースレバーを動かしてしまうと、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。印刷中はリリースレバーに手を触れないようにしてください。

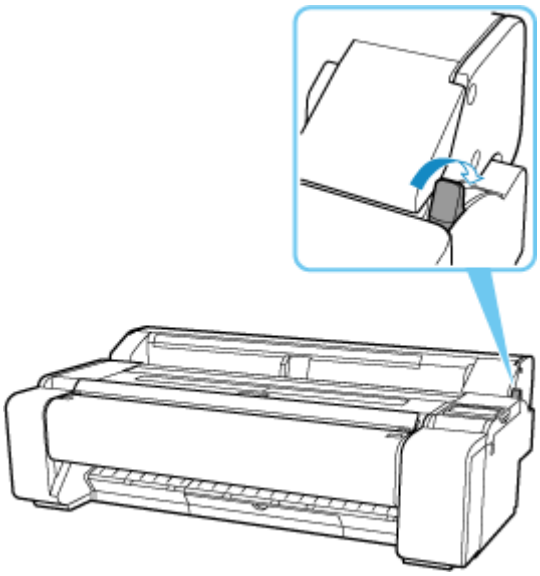
カット紙のつまりを取り除く

カット紙がつまったときは、以下の手順でカット紙を取り除きます。

1. プリンターの電源をオフにします。

➡ 電源を切る

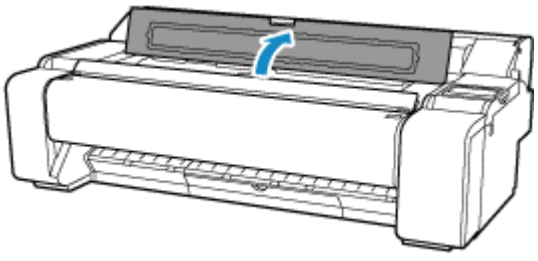
2. リリースレバーを後ろ側に押します。



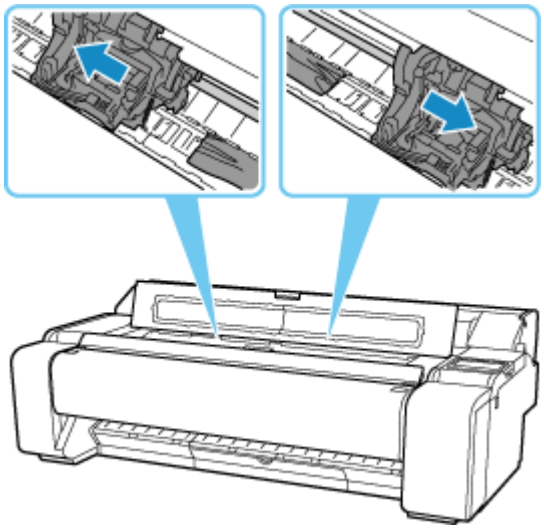
3. つまっている用紙を取り除きます。

- トップカバー内部で用紙がつまっている場合

1. トップカバーを開きます。



2. つまった用紙から離すようにキャリッジを左右いずれかの端に移動します。



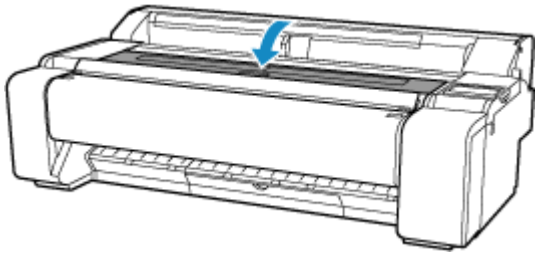
重要

- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。

3. トップカバー内部につまった用紙を取り除きます。

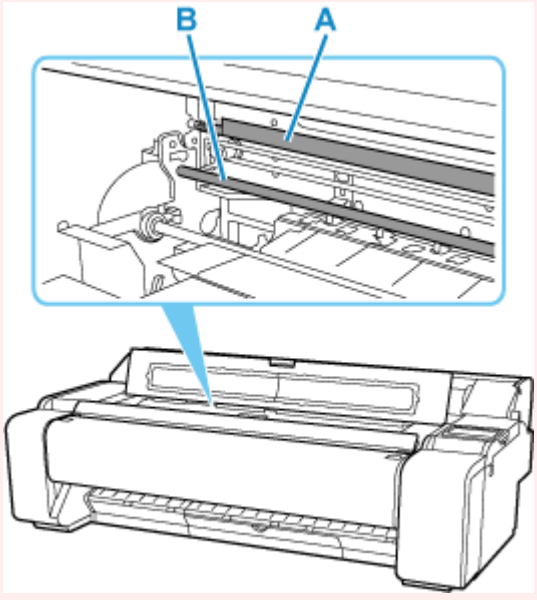
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

4. トップカバーを閉じます。



重要

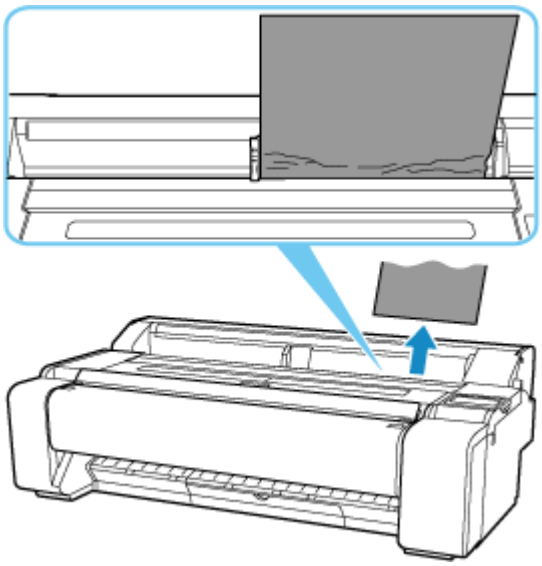
- リニアスケール（A）、キャリッジシャフト（B）には触れないでください。触れると故障の原因になります。



- 給紙口付近で用紙がつまっている場合

  給紙口からつまった用紙を取り除きます。

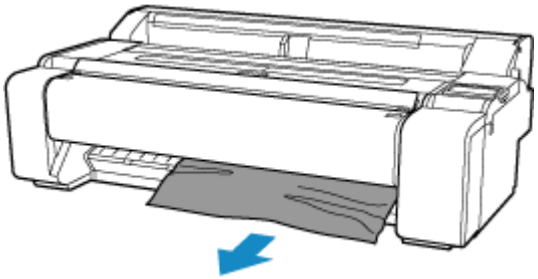
  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。



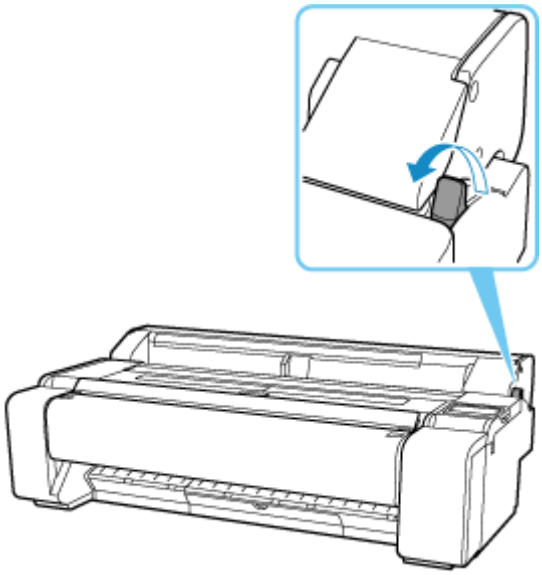
- 排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合

  排紙口からつまった用紙を取り除きます。

  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。



4. リリースレバーを手前側に引きます。



重要

- 印刷中にリリースレバーを動かしてしまうと、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。印刷中はリリースレバーに手を触れないようにしてください。

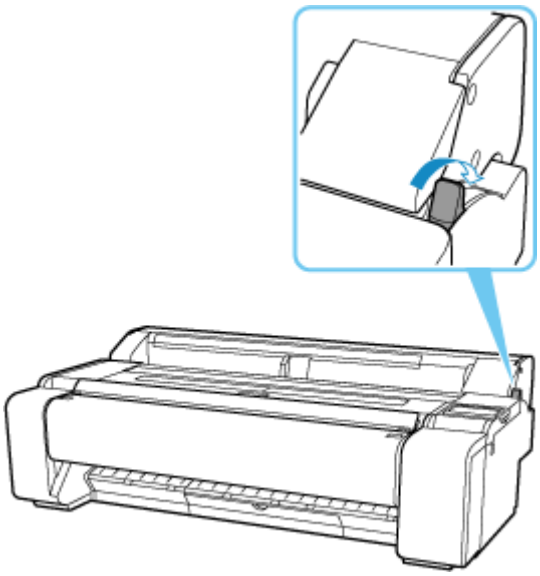
用紙のつまりを取り除く（給紙口内部）

ロール紙やカット紙のつまりを取り除いているときに、紙片がちぎれて給紙口の内部に残ってしまった場合は、以下の手順で紙片を取り除きます。

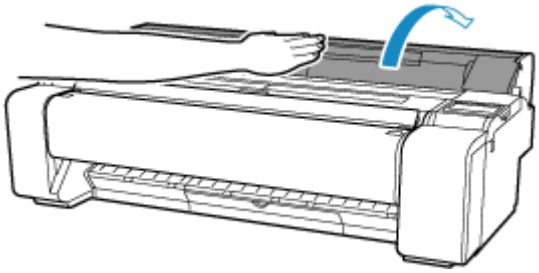
1. **プリンターの電源をオフにします。**

   電源を切る

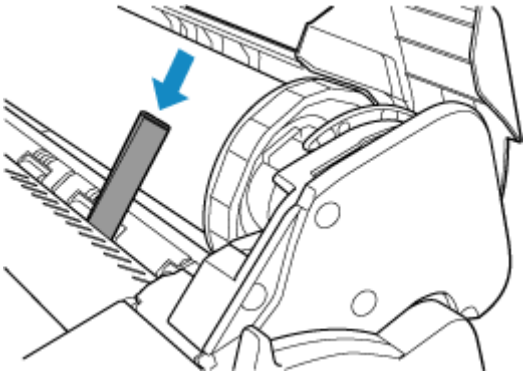
2. **リリースレバーを後ろ側に押します。**



3. **図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。**



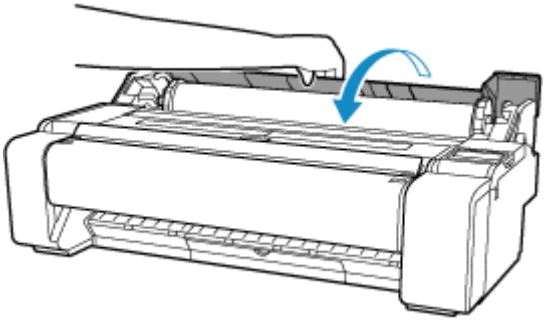
4. **A4 サイズの用紙を縦に四つ折りにして給紙口のすきまに差し込み、つまった用紙をプラテン側に押し出します。**



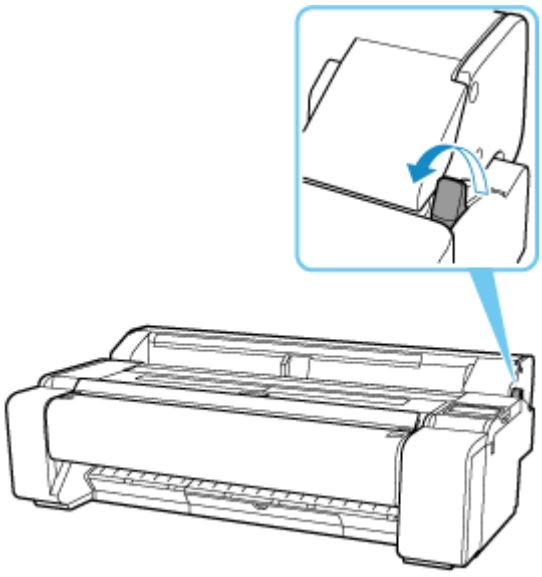
5. プラテン上に紙片が出てきたら、紙片を取り除きます。

6. 給紙口内部に紙片が残っている場合は、手順 4～5 を繰り返します。

7. 図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます。



8. リリースレバーを手前側に引きます。



重要

- 印刷中にリリースレバーを動かしてしまうと、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。印刷中はリリースレバーに手を触れないようにしてください。

ロール紙が給紙口に入らない

チェック 1 ロール紙がカールしていませんか

カールを直して、ロール紙をセットし直します。

チェック 2 給紙口に用紙がつまっていませんか

つまっている用紙を取り除きます。

- ロール紙のつまりを取り除く
- カット紙のつまりを取り除く

チェック 3 タッチスクリーンのステータス画面で、用紙情報を確認してください

「ロール」と表示されていない場合は、［用紙交換］または［用紙セット］を選び、ロール紙をセットします。

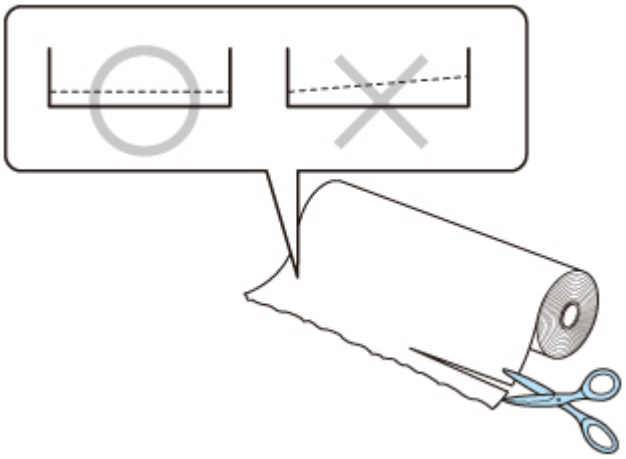
- ロール紙をプリンターにセットする

重要

- ロール紙とカット紙を同時にプリンターにセットすることはできません。

チェック 4 ロール紙の先端が正しく切れていない可能性があります

ロール紙の先端が斜めになっていたり折れていたりすると、正しく給紙されない場合があります。先端部分をはさみなどでカットしてまっすぐにしてください。バーコードが印刷されているロール紙の場合、バーコード部分をカットしないように注意してください。



カット紙をセットできない

チェック タッチスクリーンのステータス画面で、用紙情報を確認してください

「ロール」と表示されている場合は、[用紙交換]を選び、カット紙をセットします。

➡ カット紙をプリンターにセットする

重要

- ロール紙とカット紙を同時にプリンターにセットすることはできません。

残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った／不足した

チェック 1　セットしたロール紙の残量が正しく設定されていますか

以下の項目すべてが設定されている場合、ロール紙をセットするときに、セットしたロール紙の残量を手動で設定できます。

- ［ロール紙残量管理］を［バーコードで管理］に設定
- ［用紙種類の選択方法］を［推定結果から自動設定］または［固定］に設定

➡ 用紙関連の設定

手動設定が可能なのは約 5 秒間です。時間内に残量設定を行わなかった場合は、［用紙の詳細設定］で設定したロール紙の長さが残量値として設定されます。

この設定値と実際にセットされたロール紙残量に差があると、ロール紙が余ったり不足することがあります。

チェック 2　［ロール紙残量管理］の設定を確認してください

- ［ロール紙残量管理］で［バーコードで管理］を選んでいる場合：

  1. ［ロール紙の長さ］を入力し、［OK］を選ぶ
  2. ［ロール紙残量の警告設定］で残量警告のタイミングを選ぶ

- ［ロール紙残量管理］で［用紙残量推定機能で管理］を選んでいる場合：

  用紙の種類が正しく設定されていることを確認してください。

  ［用紙の詳細設定］で［紙管外径サイズ］と［紙の厚さ］が正しく設定されていることを確認してください。

  参考

  - 残量推定を正確に行うには、紙管外径サイズと紙厚が正しく設定されている必要があります。
  - 紙管外径サイズと紙厚については、用紙メーカーにお問い合わせください。
  - あらかじめ登録されている用紙については、紙管外径サイズと紙厚が設定されていますが、用紙メーカーの都合で変更される場合があります。
  - 用紙情報一覧に表示されていない用紙を使用する場合は、Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）で紙の厚さと紙管サイズを設定してください。
    ➡ Media Configuration Tool ガイド

➡ 用紙関連の設定

用紙が白紙で排紙される

チェック 1 ロール紙の先端が切り揃えられた可能性があります

タッチスクリーンのメニューで［先端プレカット］が［OFF］または［手動］以外に設定されている場合は、ロール紙の先端が切り揃えられることがあります。

➡ ロール紙の先端を自動でカットする

チェック 2 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。

➡ ノズルのつまりをチェックする

チェック 3 正しいプリンタードライバーを選択していますか

ご使用のプリンターに合ったプリンタードライバーで印刷し直します。

チェック 4 HP RTL コマンドを含む印刷データを印刷する場合、タッチスクリーンのメニューで以下の設定を確認してください。

- ［自動回転］を［しない］に設定します。
- ［回転］が［90 度］になっている場合は、［0 度］に設定して印刷します。

➡ ［自動回転］
➡ ［回転］

上記のいずれにもあてはまらない場合、プリンターが故障している可能性があります。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ロール紙が排出され続ける

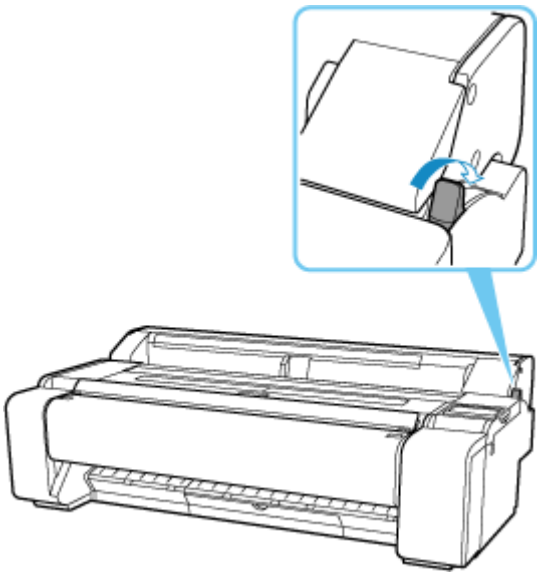
タッチスクリーンのステータス画面でカット紙が選択されているときに、大きくたるんだロール紙をセットすると、プリンターがロール紙をカット紙と認識する場合があります。

このときに［カット紙メニュー］で［用紙の取り外し］を選ぶと、プリンターが用紙を排出し続けることがあります。

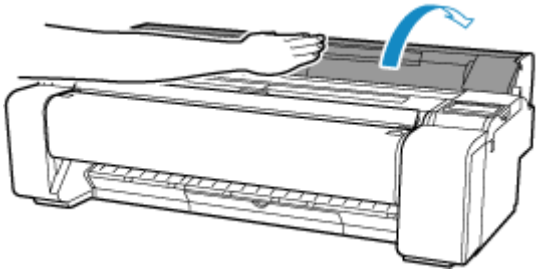
プリンターの給紙設定を確認してください。

ロール紙の排出が停止したら、以下の手順でロール紙をセットし直してください。

1. リリースレバーを後ろ側に押します。

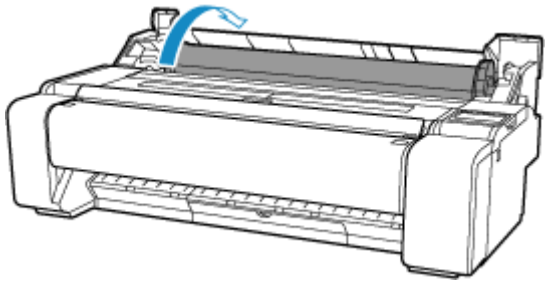


2. 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。

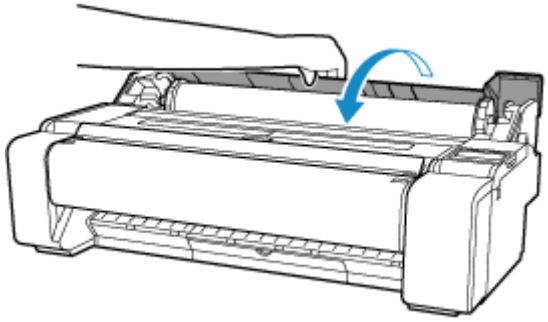


3. 両手でロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取ります。

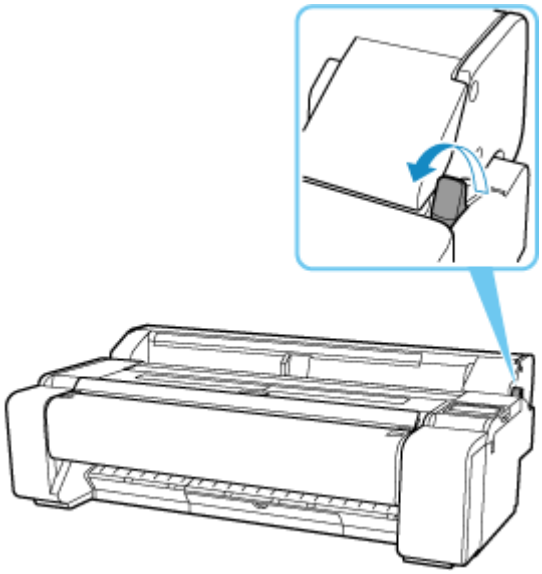
このとき、ロール紙の端部がきれいに揃うように注意してください。



4. 図の位置を持って、ロール紙カバーを閉じます



5. リリースレバーを手前側に引きます。



6. ロール紙をセットします。

このとき、かならずタッチスクリーンを操作してから、ロール紙をセットしてください。

➡ ロール紙をプリンターにセットする

用紙カットのトラブル

- 用紙がカットされない
- 用紙をきれいにカットできない
- 用紙カットの途中でカッターが動かなくなった
- ロール紙のカット設定について知りたい
- インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい
- 用紙先端が自動でカットされてしまう／用紙先端のカット量が多い

用紙がカットされない

チェック 1 プリンタードライバーの［オートカット］が、［なし］または［カットラインを印刷］になっていませんか

プリンタードライバーの［オートカット］で［あり］を選択します。

- ［ページ設定］シートの画面説明 (Windows)
- 品位と用紙の種類 (macOS)

チェック 2 タッチスクリーンのメニューで［カットモード］が［イジェクトカット］または［ユーザーカット］になっていませんか

［カットモード］が［イジェクトカット］に設定されている場合は、タッチスクリーンで［用紙をカットする］を選択して用紙をカットします。

［カットモード］が［ユーザーカット］に設定されている場合は、ロール紙をはさみなどでカットします。

- ロール紙のカット方法を設定する
- 印刷後にロール紙をカットする

チェック 3 カッターブレードは取り付けられていますか

カッターブレードを取り付けます。

- カッターブレードを交換する

用紙をきれいにカットできない

チェック１ 用紙のカット位置の端部が折れ曲がっていませんか

用紙の端部の折れ曲がりを直します。

チェック２ カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっていませんか

用紙を正しくセットし直します。

チェック３ カッターブレードでカットできない用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで［カットモード］を［ユーザーカット］に設定し、印刷後にロール紙をはさみなどでカットします。

- ロール紙のカット方法を設定する
- 印刷後にロール紙をカットする

チェック４ バスケットを正しく使用していますか

バスケットが正しく使用されているか確認してください。

- プリンタースタンドのバスケットを使用する
- デスクトップバスケットを使用する

チェック５ ［カットスピード］の設定値を確認してください

カット初めの用紙の端部がきれいにカットできない場合は、現在選んでいるカットスピードより遅くすることで、きれいにカットできる場合があります。

カット終わりの用紙の端部がきれいにカットできない場合は、現在選んでいるカットスピードより速くすることで、きれいにカットできる場合があります。

タッチスクリーンのステータス画面でロール紙の用紙設定表示部を選んだあと、［用紙関連の設定］→［用紙の詳細設定］を選び、［カットスピード］の設定値を変更してください。

- 用紙関連の設定

チェック６ カット中に、印刷物が斜めに落下していませんか

タッチスクリーンのメニューで［カットモード］を［イジェクトカット］に設定し、印刷後に印刷物を持ちながらカットします。

- ロール紙のカット方法を設定する
- 印刷後にロール紙をカットする

チェック７ カッターブレードは正しく取り付けられていますか

カッターブレードを正しく取り付けます。

- カッターブレードを交換する

チェック８ カッターブレードの刃が劣化していませんか

カッターブレードを交換します。

➡ カッターブレードを交換する

用紙カットの途中でカッターが動かなくなった

チェック 1 タッチスクリーンにメッセージが表示されていませんか

用紙のカットができなかった場合はカッターが動かなくなり、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

用紙を取り除いて、印刷し直してください。

- ロール紙のつまりを取り除く

チェック 2 カッターブレードでカットできない用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで［カットモード］を［ユーザーカット］に設定し、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。

- ロール紙のカット方法を設定する
- 印刷後にロール紙をカットする

チェック 3 カットスピードの設定値を確認してください

カットスピードを遅くすることで、カットできる場合があります。

タッチスクリーンのステータス画面でロール紙の用紙設定表示部を選んだあと、［用紙関連の設定］→［用紙の詳細設定］を選び、［カットスピード］の設定値を変更してください。

- 用紙関連の設定

チェック 4 カッターブレードの刃が劣化していませんか

カッターブレードを交換してください。

- カッターブレードを交換する

ロール紙のカット設定について知りたい

プリンター本体の設定と、プリンタードライバーの設定によって、カット方法を選択できます。

印刷後、自動的にロール紙をカットさせるには、プリンター本体の［カットモード］の設定を［自動カット］に、プリンタードライバーの［オートカット］の設定を［あり］に設定します。

印刷面に傷がつきやすい、またはインクの定着に時間がかかる用紙をご使用の場合は、プリンター本体の［カットモード］の設定を［イジェクトカット］に設定することをお勧めします。

- ロール紙のカット方法を設定する
- 印刷後にロール紙をカットする (Windows)
- 印刷後にロール紙をカットする (macOS)

インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい

プリンタードライバーで、インクを乾燥させるための待ち時間が設定できます。

また、プリンター本体でも、同様の設定ができます。

➡ インク乾燥時間を設定する

用紙先端が自動でカットされてしまう／用紙先端のカット量が多い

ロール紙の先端が真っすぐでない場合やフチなし印刷をする場合に、ロール紙の先端が自動でカットされます。用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なります。

➡ 用紙情報一覧

先端プレカット長は操作パネルで変更できます。

➡ ロール紙の先端を自動でカットする

参考

- 先端プレカット量を規定の長さより短くすると、排紙ガイドにカットした紙が残る場合があります。

用紙設定のトラブル

- 透過性が高い用紙の幅を検知できない
- このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい／どの用紙の種類を選べばよいかわからない
- 用紙種類の推定結果と、セットした用紙の種類が一致しない
- 印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない

透過性が高い用紙の幅を検知できない

チェック プラテンがインクなどで汚れていませんか

トップカバーを開いて、プラテン全域を清掃します。

➡ トップカバー内部を清掃する

このプリンターで使用できる用紙の種類が知りたい／どの用紙の種類を選べばよいかわからない

このプリンターで使用できる用紙については、用紙情報一覧を参照してください。

➡ 用紙情報一覧

用紙の種類は、以下に従って選んでください。

キヤノン純正紙／出力確認紙を使用する場合

「用紙設定一覧（ロール紙）」または「用紙設定一覧（カット紙）」を参照してください。

参考

- 操作パネルで用紙の種類を選ぶ方法については、「用紙の種類を変更する」を、プリンタードライバーで用紙の種類を選ぶ方法については、「[基本設定]シートの画面説明」（Windows）または「品位と用紙の種類」（macOS）を参照してください。

キヤノン純正紙／出力確認紙以外を使用する場合

「純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。

用紙種類の推定結果と、セットした用紙の種類が一致しない

チェック 1 初めて使用する用紙ではありませんか

初めて使用する用紙は正しく選択できないことがあります。用紙種類の選択で、手動にて正しい用紙を選択してください。

チェック 2 純正紙や推奨紙以外の用紙をセットしていませんか

「純正紙／出力確認紙以外の用紙を使用する」を参照してください。

チェック 3 用紙表面の光沢感や色味にムラがありませんか

用紙の種類によっては、用紙種推定に向かない用紙があります。用紙種推定がうまくいかない場合は、用紙種類の選択で、手動にて正しい用紙を選択してください。

印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない

新しく発売された用紙を使用する場合は、Media Configuration Tool（メディア・コンフィギュレーション・ツール）を起動して、最新の用紙情報を取得してください。

➡ 最新の用紙情報に更新する

インクに関連するトラブル

- インクが異常に消費される
- インク残量検知機能について
- ストップレスインクタンク交換に対応していますか

インクが異常に消費される

チェック 1 全面カラーの多数の印刷物を印刷していませんか

写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。

チェック 2 ［システムクリーニング］を頻繁に実行していませんか

［システムクリーニング］を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンターの輸送後、長期間プリンターを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り［システムクリーニング］を実行しないことをお勧めします。

チェック 3 初期充填が行われていませんか

初めてプリンターを使用する場合やプリンターの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われます。

このため、インクの残り容量の表示が少なくなる場合がありますが、異常ではありません。

チェック 4 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルのつまりをチェックしてください。

➡ ノズルのつまりをチェックする

インク残量検知機能について

このプリンター指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。

インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

重要

- ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。
- いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンター指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能を無効にする

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

タッチスクリーンに、[上記のインクタンクはキヤノン純正インクが使い切られたインクタンク、または模倣品の可能性があります]と表示されている状態から、以下の手順で行います。

1. **タッチスクリーンに表示されるメッセージにしたがって操作し、画面を先へ進める**
2. **インク残量検知機能を無効にする手順が表示されたら、プリンターのストップボタンを 5 秒以上押す**

   インク残量検知機能が無効になります。

ストップレスインクタンク交換に対応していますか

このプリンターは、ストップレスインクタンク交換に対応しています。

印刷中にインクタンクが空になっても、サブインクタンクに常に一定量のインクが蓄えられているため、印刷しながらインクタンクを交換できます。

➡ インクタンクを交換する

印刷設定について

- フチなし（ふちなし）で印刷したい
- 垂れ幕や横断幕を簡単に作成したい
- 両面印刷はできますか
- 拡大印刷したい

フチなし（ふちなし）で印刷したい

ロール紙に印刷する場合は、プリンタードライバーの設定で、フチなし印刷ができます。（カット紙に印刷する場合には、フチなし印刷ができません）

- 場面に合わせてフチなしで印刷する（Windows）
- 場面に合わせてフチなしで印刷する（macOS）

垂れ幕や横断幕を簡単に作成したい

横長または縦長の原稿をロール紙の幅に合わせて自動的に拡大し、印刷することで、簡単に垂れ幕や横断幕を作成できます。

- ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Windows）
- ロール紙に垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（macOS）

両面印刷はできますか

このプリンターは、用紙の両面に印刷できません。

Windows ソフトウェアの Free Layout plus（フリー・レイアウト・プラス）で、[折り返し両面] 機能を使えば、2 ページを片面に印刷し、用紙を中央で折り返し、吊り下げることで両面印刷の代用とすることができます。

➡「Free Layout plus」を使って文書を自由に配置

拡大印刷したい

プリンタードライバーで原稿を用紙のサイズや幅に合わせたり、倍率を指定して拡大印刷または縮小印刷ができます。

- 拡大／縮小印刷をする（Windows）
- 拡大／縮小印刷をする（macOS）

HP-GL/2 関連のトラブル

- HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される
- HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される

HP-GL/2 で線や画像が欠けて印刷される

チェック 1 メモリーがいっぱいになっていませんか

データ容量を確認してください。

チェック 2 プリンターでサポートされていない HP-GL/2 コマンドを受信していませんか

印刷データや設定を確認してください。

チェック 3 ［自動回転］が［する］に設定された状態で、HP RTL コマンドを含む印刷データを受信していませんか

タッチスクリーンのメニューで［自動回転］を［しない］に設定して、印刷してください。

➡ ［自動回転］

チェック 4 プロッタの座標原点を確認してください

出力コマンドを確認してください。

タッチスクリーンのメニューで［画像サイズの検出］を［コマンド優先］に設定してください。

➡ ［画像サイズの検出］

チェック 5 ［オーバーサイズ］が［OFF］に設定されていませんか

タッチスクリーンのメニューで［オーバーサイズ］を［ON］に設定してください。

➡ ［オーバーサイズ］

HP-GL/2 で線が太く（細く）印刷される

チェック 1 ［ペン設定］にある［幅］の設定を確認してください

タッチスクリーンのメニューで［ペン設定］を選び、［パレットの定義］から各パレットおよびペンの［幅］の設定を変更してください。

➡ ［パレットの定義］

チェック 2 ［線幅の補正］の設定を確認してください

タッチスクリーンのメニューで［線幅の補正］の設定を変更してください。

➡ ［線幅の補正］

チェック 3 ［細線強調］が［しない］に設定されていませんか

細い線がかすれて印刷される場合は、［細線強調］を［する］に設定すると細い線がくっきりと印刷されます。

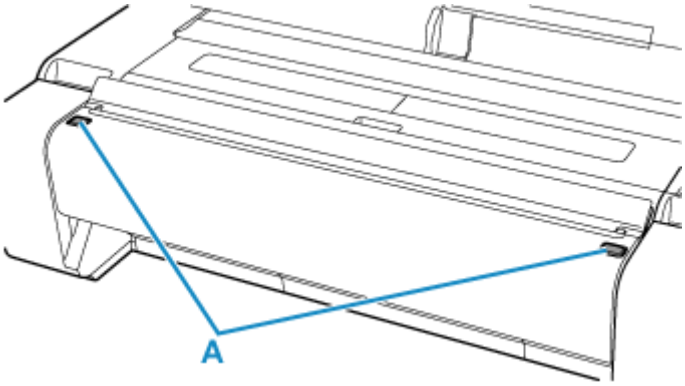
➡ ［細線強調］

コピー／スキャンのトラブル

- 原稿のつまりを取り除く
- 原稿サイズが正しく認識されない
- 原稿の搬送が停止する
- コピー／スキャンで汚れや黒い点が出る
- コピー／スキャンでスジが入る
- コピー／スキャンで色ムラが発生する
- コピー／スキャンで排紙方向の長さが正確でない
- コピー／スキャンで画像がずれる
- コピー／スキャンで画像がぼやける
- コピー／スキャンで原稿と画像の色味が合わない
- コピー／スキャンで画像の白飛びや黒つぶれが起きる
- コピー／スキャンでモアレが発生する

原稿のつまりを取り除く

1. **左右のスキャナーユニットオープンボタン（A）を押して、スキャナーユニットを開く**



2. **つまっている原稿を取り除く**

3. **スキャナーユニットを閉じる**

   左右のスキャナーユニットオープンボタンがしっかりとはまっていることを確認してください。

原稿サイズが正しく認識されない

チェック 1 スキャナーユニット内部が汚れていませんか

スキャナーユニット内部に汚れがあると、原稿サイズが正しく認識されない場合があります。

- スキャナーユニット内部を清掃する

チェック 2 透明な原稿や端部が破れた原稿を使用していませんか

透明な原稿や端部が破れた原稿では、原稿サイズの自動検知に失敗する場合があります。タッチスクリーンのメニューで、原稿の［読み取りサイズ］を［手動設定］にしてください。

- コピーするときの設定項目
- スキャンするときの設定項目

原稿の搬送が停止する

チェック 1 セットできる原稿を使用していますか

- スキャンできる原稿について
- キャリアシートについて

チェック 2 原稿を斜めにセットしていませんか

原稿が斜めにセットされると搬送が停止する場合があります。

- 原稿をスキャナーユニットにセットする

チェック 3 コピーの印刷品質／スキャンの解像度を高くすることで改善する場合があります。

- コピーするときの設定項目
- スキャンするときの設定項目

コピー／スキャンで汚れや黒い点が出る

コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 原稿が汚れていませんか

原稿に付着したほこりなどを取り除いてから、再度スキャンしてください。

チェック 2 スキャナーユニット内部が汚れていませんか

スキャナーユニット内部に汚れがあると、コピーやスキャンの結果に汚れや黒い点が出る場合があります。

- スキャナーユニット内部を清掃する

チェック 3 ［黒強調］の設定値が高くなっていませんか

スキャンの［黒強調］の設定値を低くすることで改善する場合があります。

- スキャンするときの設定項目

参考

- スキャンの設定値を調整して改善する場合は、コピーでも同様なトラブルが起こる可能性があるため、コピーの設定値も調整することをお勧めします。
  - コピーするときの設定項目

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンターや用紙に関するチェック項目をご参照ください。

- プリントヘッドが用紙にこすれる
- 色味の違うスジが入る
- 用紙の表面が汚れる
- 用紙の裏面が汚れる
- フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる

コピー／スキャンでスジが入る



スキャン起因のトラブル

チェック 1 スキャナーユニット内部が汚れていませんか

スキャナーユニット内部に汚れがあると、コピーやスキャンの結果にスジが入る場合があります。

- スキャナーユニット内部を清掃する

チェック 2 スキャン中にインクタンクカバーを開けていませんか

スキャン中にインクタンクカバーを開けると、コピーやスキャンの結果にスジが入る場合があります。

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンターや用紙に関するチェック項目をご参照ください。

- 印刷がかすれる
- 色味の違うスジが入る
- 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

コピー／スキャンで色ムラが発生する



コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 原稿を再度コピー／スキャンしてください

チェック 2 原稿を 90 度回転して再度コピー／スキャンしてください

チェック 3 解決しない場合は、本体を再起動してください

➡ プリンターを再起動する

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンター本体に関するチェック項目をご参照ください。

➡ 色ムラが発生する

コピー／スキャンで排紙方向の長さが正確でない

コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 実際にセットした原稿と、タッチスクリーンで選択した原稿の種類を合わせていますか

- スキャンするときの設定項目

チェック 2 原稿の送り量を正しく調整していますか

- 原稿の送り量を変更する

プリント起因のトラブル

チェック 3 実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選択した用紙の種類を合わせていますか

- 用紙の種類を変更する

チェック 4 タッチスクリーンのメニューで、［紙送り調整］の［優先設定］を［画質優先］に設定していませんか

［紙送り調整］の［優先設定］を［長さ優先］に設定してから、［長さ調整］を実行します。

- 画質調整
- 罫線の長さを調整する

コピー／スキャンで画像がずれる

コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整してください

➡ 原稿読み取り部つなぎ目の位置ずれを調整する

チェック 2 原稿を正しくセットしていますか

原稿を正しくセットし直すことで改善する場合があります。

➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンター本体に関するチェック項目をご参照ください。

➡ 罫線のずれや色ずれが起こる

コピー／スキャンで画像がぼやける

コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 ［シャープネス］の設定値が低くなっていませんか

スキャンの［シャープネス］の設定値を高くすることで改善する場合があります。

➡ スキャンするときの設定項目

参考

- スキャンの設定値を調整して改善する場合は、コピーでも同様なトラブルが起こる可能性があるため、コピーの設定値も調整することをお勧めします。
  ➡ コピーするときの設定項目

チェック 2 スキャンの解像度が低くなっていませんか

スキャンの解像度を上げることで改善する場合があります。

➡ スキャンするときの設定項目

チェック 3 ［つなぎ目マスク］が［ON］や［自動］になっていませんか

［つなぎ目マスク］を［OFF］にすることで改善する場合があります。

➡ つなぎ目のマスク設定を変更する

チェック 4 原稿を正しくセットしていますか

原稿を正しくセットし直すことで改善する場合があります。

➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンター本体に関するチェック項目をご参照ください。

➡ 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

コピー／スキャンで原稿と画像の色味が合わない

コピーでトラブルが発生している場合は、スキャンとプリントのどちらに問題があるのかを特定する必要があります。

原稿をスキャンして、スキャン画像に同様の問題が見られる場合は、スキャン起因のトラブルを参照してください。スキャン画像に問題がない場合は、プリント起因のトラブルを参照してください。

スキャン起因のトラブル

チェック 1 モニターをキャリブレーションしましたか

色味を合わせるには、モニターがキャリブレーションされている必要があります

チェック 2 実際にセットした原稿と、タッチスクリーンで選択した原稿の種類を合わせていますか

➡ スキャンするときの設定項目

チェック 3 その他のスキャンの設定値を調整してください

➡ スキャンするときの設定項目

参考

- スキャンの設定値を調整して改善する場合は、コピーでも同様なトラブルが起こる可能性があるため、コピーの設定値も調整することをお勧めします。

  ➡ コピーするときの設定項目

プリント起因のトラブル

以下のページのプリンターや用紙に関するチェック項目をご参照ください。

➡ 色味が違って印刷される
➡ モノクロで印刷される

コピー／スキャンで画像の白飛びや黒つぶれが起きる

チェック 1 原稿に明るい箇所や暗い箇所がありませんか

原稿の明るい箇所は、［白強調］を－側に設定すると、画像の白飛びが改善する場合があります。

原稿の暗い箇所は、［黒強調］を－側に設定すると、画像の黒つぶれが改善する場合があります。

- コピーするときの設定項目
- スキャンするときの設定項目

チェック 2 蛍光ペンが使用された原稿をコピー／スキャンしていませんか

蛍光ペンの色が薄くなったり見えなくなったりする場合は、［原稿の種類］を［図面／地図］または［ポスター／写真］に変更すると改善する場合があります。

蛍光ペンの色がくすんで見える場合は、［彩度］を＋側にすると改善する場合があります。

- コピーするときの設定項目
- スキャンするときの設定項目

コピー／スキャンでモアレが発生する

チェック コピーの印刷品質/スキャンの解像度を低くしていませんか

コピーの［印刷品質］を高品位にすることで改善する場合があります。

➡ コピーするときの設定項目

スキャンの［解像度］を高くすることで改善する場合があります。

➡ スキャンするときの設定項目

トラブルが発生したときは

印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。トラブルの内容によっては、サポート番号（エラー識別番号）も表示されます。

表示された対処方法に従って操作してください。

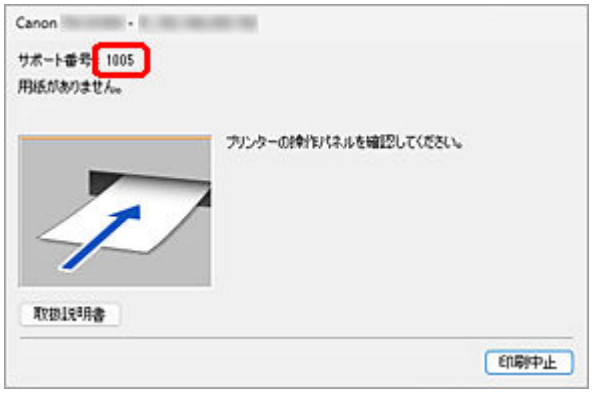
サポート番号が表示される

パソコンにサポート番号が表示されるトラブルの対処方法については、「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

サポート番号はリモート UI からも確認できます。

➡ リモート UI を起動する

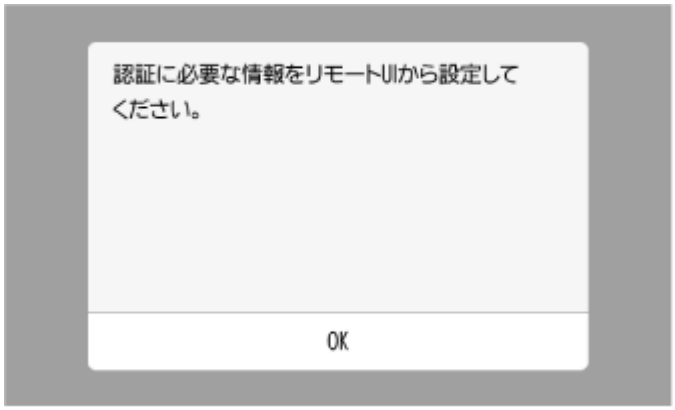
パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例（Windows）：



ホーム画面にメッセージが表示される

ホーム画面にメッセージが表示されるトラブルの対処方法については、「エラーメッセージ一覧」を参照してください。

ホーム画面にメッセージが表示される例：



ジョブ履歴にエラーコード（「#」で始まる 3 桁の番号）が表示される

印刷できなかった場合やスキャンを送信できなかった場合など、エラーが起こると、ジョブ履歴にエラーコード（「#」で始まる 3 桁の番号）が表示されます。

- プリント状況や履歴を確認する
- コピー状況や履歴を確認する
- スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

この番号の詳細を確認する場合は、「エラーコード一覧」を参照してください。

ジョブ履歴にエラーコードが表示される例：



エラー発生時のサポート番号一覧

エラーが発生したときに、パソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

サポート番号はリモート UI からも確認できます。

➡ リモート UI を起動する

一覧にないエラーについては、「トラブルが発生したときは」を参照してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

  1005 100A 1012 1021 1024 1041 1051 1052 1054 1056 1057 1058
  1061 1200 1201 1210 1213 1214 1300 1306 1317 1322 1323 1324
  1401 1403 1408 1409 140A 140B 140C 140F 1477 1478 1480 1481
  1485 1492 1494 1495 1500 1551 1552 1570 1571 1660 168B 1720
  1721 1722 1730 1731 1752 1753 1756 1757

- **2000～2ZZZ**

  2130 2131 2132 2701 2702 2703 2800 2801 2807 2808 2809 280A
  280B

- **3000～3ZZZ**

  3000 3001 3101 3200 3201 3250 3300 3301 3302 3303 3304 3306
  3310 3311 3312 3313 3314 3315 3316 3317 3331 3332 3333 3337
  3338 3341 3342

- **4000～4ZZZ**

  4111 4113 4114 4116 4117 4801 4803 4905 4920 4924 4925 4926
  4927 4931 4932 4933 4934 4935 4937

- **5000～5ZZZ**

  5010 5013 5014 5015 5106 5200 5B10 5B16 5B20 5B21 5C00

- **6000～6ZZZ**

  6502 6820

- **7000～7ZZZ**

  7050　7052

- **8000～8ZZZ**

  8200

- **9000～9ZZZ**

  9110

- **A000～ZZZZ**

  B20A　B510

1005

原因

カット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。

対処方法

タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、［OK］をタップします。

- **印刷を続行する場合**

  ［用紙をセットする］をタップし、用紙をセットします。

  ➡ カット紙をプリンターにセットする

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップして印刷を中止します。

100A

原因

ロール紙で印刷しようとしましたが、ロール紙がセットされていません。

対処方法

タッチスクリーンで［用紙をセットする］をタップし、ロール紙をセットして印刷します。

➡ ロール紙をプリンターにセットする

参考

- 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップしてください。

1012

原因

カット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。

対処方法

タッチスクリーンで［用紙をセットする］をタップし、カット紙をセットして印刷します。

➡ カット紙をプリンターにセットする

参考

- 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップしてください。

1021

原因

ロール紙の残量よりも長いサイズの印刷ジョブを受信しました。

対処方法

- **印刷を続行する場合**

  タッチスクリーンで［セットしている用紙で印刷］をタップし、印刷を続行します。

  ただし、途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。

- **用紙を交換する場合**

  タッチスクリーンで［用紙を交換して印刷］をタップします。

  プリンタードライバーの［給紙方法］を変更するか、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷します。

  ➡ ロール紙をプリンターから取り外す
  ➡ ロール紙をプリンターにセットする

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップして印刷を中止します。

1024

原因

以下の原因が考えられます。

- ロール紙がなくなりました。
- ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。

対処方法

- **ロール紙がなくなっていた場合**

  以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。

  1. リリースレバーを後ろ側に押して、ロール紙を取り外す

     ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

  2. 新しいロール紙をセットする

     ➡ ロール紙をプリンターにセットする

  3. タッチスクリーンに［印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？］と表示された場合は、［はい］をタップする

     エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

- **ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められていて、搬送が止まっていた場合**

  使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。

  ➡ ロール紙をプリンターから取り外す
  ➡ ロール紙をプリンターにセットする

- **ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかり、搬送が止まっていた場合**

  印字モードを変更すると紙送りのタイミングが変わるため改善する可能性があります。

  Windows の場合は、プリンタードライバーの［詳細設定モード］の［印刷品質］で、より高品質の設定を選択します。

  macOS の場合は、プリンタードライバーの［品位と用紙の種類］の［印刷品質］で、より高品質の設定を選択します。

  ➡ 印刷品質を設定する（ユーザー設定）（Windows）
  ➡ 印刷品質を設定する（ユーザー設定）（macOS）

参考

- 印刷を中止する場合は、［ストップ］をタップしてください。

1041

原因

［用紙交換］で選んだ給紙元の選択が間違っています。

対処方法

セットする用紙と［用紙交換］で選ぶ給紙元の設定を合わせてください。

ロール紙を給紙する場合は、［ロール紙］を選んで給紙してください。

カット紙を給紙する場合は、［カット紙］を選んで給紙してください。

1051

原因

プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1052

原因

プリンタードライバーの［ロール紙の幅に合わせる］で設定したロール紙幅と、プリンターにセットしてあるロール紙の幅が違います。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1054

原因

プリンタードライバーで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンターにセットされています。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1056

原因

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1057

原因

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1058

原因

ロール紙が残り少なくなりました。

対処方法

印刷は続行されます。早めにプリンターのロール紙を印刷に十分な残量のロール紙に交換してください。

- ロール紙をプリンターから取り外す
- ロール紙をプリンターにセットする

参考

- 印刷を中止する場合は、［ストップ］をタップしてください。

1061

原因

印刷ジョブで指定された用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして次の画面へ進みます。

表示された用紙の種類とサイズを確認して［OK］をタップします。

- **用紙の種類を合わせて印刷をやり直す場合**

  以下の手順で、印刷ジョブの用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせます。

  - **印刷ジョブの用紙の種類を変更する場合**

    1. ［キャンセル］をタップして、印刷を中止する
    2. 印刷ジョブの用紙の種類の設定をプリンターにセットした用紙の種類に変更し、印刷し直す

       ➡ ロール紙をプリンターにセットする
       ➡ カット紙をプリンターにセットする

  - **用紙を交換する場合**

    1. ［用紙を交換して印刷］をタップする
    2. 印刷ジョブで指定された種類の用紙をプリンターにセットし、印刷し直す

       ➡ ロール紙をプリンターにセットする
       ➡ カット紙をプリンターにセットする

- **現状の設定で印刷を続行する場合**

  ［セットしている用紙で印刷］をタップし、印刷を続行します。

  ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1200

原因

トップカバーまたはプリントヘッド固定レバーが開いています。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッド固定レバーがきちんと閉じているか確認してください。

トップカバーに異物などが挟まっていないことを確認し、トップカバーを閉め直します。

このエラーが再び発生する場合は、トップカバーを閉めてから電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れます。

参考

- プリントヘッドを取り付け中の場合は、作業が完了してからトップカバーを閉じてください。

1201

原因

インクタンクカバーが開いています。

対処方法

インクタンクカバーを閉めます。

1210

原因

インクタンクカバーが開いています。

対処方法

インクタンクカバーを閉めます。

1213

原因

リリースレバーが解除されています。

対処方法

リリースレバーを手前側に引きます。

このエラーが再び発生する場合は、電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れます。

1214

原因

印刷中、またはメンテナンス動作中にリリースレバーが解除されました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC19-2F21

1300

原因

印刷中に用紙がプリンター内部でつまりました。

対処方法

以下の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

1. リリースレバーを後ろ側に押して、つまった用紙を取り除く
   - ロール紙のつまりを取り除く
   - カット紙のつまりを取り除く
2. 用紙をセットする
   - ロール紙をプリンターにセットする
   - カット紙をプリンターにセットする
3. タッチスクリーンに［印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？］と表示された場合は、［はい］をタップする

   エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

再び同じエラーが発生する場合は、プリンターが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

1306

原因

カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。

対処方法

以下の手順で、ロール紙をセットして印刷します。

1. ホーム画面で用紙設定表示部をタップし、カット紙を取り外す
   ➡ カット紙を取り外す
2. ロール紙をセットする
   ➡ ロール紙をプリンターにセットする

参考

- 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップしてください。

1317

原因

紙送り中に、用紙が斜めにセットされていることを検知しました。

対処方法

リリースレバーを後ろ側に押して、用紙をセットし直します。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンターから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンターにセットしてください。

- ロール紙をプリンターにセットする

重要

- 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、プリンターのメニューの［斜行検知精度］で［しない］または［ゆるめ］を選択します。ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりや印刷結果に不具合が発生したり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

1322

原因

用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされているため、用紙サイズを検知できません。

対処方法

リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り除き、用紙を確認してセットし直します。

- ロール紙をプリンターにセットする
- カット紙をプリンターにセットする

タッチスクリーンに［印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？］と表示された場合は、［はい］をタップします。

エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

参考

- ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンターから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンターにセットしてください。
  - ロール紙をプリンターにセットする
- プラテンがインクなどで汚れていて、クリアフィルムのサイズを検知できなかった場合にもこのエラーが発生する可能性があります。 この場合は、トップカバーを開いて、プラテン全域を清掃します。
  - トップカバー内部を清掃する

1323

原因

対応していないサイズの用紙がセットされています。

対処方法

リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り除き、正しいサイズの用紙をセットし直します。

用紙のサイズ

参考

- 調整用パターンやノズルチェックパターンを印刷する場合は、A4/レター縦サイズ以上で未使用の用紙をセットし直します。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。

1324

原因

ロール紙がセットされている状態で、カット紙印刷のデータを受信しました。

対処方法

以下の手順で印刷し直してください。

1. タッチスクリーンで［用紙を取り外す］をタップし、印刷を中止する
2. ロール紙を取り外し、プリンタードライバーで指定したサイズ/種類のカット紙をセットして印刷し直す

➡ ロール紙をプリンターから取り外す
➡ カット紙をプリンターにセットする

参考

- 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップしてください。

1401

原因

プリントヘッドを認識できません。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

1403

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

1408

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

1409

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

140A

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

140B

原因

プリントヘッドを認識できません。

対処方法

トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

140C

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

140F

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

1477

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

トップカバーを開け、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

1478

原因

プリントヘッドにトラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして、新しいプリントヘッドに交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

1480

原因

過去に異なる機種に取り付けられたプリントヘッドが取り付けられました。

対処方法

正しいプリントヘッドを取り付けてください。

➡ プリントヘッドを交換する

1481

原因

過去に異なるインクセットを使用する機種に取り付けられたプリントヘッドが取り付けられました。

対処方法

正しいプリントヘッドを取り付けてください。

➡ プリントヘッドを交換する

1485

原因

使用できないプリントヘッドが取り付けられています。

対処方法

正しいプリントヘッドを取り付けてください。

➡ プリントヘッドを交換する

1492

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC02-2F42 EC21-2F44 EC3F-2F40 EC3F-2F41

1494

原因

プリントヘッドにトラブルが発生した可能性があります。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再度同じエラーが発生する場合は、プリントヘッドを一旦取り外し、取り付け直してください。

➡ プリントヘッドを交換する

それでもエラーが解消されない場合は、新しいプリントヘッドに交換してください。

1495

原因

プリントヘッドのノズルがつまっています。

対処方法

以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。

1. タッチスクリーンで［キャンセル］をタップして、印刷を中止する
2. プリントヘッドをクリーニングする

➡ プリントヘッドをクリーニングする

それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

重要

- タッチスクリーンで［印刷を続行する］をタップすると印刷を続行できます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

1500

原因

インクタンク内のインクが少なくなっています。

対処方法

新しいインクタンクをご用意ください。

1551

原因

過去に使用履歴のあるキヤノン純正インクタンクが検出されました。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップすると、表示されたメッセージを解除できます。

1552

原因

キヤノン純正インクタンクが取り付けられました。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップすると、表示されたメッセージを解除できます。

1570

原因

インクタンク内のインクがなくなりました。

対処方法

サブインクタンク内のインクが不足する前に、インクタンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

参考

- 印刷中もインクタンクを交換できます。

1571

原因

印刷中にインクタンクが取り外されました。

対処方法

インクタンクを交換中の場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。

➡ インクタンクを交換する

1660

原因

インクタンクが取り付けられていません。

対処方法

インクタンクを正しく取り付けてください。

➡ インクタンクを交換する

168B

原因

インクタンクが認識できません。

このプリンターがサポートできないインクタンクが取り付けられているため、印刷できません。

対処方法

正しいインクタンクを取り付けてください。

➡ インクタンクを交換する

1720

原因

メンテナンスカートリッジが満杯になりました。

メンテナンスカートリッジの交換が必要です。

対処方法

メンテナンスカートリッジを交換してください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

1721

原因

メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。

対処方法

メンテナンスカートリッジを取り付けてください。

メンテナンスカートリッジを交換する

1722

原因

メンテナンスカートリッジの種類が違います。

対処方法

正しいメンテナンスカートリッジを取り付けてください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

繰り返しこのエラーが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

1730

原因

キヤノン純正インクが使い切られたインクタンク、または模倣品の可能性があります。

対処方法

印刷を行うためには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

➡ インクタンクを交換する

インク残量検知機能を無効にする場合はプリンターの［ストップ］を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。キヤノン純正品以外のインクタンク、またはキヤノン純正品以外のインクを使用したことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えません。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。

模倣品についての情報は、下記リンクより、キヤノンのウェブサイトにアクセスしてください。

➡ 模倣品の情報

1731

原因

キヤノン純正でないインクタンクが検出されました。

対処方法

印刷を行うためには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

➡ インクタンクを交換する

インク残量検知機能を無効にする場合はプリンターの［ストップ］を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。キヤノン純正品以外のインクタンク、またはキヤノン純正品以外のインクを使用したことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えません。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。

模倣品についての情報は、下記リンクより、キヤノンのウェブサイトにアクセスしてください。

➡ 模倣品の情報

1752

原因

インクがなくなりました。

対処方法

インクタンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1753

原因

インクの残量を正しく検知できません。

対処方法

インクタンクを交換してください。印刷を再開します。

➡ インクタンクを交換する

一度空になったインクタンクが取り付けられています。

印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。

無効にする場合は、プリンターの［ストップ］を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。

インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障、またはインクの補充が原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

1756

原因

インクが不足する可能性があります。

対処方法

次の処理を実行または指定した処理を続行するには、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

1757

原因

サブインクタンクが充填できません。

対処方法

タッチスクリーンの表示を確認し、該当する色のインクタンクを取り外して、再度取り付けてください。

空のインクタンクが取り付けられていた場合は、新しいインクタンクに交換してください。

➡ インクタンクを交換する

2130

原因

印刷ジョブのロール紙幅と、プリンターにセットしてあるロール紙の幅が違います。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして次の画面へ進みます。

表示された用紙の種類とサイズを確認して［OK］をタップします。

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップします。

- **ロール紙を交換する場合**

  以下の手順で、プリンタードライバーで設定したロール紙幅の用紙に交換します。

  1. ［用紙を交換して印刷］をタップし、ロール紙を取り外す

     ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

  2. プリンタードライバーで設定した幅の用紙に交換する

     ➡ ロール紙をプリンターにセットする

     印刷が開始されます。

- **そのまま印刷する場合**

  ［セットしている用紙で印刷］をタップします。

  ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

参考

- Windows で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択したときに表示されるダイアログボックスでロール紙幅を設定します。
- macOS で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択し、同じパネルにあるロール紙幅と、プリンターにセットする用紙の幅を合わせてください。
- タッチスクリーンのメニューから［用紙の設定不一致を検知］を［検知しない］に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

  ➡ 用紙関連の設定

2131

原因

印刷ジョブのロール紙幅より、プリンターにセットしてあるロール紙の幅が小さいです。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップして次の画面へ進みます。

表示された用紙の種類とサイズを確認して［OK］をタップします。

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］または［ストップ］をタップします。

- **ロール紙を交換する場合**

  以下の手順で、プリンタードライバーで設定したロール紙幅の用紙に交換します。

  1. ［用紙を交換して印刷］をタップし、ロール紙を取り外す

     ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

  2. プリンタードライバーで設定した幅の用紙に交換する

     ➡ ロール紙をプリンターにセットする

     印刷が開始されます。

- **そのまま印刷する場合**

  ［セットしている用紙で印刷］をタップします。

  ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

参考

- Windows で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択したときに表示されるダイアログボックスでロール紙幅を設定します。
- macOS で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択し、同じパネルにあるロール紙幅と、プリンターにセットする用紙の幅を合わせてください。
- タッチスクリーンのメニューから［用紙の設定不一致を検知］を［検知しない］に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

  ➡ 用紙関連の設定

2132

原因

以下の原因により、テストプリントなどのプリンター内部データの印刷ができません。

- プリンターにセットされているロール紙のサイズが小さすぎます。
- プリンターにセットされているカット紙のサイズまたは種類が異なります。

対処方法

- **ロール紙の場合**

  タッチスクリーンで［用紙を交換して印刷］をタップするか、リリースレバーを後ろ側に押して、適切なサイズの用紙に交換してください。

  ➡ ロール紙をプリンターにセットする

  印刷を中止する場合は、［キャンセル］または［ストップ］をタップしてください。

- **カット紙の場合**

  リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り除き、1 ページ目と同じサイズ/種類の用紙をセットしてください。

  ➡ カット紙をプリンターにセットする

  印刷を中止する場合は、［ストップ］をタップしてください。

2701

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC5

2702

原因

プリントラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC6

2703

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC7

2800

原因

スキャナーユニットが開いています。

対処方法

スキャナーユニットを閉じます。

➡ スキャナーユニット

2801

原因

以下の原因が考えられます。

- スキャン中に原稿がスキャナー内部でつまりました。
- 原稿搬送中に原稿給紙口カバーを閉じました。
- 対応していないサイズ・厚みの原稿がセットされました。

対処方法

以下の手順で、原稿を取り除き、スキャンをやり直してください。

1. スキャナーユニットから原稿を取り除く

   ➡ 原稿のつまりを取り除く

2. 原稿をセットする

   ➡ 原稿をスキャナーユニットにセットする

重要

- 原稿搬送中は原稿給紙口カバーを閉じないでください。

参考

- 使用できる原稿サイズ・厚みについては、以下を参照してください。

  ➡ スキャンできる原稿について

2807

原因

以下の原因が考えられます。

- スキャン中に原稿がスキャナー内部でつまりました。
- プリントートラブルが発生しました。

対処方法

以下の手順で、原稿を取り除いた後、電源を切ってください。

➡ 原稿のつまりを取り除く

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

参考

- 使用できる原稿サイズ・厚みについては、以下を参照してください。

  ➡ スキャンできる原稿について

詳細エラーコード

EC82-2FB1

2808

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC1

2809

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC82-2FB4

280A

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC2

280B

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-2FC3

3000

原因

プリントヘッドの調整が実行されていません。

対処方法

［ヘッド位置調整］の実行をお勧めします。

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

参考

- このメッセージは［ヘッド位置調整］を実行するまで表示されます。

3001

原因

プリントヘッドのノズルがつまり始めています。

対処方法

印刷された出力物を確認してください。

印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

3101

原因

用紙共通キャリブレーション、または用紙個別キャリブレーションの実行をお勧めする状態になりました。

このメッセージは、［実行案内設定］が［ON］に設定されていて、以下のいずれかが当てはまる場合に表示されます。

- ［カラーキャリブレーション］を実行できない種類の用紙がプリンターにセットされていて、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙での［カラーキャリブレーション］の実施実績は無く、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙で［カラーキャリブレーション］の実施実績はなく、用紙共通キャリブレーションの実施実績もないとき。

対処方法

必要に応じて用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。

➡ カラーキャリブレーションを行う

参考

- このメッセージを非表示にする場合は、タッチスクリーンのメニューから［実行案内設定］を［OFF］にします。

  ➡ そのほかのメニュー項目

3200

原因

サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。

対処方法

［部品交換が必要です］と表示されるまでは、しばらく使用することができます。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

3201

原因

サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。

対処方法

お買い上げの販売店へご連絡ください。

3250

原因

メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。

対処方法

新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。メンテナンスカートリッジが満杯になると印刷ができなくなります。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

3300

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

3301

原因

HP-GL/2 コマンドでサポート範囲外のパラメーターが指定されました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

3302

原因

プリンターがサポートしていない HP-GL/2 コマンドが使用されました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

3303

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

3304

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

3306

原因

プリンターの用紙情報が壊れているため、用紙情報を正しく認識できません。

対処方法

[Media Configuration Tool]を起動して、用紙情報を復旧してください。

➡ Media Configuration Tool ガイド

[Media Configuration Tool]で本製品を選び［OK］をクリックすると、[Media Configuration Tool]は復旧モードになります。

用紙情報のバックアップファイルを指定し、読み込んでください。

用紙情報のバックアップファイルがない場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

3310

原因

印刷データが正しくありません。

プリンターがサポートしていないコマンドが使用されました。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3311

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3312

原因

印刷データが正しくありません。

省略不可の項目が省略されています。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3313

原因

印刷データが正しくありません。

データが範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3314

原因

印刷データが正しくありません。

解像度の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3315

原因

印刷データが正しくありません。

圧縮方法の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3316

原因

印刷データが正しくありません。

データ形式（色順序、ビット数）のフォーマットが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3317

原因

印刷データが正しくありません。

解像度とイメージデータフォーマットの組み合わせが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3331

原因

印刷データが大きすぎて、正常に印刷できない可能性があります。

対処方法

印刷データを確認してください。

3332

原因

サポートしていないフォーマットの JPEG データです。

対処方法

JPEG データを確認してください。

印刷可能なファイル形式は以下のとおりです。

- **JFIF1.02 準拠の JPEG**
  - 処理方式：基本 DCT 方式
  - カラーモード：RGB/GrayScale
  - 色数：24bit/8bit
  - ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下

  ※ただし、サンプリングの一部は非サポートです。

3333

原因

サポートしていないフォーマットの JPEG データです。

対処方法

JPEG データを確認してください。

印刷可能なファイル形式は以下のとおりです。

- **JFIF1.02 準拠の JPEG**
  - 処理方式：基本 DCT 方式
  - カラーモード：RGB/GrayScale
  - 色数：24bit/8bit
  - ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下

※ただし、サンプリングの一部は非サポートです。

3337

原因

JPEG 画像の処理中にメモリー不足になりました。

対処方法

印刷時に画像の回転を行わない設定で印刷してください。

印刷時の画像の回転は、［メニュー］→［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［JPEG 設定］→［用紙設定］→［自動回転］で変更できます。

参考

- JPEG ファイルの圧縮率を上げると印刷できる場合があります。

3338

原因

JPEG データの解像度とプリンターの設定が一致しません。

対処方法

印刷結果を確認してください。

印刷結果に問題がある場合は、プリンタードライバーから印刷してください。

3341

原因

印刷データの画像処理テーブルが不正です。

対処方法

印刷ジョブの画像処理テーブルを確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

3342

原因

解像度の設定が正しくありません。

対処方法

印刷の設定を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

4111

原因

本製品に対応していない種類の用紙が指定されています。

対処方法

［ストップ］をタップして印刷を中止してください。

用紙種類の設定を確認して、再度印刷を行ってください。

4113

原因

以下の理由でフチなし印刷ができません。

- プリンタードライバーが［ロール紙の幅に合わせる］に設定されていない。
- ロール紙の幅が足りない、または用紙のセット位置がずれている。

対処方法

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］をタップしてください。

- **用紙を交換する場合**

  以下の手順で、フチなし印刷できるプリンターの用紙に交換します。

  1. タッチスクリーンで［用紙を交換して印刷］をタップし、ロール紙を取り外す

     ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

  2. フチなし印刷できるプリンターの用紙に交換する

     ➡ ロール紙をプリンターにセットする

- **セットしている用紙で印刷する場合**

  タッチスクリーンで［セットしている用紙で印刷］をタップしてください。

  原稿の幅を用紙よりわずかに小さく設定して、フチなし印刷されます。

4114

原因

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

対処方法

タッチスクリーンで［OK］をタップし、用紙をセットし直します。

ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。

➡ ロール紙をプリンターにセットする

4116

原因

用紙のセット位置がずれています。

対処方法

- **用紙をセットし直す場合**

  タッチスクリーンで［用紙を交換して印刷］をタップし、用紙をセットし直します。

  ➡ ロール紙をプリンターにセットする

  ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。

  ➡ ロール紙をプリンターにセットする

- **セットしている用紙で印刷する場合**

  タッチスクリーンで［セットしている用紙で印刷］をタップしてください。

  原稿の幅を用紙よりわずかに小さく設定して、フチなし印刷されます。

- **印刷を中止する場合**

  タッチスクリーンで［キャンセル］をタップし、印刷を中止します。

参考

- タッチスクリーンのメニューで［用紙の設定不一致を検知］を［検知しない］にすることで強行印刷することができます。

  ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

4117

原因

フチなし印刷に対応していない設定のデータを受信しました。

対処方法

- **印刷ジョブを設定し直す場合**

  以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。

  1. タッチスクリーンで［キャンセル］をタップし、印刷を中止する
  2. お使いのアプリケーションソフトで、給紙元がロール紙に設定されていることを確認する
  3. バナー印刷が設定されていないことを確認し、印刷し直す

     フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙情報一覧を参照してください。

     ➡ 用紙情報一覧

- **フチありで印刷する場合**

  タッチスクリーンで［フチありで印刷する］をタップしてください。

  フチのある印刷になります。

4801

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC01-2F90 EC01-2F95 EC04-2F31 EC05-2F92 EC06-2F9A EC06-2F9B EC06-2F9C EC0F-2F96 EC11-2F2A EC12-2F29 EC12-2F2B EC12-2F2C EC13-2F17 EC15-2E23 EC16-2021 EC16-2022 EC16-2027 EC16-202A EC16-2038 EC21-2F51 EC21-2F54 EC21-2F57 EC21-2F59 EC21-2F61 EC21-2F67 EC21-2F70 EC21-2F71 EC21-2F72 EC22-2F30 EC22-2F47 EC23-260E EC23-2F11 EC23-2F18 EC23-2F32 EC31-2F1C EC31-2F1D EC31-2F1E EC31-2F22 EC33-2601 EC33-2F3A EC33-2F3D EC33-2F3E EC34-2602 EC34-2F3B EC35-2603 EC35-2F3C EC51-2F14 EC51-2F15 EC55-2F20 EC55-2F6C EC58-2F12

4803

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC51-203C

4905

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてください。

再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC51-3304

4920

原因

以下のいずれかの原因により用紙をカットできません。

- カットされた用紙が排紙ガイド上に残っている。
- 排紙口付近に異物があり、カッターブレードにぶつかっている。
- 用紙の推奨使用環境で使用していない。
- ［自動カット］に対応していない用紙を使用している。

対処方法

- **カットされた用紙が排紙ガイド上に残っている場合**

  以下の手順で、印刷を再開してください。

  1. リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除く
  2. 用紙をセットする
  3. タッチスクリーンに［印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？］と表示された場合は、［はい］をタップする

     エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

  ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

- **排紙口付近に異物があり、カッターブレードにぶつかっている場合**

  以下の手順で印刷を再開してください。

  1. トップカバーを開けて、異物を取り除く
  2. タッチスクリーンに［印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？］と表示された場合は、［はい］をタップする

     エラーが発生したページから、印刷が再開されます。

- **用紙の推奨使用環境で使用していない場合**

  用紙ごとに推奨使用環境が異なります。用紙は推奨使用環境範囲内で使用してください。

  推奨使用環境については、用紙情報一覧を参照してください。

  ➡ 用紙情報一覧

- **使用している用紙が［自動カット］に対応していない場合**

  ロール紙のカット方法を［ユーザーカット］に設定してロール紙をはさみなどでカットします。

  ➡ ロール紙のカット方法を設定する

  ［自動カット］の対応については、用紙情報一覧を参照してください。

  ➡ 用紙情報一覧

上記以外の場合はカッターブレードが故障している可能性があります。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

4924

原因

［カラーキャリブレーション］に対応している用紙がセットされていません。

対処方法

以下の手順で［カラーキャリブレーション］をやり直してください。

1. タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除する
2. ［カラーキャリブレーション］に対応している用紙をセットする

   対応している用紙については、用紙情報一覧を参照してください。

   ➡ 用紙情報一覧

プリンターにセットした用紙と、プリンターの用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

4925

原因

プリンター内部のセンサーの一部の性能が低下している可能性があります。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップして、［カラーキャリブレーション］を中止します。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

4926

原因

［カラーキャリブレーション］に対応していないサイズの用紙が給紙されています。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップして、［カラーキャリブレーション］を中止してください。

［カラーキャリブレーション］に対応したサイズの用紙をセットして、［カラーキャリブレーション］をやり直してください。

- 色を管理する
- カラーキャリブレーションを行う

4927

原因

以下の原因によって、［カラーキャリブレーション］に失敗した可能性があります。

- 調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。
- 直射日光など、強い光がプリンターに当たり、センサーが誤動作している可能性があります。
- 印刷した調整用パターンがかすれています。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除した後、以下の対処を行ってください。

- ［カラーキャリブレーション］に対応した未使用の用紙をセットします。
- プリンターに強い光が当たらないように調整してください。
- ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

  パターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドノズルがつまっています。プリントヘッドをクリーニングしてください。

  ➡ ノズルのつまりをチェックする

4931

原因

以下の原因によって、［紙送り調整］に失敗した可能性があります。

- 調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。
- 直射日光など、強い光がプリンターに当たり、センサーが誤動作している可能性があります。
- 印刷した調整用パターンがかすれています。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除した後、以下の対処を行ってください。

- 未使用の用紙をセットしてください。
- プリンターに強い光が当たらないように調整してください。
- ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

  パターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドノズルがつまっています。プリントヘッドをクリーニングしてください。

  ➡ ノズルのつまりをチェックする

4932

原因

プリントヘッドの調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。

対処方法

タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除します。

プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

4933

原因

プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。

対処方法

以下の手順で、［ヘッド位置調整］をやり直してください。

1. タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除する
2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる
   - ➡ ノズルのつまりをチェックする
3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする
   - ➡ プリントヘッドをクリーニングする
4. ［ヘッド位置調整］をやり直す
   - ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

4934

原因

プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。

対処方法

以下の手順で、［ヘッド位置調整］をやり直してください。

1. タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除する
2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる
   - ➡ ノズルのつまりをチェックする
3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする
   - ➡ プリントヘッドをクリーニングする
4. ［ヘッド位置調整］をやり直す
   - ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

4935

原因

プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。

対処方法

以下の手順で、［ヘッド位置調整］をやり直してください。

1. タッチスクリーンの［OK］をタップしてエラーを解除する
2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる
   - ➡ ノズルのつまりをチェックする
3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする
   - ➡ プリントヘッドをクリーニングする
4. ［ヘッド位置調整］をやり直す
   - ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

4937

原因

プリントヘッド位置の調整に失敗しました。

対処方法

以下の手順で、[ヘッド位置調整]をやり直してください。

1. タッチスクリーンの[OK]をタップしてエラーを解除する
2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる
   - ➡ ノズルのつまりをチェックする
3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする
   - ➡ プリントヘッドをクリーニングする
4. [ヘッド位置調整]をやり直す
   - ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

それでもノズルがつまる場合はプリントヘッドを交換してください。

➡ プリントヘッドを交換する

再び同じエラーが発生する場合は、プリンターが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

5010

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-4132 EC81-4135

5013

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-4130

5014

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-4131

5015

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC81-4134

5106

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC03-4061

5200

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC21-2F7E

5B10

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC4A-4001

5B16

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

詳細エラーコード

EC22-4001

5B20

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

詳細エラーコード

EC41-4001 EC43-4001 EC44-4001

5B21

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げの販売店へご連絡ください。

詳細エラーコード

EC48-4001

5C00

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

詳細エラーコード

EC31-4001

6502

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらくたってから、再度電源を入れてください。

それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC56-2FE0

6820

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC07-4060 EC51-404C EC51-404D EC51-404E

7050

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC51-5001

7052

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC51-5003

8200

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC24-4049 EC24-404A EC24-404B

9110

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC52-4038 EC52-4039

B20A

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

詳細エラーコード

EC03-403A

B510

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

詳細エラーコード

EC32-4001

エラーメッセージ一覧

プリンターにトラブルが発生すると、プリンターのタッチスクリーンに、トラブルが発生したことを知らせるメッセージが表示されます。

一覧にないエラーについては、「トラブルが発生したときは」を参照してください。

表示されるエラーメッセージ

- **印刷**
  - 用紙設定よりも小さなサイズの用紙に印刷しています。
  - 設定用紙は、フチなし印刷に対応していません。
  - 設定と異なる幅の用紙に印刷しています。
  - 用紙がフチなし印刷に適した位置にセットされていません。
  - 用紙設定と異なる種類の用紙がセットされています。
  - プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました
  - JPEG データの印刷処理に失敗しました。
  - 指定した JPEG データはサポート外のデータ形式です。
  - 指定したデータは解像度が範囲外です。
  - 印刷データが本製品で対応していないサイズです。データを確認してください。
  - GL2: 0903 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。
  - GL2: 0502 指定したパラメーターがサポート範囲を超えています
  - GL2: 0904 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。
  - GL2: 0501 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。
  - GL2: 0504 サポートしていない HP-GL/2 コマンドを受信しました。
  - SGRaster 印刷 1301 サポートしていないコマンドが指定されました。
  - SGRaster 印刷 1307 指定したデータは解像度が範囲外です。
  - SGRaster 印刷 1309 指定したデータはデータ形式のフォーマットが不正です。
  - SGRaster 印刷 1308 指定したデータは圧縮した値が範囲外です。
  - SGRaster 印刷 130A 指定したデータは解像度とデータ形式の組み合わせが不正です。
  - SGRaster 印刷 1304 指定したデータは範囲外です。
  - SGRaster 印刷 1302 指定したデータはパラメーターの個数が不正です。
  - SGRaster 印刷 1303 必須項目が設定されていません。
  - 画像処理 1602 指定したジョブは画像処理テーブルが不正です。
  - 画像処理 1603 画像処理で解像度を変換中にエラーが発生しました。
- **コピー**
  - メモリーがいっぱいです。「データサイズ」が小さくなるように設定するとジョブが実行できる場合があります。
- **スキャン**
  - USB メモリーが制限されています。
  - 新規宛先の指定と登録が制限されています。
  - メモリーがいっぱいです。
  - メモリーがいっぱいです。「データサイズ」が小さくなるように設定するとジョブが実行できる場合があります。
- **ネットワーク**
  - WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。
  - アクセスポイントが見つかりません。

- アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。
- 証明書の検証時にエラーが発生しました。
- 接続できませんでした。
- 接続できませんでした。暗号化キー設定を確認してください。
- ダイレクト接続が切断されました。
- 正しい認証情報を設定してください。
- 通信先から応答がありませんでした。
- 入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。
- 認証サーバーの証明書が解析できません。
- 認証サーバーの証明書が信頼できません。
- 認証サーバーの証明書は期限切れです。
- 認証に必要な情報を設定してください。
- 認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。
- 認証パスワードを変更してください。
- 認証方式の設定を確認してください。
- ホストから応答がありませんでした。
- Wi-Fi 通信できませんでした。主電源を OFF / ON した後、再度設定してください。
- 無線機器からの接続を検知できませんでした。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。正しい認証情報を設定してください。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。通信先から応答がありませんでした。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が解析できません。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が信頼できません。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書は期限切れです。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証に必要な情報を設定してください。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証パスワードを変更してください。
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証方式の設定を確認してください。
- フォルダーやファイルにアクセスできません。しばらくたってからもう一度実行するか、リモート UI から設定を確認してください。

- **インク**
  - プリント継続（保証外）
  - インクタンクがセットされていません。
  - インクタンク内のインクがなくなりました。
  - インクが少なくなっています。

- **メンテナンス**
  - ロール紙の残量が少なくなっています
  - メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。
  - 出力された印刷物を確認してください。
  - 用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。
  - キャリブレーションの実行をお勧めします。
  - ヘッド位置調整が実行されていません。
  - トラブルが発生しました。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。
  - 部品交換が近づいています（部品名）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。
  - 部品交換が必要です（部品名）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。

- **その他**
  - 情報送信の設定が必要です。

USB メモリーが制限されています。

原因

スキャンしたデータを USB メモリーに保存する機能が制限されています。

対処方法

制限を解除する場合は、［メモリーメディア設定］の設定を変更してください。

➡ USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存するための準備

重要

- 設定の反映には、プリンターの再起動が必要となります。

WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。

原因

何らかのエラーが発生したため、WPS 接続できませんでした。

対処方法

しばらく待ってから、WPS 接続をやりなおしてください。

それでも接続できない場合は、Wi-Fi ルーターが WPS に対応しているか確認してください。

WPS に対応している場合

プリンターと Wi-Fi の設置場所が適切か確認してください。

- プリンターと Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置してください。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにしてください。

WPS に対応していない場合

他の接続方式を使用してください。

➡ ネットワーク

アクセスポイントが見つかりません。

原因

何らかのエラーが発生したため、プリンターから Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）を検出できません。

対処方法

チェック 1 接続方式は正しく設定されていますか

Wi-Fi ルーターが対応している方式に応じて、接続方式を選択してください。

➡ ネットワーク

チェック 2 所定の時間内に接続していますか

Wi-Fi ルーターのボタン操作で接続する場合、プリンターの操作パネルで接続方式を設定したあと、1 ～ 2 分以内に、Wi-Fi ルーターのボタンを押してください。

チェック 3 SSID／ネットワークキーは正しく設定されていますか

Wi-Fi ルーターへの接続設定を手動で入力している場合は、Wi-Fi ルーターの SSID／ネットワークキーを確認し、プリンターに正しく設定してください。

➡ ネットワーク

チェック 4 プリンターと Wi-Fi ルーターの設置場所は適切ですか

- プリンターと Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置してください。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにしてください。

チェック 5 Wi-Fi ルーターのセキュリティー設定を確認してください

詳しくは、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。

原因

Wi-Fi ルーター（アクセスポイント）に同時接続できる機器の最大数を超えたため、接続できませんでした。

対処方法

Wi-Fi ルーターに接続している機器（クライアント）の数を減らしてください。

最大接続数については、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

証明書の検証時にエラーが発生しました。

原因

証明書の有効期限が切れているか、情報が正しくないため、検証時にエラーが発生しました。

対処方法

チェック 1 正しい鍵と証明書／CA 証明書をインストールしてください

有効期限や発行者などを確認し、鍵と証明書／CA 証明書をインストールしてください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

チェック 2 プリンターの現在日時は正しいか確認してください

正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定してください。

➡ タイマー/電力設定

新規宛先の指定と登録が制限されています。

原因

送信時に指定できる宛先が、アドレス帳に登録されている宛先のみに制限されています。

対処方法

以下の手順で操作して、制限を解除してください。

1. **リモート UI に管理者モードでログインする**

   ➡ リモート UI を起動する

2. **［設定/登録］を選ぶ**

3. **［送信設定］を選ぶ**

4. **［新規宛先の制限］を選ぶ**

5. **［編集...］を選ぶ**

6. **［新規宛先を制限する］のチェックマークをはずす**

7. **［OK］を選ぶ**

参考

- ［新規宛先の制限］の設定は、プリンターの操作パネルから変更することもできます。

  ➡ 新規宛先の制限

接続できませんでした。

原因

何らかのエラーが発生したため、ダイレクト接続で接続できませんでした。

対処方法

無線ダイレクト接続をやりなおしてください。

➡ 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

接続できませんでした。暗号化キーを確認してください。

原因

Wi-Fiルーター（アクセスポイント）のネットワークキー（暗号化キー）が、本機に正しく設定されていないため、接続できませんでした。

対処方法

Wi-Fiルーターのネットワークキーを確認し、プリンターに正しく設定してください。

➡ ネットワーク名（SSID）を手動で入力

ダイレクト接続が切断されました。

原因

モバイル機器との接続が切断されました。

対処方法

無線ダイレクト接続をやりなおしてください。

➡ 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

正しい認証情報を設定してください。

原因

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

対処方法

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

通信先から応答がありませんでした。

原因

LAN ケーブルが抜けているか、ネットワーク機器で問題が発生している可能性があります。

対処方法

LAN ケーブルとネットワーク機器の状況を確認してください。

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

原因

Wi-Fiルーター（アクセスポイント）のネットワークキーが、プリンターに正しく設定されていません。

対処方法

Wi-Fiルーターのネットワークキーを確認し、プリンターに正しく設定してください。

➡ ネットワーク名（SSID）を手動で入力

認証サーバーの証明書が解析できません。

原因

認証サーバーの証明書が正しくないか、プリンターがサポートしていないフォーマットの可能性があります。

対処方法

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じてプリンターの設定を変更してください。

➡ 鍵と証明書を管理／検証する

認証サーバーの証明書が信頼できません。

原因

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書がプリンターに登録されていません。

対処方法

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書をプリンターに登録してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

認証サーバーの証明書は期限切れです。

原因

SCEP サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

対処方法

SCEP サーバーの有効期限を確認してください。

➡ 鍵と証明書を管理／検証する

認証に必要な情報を設定してください。

原因

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

対処方法

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）をプリンターに正しく設定してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

原因

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

対処方法

IEEE 802.1X 設定について、以下の内容を確認し、正しく設定してください。

➡ リモート UI を起動する

チェック 1 ログイン名は正しく設定されていますか

チェック 2 ［TLS を使用する］／［TTLS を使用する］／［PEAP を使用する］の 1 つ以上にチェックマークが付いていますか

チェック 3 TLS を使用している場合、鍵と証明書が登録されていますか

チェック 4 TTLS/PEAP を使用している場合、ユーザー名とパスワードが正しく設定されていますか

認証パスワードを変更してください。

原因

パスワードの有効期限が切れています。

対処方法

新しいパスワードを設定してください。

➡ リモート UI を起動する

認証方式の設定を確認してください。

原因

プリンターで設定されている認証方式と SCEP サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

対処方法

SCEP サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定してください。

➡ 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

ホストから応答がありませんでした。

原因

プリンターがネットワークに正しく接続されていません。

対処方法

プリンターとネットワークの設定を確認し、正しく接続してください。

➡ 突然プリンターと通信できなくなった

Wi-Fi 通信できませんでした。主電源を OFF / ON した後、再度設定してください。

原因

何らかのエラーが発生したため、Wi-Fi に接続できませんでした。

対処方法

チェック 1 プリンターを再起動したあと、Wi-Fi への接続をやりなおしてください

➡ Wi-Fi 接続

チェック 2 プリンターと Wi-Fi ルーターの設置場所は適切ですか

- プリンターと Wi-Fi ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置してください。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにしてください。

チェック 3 Wi-Fi ルーターのセキュリティー設定を確認してください

詳しくは、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

無線機器からの接続を検知できませんでした。

原因

何らかのエラーが発生したため、本機からモバイル機器を検出できません。

対処方法

チェック 所定の時間内に接続していますか

SSID とネットワークキーを表示してから 5 分以内に、モバイル機器をプリンターに接続してください。

メモリーがいっぱいです。

原因

メモリー内に十分な空き容量がないため、スキャンできません。

対処方法

チェック 1 印刷待ちや送信待ちのデータがある場合は、処理が終了するまでお待ちください

チェック 2 スキャンする場合は、データサイズが小さいファイル形式に変更してください

スキャンするには、タッチスクリーンのメニューで、［データサイズ］を［小：サイズ優先］に変更を試してみてください。

➡ スキャンするときの設定項目

チェック 3 USB フラッシュメモリーにスキャンデータを保存する場合は、USB フラッシュメモリー内の不要なファイルを削除するか、別の USB フラッシュメモリーを使用してください

メモリーがいっぱいです。「データサイズ」が小さくなるように設定するとジョブが実行できる場合があります。

原因

メモリー内の空き容量がなくなったため、原稿をスキャンできません。

対処方法

スキャンするには、タッチスクリーンのメニューで、［データサイズ］を［小：サイズ優先］に変更を試してみてください。

- コピーするときの設定項目
- スキャンするときの設定項目

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。正しい認証情報を設定してください。

原因

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

対処方法

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。通信先から応答がありませんでした。

原因

ネットワークの接続に問題が発生している可能性があります。

対処方法

ネットワークの接続状況や設定を確認してください。

チェック 1 LAN ケーブルやネットワーク機器の状態を確認してください

チェック 2 Wi-Fi ルーターのネットワークキーを確認し、プリンターに正しく設定してください

➡ ネットワーク名（SSID）を手動で入力

Wi-Fi ルーターの設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が解析できません。

原因

認証サーバーの証明書が正しくないか、プリンターがサポートしていないフォーマットの可能性があります。

対処方法

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更してください。

➡ 鍵と証明書を管理／検証する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が信頼できません。

原因

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書がプリンターに登録されていません。

対処方法

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書は期限切れです。

原因

SCEP サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

対処方法

SCEP サーバーの有効期限を確認してください。

➡ 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証に必要な情報を設定してください。

原因

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

対処方法

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証パスワードを変更してください。

原因

認証パスワードの有効期限が切れています。

対処方法

新しいパスワードを設定してください。

➡ リモート UI を起動する

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証方式の設定を確認してください。

原因

プリンターで設定されている認証方式と、SCEP サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

対処方法

SCEP サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定してください。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

フォルダーやファイルにアクセスできません。しばらくたってからもう一度実行するか、リモート UI から設定を確認してください。

原因

フォルダーへのアクセス権がないか、アクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

対処方法

フォルダーへのパスを正しく設定してください。

アクセス制限が設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを正しく設定してください。

リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして共有フォルダーの情報を正しく設定してください。

➡ リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

情報送信の設定が必要です。

原因

プリンターの情報送信の許諾を再度行う必要があります。

対処方法

以下の手順で情報送信の設定を行ってください。

重要

- この操作を行うには管理者権限が必要です。

1. プリンターのホームボタンを押す

ホーム画面が表示されます。

2. [メニュー]を選ぶ

3. [管理設定]を選ぶ

4. [データ管理]を選ぶ

5. [情報送信の設定]を選ぶ

参考

- [情報送信の設定]を選んだあと、お住いの国や地域によっては、年齢確認が表示される場合があります。

6. [変更する]を選ぶ

[ご利用になる条件の確認]が表示されます。

7. タッチスクリーンに表示された内容を確認し、[次へ]を選ぶ

8. [同意する]を選ぶ

[サービス改善のための情報送信の確認]が表示されます。

9. タッチスクリーンに表示された内容を確認し、[次へ]を選ぶ

10. [同意する]を選ぶ

プリント継続（保証外）

原因

インクがなくなった可能性があります。

対処方法

継続して使用することは可能ですが、お早めに新しいインクタンクに交換してください。

➡ インクタンクを交換する

インクタンクがセットされていません。

原因

インクタンクがセットされていません。

対処方法

インクタンクを正しくセットしてください。

➡ インクタンクを交換する

インクタンク内のインクがなくなりました。

原因

インクタンク内のインクがなくなりました。

対処方法

サブインクタンク内のインクが不足する前に、インクタンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。

➡ インクタンクを交換する

参考

- 印刷中もインクタンクを交換できます。

インクが少なくなっています。

原因

インクタンク内のインクが少なくなっています。

対処方法

新しいインクタンクをご用意ください。

ロール紙の残量が少なくなっています。

原因

ロール紙が残り少なくなりました。

対処方法

印刷は続行されます。早めにプリンターのロール紙を印刷に十分な残量のロール紙に交換してください。

- ロール紙をプリンターから取り外す
- ロール紙をプリンターにセットする

メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。

原因

メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。

対処方法

このままプリンターを使い続けるとエラーになる可能性がありますので、新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。

➡ メンテナンスカートリッジを交換する

出力された印刷物を確認してください。

原因

プリントヘッドのノズルがつまり始めています。

対処方法

印刷された出力物を確認してください。

印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。

原因

用紙共通キャリブレーション、または用紙個別キャリブレーションの実行をお勧めする状態になりました。

このメッセージは、［実行案内設定］が［ON］に設定されていて、以下のいずれかが当てはまる場合に表示されます。

- ［カラーキャリブレーション］を実行できない種類の用紙がプリンターにセットされていて、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙での［カラーキャリブレーション］の実施実績は無く、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙で［カラーキャリブレーション］の実施実績はなく、用紙共通キャリブレーションの実施実績もないとき。

対処方法

必要に応じて用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。

➡ カラーキャリブレーションを行う

参考

- このメッセージを非表示にする場合は、タッチスクリーンのメニューから［実行案内設定］を［OFF］にします。

  ➡ そのほかのメニュー項目

キャリブレーションの実行をお勧めします。

原因

用紙共通キャリブレーション、または用紙個別キャリブレーションの実行をお勧めする状態になりました。

このメッセージは、［実行案内設定］が［ON］に設定されていて、以下のいずれかが当てはまる場合に表示されます。

- ［カラーキャリブレーション］を実行できない種類の用紙がプリンターにセットされていて、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙での［カラーキャリブレーション］の実施実績は無く、前回の用紙共通キャリブレーションを実行してから所定の条件に達したとき。
- ［カラーキャリブレーション］を実行できる種類の用紙がプリンターにセットされているが、その用紙で［カラーキャリブレーション］の実施実績はなく、用紙共通キャリブレーションの実施実績もないとき。

対処方法

必要に応じて用紙共通キャリブレーションの実行をお勧めします。

➡ カラーキャリブレーションを行う

参考

- このメッセージを非表示にする場合は、タッチスクリーンのメニューから［実行案内設定］を［OFF］にします。

  ➡ そのほかのメニュー項目

ヘッド位置調整が実行されていません。

原因

プリントヘッドの調整が実行されていません。

対処方法

［ヘッド位置調整］の実行をお勧めします。

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

参考

- このメッセージは［ヘッド位置調整］を実行するまで表示されます。

用紙設定よりも小さなサイズの用紙に印刷しています。

原因

プリンタードライバーで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンターにセットされています。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

設定用紙は、フチなし印刷に対応していません。

原因

フチなし印刷に対応していない設定のデータを受信しました。

対処方法

- **印刷ジョブを設定し直す場合**

  以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。

  1. お使いのアプリケーションソフトで、給紙元がロール紙に設定されていることを確認する
  2. バナー印刷が設定されていないことを確認し、印刷し直す

     フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙情報一覧を参照してください。

     ➡ 用紙情報一覧

設定と異なる幅の用紙に印刷しています。

原因

印刷ジョブのロール紙幅より、プリンターにセットしてあるロール紙の幅が小さいです。

対処方法

プリンターにセットしているロール紙を交換します。

- **ロール紙を交換する場合**

  以下の手順で、印刷ジョブの用紙サイズと同じロール紙幅の用紙に交換します。

  1. ロール紙を取り外す

     ➡ ロール紙をプリンターから取り外す

  2. プリンタードライバーで設定した幅の用紙に交換する

     ➡ ロール紙をプリンターにセットする

参考

- Windows で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択したときに表示されるダイアログボックスでロール紙幅を設定します。
- macOS で印刷設定をやり直す場合は、プリンタードライバーで［ロール紙の幅に合わせる］を選択し、同じパネルにあるロール紙幅と、プリンターにセットする用紙の幅を合わせてください。
- タッチスクリーンのメニューから［用紙の設定不一致を検知］を［検知しない］に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

  ➡ 用紙関連の設定

用紙がフチなし印刷に適した位置にセットされていません。

原因

用紙のセット位置がフチなし印刷に適していません。

対処方法

印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙設定と異なる種類の用紙がセットされています。

原因

プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。

対処方法

- **プリンタードライバーの印刷設定を変更する場合**

  プリンタードライバーの用紙の種類の設定をプリンターにセットした用紙の種類に変更し、印刷し直す

- **用紙を交換する場合**

  プリンターにプリンタードライバーで設定した種類の用紙をセットし、印刷し直す

  ➡ ロール紙をプリンターにセットする
  ➡ カット紙をプリンターにセットする

参考

- タッチスクリーンのメニューから［用紙の設定不一致を検知］を［検知しない］に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

  ➡ 用紙関連の設定

トラブルが発生しました。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換が近づいています（ 部品名 ）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。

原因

サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。

対処方法

［部品交換が必要です］と表示されるまでは、しばらく使用することができます。

お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

部品交換が必要です（ 部品名 ）。マニュアルを参照し、修理を依頼してください。

原因

サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。

対処方法

お買い上げの販売店へご連絡ください。

GL2: 0903 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

GL2: 0502 指定したパラメーターがサポート範囲を超えています

原因

HP-GL/2 コマンドでサポート範囲外のパラメーターが指定されました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

GL2: 0904 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

GL2: 0501 プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました。

原因

HP-GL/2 エミュレーションモードでメモリーがいっぱいになりました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

GL2: 0504 サポートしていない HP-GL/2 コマンドを受信しました。

原因

プリンターがサポートしていない HP-GL/2 コマンドが使用されました。

対処方法

印刷データを確認してください。

印刷は続行されますが、正しい印刷結果にならない可能性があります。

印刷結果を確認してください。

プリンター本体のメモリーがいっぱいになりました

原因

JPEG 画像の処理中にメモリー不足になりました。

対処方法

印刷時に画像の回転を行わない設定で印刷してください。

印刷時の画像の回転は、［メニュー］→［ファンクション設定］→［プリンター］→［プリンター仕様設定］→［JPEG 設定］→［用紙設定］→［自動回転］で変更できます。

参考

- JPEG ファイルの圧縮率を上げると印刷できる場合があります。

JPEG データの印刷処理に失敗しました。

原因

サポートしていないフォーマットの JPEG データです。

対処方法

JPEG データを確認してください。

印刷可能なファイル形式は以下のとおりです。

- **JFIF1.02 準拠の JPEG**
  - 処理方式：基本 DCT 方式
  - カラーモード：RGB/GrayScale
  - 色数：24bit/8bit
  - ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下

※ただし、サンプリングの一部は非サポートです。

指定した JPEG データはサポート外のデータ形式です。

原因

サポートしていないフォーマットの JPEG データです。

対処方法

JPEG データを確認してください。

印刷可能なファイル形式は以下のとおりです。

- **JFIF1.02 準拠の JPEG**
  - 処理方式：基本 DCT 方式
  - カラーモード：RGB/GrayScale
  - 色数：24bit/8bit
  - ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下

※ただし、サンプリングの一部は非サポートです。

指定したデータは解像度が範囲外です。

原因

JPEG データの解像度とプリンターの設定が一致しません。

対処方法

印刷結果を確認してください。

印刷結果に問題がある場合は、プリンタードライバーから印刷してください。

印刷データが本製品で対応していないサイズです。データを確認してください。

原因

印刷データが大きすぎて、正常に印刷できない可能性があります。

対処方法

印刷データを確認してください。

SGRaster 印刷 1301 サポートしていないコマンドが指定されました。

原因

印刷データが正しくありません。

プリンターがサポートしていないコマンドが使用されました。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1307 指定したデータは解像度が範囲外です。

原因

印刷データが正しくありません。

解像度の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1309 指定したデータはデータ形式のフォーマットが不正です。

原因

印刷データが正しくありません。

データ形式（色順序、ビット数）のフォーマットが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1308 指定したデータは圧縮した値が範囲外です。

原因

印刷データが正しくありません。

圧縮方法の値が範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 130A 指定したデータは解像度とデータ形式の組み合わせが不正です。

原因

印刷データが正しくありません。

解像度とイメージデータフォーマットの組み合わせが不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1304 指定したデータは範囲外です。

原因

印刷データが正しくありません。

データが範囲外です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1302 指定したデータはパラメーターの個数が不正です。

原因

印刷データが正しくありません。

パラメーターの個数が不正です。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

SGRaster 印刷 1303 必須項目が設定されていません。

原因

印刷データが正しくありません。

省略不可の項目が省略されています。

対処方法

印刷データに不備がありましたので、印刷結果を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

画像処理 1602 指定したジョブは画像処理テーブルが不正です。

原因

印刷データの画像処理テーブルが不正です。

対処方法

印刷ジョブの画像処理テーブルを確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

画像処理 1603 画像処理で解像度を変換中にエラーが発生しました。

原因

解像度の設定が正しくありません。

対処方法

印刷の設定を確認してください。

RIP（ラスター・イメージ・プロセッサー）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

エラーコード一覧

印刷できなかった場合や、スキャン画像を送信できなかった場合など、エラーが起こると、レポートやジョブ履歴にエラーコード（「＃」で始まる 3 桁の番号）が表示されます。

一覧にないエラーについては、「トラブルが発生したときは」を参照してください。

表示されるエラーコード

- **#001～#099**

  #001 #037 #099

- **#401～#499**

  #401 #406 #408

- **#701～#799**

  #752 #753 #755 #766

- **#801～#899**

  #801 #802 #804 #806 #809 #810 #813 #839 #841 #844 #846

- **#901～#999**

  #995

#001

原因

スキャナーユニットに原稿がつまっています。

対処方法

つまった原稿を取り除いてください。

➡ 原稿のつまりを取り除く

#037

原因

ファイルサイズが大きすぎるため、印刷できませんでした。

対処方法

印刷待ちのデータがある場合は、処理が終了するまでお待ちください。

そのあと、以下の対処を行ってください。

印刷する場合：

ファイルを最適化してサイズを小さくしたり、ファイルを分割してから、印刷をやりなおしてください。

#099

原因

ジョブを中止する操作が行われました。

対処方法

異常ではありません。

必要に応じて、操作しなおしてください。

#401

原因

USB フラッシュメモリー内に十分な空き容量がありません。

対処方法

USB フラッシュメモリー内の不要なファイルを削除するか、別の USB フラッシュメモリーを使用してください。

#406

原因

USB フラッシュメモリー保存時にエラーが発生しました。

対処方法

USB フラッシュメモリーが抜けていないか確認してください。USB フラッシュメモリーは端子の向きを確認し、正しく差し込んでください。

#408

原因

USB フラッシュメモリーが抜けているか、サポート外の形式でフォーマットされている USB フラッシュメモリーが使用されています。

対処方法

USB フラッシュメモリーが抜けていないか確認してください。USB フラッシュメモリーは端子の向きを確認し、正しく差し込んでください。

USB フラッシュメモリーのフォーマット（ファイルシステム）を確認してください。ファイルシステムが FAT16 および FAT32 の USB フラッシュメモリーを使用できます。

#752

原因

SMTP/POP3 サーバー名が正しく設定されていないか、プリンターがネットワークに正しく接続されていません。

対処方法

チェック 1 プリンターに設定されている SMTP/POP3 サーバー名を確認してください

- リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

チェック 2 ネットワークの接続状況や設定を確認してください

プリンターがネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をやりなおしてください。

- ネットワークにプリンターが見つからない
- ネットワークについてよくあるご質問

#753

原因

LAN ケーブルが抜けているためネットワークに接続できませんでした。

対処方法

チェック LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

➡ 有線 LAN 接続

#755

原因

TCP/IP が正しく設定されていないか、通信開始までの待機時間が設定されているため、ネットワークに接続できませんでした。

対処方法

チェック 1 ネットワークの接続状況や設定を確認してください

プリンターがネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をやりなおしてください。

- ネットワークにプリンターが見つからない
- ネットワークについてよくあるご質問

チェック 2 通信開始までの待機時間は設定されていますか

待機時間が設定されている場合、プリンターの電源を入れた直後はすぐに通信できません。待機時間が経過してから、操作をやりなおしてください。

設定の確認または変更は、以下の手順で行います。

1. リモート UI に管理者モードでログインする
   - リモート UI を起動する
2. ［設定/登録］を選ぶ
3. ［ネットワーク設定］を選ぶ
4. ［起動時の接続待機時間設定］を選ぶ
5. ［編集...］を選ぶ
6. 待機時間を入力する
7. ［OK］を選ぶ

参考

- ［起動時の接続待機時間］の設定は、プリンターの操作パネルから変更することもできます。
  - 起動時の接続待機時間

#766

原因

証明書の有効期限が切れています。

対処方法

チェック 1 証明書を更新するか、有効期限が切れていない証明書を使用してください

➡ 鍵と証明書を管理／検証する

チェック 2 プリンターの現在日時は正しいですか

正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定してください。

➡ タイマー/電力設定

#801

原因

SMTP サーバーに接続できないか、SMTP サーバーや共有フォルダーの情報が正しく設定されていません。

対処方法

チェック 1 ネットワークの接続状況や設定を確認してください

プリンターがネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をやりなおしてください。

- ネットワークにプリンターが見つからない
- ネットワークについてよくあるご質問

チェック 2 SMTP サーバーまたは共有フォルダーの設定を正しく設定してください

メールを送信する場合は、SMTP サーバーの設定を正しく設定してください。

- リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

共有フォルダに保存する場合は、リモート UI を使用して、共有フォルダを正しく設定してください。

- リモート UI からアドレス帳に宛先を登録する

チェック 3 メールを送信する場合は、SMTP サーバーの状態を確認してください

SMTP サーバーからエラーメッセージが届いている場合は、内容を確認して対応してください。

SMTP サーバーがネットワークで正常に動作しているかどうか確認してください。SMTP サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

チェック 4 共有フォルダーに保存する場合は、共有フォルダーとパソコンの状態を確認してください

共有フォルダーと、共有フォルダーのあるパソコンのどちらもが、正常に動作しているか確認してください。

#802

原因

SMTP/POP3 サーバー名が正しく設定されていません。

対処方法

メール送信する場合は、SMTP/POP3 サーバー名を正しく設定してください。

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#804

原因

共有フォルダーへのアクセス権がないか、宛先が正しく設定されていません。

対処方法

チェック 1 送信ユーザー（宛先に登録したユーザー名）に、保存先フォルダーへの書き込み権限がありますか

権限がない場合は、送信ユーザーに保存先フォルダーへの書き込み権限を設定します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

チェック 2 共有フォルダーへのパスを正しく設定してください

リモート UI でアドレス帳を開き、該当の宛先をクリックして、パスを正しく設定してください。

➡ アドレス帳に宛先を登録する

#806

原因

共有フォルダーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

または、メールの宛先が正しく設定されていません。

対処方法

共有フォルダーに保存する場合は、サーバーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを正しく設定してください。

➡ アドレス帳に宛先を登録する

メールを送信する場合は、正しいメールアドレスを指定して送信しなおしてください。

アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されているメールアドレスが正しいかどうかを確認してください。

#809

原因

SMB サーバーに同名のファイルがあったため、保存できませんでした。

対処方法

該当するファイルを削除してから、スキャンをやりなおしてください。

#810

原因

POP3 サーバーに接続できないか、POP3 サーバーの情報が正しく設定されていません。

対処方法

チェック 1 ネットワークの接続状況や設定を確認してください

プリンターがネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をやりなおしてください。

- ネットワークにプリンターが見つからない
- ネットワークについてよくあるご質問

チェック 2 POP3 サーバーの情報を正しく設定してください

- リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

チェック 3 POP3 サーバーの状態を確認してください

POP3 サーバーがネットワークで正常に動作しているか確認してください。

POP3 サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#813

原因

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

対処方法

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名とパスワードを正しく設定してください。

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#839

原因

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

対処方法

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードを正しく設定して下さい。

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#841

原因

SMTP サーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、SMTP サーバーと共通の暗号化アルゴリズムが存在しないため、暗号化通信できませんでした。

または、証明書の検証エラーが発生しました。

対処方法

チェック 1 SMTP サーバーが対応しているアルゴリズムと、プリンターが対応しているアルゴリズムを確認してください

SMTP サーバーが対応しているアルゴリズムについては、プロバイダーにお問い合わせください。

プリンターが対応しているアルゴリズムについては、以下のページを参照してください。

➡ 鍵と証明書を管理／検証する

チェック 2 適切な CA 証明書が登録されていますか

SMTP サーバーの認証に使用する CA 証明書が、プリンターに登録されているか確認してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

チェック 3 SMTP サーバーのサーバー証明書を確認してください

サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認してください。

チェック 4 SMTP サーバーとの通信を暗号化しないように設定してください

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#844

原因

送信前の POP 認証（POP before SMTP）で、POP3 サーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、暗号化通信できませんでした。

または、証明書の検証エラーが発生しました。

対処方法

チェック 1 適切な CA 証明書が登録されていますか

POP3 サーバーの認証に使用する CA 証明書が、プリンターに登録されていることを確認してください。

➡ 発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

チェック 2 POP3 サーバーのサーバー証明書を確認してください

サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認してください。

チェック 3 POP3 サーバーとの通信を暗号化しないように設定してください

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#846

原因

送信前の POP 認証（POP before SMTP）で、認証時にパスワードを暗号化する APOP 認証を使用するように設定されていますが、APOP 認証できませんでした。

対処方法

APOP 認証を使用しないように設定してください。

➡ リモート UI からメールサーバーの詳細情報を設定する

#995

原因

待機中のジョブの送受信が中止されました。

対処方法

必要に応じて、送受信をやりなおしてください。

製品情報

- 安全ガイド
- 取り扱い上のご注意
- 仕様

安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下のことを必ずお守りください。火災・感電など思わぬ事故の原因になります。

⚠警告

- **心臓ペースメーカーをお使いの方へ**

  本製品からは微弱な磁気が出ています。異常を感じた場合は、本製品から離れ、医師にご相談ください。

- **以下の場合はすぐに電源を切ってください**

  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上、修理を依頼してください。

  - 本体内部に異物（金属片や液体など）が入った。
  - 発煙した、異臭がする、異音がする。
  - 電源コードやケーブル類が、発熱している、錆びている、曲がっている、擦れている、損傷がある。

- **火災・感電の原因になりますので、以下の事項を必ずお守りください。**

  - 本製品をアルコール、シンナーなどの可燃性溶剤の近くに設置しない。
  - 本製品を分解、改造しない。
  - 付属のケーブル類を使用する。また、付属のケーブル類を、他の機器に転用しない。
  - 指定された電源電圧や周波数以外で使用しない。
  - 電源プラグを確実にコンセントの奥まで差し込む。
  - 電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。
  - 電源コードやケーブル類を傷つけない／加工しない／引っ張らない／束ねない／結ばない／無理に曲げない。
  - 電源コードやケーブル類に重いものをのせない。
  - 1 つのコンセントに複数の電源プラグを差し込まない。
  - 延長コードを複数接続しない。
  - 近隣で雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜き、本製品を使用しない。
  - 清掃するときは、ケーブル類と電源プラグは必ず抜き、アルコール、シンナーなどの可燃性の高いスプレーや液体は使用しない。
  - 電源プラグや電源コードは 1 か月に 1 度コンセントから抜いて、ほこりがたまっていないか、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂のような異常な状態になっていないかを確認する。

⚠注意

- 印刷中はプリンター内部に手を入れないでください。
- 印刷直後、プリントヘッドの金属部分に手を触れないでください。
- 本体の可動部周辺に下記のマークが表示されています。手を触れたり、指を入れたりしないように注意してください。なお、お使いの機種によってはマークが表示されていない場合もあります。

	可動部あり 可動路もしくは可動領域から体を離してください。

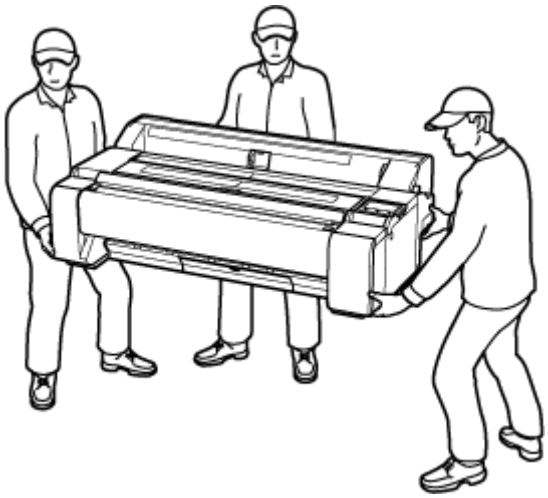
- **インクタンクについて**

  - お子様の手の届かないところに保管してください。

- 誤ってなめたり、飲んだりした場合は、口をすすぐか、コップ 1、2 杯の水を飲み、直ちに医師にご相談ください。また、インクが目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、直ちに医師にご相談ください。
- インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- インクが衣服や持ち物に付着した場合、洗っても落ちない可能性があります。
- 火気の近く、暖房器具の近く、自動車の中など、高温となる場所に放置しないでください。容器が変形してインクが漏れたり、インクの品質が劣化したりする可能性があります。

- **プリンターを持ち運ぶとき**
  - プリンターの左右を下記の人数で持ってください。重量で腰などを痛める原因になります。

    TM-610M / TM-510M：3 人以上



設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
  使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
  毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- プリンター背面を壁につけて置かないでください。
- 設置には十分なスペースを確保することをお勧めします。
- 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。
- 設置環境などによっては、動作音が気になることがあります。
  その場合は、離れた場所（別室など）に設置することをお勧めします。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。
- 万一の感電を防止するために、プリンターにアース線を接続してください。

取扱いについて

- 印刷中はプリンターの中に手を入れないでください。
- プリンターを使用するときや輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- プリンターを傾けて輸送するときは、内部構造を保護するために、必ず「プリンターの輸送の準備をする」を行ってください。
- プリンターの上にものを置かないでください。特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- 本製品は、エコマークに基づく揮発性物質の放散基準を満たしていますが、より快適な環境を保つため、部屋の換気を行うようにしてください。

プリントヘッド／インクタンク／メンテナンスカートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
  誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。
  熱くなっている場合があります。
- インクタンクやメンテナンスカートリッジを火中に投じないでください。
- プリントヘッドやインクタンク、メンテナンスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。
- プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

法規制情報

電波について

使用上の注意

- 本製品を医療用の装置や電子機器の近くで使用しないでください。電波の干渉により、それらの装置や機器の動作や性能に影響を与えることがあります。
- 本製品には電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線装置に貼付されています。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてキヤノンお客様相談センターへご相談ください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、キヤノンお客様相談センターへお問い合わせください。

高調波（日本向けモデルについてのみ有効）

高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）にてご覧いただけます。

使用済み製品の廃棄について

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。
業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。
キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

取り扱い上のご注意

- プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意
- 原稿をスキャンするときの注意事項

プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意

プリンターに個人情報を登録したり、各種パスワードなどのセキュリティ情報を設定したりしたときは、それらの情報がプリンター内に残っている可能性があります。

情報の漏洩をさけるため、プリンターを修理・貸与などで一時的に手放すときや、譲渡または破棄するときは、以下の作業を行ってください。

➡ プリンターの設定を初期化する

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿として複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

仕様

- 仕様
- 印刷領域

仕様

- 本体仕様
  - TM-610M / TM-5610M
  - TM-510M / TM-5510M
- 印刷性能
- スキャン性能
- メモリー
- インターフェイス
- ネットワーク仕様
- 動作条件
- インク
- 用紙

重要

- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

本体仕様

TM-610M / TM-5610M

電源	AC 100～240 V（50/60 Hz）
消費電力	**コピー時（有線 LAN 接続時）：**約 76 W **スリープ時（有線 LAN 接続時）：**約 1.6 W **スリープ時（すべてのポート接続時）：**約 2.2 W **電源 OFF 時：**約 0.08 W *1 *1 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
動作環境	**温度：**15～30℃（59～86°F） **湿度：**10～80%RH（結露しないこと）
寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	**本体のみ（操作パネルを立てたとき）：** 約 1285 x 720 x 443 mm（50.6 x 28.4 x 17.5 in.） **本体とスタンド SD-35（バスケットを開いたとき、操作パネルを立てたとき）：** 約 1285 x 885 x 1064 mm（50.6 x 34.9 x 41.9 in.） **本体とスタンド SD-35（取り出しポジション B、操作パネルを立てたとき）*：** 約 1285 x 1098 x 1064 mm（50.6 x 43.3 x 41.9 in.） **本体とスタンド SD-34（バスケットを開いたとき、操作パネルを立てたとき）：** 約 1285 x 868 x 1064 mm（50.6 x 34.2 x 41.9 in.） * 取り出しポジションについては、「バスケットのポジション例」を参照してください。
質量	**本体のみ（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：**

	約 62 kg（137 lb） **本体とスタンド SD-35（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：** 約 77 kg（169 lb） **本体とスタンド SD-34（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：** 約 75 kg（166 lb）
設置スペース（幅 x 奥行 x 高さ）	**本体とスタンド SD-35：** 約 1685 x 1698 x 1664 mm（66.4 x 66.9 x 65.6 in.） **本体とスタンド SD-34：** 約 1685 x 1468 x 1664 mm（66.4 x 57.8 x 65.6 in.）

TM-510M / TM-5510M

電源	AC 100～240 V（50/60 Hz）
消費電力	**コピー時（有線 LAN 接続時）：**約 70 W **スリープ時（有線 LAN 接続時）：**約 1.6 W **スリープ時（すべてのポート接続時）：**約 2.2 W **電源 OFF 時：**約 0.08 W *1 *1 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
動作環境	**温度：**15～30℃（59～86°F） **湿度：**10～80%RH（結露しないこと）
寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	**本体のみ（操作パネルを立てたとき）：** 約 978 x 720 x 443 mm（38.6 x 28.4 x 17.5 in.） **本体とスタンド SD-26（バスケットを開いたとき、操作パネルを立てたとき）：** 約 978 x 885 x 1064 mm（38.6 x 34.9 x 41.9 in.） **本体とスタンド SD-26（取り出しポジション B、操作パネルを立てたとき）*：** 約 978 x 1098 x 1064 mm（38.6 x 43.3 x 41.9 in.） **本体とスタンド SD-25（バスケットを開いたとき、操作パネルを立てたとき）：** 約 978 x 868 x 1064 mm（38.6 x 34.2 x 41.9 in.） * 取り出しポジションについては、「バスケットのポジション例」を参照してください。 スタンドはお買い上げの地域によって同梱されない場合があります。 **本体とデスクトップバスケット BU-07（バスケットを開いたとき、操作パネルを立てたとき）：** 約 978 x 989 x 1163 mm（38.6 x 39.0 x 45.8 in.）
質量	**本体のみ（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：** 約 51 kg（113 lb） **本体とスタンド SD-26（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：** 約 64 kg（142 lb）

	本体とスタンド SD-25（プリントヘッドとインクタンクを含まない）： 約 63 kg（139 lb） **本体とデスクトップバスケット BU-07（プリントヘッドとインクタンクを含まない）：** 約 53 kg（116 lb）
設置スペース（幅 x 奥行 x 高さ）	**本体のみ：** 約 1378 x 1330 x 1043 mm（54.3 x 52.4 x 41.1 in.） **本体とスタンド SD-26：** 約 1378 x 1698 x 1664 mm（54.3 x 66.9 x 65.6 in.） **本体とスタンド SD-25：** 約 1378 x 1468 x 1664 mm（54.3 x 57.8 x 65.6 in.） **本体とデスクトップバスケット BU-07：** 約 1378 x 1599 x 1763 mm（54.3 x 63.0 x 69.5 in.）

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi（横）* x 1200 dpi（縦） * 最小 1/2400 インチのドット（インク滴）間隔でプリントします。
ノズル数	MBK：5120 ノズル、その他各色：2560 ノズル

スキャン性能

スキャナー方式	CIS 方式
光学解像度	600 dpi
スキャンモード解像度	200 dpi / 300 dpi / 600 dpi
コピーモード解像度	200 dpi / 300 dpi / 600 dpi

対応できる原稿のサイズについては、「スキャンできる原稿について」を参照してください。

メモリー

メモリー	6 GB
表示可能なジョブ履歴	**操作パネル：**128 個 **リモート UI：**128 個

インターフェイス

USB とネットワークは同時に使用することができます。

Wi-Fi と有線 LAN を同時に使用することはできません。

プリンター接続部	Hi-Speed USB *

	* Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。また、Hi-Speed USB インターフェイスは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェイスが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。
USB メモリー接続部	USB フラッシュメモリー
LAN 接続部	**有線 LAN：**IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **Wi-Fi：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP、HTTP、TCP/IP（IPv4/IPv6）
有線 LAN 部	**準拠規格：**IEEE802.3ab（1000BASE-T） / IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **伝送速度：**10 Mbps/100 Mbps/1000 Mbps（自動切替） **セキュリティ：**IEEE802.1X（EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP）
Wi-Fi 部	**準拠規格：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b **周波数帯域：**2.4 GHz 帯 **チャンネル：**1-11 または 1-13 *1 *1 ご使用可能なチャンネルは、国や地域によって異なります。 **有効範囲：**屋内 50 m（164 feet）*2 *2 環境条件により異なります。 **セキュリティ：** WPA-PSK（AES） WPA2-PSK（AES） WPA3-SAE（AES） WPA-EAP（AES）* WPA2-EAP（AES）* WPA3-EAP（AES）* * IEEE802.1X（EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP）対応 **セットアップ：** WPS（プッシュボタン方式/PIN コード方式） かんたん接続

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS（標準添付プリンタードライバー）	Windows 11 Windows 10 Windows 8.1

	Windows 7 Windows Server 2025 Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 最新のサービスパックを適用してください。
ハードディスクドライブ空き容量	20 GB 以上

macOS

対応 OS（標準添付プリンタードライバー）	macOS Monterey 12 - macOS Tahoe 26
ハードディスクドライブ空き容量	20 GB 以上

その他

iOS、iPadOS、Android、ChromeOS ご利用頂ける機能等に制限があります。

- オンラインマニュアルの使用には、インターネット接続が必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- macOS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。

インク

プリンターに対応するインクについては、「インクタンク」を参照してください。

用紙

プリンターに対応する用紙の種類については、「用紙情報一覧」を参照してください。

プリンターに対応する用紙のサイズについては、「用紙のサイズ」を参照してください。

印刷領域については、「印刷領域」を参照してください。

印刷領域

プリンターは、プリンターにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

参考

- 印刷可能領域：印刷できる範囲です。
- ロール紙でフチなし印刷した場合は、余白は 0 mm（0 in.）になります。
  - 場面に合わせてフチなしで印刷する（Windows）
  - 場面に合わせてフチなしで印刷する（macOS）
- 印刷推奨領域：この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。
  - オーバーサイズの用紙サイズに印刷する（Windows）
  - オーバーサイズの用紙サイズに印刷する（macOS）

カット紙

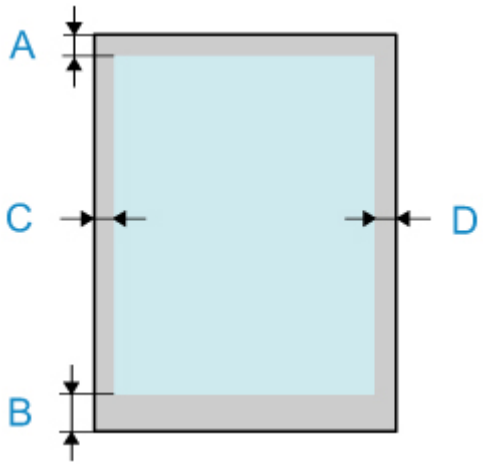
印刷可能領域

上端 3 mm（0.2 in.）、下端 12.7 mm（0.5 in.）*、左右端 3 mm（0.2 in.）が必要な余白です。

印刷推奨領域

上端 20 mm（0.8 in.）、下端 20 mm（0.8 in.）*、左右端 3 mm（0.2 in.）が必要な余白です。

* カット紙の下端余白は、OS およびアプリケーションにより異なります。



A：上端
B：下端
C：左端
D：右端

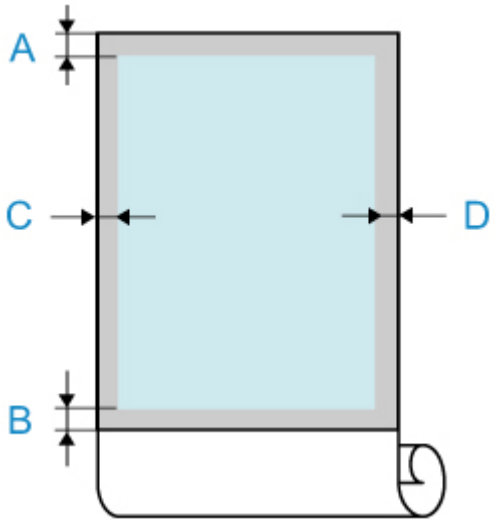
ロール紙

印刷可能領域

上下端 3 mm（0.2 in.）、左右端 3 mm（0.2 in.）が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm（0 in.）になります。フチなし印刷可能な用紙については、「用紙情報一覧」を参照してください。

印刷推奨領域

上端 20 mm（0.8 in.）、下端 3 mm（0.2 in.）、左右端 3 mm（0.2 in.）が必要な余白です。



A：上端
B：下端
C：左端
D：右端

付録

- オンラインマニュアルについて
- 本文中の記号
- 商標
- ライセンス
- その他ライセンス

オンラインマニュアルについて

本マニュアルのイラスト／動画は、ご使用の機種と異なる場合があります。

操作説明で使用している画面について

Windows をご使用の場合：

本マニュアルでは、おもに Windows 11 をご使用の場合に表示される画面で説明しています。

macOS をご使用の場合：

本マニュアルでは、おもに macOS Sequoia 15 をご使用の場合に表示される画面で説明しています。